

上尾市
高齢者実態把握アンケート調査
【調査結果報告書】

令和 5 年 3 月
上尾市

目 次

I	調査の概要	3
1.	調査の目的	3
2.	調査対象者	3
3.	実施方法	3
4.	回収結果	4
5.	報告書を見る際の留意点	5
II	調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	9
1.	調査結果の概要	9
(1)	相談・情報提供について	9
(2)	生活支援について	9
(3)	住まいについて	9
(4)	移動、外出について	10
(5)	生きがいについて	10
(6)	地域活動・ボランティア活動について	10
(7)	就業について	10
(8)	介護予防について	10
(9)	認知症対策について	11
(10)	健康づくりについて	11
(11)	生活習慣病の予防について	11
(12)	機能別リスク該当者割合の状況について	11
(13)	高齢者福祉サービスについて	11
(14)	新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活で困ったことについて	11
2.	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国が示した調査項目）	12
(1)	あなたのご家族や生活状況について	14
(2)	からだを動かすことについて	19
(3)	食べることについて	25
(4)	毎日の生活について	31
(5)	地域での活動について	41
(6)	たすけあいについて	47
(7)	健康について	54
(8)	認知症にかかる相談窓口の把握について	60
3.	一般高齢者個別調査（市の独自調査項目）	61
(1)	お住まいについて	61
(2)	生きがいについて	65
(3)	主な福祉サービス・介護サービスについて	70

(4) 新型コロナウイルスの感染拡大について.....	89
(5) その他.....	91
Ⅲ 生活機能評価等に関する分析.....	109
1. 機能別リスク該当者割合の分析.....	109
(1) 運動器.....	109
(2) 閉じこもり.....	111
(3) 転倒.....	113
(4) 栄養.....	115
(5) 口腔.....	117
(6) 認知.....	119
(7) うつ.....	121
2. 日常生活.....	123
(1) 手段的自立度（IADL）.....	123
3. 社会参加.....	125
(1) 知的能動性.....	125
(2) 社会的役割.....	127
Ⅳ 調査結果（在宅介護実態調査）.....	131
1. 調査結果の概要.....	131
(1) 在宅介護について.....	131
(2) 認知症対策について.....	131
(3) 介護サービスの利用状況について.....	131
(4) 新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活で困ったことについて.....	131
(5) 新型コロナウイルスの感染拡大がサービス利用に与える影響について.....	132
2. A票 調査対象者様ご本人について（国が示した調査項目）.....	133
3. B票 主な介護者について（国が示した調査項目）.....	157
4. 要介護認定者個別調査票（市の独自調査項目）.....	166
(1) あなた（要介護認定者ご本人）ご自身のことについて.....	166
(2) サービスの利用の有無について.....	167
(3) サービスの満足度について.....	170
(4) 新型コロナウイルスの感染拡大について.....	177
(5) サービス全般について.....	179
Ⅴ 調査結果（事業所調査）.....	185
1. 調査結果の概要.....	185
(1) 介護サービスの利用状況について.....	185
(2) 介護人材について.....	185
(3) 新型コロナウイルスの感染拡大がサービス利用に与える影響について.....	185

2. 在宅生活改善調査（国が示した調査項目）	186
(1) 事業所について	186
(2) 利用者について（利用者票）	189
3. 居所変更実態調査（国が示した調査項目）	196
(1) 事業所について	196
(2) 入所・入居者について	197
(3) 退去者について	200
4. 介護人材実態調査（国が示した調査項目）	203
(1) 事業所について	203
(2) 職員について（職員票（訪問介護員向け））	211
(3) 送迎について（通所介護事業所票）	216
5. 各調査共通項目（市の独自調査項目）	219
(1) 事業所について	219
(2) 現在の介護人材の状況について	221
(3) 今後の介護人材の確保について	230
(4) 事業所の運営について	241
(5) 認知症施策について	244
(6) 成年後見制度について	247
(7) 在宅医療・介護連携推進事業について	254
(8) 新型コロナウイルスの感染拡大について	255
(9) 上尾市の施策について	257
VI 資料編（使用した調査票）	263

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、基礎資料として、高齢者の生活状況や支援サービスの必要性等を把握するとともに、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況を把握するため、本調査を実施しました。

2. 調査対象者

調査区分	調査対象者
ア 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	令和4年10月31日現在、市内在住の要支援認定者、事業対象者、65歳以上の要介護認定を受けていない人（無作為抽出）
イ 在宅介護実態調査	令和4年10月31日現在、市内在住の在宅で生活している要支援・要介護認定者（無作為抽出）
ウ 事業所調査	※以下、4区分
A 在宅生活改善調査	市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所
B 居所変更実態調査	市内の全ての施設・居住系サービスの事業所
C1 介護人材実態調査	市内の全ての施設・居住系サービスおよび通所・短期入所系サービスの事業所
C2 介護人材実態調査	市内の全ての訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所

※ア・イの調査では、調査対象者が重複しないように調整しました。また、より詳細な集計・分析のため、調査結果と回答者の属性データを関連付けることについて、回答者の同意を得ています。

3. 実施方法

- 調査地域：上尾市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：調査区分ア・イ：郵送配布・郵送回収 調査区分ウ：メール配布・メール回収
- 調査期間：令和4年11月16日（水）～12月22日（木）

4. 回収結果

調査区分	配布数	有効回答数	有効回答率	(前回)
ア 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	6,000 件	4,156 件	69.3%	(69.8%)
イ 在宅介護実態調査	1,500 件	927 件	61.8%	(59.8%)
ウ 事業所調査	350 件	92 件	26.3%	
A 在宅生活改善調査	61 件	18 件	29.5%	
B 居所変更実態調査	73 件	25 件	34.2%	
C1 介護人材実態調査	144 件	40 件	27.8%	
C2 介護人材実態調査	72 件	9 件	12.5%	
合計 (ア・イ・ウ)	7,850 件	5,175 件	65.9%	

5. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- グラフは、見やすさを確保するため、構成比3.0%未満の数値は割愛している部分があります。
- クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。
- 「一般高齢者」は、65歳以上の要介護認定を受けていない人を指しています。
- 「要支援認定者等」は、要支援1・2、事業対象者を指しています。
- 「事業対象者」は、基本チェックリストの判定を受け、介護予防・日常生活支援総合事業の利用対象者となった人を指しています。

Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【属性の詳細について】

- ・一般高齢者…65歳以上の要介護認定を受けていない人
- ・要支援認定者等…要支援1・2、事業対象者

1. 調査結果の概要

（1）相談・情報提供について

- ・健康や福祉・介護のことで困ったときの相談相手としては、一般高齢者、要支援認定者等ともに「家族・親族」が60%以上と最も高くなっています。一方で、家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手として、「そのような人はいない」の割合は、一般高齢者では44.7%、要支援認定者等では18.2%となっています。（P51、87）
- ・市が行うサービスや取組などについての情報入手においては、依然として「市が発行する広報紙・パンフレット」「回覧板」などの紙媒体の利用が多くなっていますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛や社会的距離の確保が求められるなか、情報収集やコミュニケーションのツールとして、高齢者のスマートフォン保有率が上昇しており、本市においてもスマートフォンを「持っている」と回答している人が、一般高齢者で70.9%、要支援認定者等で44.2%となっています。（P91、93）

（2）生活支援について

- ・要支援認定者等では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が24.5%となっており、介護の支援が必要となっているが、介護サービスに結びついていない状況がうかがえます。（P15）
- ・現在の暮らしの状況は経済的にみて「苦しい」と回答している人が、一般高齢者で30.3%、要支援認定者等で35.5%となっており、一般高齢者に比べ、要支援認定者等が高くなっています。（P18）

（3）住まいについて

- ・介護が必要になった場合の住まいの希望をみると、一般高齢者では、介護サービスや家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい人が68.7%となっており、同様に要支援認定者等においても在宅介護を希望する割合が61.2%となっています。また、高齢化に対応した取組として必要なこととして、一般高齢者、要支援認定者等では、「自宅で利用できる在宅サービスの充実」を求める割合がそれぞれ39.8%、33.2%となっており、「高齢者向け住宅や介護老人福祉施設などの施設の充実」（30.3%、27.6%）よりも割合が高くなっています。（P61、94）

（４）移動、外出について

- 高齢者が外出を控えている理由として、最も割合が高いものは身体的な理由である「足腰などの痛み」で、一般高齢者が 30.3%、要支援認定者等が 64.1%となっていることから、外出をするうえで、自身の身体機能が維持されていることが重要であることがうかがえます。また、外出を控えている別の理由として「その他」の割合が高くなっており、具体的な内容をみると、新型コロナウイルスの影響が多く挙げられています。(P23)
- 運転免許証を持っているという人は、一般高齢者では 56.1%、要支援認定者等では 16.6%となっています。運転免許証を返納するにあたり不安に思うこととしては、「買い物」や「通院」を挙げる人が多く、どちらも一般高齢者、要支援認定者等ともに、50%以上となっています。また、高齢化に対応した取組として必要なこととして、「通院や外出時の移動手段の確保」を求める割合が一般高齢者、要支援認定者等で最も高くなっています。(P94、101、103)

（５）生きがいについて

- 趣味が「思いつかない」と回答している割合は、一般高齢者では 23.4%、要支援認定者等で 33.2%となっています。また、生きがいが「思いつかない」と回答している割合は、一般高齢者では 38.3%、要支援認定者等で 48.5%となっています。(P39、40)

（６）地域活動・ボランティア活動について

- 地域での活動について、すべての活動で「参加していない」の割合が 60%前後と高くなっている一方で、地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向をみると、一般高齢者では 56.3%、要支援認定者等では 44.1%が「参加したい」と回答しているとともに、その活動の企画・運営への参加意向をみると、一般高齢者では 34.7%、要支援認定者等では 25.5%が「参加したい」と回答しています。(P41、46)

（７）就業について

- 一般高齢者の就労意向をみると、「生活のために働きたい」と「生きがいのために働きたい」を合わせた割合は、29.6%となっています。また、働く上で自治体が取り組むべき施策として「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」や「雇用主との仲介支援」の割合が高くなっています。(P66、68)

（８）介護予防について

- 高齢化に対応した取組として必要なこととして、一般高齢者、要支援認定者等では、「要介護状態にならないための『介護予防事業』の普及啓発」の割合がそれぞれ 41.0%、34.4%と高くなっています。また、「自主的に介護予防（運動や講座の受講等）を実施している」人の割合をみると、一般高齢者では 21.0%、要支援認定者等で 31.7%となっており、一般高齢者のほうが割合が低い傾向にあります。実施している介護予防の内容については、一般高齢者では、「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」の割合が 37.1%、要支援認定者等では、「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」の割合が 57.9%とそれぞれ高くなっています。(P78、79、94)

（9）認知症対策について

- 一般高齢者、要支援認定者等に聞いた「認知症に関する相談窓口」や「認知症サポーター」「成年後見制度」の認知度は低く、認知症に関連する相談窓口や取組はあまり知られていない状況がうかがえます。なお、認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために必要なこととしては、一般高齢者、要支援認定者等では、「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」が上位になっています。（P60、95～97）

（10）健康づくりについて

- 高齢者の健康状態をみると、一般高齢者で「健康状態がよい人」が 81.1%となっている一方で、要支援認定者等では、「健康状態がよくない人」が 45.3%を占めているほか、「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることのある人」が 51.5%、「物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがある人」は 38.5%と、一般高齢者と比べ、心身両面で問題を抱えている状況が顕著になっています。（P54、56）

（11）生活習慣病の予防について

- 介護・介助が必要になった主な原因としては、一般高齢者、要支援認定者等では、「高齢による衰弱」のほか「骨折・転倒」「心臓病」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が高くなっています。（P16）

（12）機能別リスク該当者割合の状況について

- 機能別リスク該当者割合をみると、運動器や閉じこもり、転倒、口腔、認知については、加齢とともにリスク該当者が増加傾向となっているほか、うつについては、65～69歳の段階からリスク該当者の割合が高くなっています。（P109～122）

（13）高齢者福祉サービスについて

- 介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスの認知状況をみると、日常生活用具の給付、徘徊高齢者等探索サービスが他のサービスと比較して「知らない」と回答している割合が高くなっています。（P70）

（14）新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活で困ったことについて

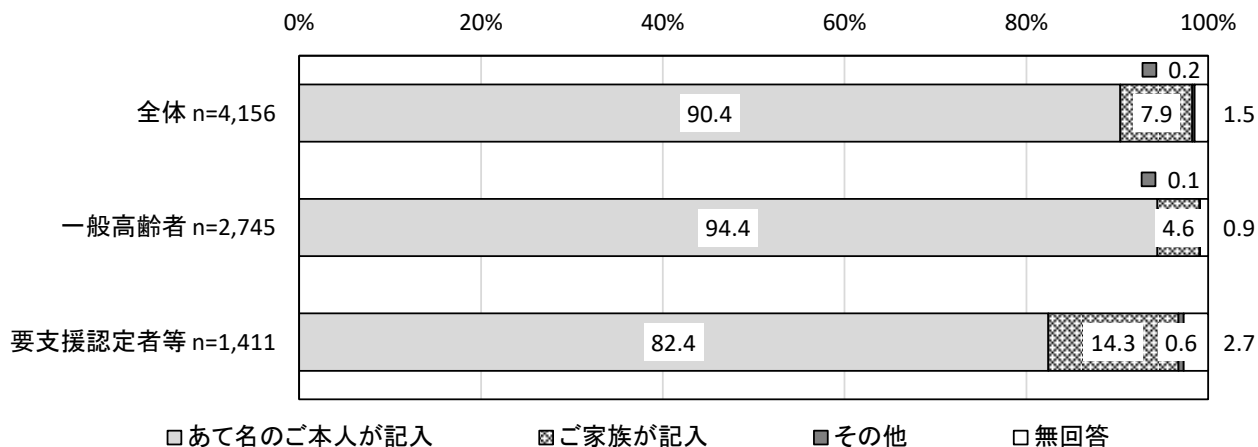
- 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で困ったことについては、一般高齢者、要支援認定者等では、「特に困ることはなかった」が最も高くなっていますが、「自宅にすることが多く、体が弱ってしまった」と回答している割合も、一般高齢者では 25.4%、要支援認定者等では 37.8%と高い割合になっています。（P90）

2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国が示した調査項目）

①. 調査票を記入されたのはどなたですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」の割合が94.4%、「ご家族が記入」の割合が4.6%となっています。

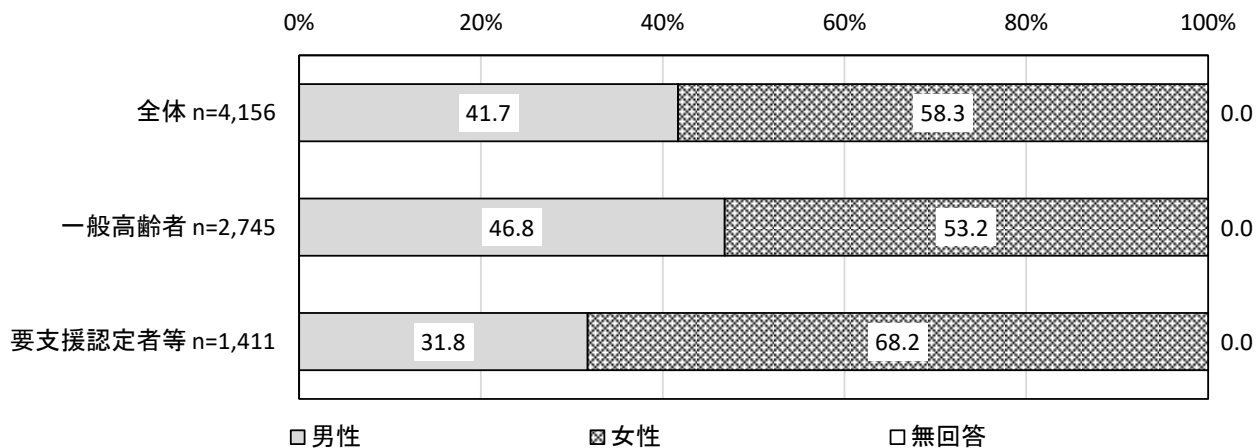
要支援認定者等では、「あて名のご本人が記入」の割合が82.4%、「ご家族が記入」の割合が14.3%となっています。



②. ご本人の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

一般高齢者では、「男性」の割合が46.8%、「女性」の割合が53.2%となっています。

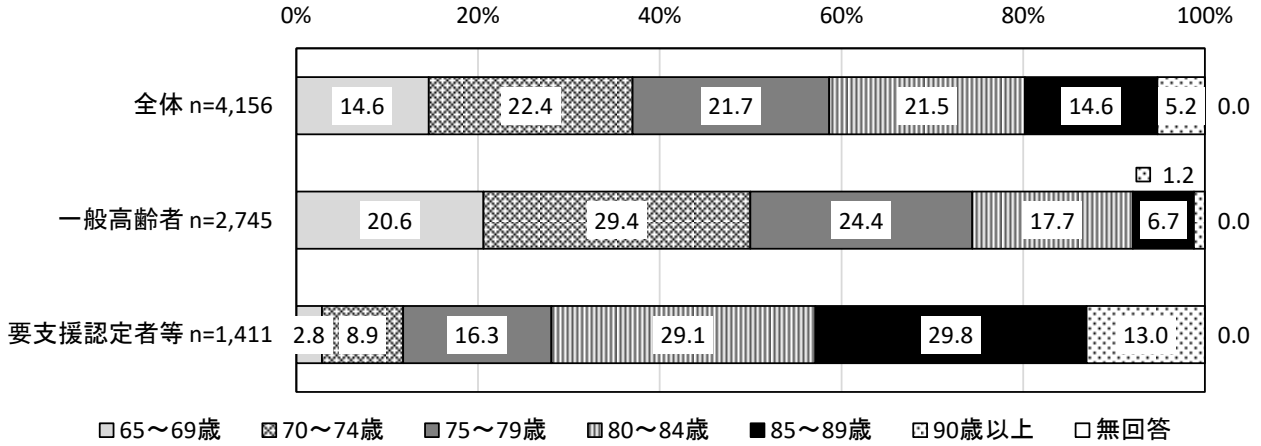
要支援認定者等では、「男性」の割合が31.8%、「女性」の割合が68.2%となっています。



③. ご本人の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

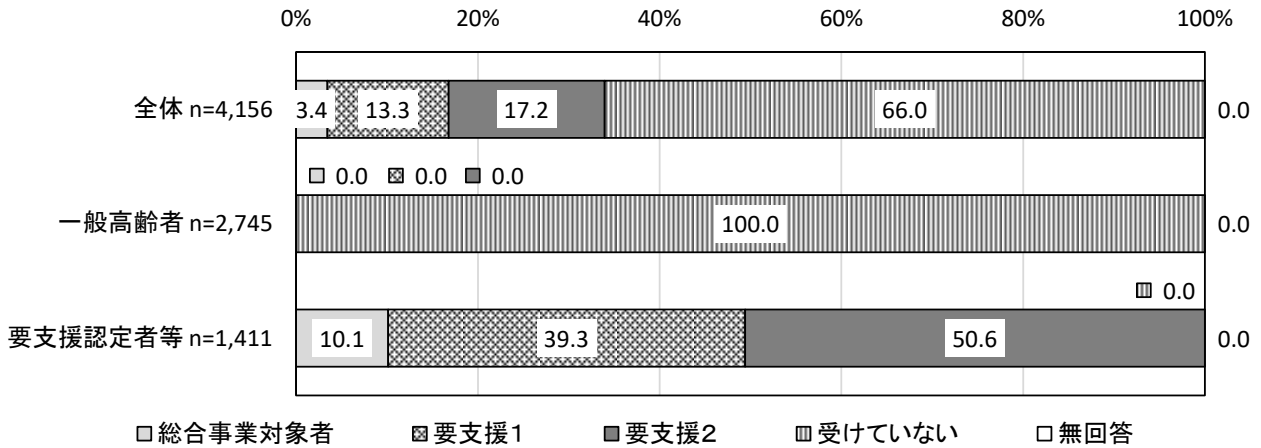
一般高齢者では、「70～74 歳」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「75～79 歳」の割合が 24.4%、「65～69 歳」の割合が 20.6%となっています。

要支援認定者等では、「85～89 歳」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「80～84 歳」の割合が 29.1%、「75～79 歳」の割合が 16.3%となっています。



④. 要介護認定等の状況について、ご回答ください（回答は1つ）

要支援認定者等では、「要支援2」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「要支援1」の割合が 39.3%、「総合事業対象者」の割合が 10.1%となっています。



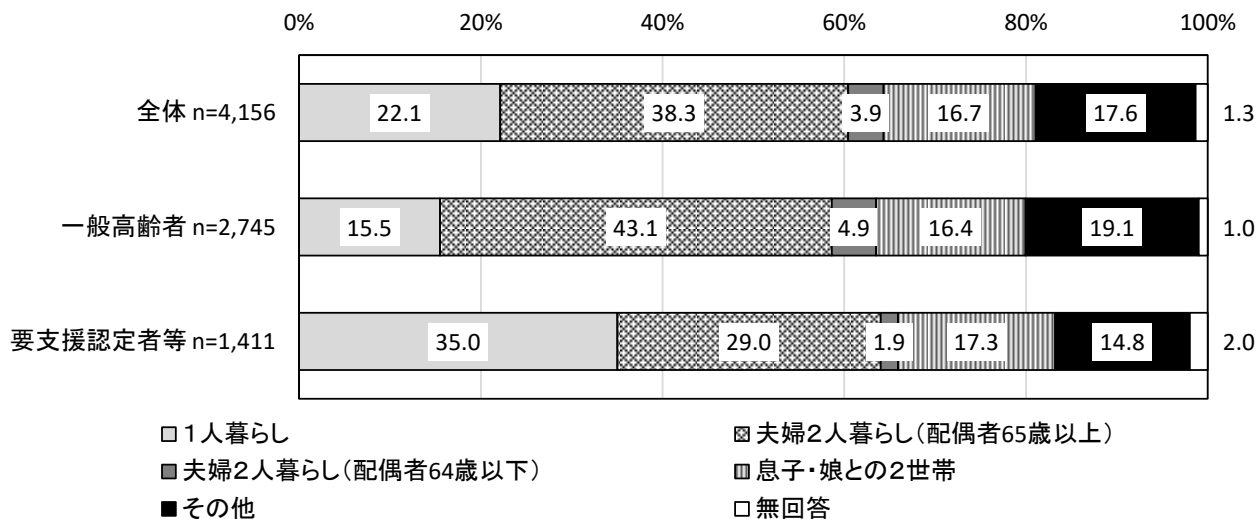
（１）あなたのご家族や生活状況について

問１ 家族構成をお教えてください（回答は１つ）

一般高齢者では、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「息子・娘との２世帯」の割合が 16.4%、「１人暮らし」の割合が 15.5%となっています。

要支援認定者等では、「１人暮らし」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 29.0%、「息子・娘との２世帯」の割合が 17.3%となっています。

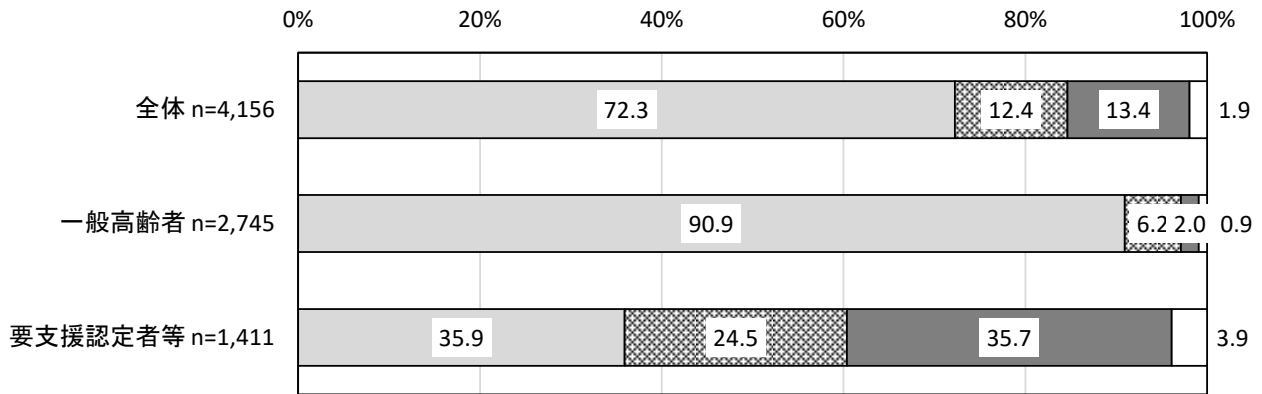
要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「１人暮らし」の割合が高くなっています。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（回答は1つ）

一般高齢者では、要支援・介護を受けていない方を対象としているものの、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が6.2%となっています。

要支援認定者等では、「介護・介助は必要ない」の割合が35.9%と最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が35.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が24.5%となっています。



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
- 無回答

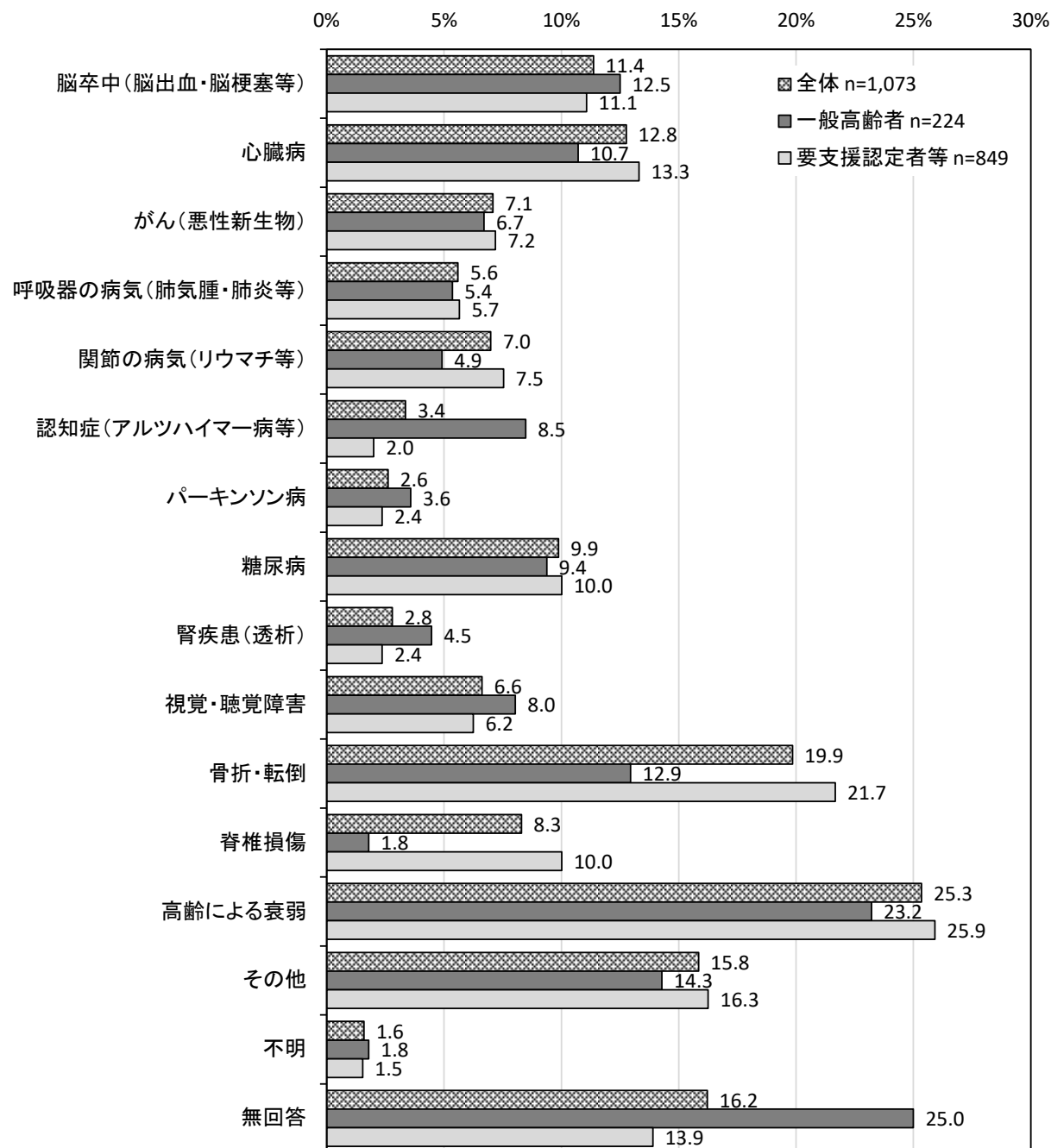
【問2において「介護・介助は必要ない」以外の人のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が23.2%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が12.9%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が12.5%となっています。

要支援認定者等では、「高齢による衰弱」の割合が25.9%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が21.7%、「心臓病」の割合が13.3%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「骨折・転倒」「脊椎損傷」の割合が高くなっています。



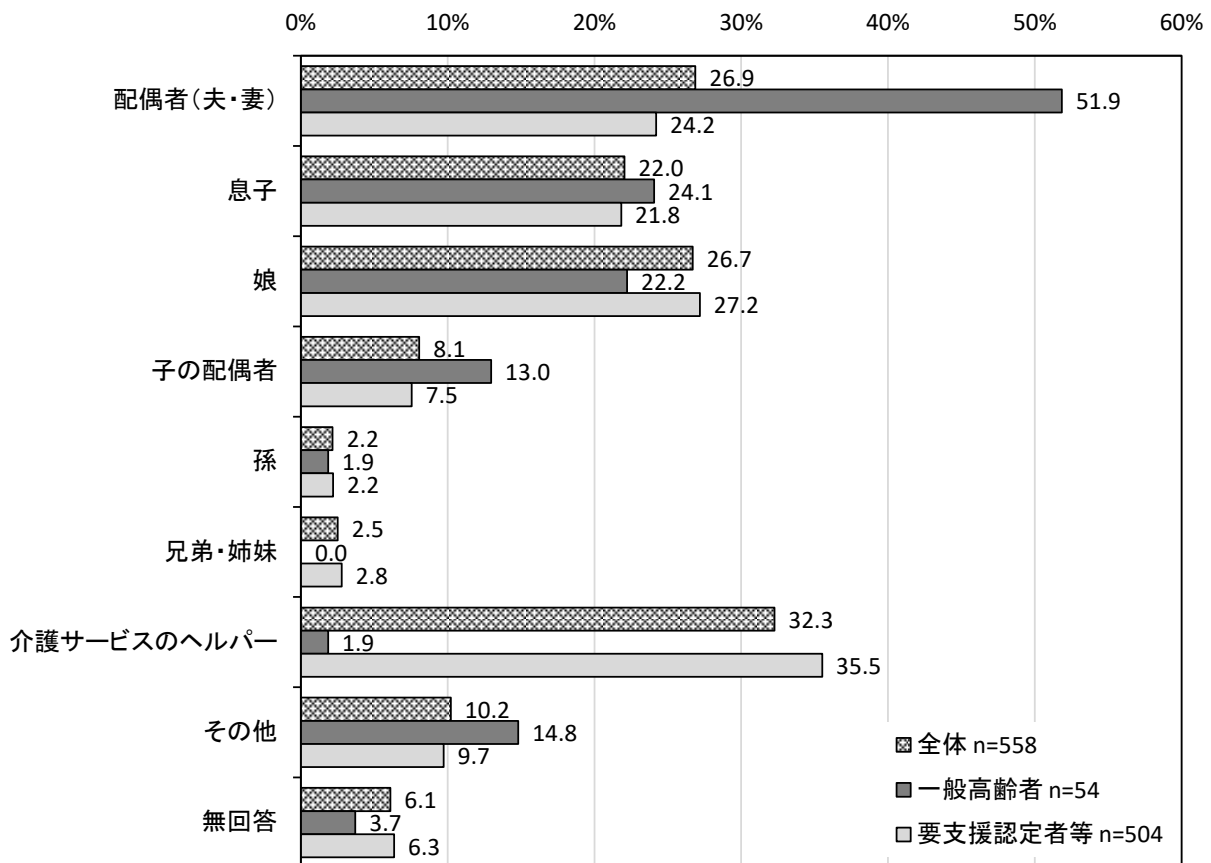
【問2において「現在、何らかの介護を受けている」の人のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」の割合が51.9%と最も高く、次いで「息子」の割合が24.1%、「娘」の割合が22.2%となっています。

要支援認定者等では、「介護サービスのヘルパー」の割合が35.5%と最も高く、次いで「娘」の割合が27.2%、「配偶者（夫・妻）」の割合が24.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

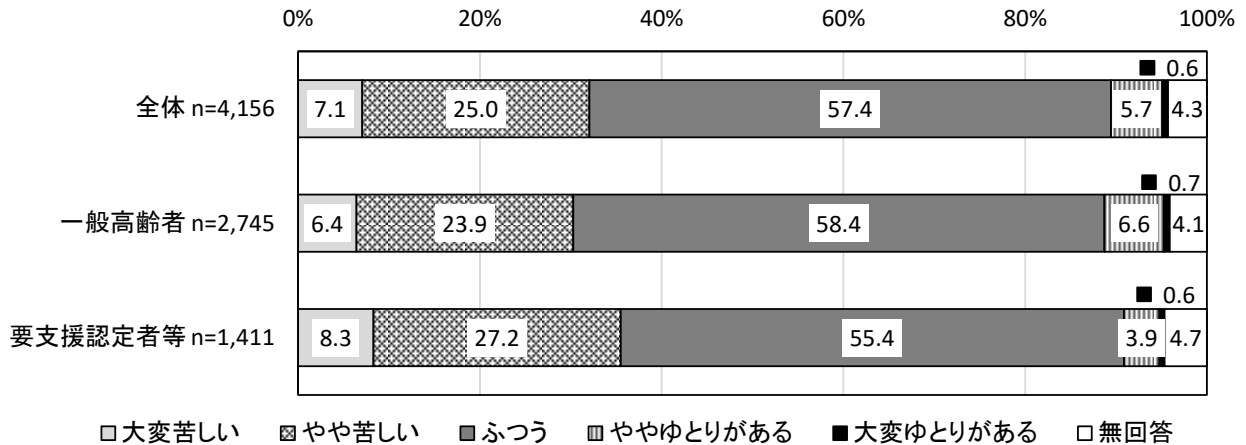


問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「ふつう」の割合が58.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が23.9%となっています。

要支援認定者等では、「ふつう」の割合が55.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が27.2%となっています。

一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が高くなっています。

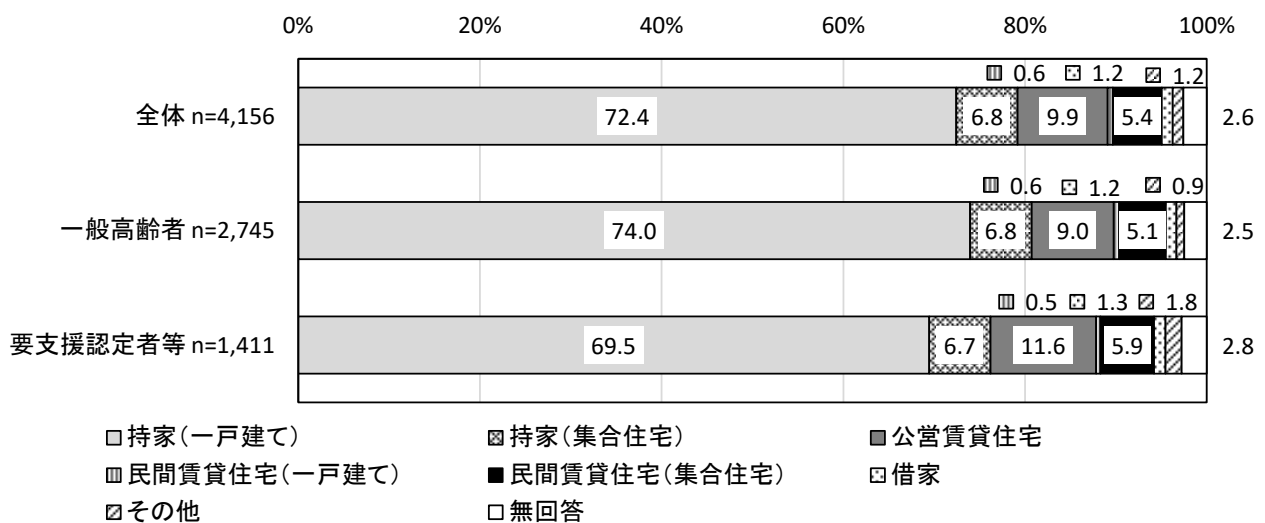


問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」の割合が74.0%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」の割合が9.0%となっています。

要支援認定者等では、「持家（一戸建て）」の割合が69.5%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」の割合が11.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



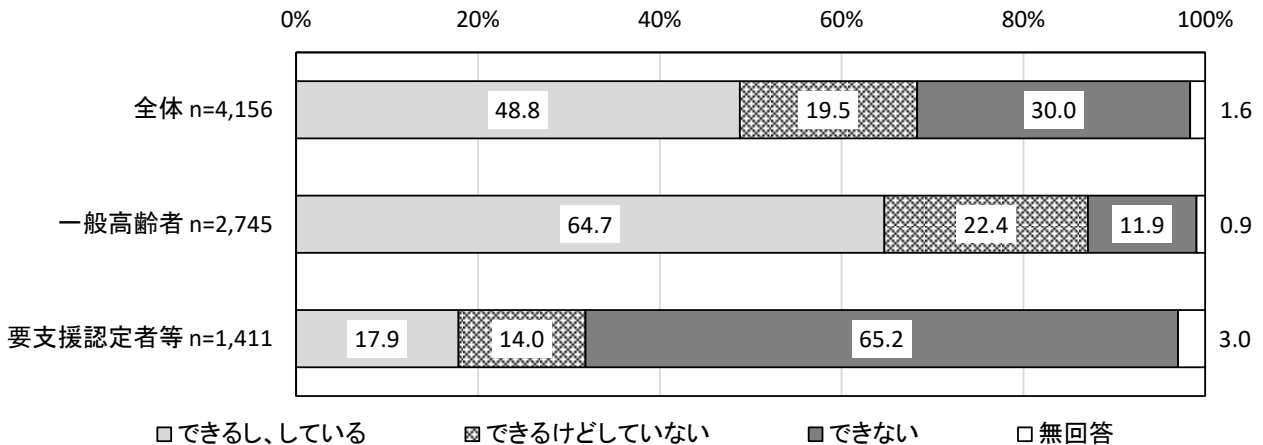
（2）からだを動かすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が64.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が22.4%、「できない」の割合が11.9%となっています。

要支援認定者等では、「できない」の割合が65.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が17.9%、「できるけどしていない」の割合が14.0%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で11.9%、要支援認定者等で65.2%となっており、53.3ポイントの差となっています。

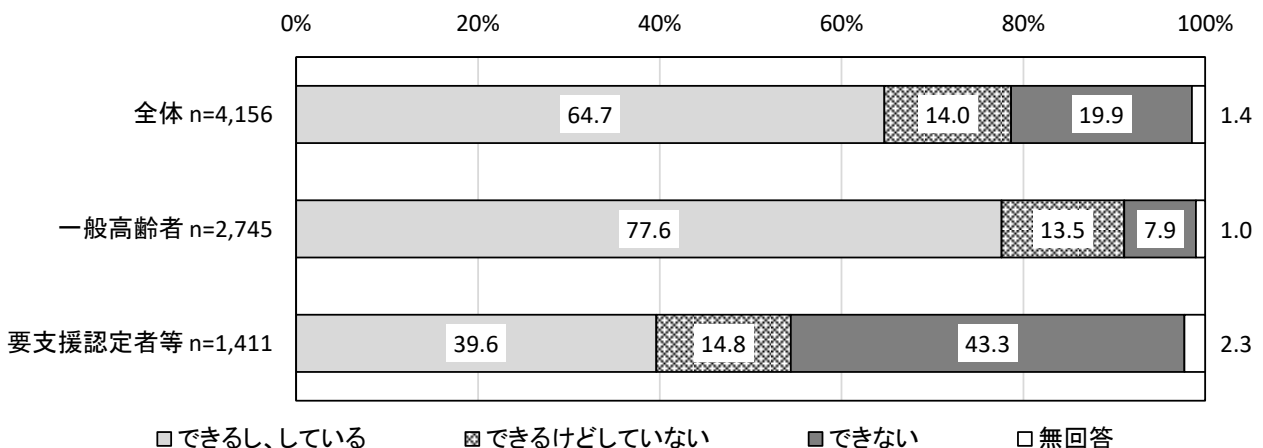


問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が77.6%と最も高くなっています。

要支援認定者等では、「できない」の割合が43.3%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が39.6%、「できるけどしていない」の割合が14.8%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で7.9%、要支援認定者等で43.3%となっており、35.4ポイントの差となっています。

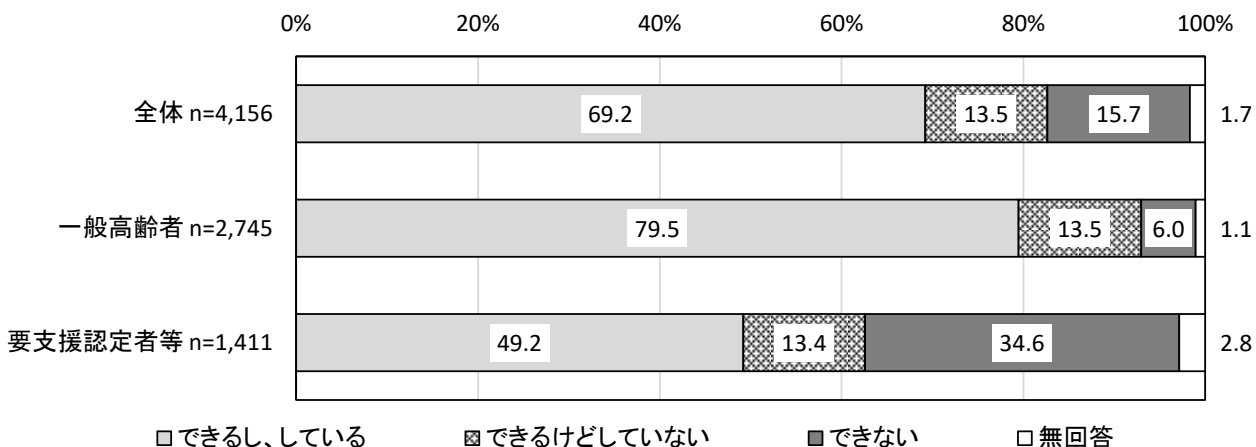


問7 15分位続けて歩いていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が79.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.5%となっています。

要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が49.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が34.6%、「できるけどしていない」の割合が13.4%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で6.0%、要支援認定者等で34.6%となっており、28.6ポイントの差となっています。

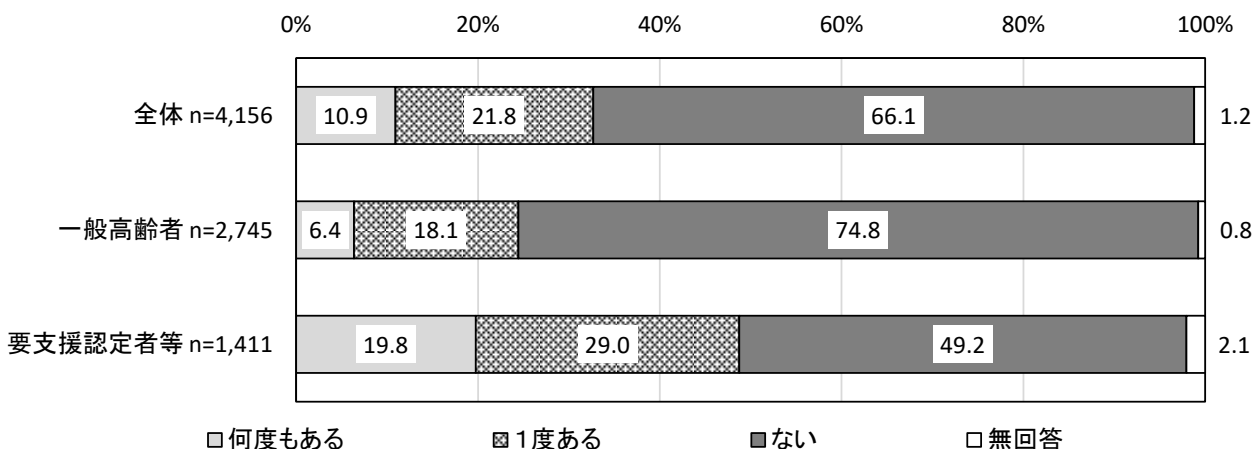


問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「ない」の割合が74.8%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が18.1%となっています。

要支援認定者等では、「ない」の割合が49.2%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が29.0%、「何でもある」の割合が19.8%となっています。

「何でもある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、一般高齢者で24.5%、要支援認定者等で48.8%となっており、24.3ポイントの差となっています。

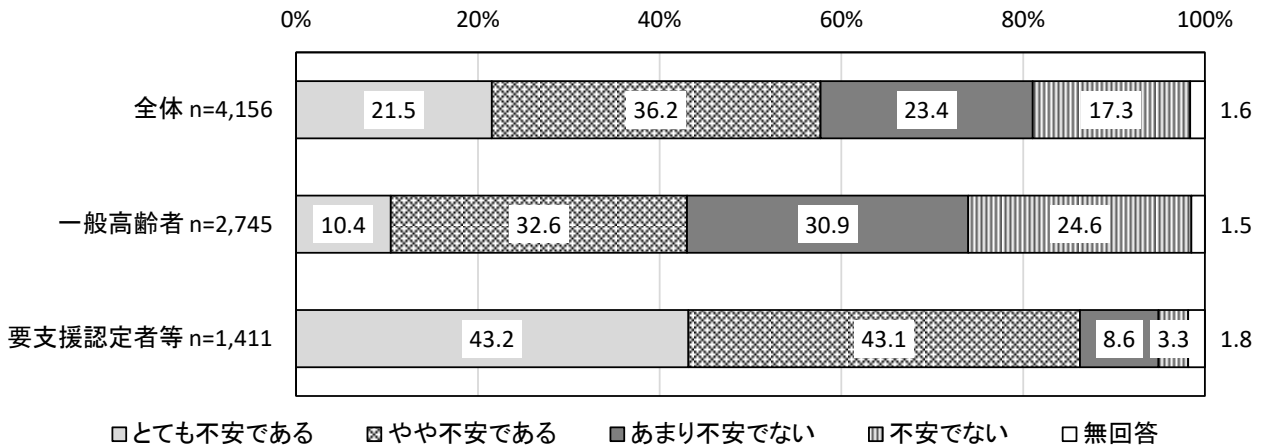


問9 転倒に対する不安は大きいですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「やや不安である」の割合が32.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が30.9%、「不安でない」の割合が24.6%となっています。

要支援認定者等では、「とても不安である」の割合が43.2%と最も高く、次いで「やや不安である」の割合が43.1%となっています。

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、一般高齢者で43.0%、要支援認定者等で86.3%となっており、43.3ポイントの差となっています。

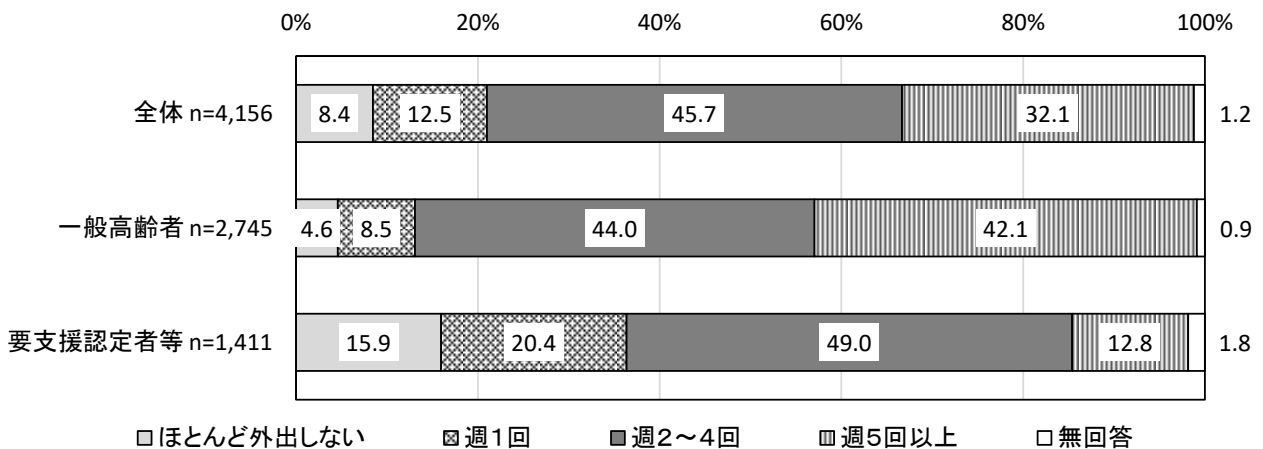


問10 週に1回以上は外出していますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「週2～4回」の割合が44.0%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が42.1%となっています。

要支援認定者等では、「週2～4回」の割合が49.0%と最も高く、次いで「週1回」の割合が20.4%、「ほとんど外出しない」の割合が15.9%となっています。

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』の割合は、一般高齢者で13.1%、要支援認定者等で36.3%となっており、23.2ポイントの差となっています。

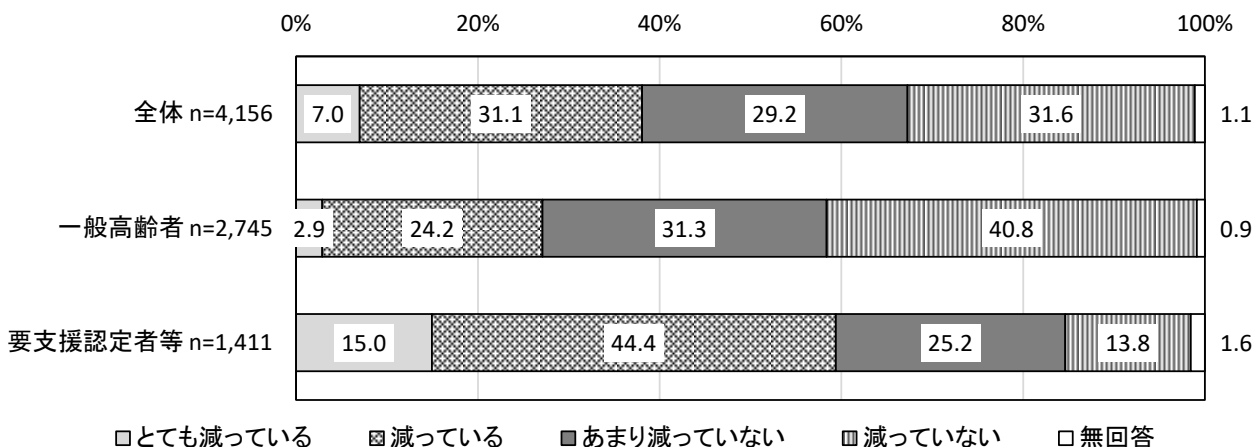


問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「減っていない」の割合が40.8%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が31.3%、「減っている」の割合が24.2%となっています。

要支援認定者等では、「減っている」の割合が44.4%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が25.2%、「とても減っている」の割合が15.0%となっています。

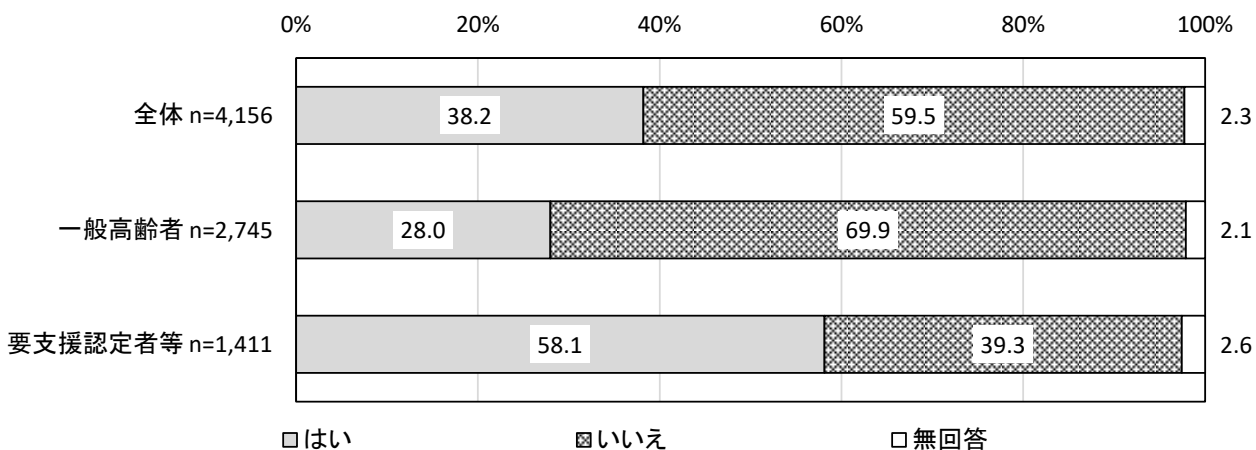
「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、一般高齢者で27.1%、要支援認定者等で59.4%となっており、32.3ポイントの差となっています。



問 12 外出を控えていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が28.0%、「いいえ」の割合が69.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が58.1%、「いいえ」の割合が39.3%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で28.0%、要支援認定者等で58.1%となっており、30.1ポイントの差となっています。



【問 12で「はい」（外出を控えている）の人のみ】

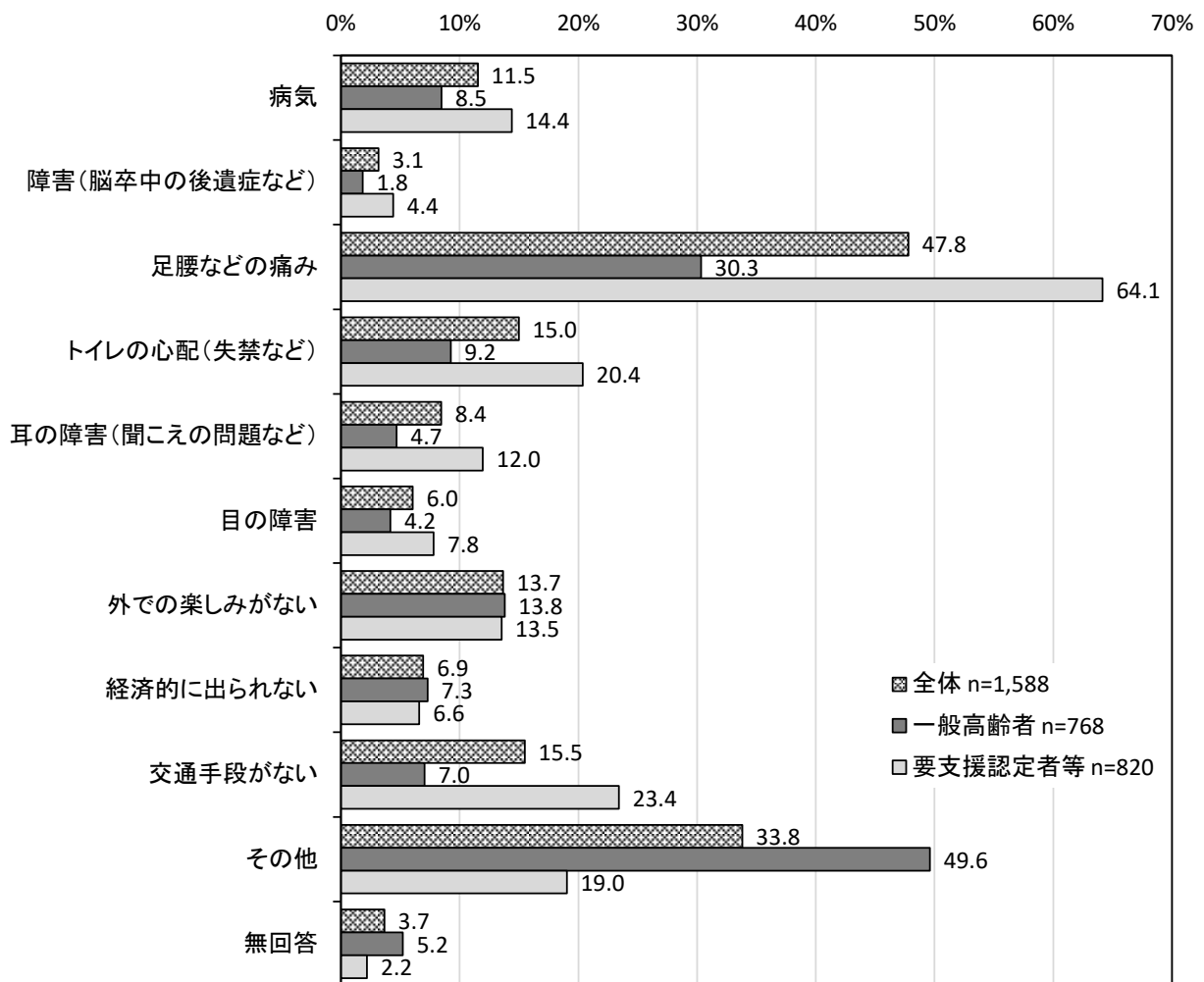
問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が30.3%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が13.8%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が9.2%となっています。

要支援認定者等では、「足腰などの痛み」の割合が64.1%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が23.4%となっています。

一般高齢者に比べ、要支援認定者等で主に「病気」「足腰などの痛み」「トイレの心配（失禁など）」「耳の障害（聞こえの問題など）」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

なお、「その他」の割合が、一般高齢者で49.6%、要支援認定者等で19.0%となっており、主な意見として、「新型コロナウイルス感染予防のため」、「新型コロナウイルスへの不安」などが挙げられています。

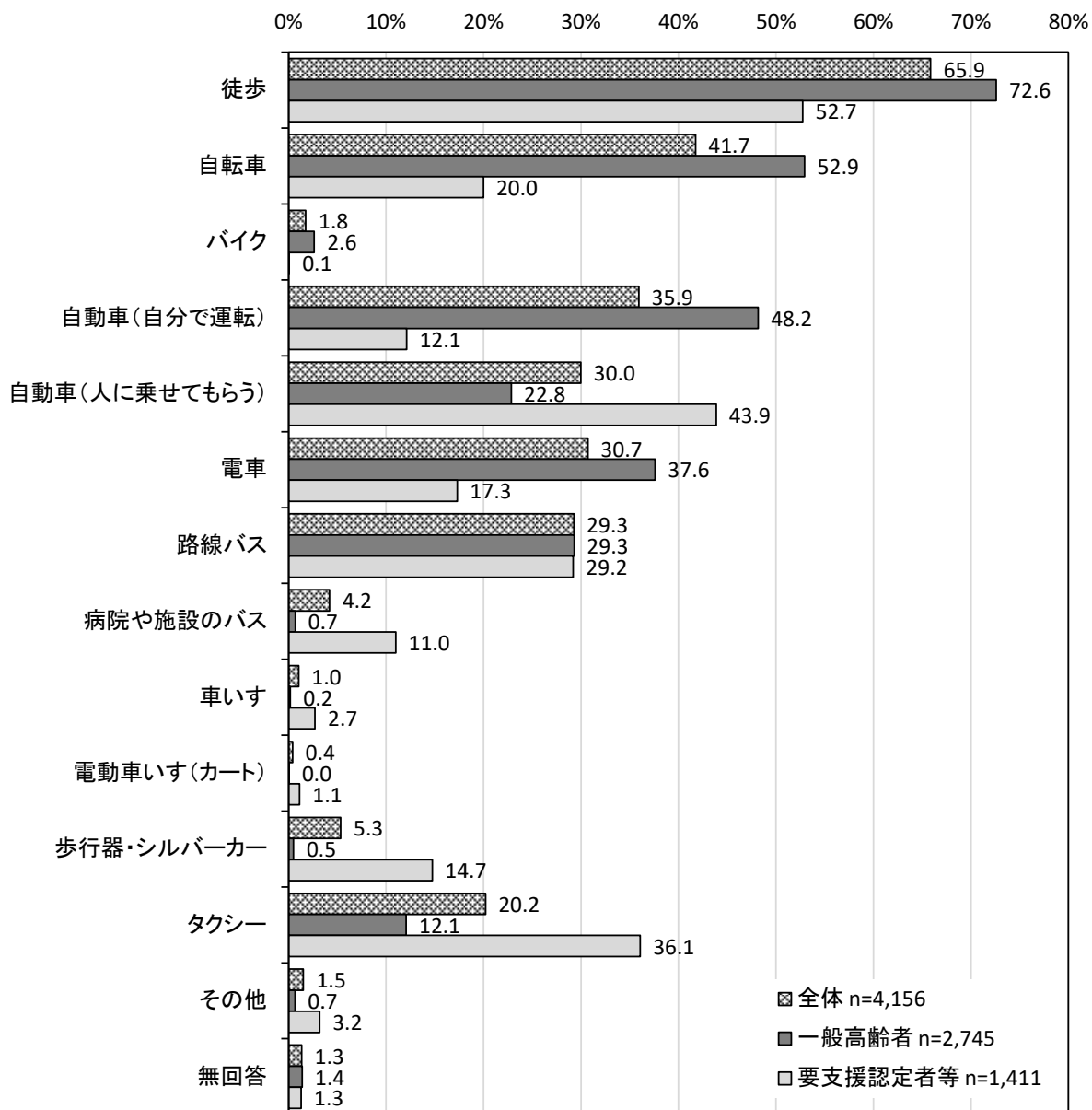


問 13 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「徒歩」の割合が72.6%と最も高く、次いで「自転車」の割合が52.9%、「自動車（自分で運転）」の割合が48.2%となっています。

要支援認定者等では、「徒歩」の割合が52.7%と最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が43.9%、「タクシー」の割合が36.1%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で主に「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。



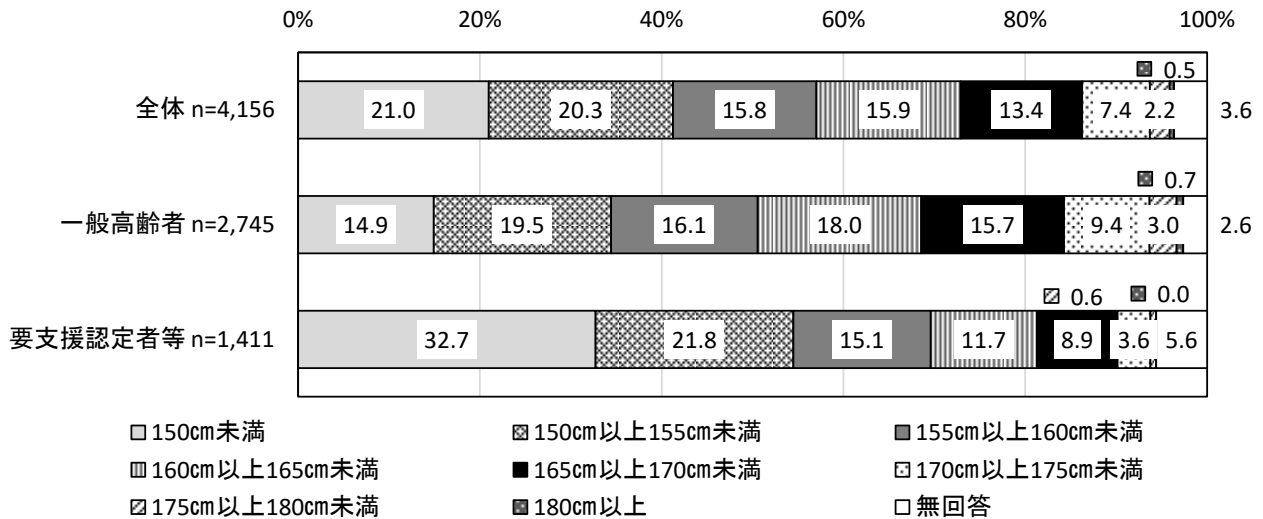
(3) 食べることについて

問 14 身長・体重をご記入ください

■身長

一般高齢者では、「150 cm以上 155 cm未満」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「160 cm以上 165 cm未満」の割合が 18.0%、「155 cm以上 160 cm未満」の割合が 16.1%となっています。

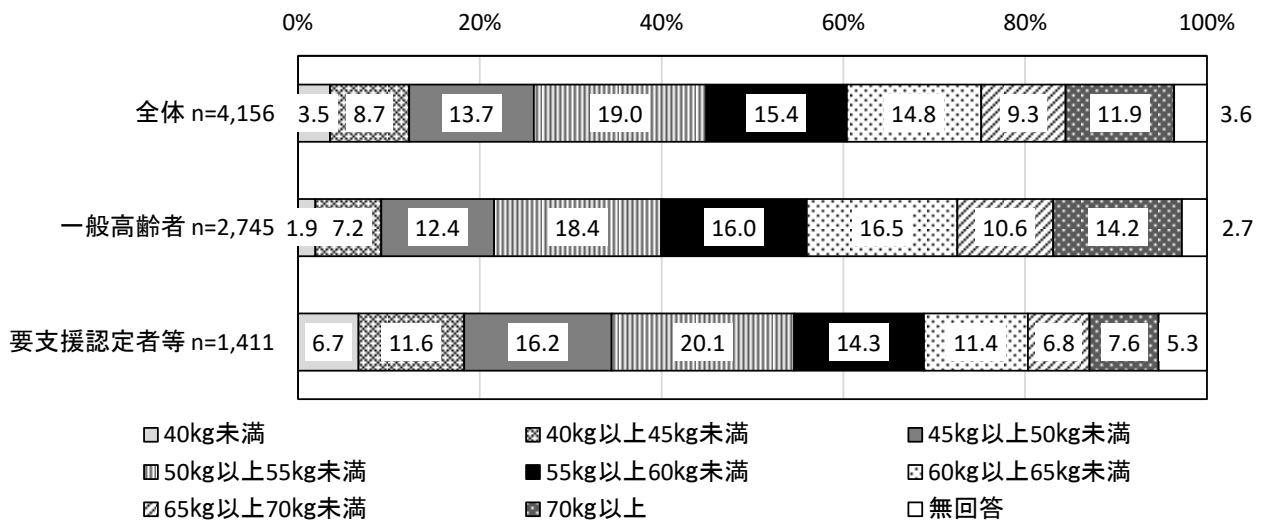
要支援認定者等では、「150 cm未満」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「150 cm以上 155 cm未満」の割合が 21.8%、「155 cm以上 160 cm未満」の割合が 15.1%となっています。



■体重

一般高齢者では、「50 kg以上 55 kg未満」の割合が 18.4%と最も高く、次いで「60 kg以上 65 kg未満」の割合が 16.5%、「55 kg以上 60 kg未満」の割合が 16.0%となっています。

要支援認定者等では、「50 kg以上 55 kg未満」の割合が 20.1%と最も高く、次いで「45 kg以上 50 kg未満」の割合が 16.2%、「55 kg以上 60 kg未満」の割合が 14.3%となっています。

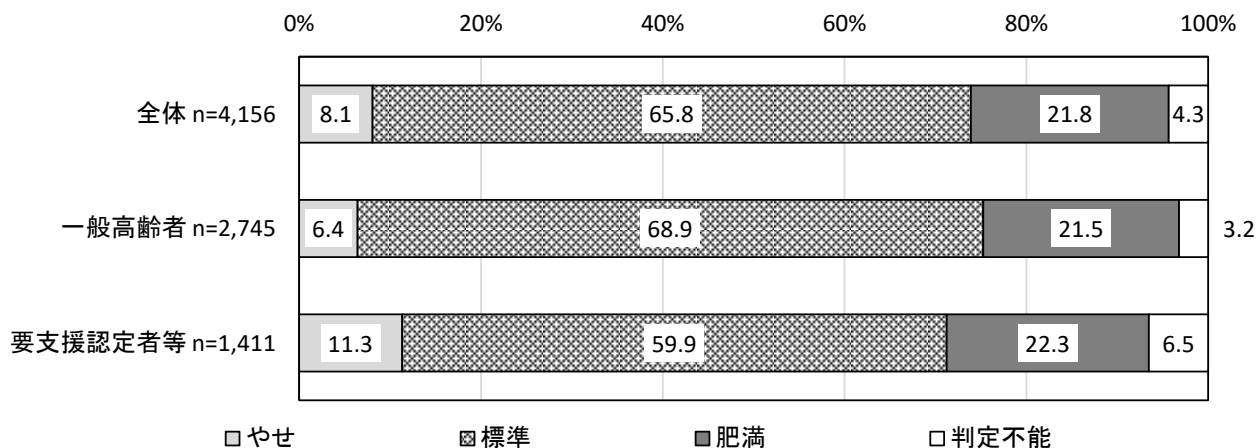


■BMI

一般高齢者では、「標準」の割合が68.9%と最も高く、次いで「肥満」の割合が21.5%となっています。

要支援認定者等では、「標準」の割合が59.9%と最も高く、次いで「肥満」の割合が22.3%、「やせ」の割合が11.3%となっています。

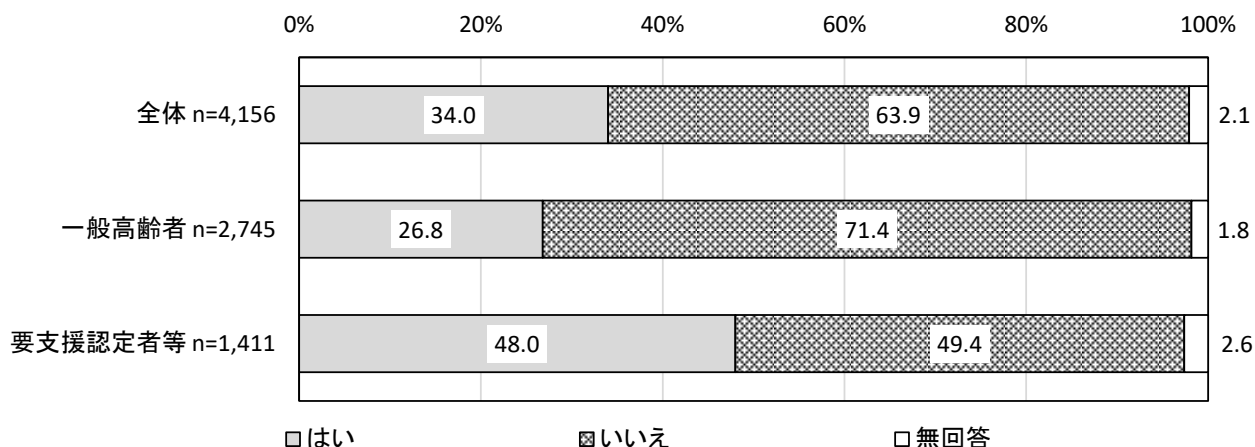
一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「やせ」の割合が高く、「標準」の割合が低くなっています。



問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が26.8%、「いいえ」の割合が71.4%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が48.0%、「いいえ」の割合が49.4%となっています。

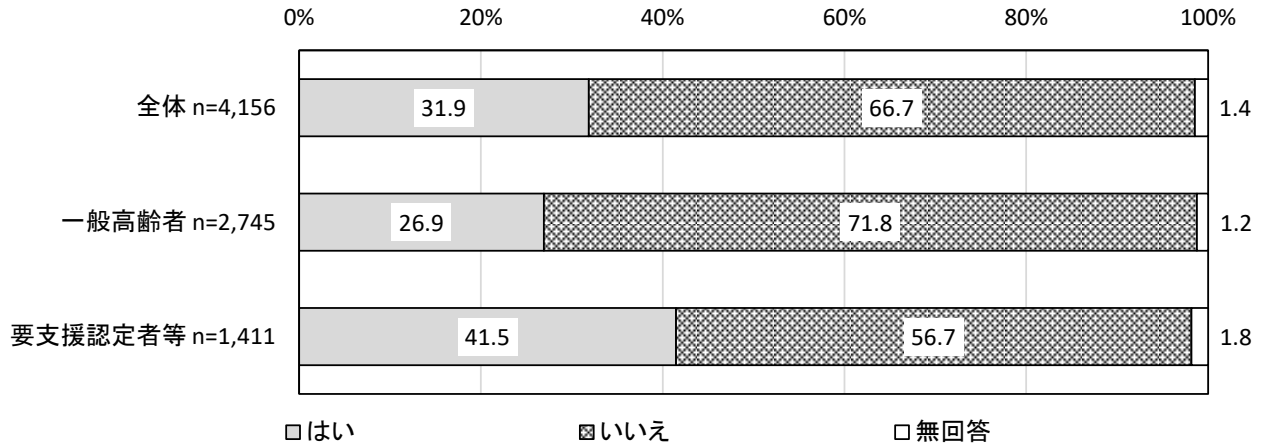
「はい」の割合は、一般高齢者で26.8%、要支援認定者等で48.0%となっており、21.2ポイントの差となっています。



問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が26.9%、「いいえ」の割合が71.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が56.7%となっています。

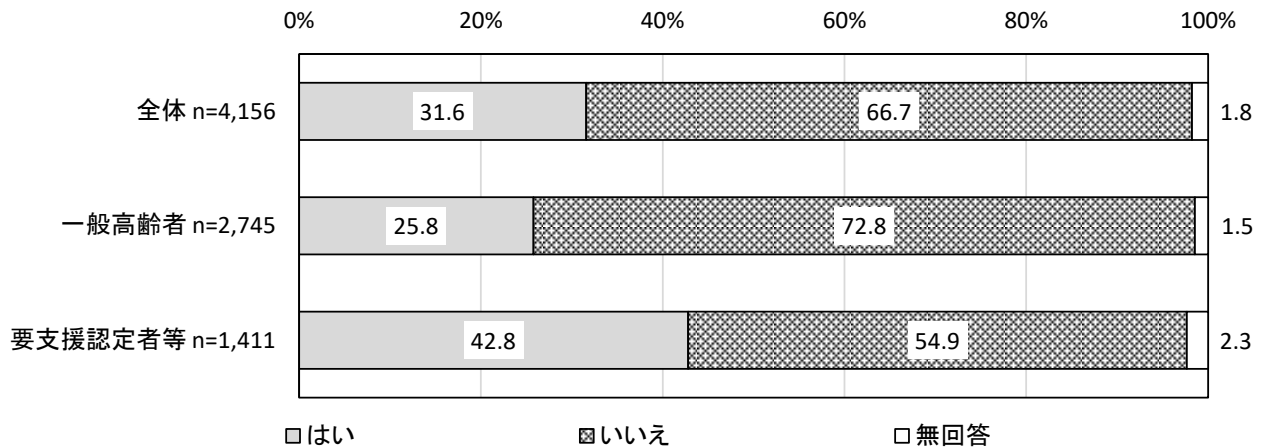
「はい」の割合は、一般高齢者で26.9%、要支援認定者等で41.5%となっており、14.6ポイントの差となっています。



問 17 口の渇きが気になりますか（回答は1つ）

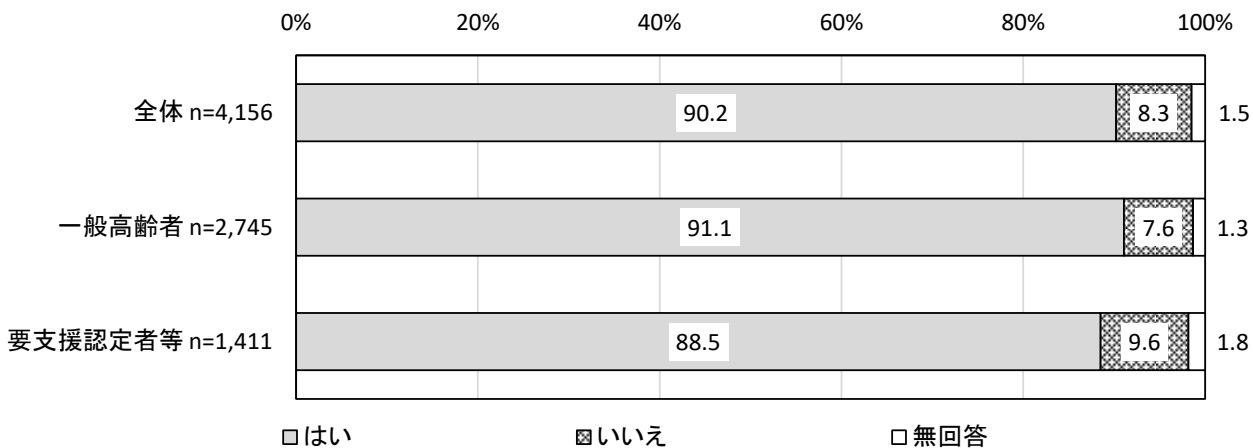
一般高齢者では、「はい」の割合が25.8%、「いいえ」の割合が72.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が42.8%、「いいえ」の割合が54.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で25.8%、要支援認定者等で42.8%となっており、17.0ポイントの差となっています。



問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が91.1%、「いいえ」の割合が7.6%となっています。
 要支援認定者等では、「はい」の割合が88.5%、「いいえ」の割合が9.6%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で7.6%、要支援認定者等で9.6%となっており、2.0ポイントの差となっています。

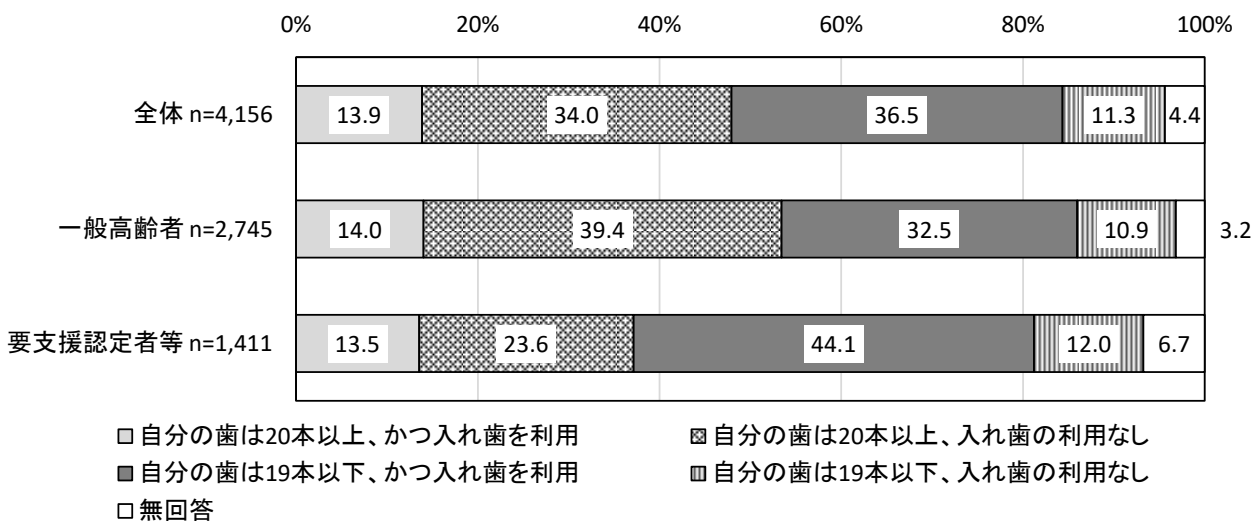


**問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（回答は1つ）**

一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が39.4%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が32.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が14.0%となっています。

要支援認定者等では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が44.1%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が23.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が13.5%となっています。

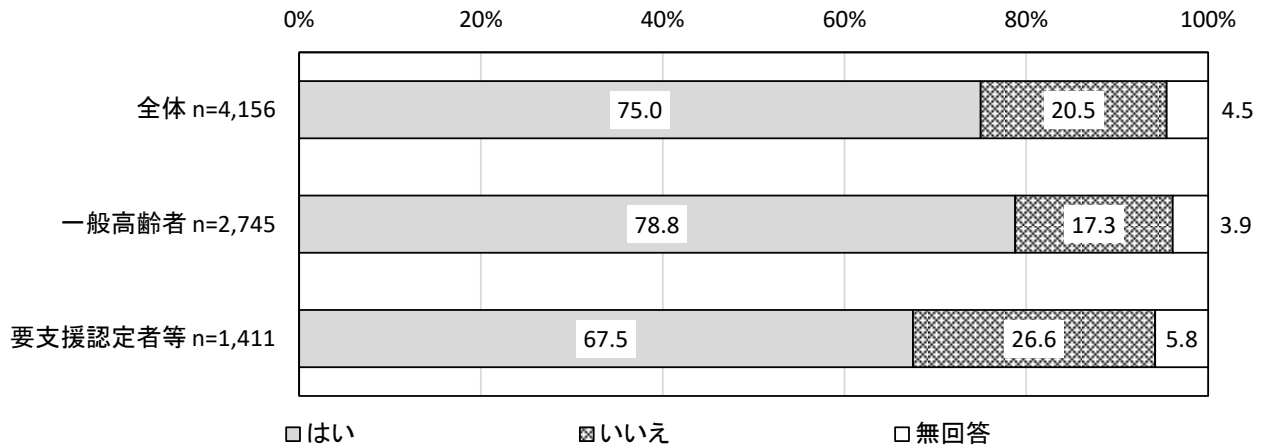
「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は20本以上の人』の割合は、一般高齢者で53.4%、要支援認定者等で37.1%となっており、16.3ポイントの差となっています。



問 19-1 噛み合わせは良いですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が78.8%、「いいえ」の割合が17.3%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が67.5%、「いいえ」の割合が26.6%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で17.3%、要支援認定者等で26.6%となっており、9.3ポイントの差となっています。

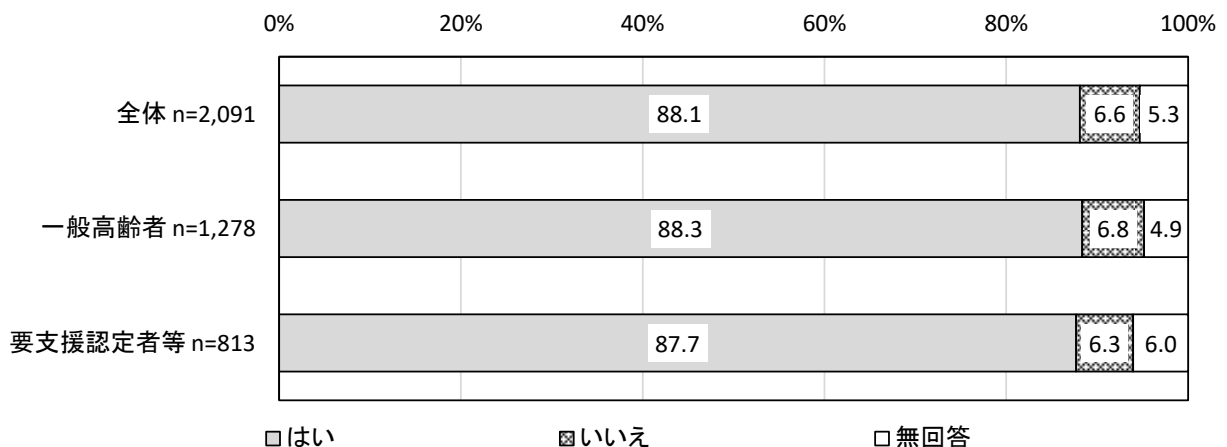


【問 19 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の人のみ】

問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が88.3%、「いいえ」の割合が6.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が6.3%となっています。

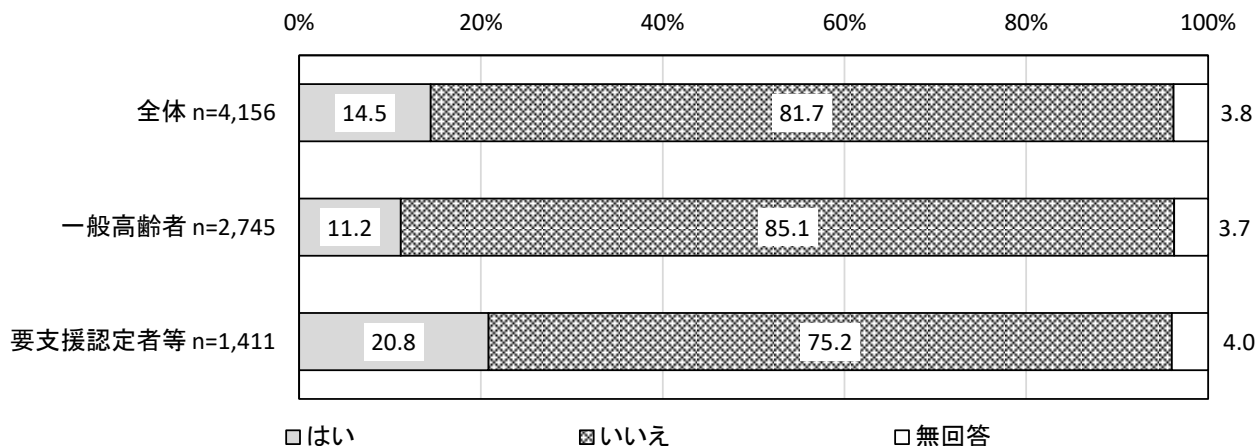
「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.8%、要支援認定者等で6.3%となっており、0.5ポイントの差となっています。



問 20 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が11.2%、「いいえ」の割合が85.1%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が20.8%、「いいえ」の割合が75.2%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で11.2%、要支援認定者等で20.8%となっており、9.6ポイントの差となっています。

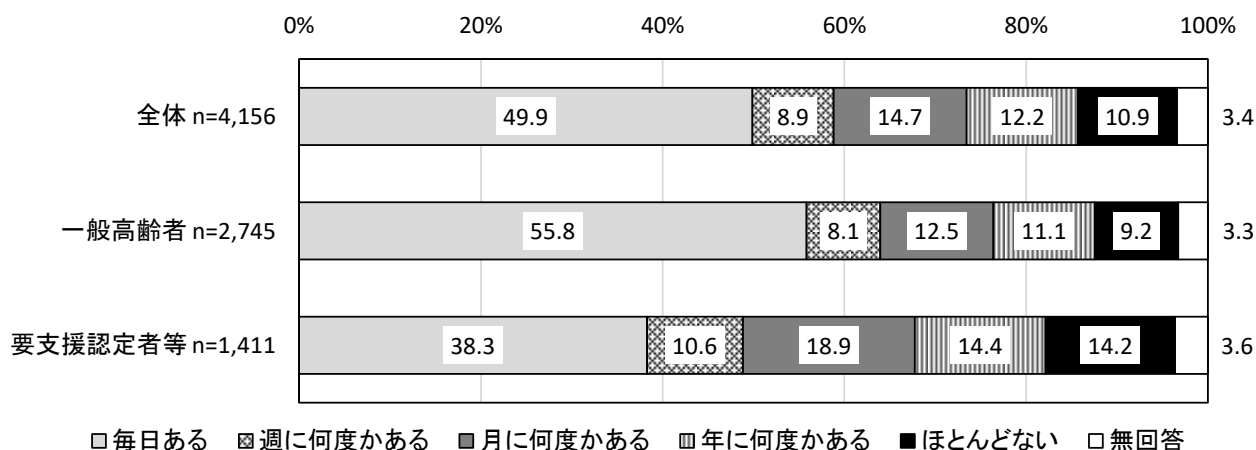


問 21 どなたかと食事をとにもする機会がありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が55.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が12.5%となっています。

要支援認定者等では、「毎日ある」の割合が38.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が18.9%、「年に何度かある」の割合が14.4%となっています。

「毎日ある」の割合は、一般高齢者で55.8%、要支援認定者等で38.3%となっており、17.5ポイントの差となっています。また、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で9.2%、要支援認定者等で14.2%となっており、5.0ポイントの差となっています。

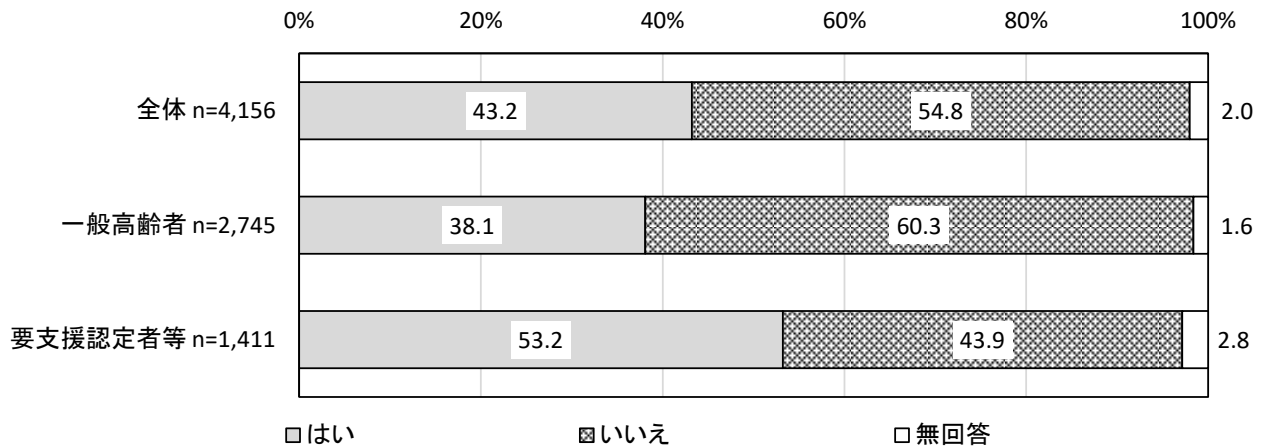


（４）毎日の生活について

問 22 物忘れが多いと感じますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が38.1%、「いいえ」の割合が60.3%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が53.2%、「いいえ」の割合が43.9%となっています。

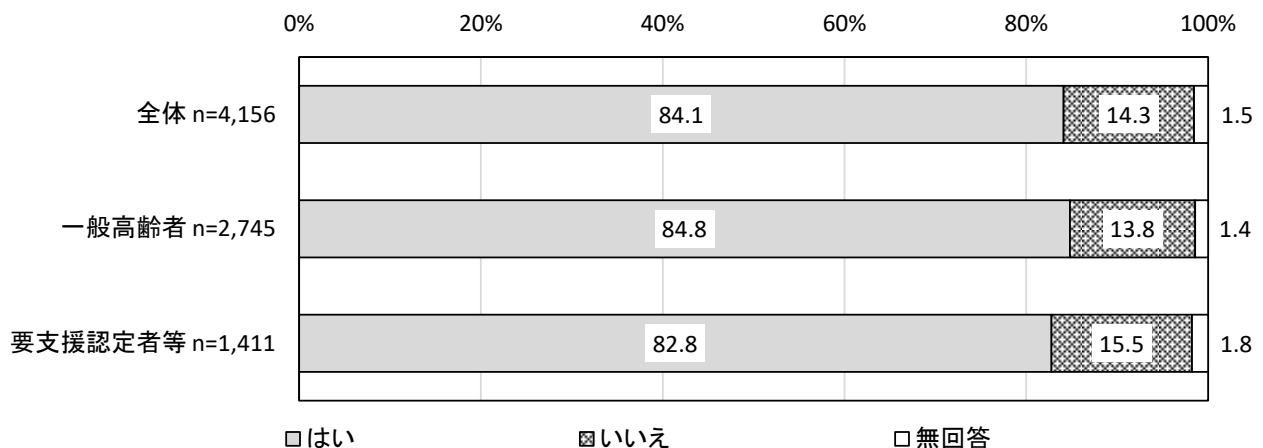
「はい」の割合は、一般高齢者で38.1%、要支援認定者等で53.2%となっており、15.1ポイントの差となっています。



問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が84.8%、「いいえ」の割合が13.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が82.8%、「いいえ」の割合が15.5%となっています。

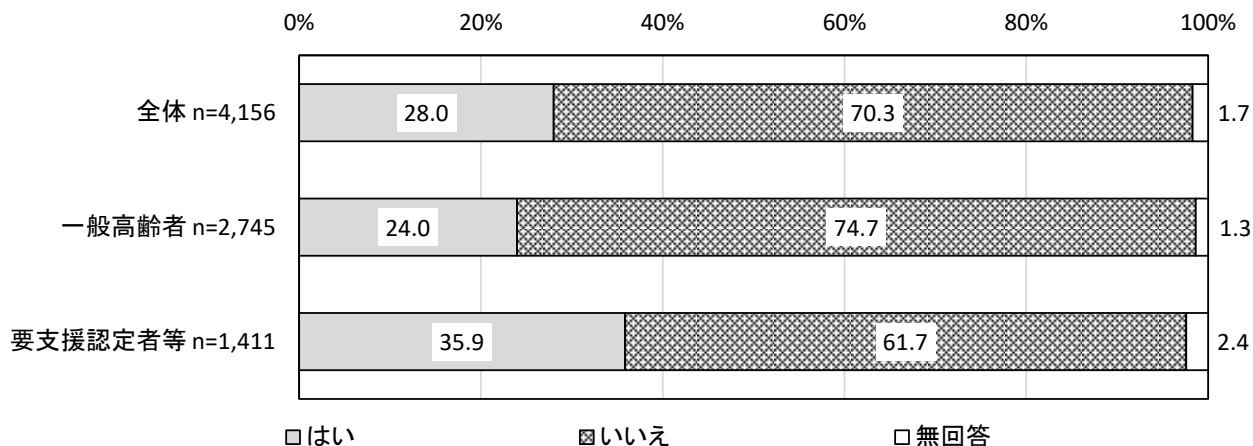
「いいえ」の割合は、一般高齢者で13.8%、要支援認定者等で15.5%となっており、1.7ポイントの差となっています。



問 24 今日が何月何日かわからないときがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が24.0%、「いいえ」の割合が74.7%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が35.9%、「いいえ」の割合が61.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で24.0%、要支援認定者等で35.9%となっており、11.9ポイントの差となっています。

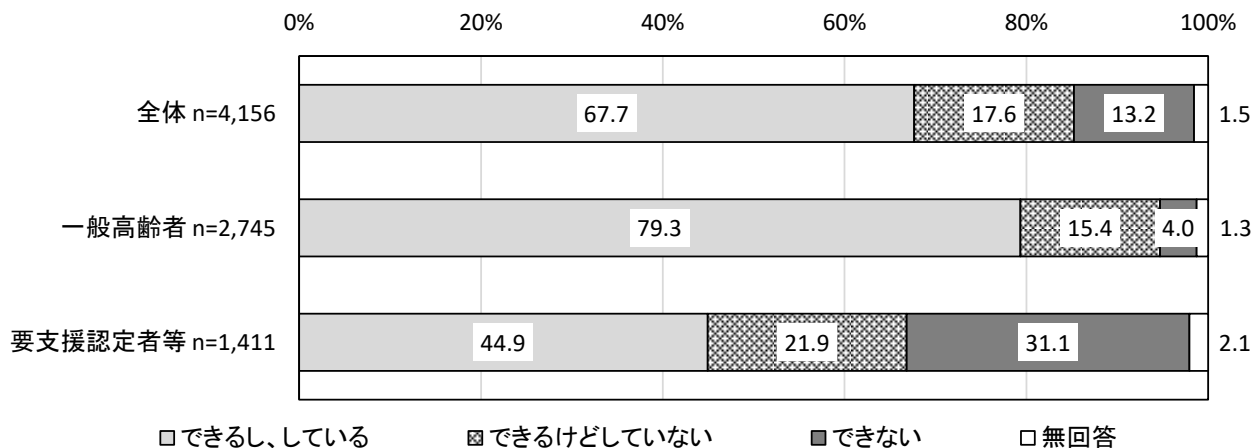


問 25 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が79.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.4%となっています。

要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が44.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が31.1%、「できるけどしていない」の割合が21.9%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で4.0%、要支援認定者等で31.1%となっており、27.1ポイントの差となっています。

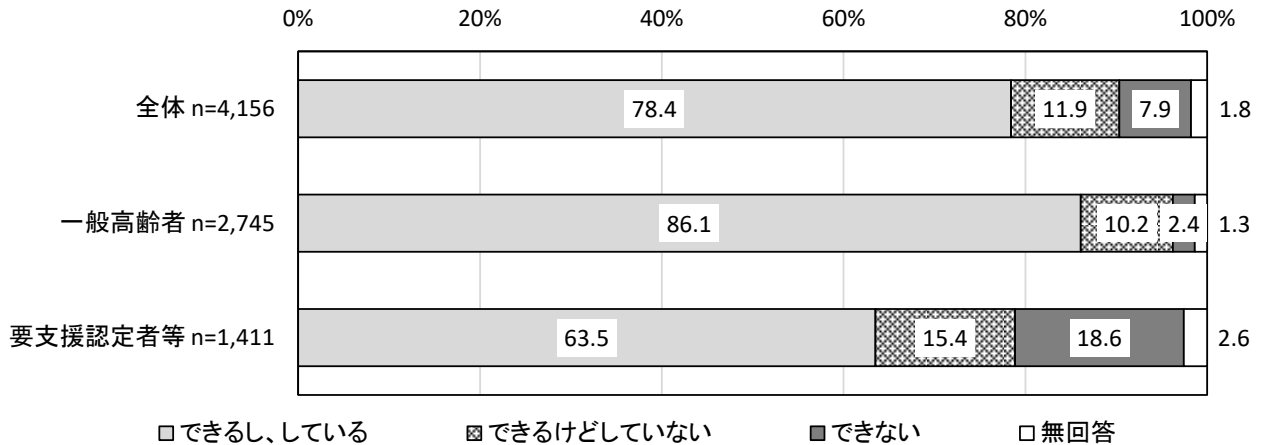


問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が86.1%と最も高くなっています。

要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が63.5%と最も高く、次いで「できない」の割合が18.6%、「できるけどしていない」の割合が15.4%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で2.4%、要支援認定者等で18.6%となっており、16.2ポイントの差となっています。

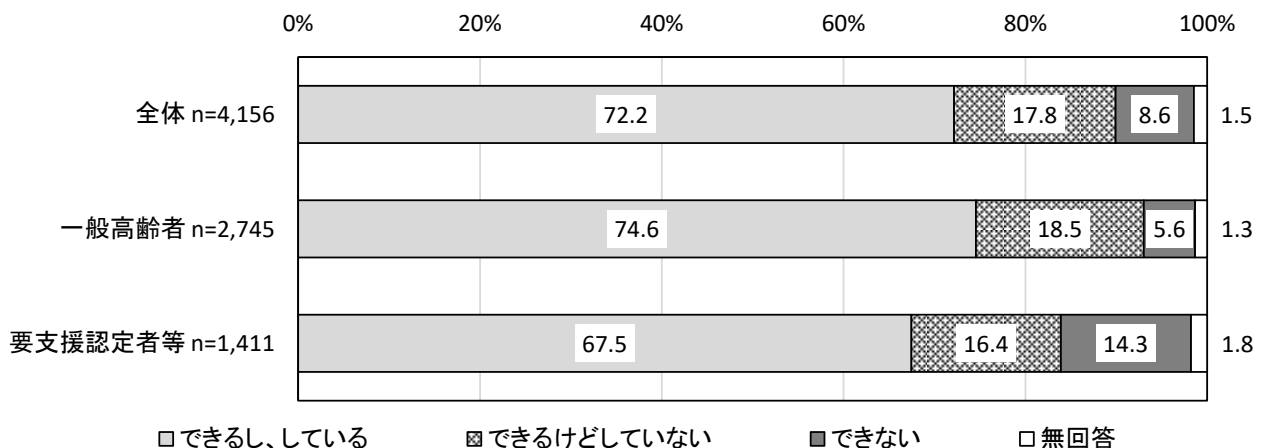


問 27 自分で食事の用意をしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が18.5%となっています。

要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が67.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が16.4%、「できない」の割合が14.3%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で5.6%、要支援認定者等で14.3%となっており、8.7ポイントの差となっています。

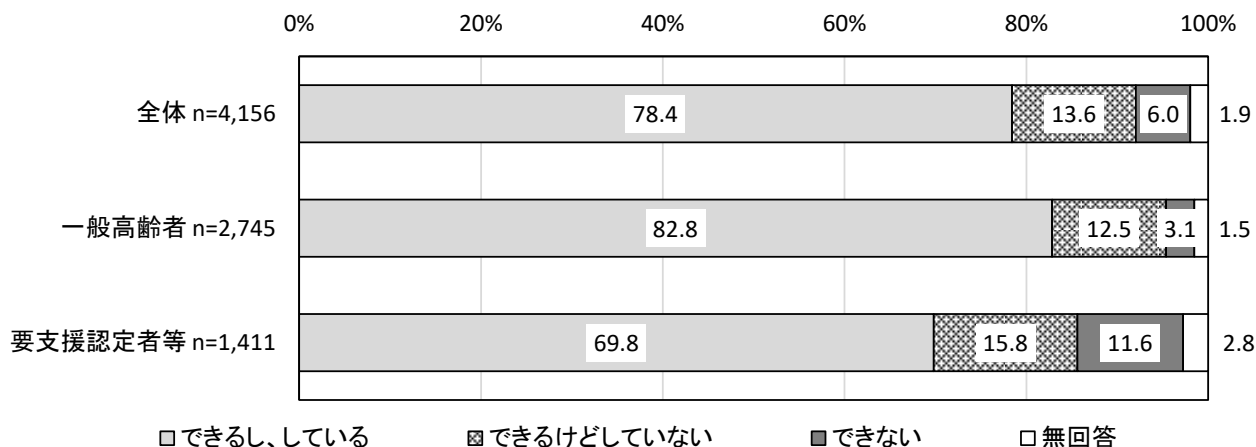


問 28 自分で請求書の支払いをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が82.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.5%となっています。

要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が69.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が15.8%、「できない」の割合が11.6%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で3.1%、要支援認定者等で11.6%となっており、8.5ポイントの差となっています。

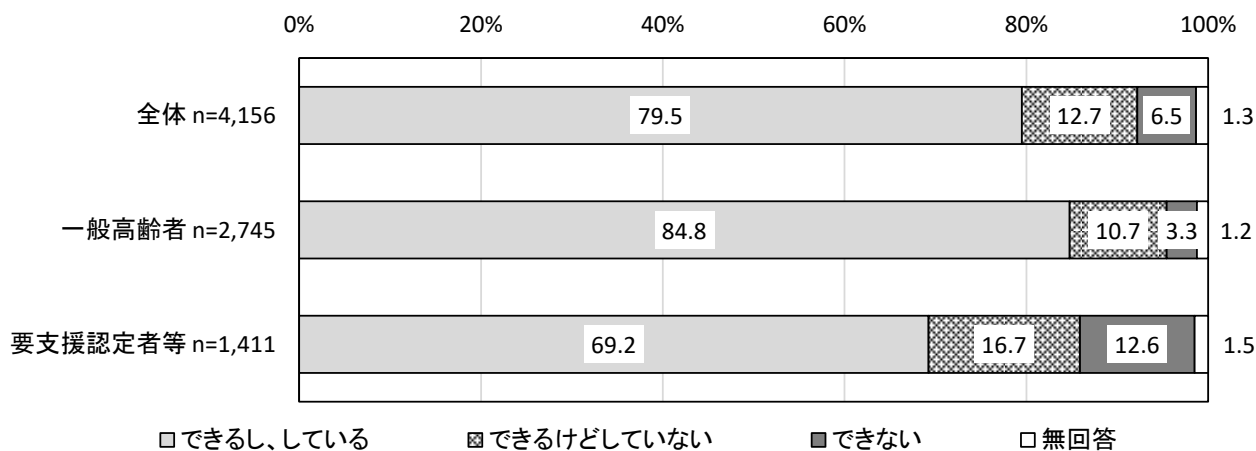


問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が84.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が10.7%となっています。

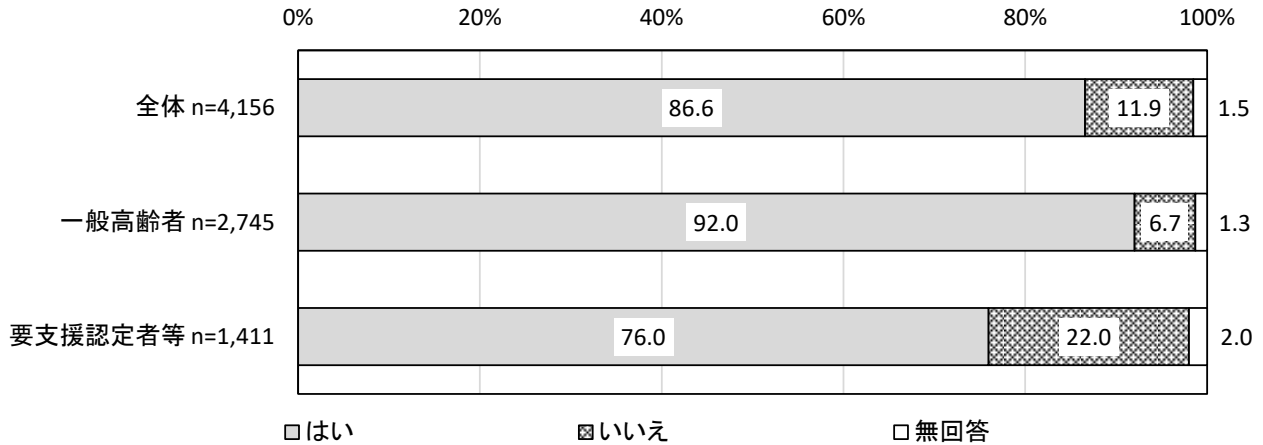
要支援認定者等では、「できるし、している」の割合が69.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が16.7%、「できない」の割合が12.6%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で3.3%、要支援認定者等で12.6%となっており、9.3ポイントの差となっています。



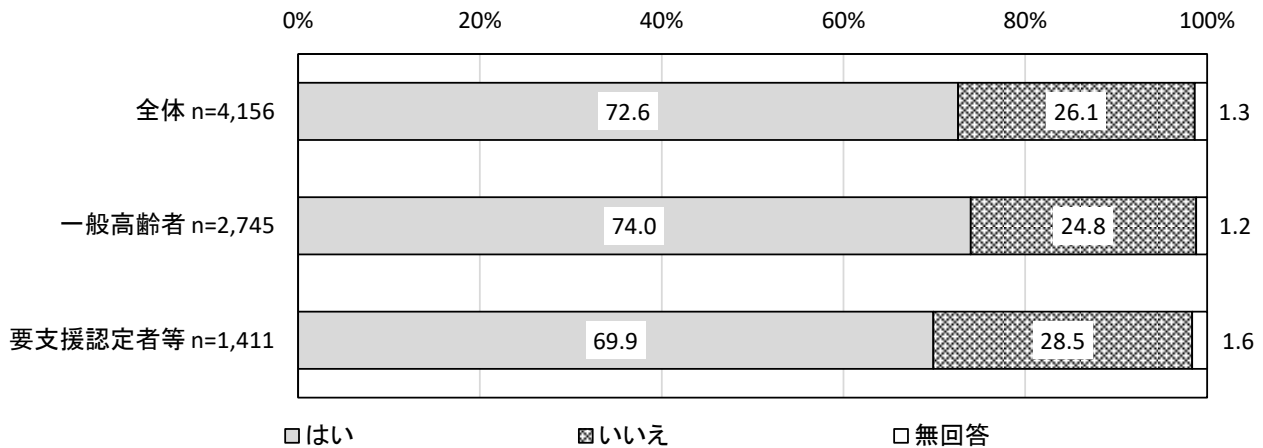
問 30 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が92.0%、「いいえ」の割合が6.7%となっています。
 要支援認定者等では、「はい」の割合が76.0%、「いいえ」の割合が22.0%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で6.7%、要支援認定者等で22.0%となっており、15.3ポイントの差となっています。



問 31 新聞を読んでいますか（回答は1つ）

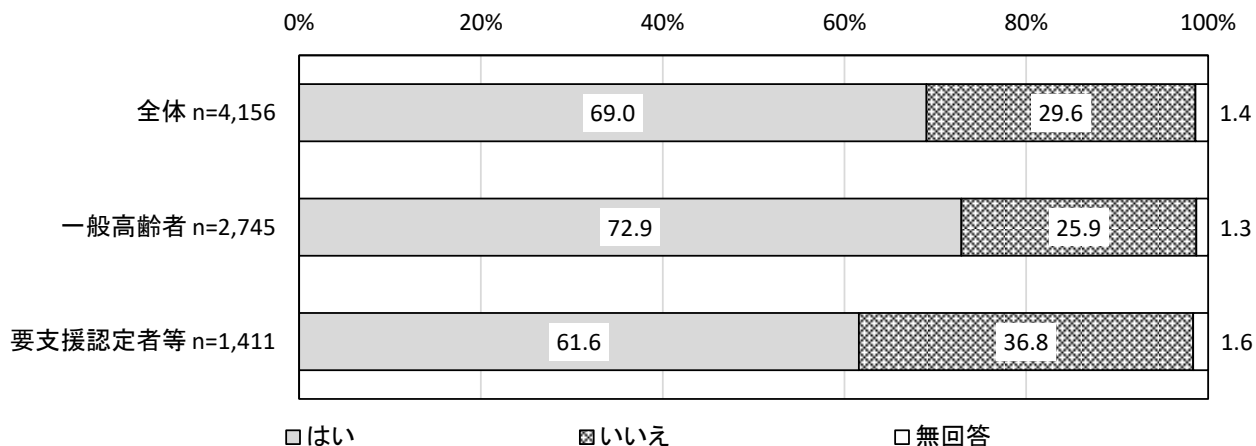
一般高齢者では、「はい」の割合が74.0%、「いいえ」の割合が24.8%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が69.9%、「いいえ」の割合が28.5%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で24.8%、要支援認定者等で28.5%となっており、3.7ポイントの差となっています。



問 32 本や雑誌を読んでいますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が72.9%、「いいえ」の割合が25.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が61.6%、「いいえ」の割合が36.8%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で25.9%、要支援認定者等で36.8%となっており、10.9ポイントの差となっています。



問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が89.1%、「いいえ」の割合が9.7%となっています。

要支援認定者等では、「はい」の割合が88.9%、「いいえ」の割合が9.7%となっています。

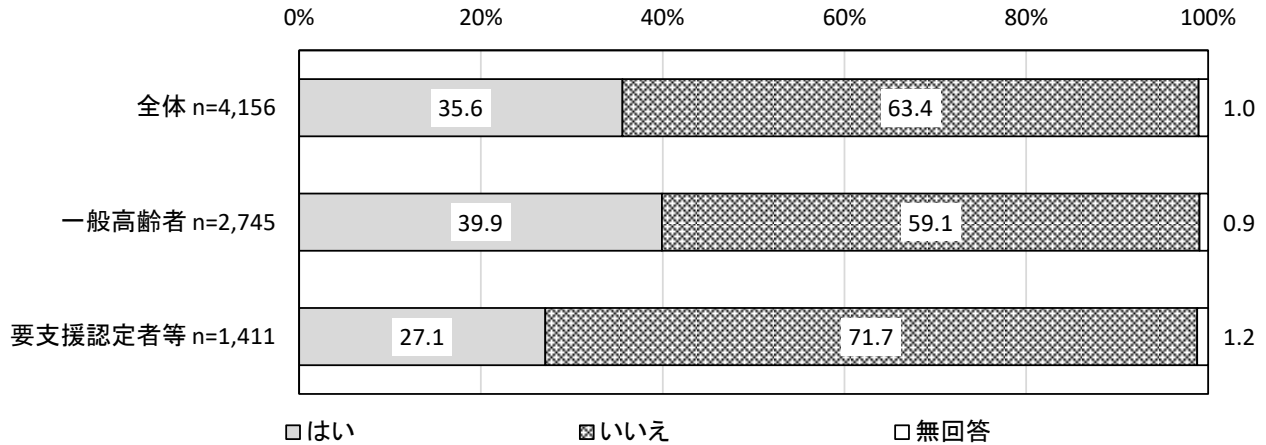
“健康についての記事や番組への関心”には、大きな差異はありません。



問 34 友人の家を訪ねていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が39.9%、「いいえ」の割合が59.1%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が27.1%、「いいえ」の割合が71.7%となっています。

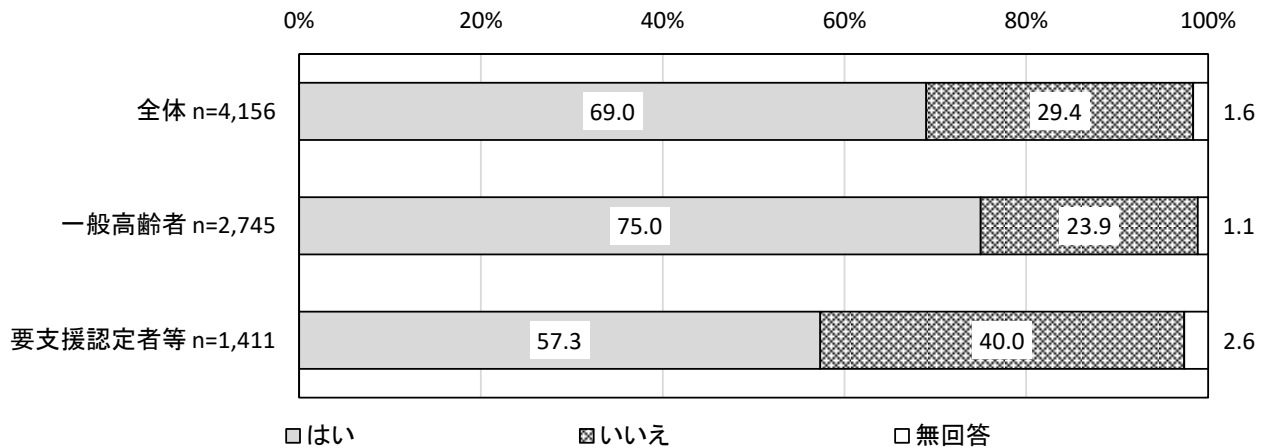
「いいえ」の割合は、一般高齢者で59.1%、要支援認定者等で71.7%となっており、12.6ポイントの差となっています。



問 35 家族や友人の相談にのっていますか（回答は1つ）

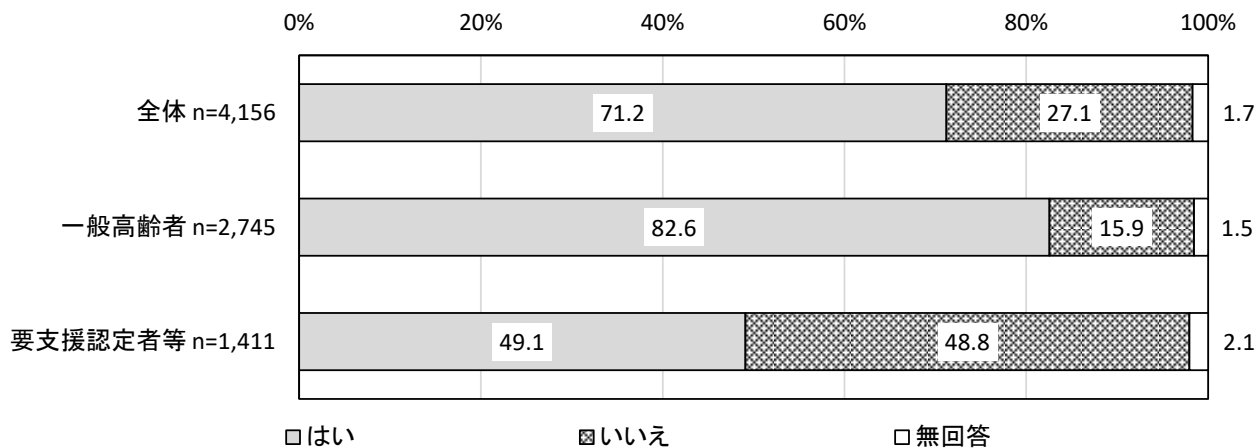
一般高齢者では、「はい」の割合が75.0%、「いいえ」の割合が23.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が57.3%、「いいえ」の割合が40.0%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で23.9%、要支援認定者等で40.0%となっており、16.1ポイントの差となっています。



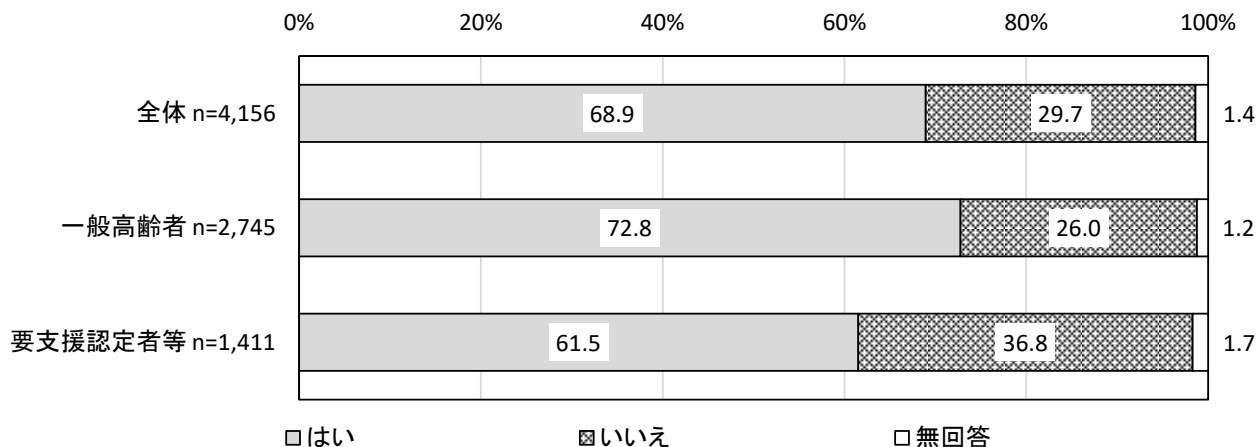
問 36 病人を見舞うことができますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が82.6%、「いいえ」の割合が15.9%となっています。
 要支援認定者等では、「はい」の割合が49.1%、「いいえ」の割合が48.8%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で15.9%、要支援認定者等で48.8%となっており、32.9ポイントの差となっています。



問 37 若い人に自分から話しかけることがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が72.8%、「いいえ」の割合が26.0%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が61.5%、「いいえ」の割合が36.8%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で26.0%、要支援認定者等で36.8%となっており、10.8ポイントの差となっています。

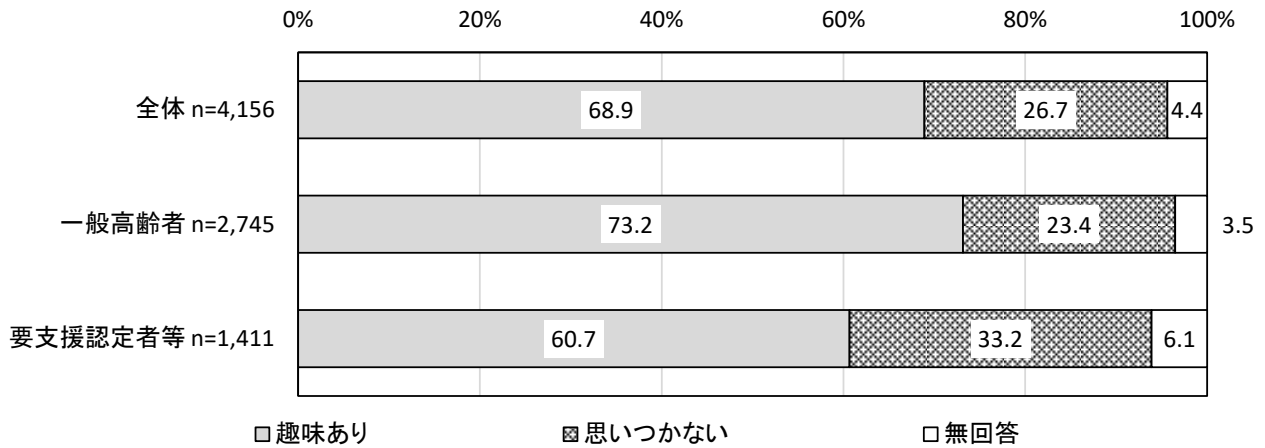


問 38 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（回答は1つ）

一般高齢者では、「趣味あり」の割合が73.2%、「思いつかない」の割合が23.4%となっています。

要支援認定者等では、「趣味あり」の割合が60.7%、「思いつかない」の割合が33.2%となっています。

「趣味あり」の割合は、一般高齢者で73.2%、要支援認定者等で60.7%となっており、12.5ポイントの差となっています。



■具体的な内容

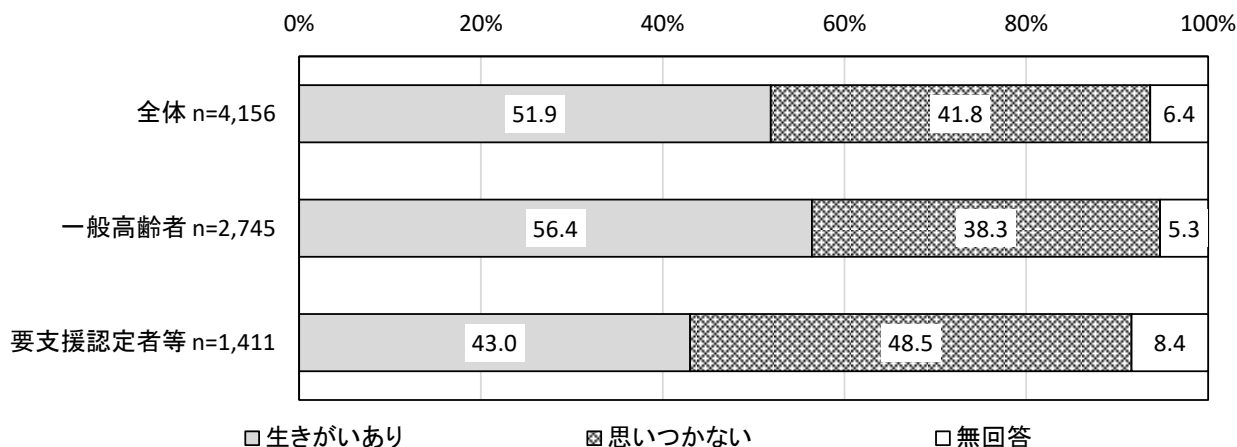
- ・ゴルフ、グラウンドゴルフ
- ・読書
- ・カラオケ
- ・テレビ鑑賞、映画鑑賞
- ・パソコン
- ・ガーデニング、草花の手入れ、家庭菜園
- ・手芸、編み物
- ・スポーツ、体を動かすこと
- ・旅行
- ・音楽鑑賞、楽器演奏 等

問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（回答は1つ）

一般高齢者では、「生きがいあり」の割合が56.4%、「思いつかない」の割合が38.3%となっています。

要支援認定者等では、「生きがいあり」の割合が43.0%、「思いつかない」の割合が48.5%となっています。

「生きがいあり」の割合は、一般高齢者で56.4%、要支援認定者等で43.0%となっており、13.4ポイントの差となっています。



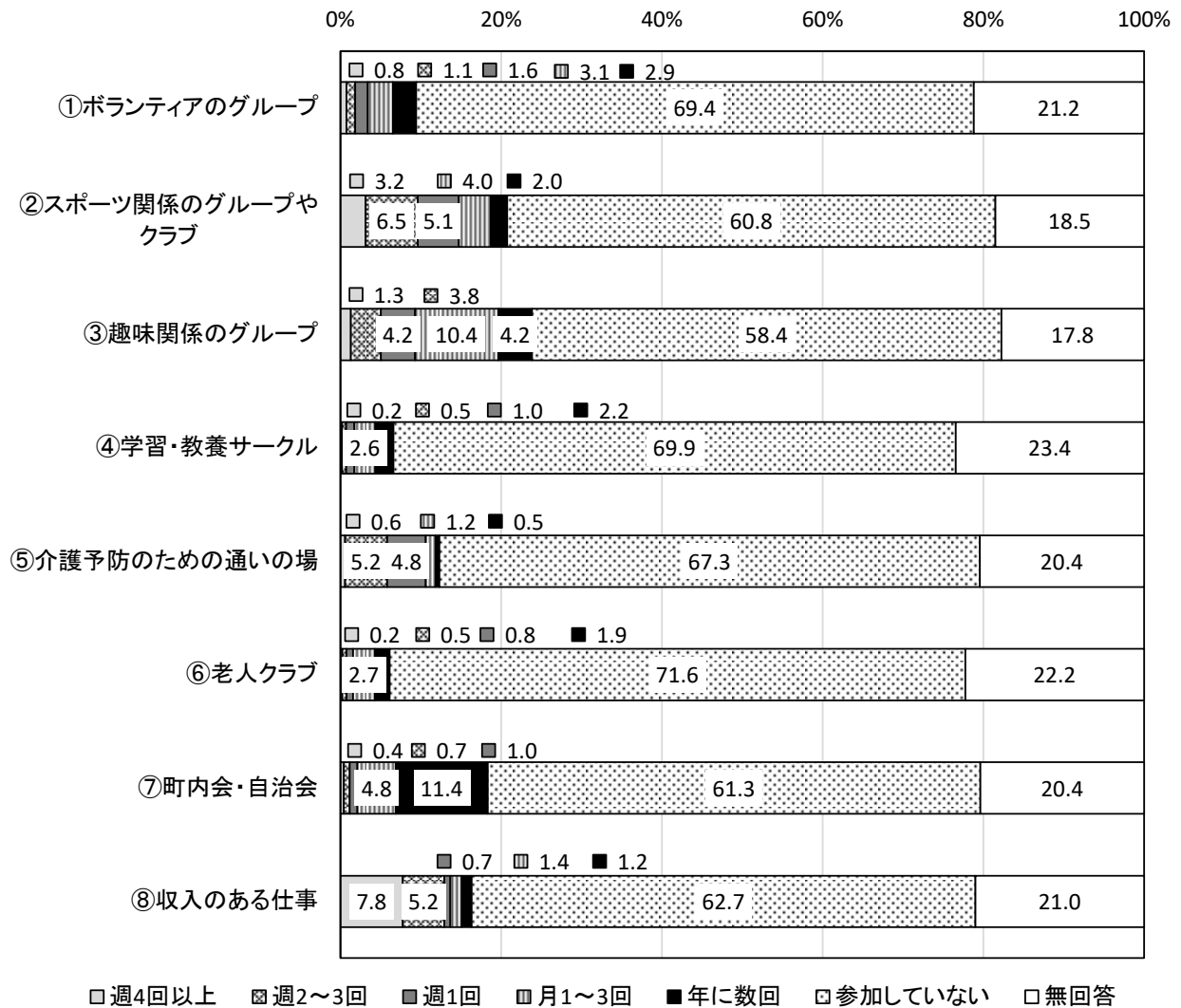
■具体的な内容

- 子ども、孫、ひ孫の成長
- 健康でいること
- 友人との時間
- ゴルフ
- 趣味
- 家族との時間
- 毎日の生活
- 旅行
- 仕事
- ペットとの生活

（5）地域での活動について

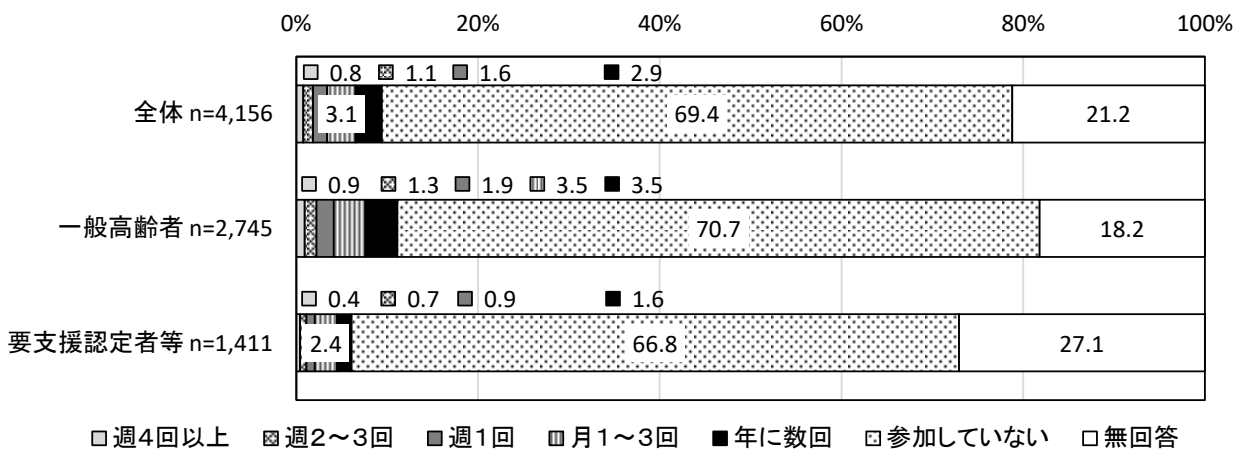
問 40 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ回答は1つ）

年に数回以上参加している割合では、③趣味関係のグループが最も高く、次いで、②スポーツ関係のグループやクラブ、⑦町内会・自治会となっています。



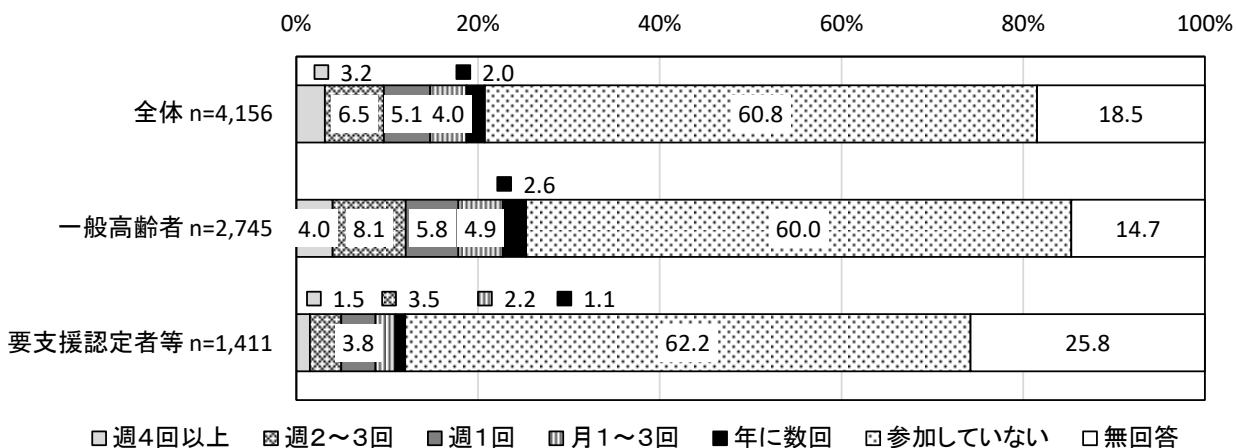
①ボランティアのグループ

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が11.1%、要支援認定者等が6.0%となっています。



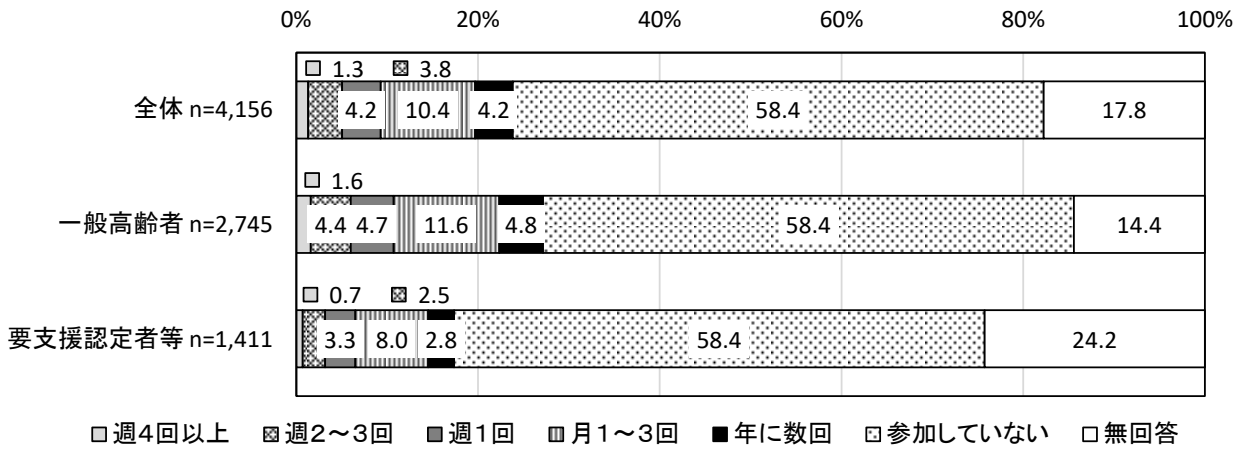
②スポーツ関係のグループやクラブ

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が25.4%、要支援認定者等が12.1%となっています。



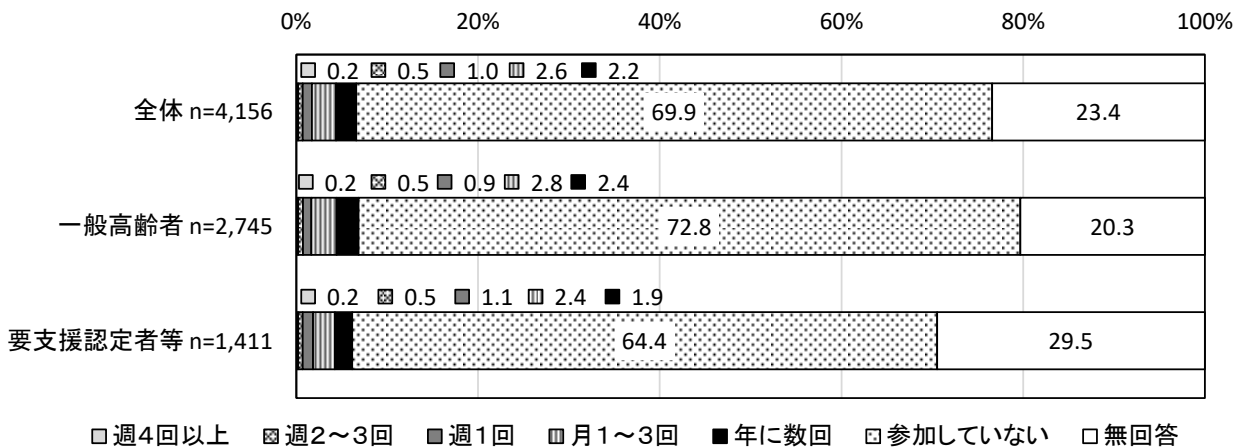
③趣味関係のグループ

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が 27.1%、要支援認定者等が 17.3%となっています。



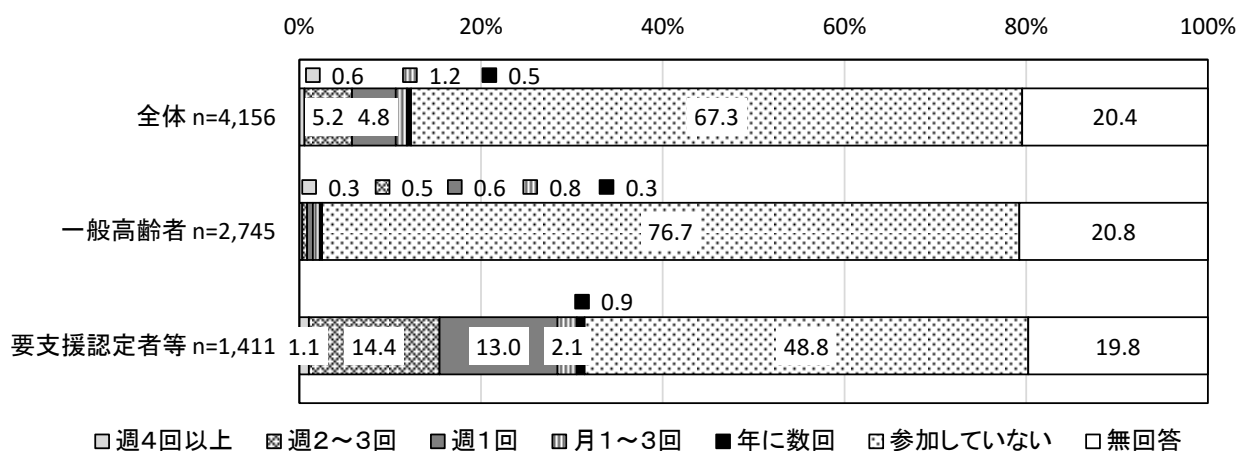
④学習・教養サークル

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が 6.8%、要支援認定者等が 6.1%となっています。



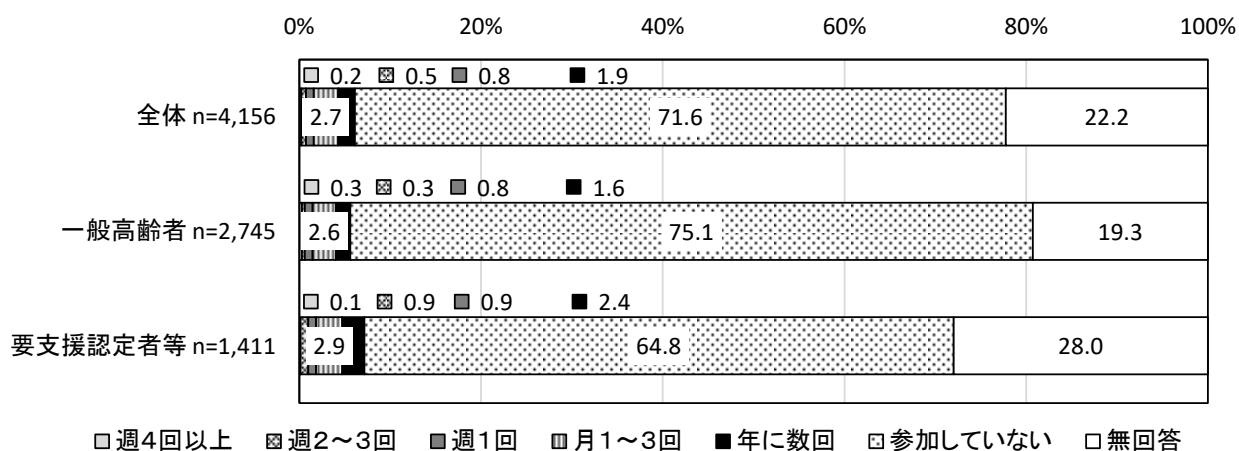
⑤介護予防のための通いの場

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が2.5%、要支援認定者等が31.5%となっています。特に「週2～3回」「週1回」で、一般高齢者に比べ、要支援認定者等の割合が高くなっています。



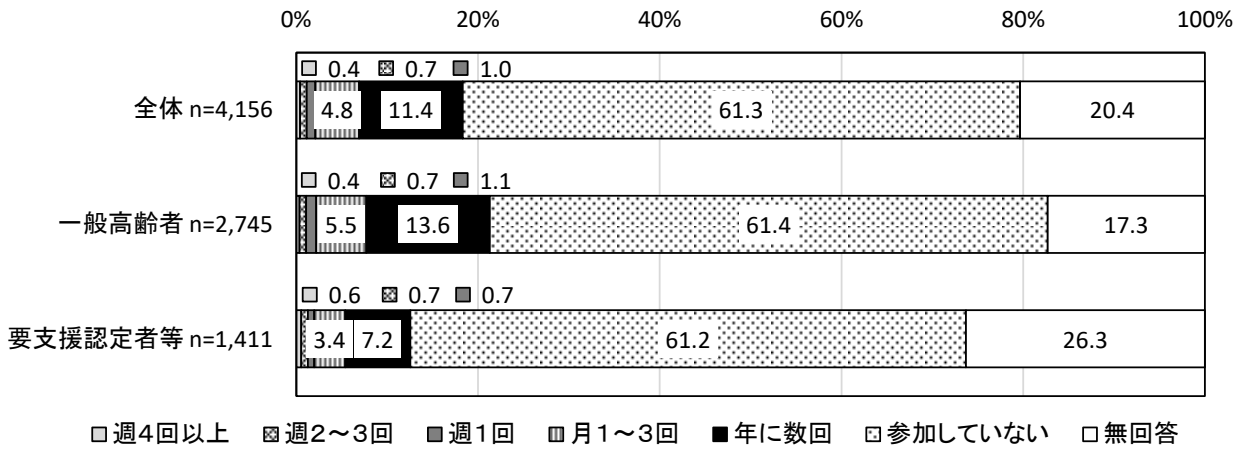
⑥老人クラブ

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が5.6%、要支援認定者等が7.2%となっています。



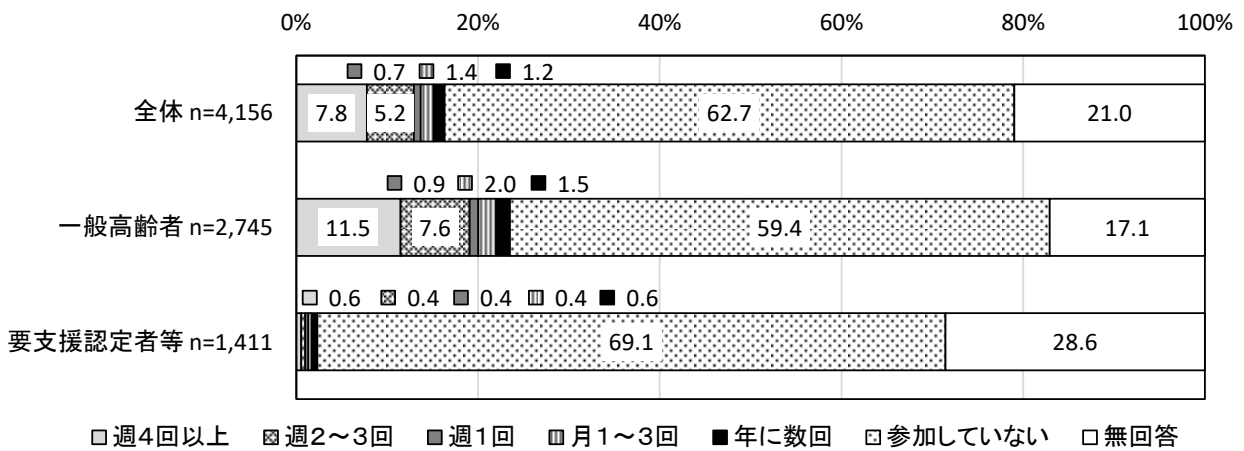
⑦町内会・自治会

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が 21.3%、要支援認定者等が 12.6%となっています。



⑧収入のある仕事

年に数回以上参加している割合では、一般高齢者が 23.5%、要支援認定者等が 2.4%となっています。特に「週4回以上」「週2~3回」で、要支援認定者等に比べ、一般高齢者の割合が高くなっています。

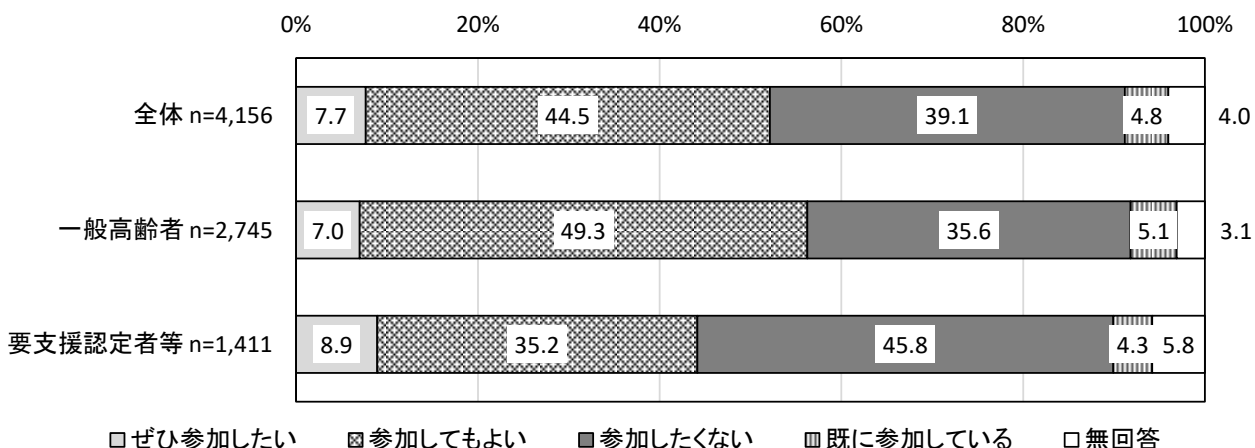


問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が49.3%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が35.6%、「是非参加したい」の割合が7.0%となっています。

要支援認定者等では、「参加したくない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が35.2%、「是非参加したい」の割合が8.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が高くなっています。

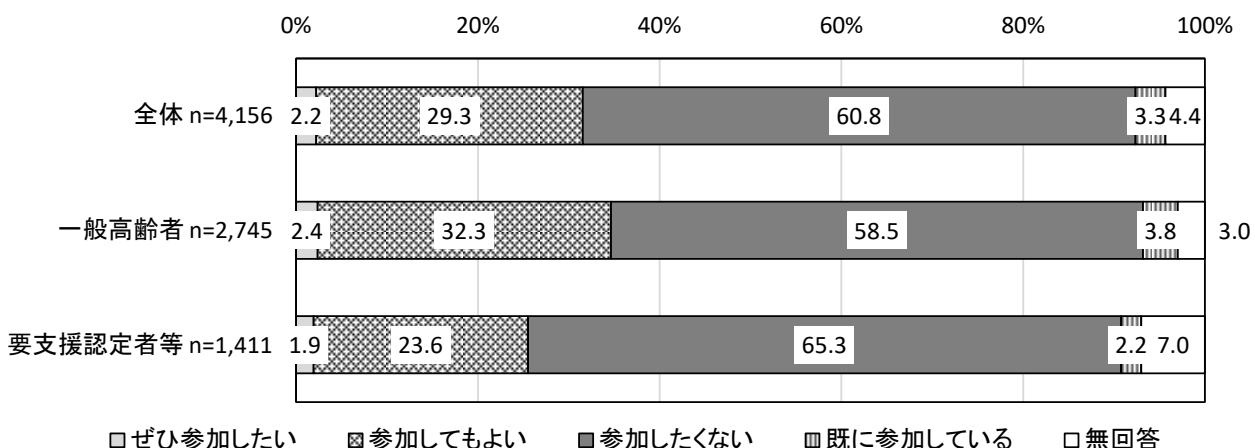


問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が58.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が32.3%となっています。

要支援認定者等では、「参加したくない」の割合が65.3%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が23.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が高くなっています。



（6）たすけあいについて

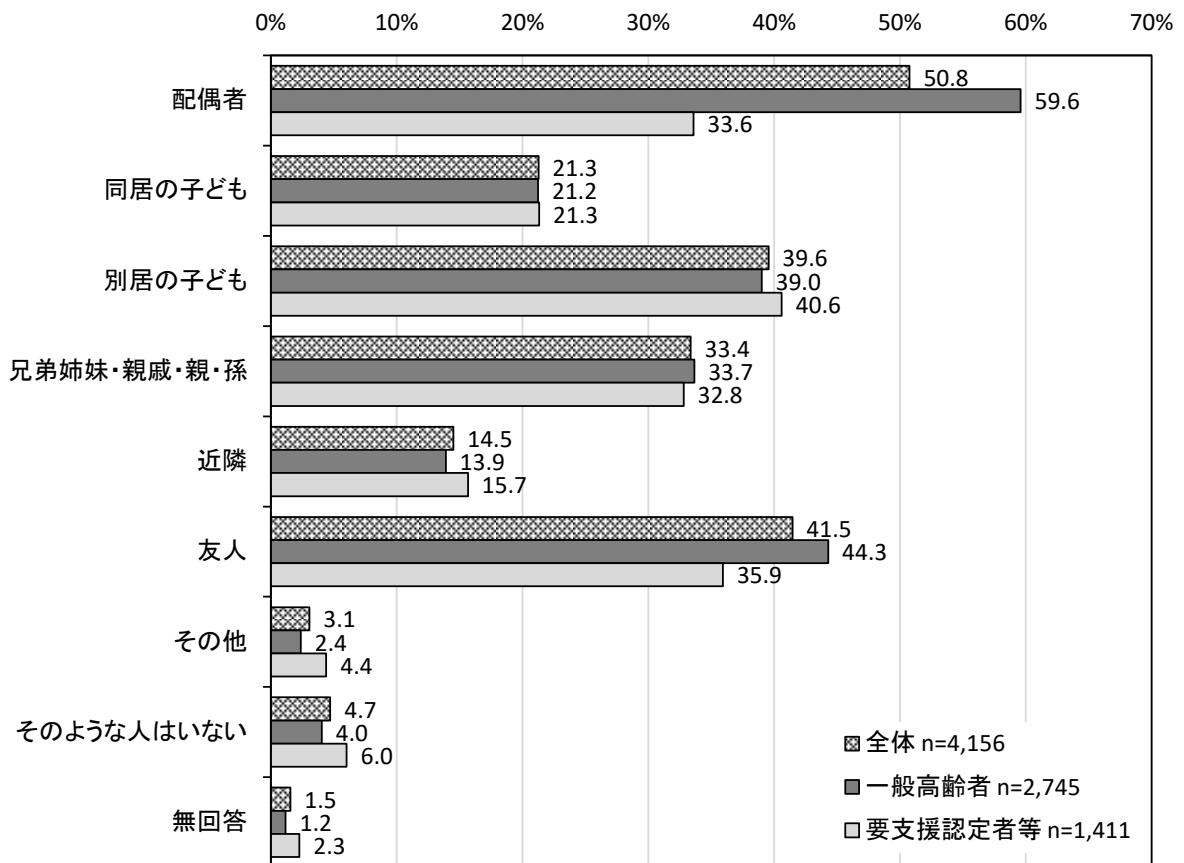
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 43 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が59.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.3%、「別居の子ども」の割合が39.0%となっています。

要支援認定者等では、「別居の子ども」の割合が40.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が35.9%、「配偶者」の割合が33.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

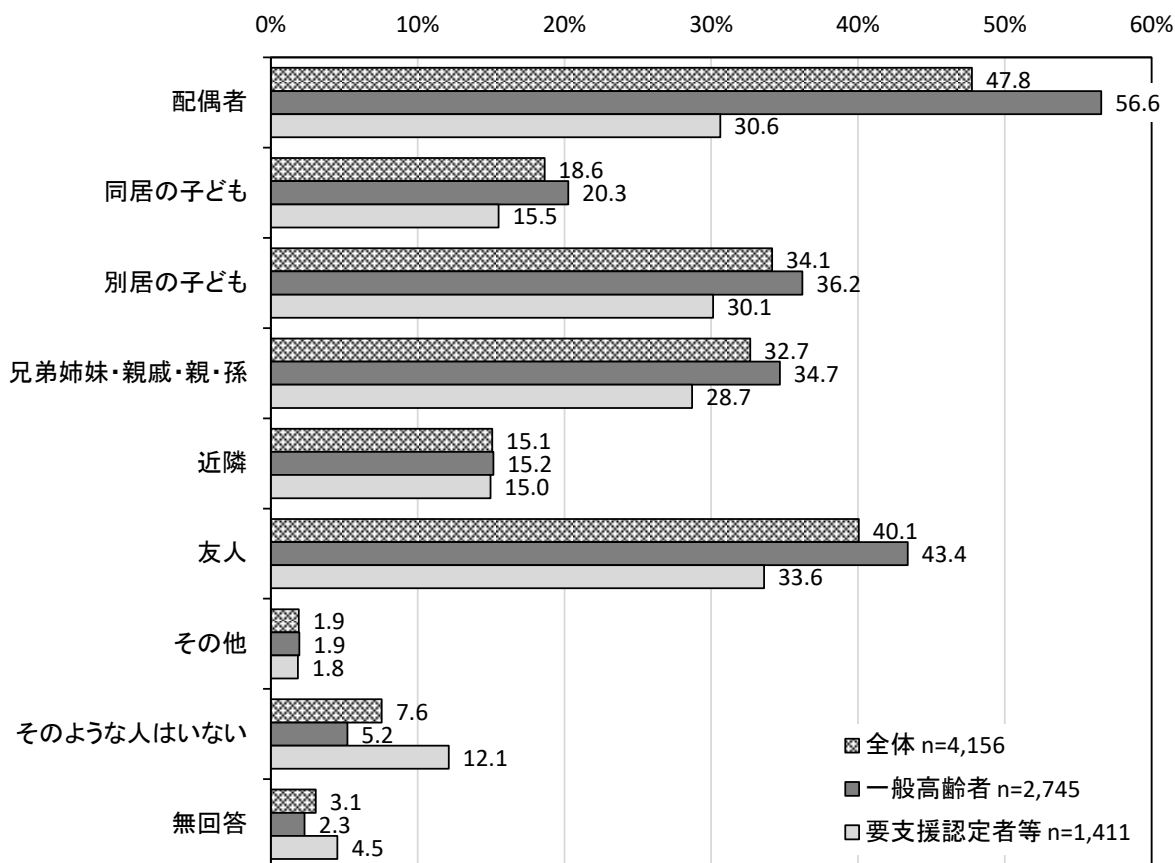


問 44 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が56.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.4%、「別居の子ども」の割合が36.2%となっています。

要支援認定者等では、「友人」の割合が33.6%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が30.6%、「別居の子ども」の割合が30.1%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

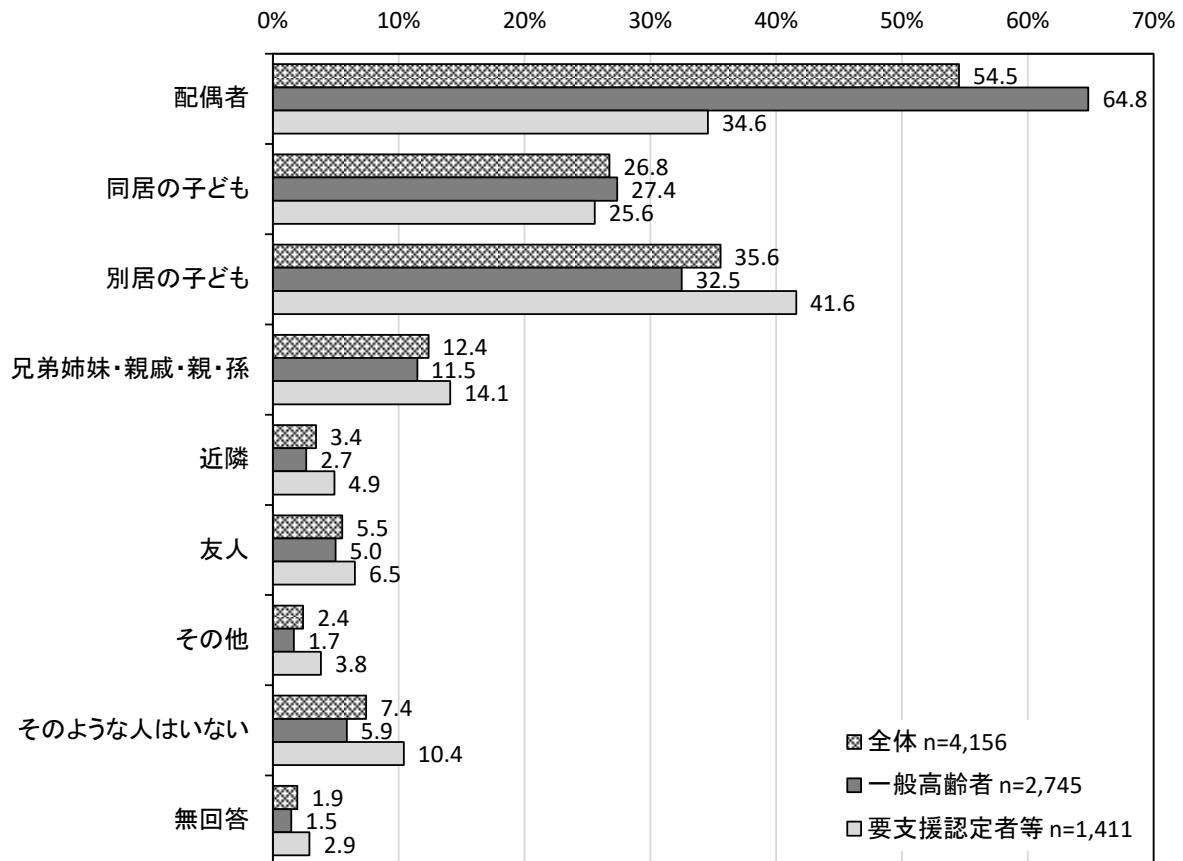


**問 45 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
（あてはまるものすべてに回答）**

一般高齢者では、「配偶者」の割合が64.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が32.5%、「同居の子ども」の割合が27.4%となっています。

要支援認定者等では、「別居の子ども」の割合が41.6%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が34.6%、「同居の子ども」の割合が25.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が特に高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で主に「別居の子ども」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

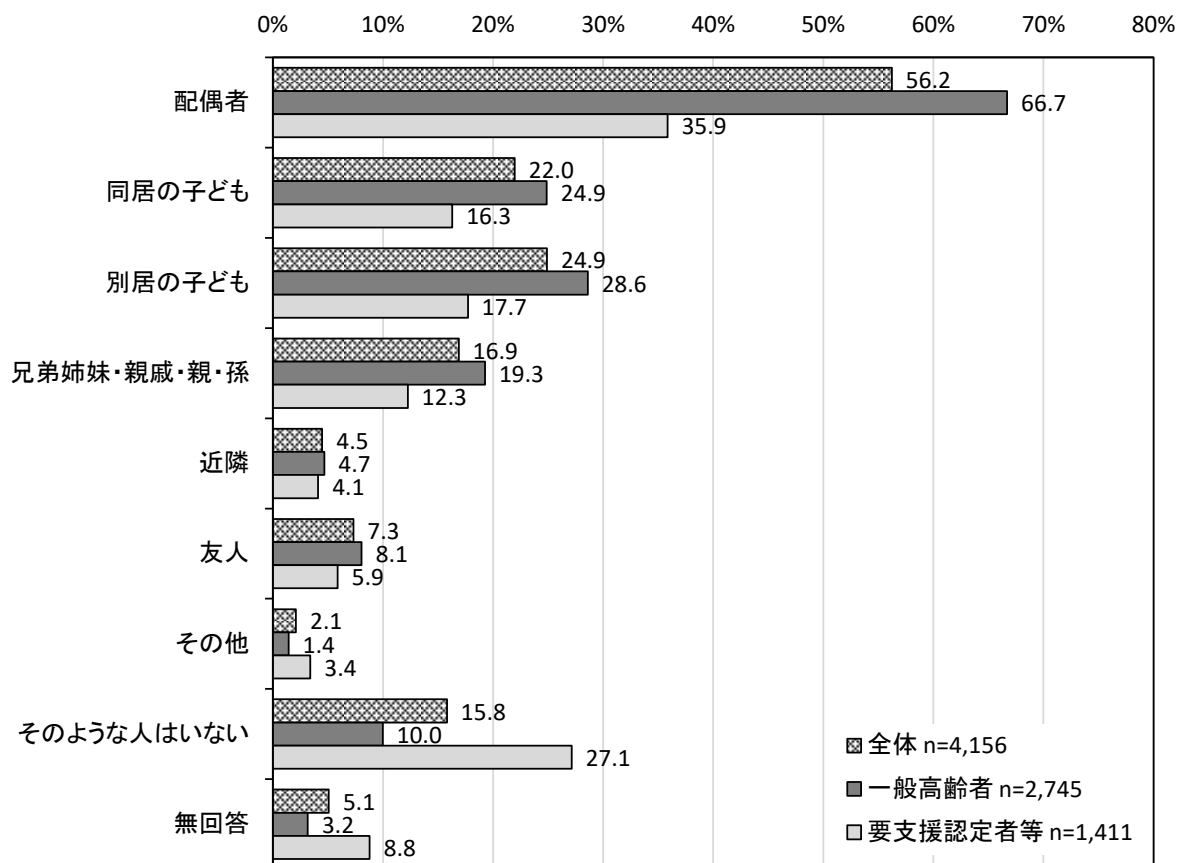


問 46 反対に、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が66.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が28.6%、「同居の子ども」の割合が24.9%となっています。

要支援認定者等では、「配偶者」の割合が35.9%と最も高く、次いで「そのような人はいない」の割合が27.1%、「別居の子ども」の割合が17.7%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

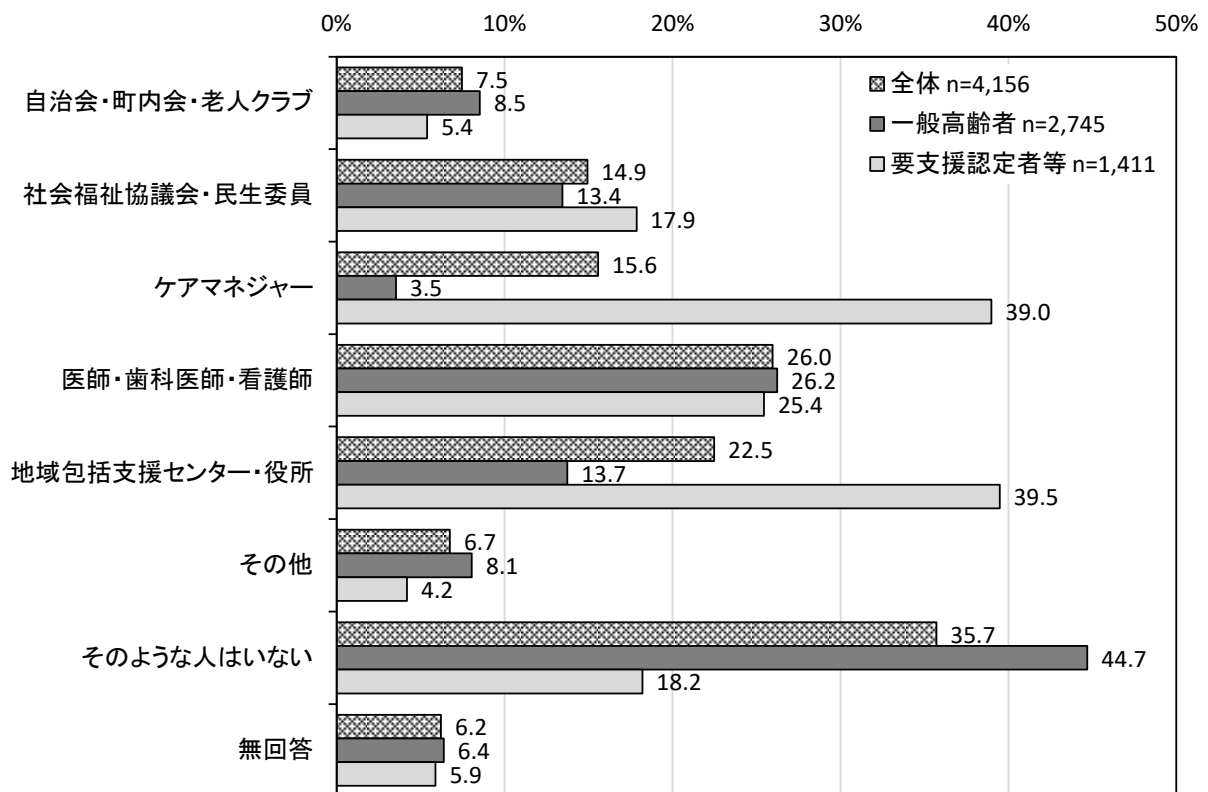


**問 47 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（あてはまるものすべてに回答）**

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 26.2%、「地域包括支援センター・役所」の割合が 13.7%となっています。

要支援認定者等では、「地域包括支援センター・役所」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 39.0%、「医師・歯科医師・看護師」の割合が 25.4%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・市役所」の割合が高くなっています。

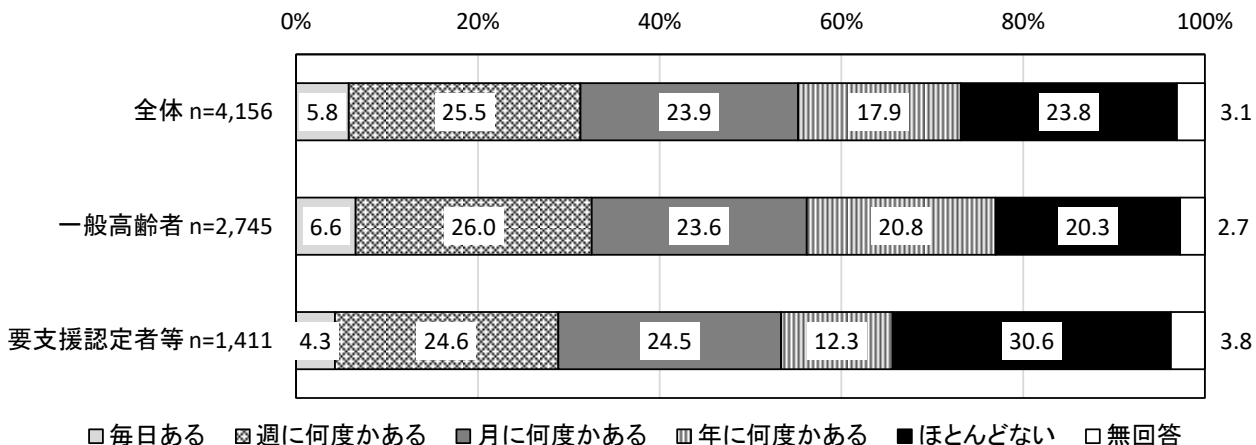


問 48 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「週に何度かある」の割合が26.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が23.6%、「年に何度かある」の割合が20.8%となっています。

要支援認定者等では、「ほとんどない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が24.6%、「月に何度かある」の割合が24.5%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「年に何度かある」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

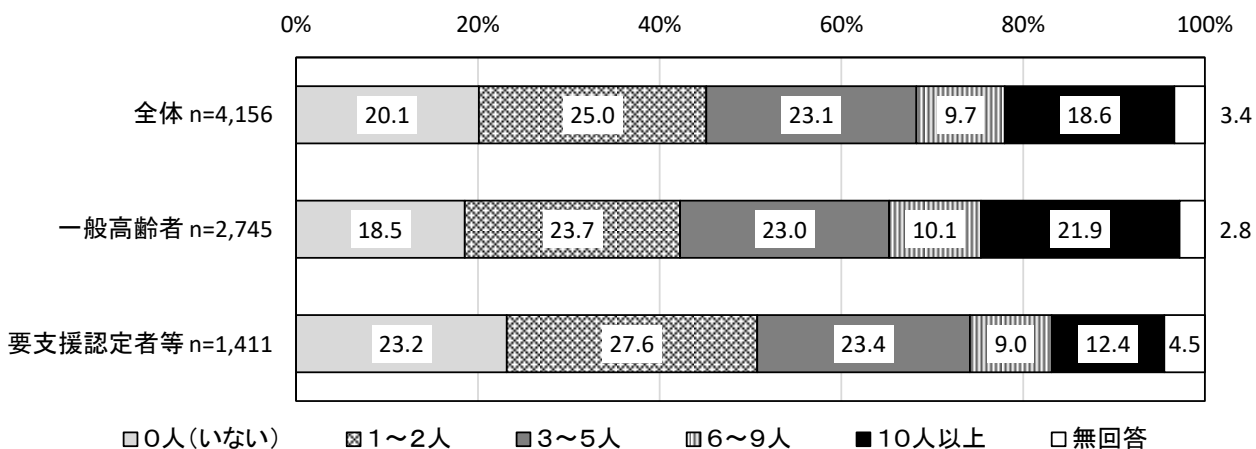


**問 49 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（回答は1つ）**

一般高齢者では、「1～2人」の割合が23.7%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が23.0%、「10人以上」の割合が21.9%となっています。

要支援認定者等では、「1～2人」の割合が27.6%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が23.4%、「0人（いない）」の割合が23.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「10人以上」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「0人（いない）」の割合が高くなっています。

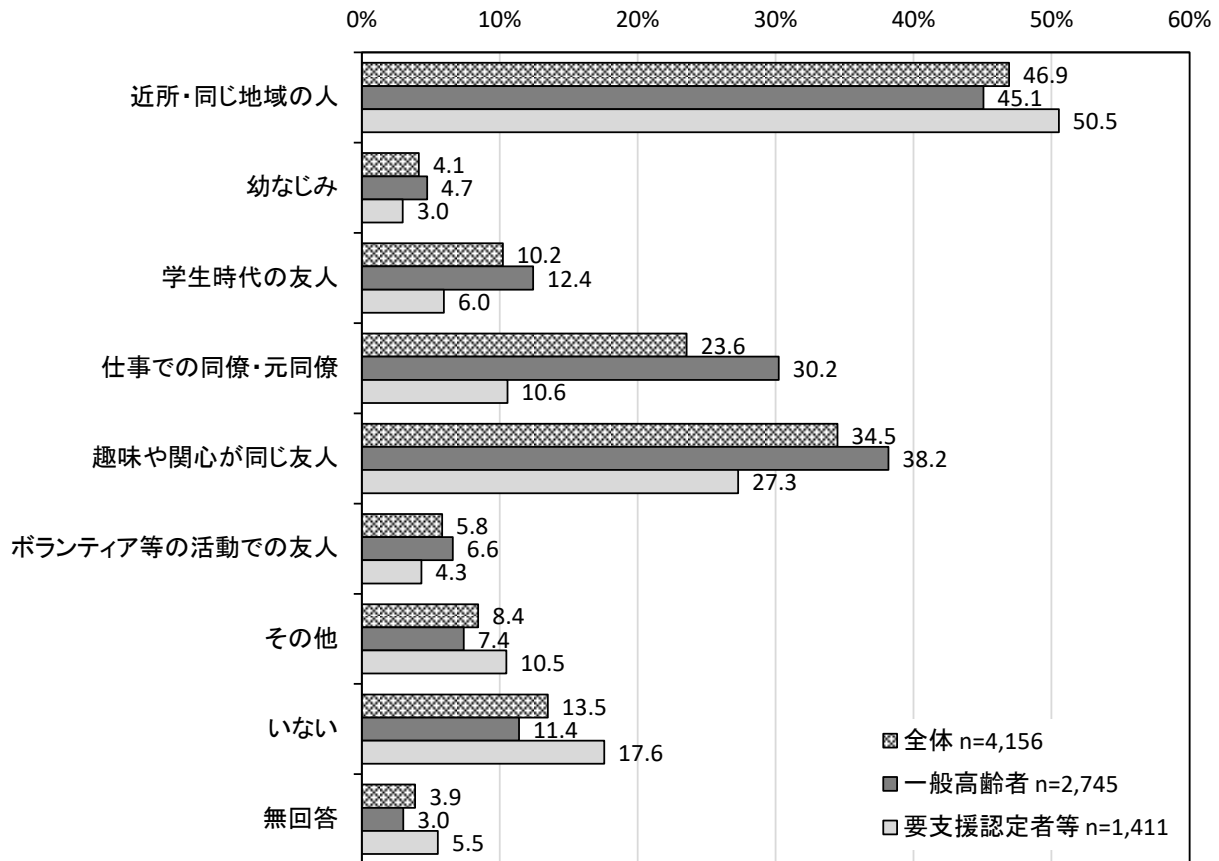


問 50 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が45.1%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が38.2%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が30.2%となっています。

要支援認定者等では、「近所・同じ地域の人」の割合が50.5%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が27.3%、「いない」の割合が17.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「近所・同じ地域の人」「いない」の割合が高くなっています。



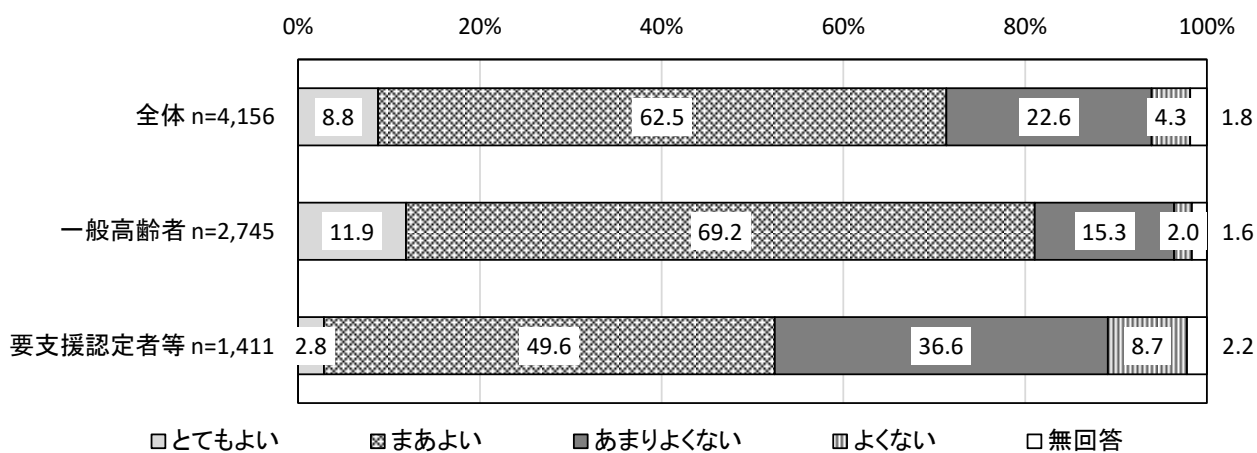
（7）健康について

問51 現在のあなたの健康状態はいかがですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「まあよい」の割合が69.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が15.3%、「とてもよい」の割合が11.9%となっています。

要支援認定者等では、「まあよい」の割合が49.6%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が36.6%、「よくない」の割合が8.7%となっています。

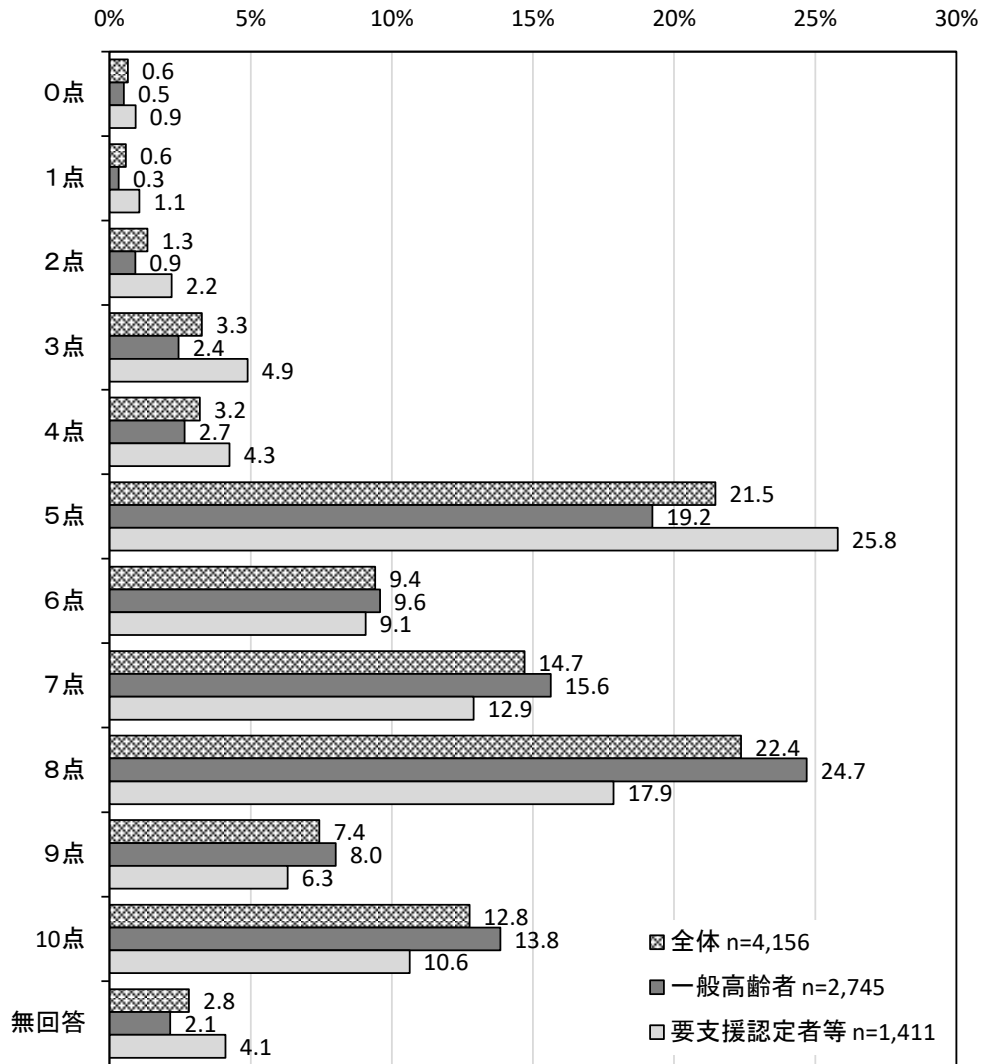
「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康状態がよい人』の割合は、一般高齢者で81.1%、要支援認定者等で52.4%となっており、28.7ポイントの差となっています。また、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『健康状態がよくない人』の割合は、一般高齢者で17.3%、要支援認定者等で45.3%となっており、28.0ポイントの差となっています。



問 52 あなたは、現在どの程度幸せですか
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

一般高齢者では、「8点」の割合が24.7%と最も高く、次いで「5点」の割合が19.2%、「7点」の割合が15.6%となっています。

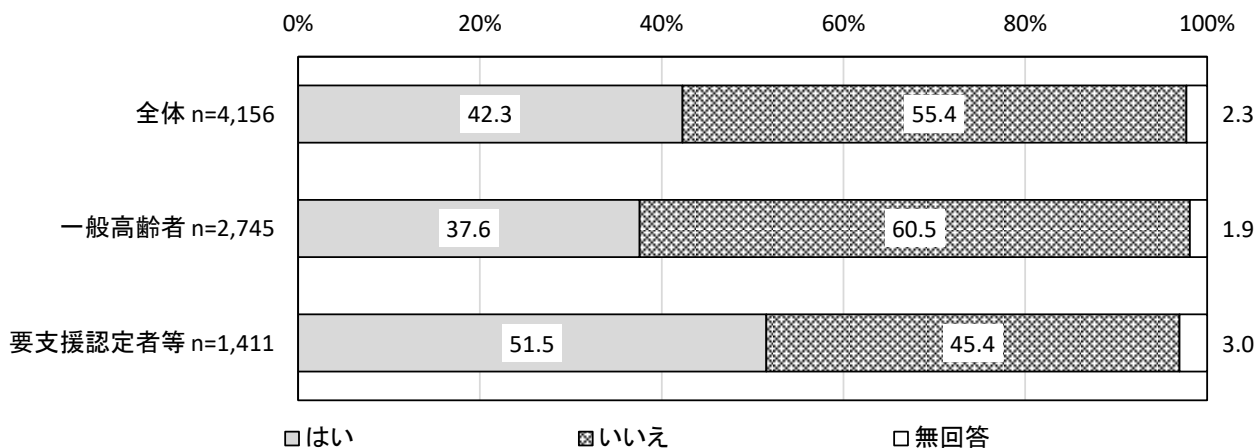
要支援認定者等では、「5点」の割合が25.8%と最も高く、次いで「8点」の割合が17.9%、「7点」の割合が12.9%となっています。



**問 53 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
（回答は1つ）**

一般高齢者では、「はい」の割合が37.6%、「いいえ」の割合が60.5%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が51.5%、「いいえ」の割合が45.4%となっています。

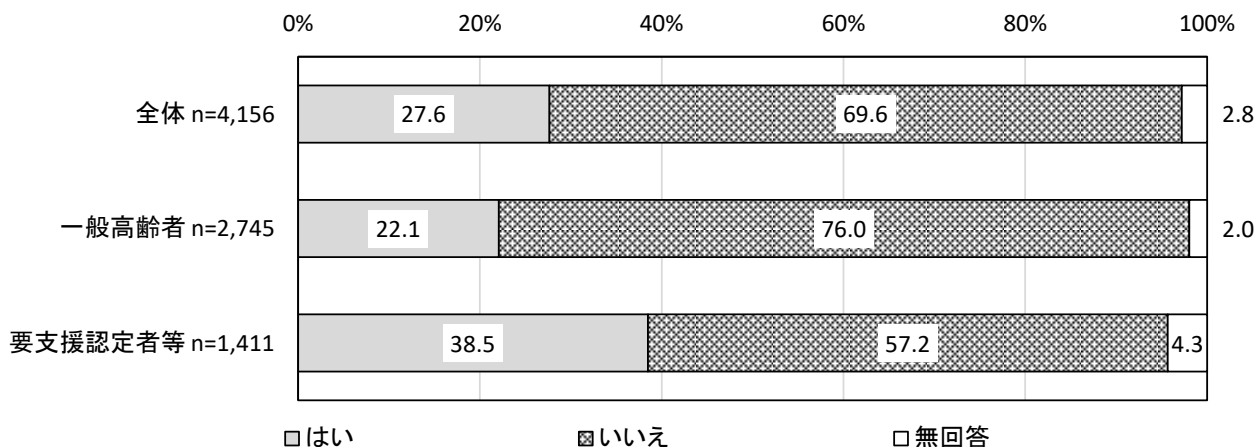
「はい」の割合は、一般高齢者で37.6%、要支援認定者等で51.5%となっており、13.9ポイントの差となっています。



問 54 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が22.1%、「いいえ」の割合が76.0%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が38.5%、「いいえ」の割合が57.2%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で22.1%、要支援認定者等で38.5%となっており、16.4ポイントの差となっています。

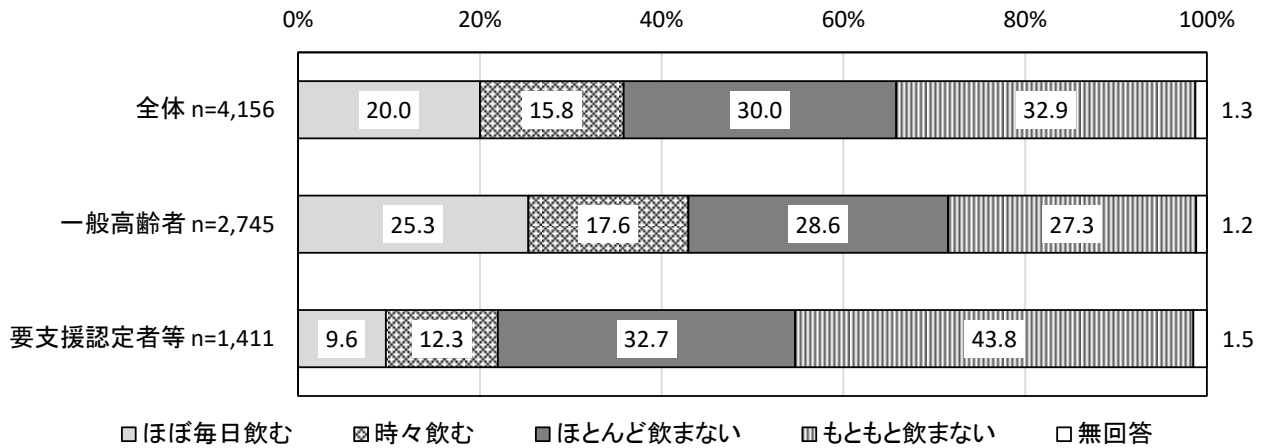


問 55 お酒は飲みますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「ほとんど飲まない」の割合が28.6%と最も高く、次いで「もともと飲まない」の割合が27.3%、「ほぼ毎日飲む」の割合が25.3%となっています。

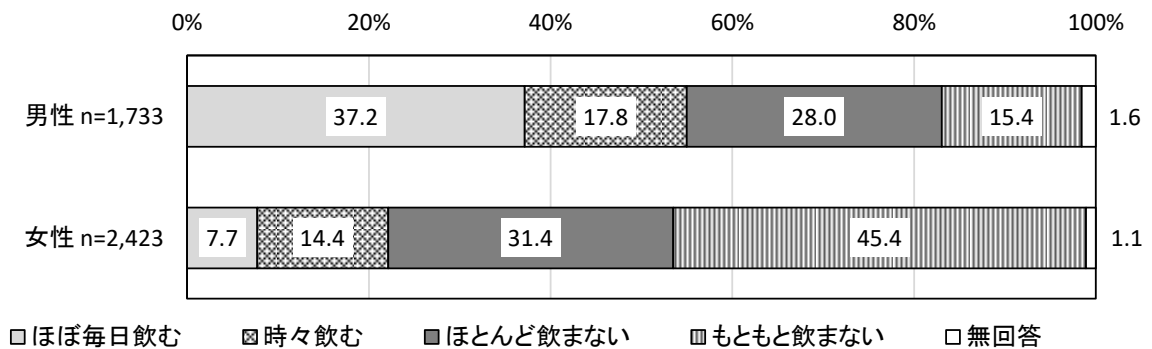
要支援認定者等では、「もともと飲まない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が32.7%、「時々飲む」の割合が12.3%となっています。

「ほぼ毎日飲む」の割合は、一般高齢者で25.3%、要支援認定者等で9.6%となっており、15.7ポイントの差となっています。



■性別

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。

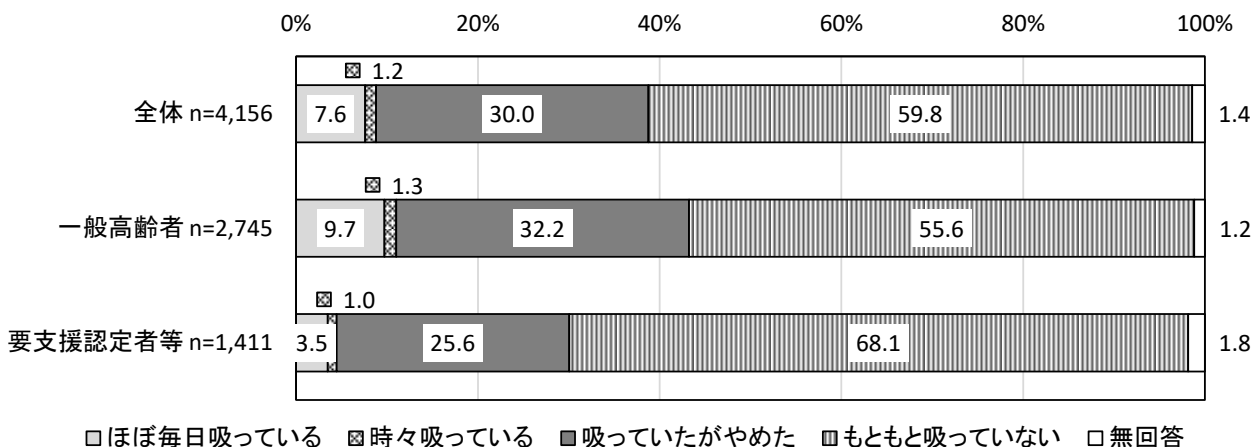


問 56 タバコは吸っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 32.2%となっています。

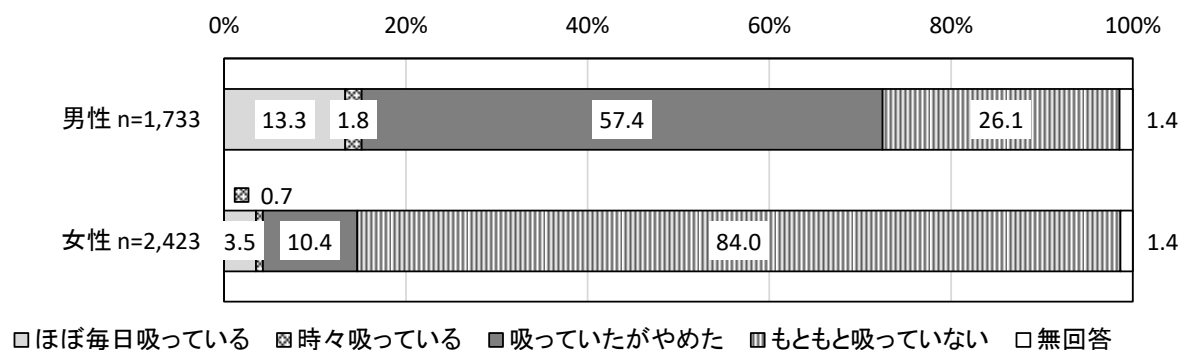
要支援認定者等では、「もともと吸っていない」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 25.6%となっています。

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている人』の割合は、一般高齢者で 11.0%、要支援認定者等で 4.5%となっており、6.5 ポイントの差となっています。



■性別

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。

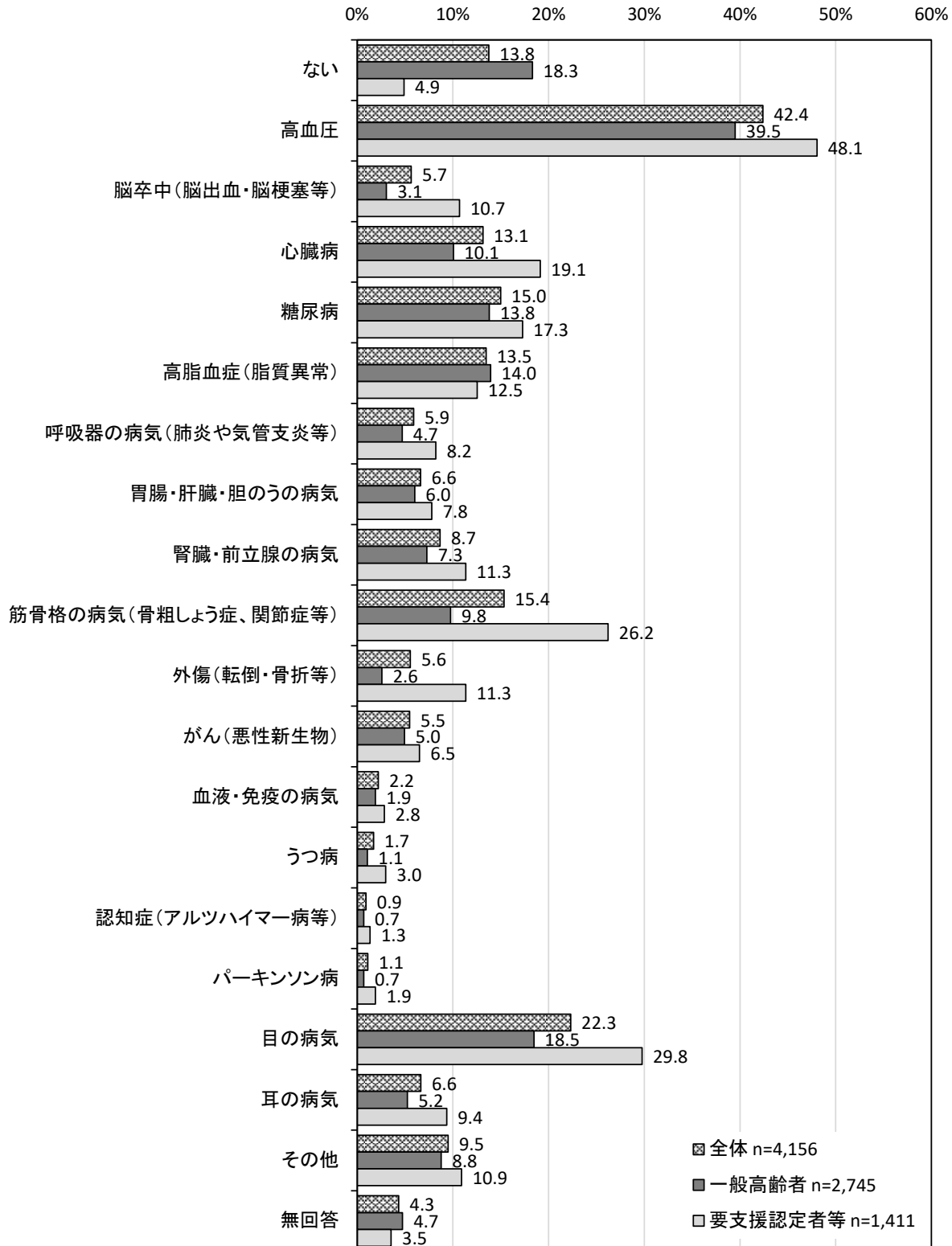


問57 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「高血圧」の割合が39.5%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が18.5%、「ない」の割合が18.3%となっています。

要支援認定者等では、「高血圧」の割合が48.1%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が29.8%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が26.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で主に「高血圧」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

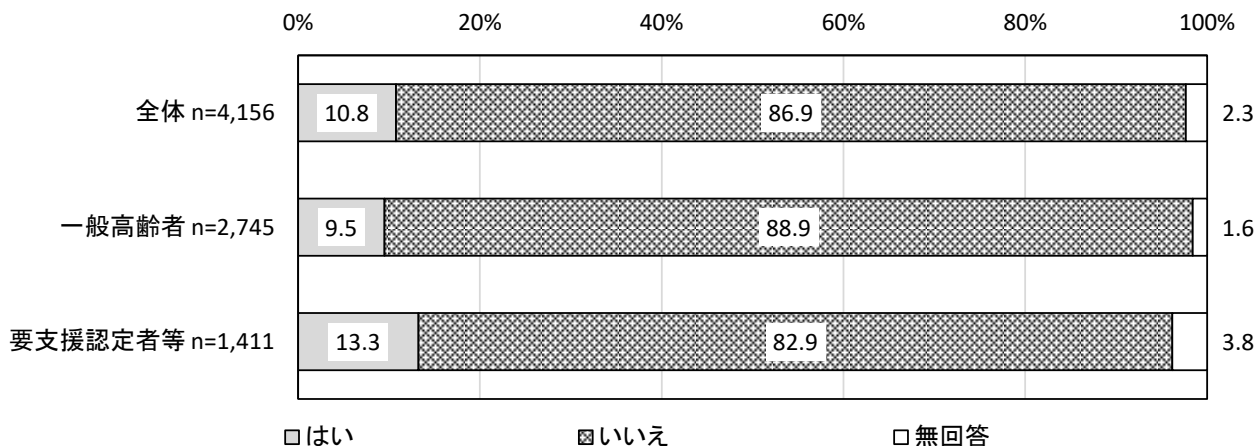


（８）認知症にかかる相談窓口の把握について

問 58 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が9.5%、「いいえ」の割合が88.9%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が13.3%、「いいえ」の割合が82.9%となっています。

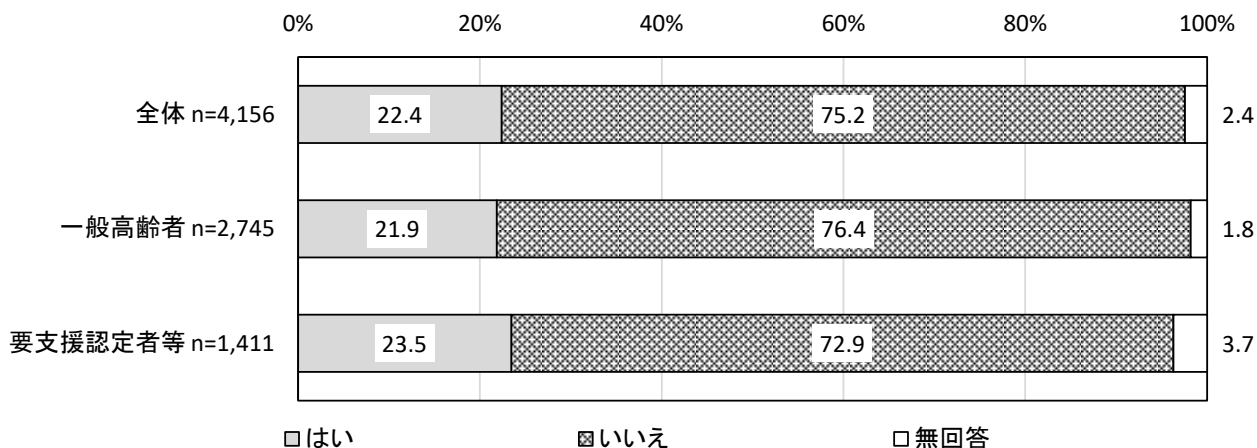
「はい」の割合は、一般高齢者で9.5%、要支援認定者等で13.3%となっており、3.8ポイントの差となっています。



問 59 認知症に関する相談窓口を知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が21.9%、「いいえ」の割合が76.4%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が23.5%、「いいえ」の割合が72.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で21.9%、要支援認定者等で23.5%となっており、1.6ポイントの差となっています。



3. 一般高齢者個別調査（市の独自調査項目）

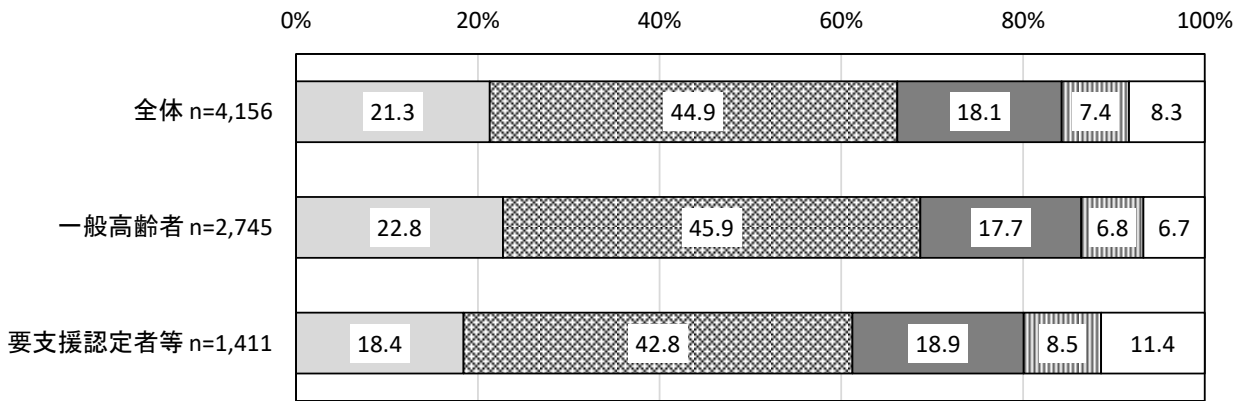
（1）お住まいについて

問1 あなたは、介護や医療が必要になった場合、どこで過ごしたいですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の割合が45.9%と最も高く、次いで「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」の割合が22.8%、「施設に入所したい」の割合が17.7%となっています。

要支援認定者等では、「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の割合が42.8%と最も高く、次いで「施設に入所したい」の割合が18.9%、「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」の割合が18.4%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」の割合が高くなっています。



- 家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい
- 介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい
- 施設に入所したい
- 病院に入院したい
- 無回答

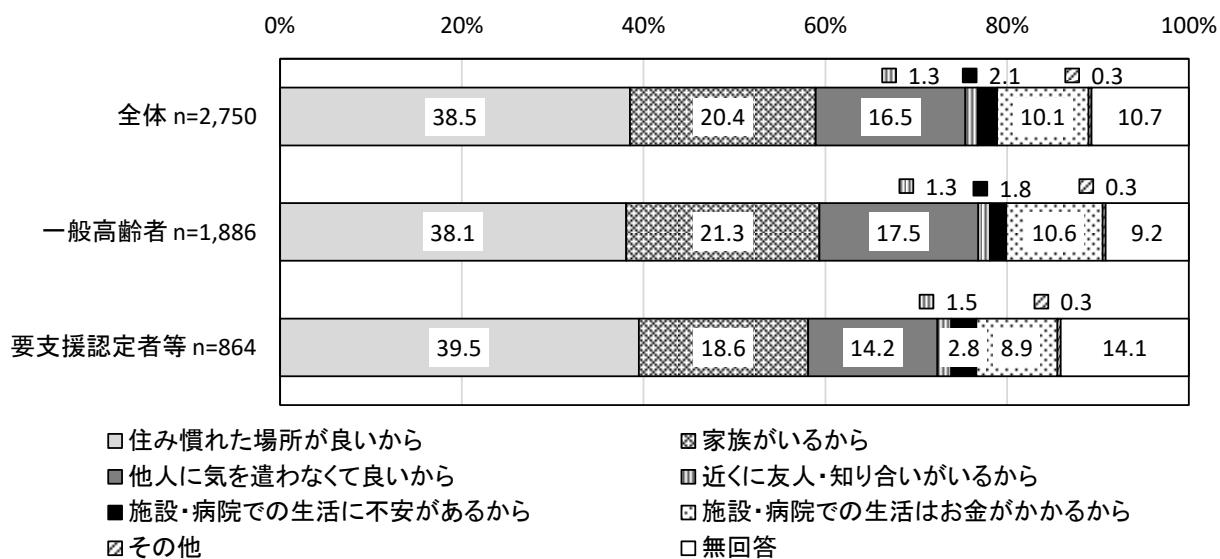
【問1で「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の人のみ】

問1-1 自宅に住み続けたい理由は何ですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「住み慣れた場所が良いから」の割合が38.1%と最も高く、次いで「家族がいるから」の割合が21.3%、「他人に気を遣わなくて良いから」の割合が17.5%となっています。

要支援認定者等では、「住み慣れた場所が良いから」の割合が39.5%と最も高く、次いで「家族がいるから」の割合が18.6%、「他人に気を遣わなくて良いから」の割合が14.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「他人に気を遣わなくて良いから」の割合が高くなっています。



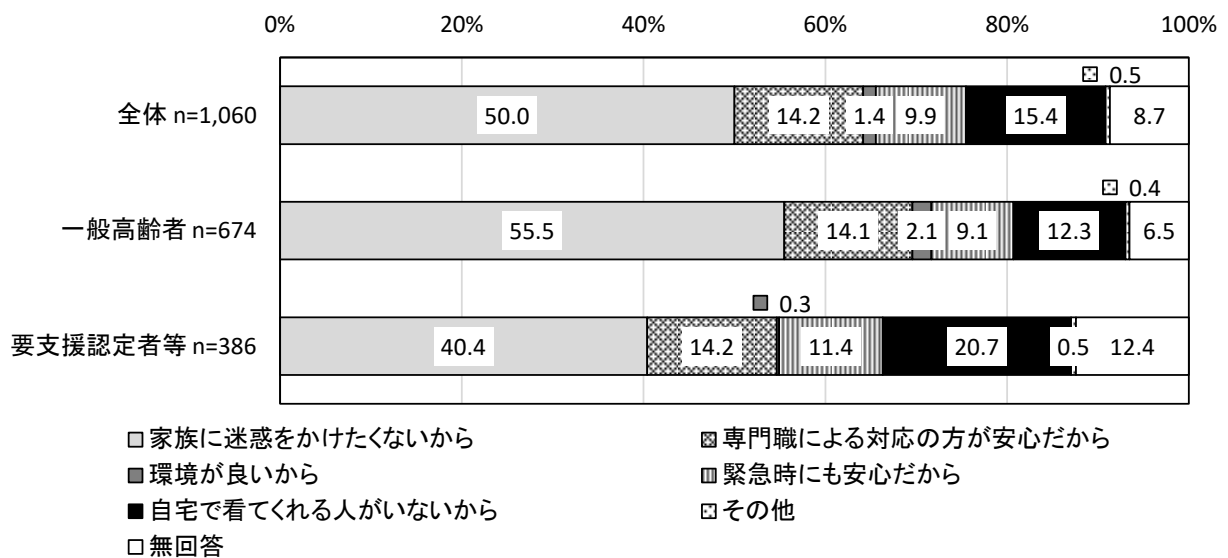
【問1で「施設に入所したい」「病院に入院したい」の人のみ】

問1-2 施設・病院に入所・入院したい理由は何ですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が55.5%と最も高く、次いで「専門職による対応の方が安心だから」の割合が14.1%、「自宅で見てくれる人がいないから」の割合が12.3%となっています。

要支援認定者等では、「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が40.4%と最も高く、次いで「自宅で見てくれる人がいないから」の割合が20.7%、「専門職による対応の方が安心だから」の割合が14.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自宅で見てくれる人がいないから」の割合が高くなっています。

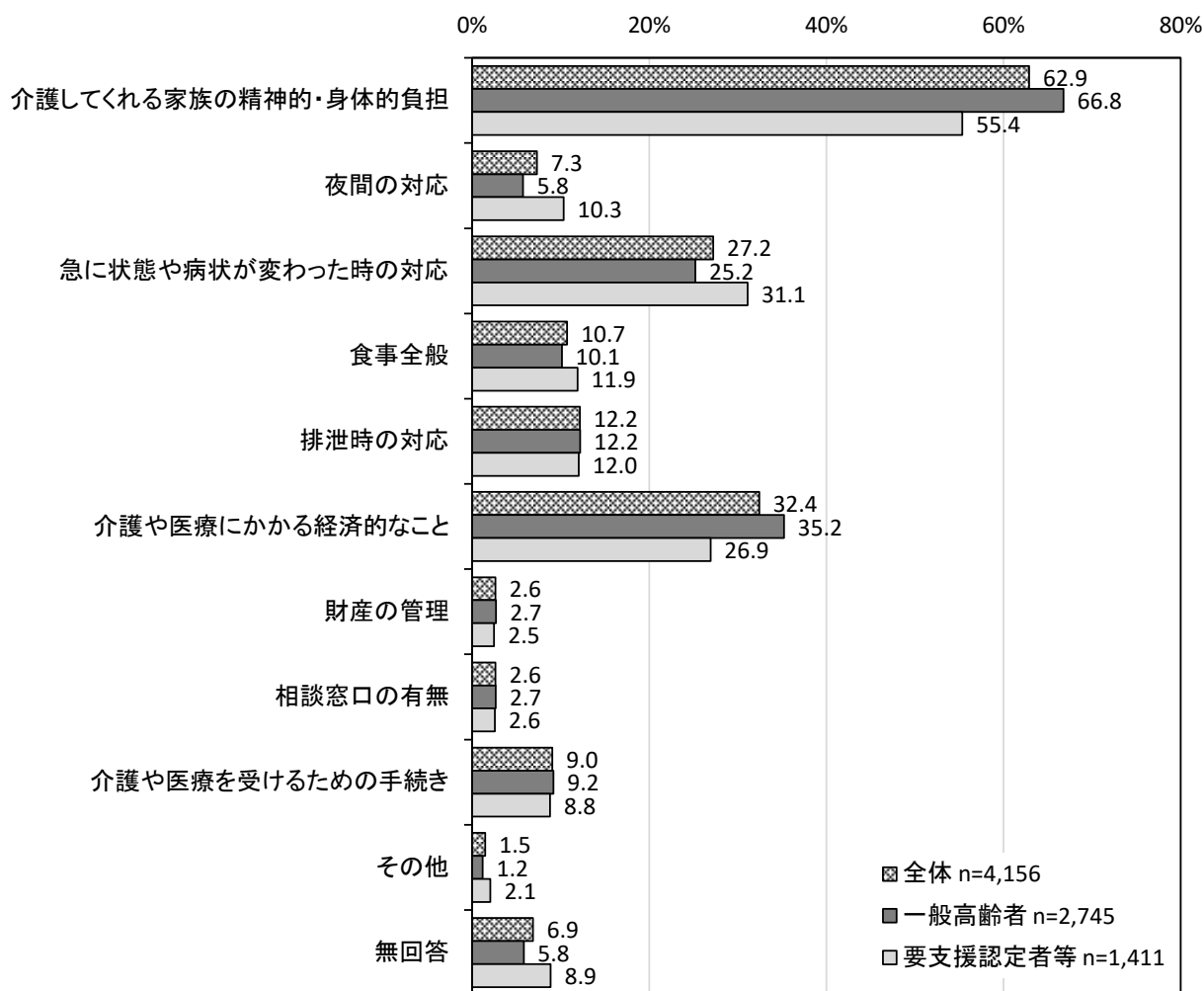


**問2 あなたが、介護や医療が必要になった場合、特に心配に思うことは何ですか
（主なものを2つまでに回答）**

一般高齢者では、「介護してくれる家族の精神的・身体的負担」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「介護や医療にかかる経済的なこと」の割合が 35.2%、「急に状態や病状が変わった時の対応」の割合が 25.2%となっています。

要支援認定者等では、「介護してくれる家族の精神的・身体的負担」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「急に状態や病状が変わった時の対応」の割合が 31.1%、「介護や医療にかかる経済的なこと」の割合が 26.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「介護してくれる家族の精神的・身体的負担」「介護や医療にかかる経済的なこと」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で主に「急に状態や病状が変わった時の対応」の割合が高くなっています。



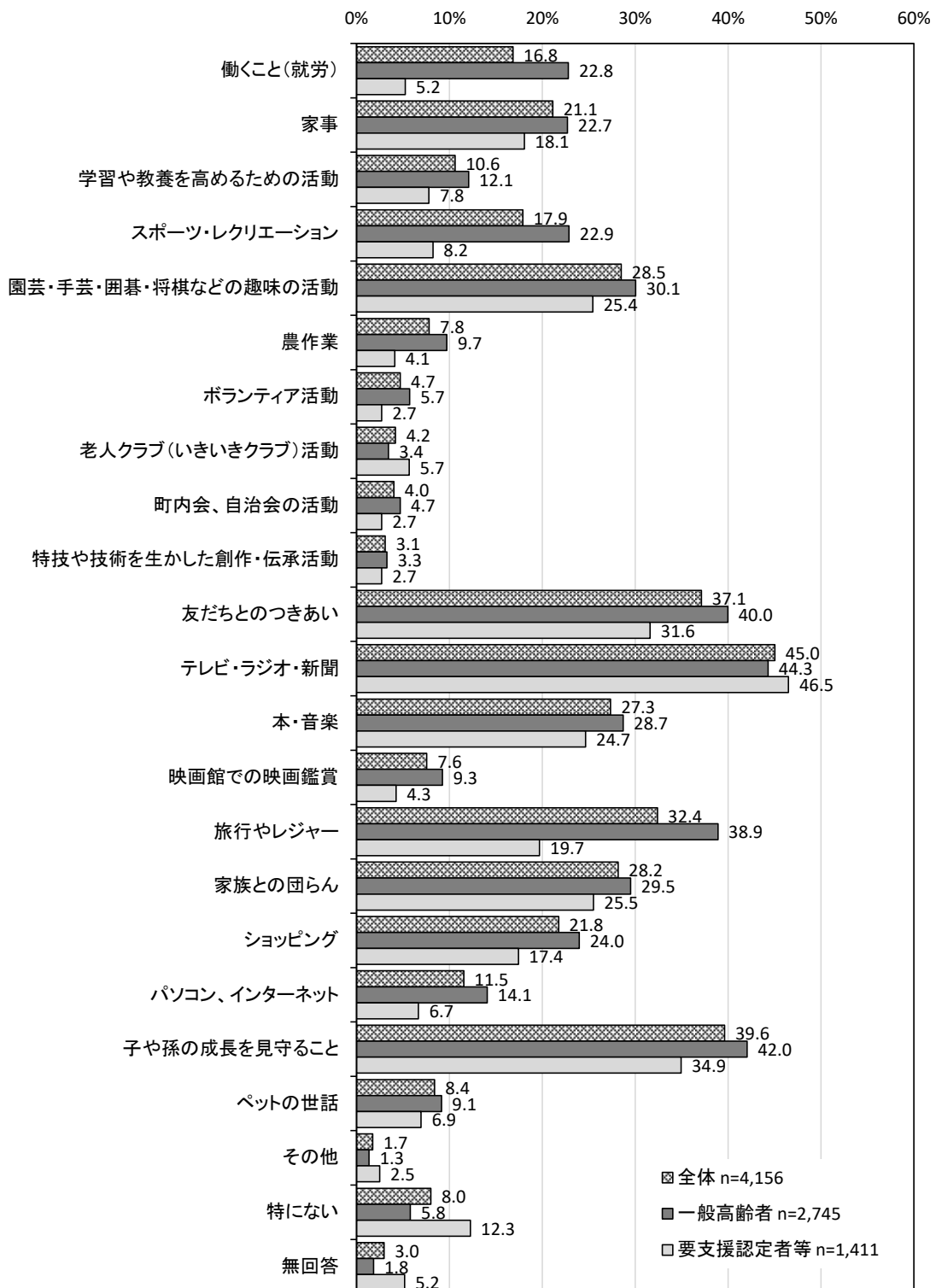
（２）生きがいについて

問３ あなたは、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が44.3%と最も高く、次いで「子や孫の成長を見守ること」の割合が42.0%、「友だちとのつきあい」の割合が40.0%となっています。

要支援認定者等では、「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が46.5%と最も高く、次いで「子や孫の成長を見守ること」の割合が34.9%、「友だちとのつきあい」の割合が31.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で主に「働くこと（就労）」「スポーツ・レクリエーション」「友だちとのつきあい」「旅行やレジャー」「子や孫の成長を見守ること」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「特にない」の割合が高くなっています。

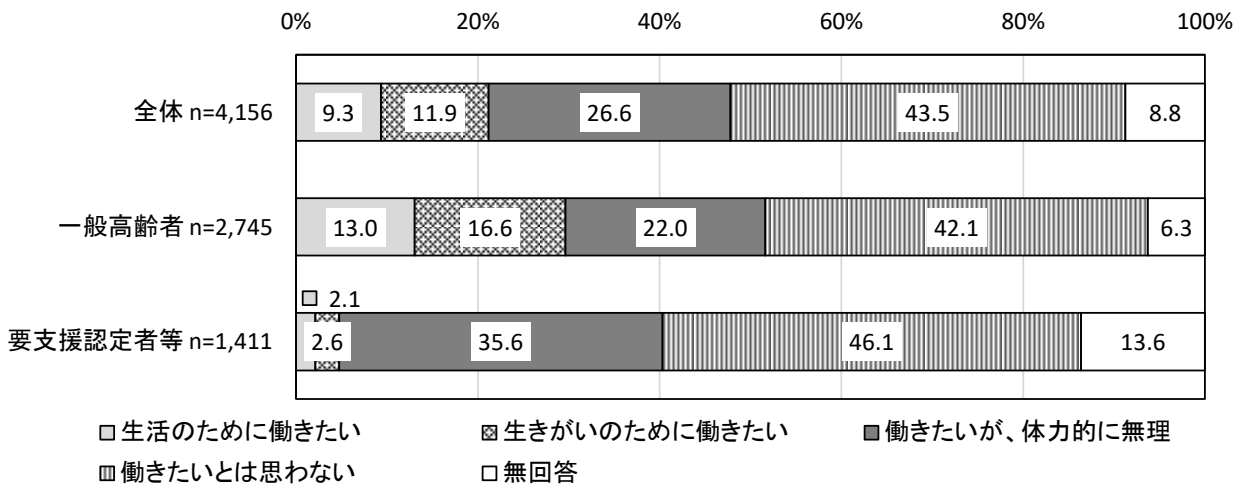


問4 今後の就労意向についておうかがいします。あなたは、今後も働きたい（働き続けたい）と思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「働きたいと思わない」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「働きたいが体力的に無理」の割合が 22.0%、「生きがいのために働きたい」の割合が 16.6%となっています。

要支援認定者等では、「働きたいと思わない」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「働きたいが体力的に無理」の割合が 35.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「働きたいが体力的に無理」の割合が高くなっています。



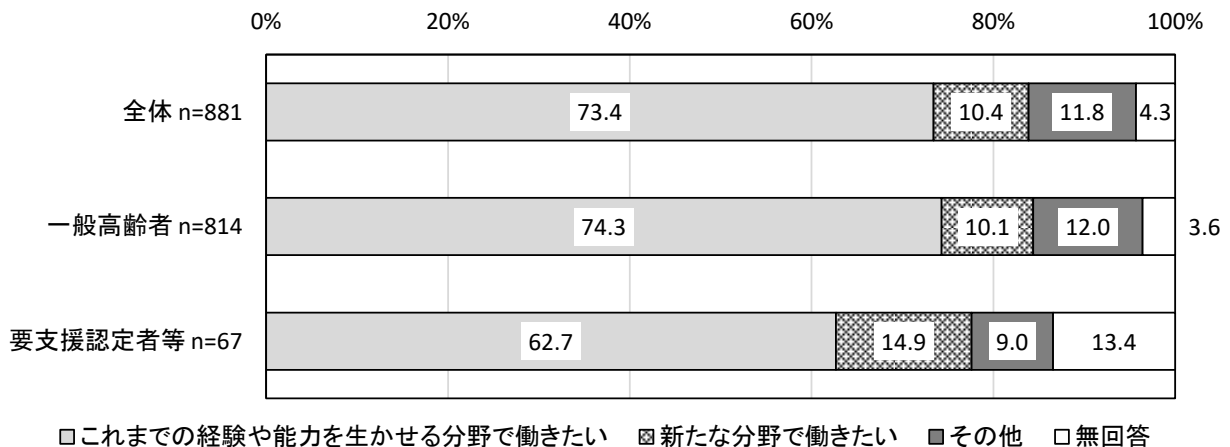
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問4-1 どのような分野で働きたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「新たな分野で働きたい」の割合が 10.1%となっています。

要支援認定者等では、「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「新たな分野で働きたい」の割合が 14.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が高くなっています。



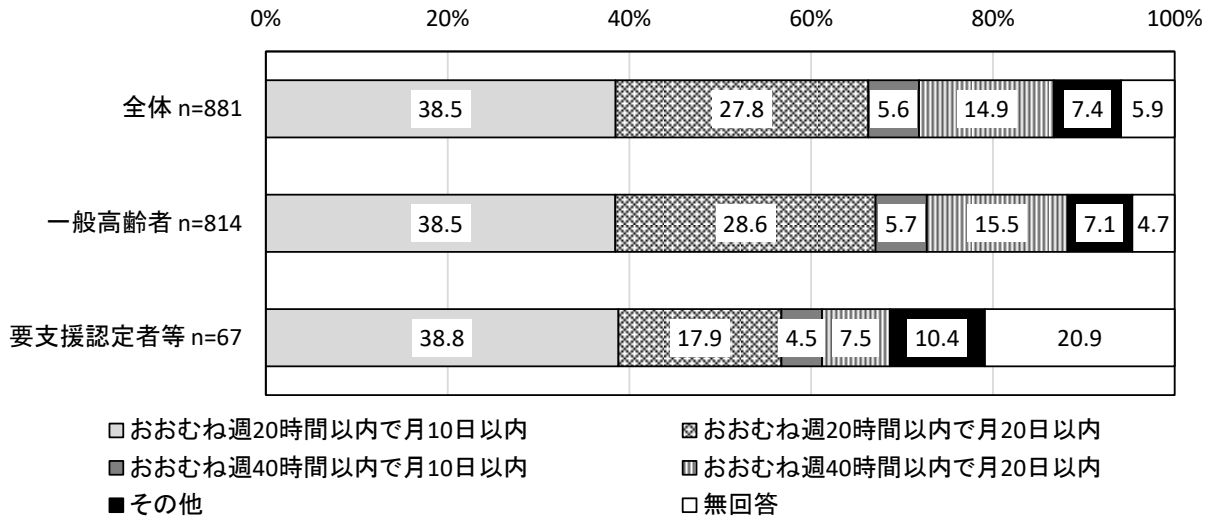
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問4-2 どのような働き方を希望しますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「おおむね週 20 時間以内で月 10 日以内」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「おおむね週 20 時間以内で月 20 日以内」の割合が 28.6%となっています。

要支援認定者等では、「おおむね週 20 時間以内で月 10 日以内」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「おおむね週 20 時間以内で月 20 日以内」の割合が 17.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「おおむね週 20 時間以内で月 20 日以内」「おおむね週 40 時間以内で月 20 日以内」の割合が高くなっています。



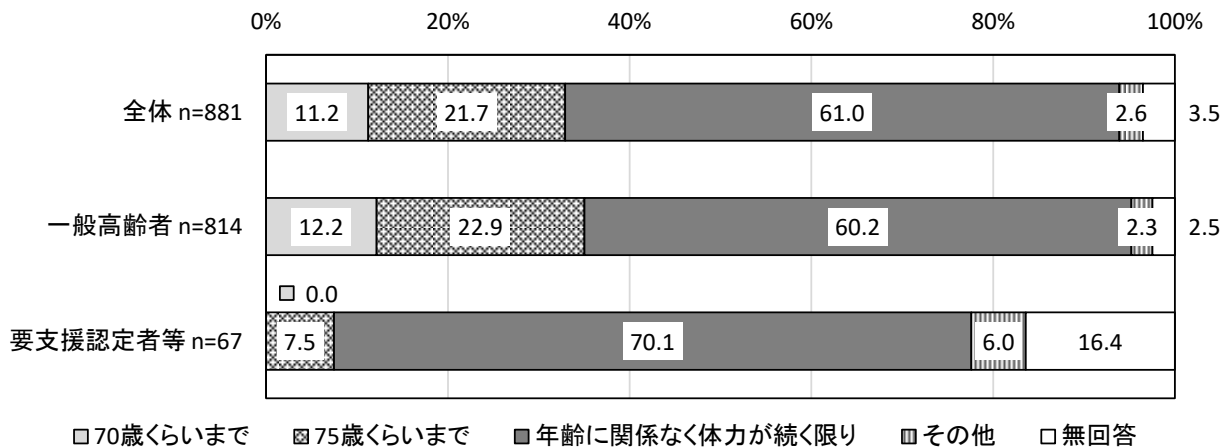
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問4-3 あなたは何歳まで働きたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「年齢に関係なく体が続く限り」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「75 歳くらいまで」の割合が 22.9%、「70 歳くらいまで」の割合が 12.2%となっています。

要支援認定者等では、「年齢に関係なく体が続く限り」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「75 歳くらいまで」の割合が 7.5%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「70 歳くらいまで」「75 歳くらいまで」割合が高くなっています。



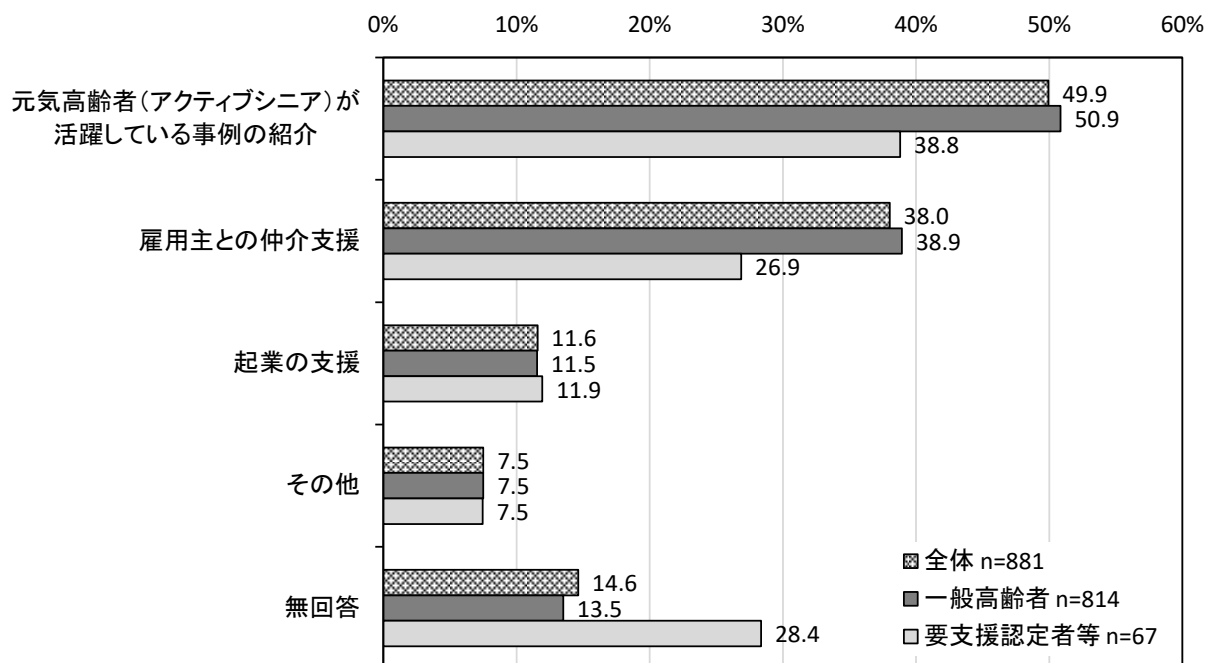
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問4-4 働く上で自治体が行うべき施策は何だと思いますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」の割合が50.9%と最も高く、次いで「雇用主との仲介支援」の割合が38.9%、「起業の支援」の割合が11.5%となっています。

要支援認定者等では、「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」の割合が38.8%と最も高く、次いで「雇用主との仲介支援」の割合が26.9%、「起業の支援」の割合が11.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」「雇用主との仲介支援」の割合が高くなっています。

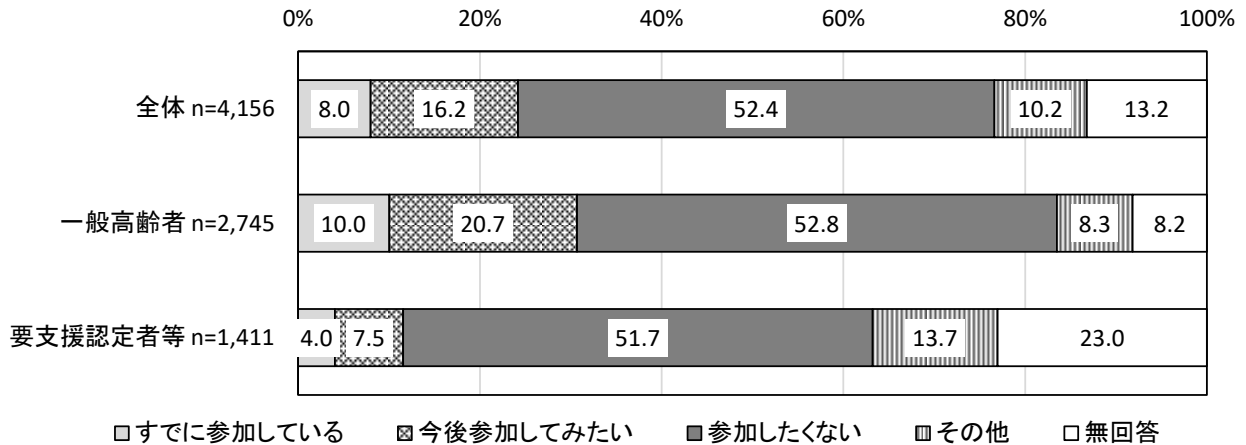


問5 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「今後参加してみたい」の割合が20.7%、「すでに参加している」の割合が10.0%となっています。

要支援認定者等では、「参加したくない」の割合が51.7%と最も高くなっています。

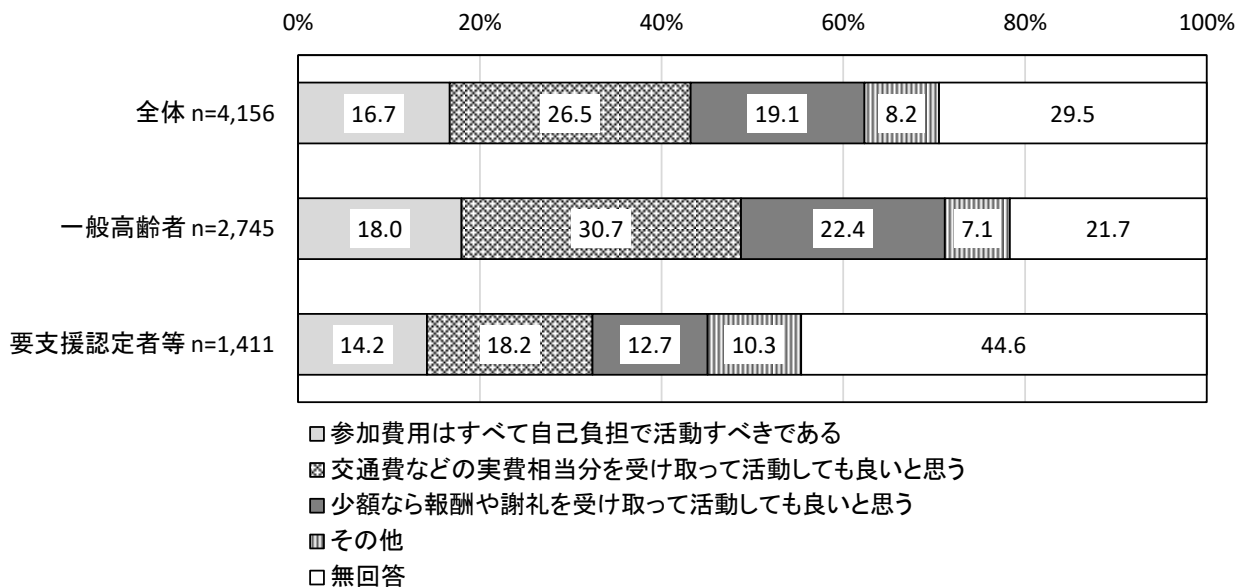
要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「すでに参加している」「今後参加してみたい」の割合が高くなっています。



問6 あなたは、ボランティア活動について、どのような方法が良いと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う」の割合が30.7%と最も高く、次いで「少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う」の割合が22.4%、「参加費用はすべて自己負担で活動すべきである」の割合が18.0%となっています。

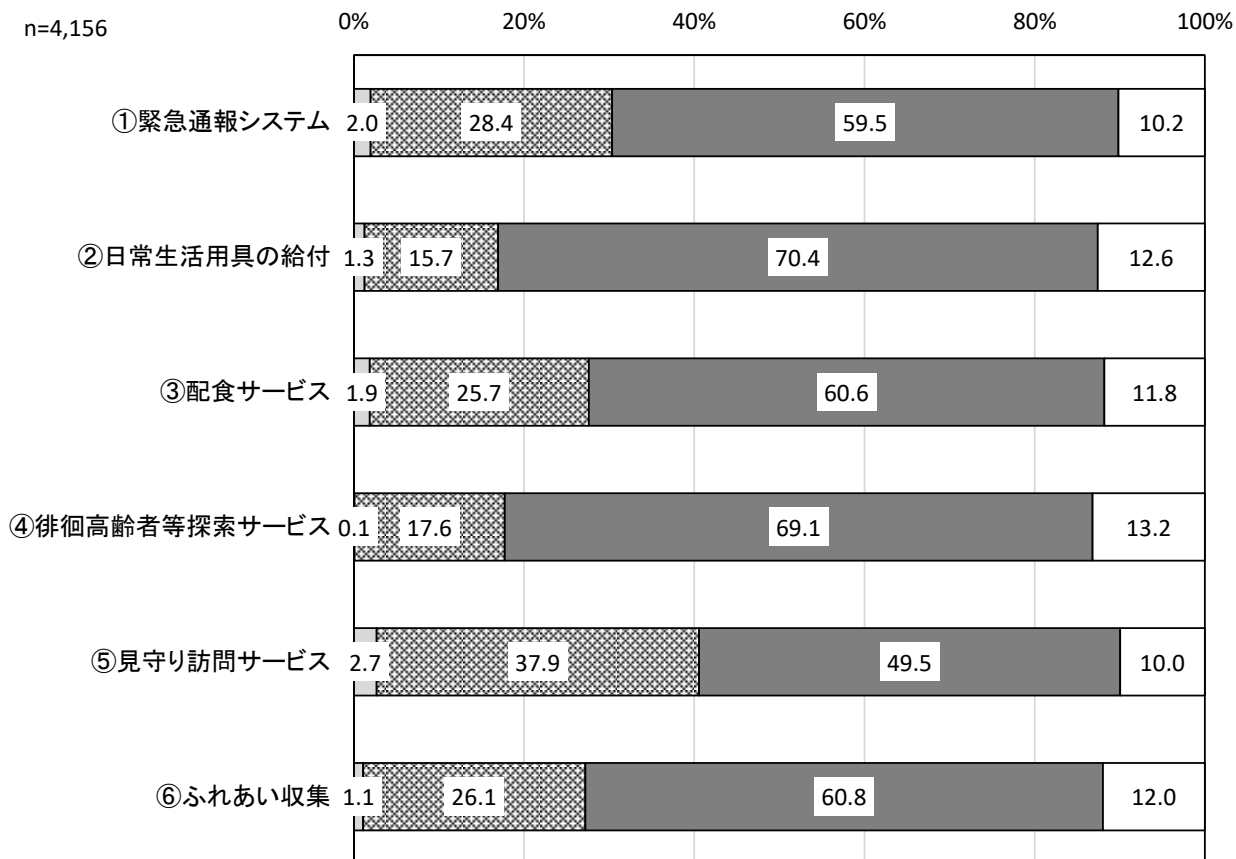
要支援認定者等では、「交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う」の割合が18.2%と最も高く、次いで「参加費用はすべて自己負担で活動すべきである」の割合が14.2%、「少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う」の割合が12.7%となっています。



（3）主な福祉サービス・介護サービスについて

問7 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか
（それぞれ回答は1つ）

「現在利用している、利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた“認知度”は、⑤見守り訪問サービスの割合が最も高く、次いで、①緊急通報システム、③配食サービスとなっています。



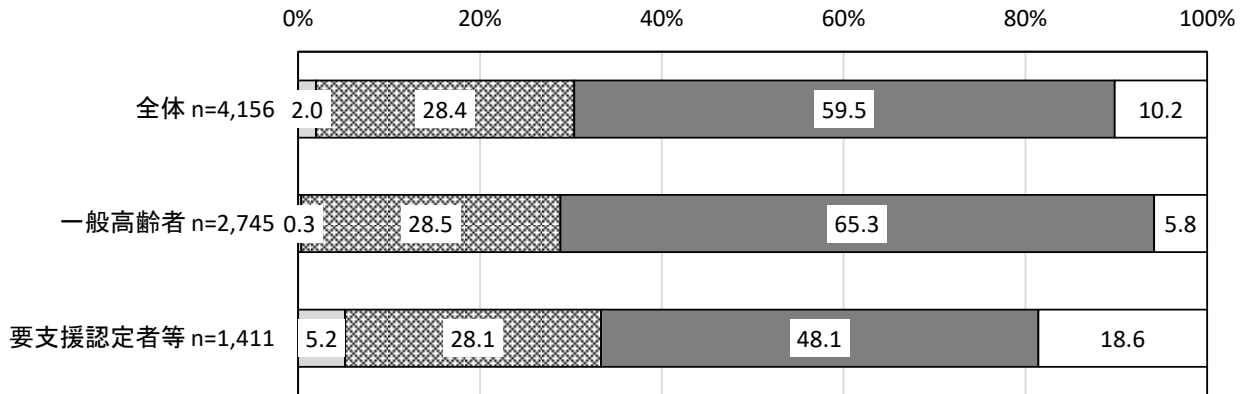
□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

①緊急通報システム：緊急時にボタンを押すだけで緊急通報センターにつながる端末機をお貸しします

一般高齢者では、「知らない」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 28.5%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 28.1%となっています。

“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。



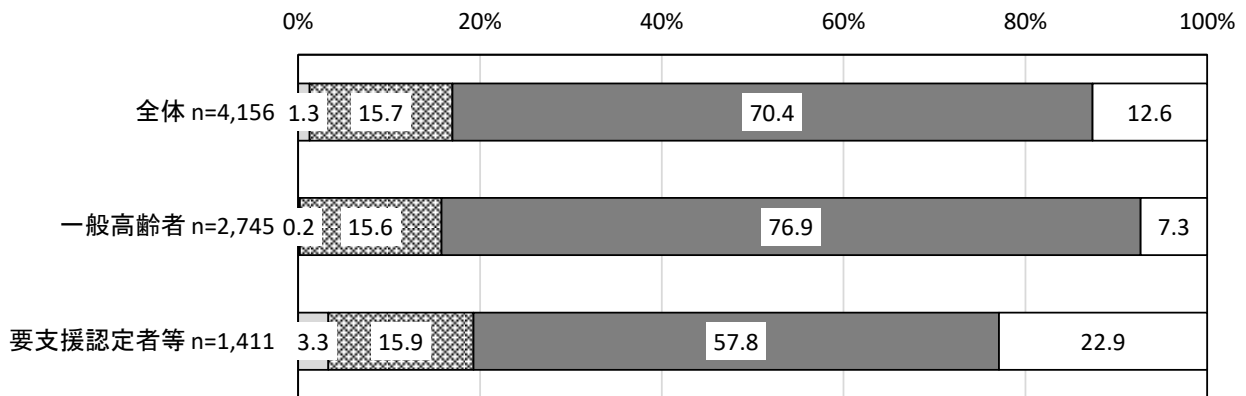
□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

②日常生活用具の給付：電磁調理器など日常生活に必要な用具を給付します

一般高齢者では、「知らない」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 15.6%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 15.9%となっています。

“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。



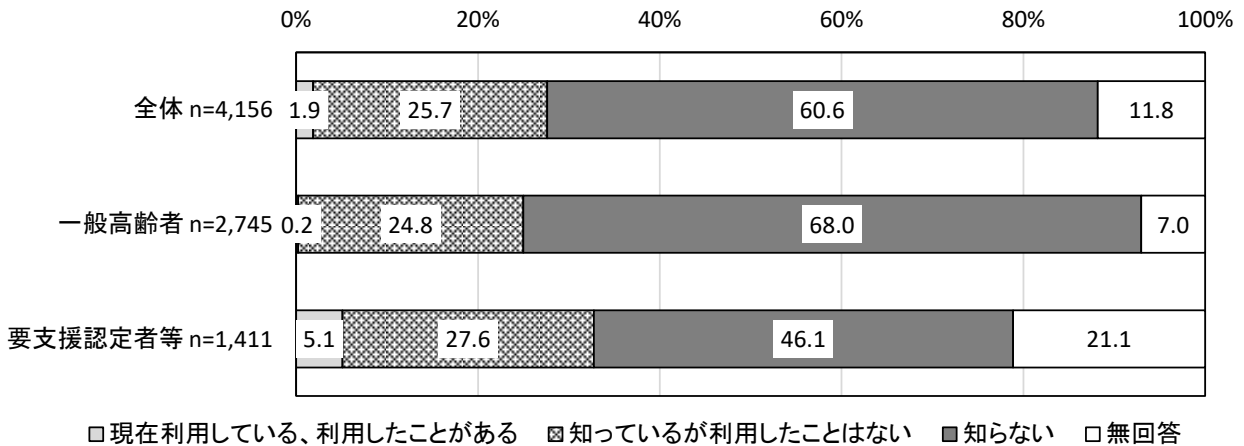
□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

③配食サービス：上尾市が指定した「あげお配食サービス協力店」の中から希望に合ったサービスを提供する店を選択して利用できます

一般高齢者では、「知らない」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 24.8%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 27.6%となっています。

“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。

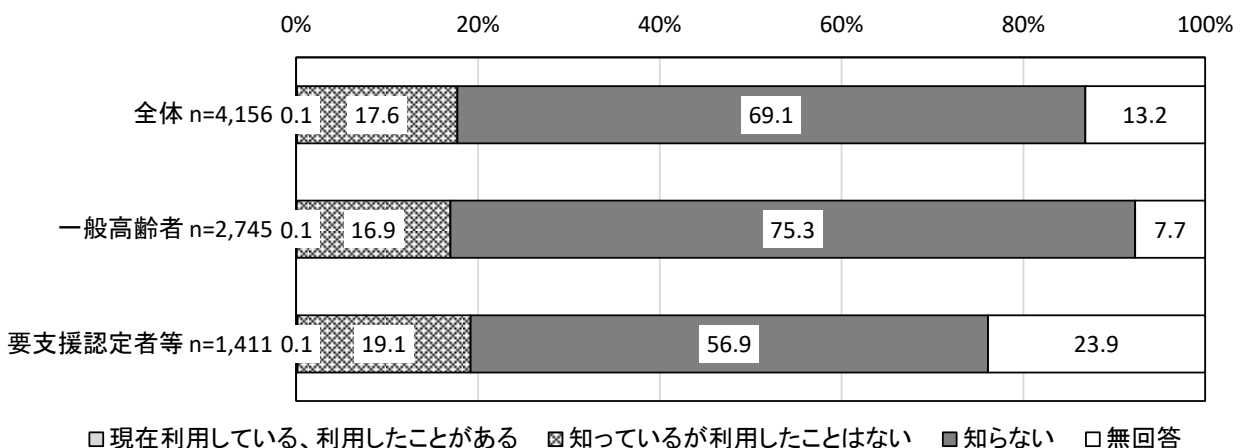


④徘徊高齢者等探索サービス：お貸した端末機により高齢者の位置を探索し、ご家族にお教えします

一般高齢者では、「知らない」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 16.9%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 19.1%となっています。

“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。

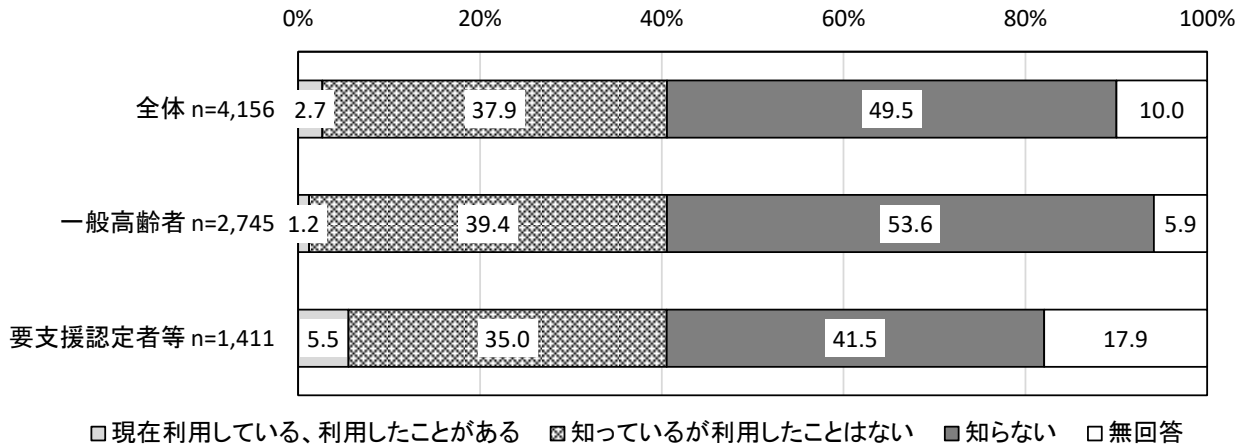


⑤見守り訪問サービス：地域のボランティアが高齢者のお宅へ安否確認にうかがいます

一般高齢者では、「知らない」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 39.4%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 35.0%となっています。

“認知度”に大きな差異はありません。



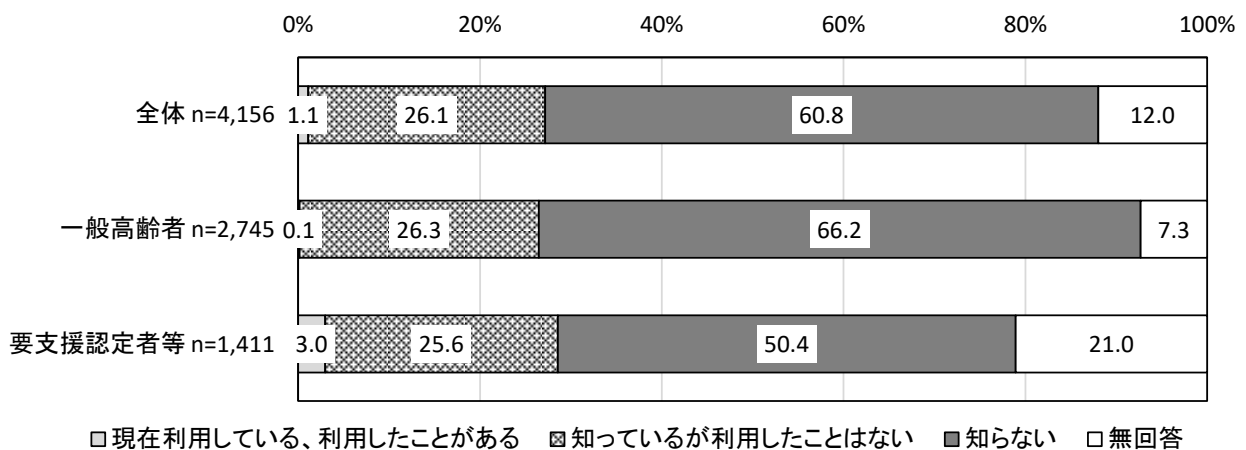
□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

⑥ふれあい収集：1人暮らしの高齢者または障害者の世帯を個別に訪問してごみを収集し、併せて安否確認を行います

一般高齢者では、「知らない」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 26.3%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 25.6%となっています。

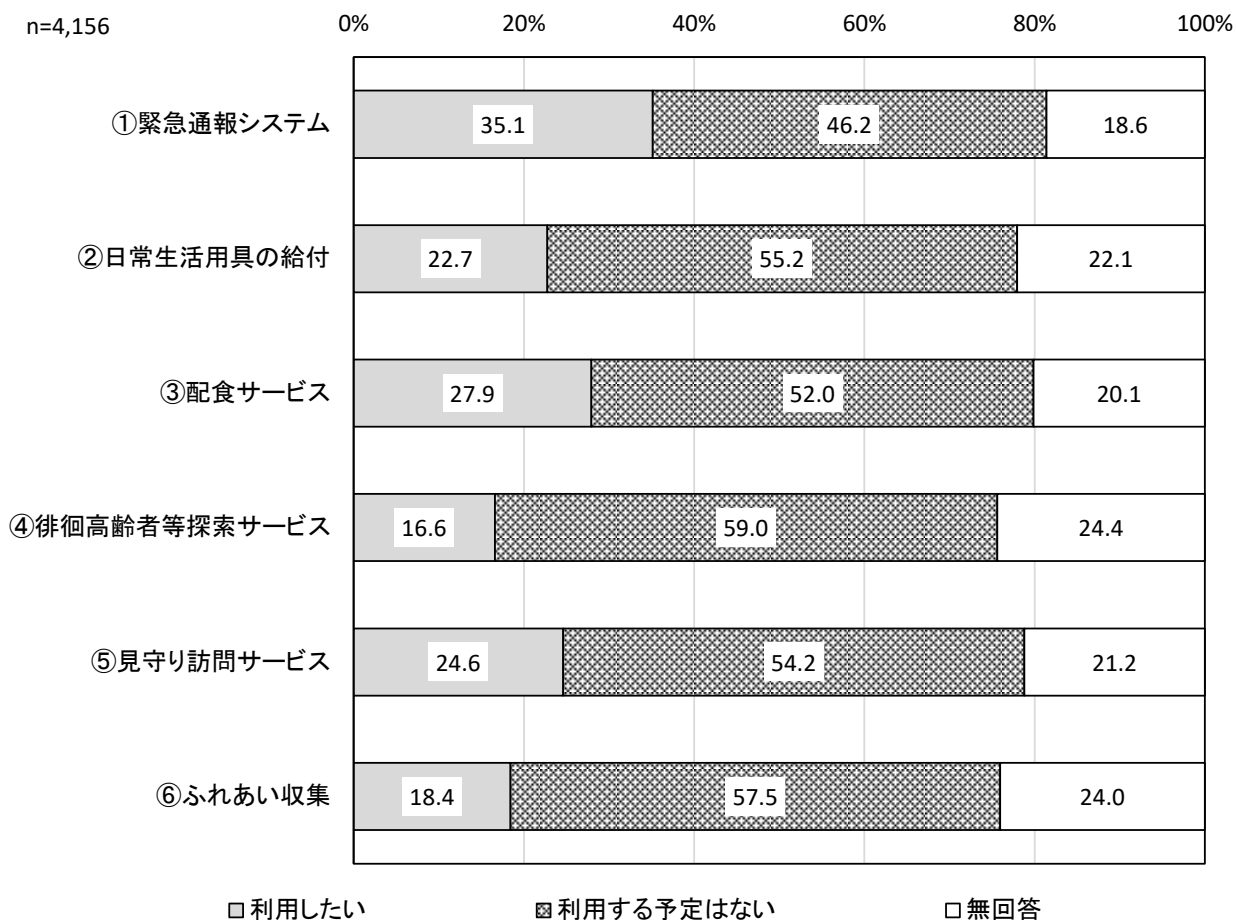
“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。



□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

問8 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思いますか（それぞれ回答は1つ）

「利用したい」の割合をみると、①緊急通報システムが最も高く、次いで、③配食サービス、⑤見守り訪問サービスとなっています。

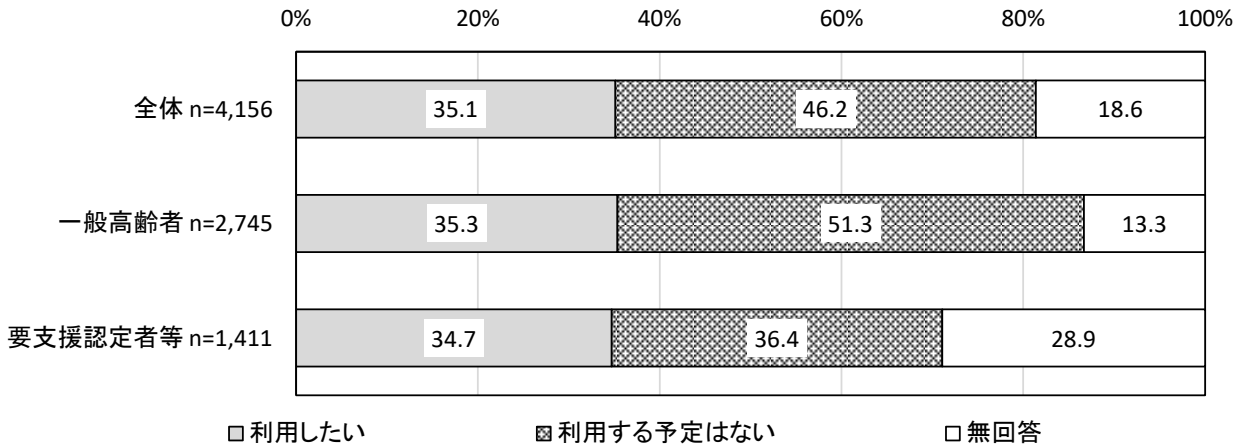


①緊急通報システム

一般高齢者では、「利用したい」の割合が35.3%、「利用する予定はない」の割合が51.3%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が34.7%、「利用する予定はない」の割合が36.4%となっています。

「利用したい」の割合に大きな差異はありません。

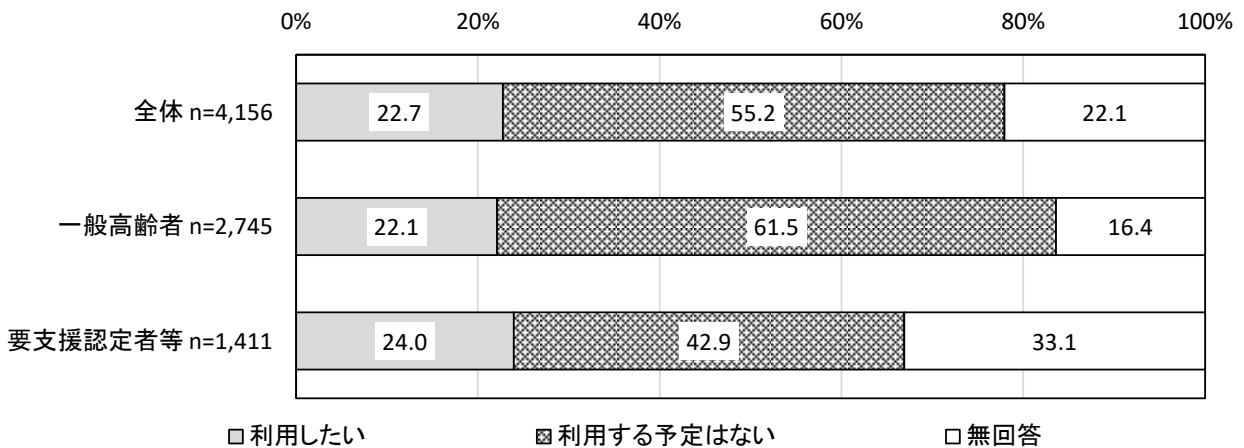


②日常生活用具の給付

一般高齢者では、「利用したい」の割合が22.1%、「利用する予定はない」の割合が61.5%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が24.0%、「利用する予定はない」の割合が42.9%となっています。

「利用したい」の割合に大きな差異はありません。

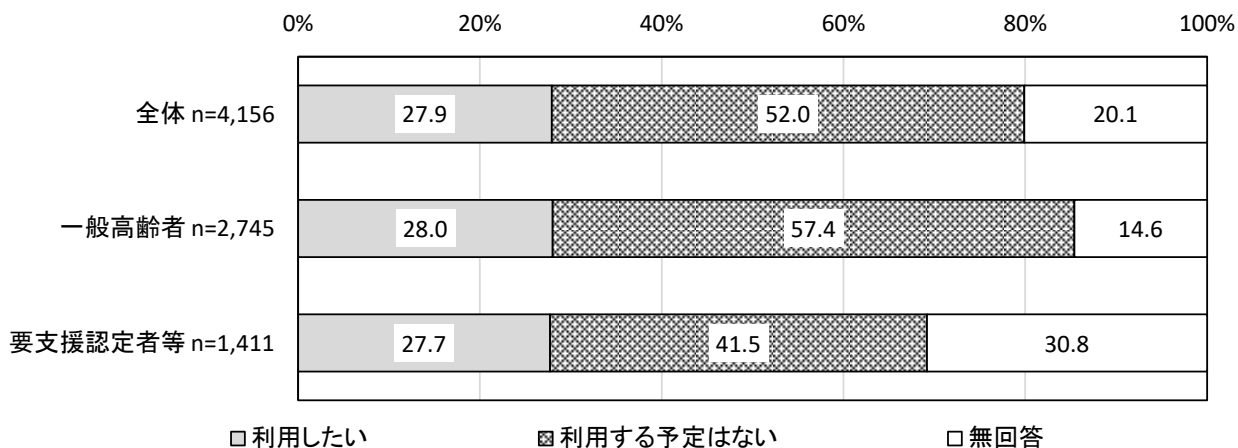


③配食サービス

一般高齢者では、「利用したい」の割合が28.0%、「利用する予定はない」の割合が57.4%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が27.7%、「利用する予定はない」の割合が41.5%となっています。

「利用したい」の割合に大きな差異はありません。

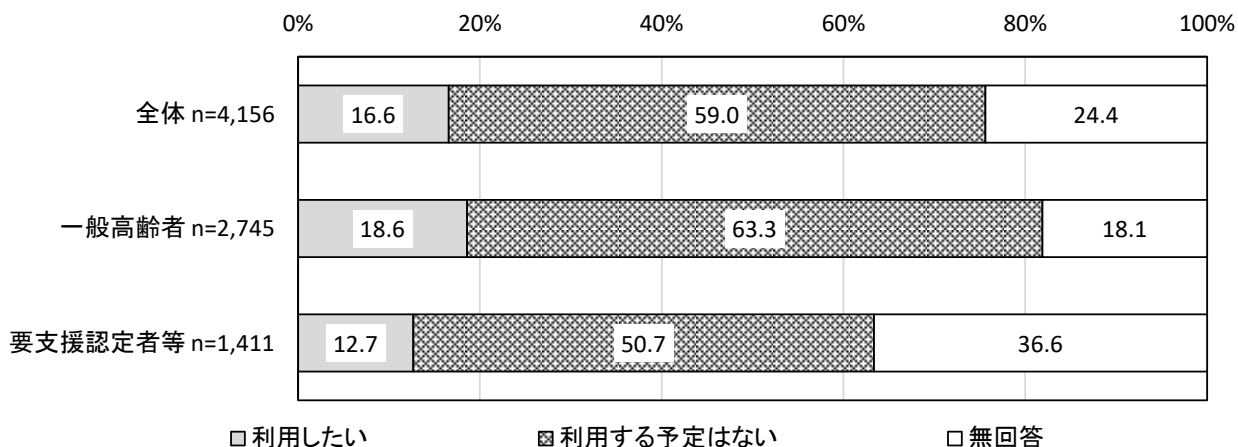


④徘徊高齢者等探索サービス

一般高齢者では、「利用したい」の割合が18.6%、「利用する予定はない」の割合が63.3%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が12.7%、「利用する予定はない」の割合が50.7%となっています。

「利用したい」の割合をみると、要支援認定者等に比べ、一般高齢者で高くなっています。

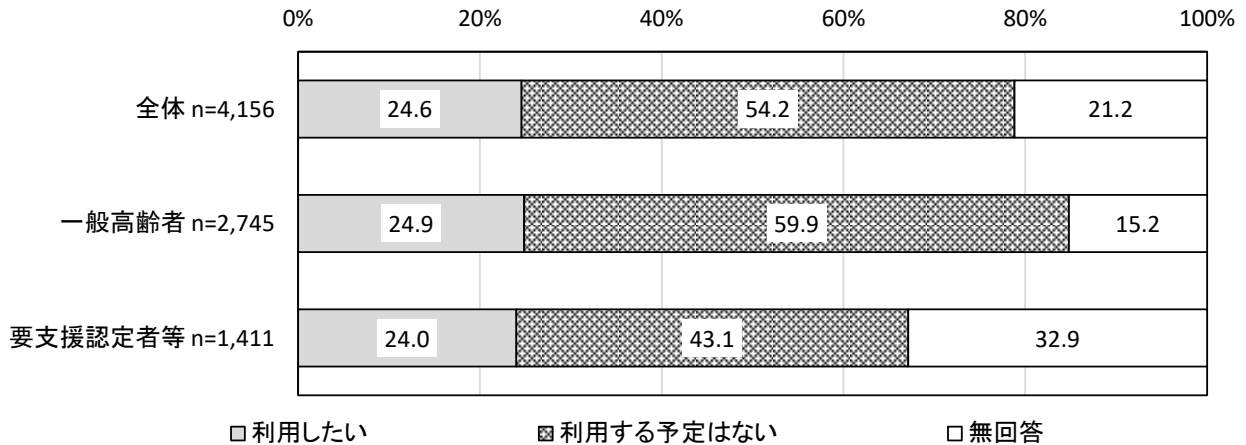


⑤見守り訪問サービス

一般高齢者では、「利用したい」の割合が24.9%、「利用する予定はない」の割合が59.9%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が24.0%、「利用する予定はない」の割合が43.1%となっています。

「利用したい」の割合に大きな差異はありません。

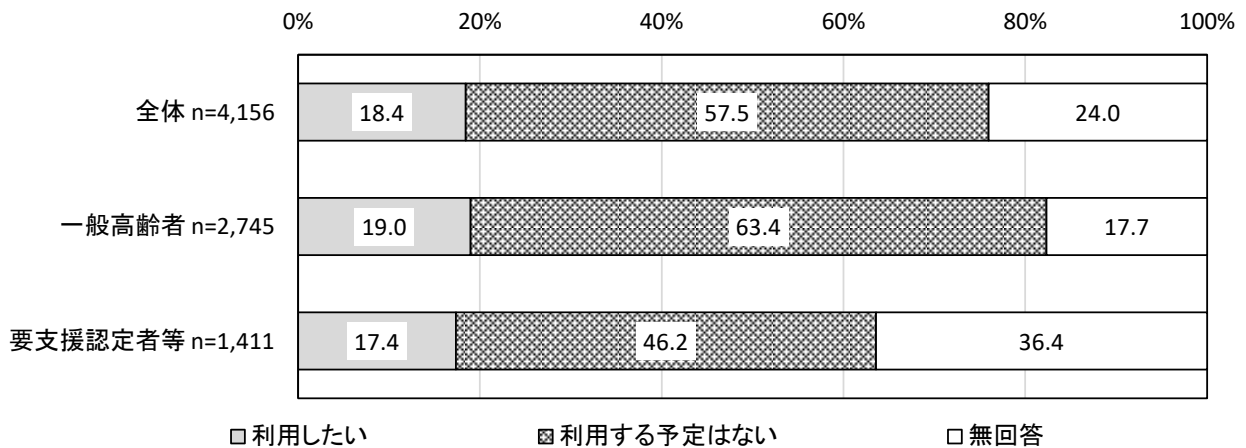


⑥ふれあい収集

一般高齢者では、「利用したい」の割合が19.0%、「利用する予定はない」の割合が63.4%となっています。

要支援認定者等では、「利用したい」の割合が17.4%、「利用する予定はない」の割合が46.2%となっています。

「利用したい」の割合に大きな差異はありません。

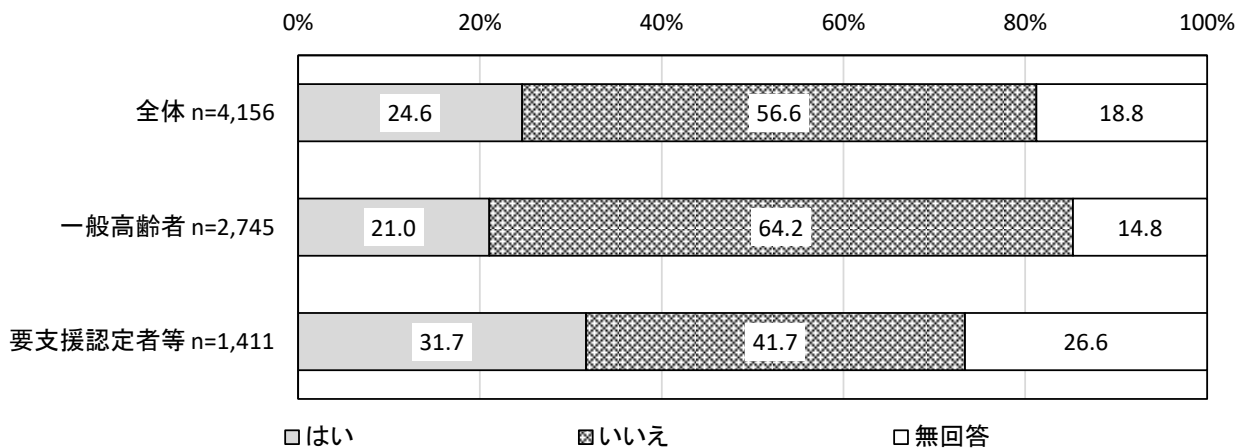


問9 あなたは、自主的に介護予防（運動や講座の受講等）をしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が21.0%、「いいえ」の割合が64.2%となっています。

要支援認定者等では、「はい」の割合が31.7%、「いいえ」の割合が41.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で21.0%、要支援認定者等で31.7%となっており、10.7ポイントの差となっています。



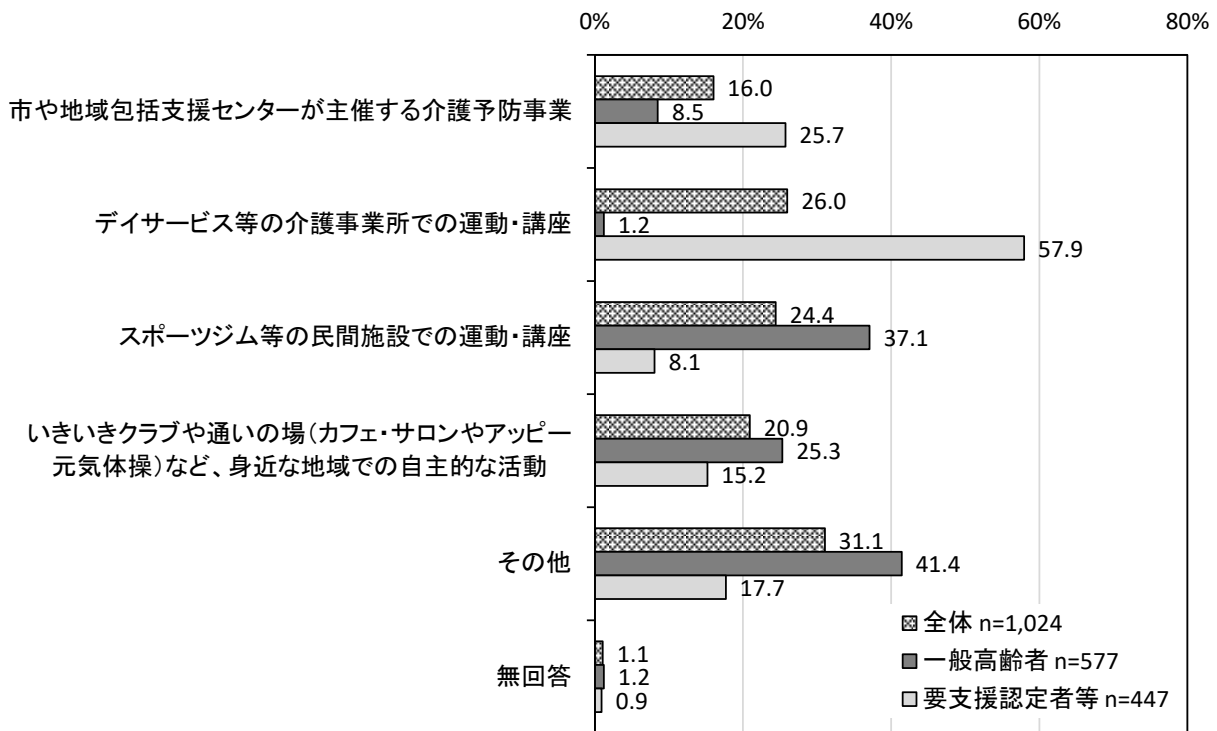
【問9で「はい」の人のみ】

問9-1 あなたは、どのような介護予防をしていますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」の割合が37.1%と最も高く、次いで「いきいきクラブや通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操）など、身近な地域での自主的な活動」の割合が25.3%、「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」の割合が8.5%となっています。

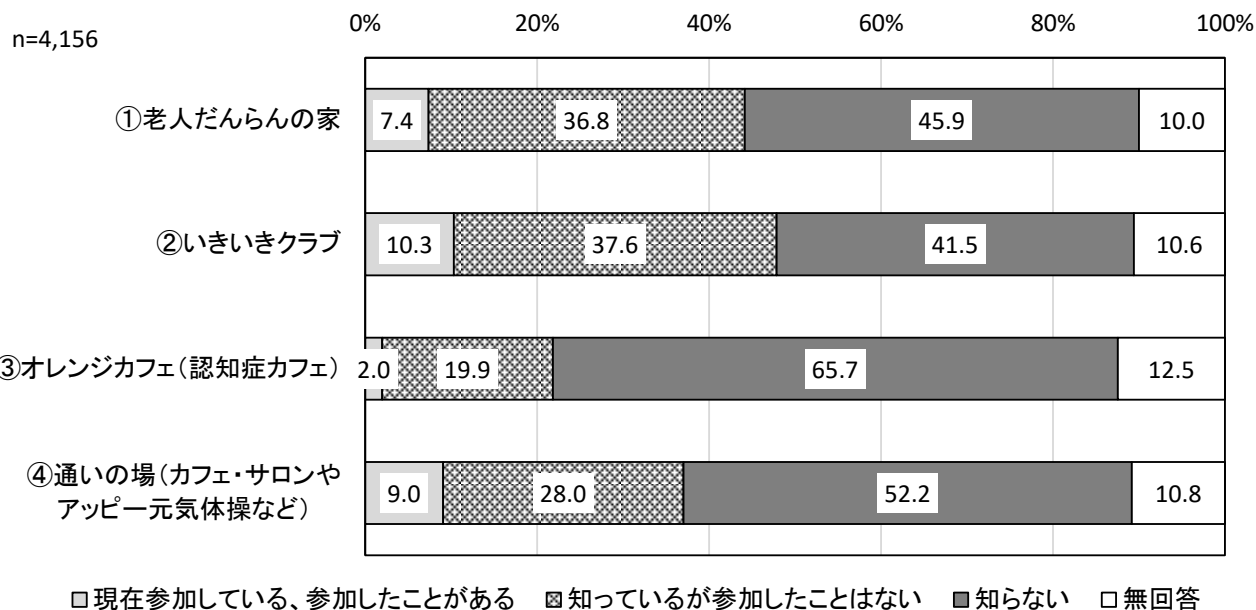
要支援認定者等では、「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」の割合が57.9%と最も高く、次いで「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」の割合が25.7%、「いきいきクラブや通いの場など、身近な地域での自主的な活動」の割合が15.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」「いきいきクラブや通いの場など、身近な地域での自主的な活動」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、次の活動に参加したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

「現在参加している、参加したことがある」と「知っているが参加したことはない」を合わせた“認知度”は、②いきいきクラブで最も高く、次いで、①老人だんらんの家となっています。

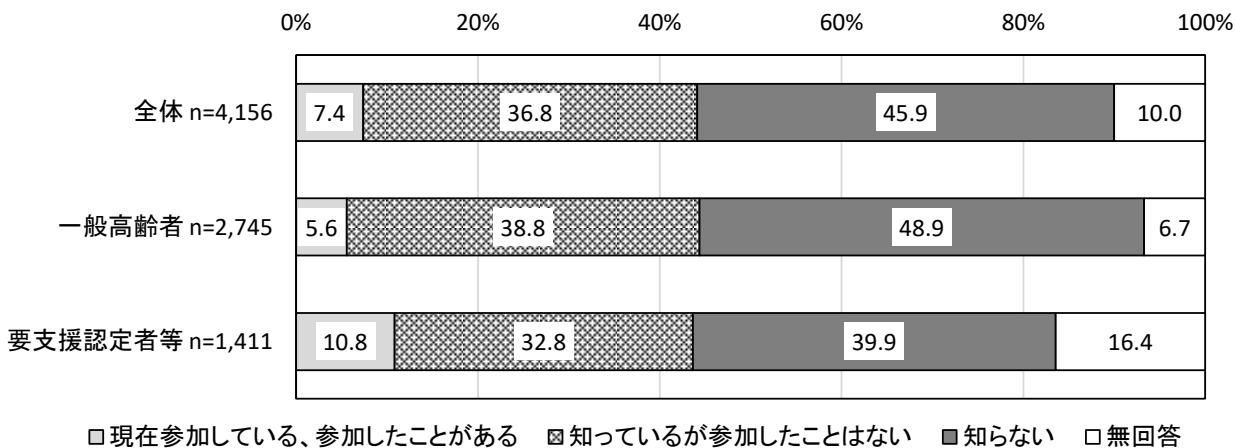


①老人だんらんの家：事務区・自治会が主体となって、地区集会所などを高齢者のだんらんの場として開放し、交流します

一般高齢者では、「知らない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 38.8%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 39.9%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 32.8%となっています。

“認知度”に大きな差異はありません。

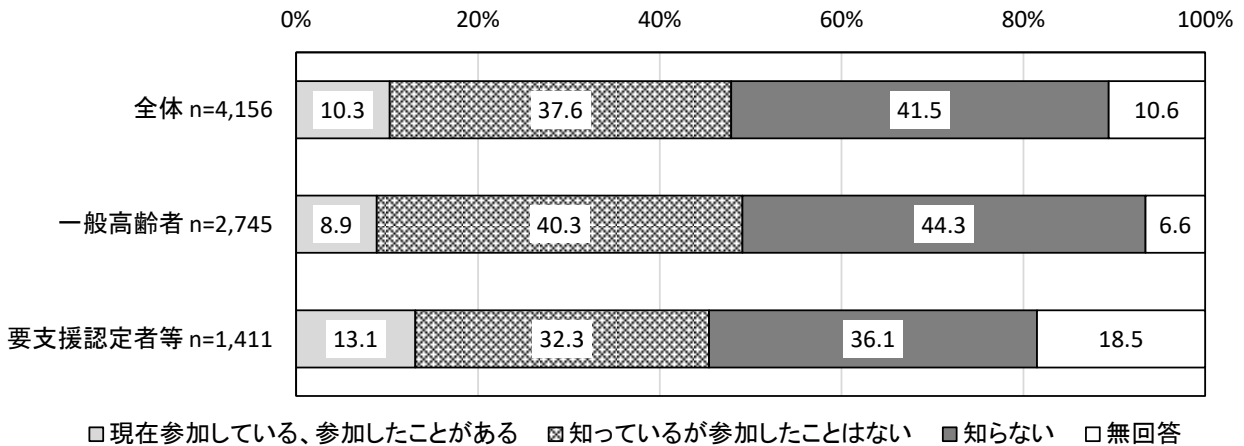


②いきいきクラブ：スポーツ・レクリエーション、趣味活動、ボランティアや地域活動を通して、仲間づくり、生きがいを推進しています

一般高齢者では、「知らない」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 40.3%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 32.3%となっています。

“認知度”をみると、要支援認定者等に比べ、一般高齢者で高くなっています。

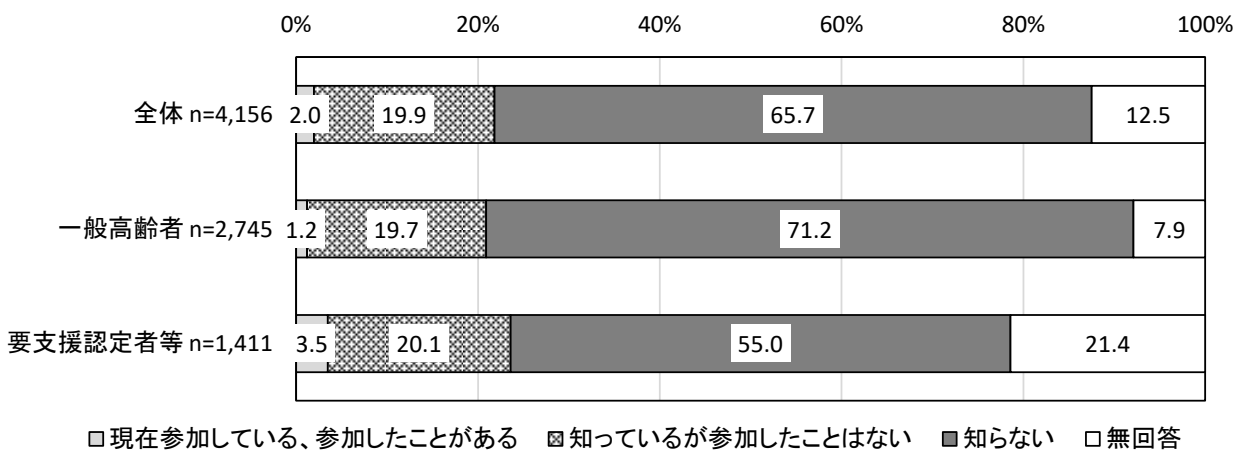


③オレンジカフェ（認知症カフェ）：認知症の人やその家族が、地域住民や医療・介護の専門家と交流したり情報交換、相談ができるカフェです

一般高齢者では、「知らない」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 19.7%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 20.1%となっています。

“認知度”をみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で高くなっています。

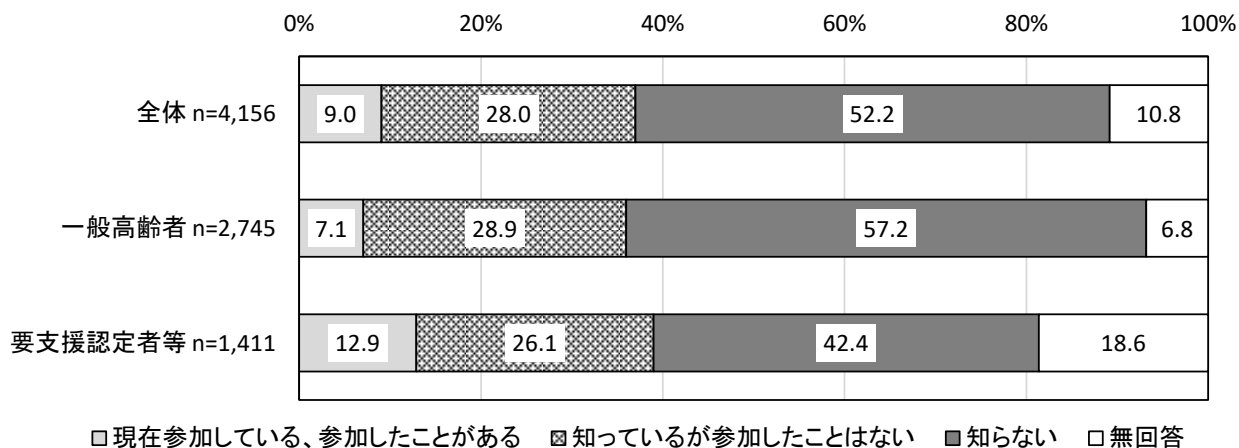


④通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操など）：孤立しがちな人をつなぎ、顔の見える関係を築くことを目的とした、誰もが気軽に参加できる場です

一般高齢者では、「知らない」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 28.9%となっています。

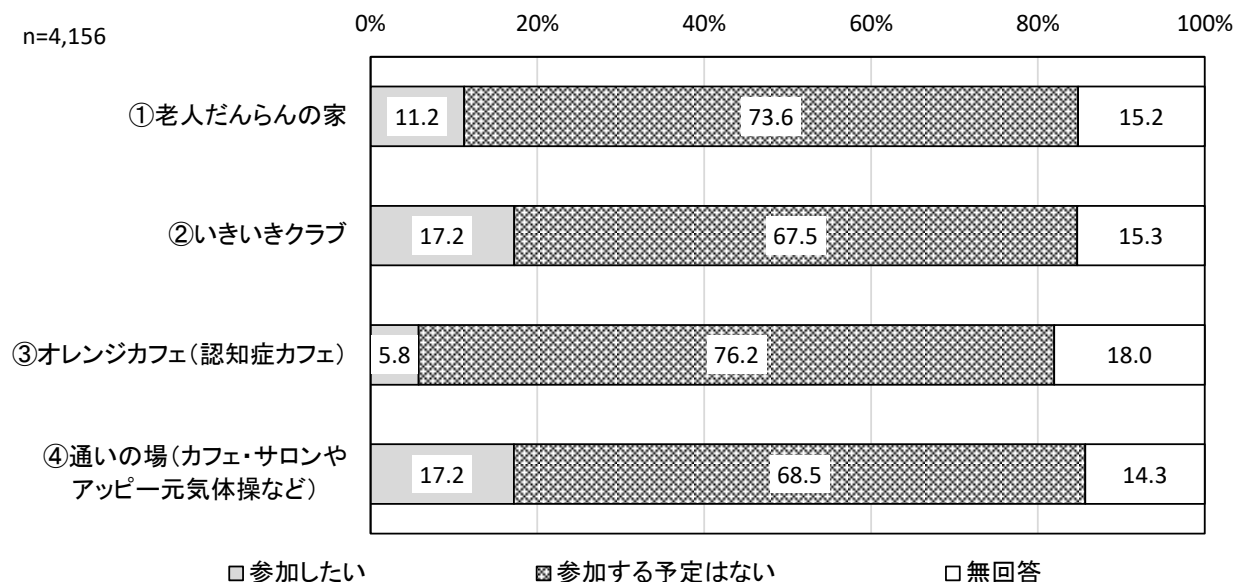
要支援認定者等では、「知らない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」の割合が 26.1%となっています。

“認知度”に大きな差異はありません。



問 11 あなたは、次の活動に今後参加したいと思いますか（それぞれ回答は1つ）

「参加したい」の割合をみると、②いきいきクラブ、④通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操など）が最も高く、次いで、①老人だんらんの家となっています。

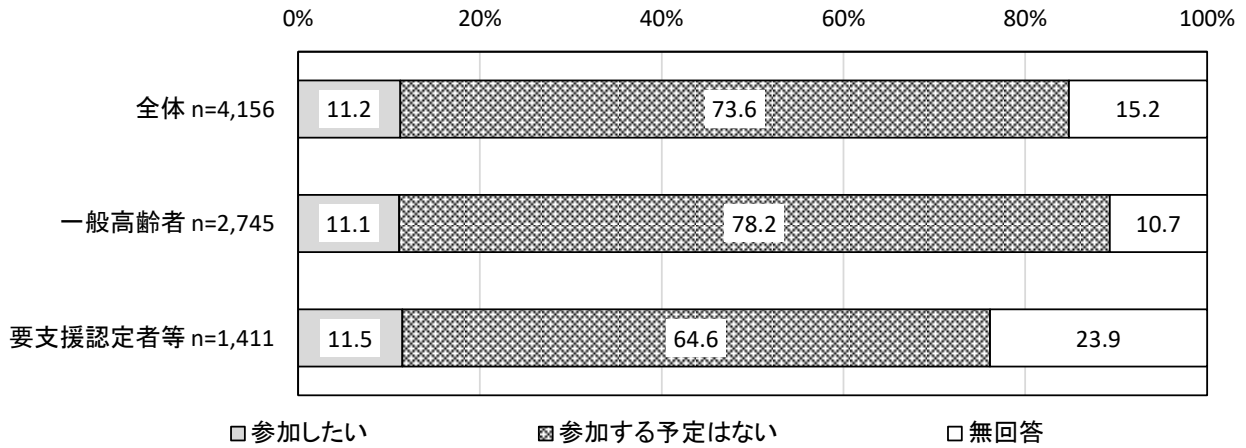


①老人だんらんの家

一般高齢者では、「参加したい」の割合が11.1%、「参加する予定はない」の割合が78.2%となっています。

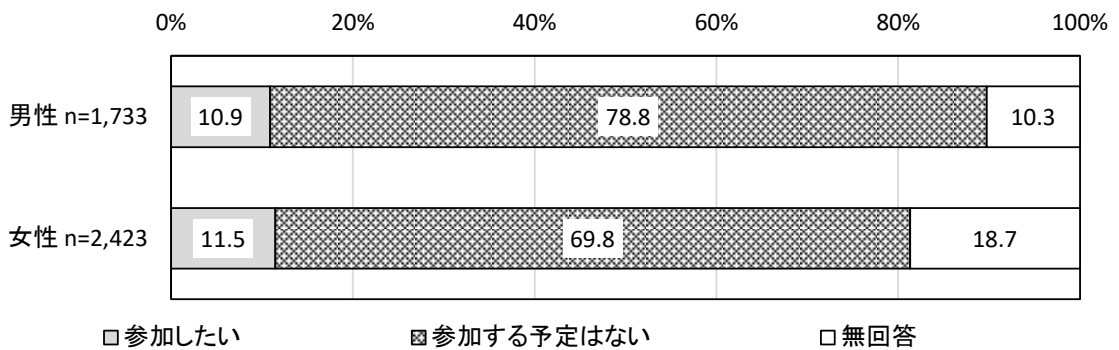
要支援認定者等では、「参加したい」の割合が11.5%、「参加する予定はない」の割合が64.6%となっています。

「参加したい」の割合に大きな差異はありません。



■性別

性別でみると、女性に比べ男性で「参加する予定はない」の割合が高くなっています。

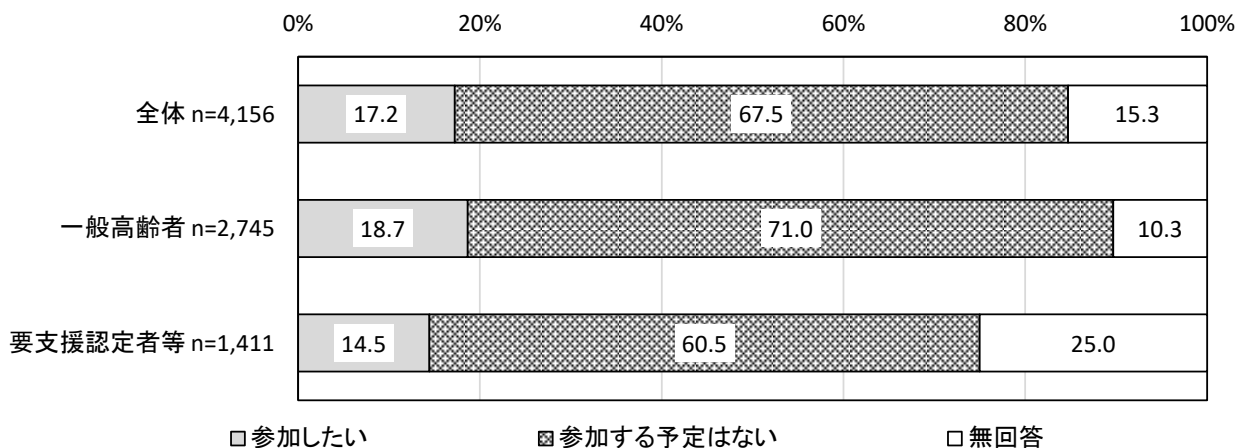


②いきいきクラブ

一般高齢者では、「参加したい」の割合が18.7%、「参加する予定はない」の割合が71.0%となっています。

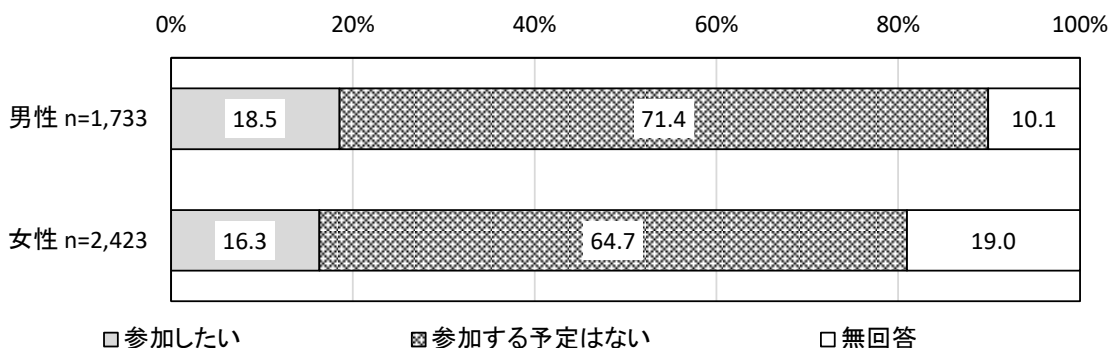
要支援認定者等では、「参加したい」の割合が14.5%、「参加する予定はない」の割合が60.5%となっています。

「参加したい」の割合をみると、要支援認定者等に比べ、一般高齢者で高くなっています。



■性別

性別でみると、女性に比べ男性で「参加する予定はない」の割合が高くなっています。

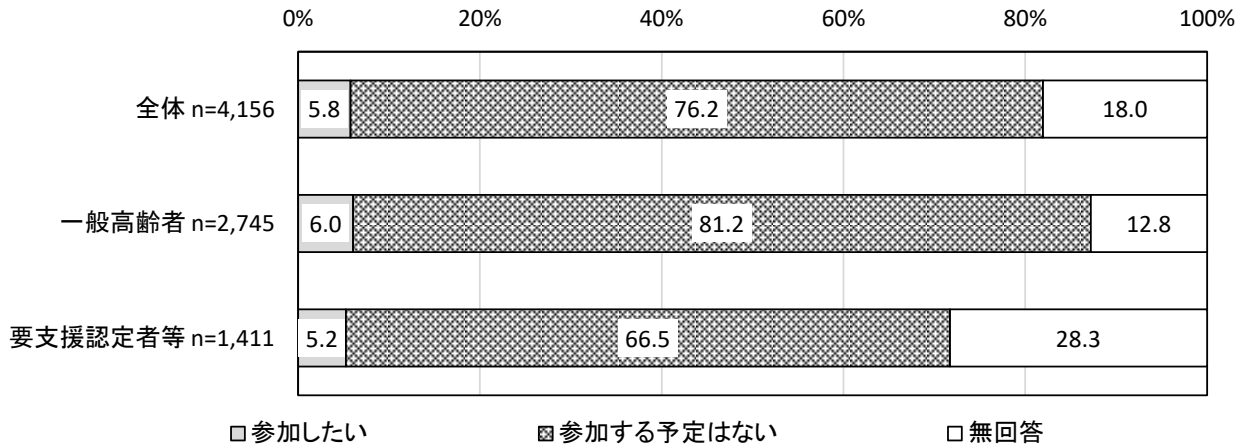


③オレンジカフェ（認知症カフェ）

一般高齢者では、「参加したい」の割合が6.0%、「参加する予定はない」の割合が81.2%となっています。

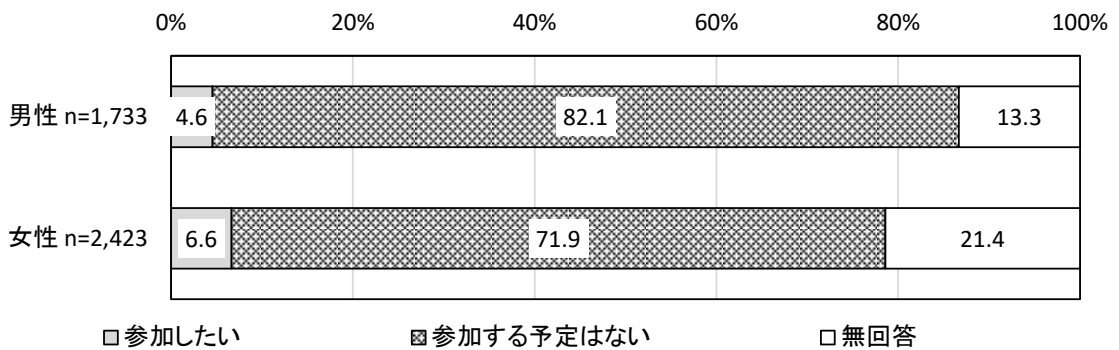
要支援認定者等では、「参加したい」の割合が5.2%、「参加する予定はない」の割合が66.5%となっています。

「参加したい」の割合に大きな差異はありません。



■性別

性別でみると、女性に比べ男性で「参加する予定はない」の割合が高くなっています。

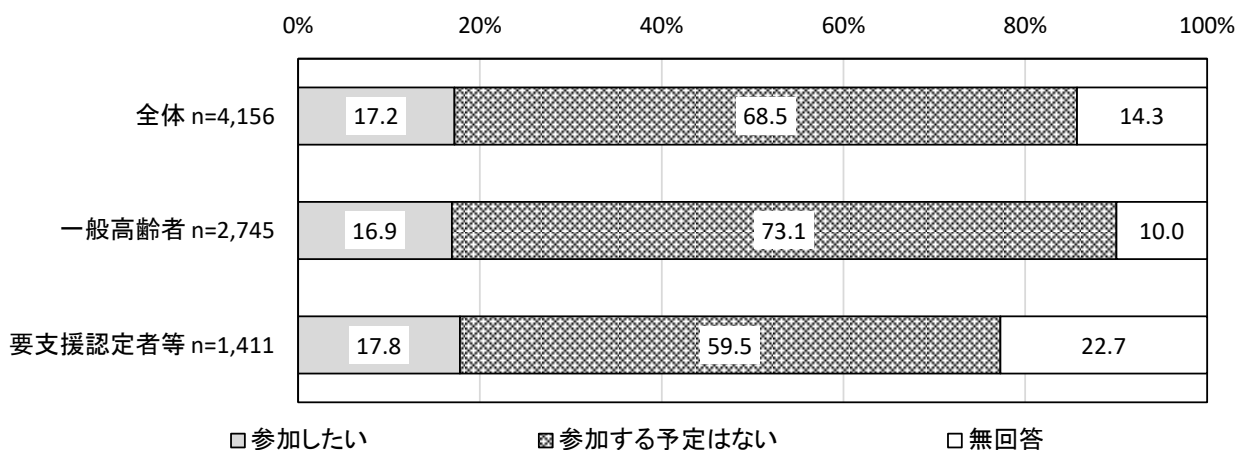


④通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操など）

一般高齢者では、「参加したい」の割合が16.9%、「参加する予定はない」の割合が73.1%となっています。

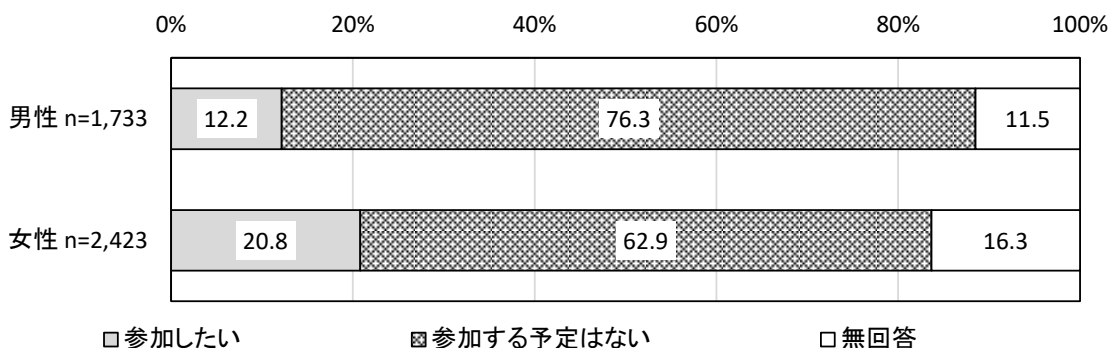
要支援認定者等では、「参加したい」の割合が17.8%、「参加する予定はない」の割合が59.5%となっています。

「参加したい」の割合に大きな差異はありません。



■性別

性別で見ると、男性に比べ女性で「参加したい」の割合が高くなっています。また、女性に比べ男性で「参加する予定はない」の割合が高くなっています。

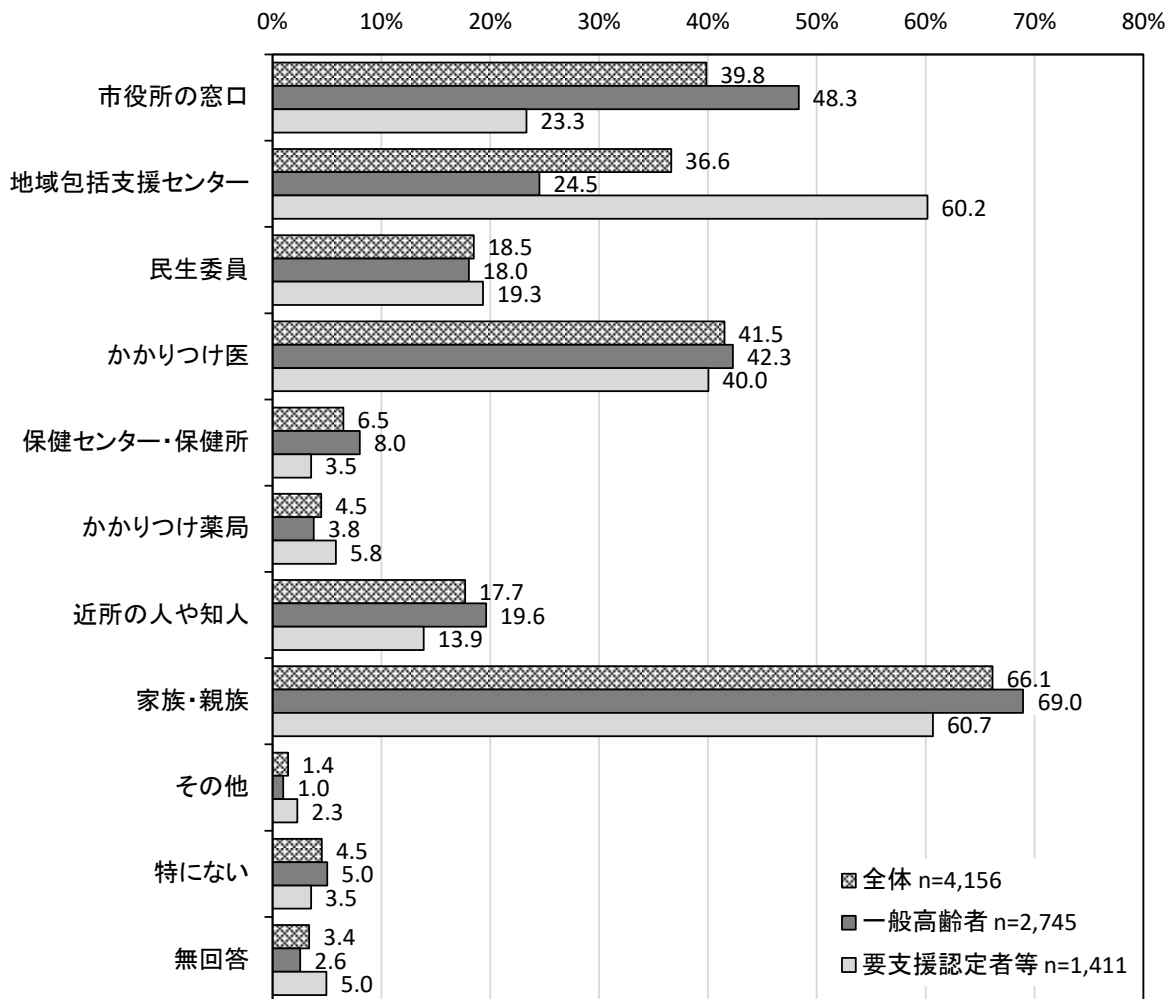


**問 12 あなたは、健康や福祉・介護のことで困ったとき、誰に相談しますか
（あてはまるものすべてに回答）**

一般高齢者では、「家族・親族」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「市役所の窓口」の割合が 48.3%、「かかりつけ医」の割合が 42.3%となっています。

要支援認定者等では、「家族・親族」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 60.2%、「かかりつけ医」の割合が 40.0%となっています。

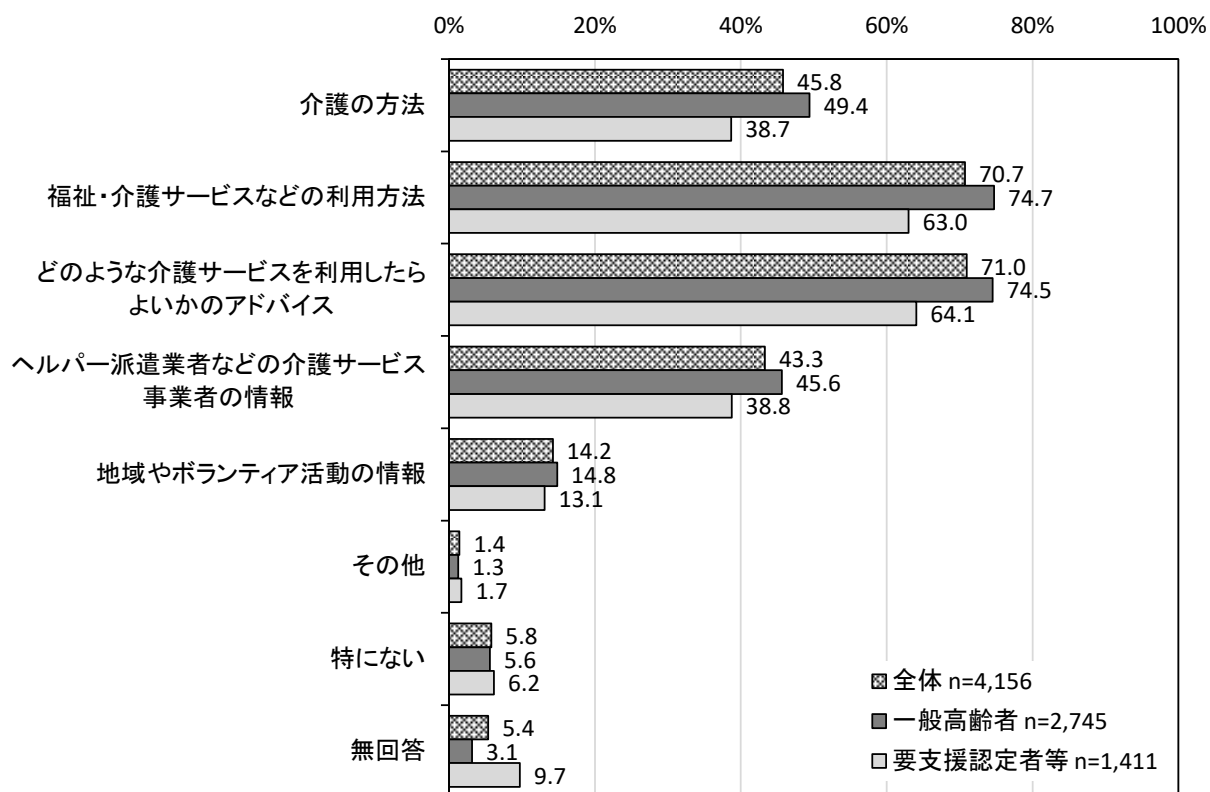
要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「市役所の窓口」「近所の人や知人」「家族・親族」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。



**問 13 あなたは、介護が必要になったとき、どのような情報を知りたいですか
（あてはまるものすべてに回答）**

一般高齢者では、「福祉・介護サービスなどの利用方法」の割合が74.7%と最も高く、次いで「どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス」の割合が74.5%、「介護の方法」の割合が49.4%となっています。

要支援認定者等では、「どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス」の割合が64.1%と最も高く、次いで「福祉・介護サービスなどの利用方法」の割合が63.0%、「ヘルパー派遣業者などの介護サービス事業者の情報」の割合が38.8%となっています。



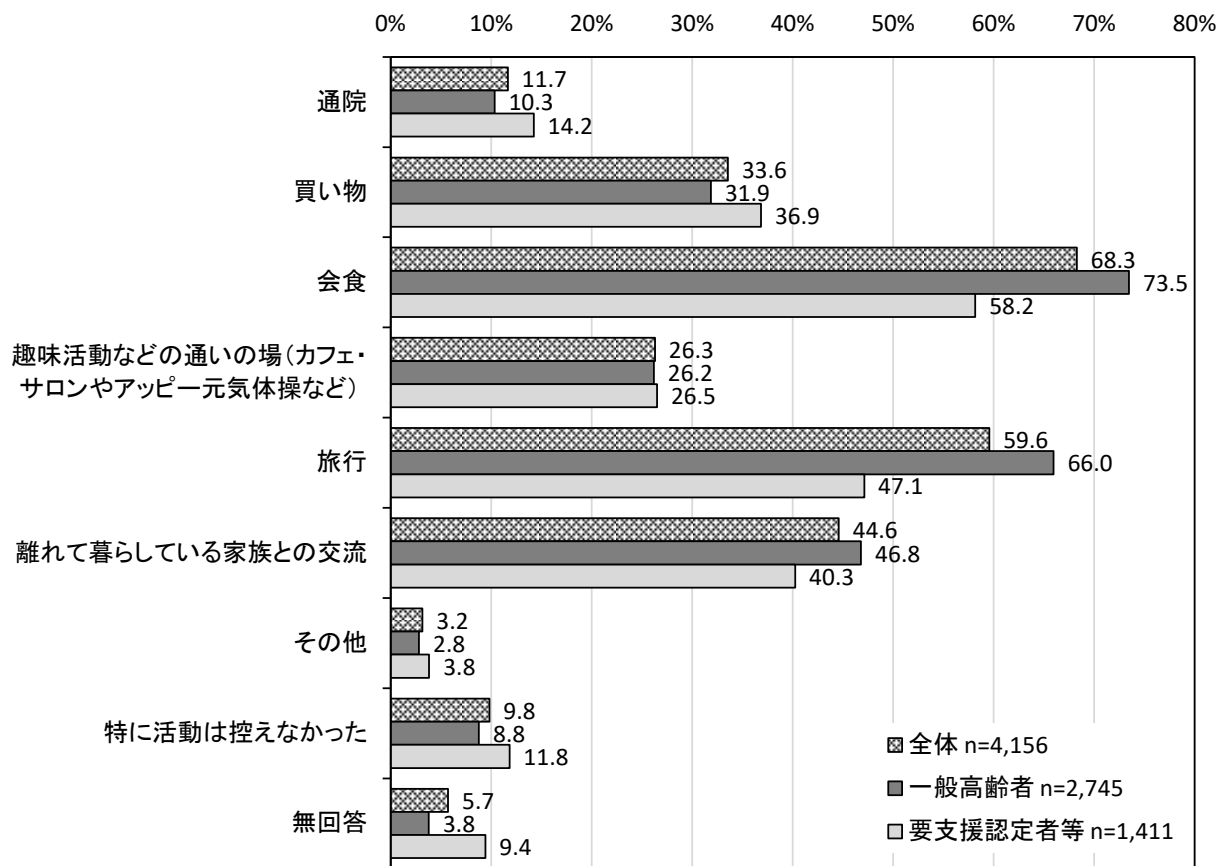
（４）新型コロナウイルスの感染拡大について

問 14 新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活において、活動を控えた、または見合わせたものはありましたか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「会食」の割合が73.5%と最も高く、次いで「旅行」の割合が66.0%、「離れて暮らしている家族との交流」の割合が46.8%となっています。

要支援認定者等では、「会食」の割合が58.2%と最も高く、次いで「旅行」の割合が47.1%、「離れて暮らしている家族との交流」の割合が40.3%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「会食」「旅行」「離れて暮らしている家族との交流」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「買い物」の割合が高くなっています。

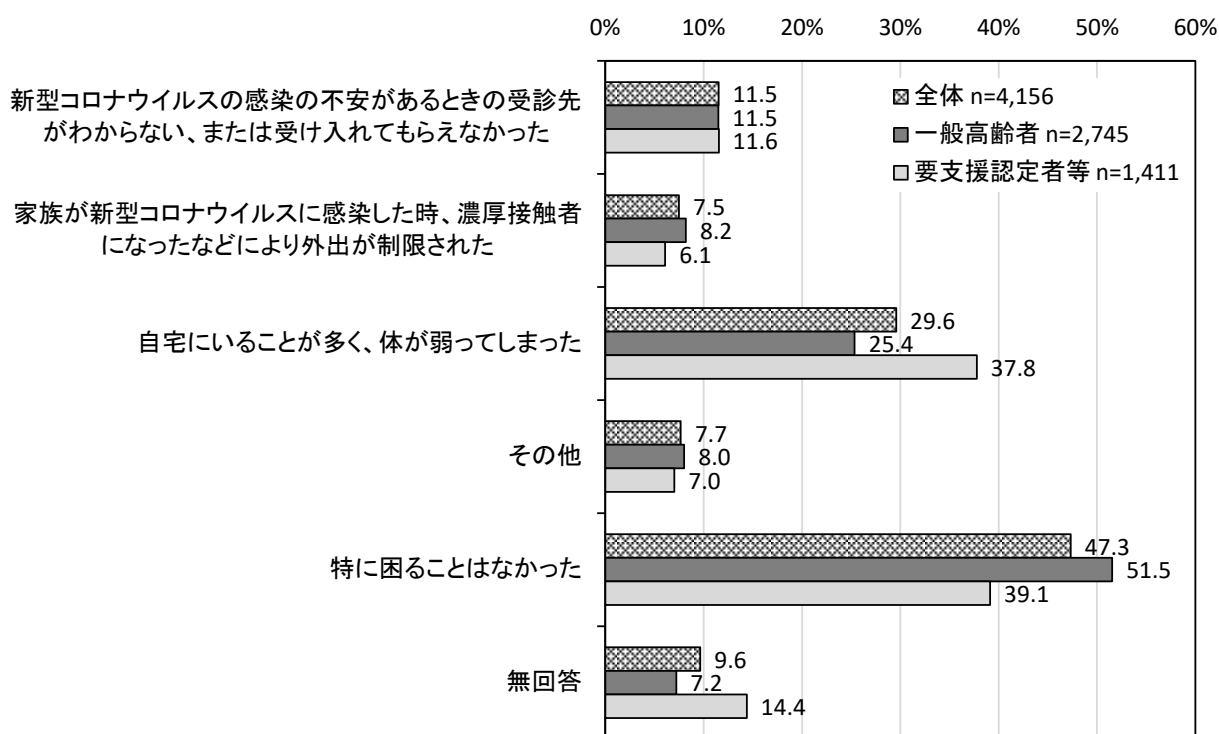


問 15 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で何か困ったことはありましたか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「特に困ることはなかった」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「自宅にすることが多く、体が弱ってしまった」の割合が 25.4%、「新型コロナウイルスの感染の不安があるときの受診先がわからない、または受け入れてもらえなかった」の割合が 11.5%となっています。

要支援認定者等では、「特に困ることはなかった」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「自宅にすることが多く、体が弱ってしまった」の割合が 37.8%、「新型コロナウイルスの感染の不安があるときの受診先がわからない、または受け入れてもらえなかった」の割合が 11.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「特に困ることはなかった」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自宅にすることが多く、体が弱ってしまった」の割合が高くなっています。



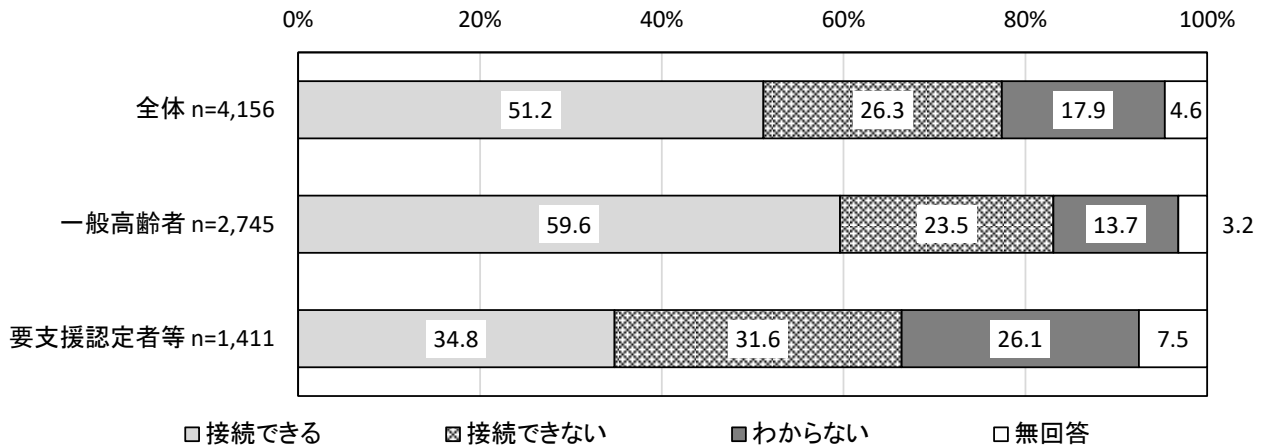
（5）その他

問 16 あなたの家は、インターネットに接続できる環境にありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「接続できる」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「接続できない」の割合が 23.5%、「わからない」の割合が 13.7%となっています。

要支援認定者等では、「接続できる」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「接続できない」の割合が 31.6%、「わからない」の割合が 26.1%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「接続できる」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「接続できない」「わからない」の割合が高くなっています。

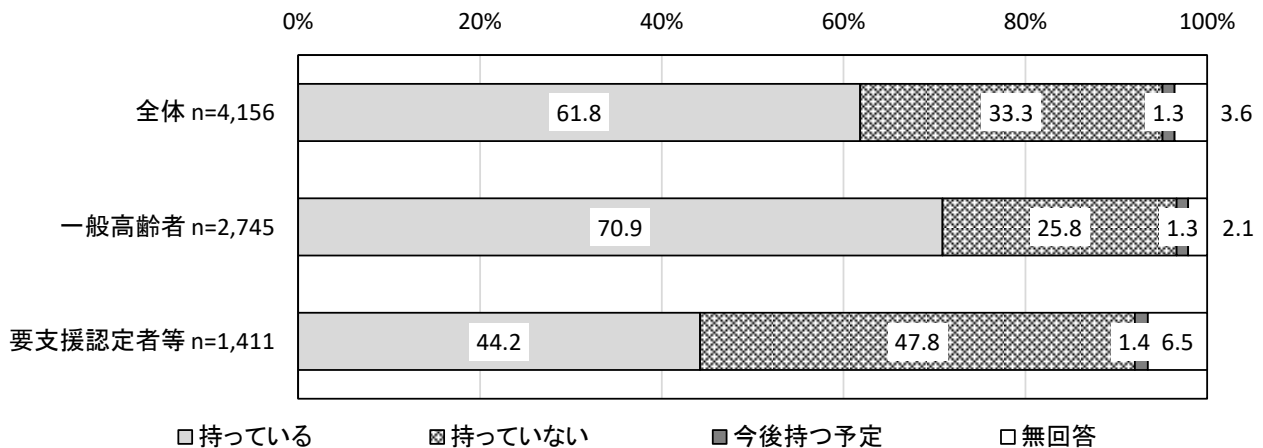


問 17 あなたはスマートフォンを持っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「持っている」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「持っていない」の割合が 25.8%、「今後持つ予定」の割合が 1.3%となっています。

要支援認定者等では、「持っていない」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「持っている」の割合が 44.2%、「今後持つ予定」の割合が 1.4%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「持っている」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「持っていない」の割合が高くなっています。



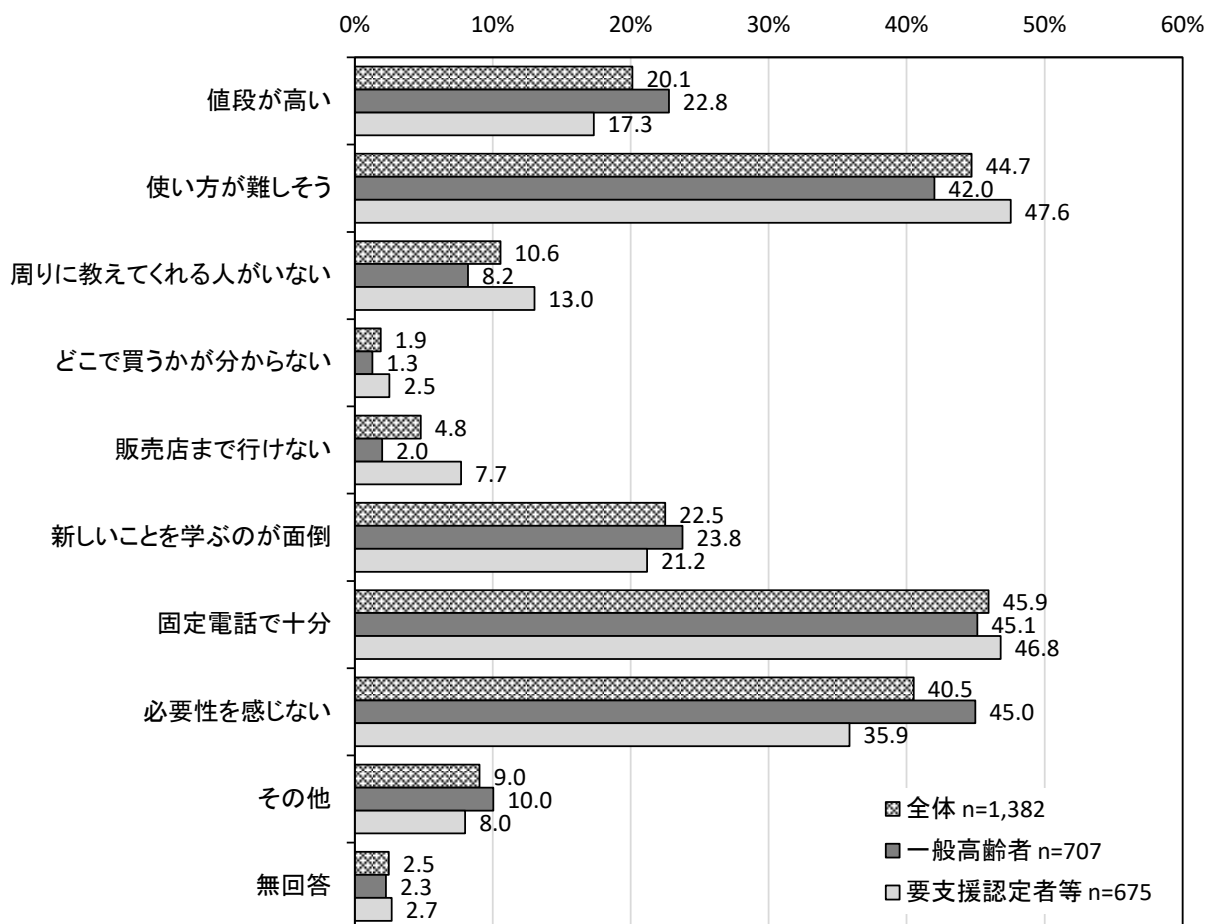
【問 17で「持っていない」の人のみ】

問 17-1 スマートフォンを持っていない理由は何ですか（回答は3つまで）

一般高齢者では、「固定電話で十分」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「必要性を感じない」の割合が 45.0%、「使い方が難しそう」の割合が 42.0%となっています。

要支援認定者等では、「使い方が難しそう」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「固定電話で十分」の割合が 46.8%、「必要性を感じない」の割合が 35.9%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「値段が高い」「必要性を感じない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「使い方が難しそう」「周りに教えてくれる人がいない」「販売店まで行けない」の割合が高くなっています。

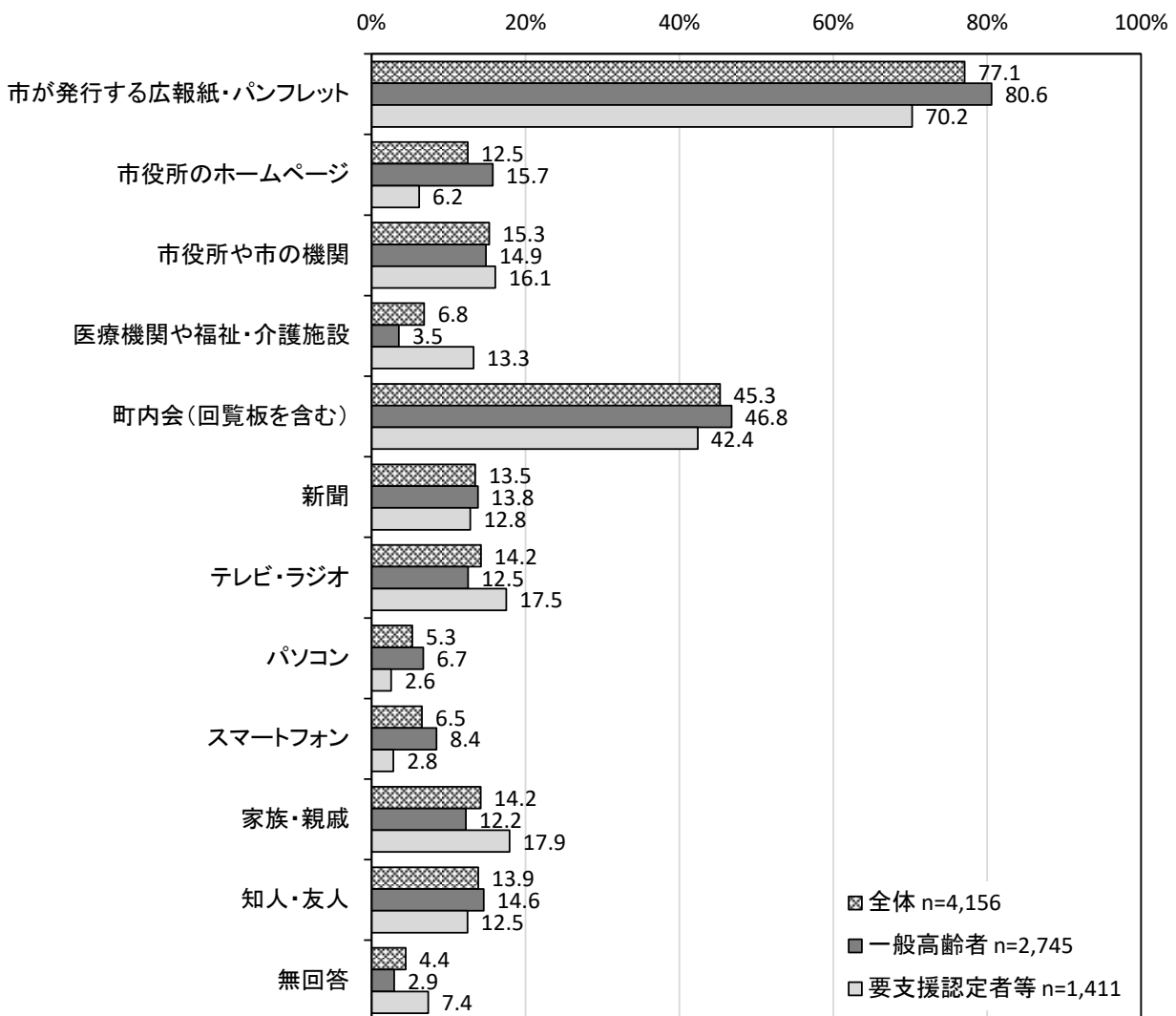


**問 18 あなたは、市が行うサービスや取組などについて、どこから情報を得ていますか
（主なものを3つまでに回答）**

一般高齢者では、「市が発行する広報紙・パンフレット」の割合が80.6%と最も高く、次いで「町内会（回覧板を含む）」の割合が46.8%、「市役所のホームページ」の割合が15.7%となっています。

要支援認定者等では、「市が発行する広報紙・パンフレット」の割合が70.2%と最も高く、次いで「町内会（回覧板を含む）」の割合が42.4%、「家族・親族」の割合が17.9%となっています。

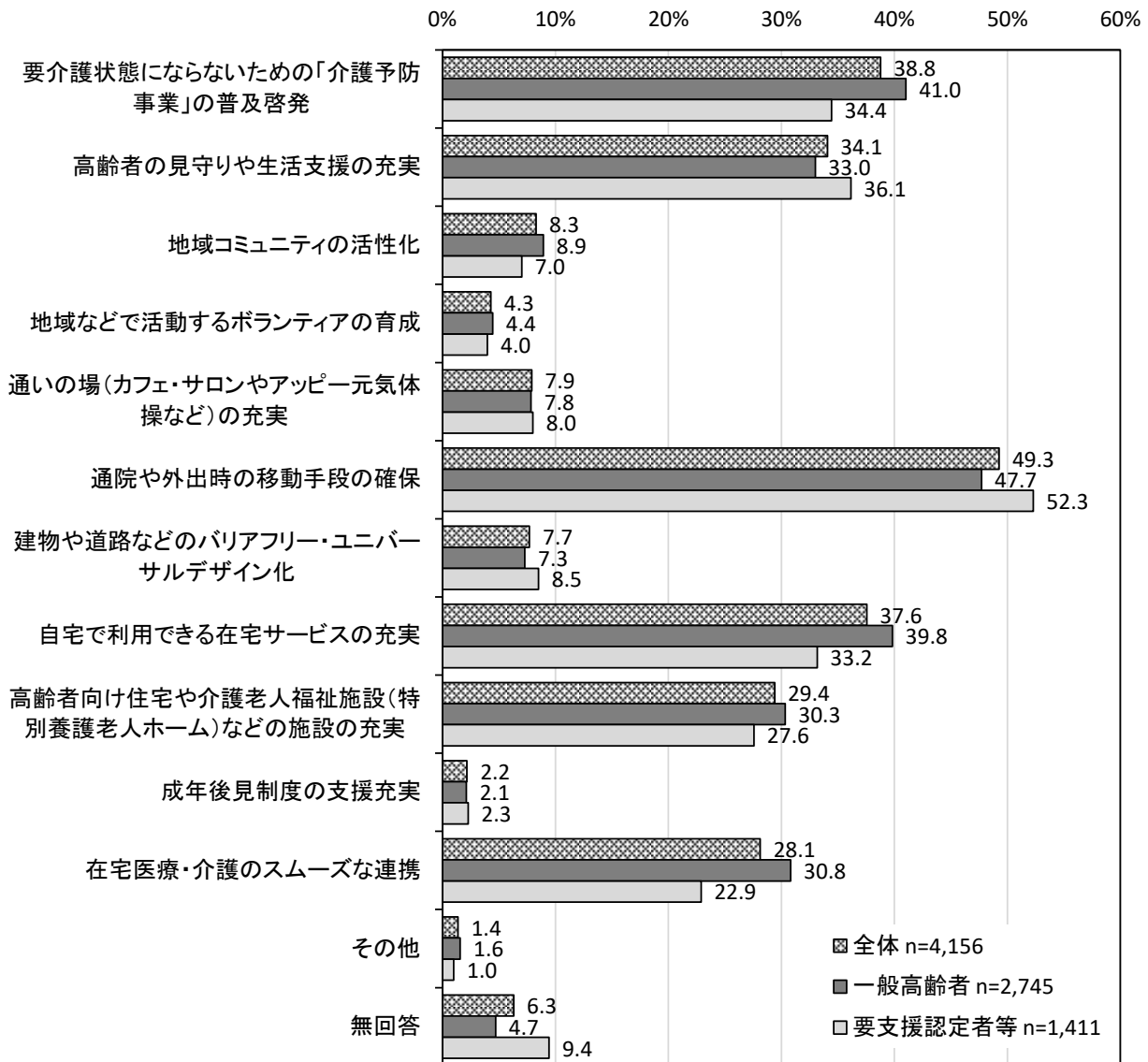
要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「市が発行する広報紙・パンフレット」「市役所のホームページ」「スマートフォン」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「医療機関や福祉・介護施設」「テレビ・ラジオ」「家族・親族」の割合が高くなっています。



問 19 2025 年に向けて高齢化が急速に進展しています。高齢化に対応した取組として何が必要だと思いますか（主なものを3つまでに回答）

一般高齢者では、「通院や外出時の移動手段の確保」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発」の割合が 41.0%、「自宅で利用できる在宅サービスの充実」の割合が 39.8%となっています。

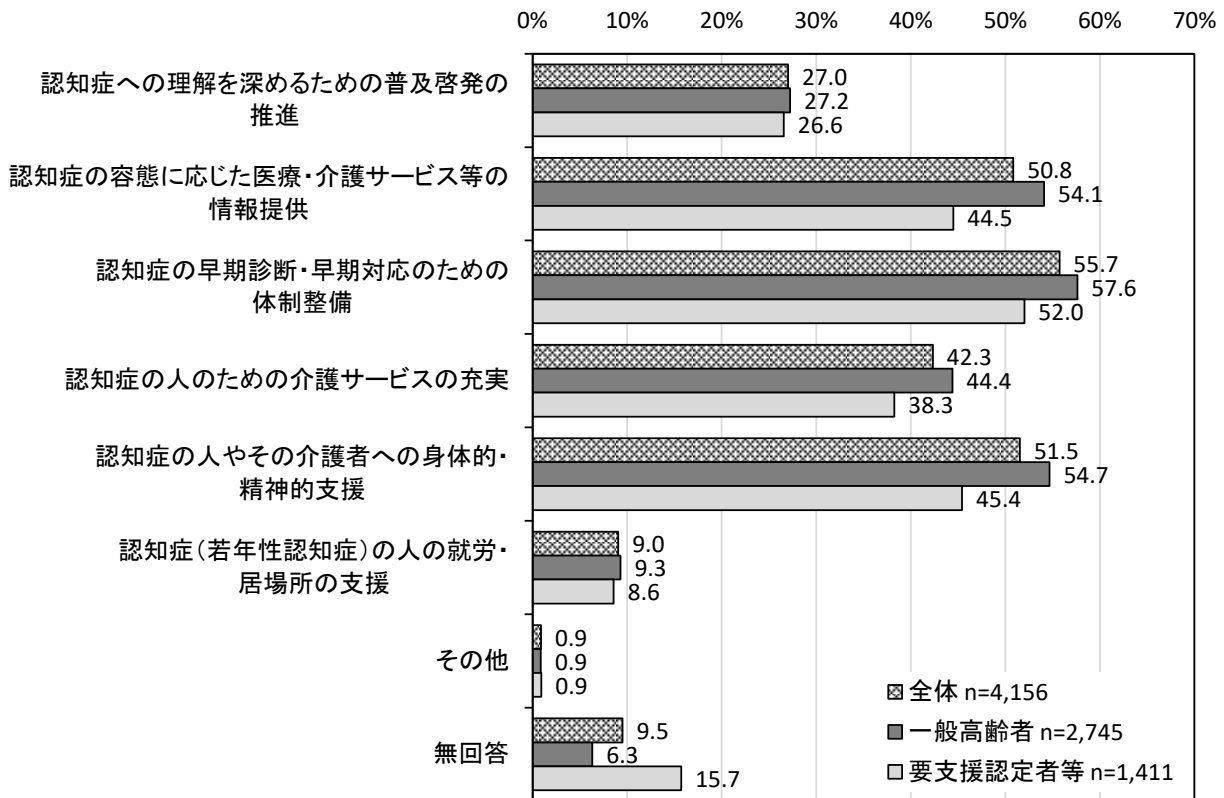
要支援認定者等では、「通院や外出時の移動手段の確保」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「高齢者の見守りや生活支援の充実」の割合が 36.1%、「要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発」の割合が 34.4%となっています。



**問 20 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために、何が必要だと思いますか
（主なもの3つまでに回答）**

一般高齢者では、「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」の割合が57.6%と最も高く、次いで「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」の割合が54.7%、「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」の割合が54.1%となっています。

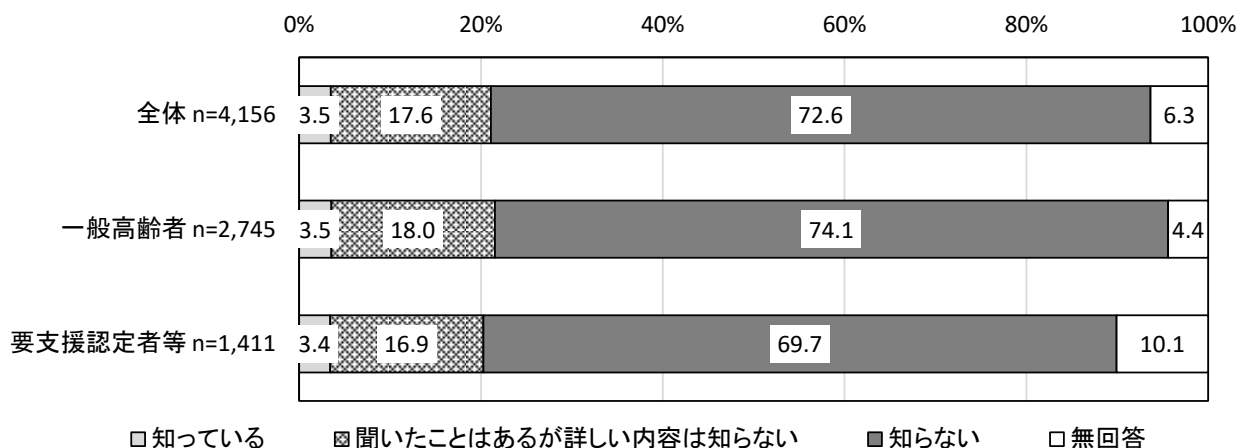
要支援認定者等では、「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」の割合が52.0%と最も高く、次いで「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」の割合が45.4%、「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」の割合が44.5%となっています。



問 21 認知症の人を地域で支える「認知症サポーター」を知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「知らない」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 18.0%となっています。

要支援認定者等では、「知らない」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 16.9%となっています。

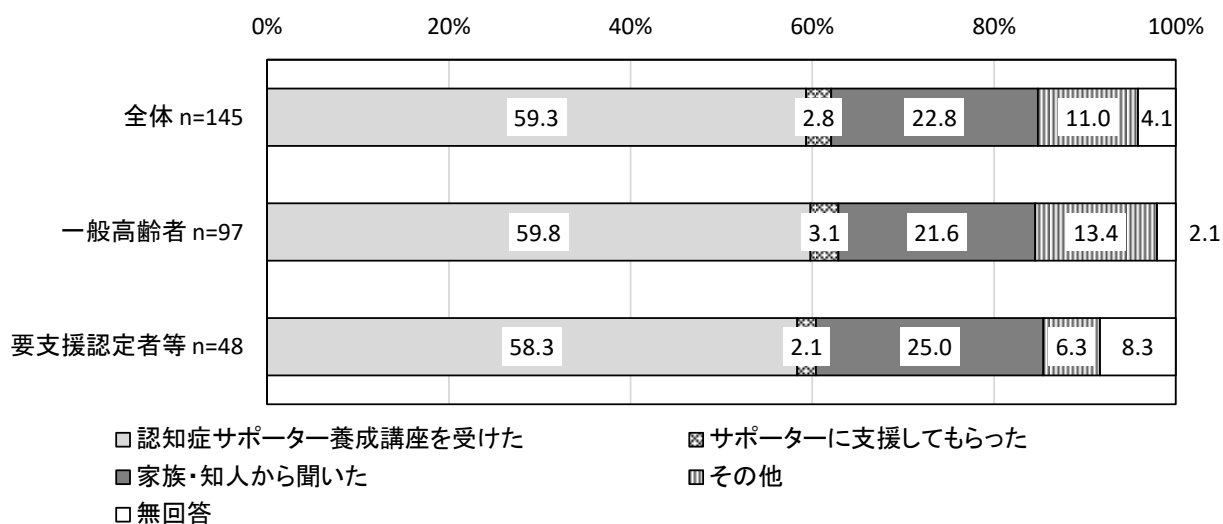


【問 21 で「知っている」の人のみ】

問 21-1 「認知症サポーター」をどこで知りましたか（回答は1つ）

一般高齢者では、「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「家族・知人から聞いた」の割合が 21.6%となっています。

要支援認定者等では、「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「家族・知人から聞いた」の割合が 25.0%となっています。

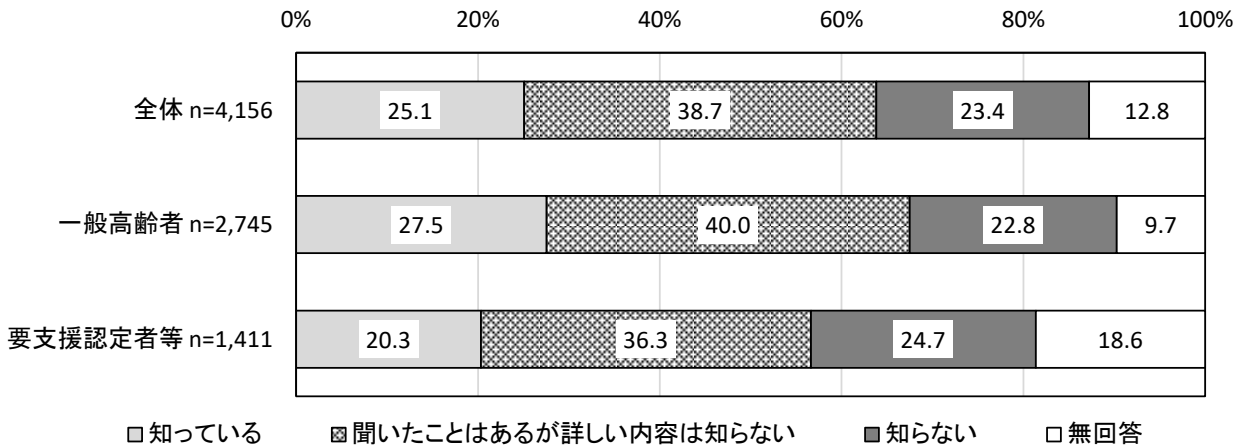


問 22 認知症などにより、判断能力が不十分になった場合、本人に代わって財産の管理や契約などを行う人を選任してもらう制度である「成年後見制度」について知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「知っている」の割合が 27.5%、「知らない」の割合が 22.8%となっています。

要支援認定者等では、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 24.7%、「知っている」の割合が 20.3%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。

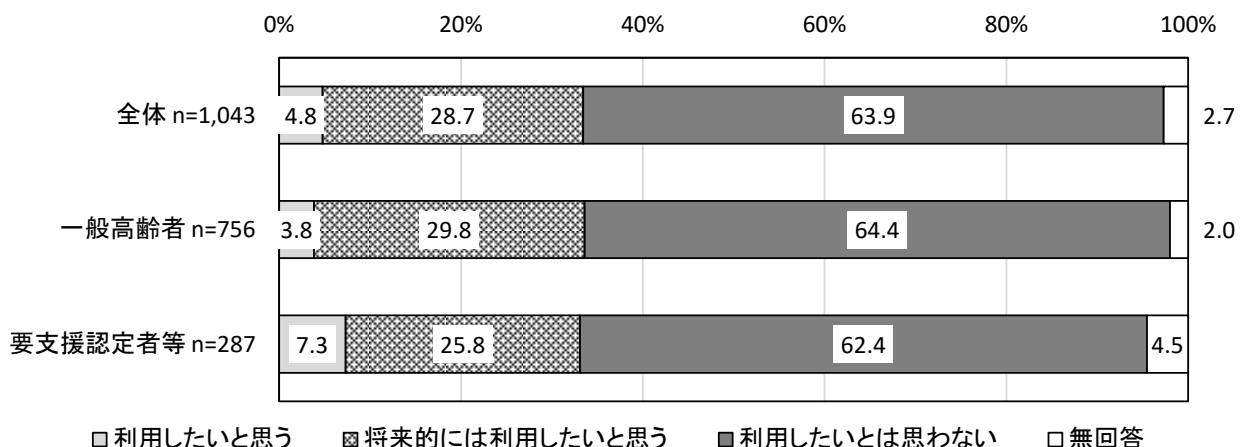


【問 22 で「知っている」の人のみ】

問 22-1 あなたは「成年後見制度」を利用したいと思うことはありますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「利用したいとは思わない」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「将来的には利用したいと思う」の割合が 29.8%となっています。

要支援認定者等では、「利用したいとは思わない」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「将来的には利用したいと思う」の割合が 25.8%となっています。



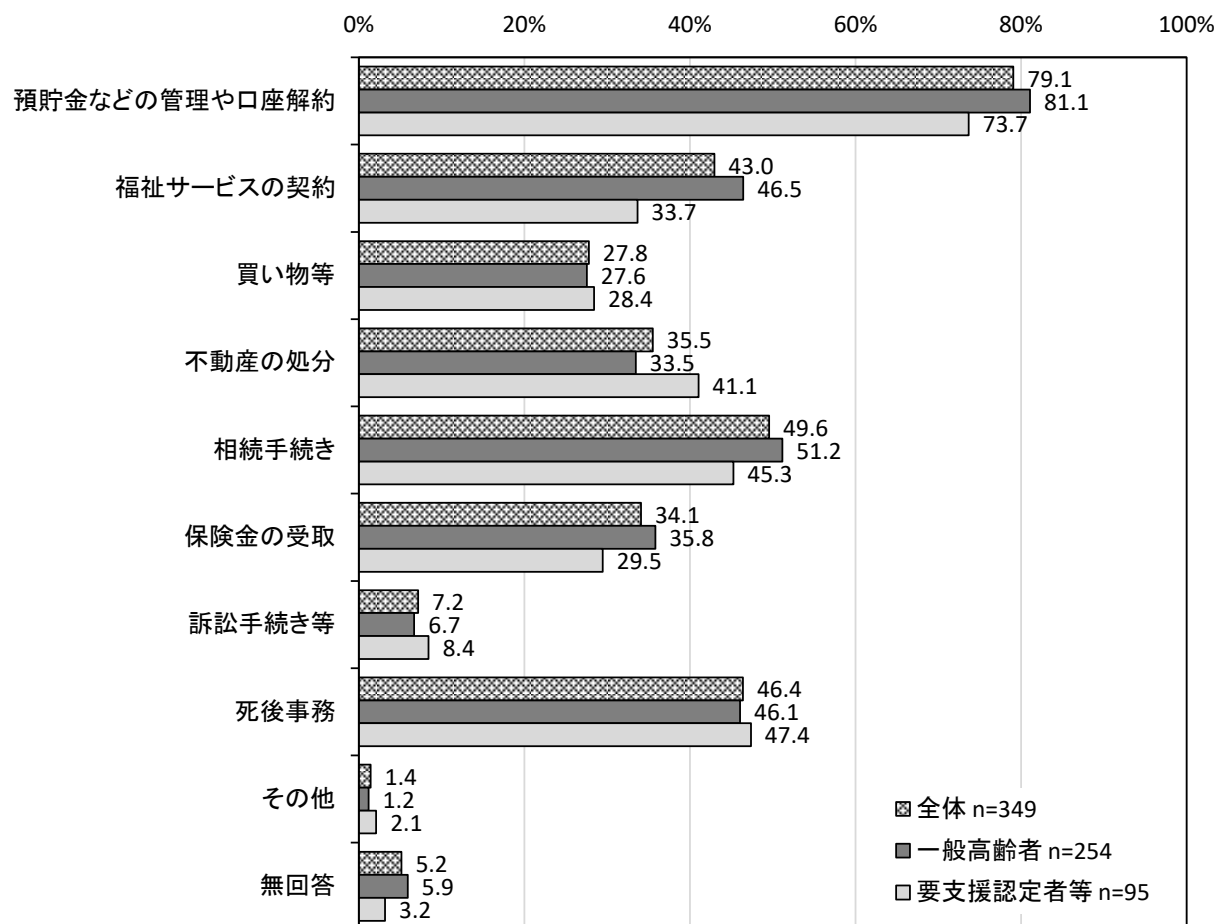
【問 22-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の人のみ】

問 22-2 成年後見制度はどのようなことで必要だと思いますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「預貯金などの管理や口座解約」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「相続手続き」の割合が 51.2%、「福祉サービスの契約」の割合が 46.5%となっています。

要支援認定者等では、「預貯金などの管理や口座解約」の割合が 73.7%と最も高く、次いで「死後事務」の割合が 47.4%、「相続手続き」の割合が 45.3%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「預貯金などの管理や口座解約」「福祉サービスの契約」「相続手続き」「保険金の受取」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「不動産の処分」の割合が高くなっています。

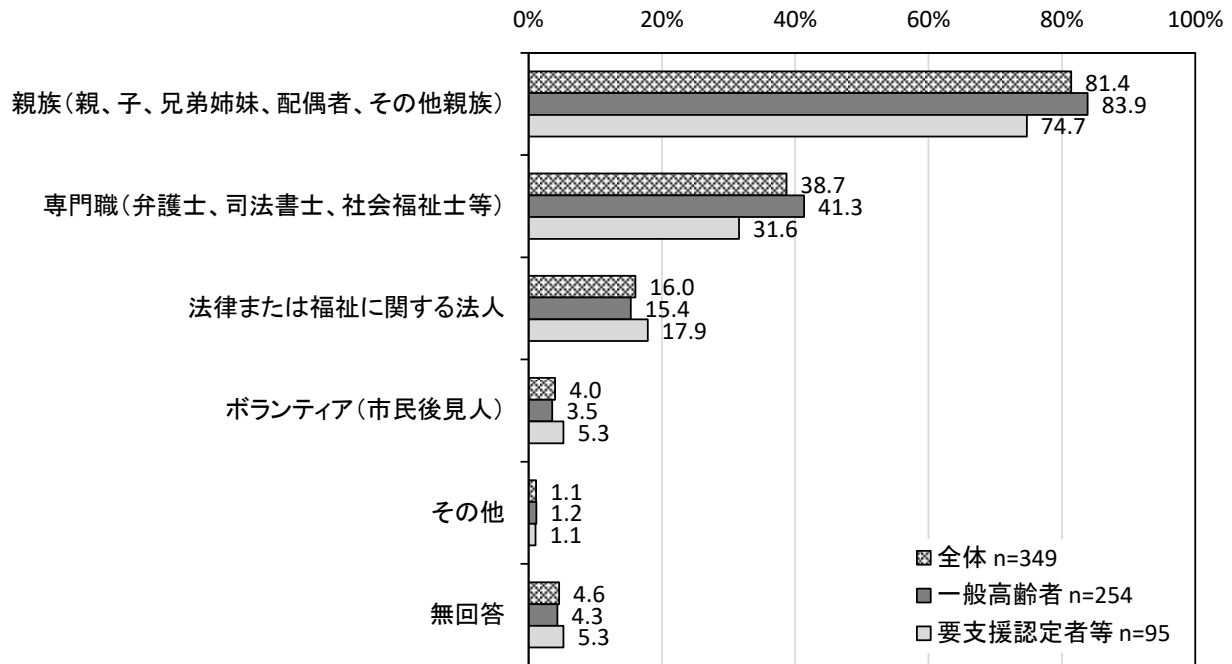


【問 22-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の人のみ】

問 22-3 成年後見人にはどのような人になってもらいたいですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「親族（親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族）」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が 41.3%、「法律または福祉に関する法人」の割合が 15.4%となっています。

要支援認定者等では、「親族（親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族）」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が 31.6%、「法律または福祉に関する法人」の割合が 17.9%となっています。

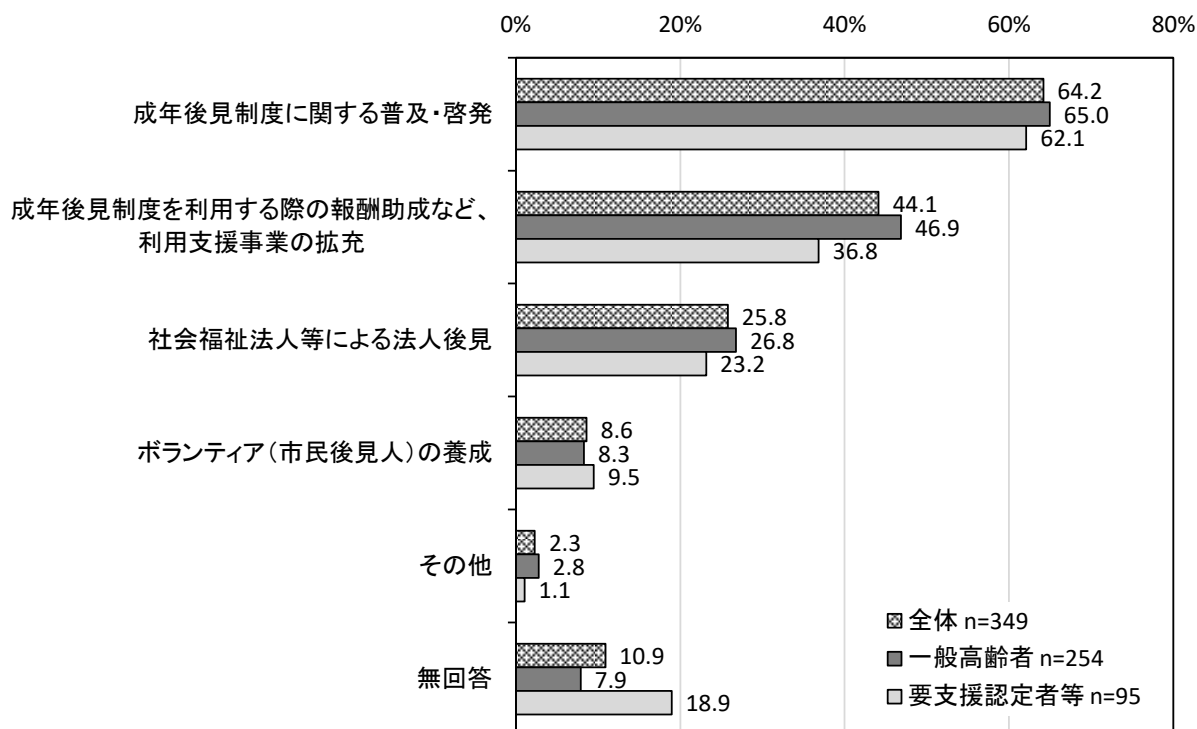


【問 22-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の人のみ】

問 22-4 市の成年後見制度施策に望むものは何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 46.9%、「社会福祉法人等による法人後見」の割合が 26.8%となっています。

要支援認定者等では、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 36.8%、「社会福祉法人等による法人後見」の割合が 23.2%となっています。

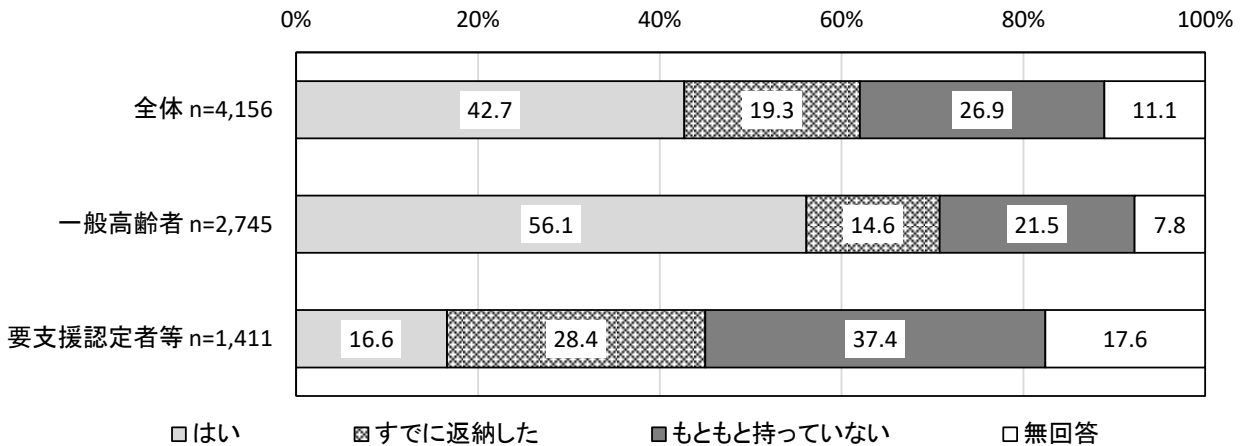


問 23 現在運転免許証をお持ちですか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が56.1%と最も高く、次いで「もともと持っていない」の割合が21.5%、「すでに返納した」の割合が14.6%となっています。

要支援認定者等では、「もともと持っていない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「すでに返納した」の割合が28.4%、「はい」の割合が16.6%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「すでに返納した」「もともと持っていない」の割合が高くなっています。

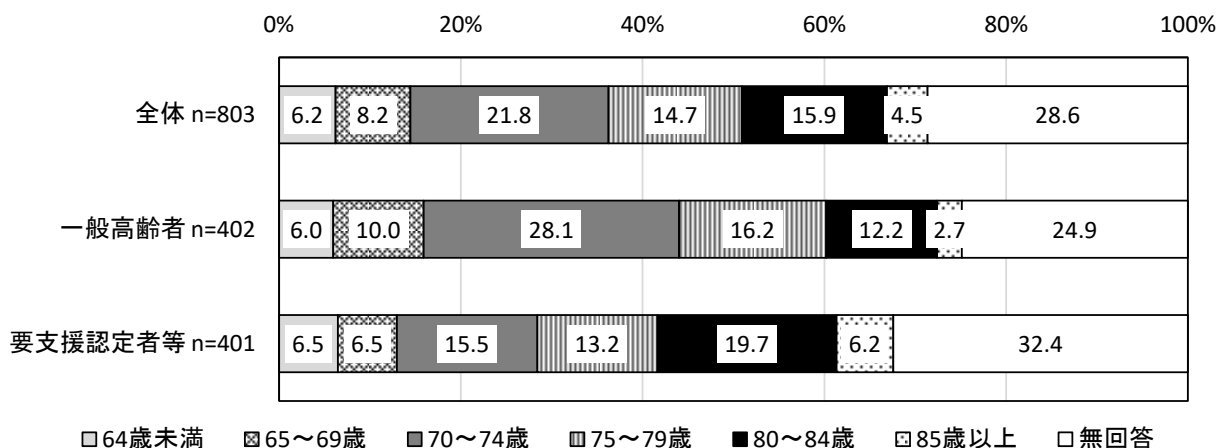


■返納した年齢

一般高齢者では、「70～74 歳」の割合が28.1%と最も高く、次いで「75～79 歳」の割合が16.2%、「80～84 歳」の割合が12.2%となっています。

要支援認定者等では、「80～84 歳」の割合が19.7%と最も高く、次いで「70～74 歳」の割合が15.5%、「75～79 歳」の割合が13.2%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「70～74 歳」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「80～84 歳」の割合が高くなっています。

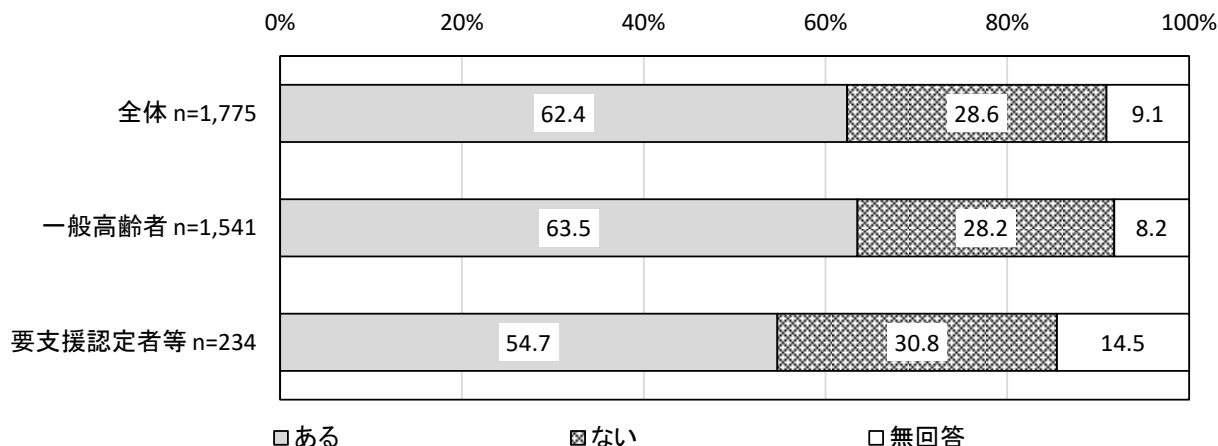


【問23で「はい」の人のみ】

問23-1 今後運転免許証を自主返納するお考えはありますか（回答は1つ）
 また、お考えがある方は、何歳までに自主返納をしようと思えますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「ある」の割合が63.5%、「ない」の割合が28.2%となっています。要支援認定者等では、「ある」の割合が54.7%、「ない」の割合が30.8%となっています。

「ある」の割合は、一般高齢者で63.5%、要支援認定者等で54.7%となっており、8.8ポイントの差となっています。

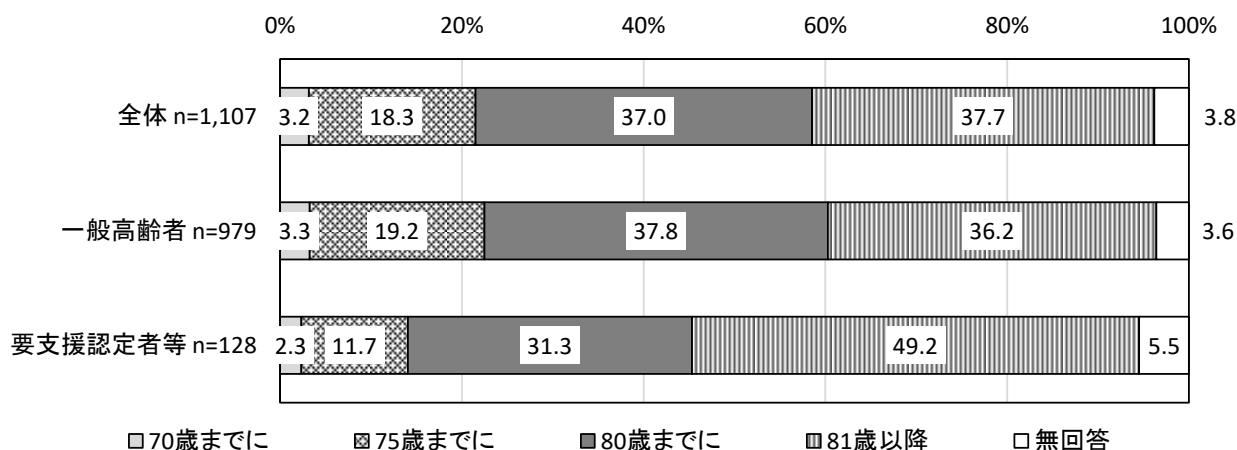


■自主返納をしようと思う年齢

一般高齢者では、「80歳までに」の割合が37.8%と最も高く、次いで「81歳以降」の割合が36.2%、「75歳までに」の割合が19.2%となっています。

要支援認定者等では、「81歳以降」の割合が49.2%と最も高く、次いで「80歳までに」の割合が31.3%、「75歳までに」の割合が11.7%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「75歳までに」「80歳までに」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「81歳以降」の割合が高くなっています。



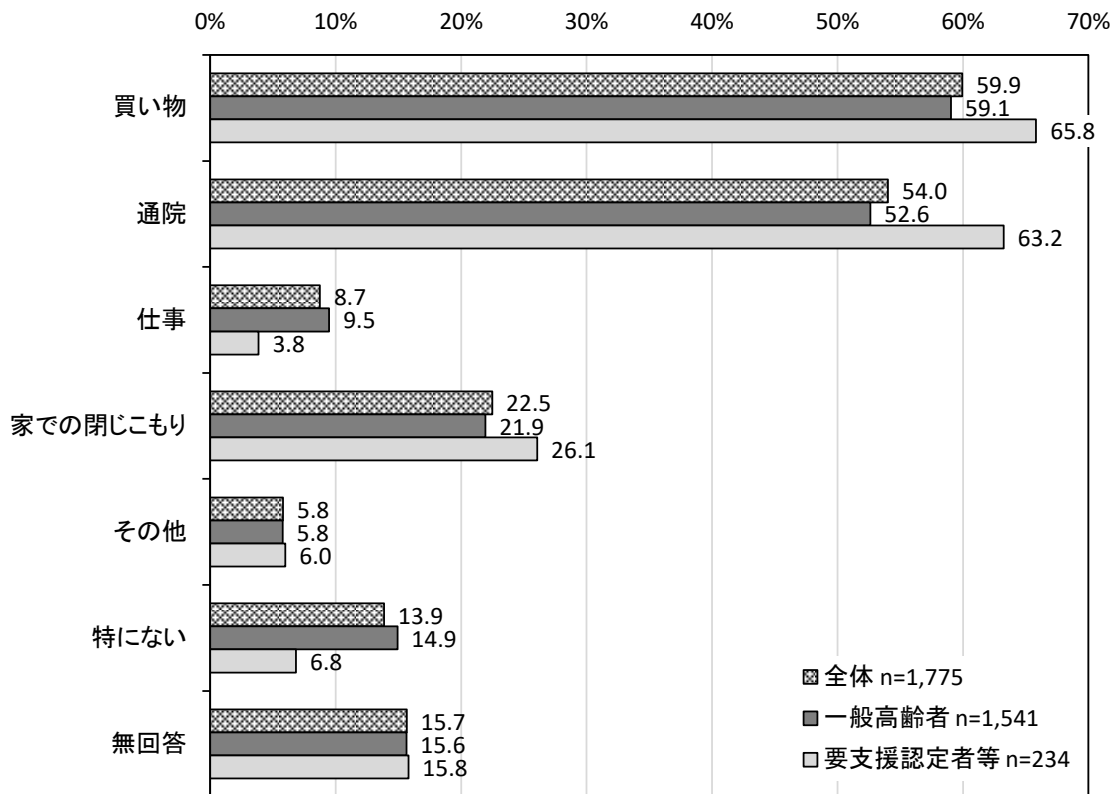
【問 23で「はい」の人のみ】

問 23-2 運転免許証を返納するにあたり不安に思うことはありますか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「買い物」の割合が59.1%と最も高く、次いで「通院」の割合が52.6%、「家での閉じこもり」の割合が21.9%となっています。

要支援認定者等では、「買い物」の割合が65.8%と最も高く、次いで「通院」の割合が63.2%、「家での閉じこもり」の割合が26.1%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「仕事」「特にない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「買い物」「通院」「家での閉じこもり」の割合が高くなっています。

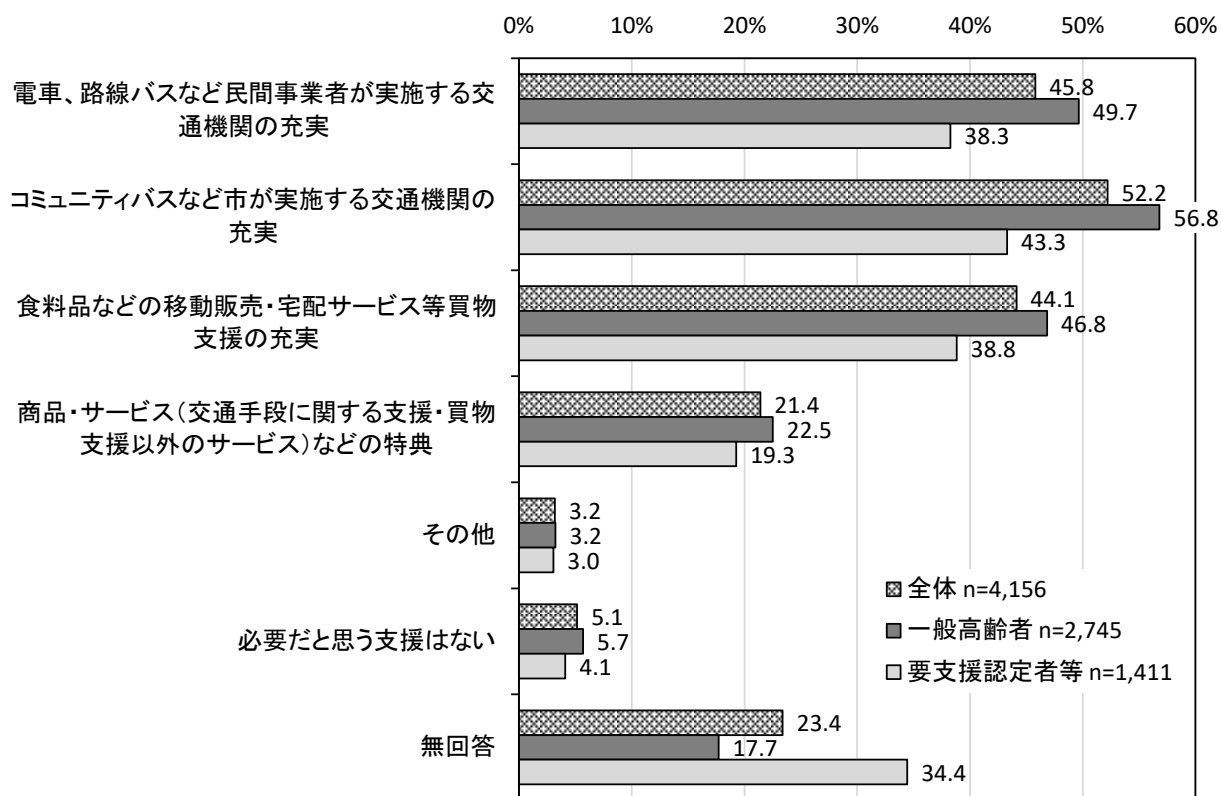


問 24 運転免許証の返納後に必要だと思う支援は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「コミュニティバスなど市が実施する交通機関の充実」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「電車、路線バスなど民間事業者が実施する交通機関の充実」の割合が 49.7%、「食料品などの移動販売・宅配サービス等買物支援の充実」の割合が 46.8%となっています。

要支援認定者等では、「コミュニティバスなど市が実施する交通機関の充実」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「食料品などの移動販売・宅配サービス等買物支援の充実」の割合が 38.8%、「電車、路線バスなど民間事業者が実施する交通機関の充実」の割合が 38.3%となっています。

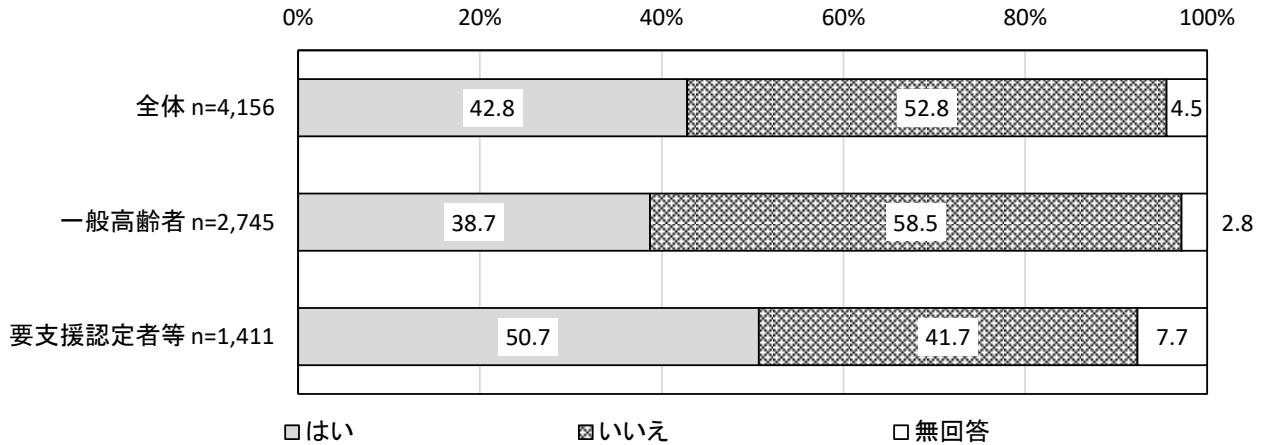
要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「電車、路線バスなど民間事業者が実施する交通機関の充実」「コミュニティバスなど市が実施する交通機関の充実」「食料品などの移動販売・宅配サービス等買物支援の充実」の割合が高くなっています。



問 25 耳が聞こえづらくなったと感じますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が38.7%、「いいえ」の割合が58.5%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が50.7%、「いいえ」の割合が41.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で38.7%、要支援認定者等で50.7%となっており、12.0ポイントの差となっています。

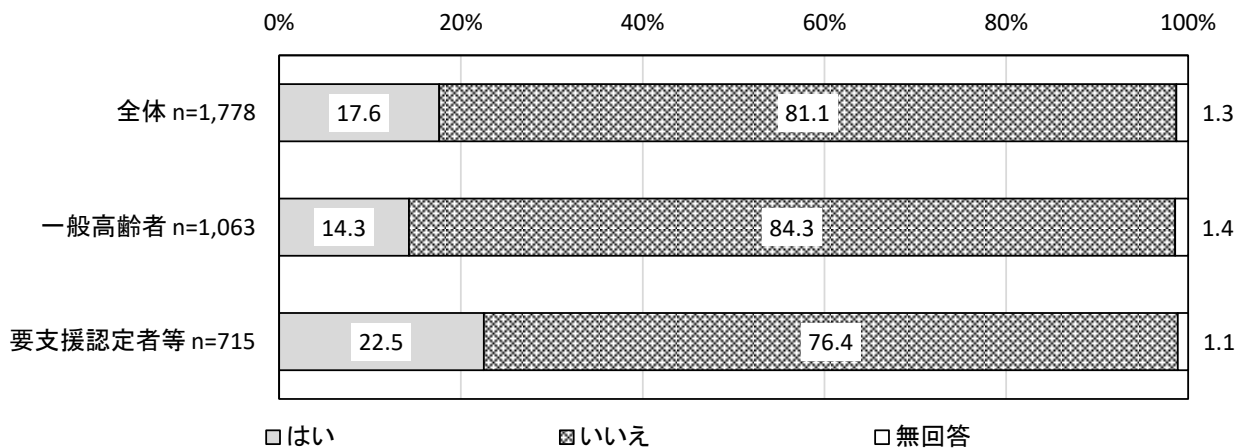


【問 25で「はい」の人のみ】

問 25-1 現在、補聴器を利用していますか（回答は1つ）

一般高齢者では、「はい」の割合が14.3%、「いいえ」の割合が84.3%となっています。要支援認定者等では、「はい」の割合が22.5%、「いいえ」の割合が76.4%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で14.3%、要支援認定者等で22.5%となっており、8.2ポイントの差となっています。



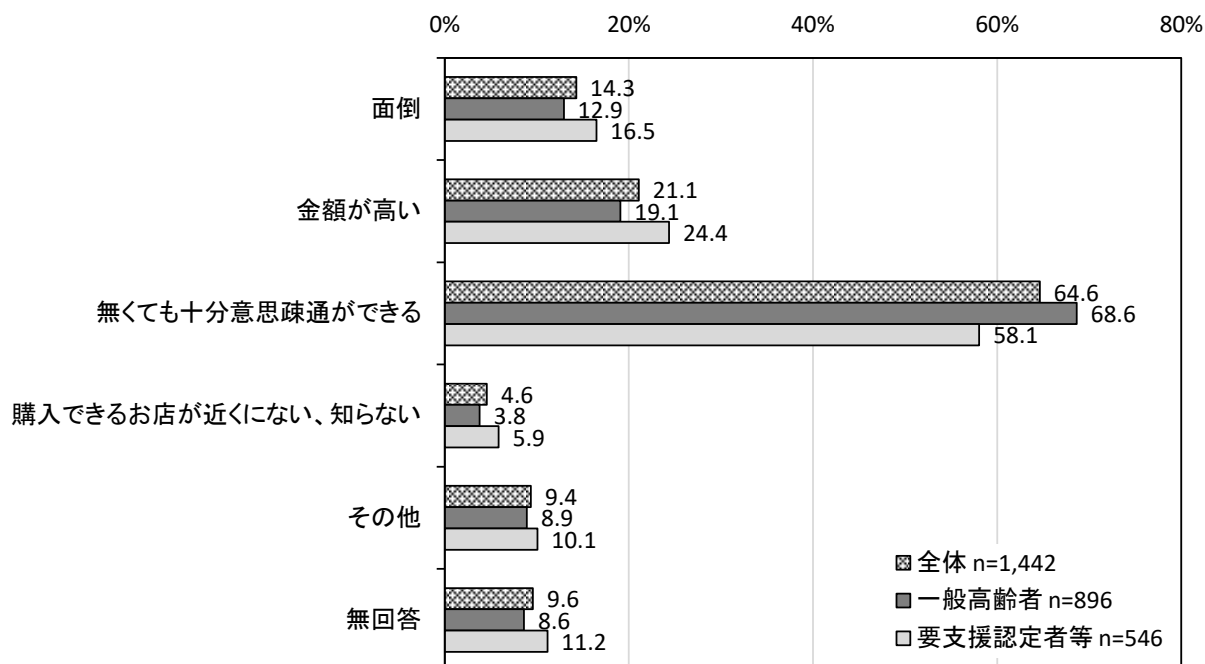
【問 25-1 で「いいえ」の人のみ】

問 25-2 利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では、「無くて也十分意思疎通ができる」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「金額が高い」の割合が 19.1%、「面倒」の割合が 12.9%となっています。

要支援認定者等では、「無くて也十分意思疎通ができる」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「金額が高い」の割合が 24.4%、「面倒」の割合が 16.5%となっています。

要支援認定者等に比べ、一般高齢者で「無くて也十分意思疎通ができる」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「面倒」「金額が高い」の割合が高くなっています。



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1. 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

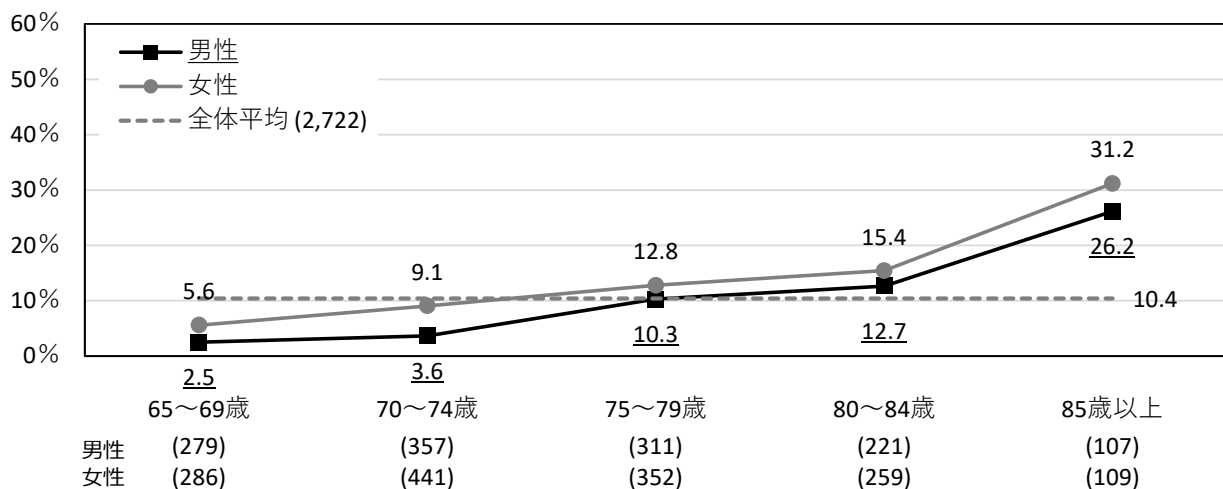
問番号	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問7	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で10.4%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では31.2%と75～79歳に比べ18.4ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では26.2%と75～79歳に比べ15.9ポイント上昇しています。女性では75～79歳で全体平均を上回り、男性では80～84歳で全体平均を上回り、85歳以上で13.5ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



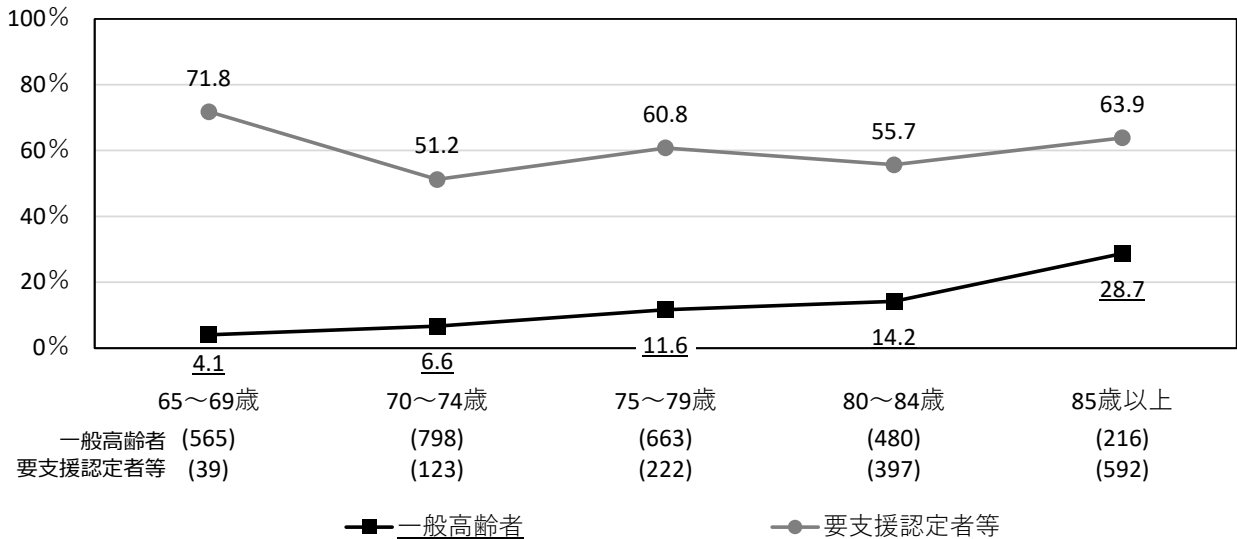
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

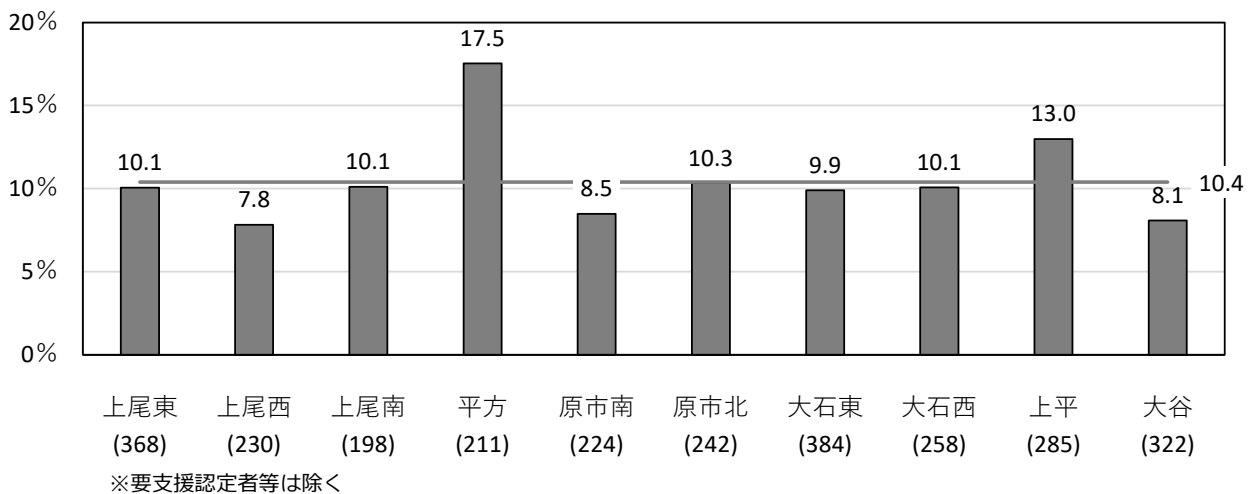
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では75～79歳に比べ80～84歳で2.6ポイント、85歳以上では17.1ポイント上昇し、80歳以上になるとリスクが高くなるのがうかがえます。要支援認定者等では、70～74歳の51.2%から85歳以上の63.9%と12.7ポイント上昇しており、65～69歳では、一般高齢者に比べ要支援認定者等は67.7ポイントの差があり、85歳以上では35.2ポイントまで差が縮まります。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、平方、上平で該当者割合が全体平均の10.4%を上回っています。また、最も高い圏域は平方で17.5%、最も低い圏域は上尾西で7.8%となっており、9.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

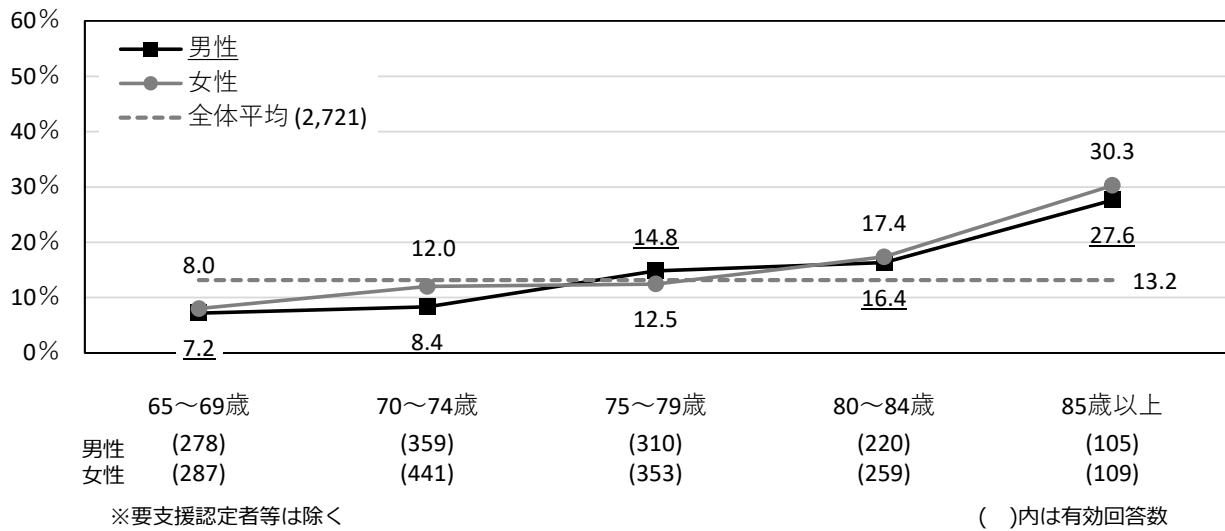
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で13.2%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

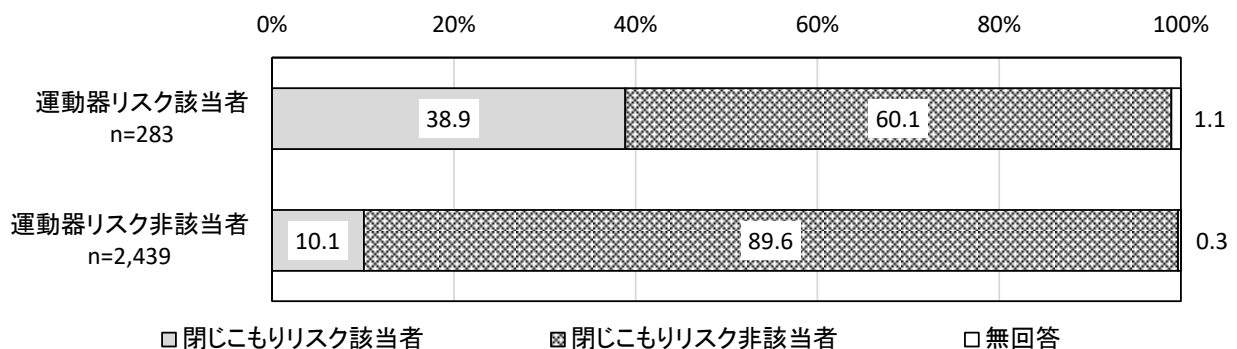
性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で30.3%と、80～84歳に比べ12.9ポイント上昇しています。また、85歳以上では、男性に比べて女性の割合が高く、2.7ポイントの差となっています。男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて外出の頻度が徐々に減少し、85歳以上で加齢に伴う身体状態の悪化などにより急激に外出の頻度が減少していると考えられます。

運動器リスク該当者別でみると、運動器リスク該当者では、38.9%が閉じこもりリスク該当者となっており、一方、運動器リスク非該当者では、約1割となっています。

【性別・年齢階級別】



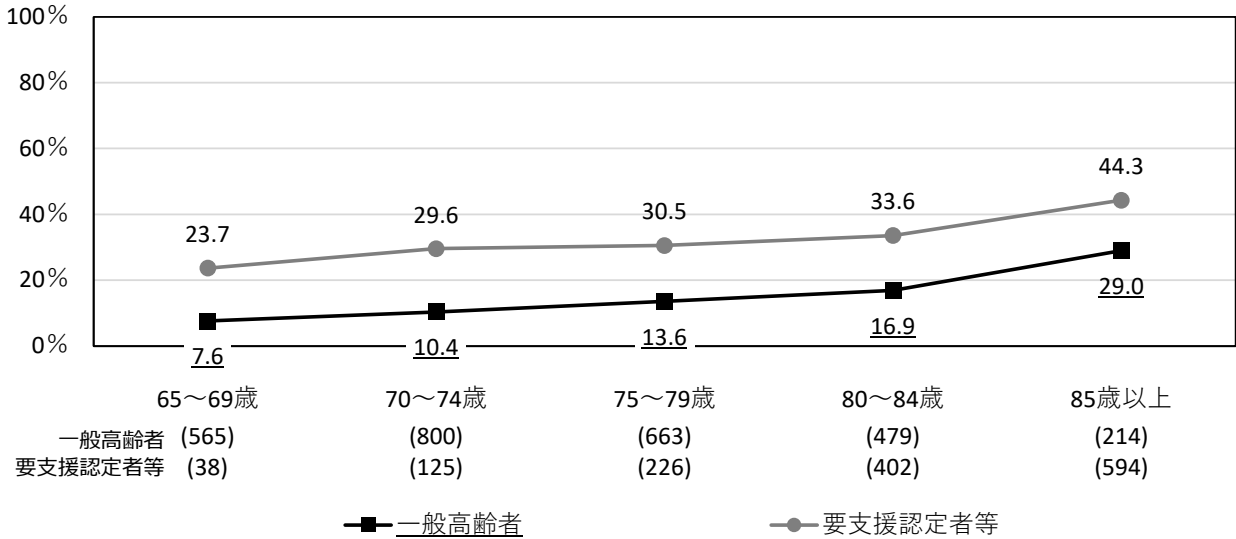
【運動器リスク該当者別】



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では、85歳以上で29.0%と80～84歳に比べ12.1ポイント上昇しています。要支援認定者等では、すべての年代で一般高齢者を上回っており、85歳以上で44.3%となっています。

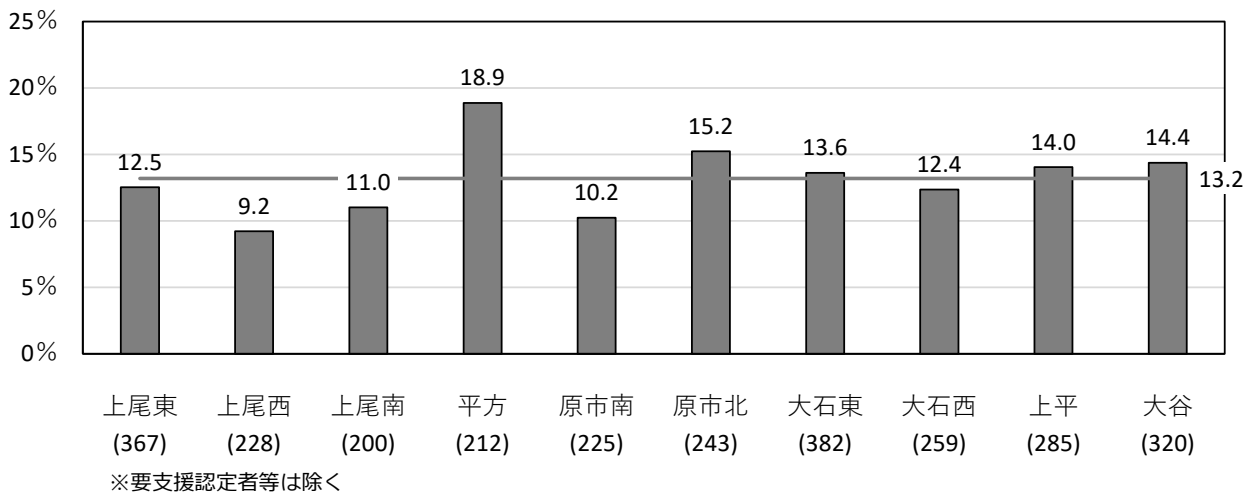
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、平方、原市北、大石東、上平、大谷で該当者割合が全体平均の13.2%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で18.9%、最も低い圏域は上尾西で9.2%となっており、9.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



(3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

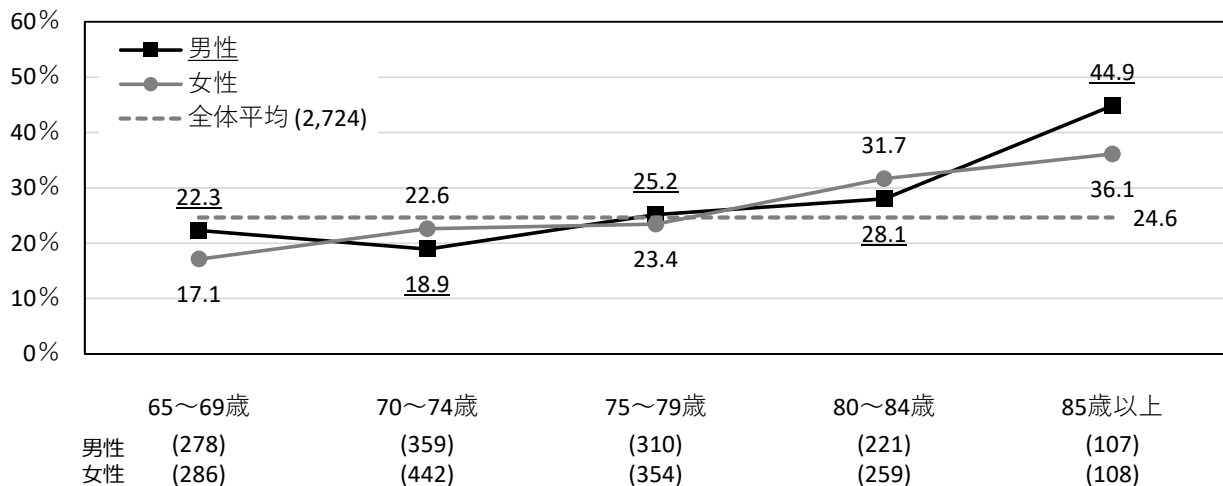
問番号	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で24.6%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳以上でリスク該当者が3割を超え、一方、男性では、80～84歳では3割以下となっているものの、85歳以上ではリスク該当者が4割を超えています。男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて転倒リスクが上昇する傾向があり、男性では、85歳以上で44.9%と80～84歳に比べ16.8ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(278)	(359)	(310)	(221)	(107)
女性	(286)	(442)	(354)	(259)	(108)

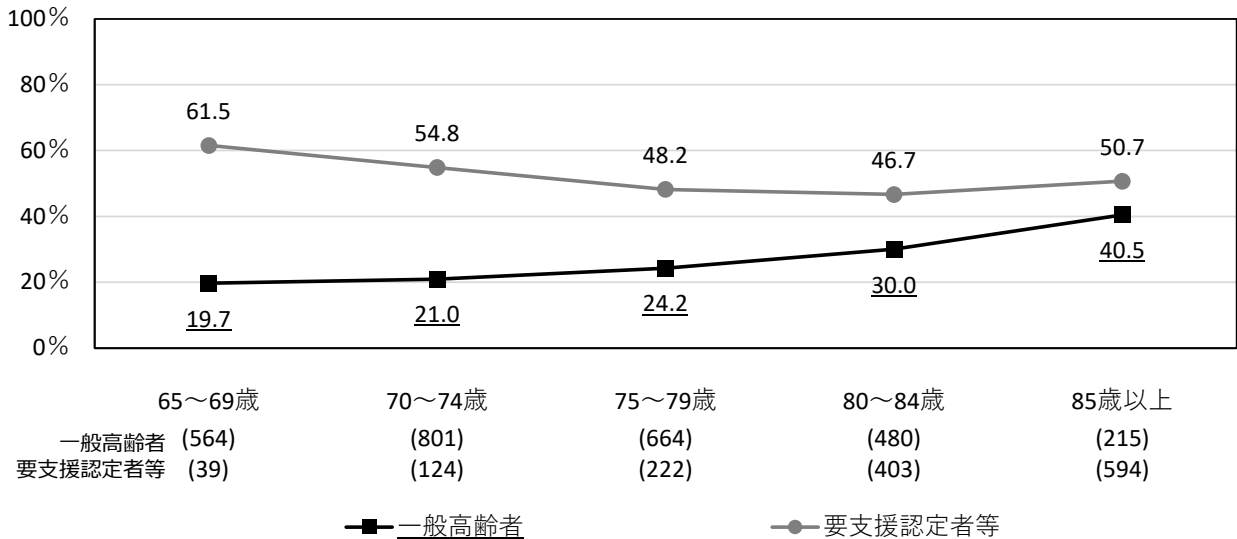
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等では、65～69歳で転倒リスクの該当者が61.5%と最も高くなっており、80～84歳までは年齢階級が上がるにつれて該当者の割合が減少する傾向があることから、外出の機会などが減少し、転倒リスクが減少していることがうかがえます。一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が上昇し、85歳以上では40.5%となっています。

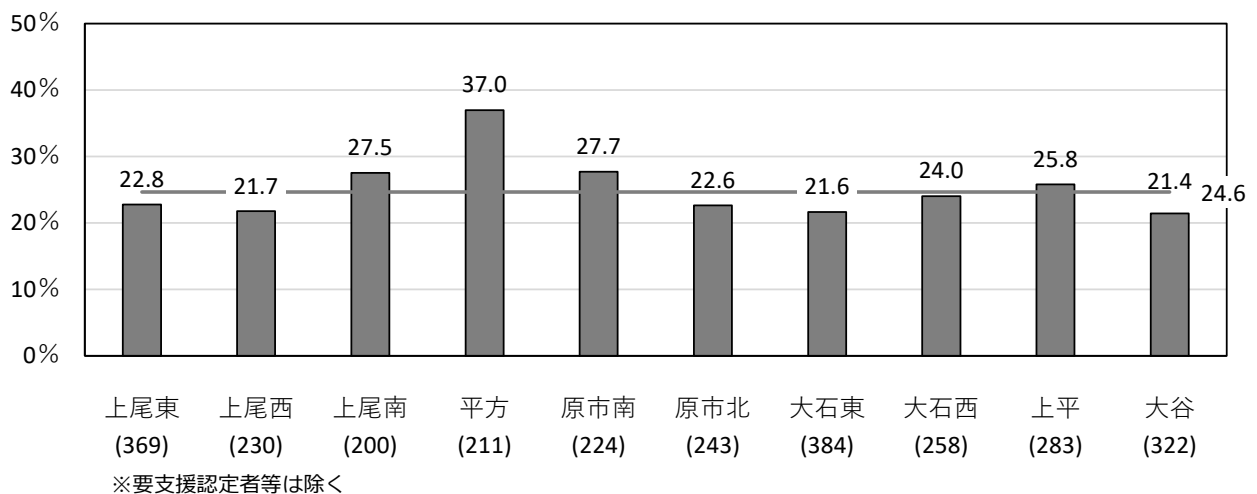
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、平方、原市南、上平で該当者割合が全体平均の24.6%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で37.0%、最も低い圏域は大谷で21.4%となっており、15.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



(4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

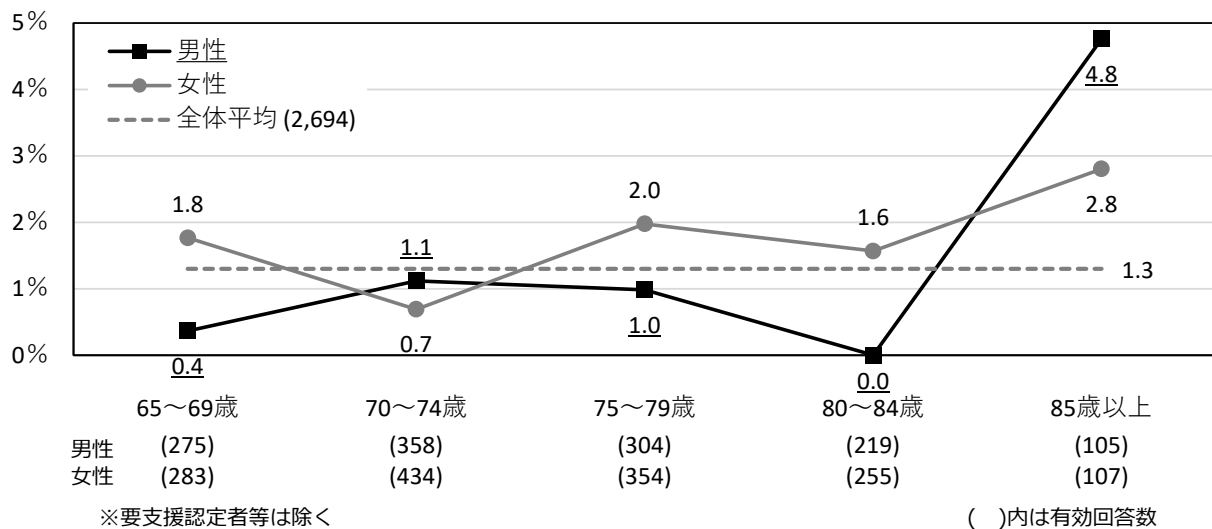
問番号	設問	該当する選択肢
問 14	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 20	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で 1.3%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに 5.0%以下となっており、大きな差はありません。

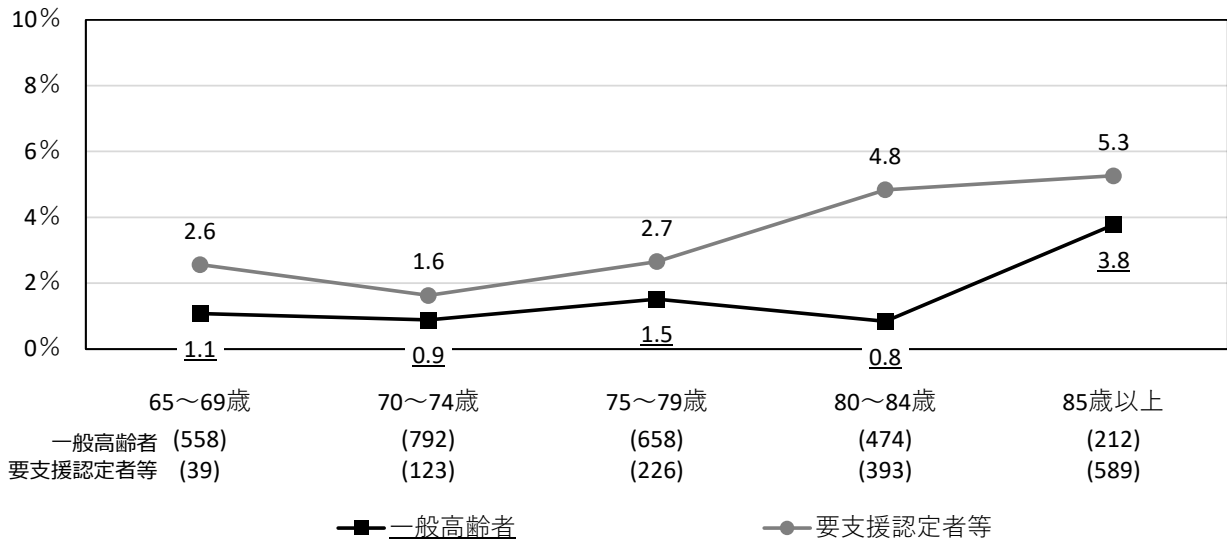
【性別・年齢階級別】



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等の85歳以上で5.3%と最も高くなっていますが、他のリスクに比べ加齢に伴うリスクへの影響は少ないことがうかがえます。

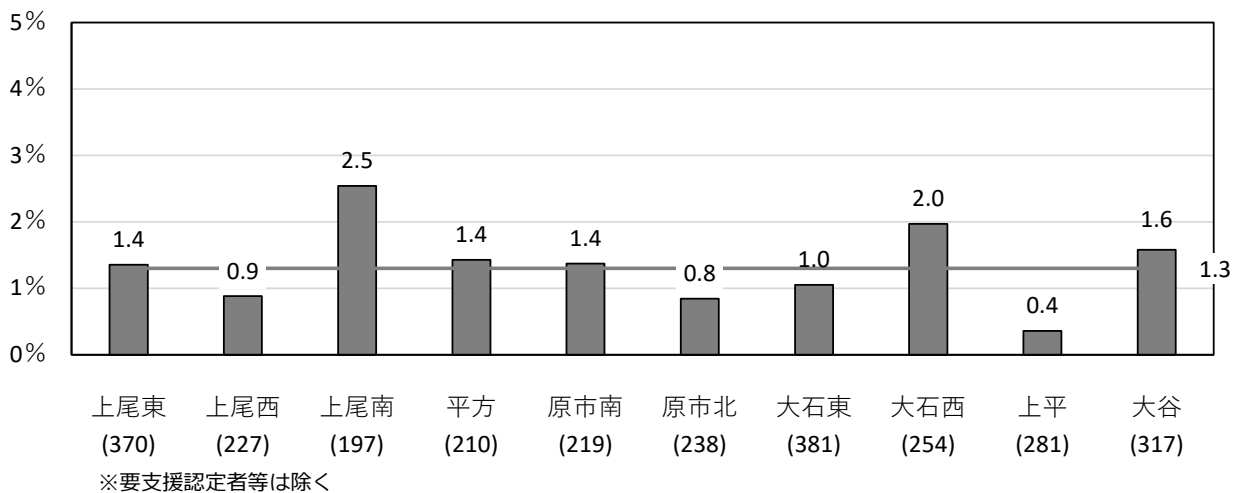
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾東、上尾南、平方、原市南、大石西、大谷で該当者割合が全体平均の1.3%を上回っています。

また、最も高い圏域は上尾南で2.5%、最も低い圏域は上平で0.4%となっており、2.1ポイントの差となっています。

【圏域別】



(5) 口腔

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

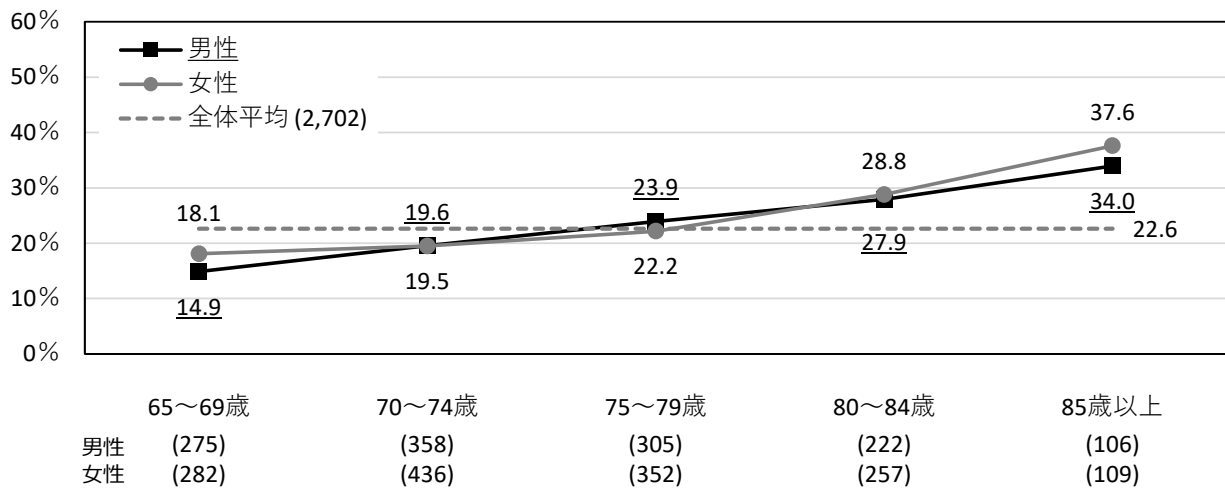
問番号	設問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で22.6%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性、女性に大きな差異はなく、ともに85歳以上で3割を超えています。

【性別・年齢階級別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(275)	(358)	(305)	(222)	(106)
女性	(282)	(436)	(352)	(257)	(109)

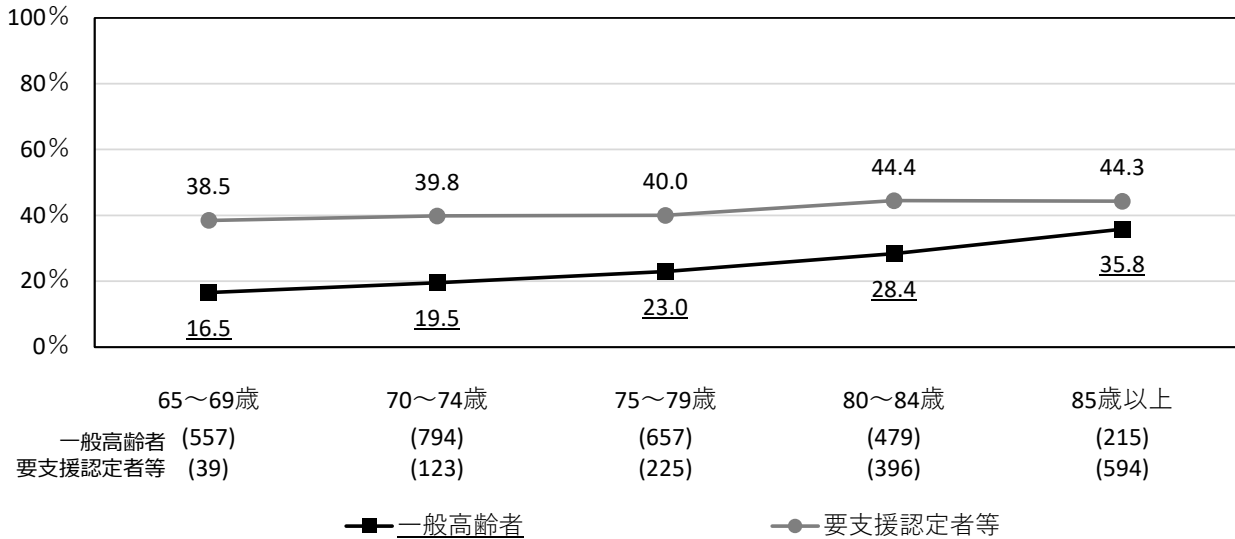
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者等ともに、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっていますが、要支援認定者等ではすべての年代で4割前後と加齢に伴う影響が少ないことがうかがえます。一方、一般高齢者では、85歳以上で35.8%と65～69歳に比べ19.3ポイント上昇しています。

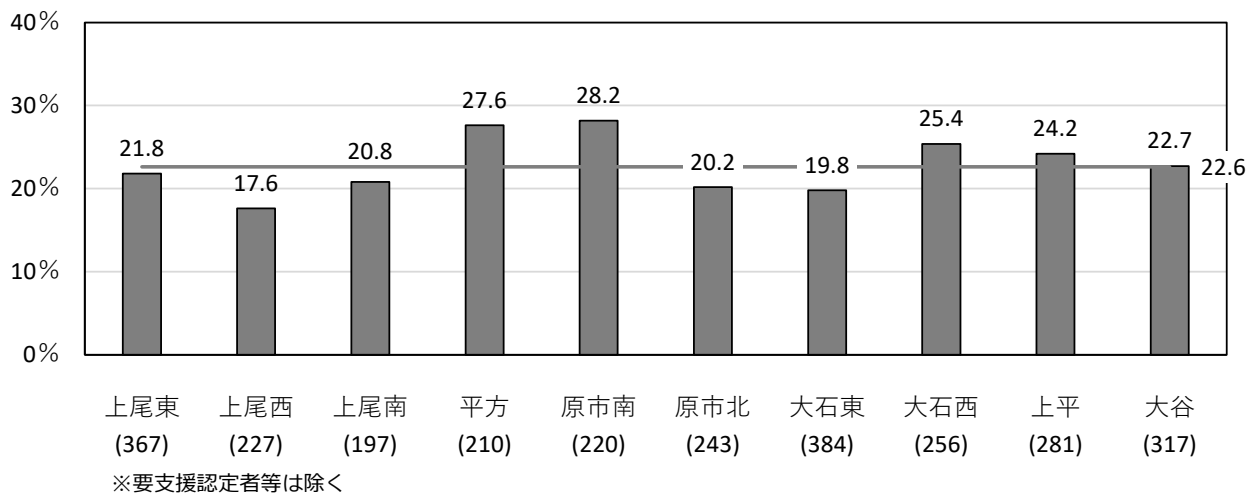
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、平方、原市南、大石西、上平、大谷で該当者割合が全体平均の22.6%を上回っています。

また、最も高い圏域は原市南で28.2%、最も低い圏域は上尾西で17.6%となっており、10.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



(6) 認知

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

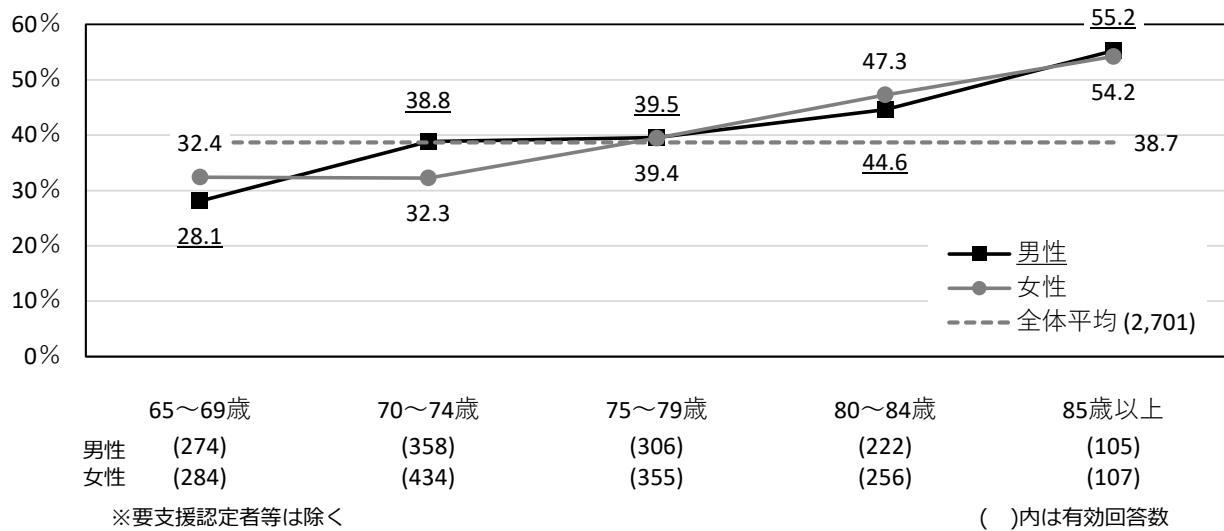
問番号	設問	該当する選択肢
問 22	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 38.7% がリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性では 70～74 歳で全体平均を上回り、女性では 75～79 歳で全体平均を上回りっており、男性、女性ともに、85 歳以上で 5 割を超えています。

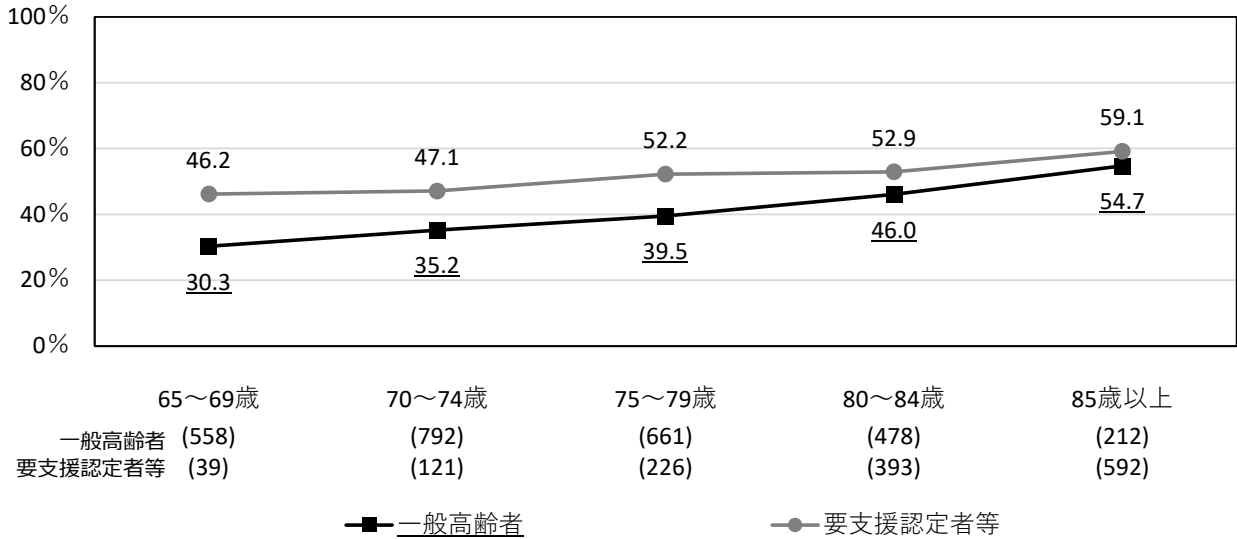
【性別・年齢階級別】



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者等では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなっています。また、要支援認定者等では、すべての年代で一般高齢者を上回っており、85歳以上で59.1%と最も高くなっています。

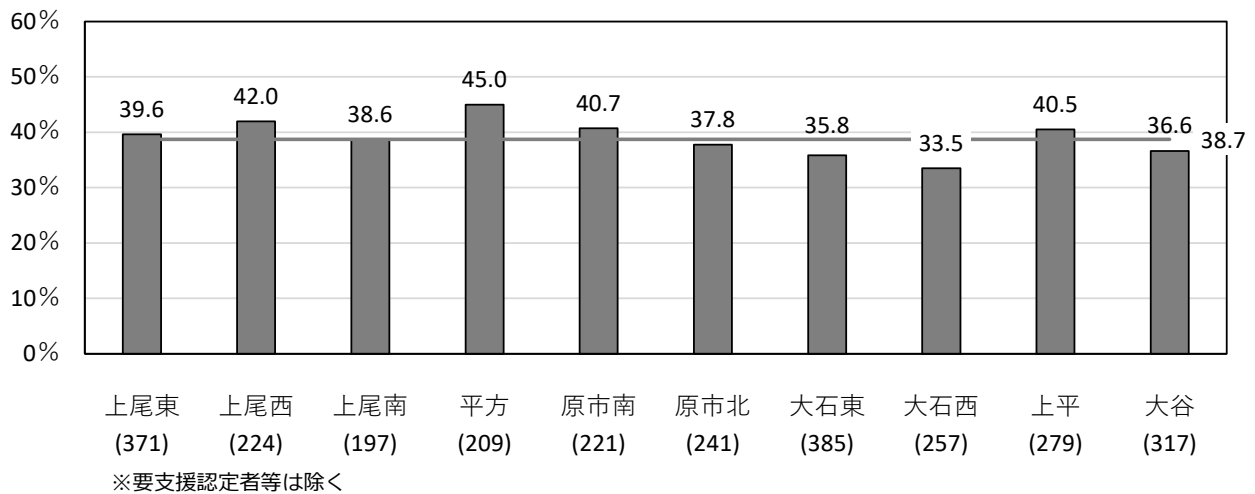
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾東、上尾西、平方、原市南、上平で該当者割合が全体平均の38.7%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で45.0%、最も低い圏域は大石西で33.5%となっており、11.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



(7) うつ

国の手引きをもとに、調査票（介護予防・日常生活圏域二一ズ調査）の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

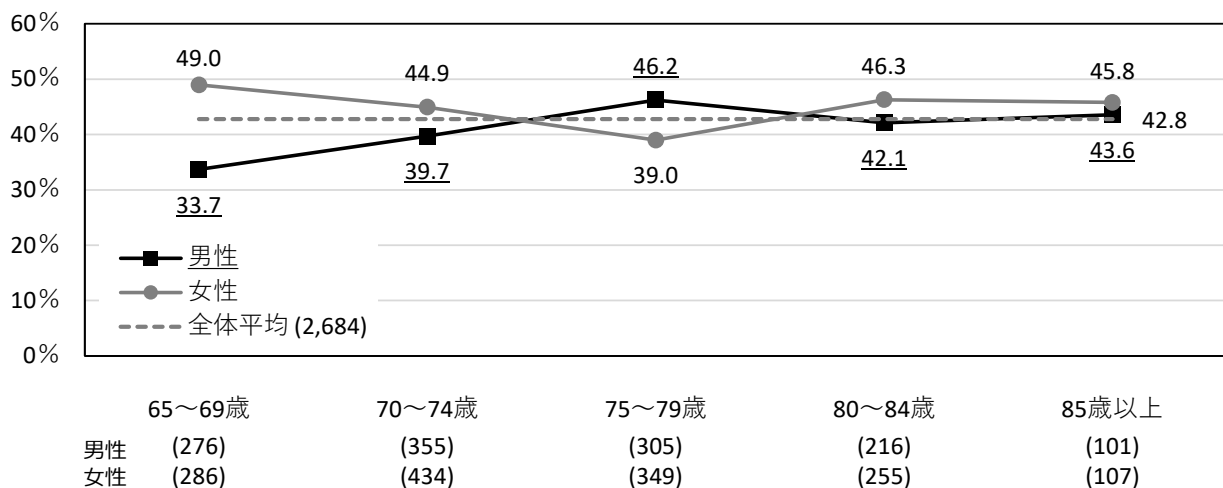
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問53	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問54	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で42.8%がリスク該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、ほぼすべての年代で全体平均と同等となっています。

【性別・年齢階級別】



	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	(276)	(355)	(305)	(216)	(101)
女性	(286)	(434)	(349)	(255)	(107)

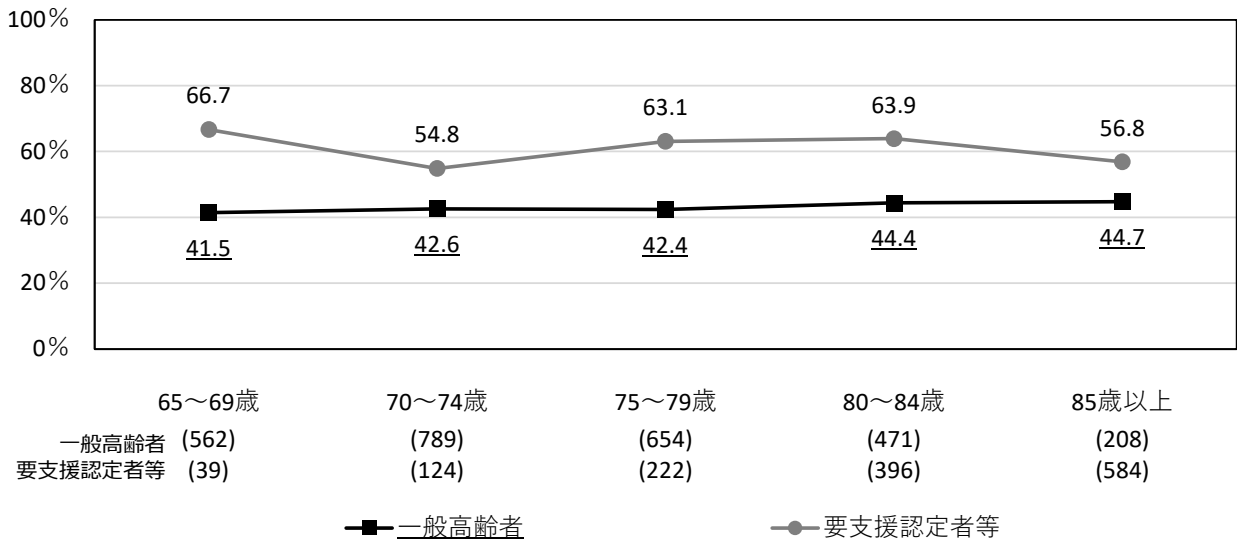
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で割合が高くなっています。また、一般高齢者、要支援認定者等ともに、すべての年代で割合が高くなっています。

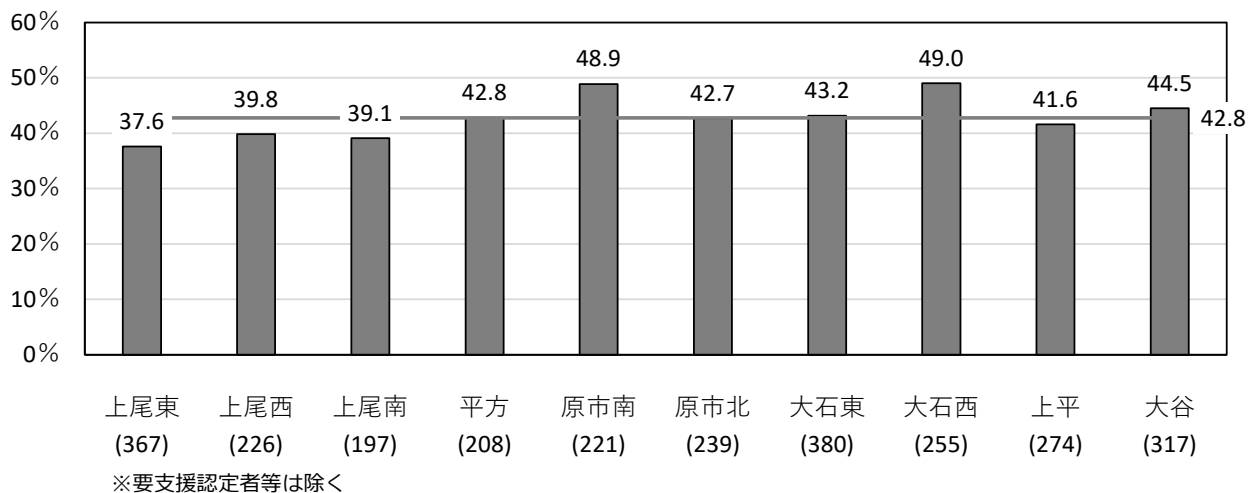
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、原市南、大石東、大石西、大谷で該当者割合が全体平均の42.8%を上回っています。

また、最も高い圏域は大石西で49.0%、最も低い圏域は上尾東で37.6%となっており、11.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



2. 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

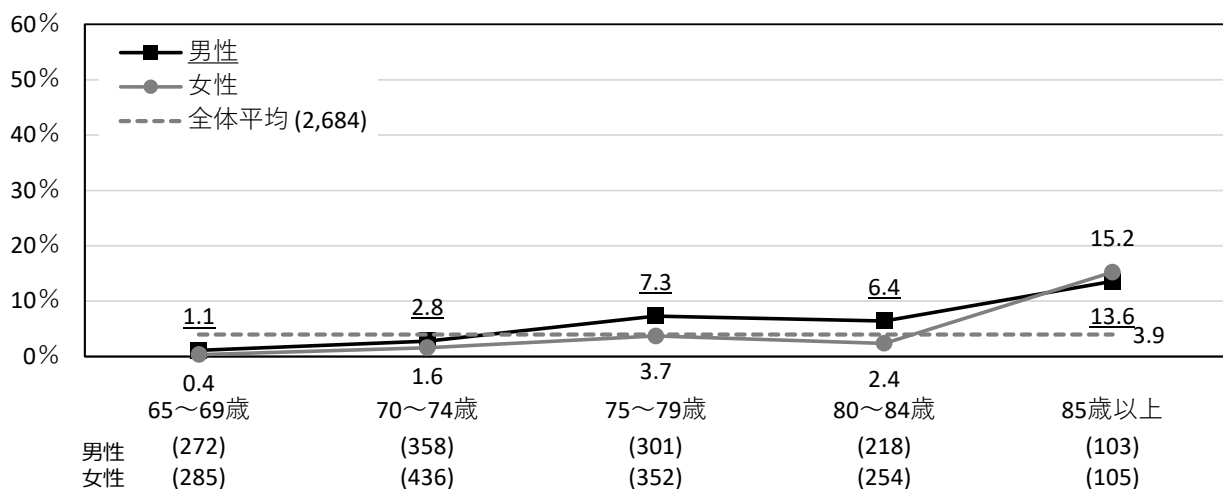
問番号	設問	該当する選択肢
問 25	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 26	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 27	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 28	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 29	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

全体平均では 3.9%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別で見ると、女性では、80～84 歳まで全体平均を下回っているものの、85 歳以上で 15.2%と全体平均を大きく上回っています。男性では、75～79 歳で全体平均を超えるものの、85 歳以上では 13.6%と、女性ほどの増加は見られません。

【性別・年齢階級別】



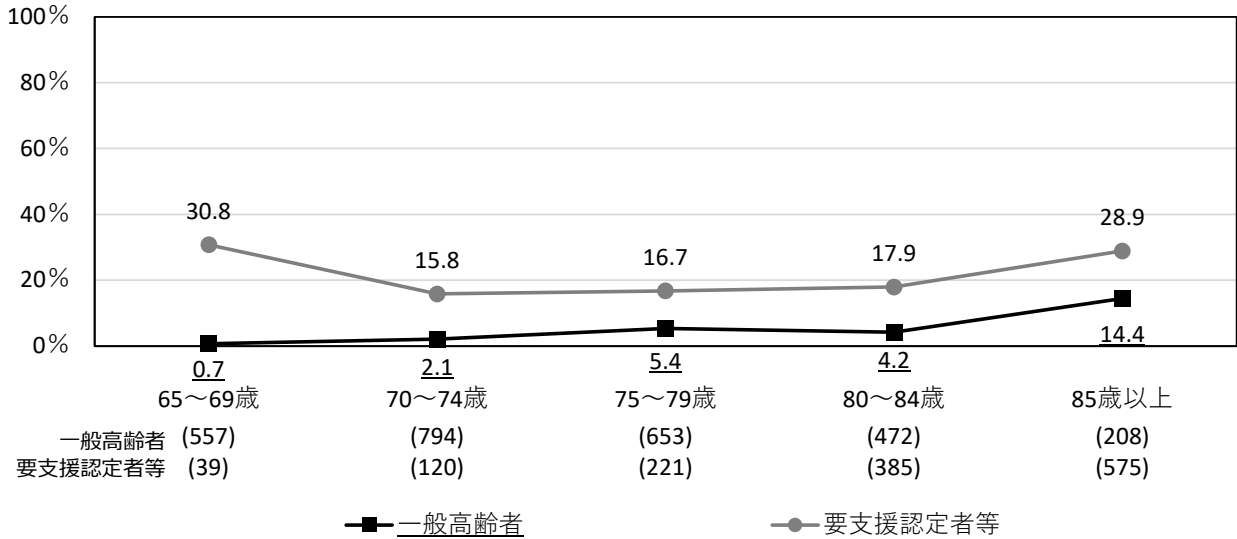
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では年齢階級が上がるにつれて、割合が高くなる傾向があります。また、要支援認定者等では、70～74歳以上は年齢階級が上がるにつれて増加傾向となっており、85歳以上では28.9%となっています。

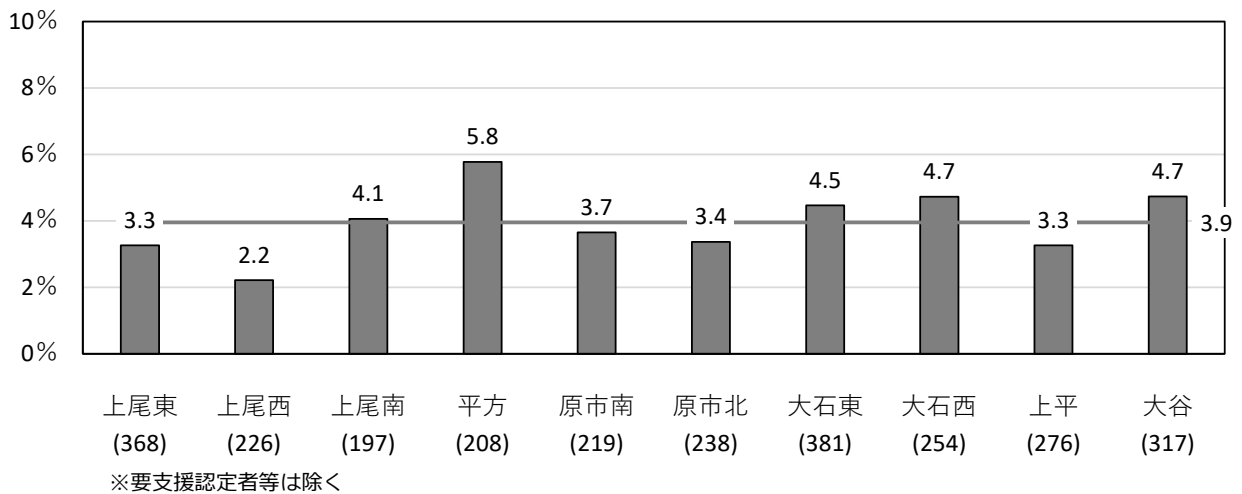
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、平方、大石東、大石西、大谷で該当者割合が全体平均の3.9%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で5.8%、最も低い圏域は上尾西で2.2%となっており、3.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



3. 社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

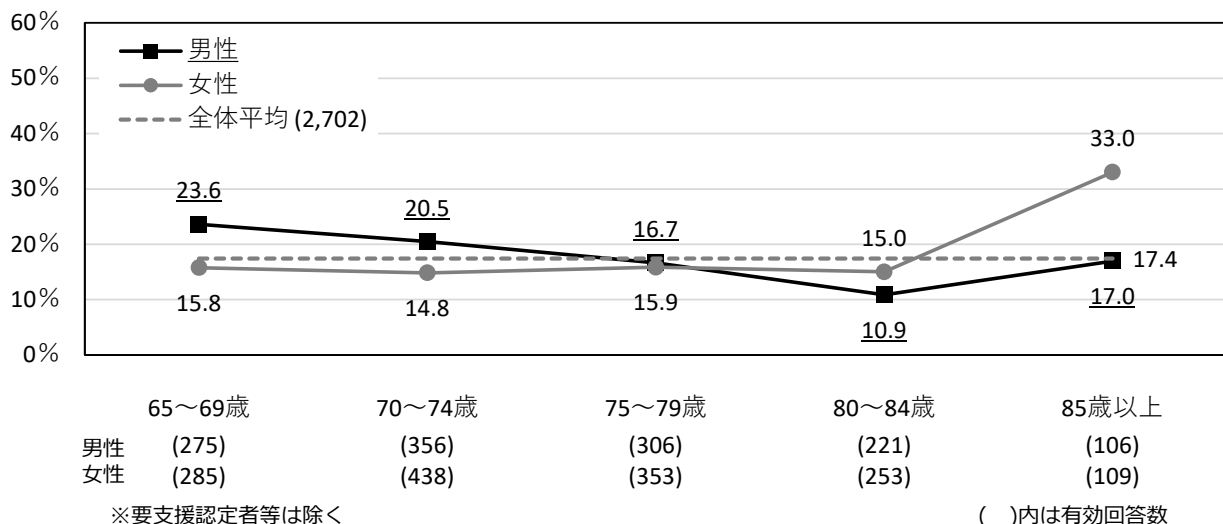
問番号	設問	該当する選択肢
問30	年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問31	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問32	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問33	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では17.4%となっています。

性別・年齢階級別で見ると、男性、女性ともに、ほぼすべての年代で全体平均と同等となっていますが、女性では、85歳以上で33.0%と全体平均を大きく上回っています。

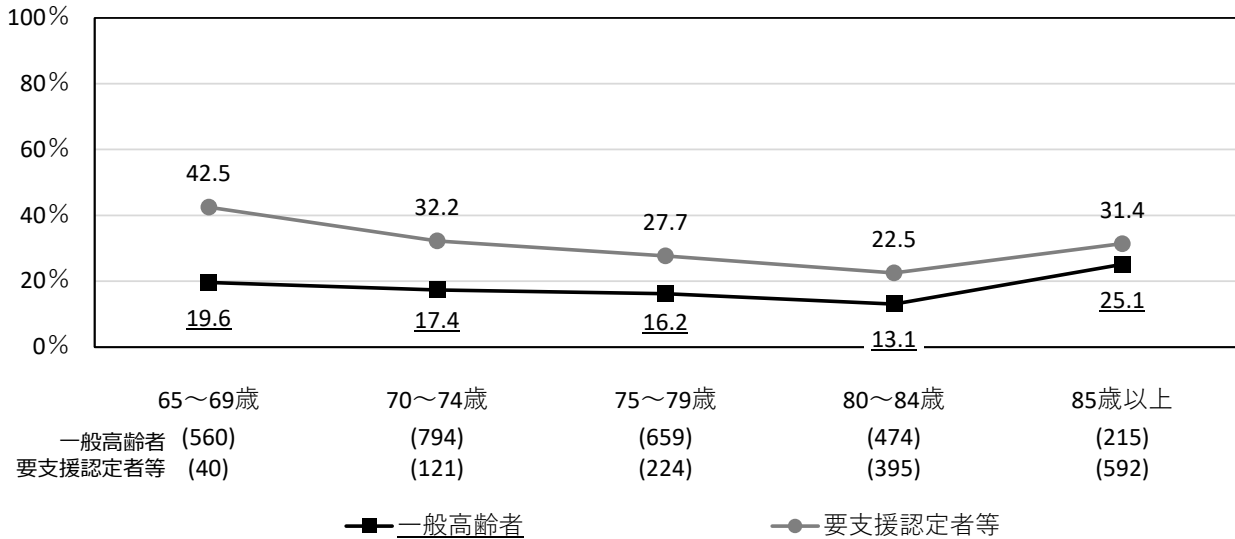
【性別・年齢階級別】



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別で見ると、一般高齢者では、すべての年代で要支援認定者等より低くなっており、80～84歳を境に割合が上昇し、85歳以上で25.1%と、80～84歳に比べ12.0ポイント上昇しています。要支援認定者等では、65～69歳が42.5%と最も高く、85歳以上で31.4%と一般高齢者との差が減少しています。

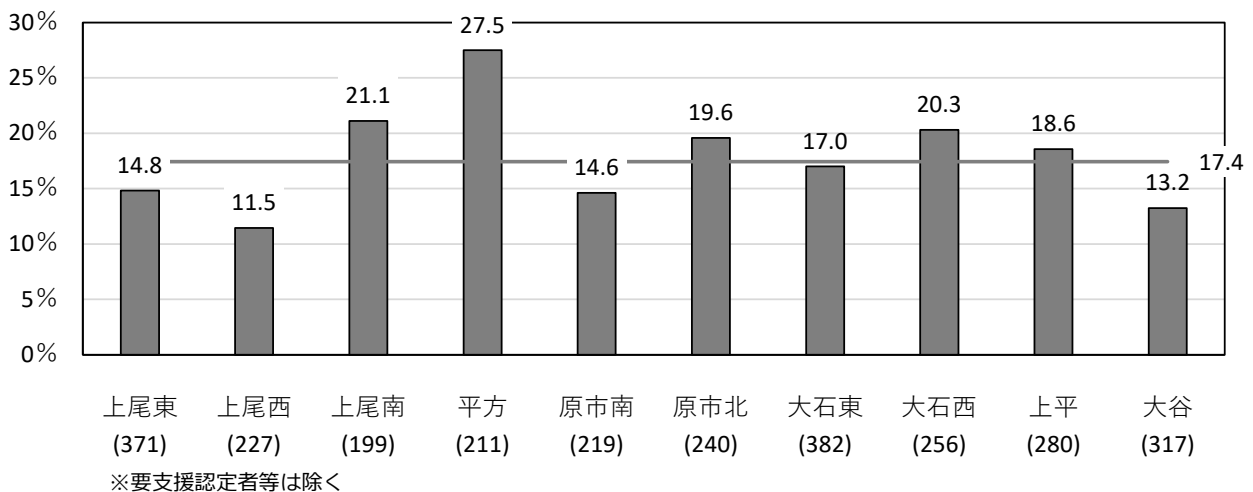
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、平方、原市北、大石西、上平で該当者割合が全体平均の17.4%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で27.5%、最も低い圏域は上尾西で11.5%となっており、16.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



(2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

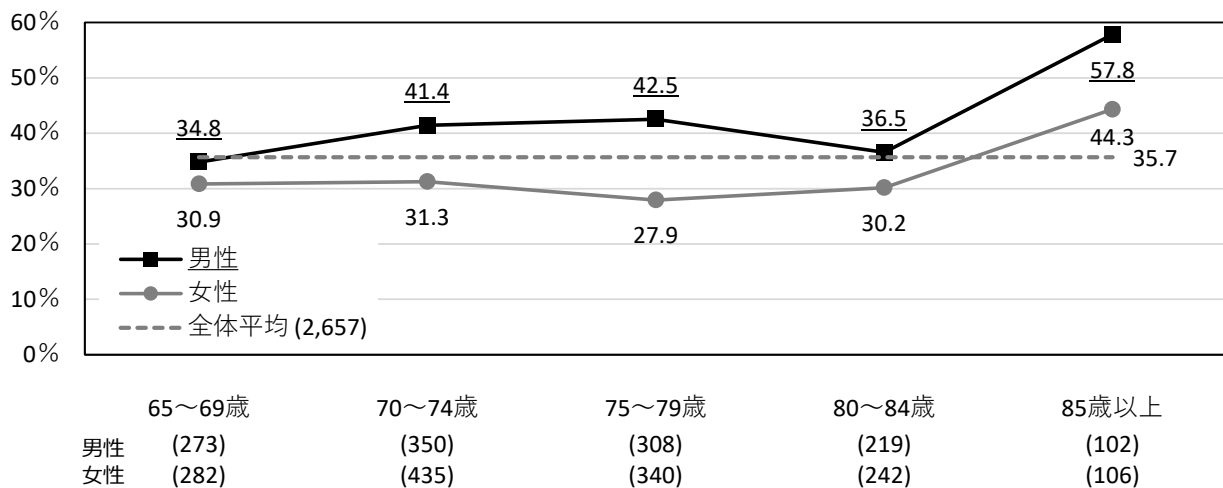
問番号	設問	該当する選択肢
問 34	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問 35	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問 36	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問 37	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では 35.7% となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、すべての年代で女性を上回っており、85 歳以上では 57.8% となっています。また、女性では、80～84 歳まで全体平均を下回っているものの、85 歳以上で 44.3% と全体平均を超え、80～84 歳に比べ 14.1 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



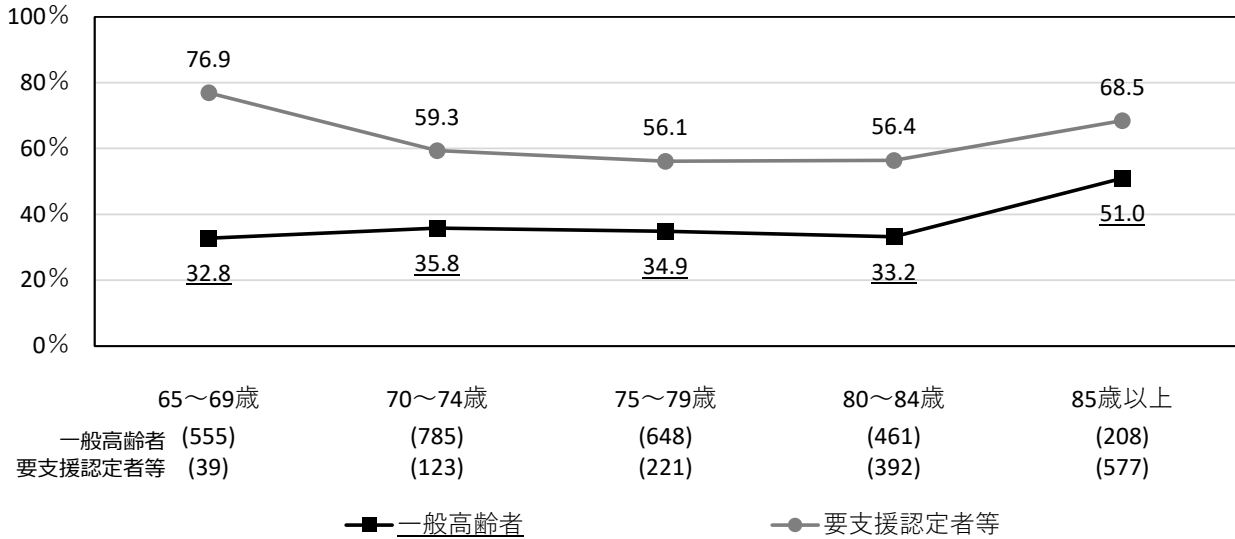
※要支援認定者等は除く

()内は有効回答数

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、すべての年代で要支援認定者等の割合が高くなっています。65～69歳では、一般高齢者に比べ要支援認定者等は44.1ポイントの差があり、85歳以上では17.5ポイントまで差が縮まります。

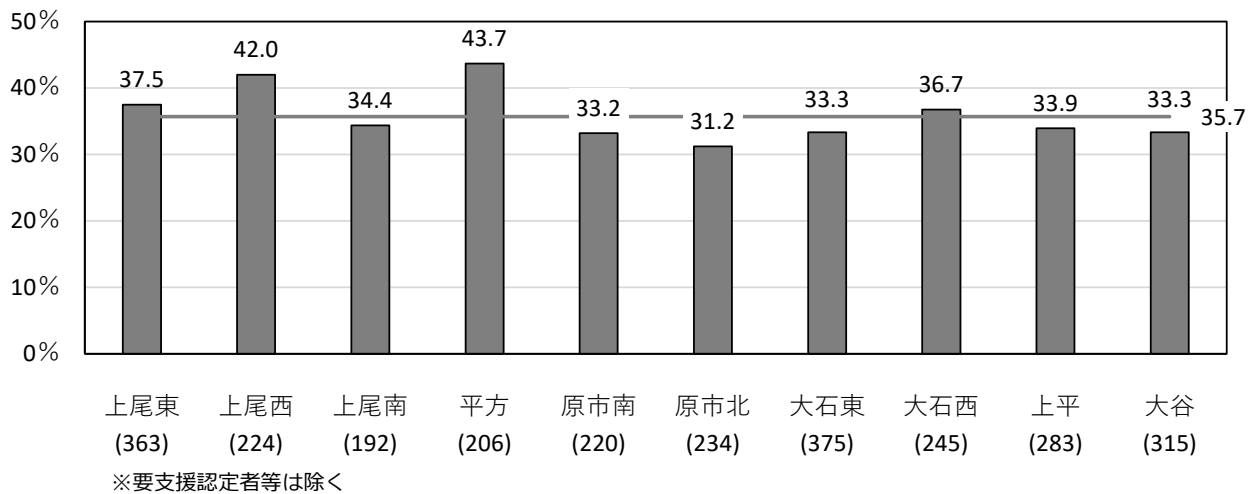
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾東、上尾西、平方、大石西で該当者割合が全体平均の35.7%を上回っています。

また、最も高い圏域は平方で43.7%、最も低い圏域は原市北で31.2%となっており、12.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



IV 調査結果（在宅介護実態調査）

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

1. 調査結果の概要

（1）在宅介護について

- 介護者の年齢をみると、60歳以上が55.7%を占めており、70歳以上では31.2%となっています。要介護認定者の年齢別でみると、他に比べ、80歳台で介護者が「80歳以上」の割合が高くなっています。(P159)
- 過去1年間で家族等の介護のため、退職・転職した人は7.6%となっています。また、主な介護者の就労の継続にあたって、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」人が73.3%となっている一方で、「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」人も16.7%となっています。数値としては低いものの一定数の人が介護を理由に離職するとともに、就労の継続が難しいと感じていることがうかがえます。(P157、165)

（2）認知症対策について

- 現在の生活を継続していくにあたって、介護者が不安を感じる介護等として、「認知症状への対応」の割合が27.5%と高くなっています。(P162)

（3）介護サービスの利用状況について

- 介護サービスの利用状況をみると、17.7%は利用していない状況であり、利用していない理由としては、「自分で生活できる」「家族に介護してもらいたい」など自助や家族に頼る傾向もみられます。(P167、168)
- 介護保険制度や高齢者福祉制度の内容やサービスについて、相談しやすいところとして、「ケアマネジャー」の割合が67.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」「かかりつけ医」「市役所の窓口」となっています。「ケアマネジャー」は要介護認定者の介護サービス計画（ケアプラン）の作成に携わっており、そのケアマネジャーについては、76.2%が満足している状況です。満足していない点については、「相談時間や訪問回数などが少ない」「知識や情報量が少ない」「現状維持や改善に向けたケアプランになっていない」「十分な説明をしてもらえない」などの意見が挙がっており、対象者の状態に応じた適切な説明や情報提供が必要とされていることが分かります。(P172、179)
- 希望どおりには利用できていないサービスとしては、「通所介護」「短期入所生活介護」「通所リハビリテーション」「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高くなっています。また、提供を受けているサービスについて不満に思われる点としては、「希望どおりのサービスを受けられない」「サービス内容が不十分である」の割合が高くなっています。(P174、176)

（4）新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活で困ったことについて

- 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で困ったことについては、「特に困ることはなかった」が最も高くなっていますが、「自宅にいたことが多く、体が弱ってしまった」と回答している人も27.7%となっています。(P178)

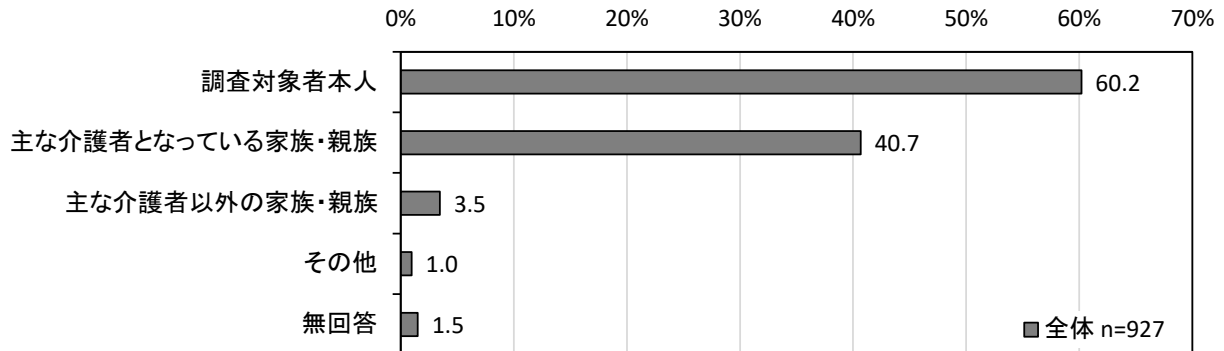
（５）新型コロナウイルスの感染拡大がサービス利用に与える影響について

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響がサービス利用に与える変化について、「あった」としている割合（22.5%）の中で、利用を控えたサービスとして「通所型サービス」が68.4%と最も高くなっています。（P177）

2. A票 調査対象者様ご本人について（国が示した調査項目）

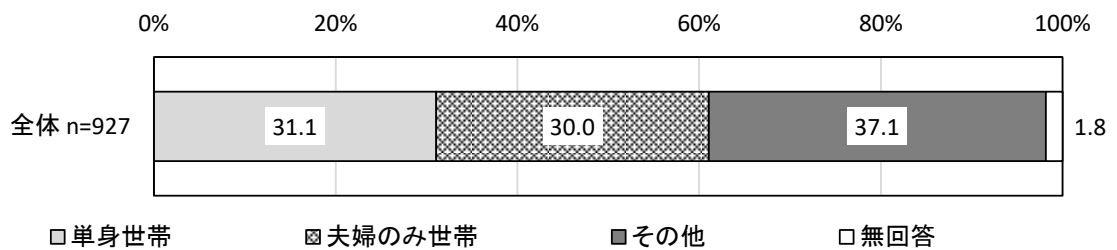
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（あてはまるものすべてに回答）

「調査対象者本人」の割合が60.2%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が40.7%となっています。



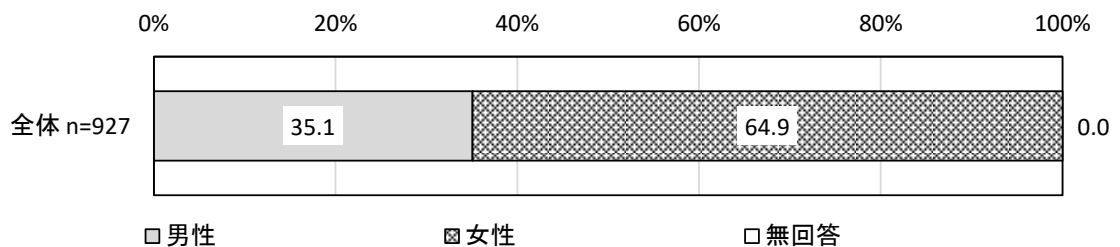
問2 世帯類型について、ご回答ください（回答は1つ）

「単身世帯」の割合が31.1%、「夫婦のみ世帯」の割合が30.0%となっています。



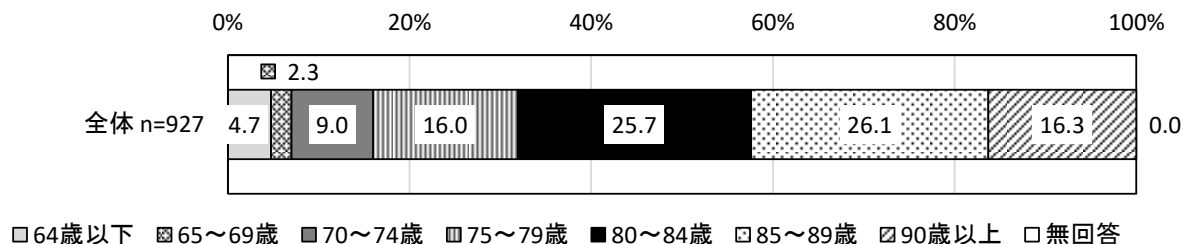
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

「男性」の割合が35.1%、「女性」の割合が64.9%となっています。



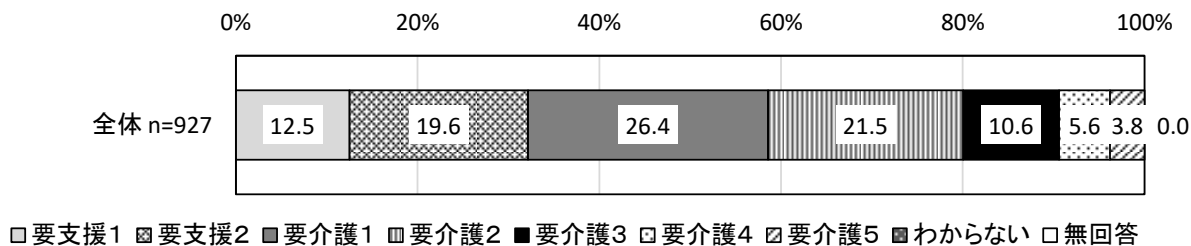
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

「85～89歳」の割合が26.1%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が25.7%、「90歳以上」の割合が16.3%となっています。



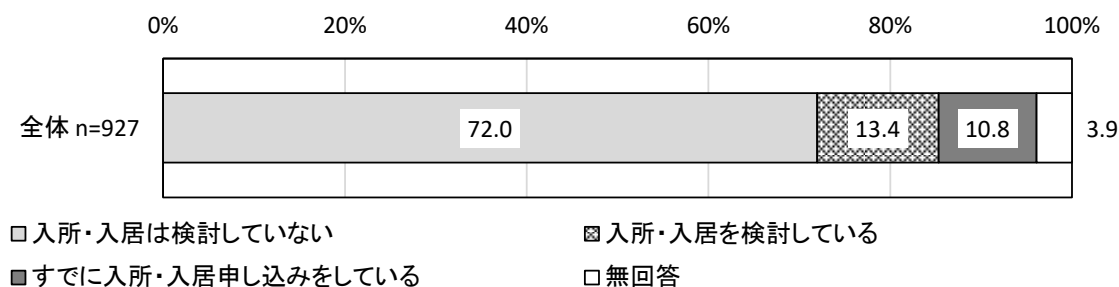
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（回答は1つ）

「要介護1」の割合が26.4%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が21.5%、「要支援2」の割合が19.6%となっています。



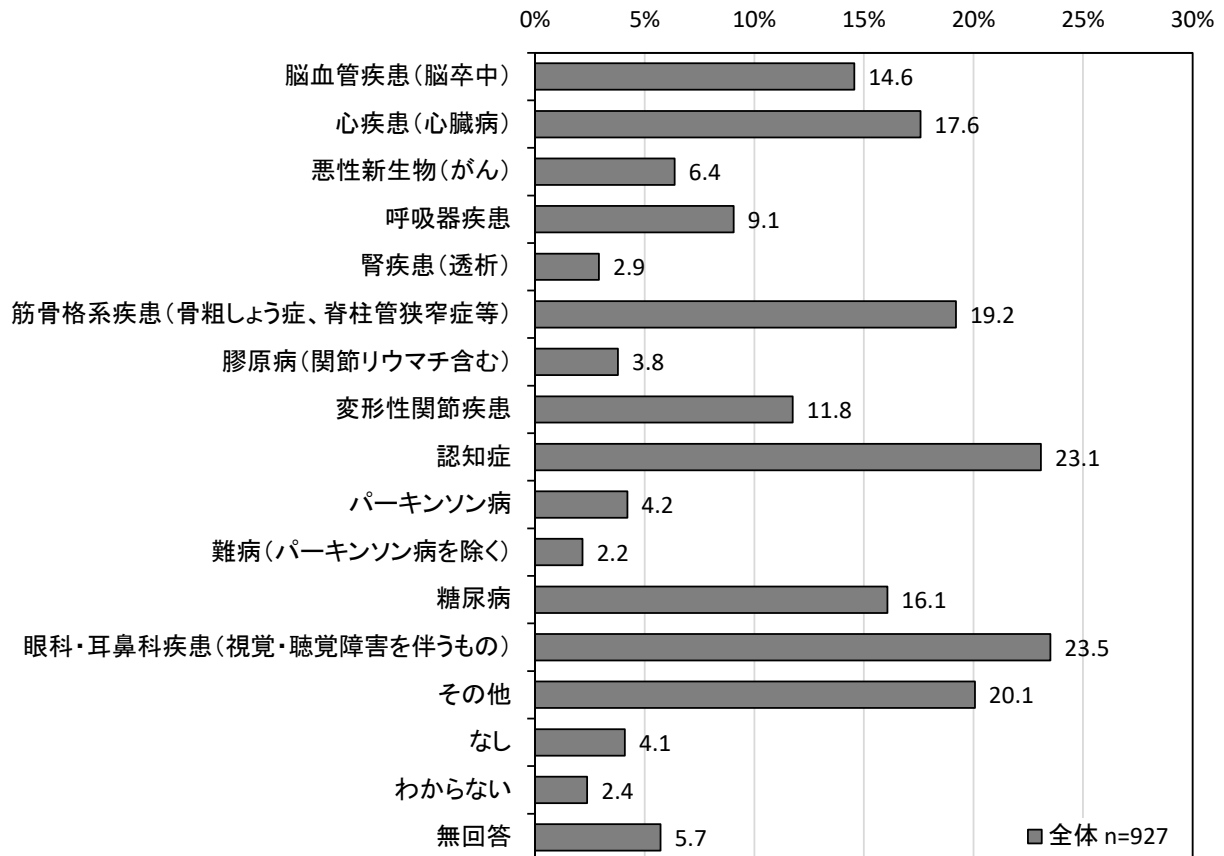
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（回答は1つ）

「入所・入居は検討していない」の割合が72.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が13.4%となっています。



問7 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（あてはまるものすべてに回答）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 23.5%と最も高く、次いで「認知症」の割合が 23.1%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が 19.2%となっています。



■要介護度別

要支援者で、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっており、要介護者で、「認知症」の割合が高くなっています。

また、要介護度が上がるにつれて「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が高くなり、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が低くなる傾向があります。

単位：%

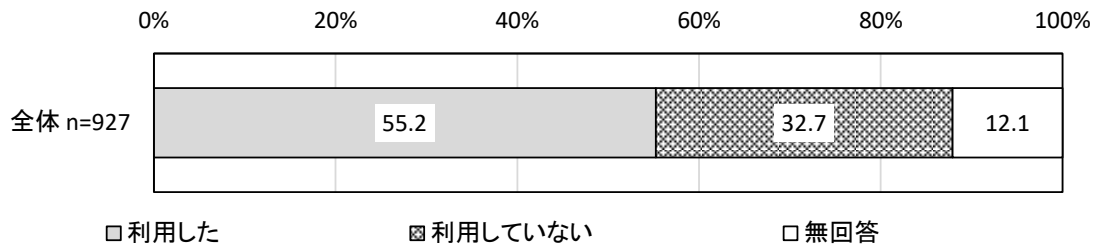
区分	回答者数 (件)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ 含む)	変形性関節疾患	認知症
要支援1	116	6.9	18.1	4.3	5.2	1.7	25.0	0.9	12.1	2.6
要支援2	182	13.2	13.7	4.9	11.5	4.4	24.2	4.4	17.6	0.5
要介護1	245	11.4	19.6	6.5	10.6	2.4	20.4	3.7	10.2	<u>31.0</u>
要介護2	199	16.1	20.1	6.0	11.1	4.0	16.1	5.0	11.1	<u>31.2</u>
要介護3	98	20.4	13.3	8.2	2.0	1.0	16.3	4.1	9.2	<u>38.8</u>
要介護4	52	21.2	17.3	11.5	7.7	3.8	7.7	5.8	11.5	<u>40.4</u>
要介護5	35	34.3	20.0	8.6	8.6	0.0	8.6	0.0	2.9	<u>37.1</u>

区分	回答者数 (件)	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病 を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 を伴うもの (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
要支援1	116	1.7	0.9	15.5	<u>30.2</u>	18.1	5.2	2.6	8.6
要支援2	182	2.2	2.2	18.7	<u>25.8</u>	20.3	5.5	4.9	6.6
要介護1	245	3.7	0.8	13.1	21.2	21.2	4.1	1.6	4.5
要介護2	199	5.0	2.0	17.6	26.6	19.1	4.0	1.5	5.0
要介護3	98	7.1	5.1	17.3	21.4	20.4	2.0	3.1	5.1
要介護4	52	5.8	5.8	17.3	15.4	19.2	3.8	0.0	5.8
要介護5	35	11.4	2.9	11.4	5.7	22.9	0.0	0.0	5.7

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

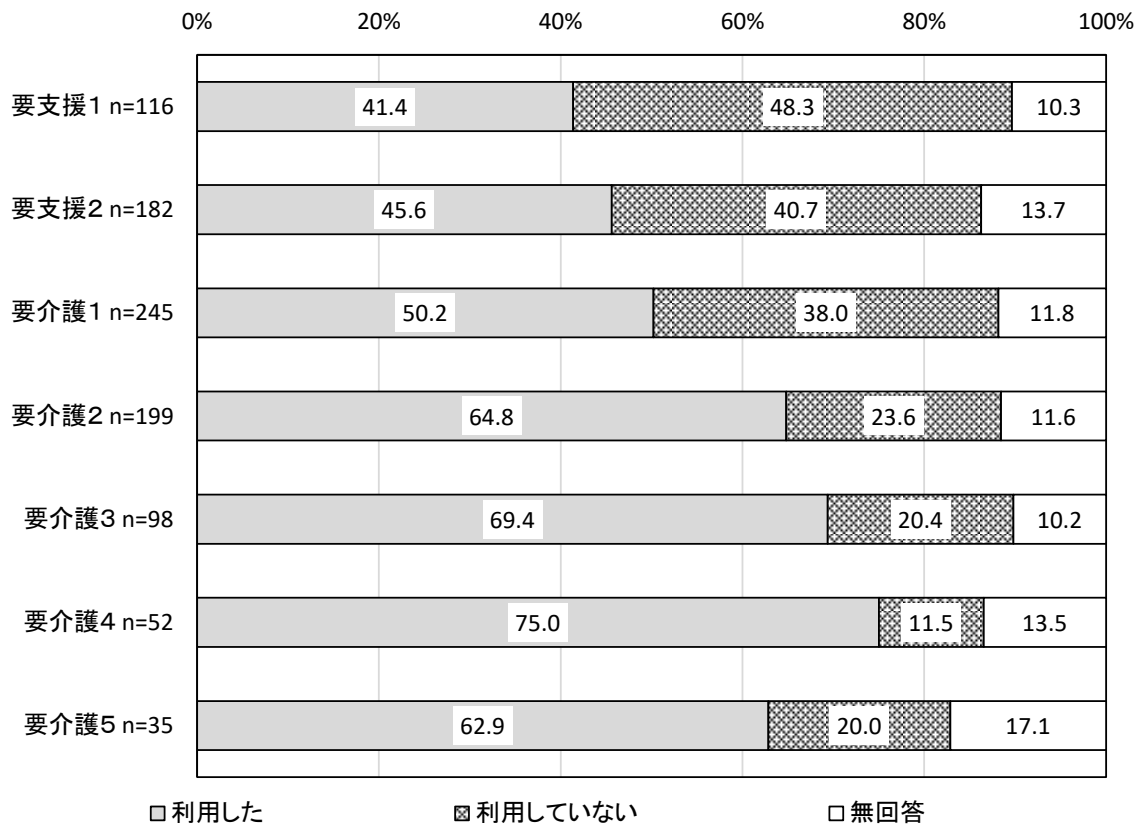
問8 令和元年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（回答は1つ）

「利用した」の割合が55.2%、「利用していない」の割合が32.7%となっています。



■要介護度別

要介護度別で見ると、他に比べ、要介護者で「利用した」の割合が高くなっています。



【問8で「利用した」の人のみ】

問9 以下の介護保険サービスについて、令和元年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない・0回」を選択してください（それぞれ回答は1つ）

■ 1週間あたりの利用回数

A. 訪問介護（ホームヘルプ）では、「週1回程度」が7.4%、「週2回程度」が7.0%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は21.6%となっています。

B. 訪問入浴介護では、「週1回程度」が1.8%、「週2回程度」が1.4%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は3.6%となっています。

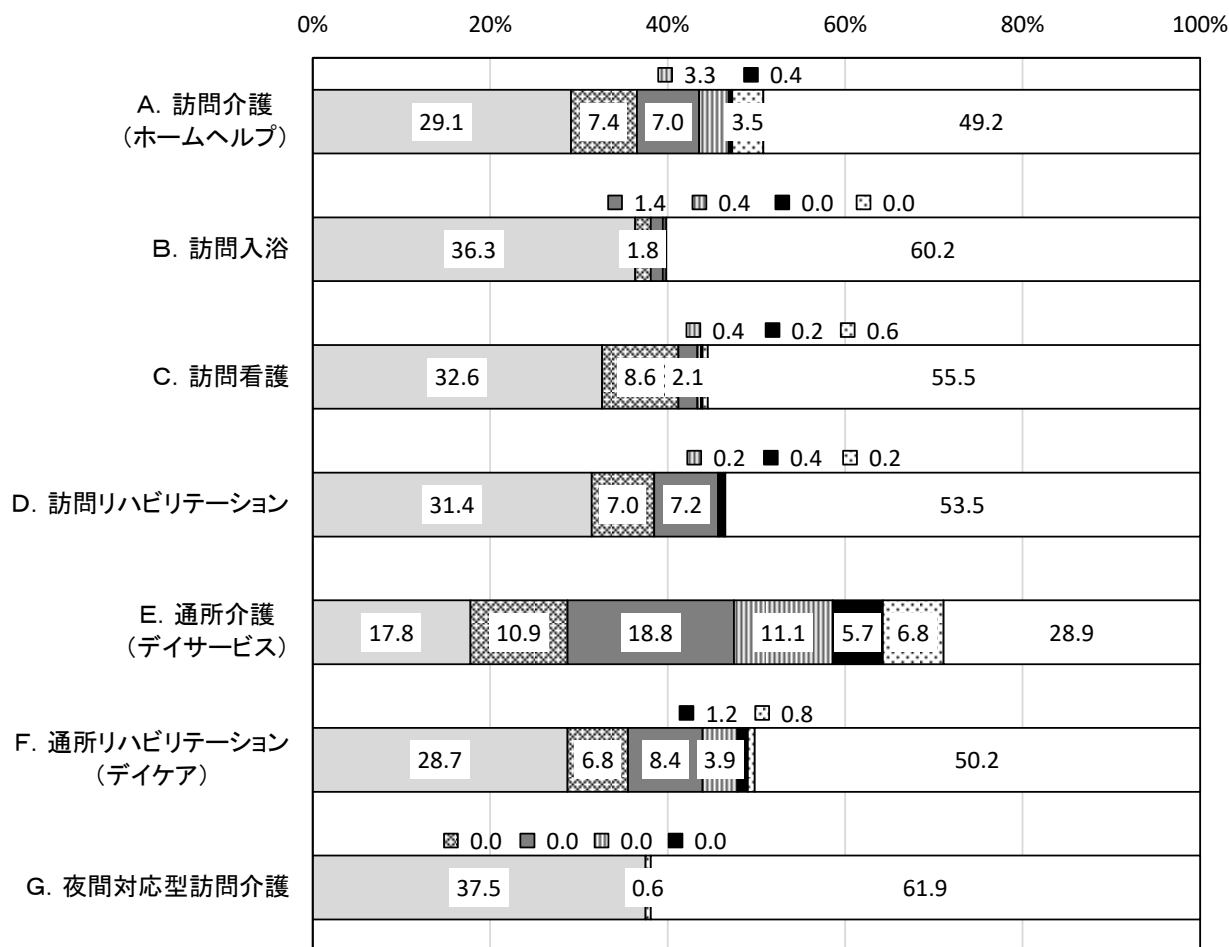
C. 訪問看護では、「週1回程度」が8.6%、「週2回程度」が2.1%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は11.9%となっています。

D. 訪問リハビリテーションでは、「週2回程度」が7.2%、「週1回程度」が7.0%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は15.0%となっています。

E. 通所介護（デイサービス）では、「週2回程度」が18.8%、「週3回程度」が11.1%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は53.3%となっています。

F. 通所リハビリテーション（デイケア）では、「週2回程度」が8.4%、「週1回程度」が6.8%となっています。週に1回以上“利用した”の割合は21.1%となっています。

G. 夜間対応型訪問介護では、週に1回以上“利用した”の割合は0.6%となっています。



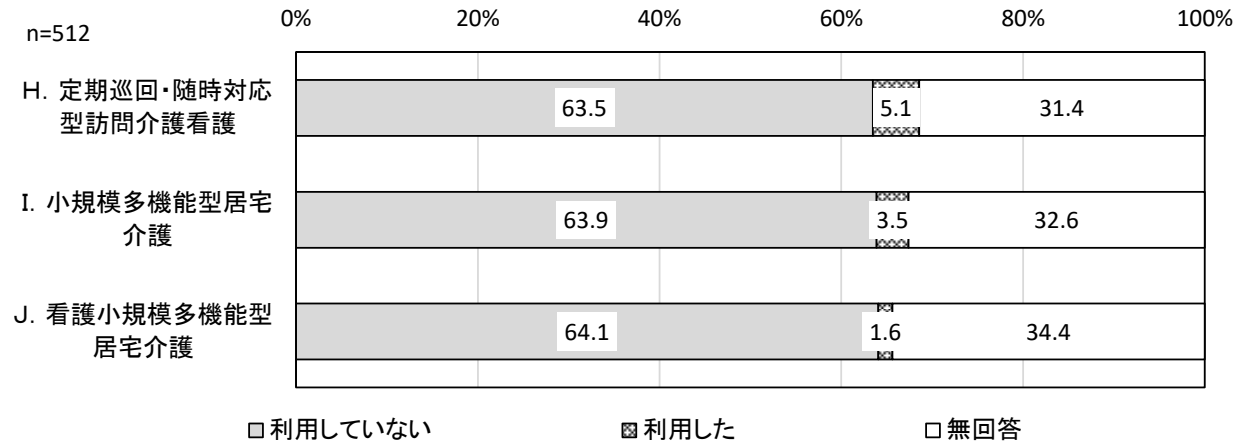
□利用していない □週1回程度 □週2回程度 □週3回程度 □週4回程度 □週5回以上 □無回答

■ 1週間あたりの利用状況

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、「利用していない」の割合が63.5%、「利用した」の割合が5.1%となっています。

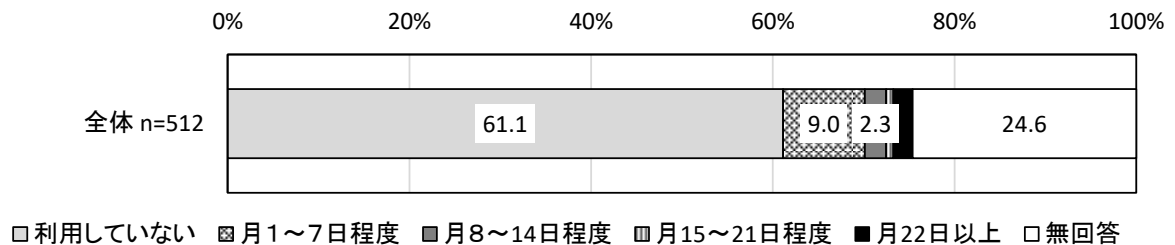
I. 小規模多機能型居宅介護では、「利用していない」の割合が63.9%、「利用した」の割合が3.5%となっています。

J. 看護小規模多機能型居宅介護では、「利用していない」の割合が64.1%、「利用した」の割合が1.6%となっています。



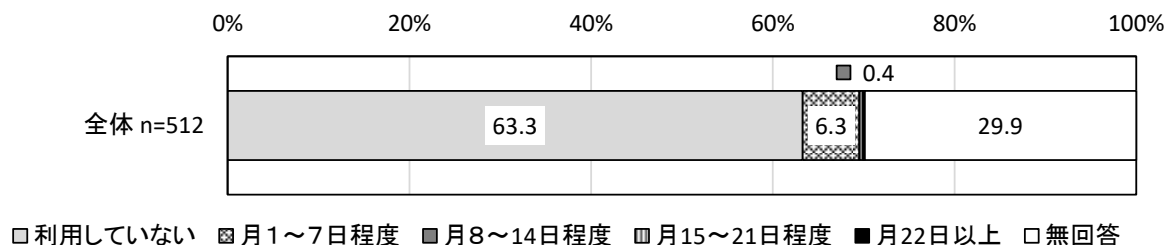
■ 1か月あたりの利用日数

K. ショートステイでは、「利用していない」の割合が61.1%と最も高くなっています。



■ 1か月あたりの利用日数

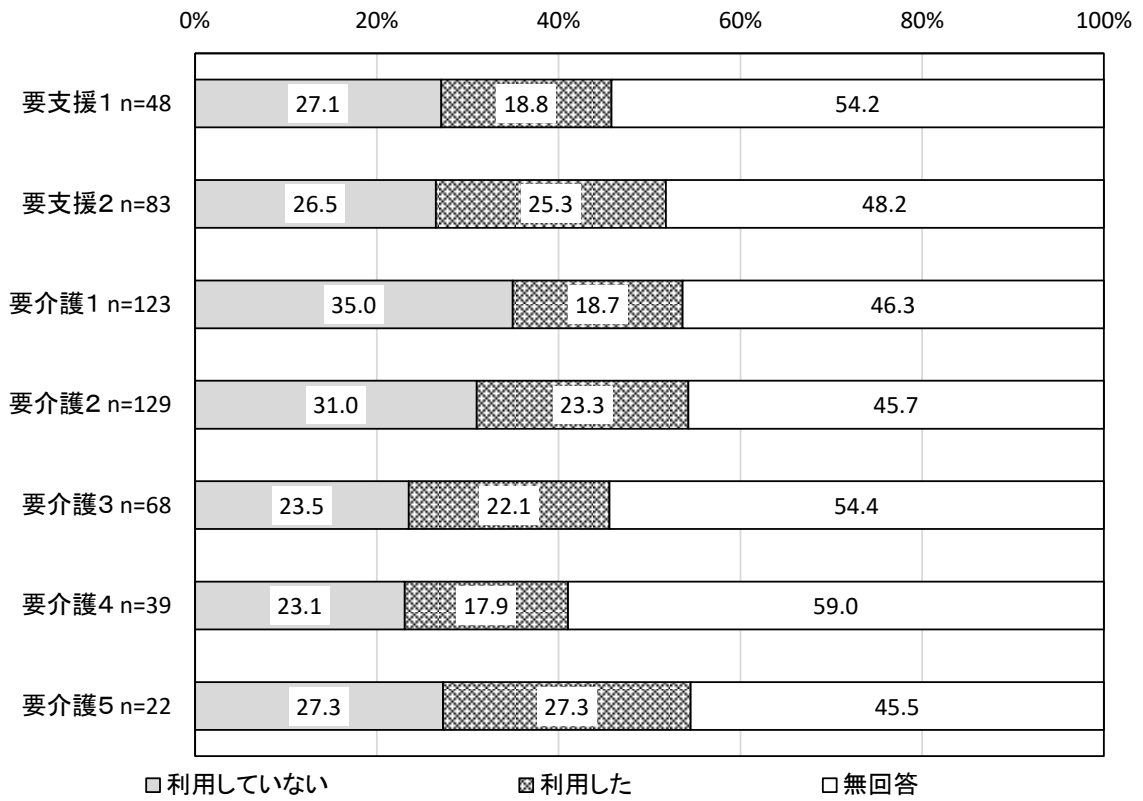
L. 居宅療養管理指導では、「利用していない」の割合が63.3%と最も高くなっています。



A. 訪問介護（ホームヘルプ）

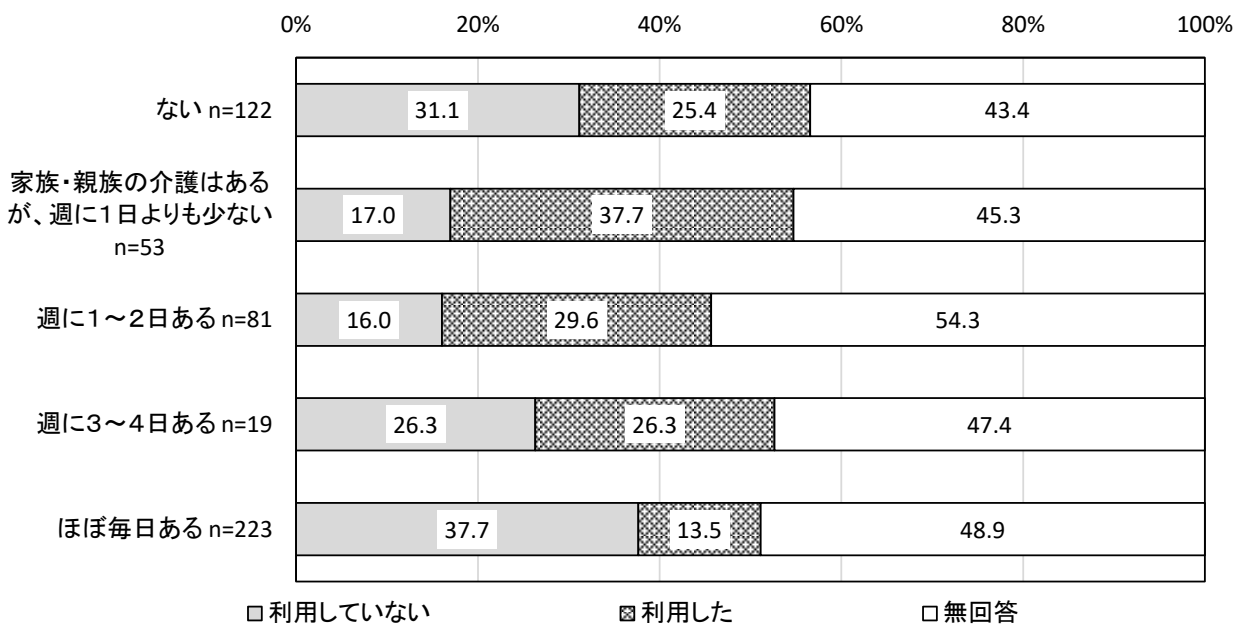
■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要支援2、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

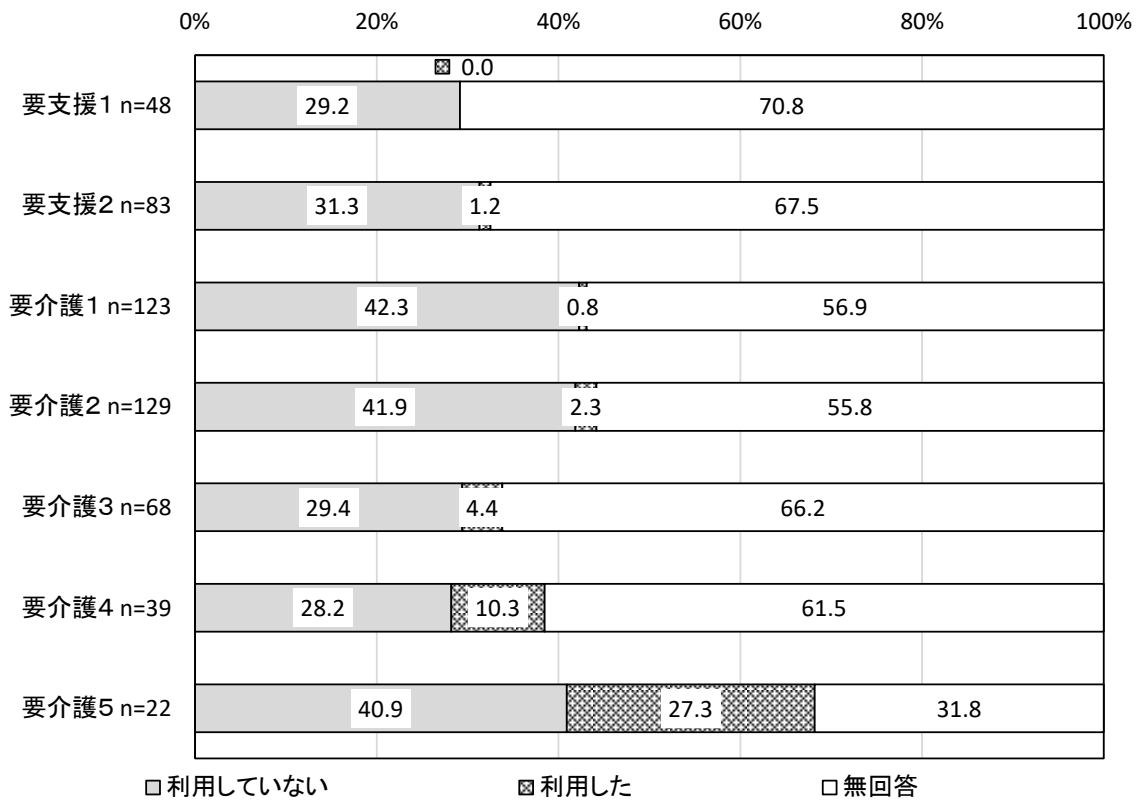
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ないで「利用した」の割合が高くなっています。



B. 訪問入浴

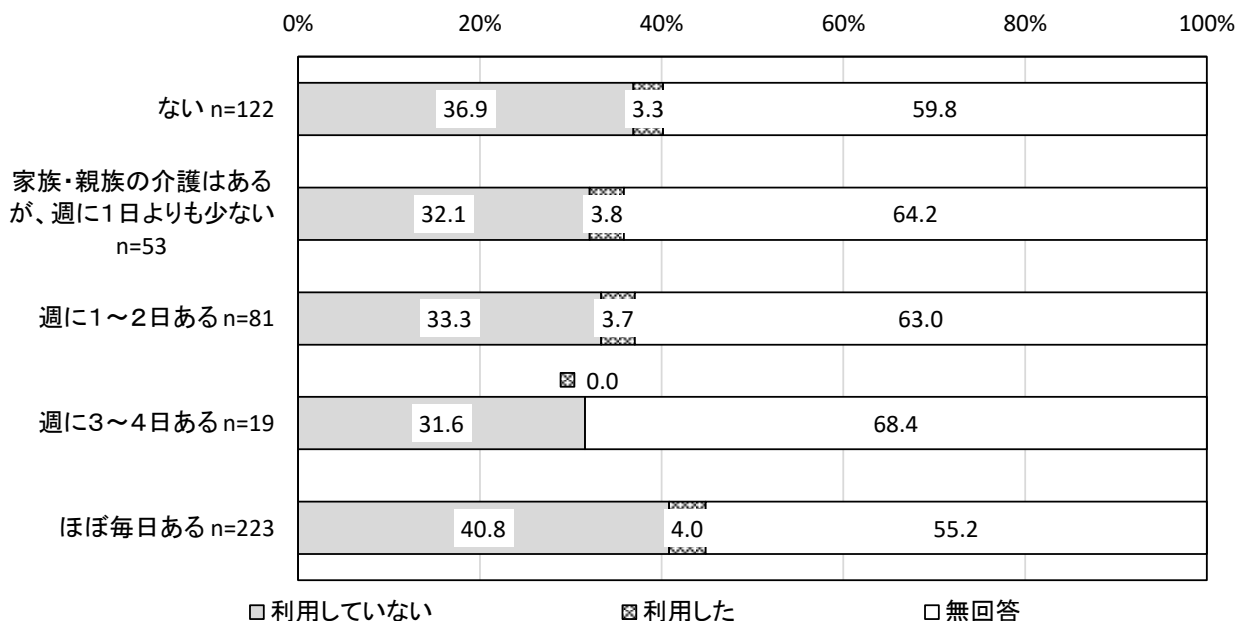
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

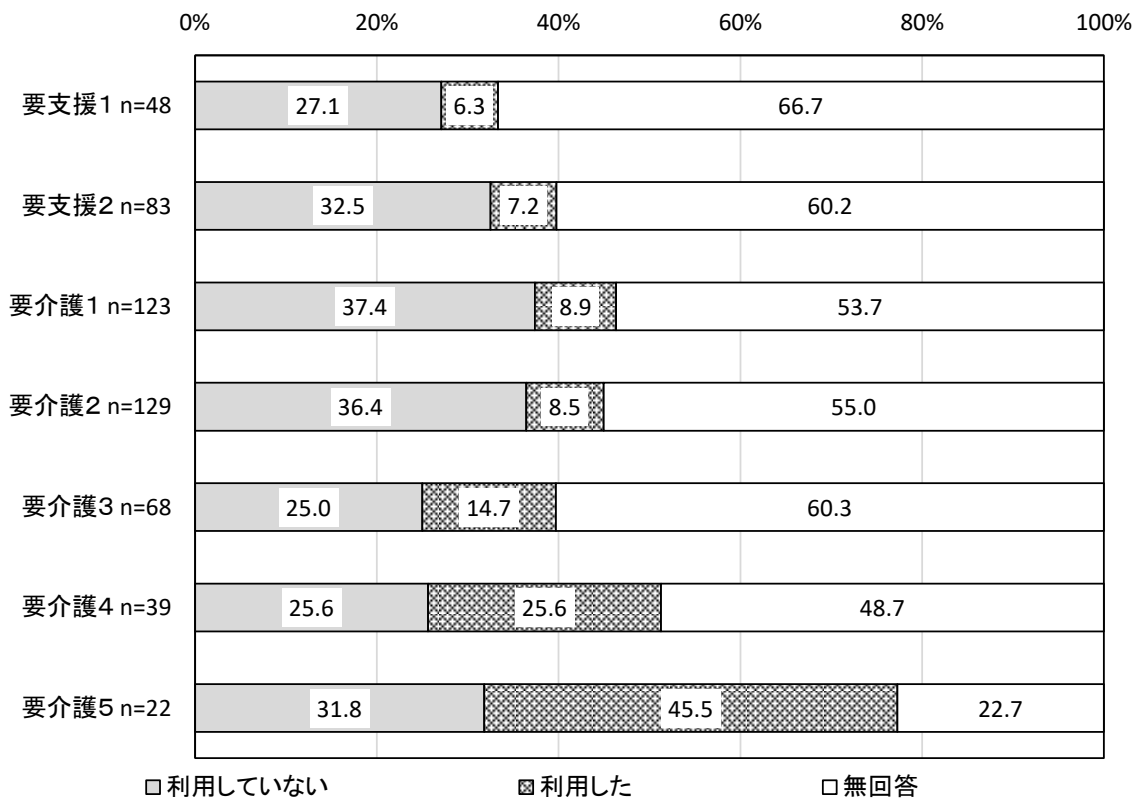
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、ほぼ毎日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



C. 訪問看護

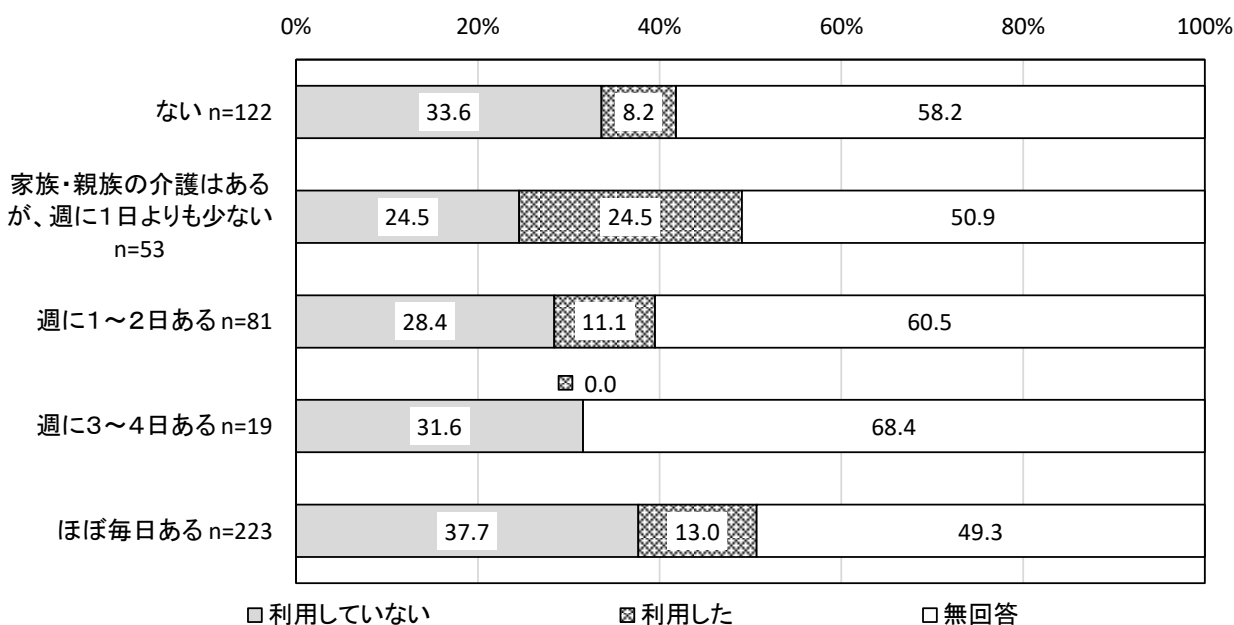
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高くなる傾向がみられます。



■家族・親族による介護の日数別

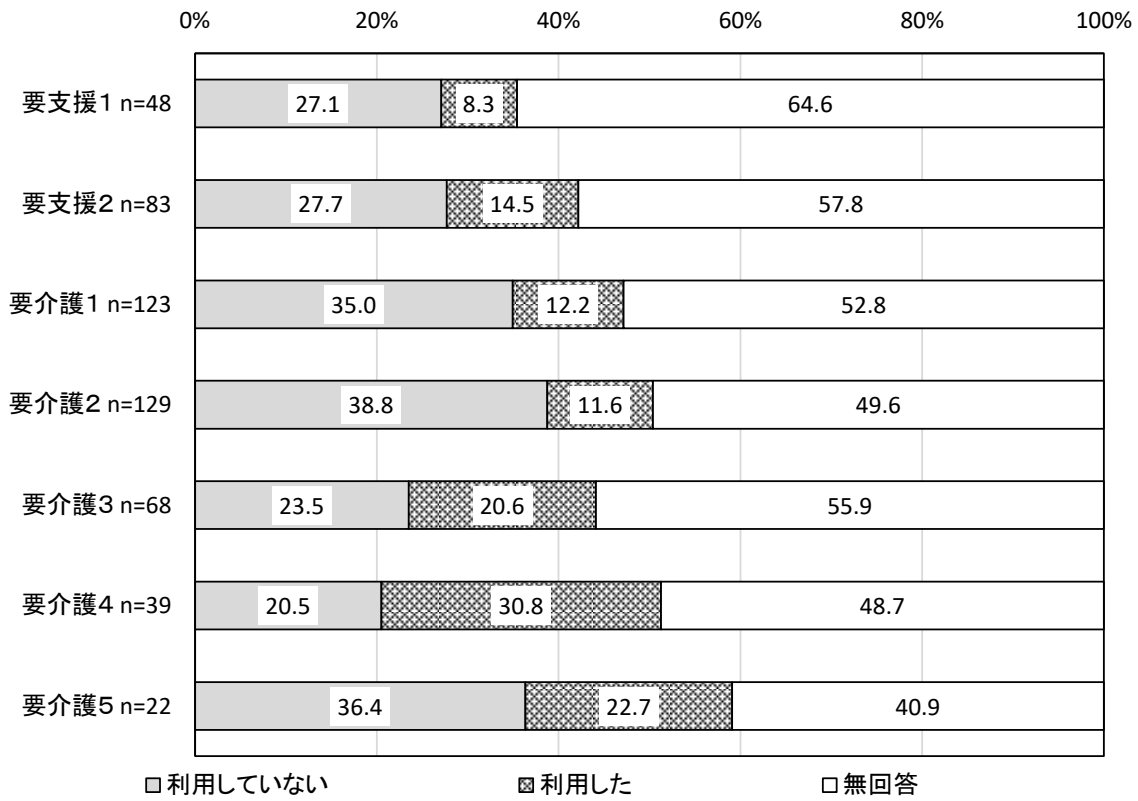
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ないで「利用した」の割合が高くなっています。



D. 訪問リハビリテーション

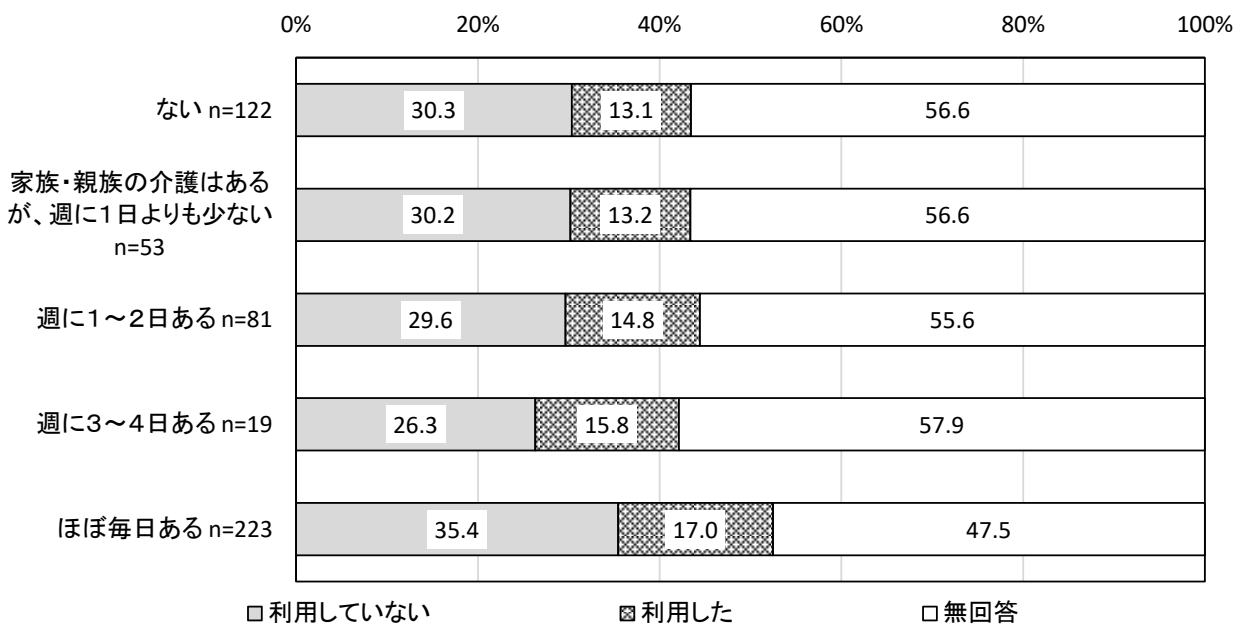
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高くなる傾向がみられます。



■家族・親族による介護の日数別

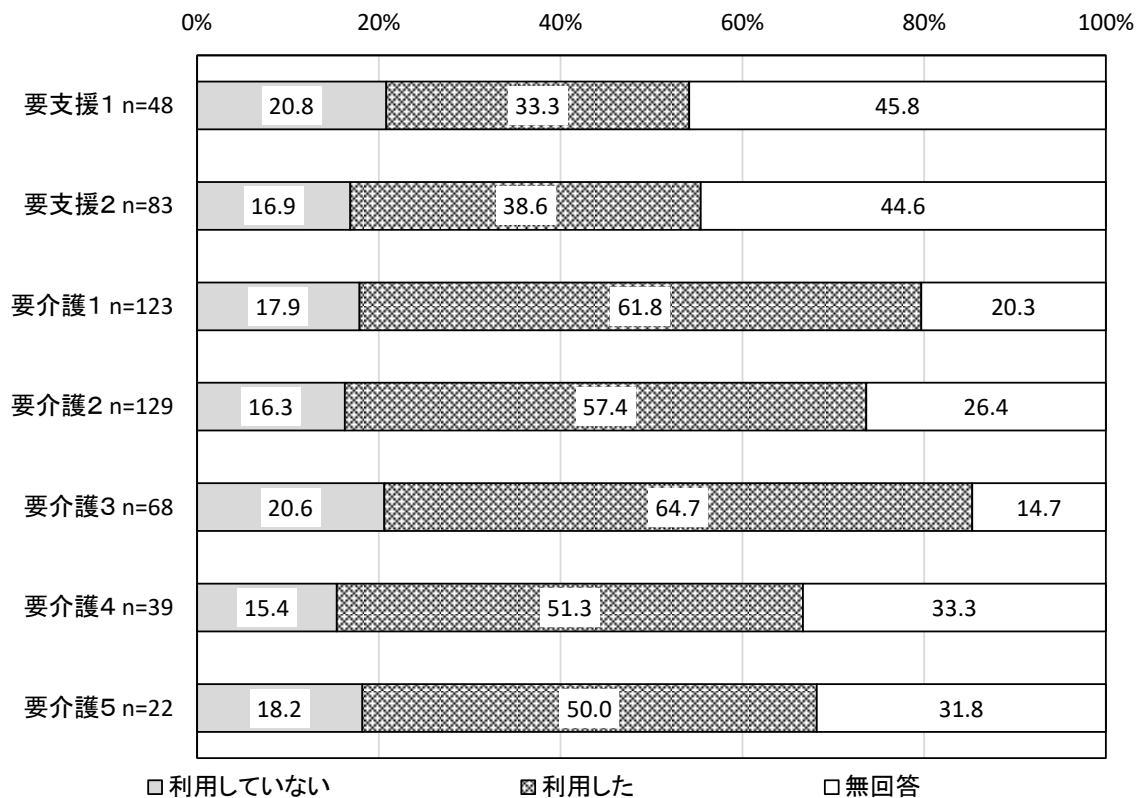
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、週に3～4日ある、ほぼ毎日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



E. 通所介護（デイサービス）

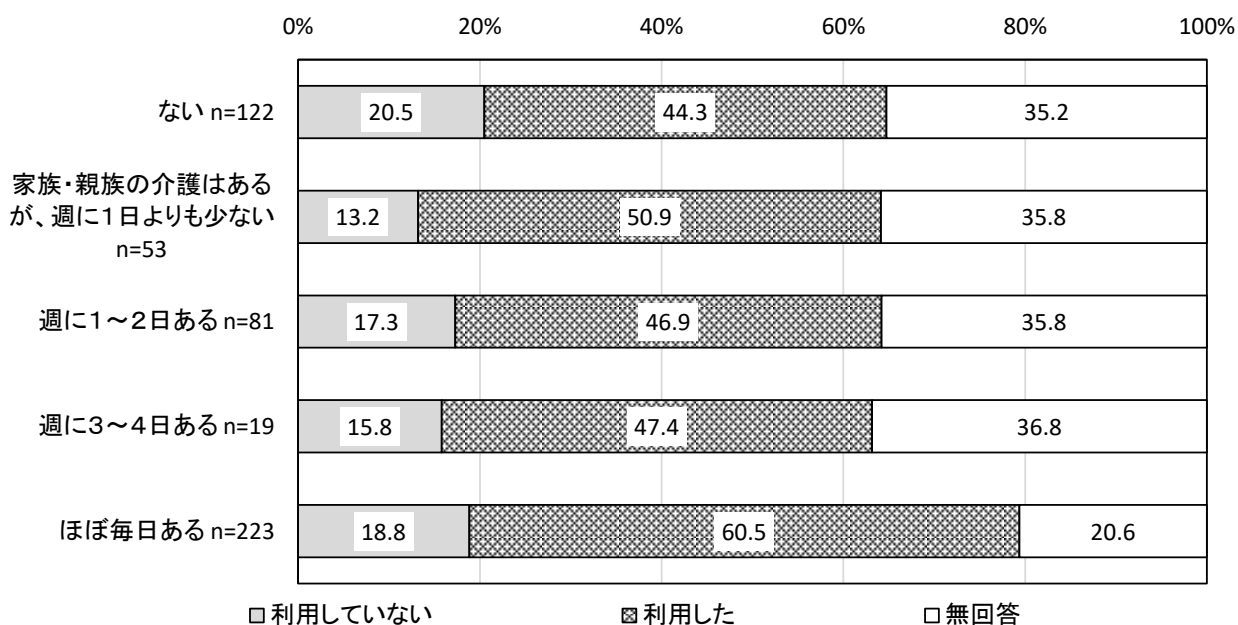
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護者で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

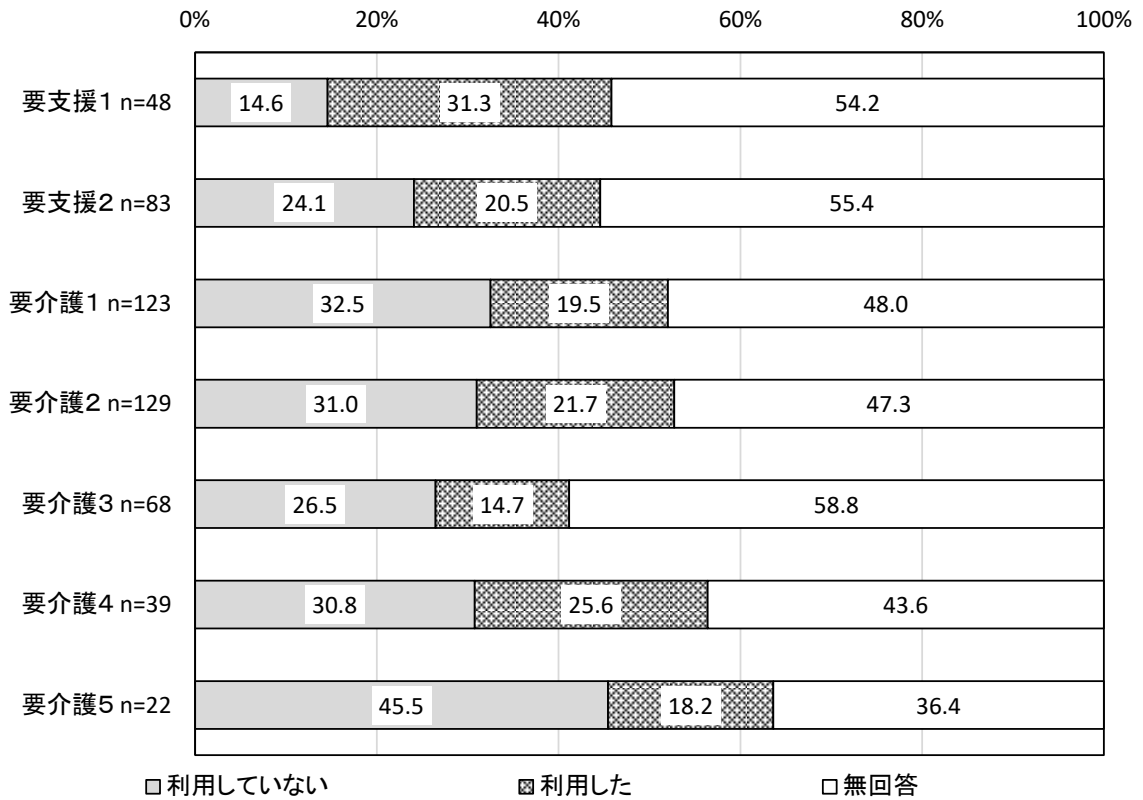
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、ほぼ毎日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）

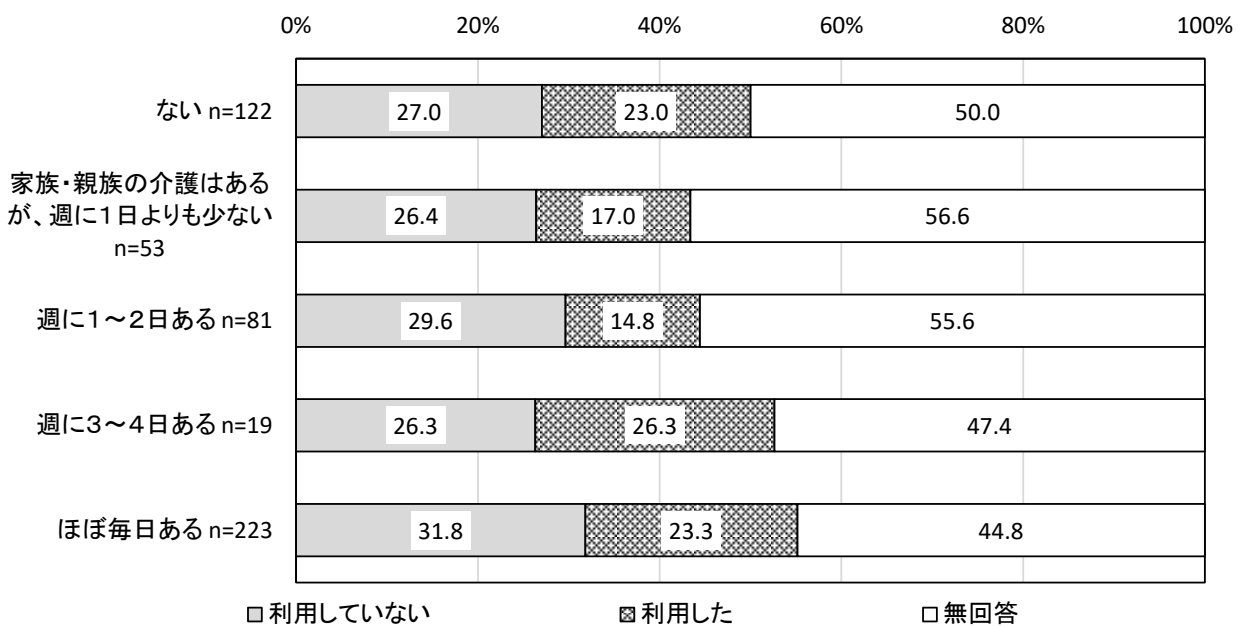
■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要支援1で「利用した」の割合が高くなっています。また、要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

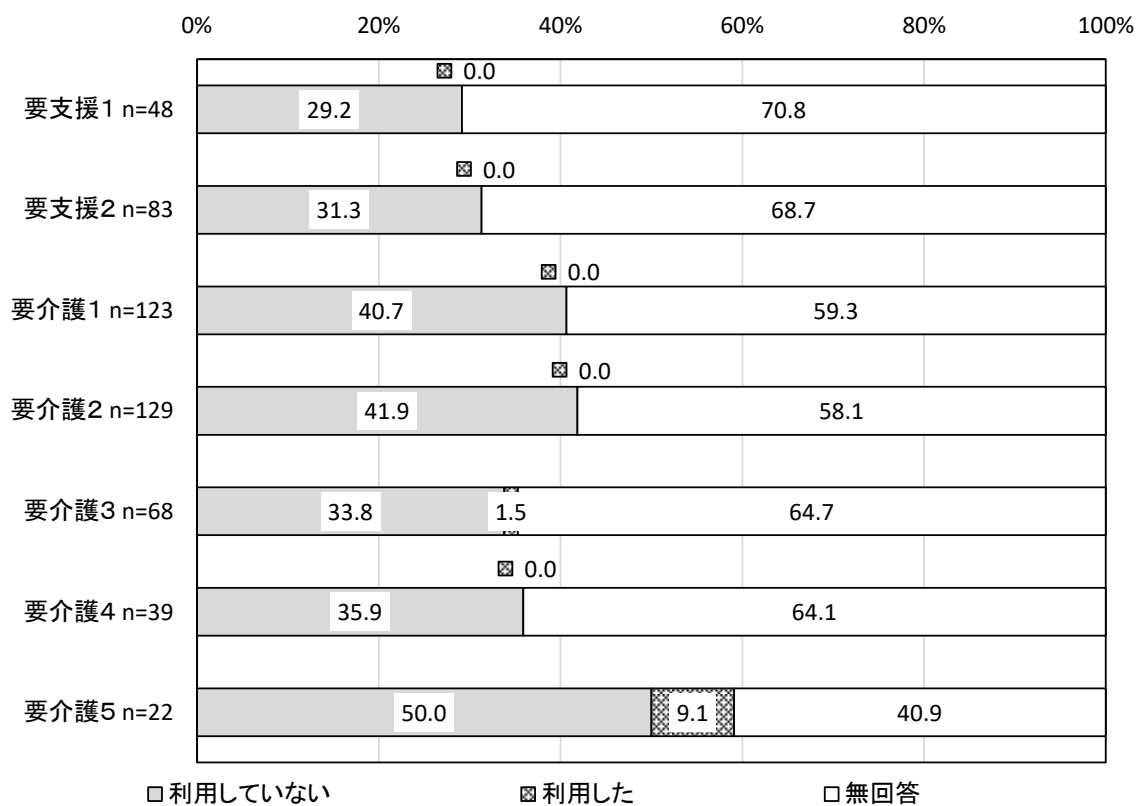
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、週に3～4日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



G. 夜間対応型訪問介護

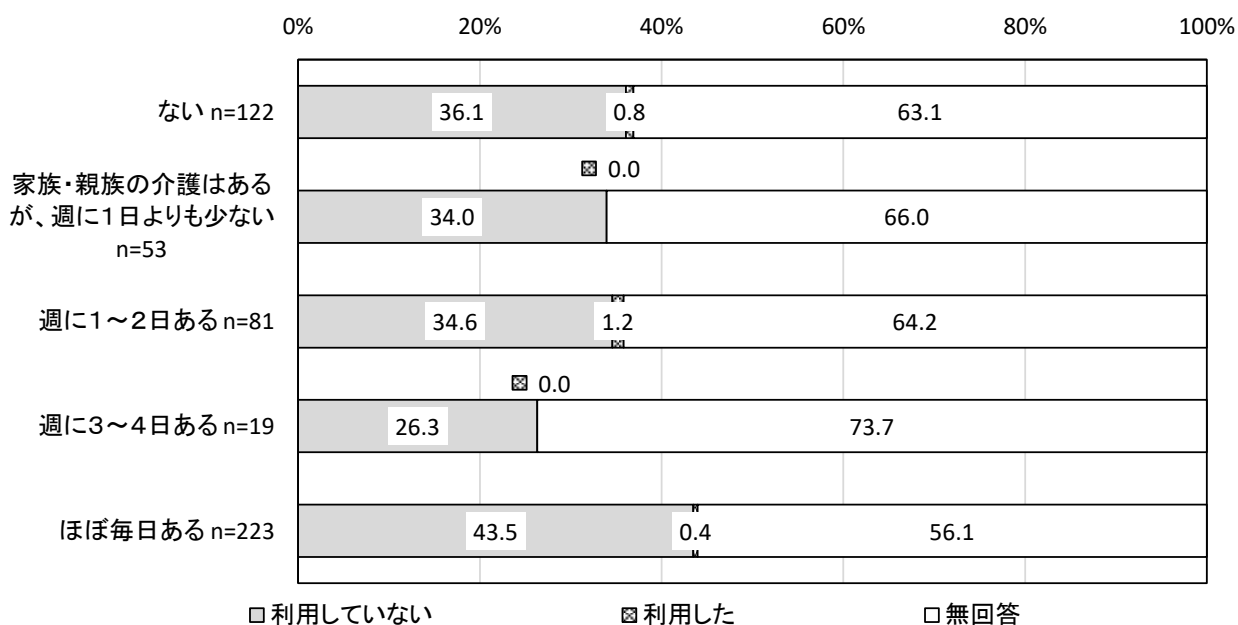
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

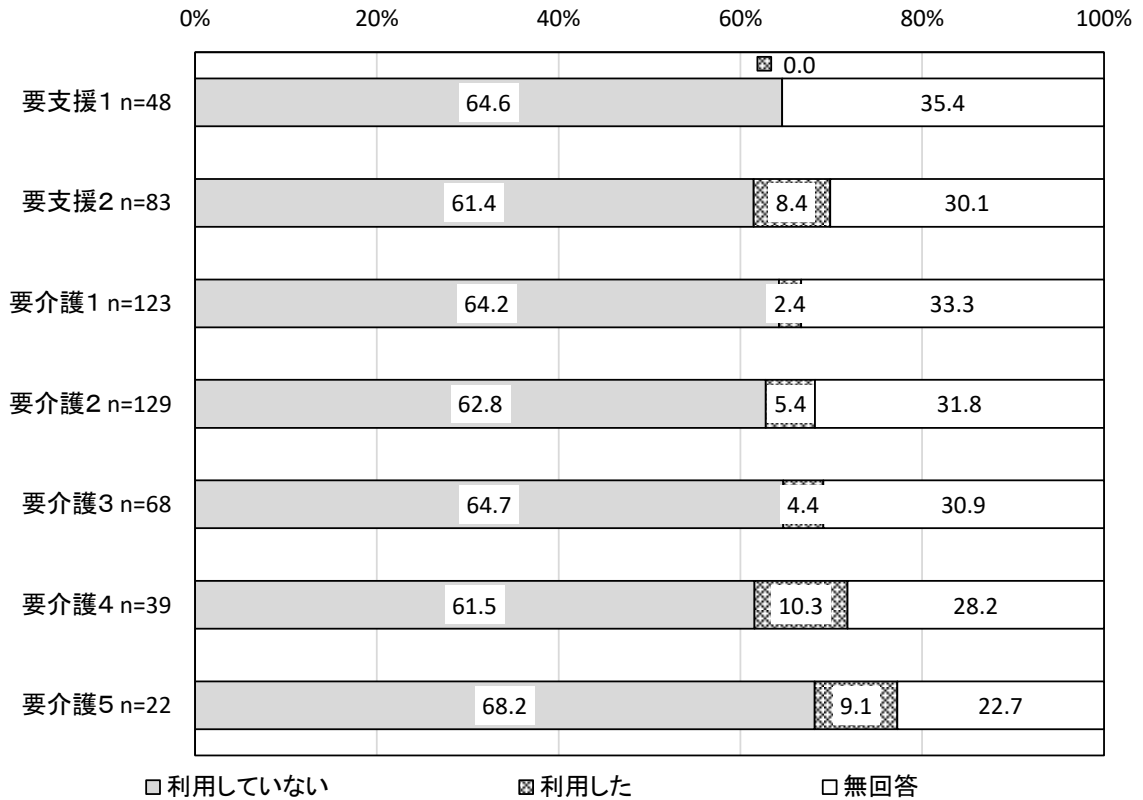
家族・親族による介護の日数別でみると、大きな差異はみられません。



H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

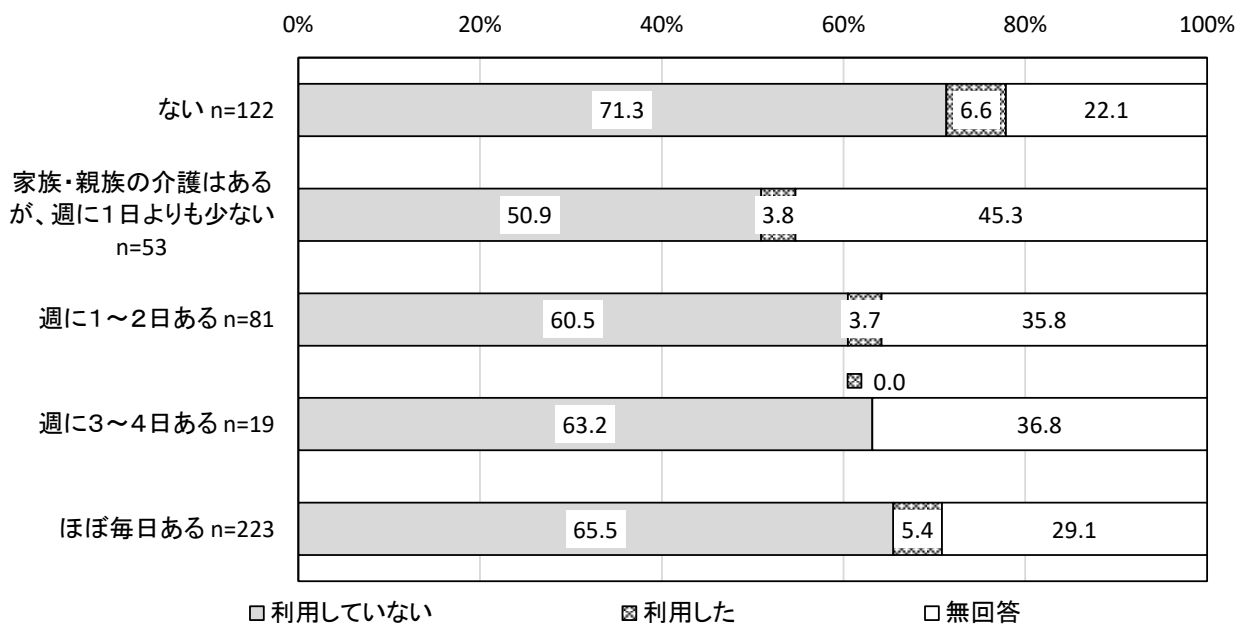
■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要支援2、要介護4、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

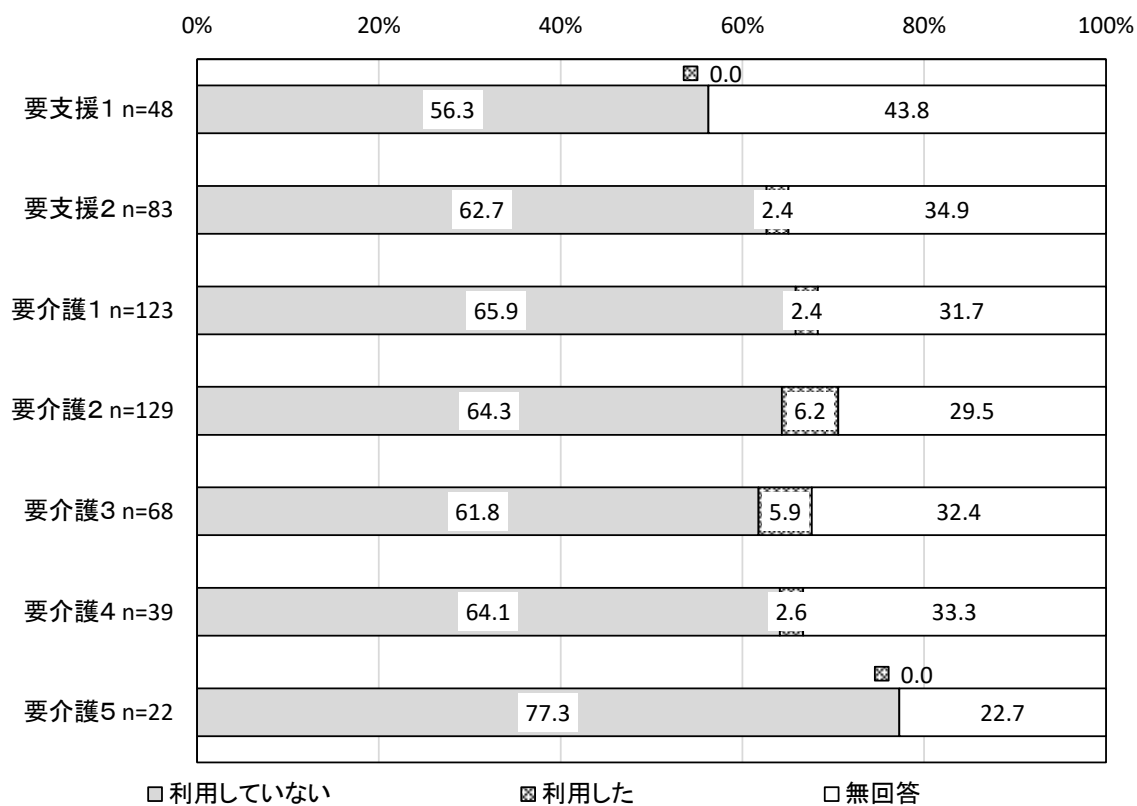
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、ない、ほぼ毎日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



I. 小規模多機能型居宅介護

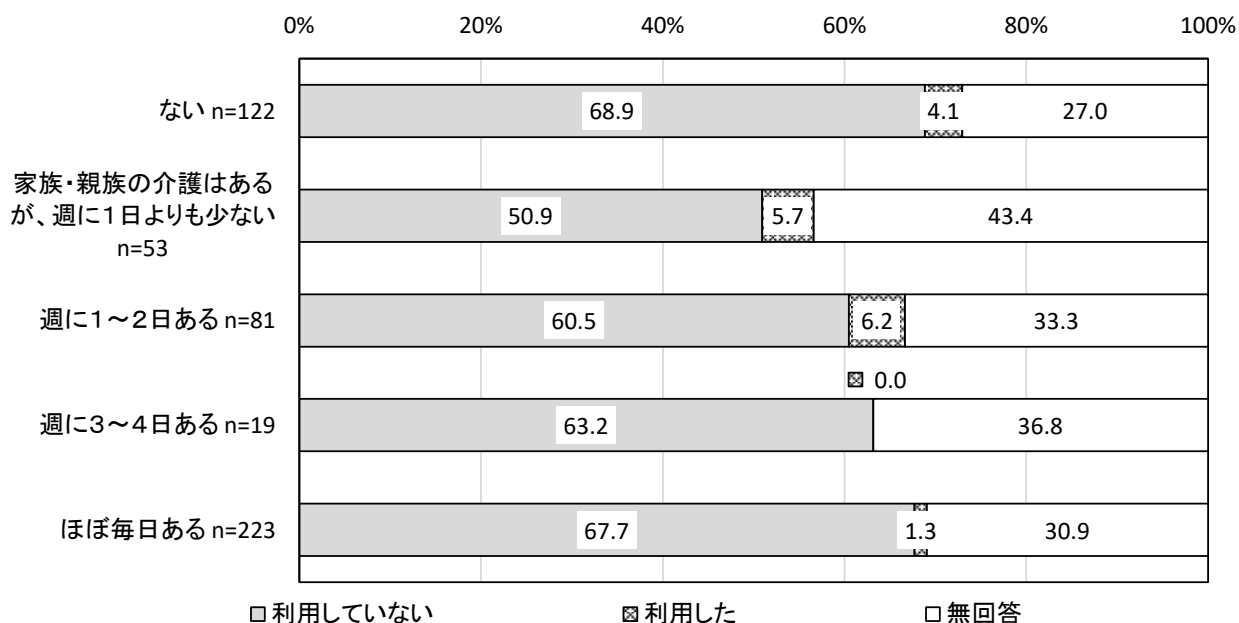
■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2、要介護3で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

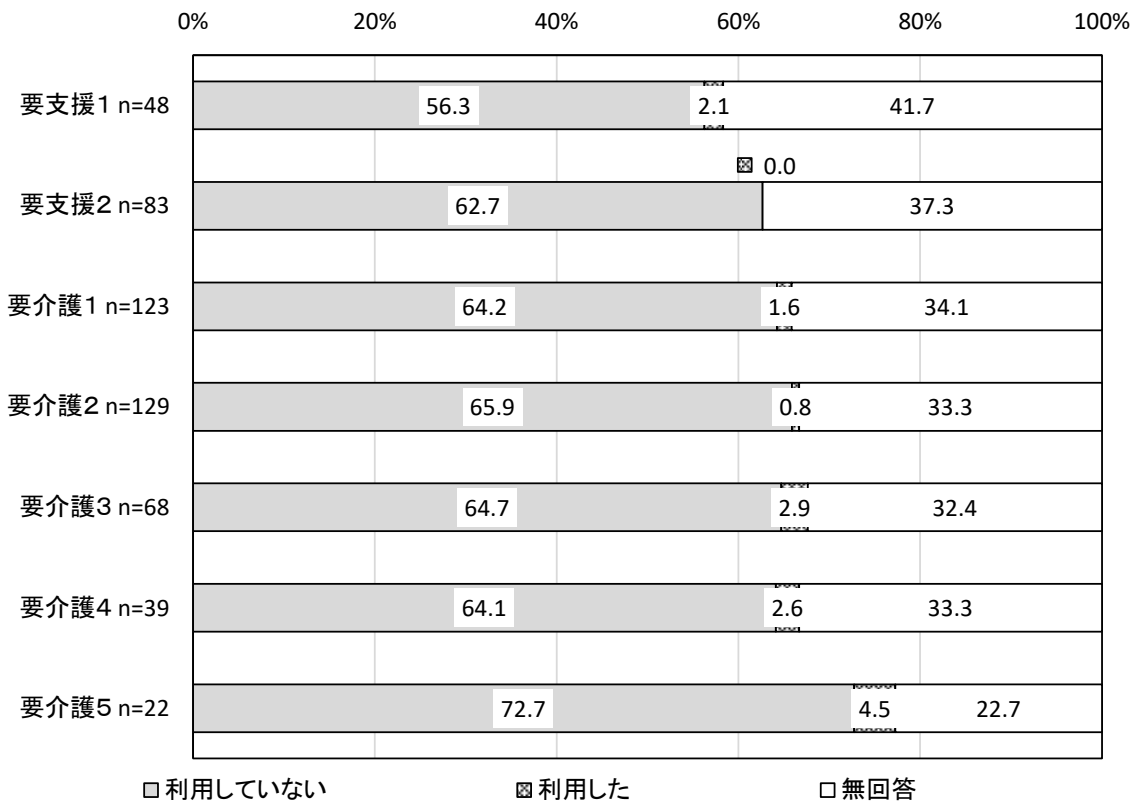
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない、週に1～2日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



J. 看護小規模多機能型居宅介護

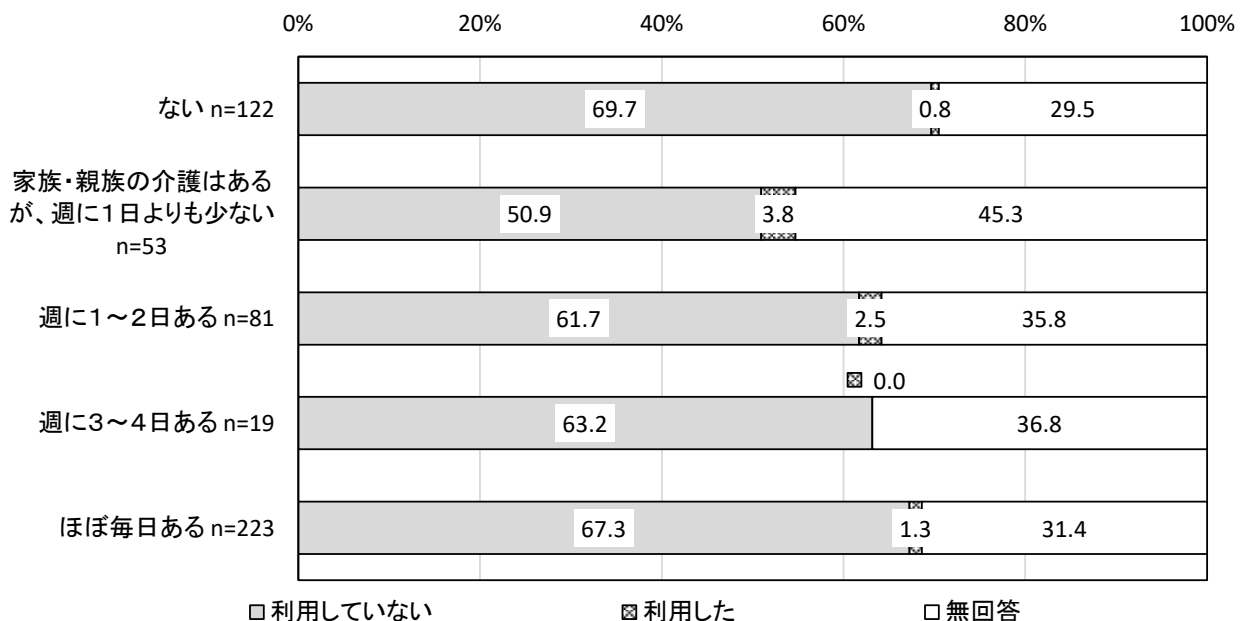
■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



■家族・親族による介護の日数別

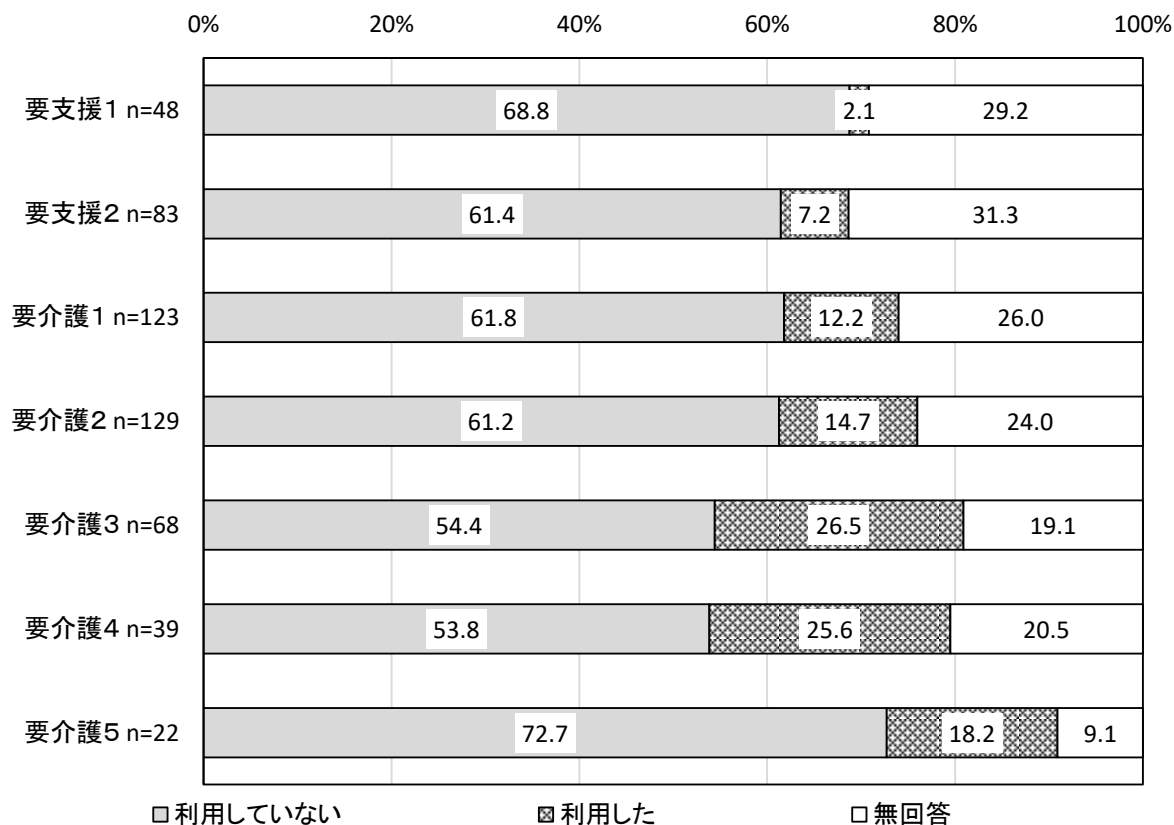
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない、週に1～2日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



K. ショートステイ

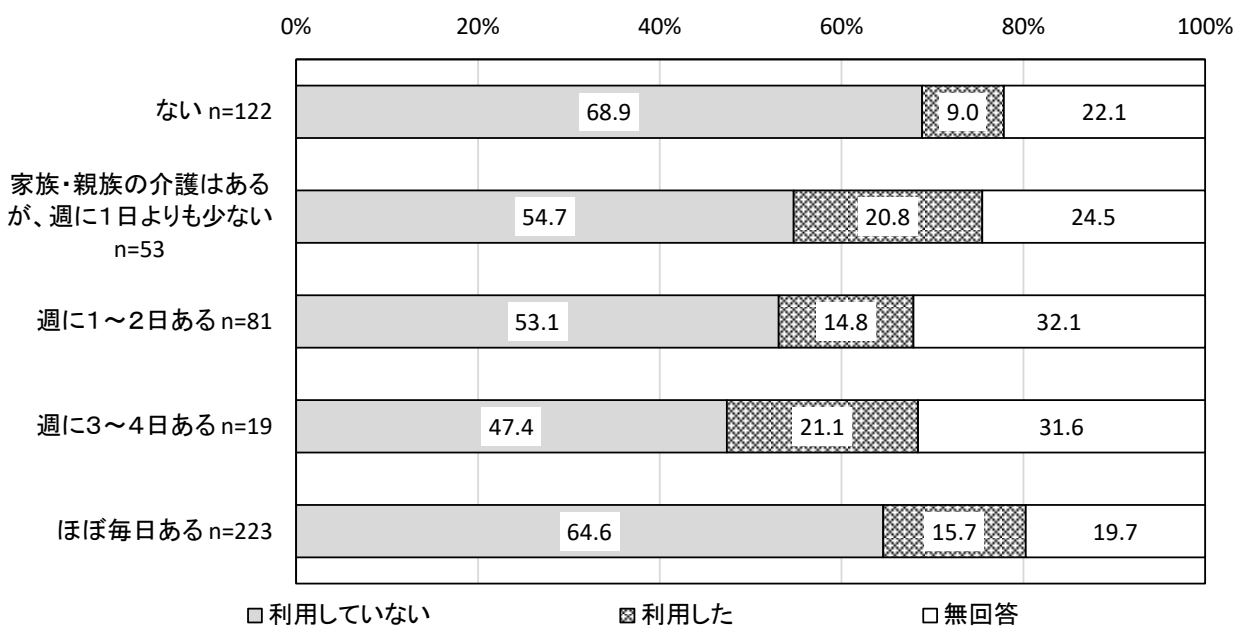
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高くなる傾向がみられ、要介護3、要介護4では2割以上となっていますが、要介護5では18.2%となっています。



■家族・親族による介護の日数別

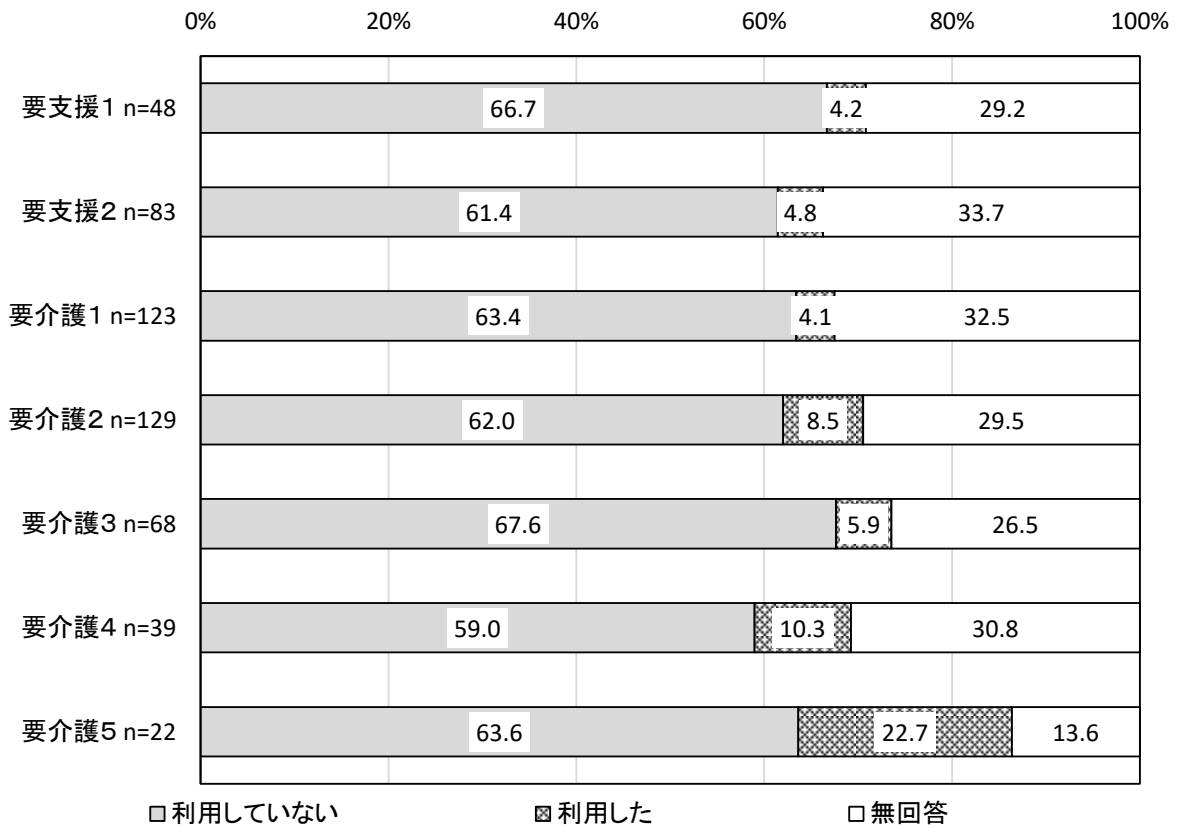
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない、週に3～4日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



L. 居宅療養管理指導

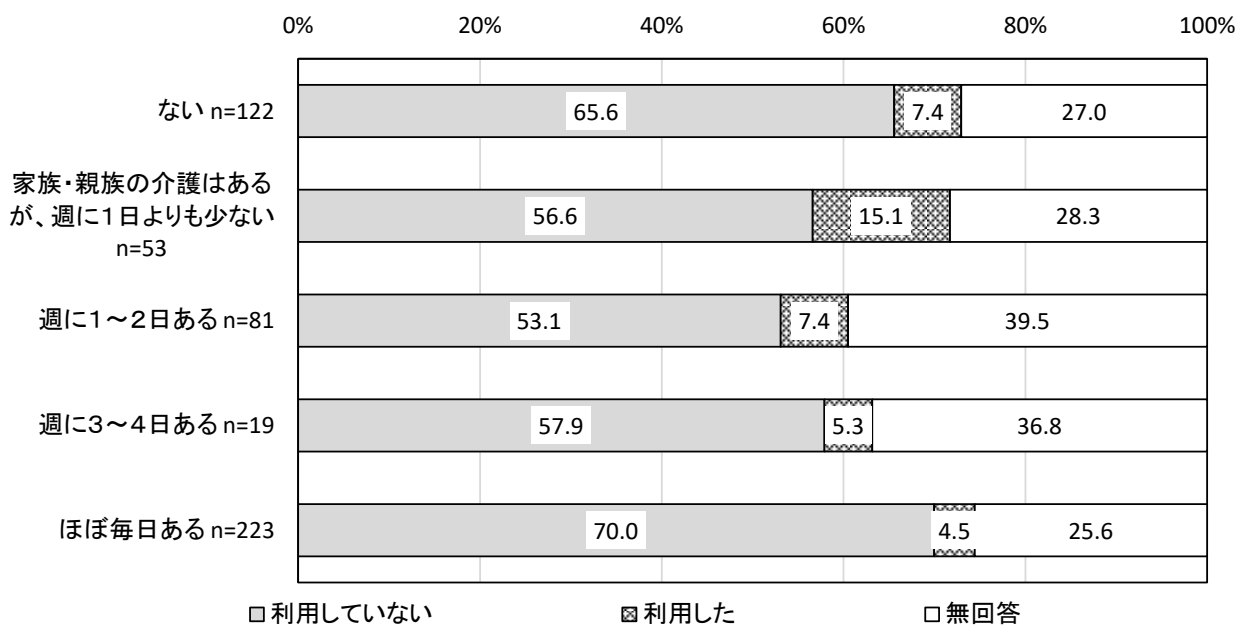
■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高くなる傾向がみられます。



■家族・親族による介護の日数別

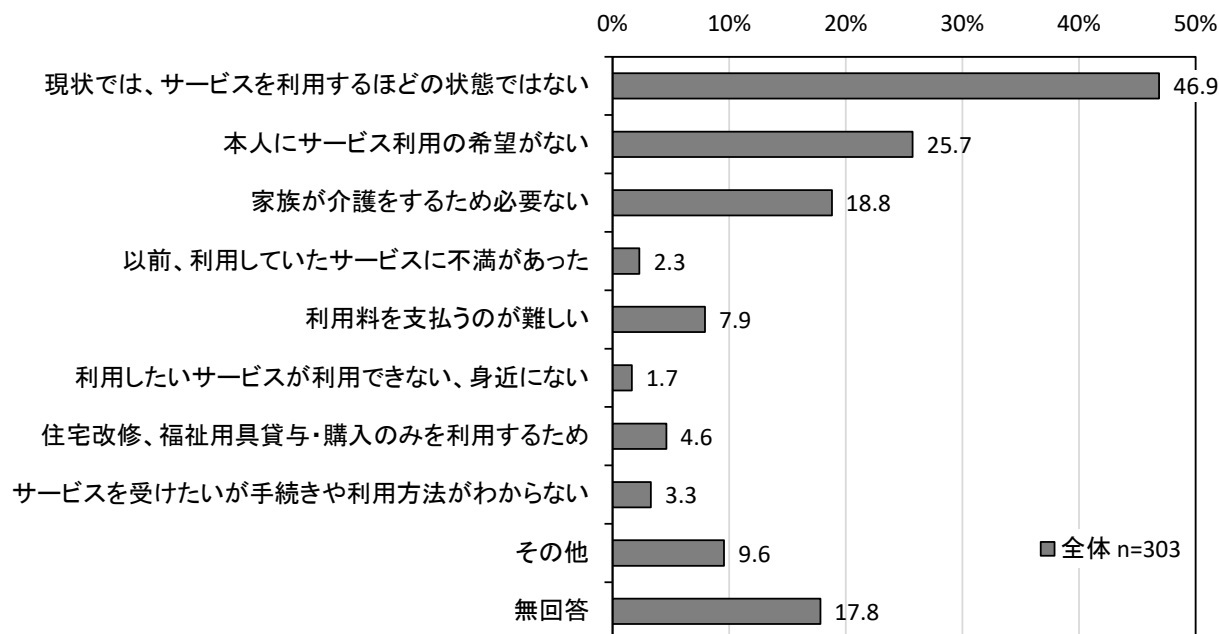
家族・親族による介護の日数別でみると、他に比べ、家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ないで「利用した」の割合が高くなっています。



【問8で「利用していない」の人のみ】

問10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が25.7%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が18.8%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなり、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が低くなっています。

単位：%

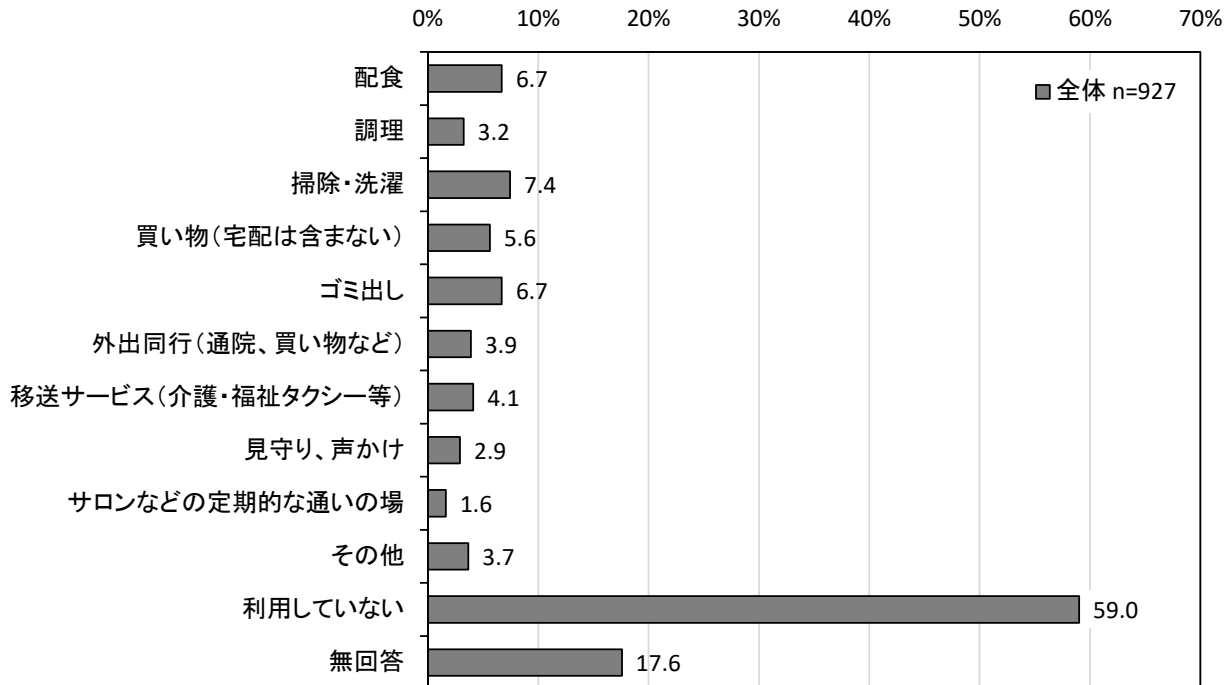
区分	回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用できないサービス、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与のみを利用するため	手続きや利用方法がわからない	その他	無回答
要支援1	56	<u>67.9</u>	23.2	7.1	1.8	3.6	0.0	5.4	1.8	3.6	21.4
要支援2	74	<u>64.9</u>	21.6	20.3	0.0	10.8	4.1	2.7	4.1	5.4	10.8
要介護1	93	<u>45.2</u>	33.3	18.3	3.2	8.6	1.1	4.3	3.2	6.5	20.4
要介護2	47	23.4	<u>29.8</u>	21.3	2.1	6.4	0.0	6.4	6.4	14.9	19.1
要介護3	20	15.0	20.0	<u>40.0</u>	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0	15.0	20.0
要介護4	6	0.0	0.0	<u>50.0</u>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<u>50.0</u>	0.0
要介護5	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	<u>57.1</u>	28.6

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

※ここから再び、全員にお伺いします。

問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
（あてはまるものすべてに回答）

利用している人では、「掃除・洗濯」の割合が7.4%と最も高く、次いで「配食」「ゴミ出し」の割合がそれぞれ6.7%、「買い物（宅配は含まない）」の割合が5.6%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、他に比べ、要支援者で「掃除・洗濯」、要介護2で「ゴミ出し」、要介護5で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

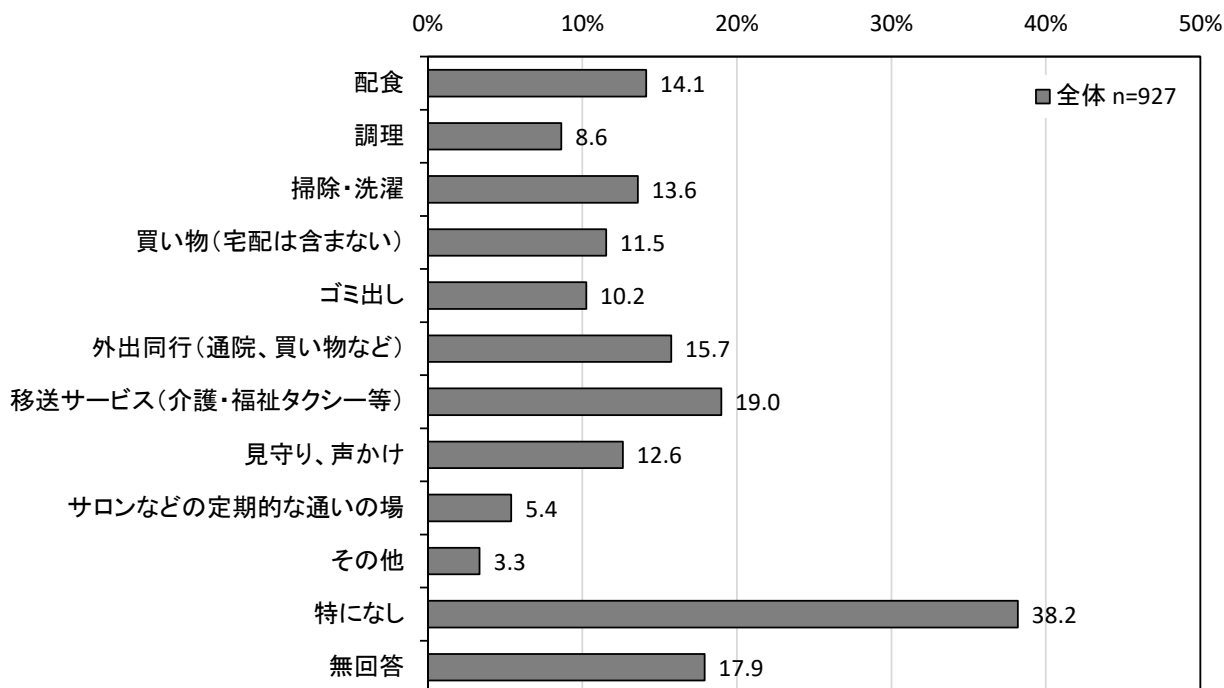
単位:%

区分	回答者数(件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
要支援1	116	5.2	0.0	<u>9.5</u>	2.6	5.2	1.7	2.6	1.7	0.9	3.4	55.2	20.7
要支援2	182	4.4	3.3	<u>10.4</u>	6.6	7.1	4.9	3.3	2.2	1.1	2.2	53.3	21.4
要介護1	245	<u>8.2</u>	2.9	4.1	5.3	5.7	2.9	1.6	2.9	2.0	3.7	63.7	16.7
要介護2	199	8.5	5.0	10.1	10.1	<u>11.1</u>	5.5	5.5	5.0	3.0	3.5	56.8	15.6
要介護3	98	<u>6.1</u>	3.1	3.1	0.0	5.1	2.0	4.1	0.0	0.0	4.1	67.3	17.3
要介護4	52	5.8	5.8	3.8	5.8	3.8	7.7	7.7	3.8	0.0	<u>9.6</u>	61.5	13.5
要介護5	35	5.7	2.9	11.4	2.9	0.0	2.9	<u>17.1</u>	5.7	2.9	2.9	54.3	11.4

※下線は、各区分（要介護度）において「利用していない」を除いて最も割合が高いものです。

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるものすべてに回答）

利用したい・利用しているサービスの中では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が19.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が15.7%、「配食」の割合が14.1%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要支援1で「掃除・洗濯」、要介護3で「外出同行（通院、買い物など）」、その他の要介護度で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

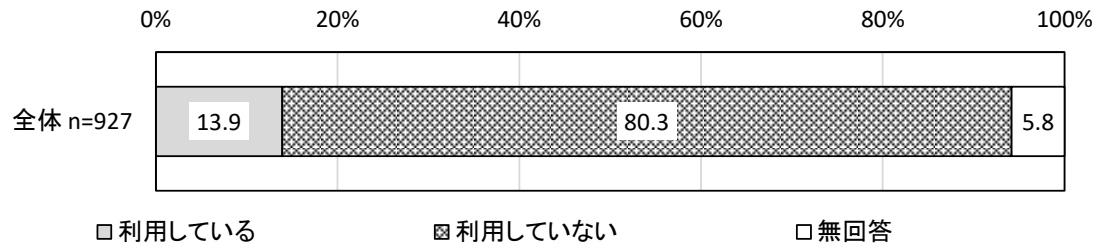
単位: %

区分	回答者数(件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
要支援1	116	9.5	4.3	15.5	9.5	7.8	12.9	13.8	10.3	3.4	1.7	43.1	21.6
要支援2	182	15.4	11.0	17.0	11.5	11.5	17.6	19.2	13.2	4.9	4.4	36.3	17.0
要介護1	245	19.2	12.2	13.5	15.5	12.7	18.4	20.0	14.3	9.0	2.4	36.7	17.6
要介護2	199	10.6	6.5	14.1	12.1	10.6	14.1	21.1	14.1	3.5	3.5	34.2	19.1
要介護3	98	11.2	7.1	12.2	7.1	10.2	16.3	13.3	13.3	3.1	3.1	45.9	13.3
要介護4	52	11.5	5.8	3.8	3.8	3.8	9.6	15.4	3.8	5.8	3.8	51.9	17.3
要介護5	35	20.0	5.7	5.7	11.4	2.9	14.3	37.1	8.6	5.7	8.6	22.9	20.0

※下線は、各区分（要介護度）において「特になし」を除いて最も割合が高いものです。

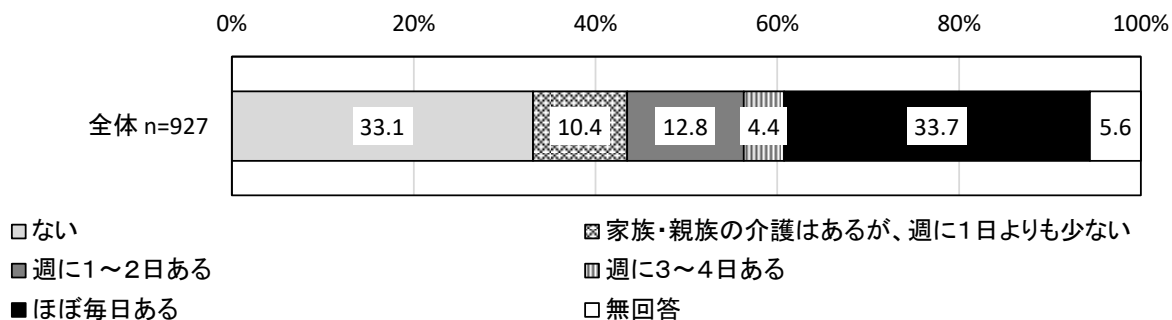
問 13 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（回答は1つ）

「利用している」の割合が 13.9%、「利用していない」の割合が 80.3%となっています。



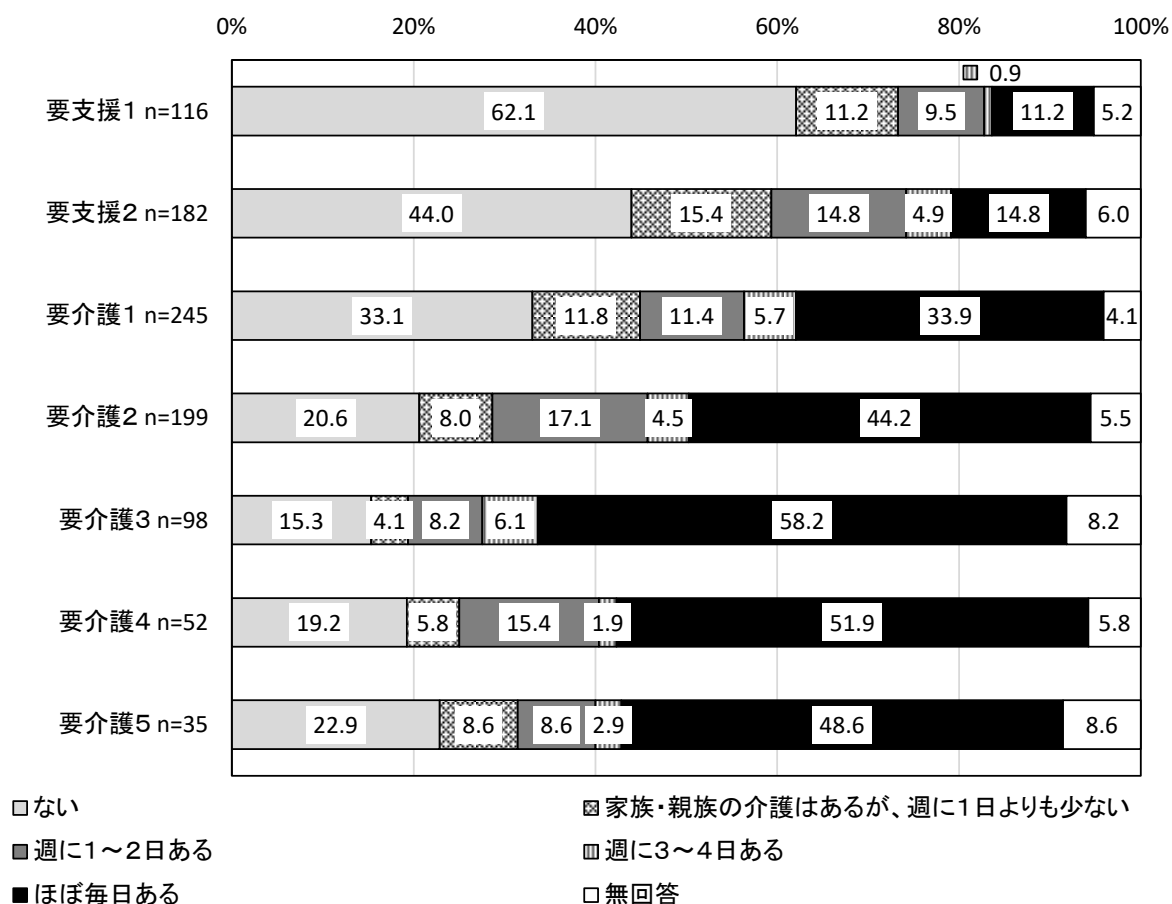
問 14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（回答は1つ）

「ほぼ毎日ある」の割合が33.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が33.1%となっています。



■要介護度別

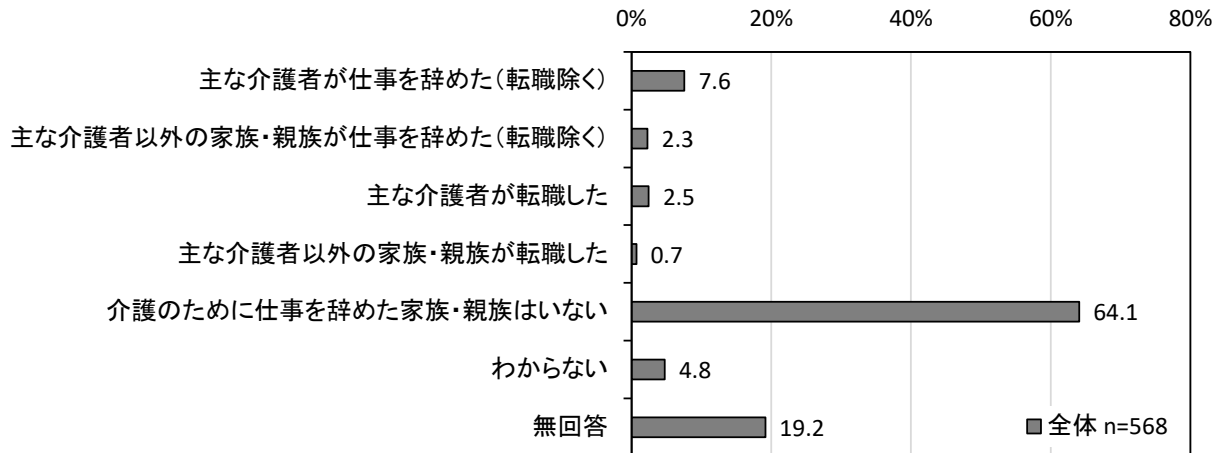
要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれ、家族等の介護の割合が高くなる傾向があります。



3. B票 主な介護者について（国が示した調査項目）

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（あてはまるものすべてに回答）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が64.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が7.6%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要介護3、要介護4で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高く、その他の介護度では1割未満となっています。

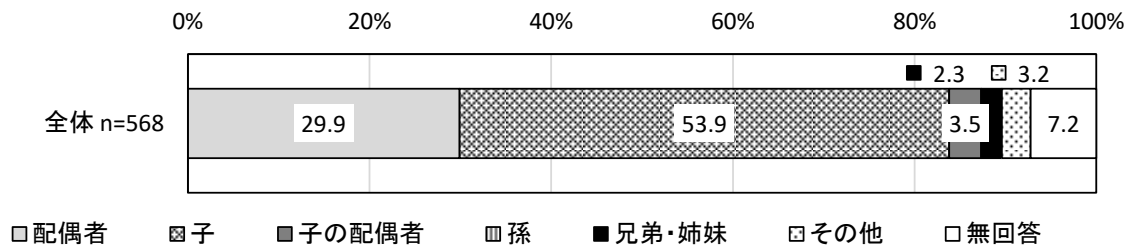
単位: %

区分	回答者数 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・ 親族が転職した	介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない	わからない	無回答
要支援1	38	7.9	0.0	0.0	0.0	<u>60.5</u>	2.6	28.9
要支援2	91	3.3	1.1	2.2	2.2	<u>62.6</u>	7.7	20.9
要介護1	154	8.4	2.6	2.6	0.6	<u>66.9</u>	3.2	16.2
要介護2	147	6.1	0.7	2.7	0.0	<u>68.7</u>	3.4	19.0
要介護3	75	12.0	5.3	4.0	0.0	<u>53.3</u>	6.7	22.7
要介護4	39	10.3	5.1	0.0	0.0	<u>59.0</u>	5.1	20.5
要介護5	24	8.3	4.2	4.2	4.2	<u>70.8</u>	8.3	4.2

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

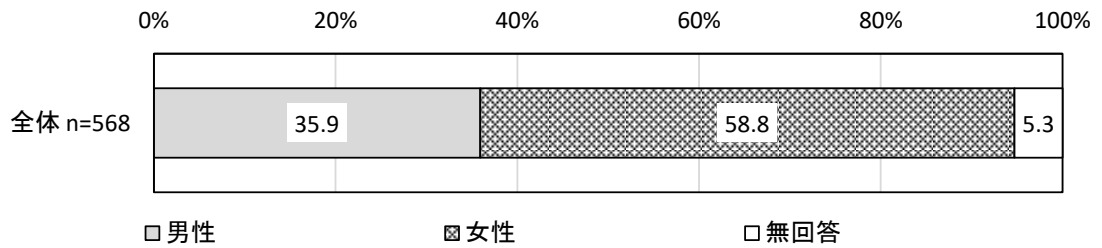
問2 主な介護者は、どなたですか（回答は1つ）

「子」の割合が53.9%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が29.9%となっています。



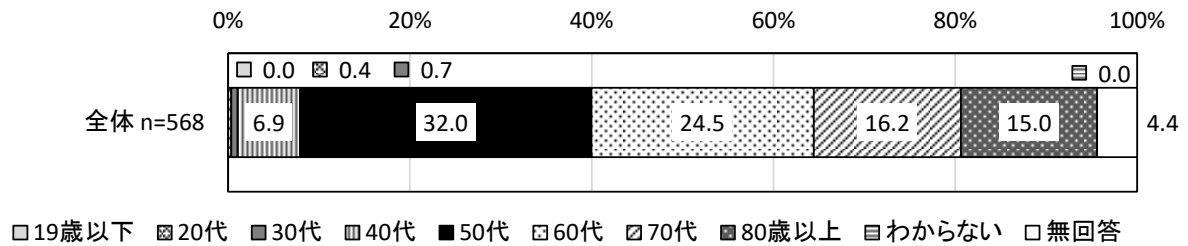
問3 主な介護者の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

「男性」の割合が35.9%、「女性」の割合が58.8%となっています。



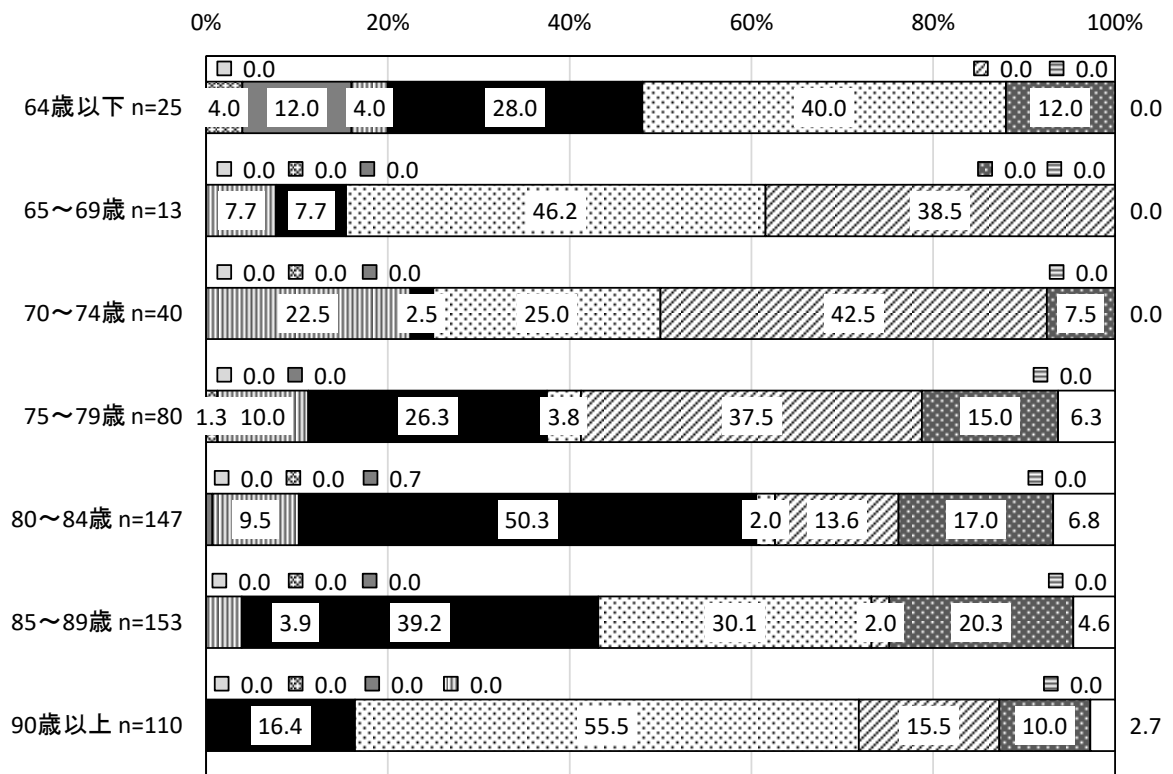
問4 主な介護者の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

「50代」の割合が32.0%と最も高く、次いで「60代」の割合が24.5%、「70代」の割合が16.2%となっています。



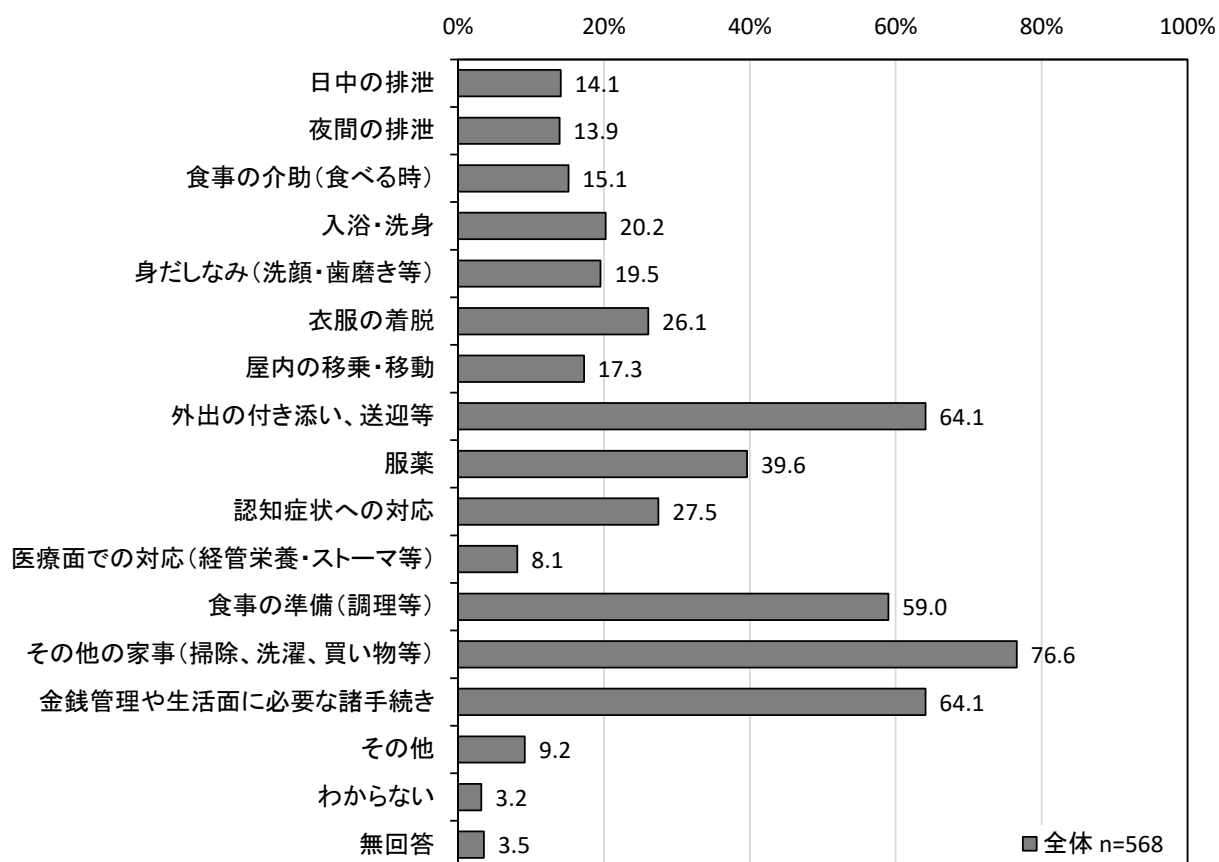
■年齢別

回答者の年齢別で見ると、65～79歳までは夫婦の老老介護が多く、80歳以上は親子の老老介護が多くなっていると考えられます。



問5 現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるものすべてに回答）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 76.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合がそれぞれ 64.1%、「食事の準備（調理等）」の割合が 59.0%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて多くの項目で割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

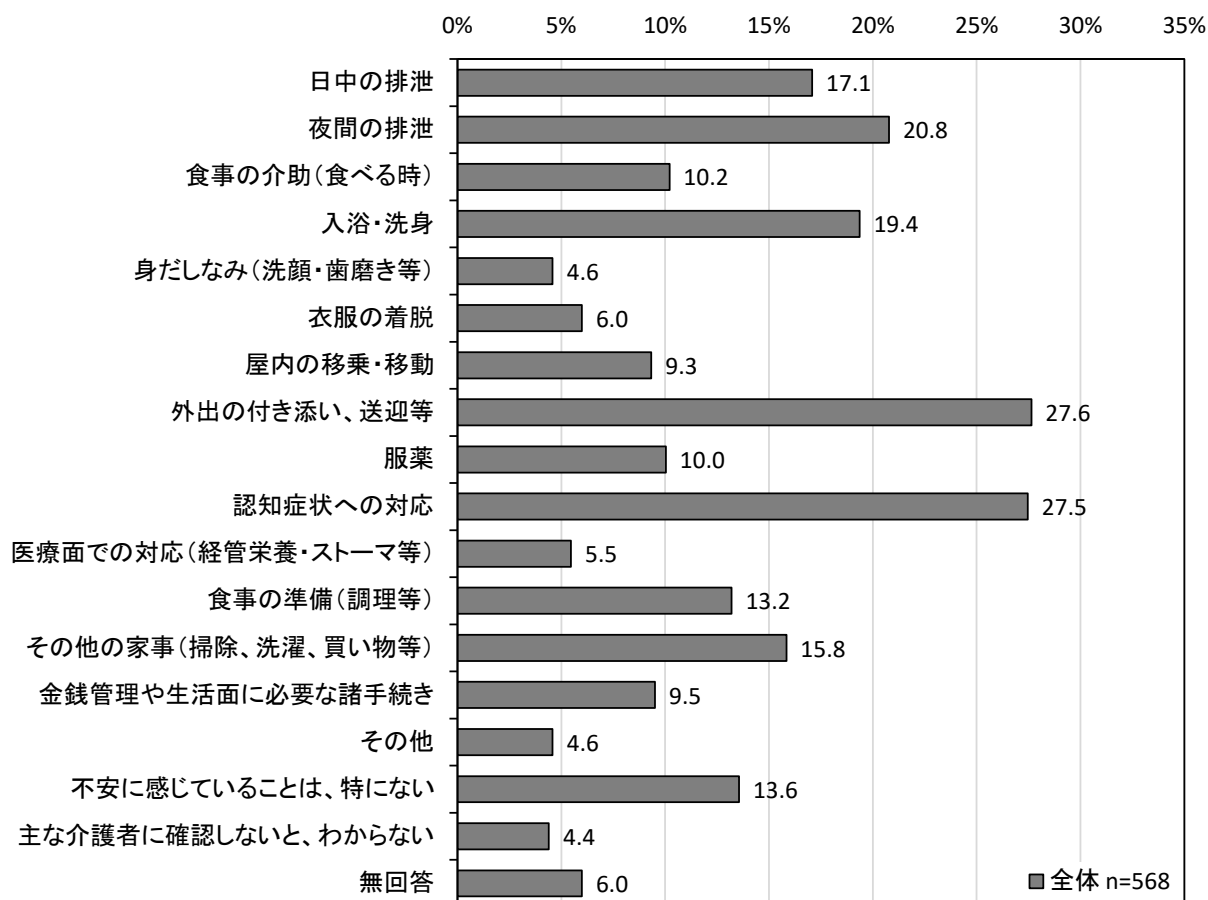
区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援1	38	0.0	2.6	7.9	2.6	0.0	2.6	2.6	52.6	7.9
要支援2	91	1.1	0.0	5.5	4.4	2.2	2.2	1.1	51.6	4.4
要介護1	154	3.2	4.5	8.4	16.9	9.1	7.8	9.1	67.5	34.4
要介護2	147	10.2	10.9	10.2	27.2	19.0	27.2	16.3	64.6	48.3
要介護3	75	33.3	33.3	32.0	37.3	44.0	61.3	32.0	77.3	62.7
要介護4	39	46.2	41.0	38.5	25.6	51.3	79.5	56.4	66.7	76.9
要介護5	24	66.7	58.3	45.8	25.0	58.3	66.7	50.0	58.3	70.8

区分	回答者数 (件)	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
要支援1	38	7.9	2.6	39.5	<u>63.2</u>	42.1	15.8	2.6	5.3
要支援2	91	2.2	2.2	41.8	<u>68.1</u>	30.8	8.8	2.2	8.8
要介護1	154	28.6	7.1	53.2	<u>72.1</u>	62.3	11.0	3.9	3.9
要介護2	147	29.9	7.5	64.6	<u>81.6</u>	75.5	10.2	2.0	2.0
要介護3	75	45.3	10.7	82.7	<u>85.3</u>	84.0	1.3	6.7	0.0
要介護4	39	51.3	15.4	71.8	<u>89.7</u>	79.5	5.1	0.0	0.0
要介護5	24	37.5	29.2	62.5	<u>79.2</u>	<u>79.2</u>	12.5	4.2	4.2

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（回答は3つまで）

「外出の付き添い、送迎等」の割合が27.6%と最も高く、次いで「認知症状への対応」の割合が27.5%、「夜間の排泄」の割合が20.8%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要支援者で「外出の付き添い、送迎等」の割合が高くなっています。また、要介護者で「夜間の排泄」「認知症状への対応」の割合が高くなっています。

単位：%

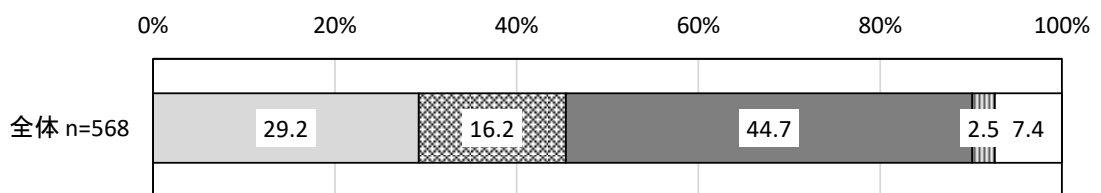
区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要支援1	38	10.5	15.8	2.6	13.2	2.6	2.6	15.8	34.2	0.0
要支援2	91	11.0	9.9	6.6	11.0	2.2	3.3	5.5	33.0	3.3
要介護1	154	13.6	16.9	10.4	20.8	3.9	3.2	9.1	23.4	13.6
要介護2	147	16.3	19.7	10.9	23.1	4.8	4.8	8.2	32.7	12.2
要介護3	75	29.3	40.0	13.3	25.3	10.7	10.7	9.3	22.7	13.3
要介護4	39	23.1	25.6	5.1	15.4	2.6	20.5	12.8	25.6	10.3
要介護5	24	29.2	33.3	29.2	16.7	4.2	8.3	16.7	12.5	4.2

区分	回答者数（件）	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	食事の準備（調理等）	除、洗濯、買い物（掃除等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることとは、特にない	主な介護者に確認しない	無回答
要支援1	38	13.2	7.9	10.5	28.9	13.2	10.5	15.8	2.6	10.5
要支援2	91	9.9	5.5	18.7	26.4	8.8	2.2	25.3	8.8	11.0
要介護1	154	31.2	6.5	15.6	14.9	11.7	3.9	12.3	5.8	6.5
要介護2	147	34.7	6.8	15.0	13.6	9.5	6.1	10.2	3.4	3.4
要介護3	75	34.7	0.0	5.3	12.0	6.7	2.7	6.7	1.3	2.7
要介護4	39	30.8	2.6	7.7	5.1	7.7	2.6	15.4	2.6	2.6
要介護5	24	20.8	8.3	4.2	4.2	4.2	8.3	12.5	0.0	8.3

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

問7 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください（回答は1つ）

「働いていない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が29.2%、「パートタイムで働いている」の割合が16.2%となっています。

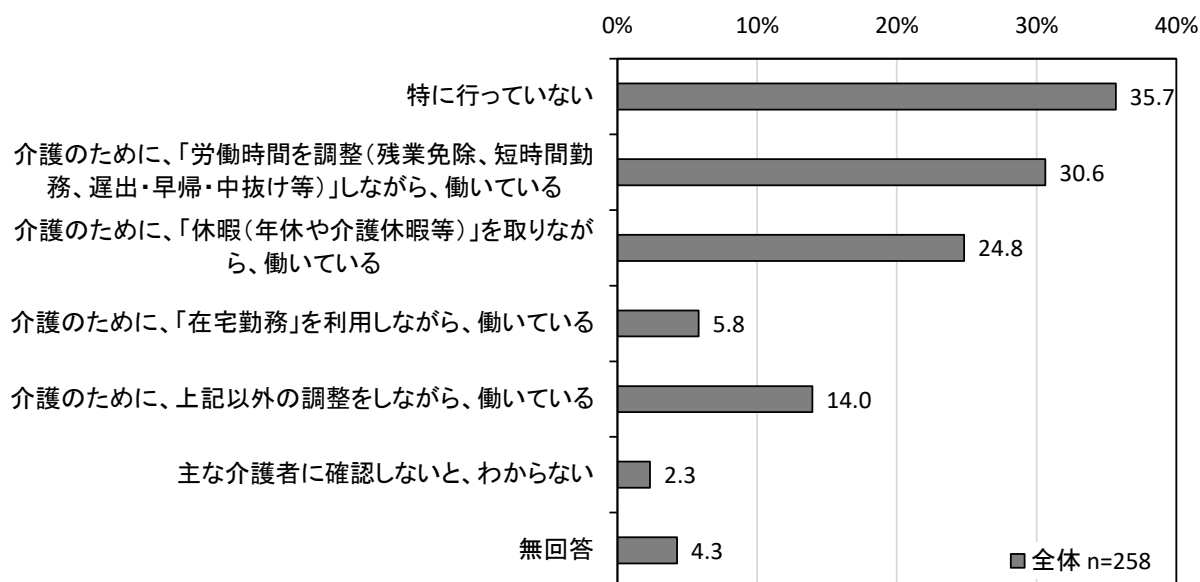


- フルタイムで働いている
- パートタイムで働いている
- 働いていない
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の人のみ】

問8 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
（あてはまるものすべてに回答）

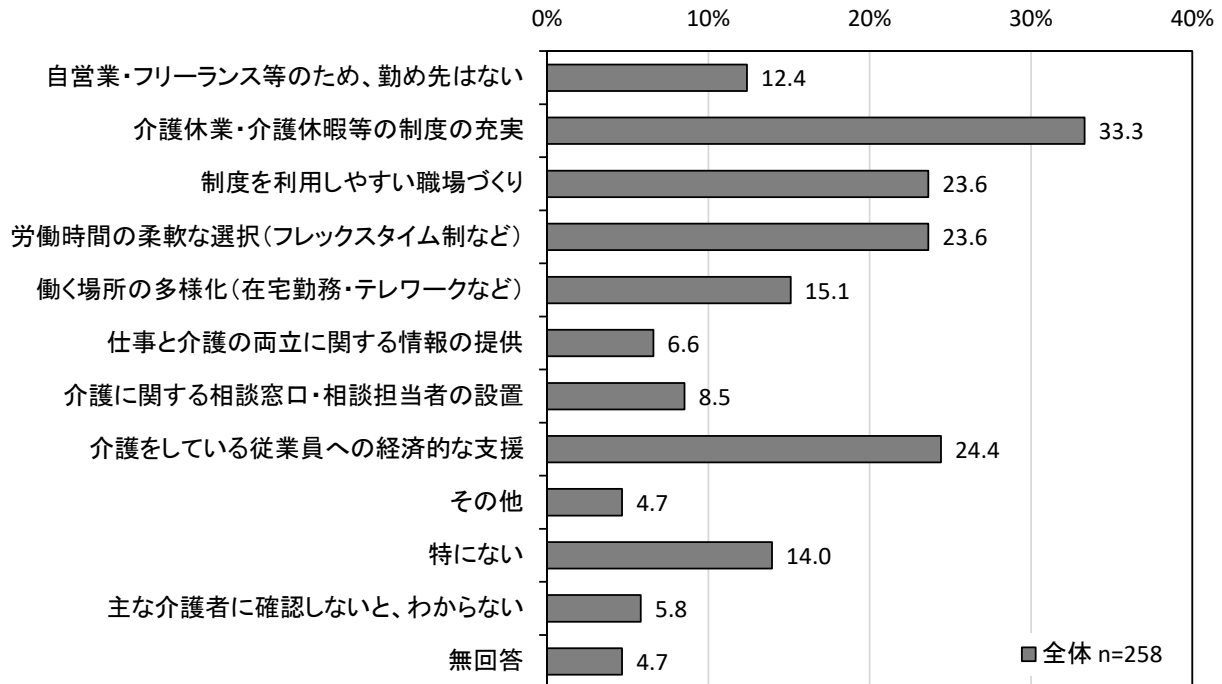
「特に行っていない」の割合が35.7%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」の割合が30.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が24.8%となっています。



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の人のみ】

問9 主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（回答は3つまで）

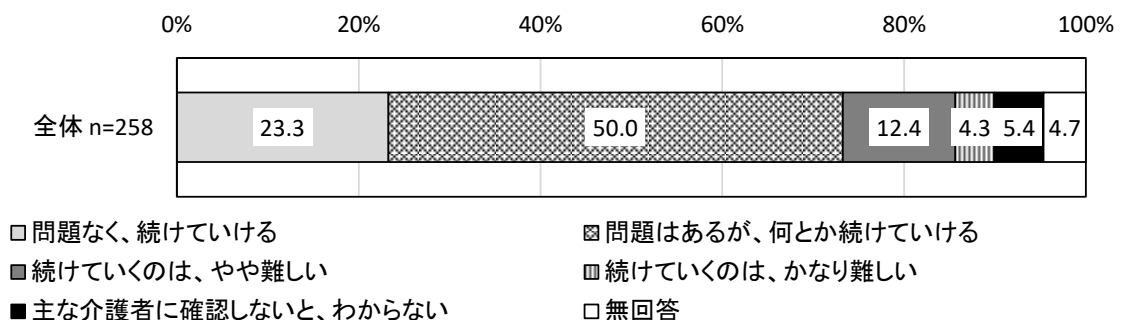
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が33.3%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が24.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合がそれぞれ23.6%となっています。



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の人のみ】

問10 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（回答は1つ）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が50.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が23.3%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が12.4%となっています。

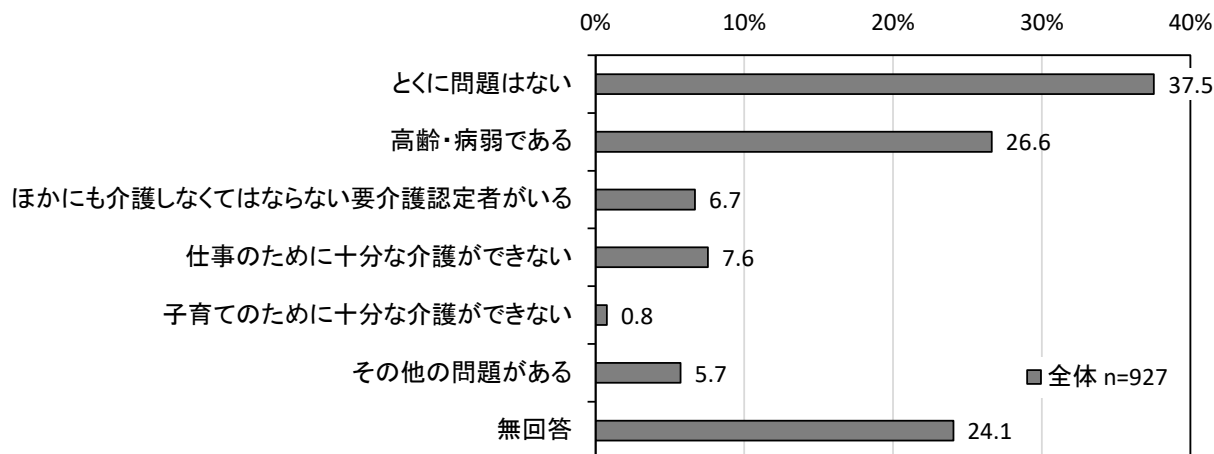


4. 要介護認定者個別調査票（市の独自調査項目）

（1）あなた（要介護認定者ご本人）ご自身のことについて

問1 主な介護者の状況についてお答えください（あてはまるものすべてに回答）

「とくに問題はない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「高齢・病弱である」の割合が26.6%となっています。



■要介護度別

要介護度別でみると、要介護者で「高齢・病弱である」の割合が高くなっています。

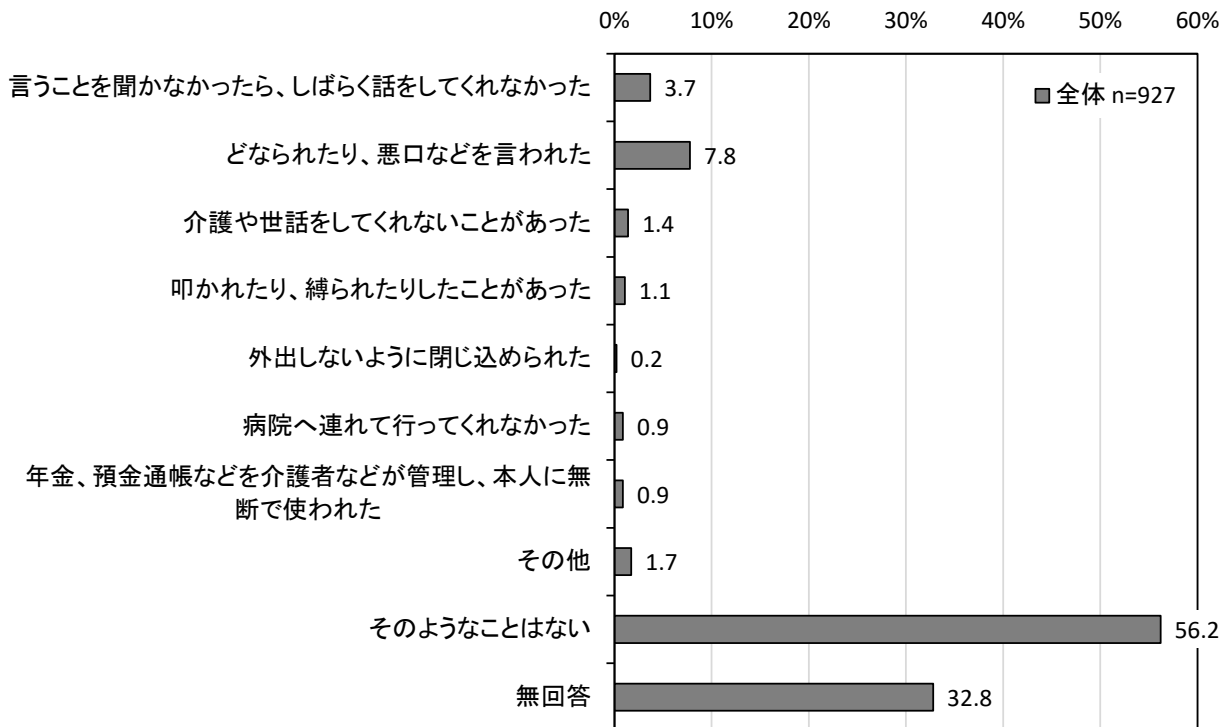
単位：%

区分	回答者数（件）	とくに問題はない	高齢・病弱である	ほかにも介護しなくてはならない要介護認定者がいる	仕事のために十分な介護ができない	子育てのために十分な介護ができない	その他の問題がある	無回答
要支援1	116	<u>39.7</u>	13.8	6.0	1.7	0.0	2.6	43.1
要支援2	182	<u>40.1</u>	17.6	3.3	4.9	0.5	3.3	36.8
要介護1	245	<u>42.0</u>	25.3	9.8	8.6	0.4	6.9	17.1
要介護2	199	32.7	<u>38.2</u>	9.5	9.0	1.5	7.5	15.1
要介護3	98	<u>34.7</u>	<u>34.7</u>	2.0	10.2	0.0	5.1	16.3
要介護4	52	<u>34.6</u>	25.0	3.8	11.5	1.9	9.6	21.2
要介護5	35	25.7	<u>40.0</u>	5.7	11.4	2.9	5.7	20.0

※下線は、各区分（要介護度）において最も割合が高いものです。

**問2 あなたは、介護者などから、次のような行為を受けたことがありますか
（あてはまるものすべてに回答）**

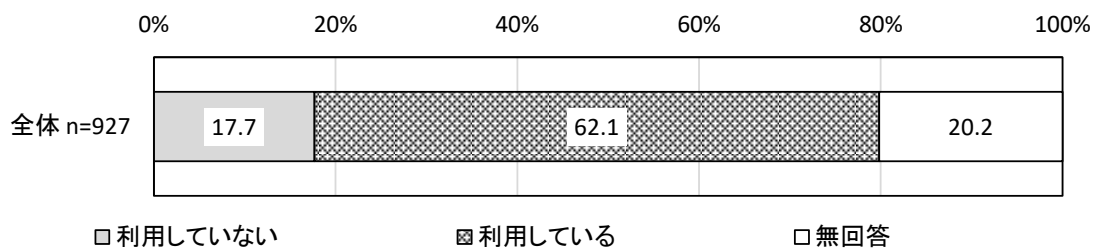
「そのようなことはない」の割合が56.2%と最も高くなっています。



(2) サービスの利用の有無について

問3 あなたは、介護サービスを利用していますか（回答は1つ）

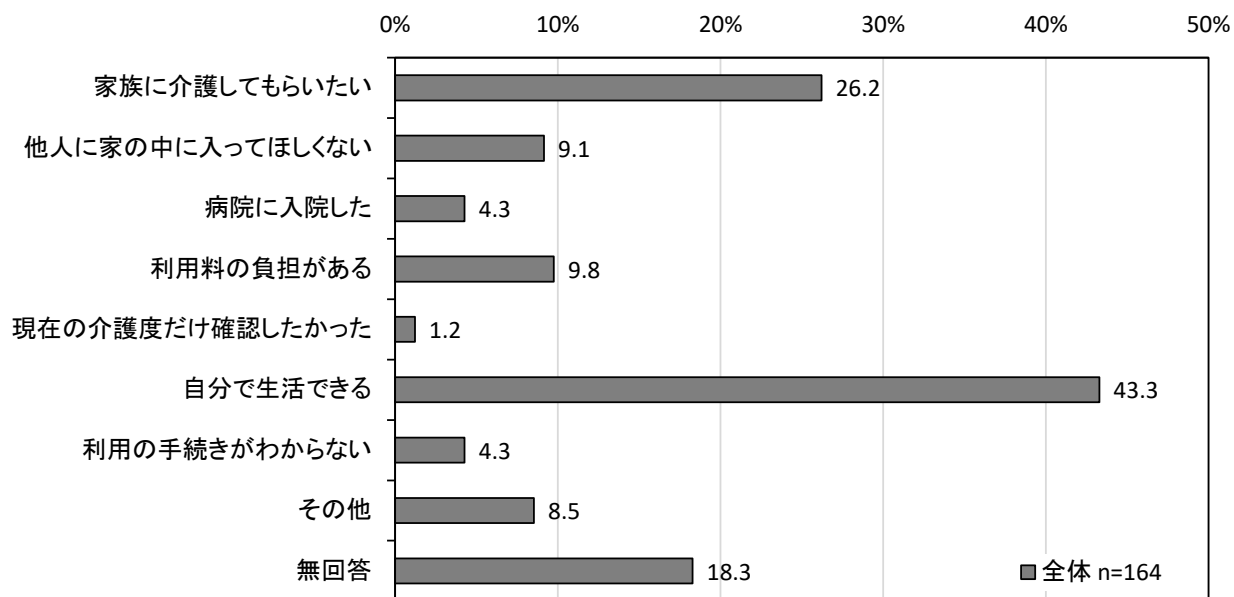
「利用している」の割合が62.1%、「利用していない」の割合が17.7%となっています。



【問3で「利用していない」の人のみ】

問4 介護サービスを利用していない理由をお聞かせください（あてはまるものすべてに回答）

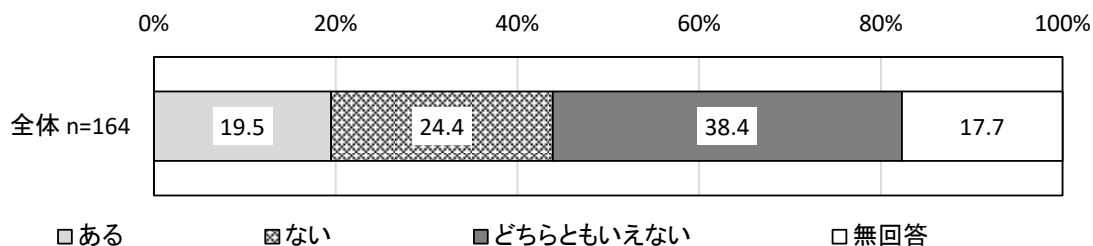
「自分で生活できる」の割合が43.3%と最も高く、次いで「家族に介護してもらいたい」の割合が26.2%、「利用料の負担がある」の割合が9.8%となっています。



【問3で「利用していない」の人のみ】

問5 介護保険サービスを利用すると、利用料の1割から3割は自己負担となります。あなたは、近い将来、介護サービスを利用する予定はありますか（回答は1つ）

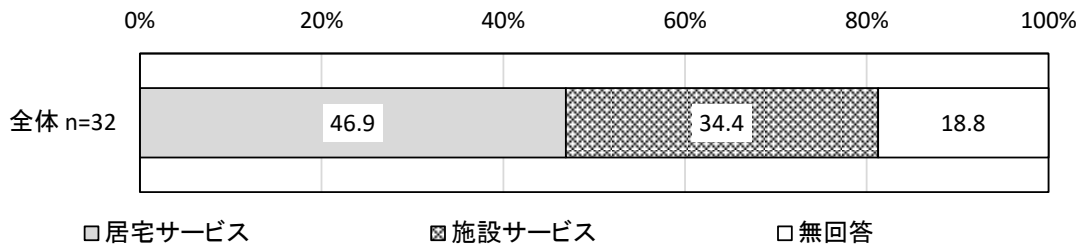
「どちらともいえない」の割合が38.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が24.4%、「ある」の割合が19.5%となっています。



【問5で「ある」の人のみ】

問5-1 どのようなサービスを利用する予定ですか（回答は1つ）

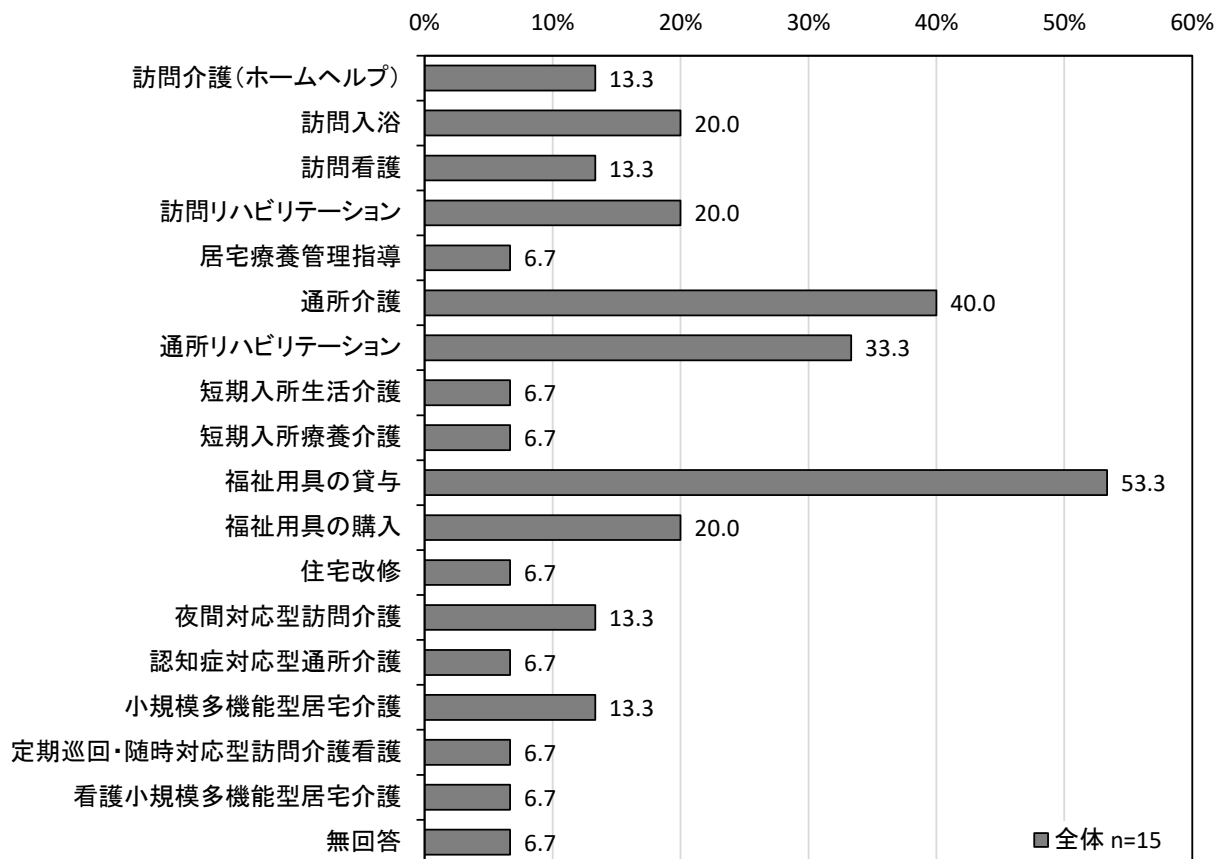
「居宅サービス」の割合が46.9%、「施設サービス」の割合が34.4%となっています。



【問5-1で「居宅サービス」の人のみ】

問5-2 どのようなサービスを利用する予定ですか（あてはまるものすべてに回答）

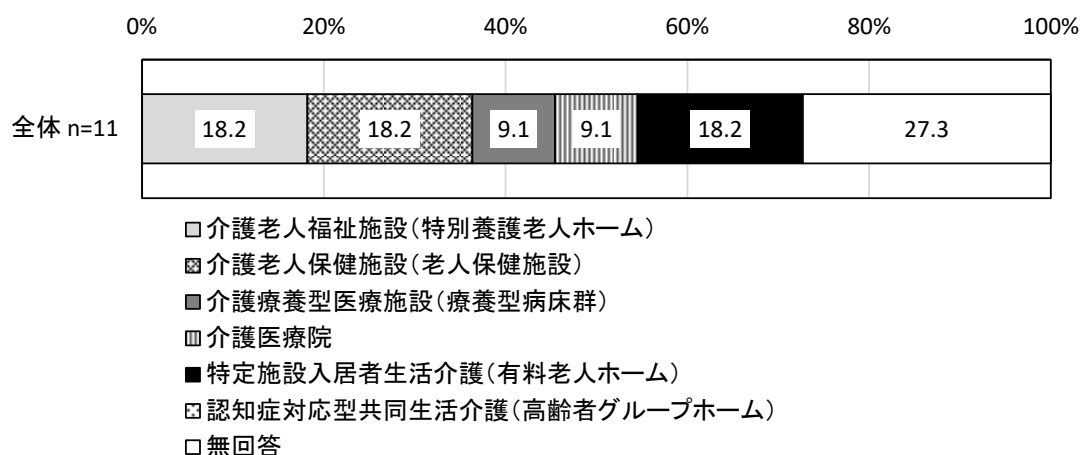
「福祉用具の貸与」の割合が53.3%と最も高く、次いで「通所介護」の割合が40.0%、「通所リハビリテーション」の割合が33.3%となっています。



【問5-1で「施設サービス」の人のみ】

問5-3 どのようなサービスを利用する予定ですか（回答は1つ）

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設（老人保健施設）」「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）」の割合がそれぞれ 18.2%と最も高くなっています。

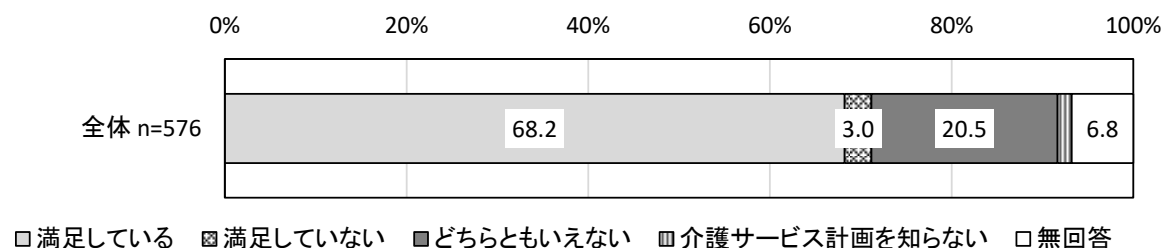


(3) サービスの満足度について

※問3で「利用している」と回答した人におうかがいします

問6 あなたは、介護サービス計画（ケアプラン）に満足していますか（回答は1つ）

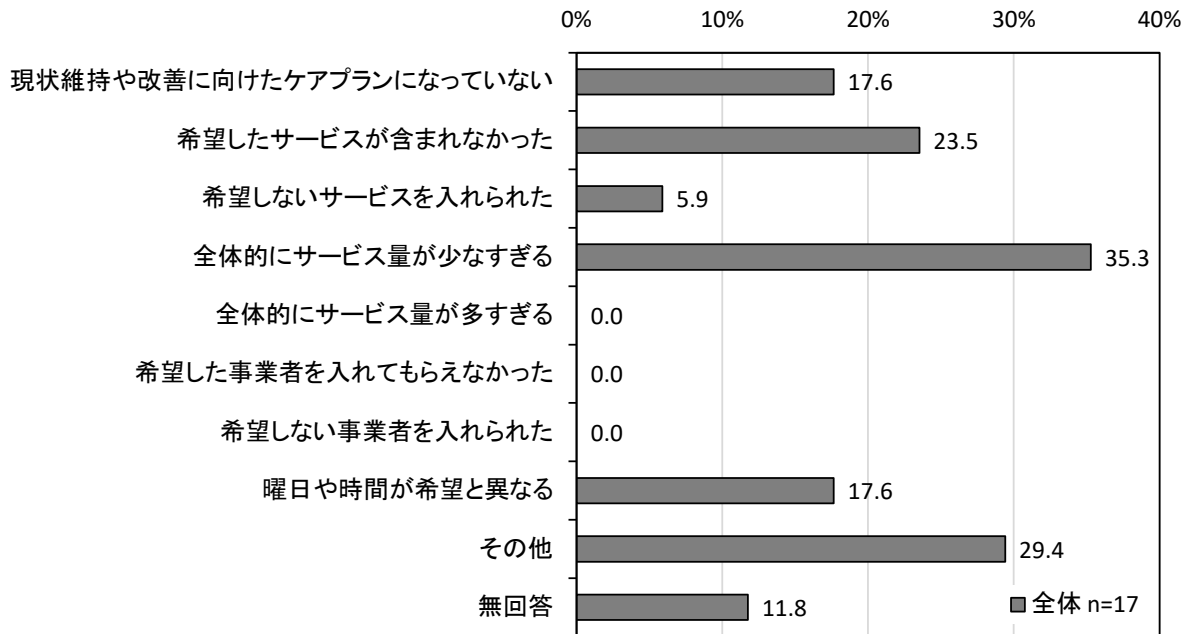
「満足している」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 20.5%となっています。



【問6で「満足していない」の人のみ】

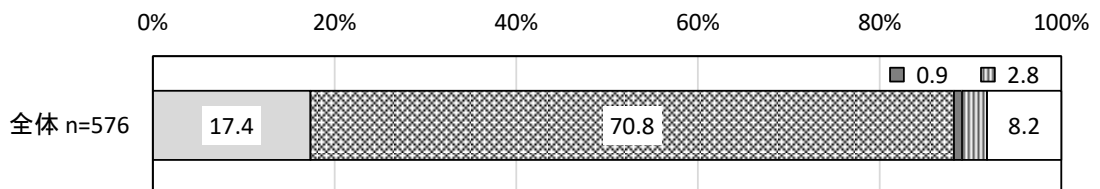
問6-1 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか（あてはまるものすべてに回答）

「全体的にサービス量が少なすぎる」の割合が35.3%と最も高くなっています。



問7 介護サービス計画（ケアプラン）を作成しているのは、だれですか（回答は1つ）

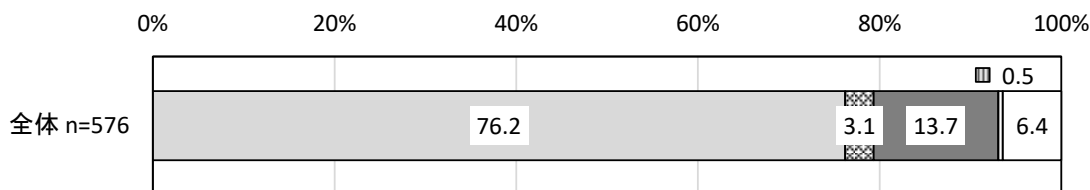
「介護サービス事業者のケアマネジャー」の割合が70.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センターの職員」の割合が17.4%となっています。



□ 地域包括支援センターの職員 ■ 介護サービス事業者のケアマネジャー ■ その他 ▨ わからない □ 無回答

問8 あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括支援センターの職員に満足していますか（回答は1つ）

「満足している」の割合が76.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が13.7%となっています。

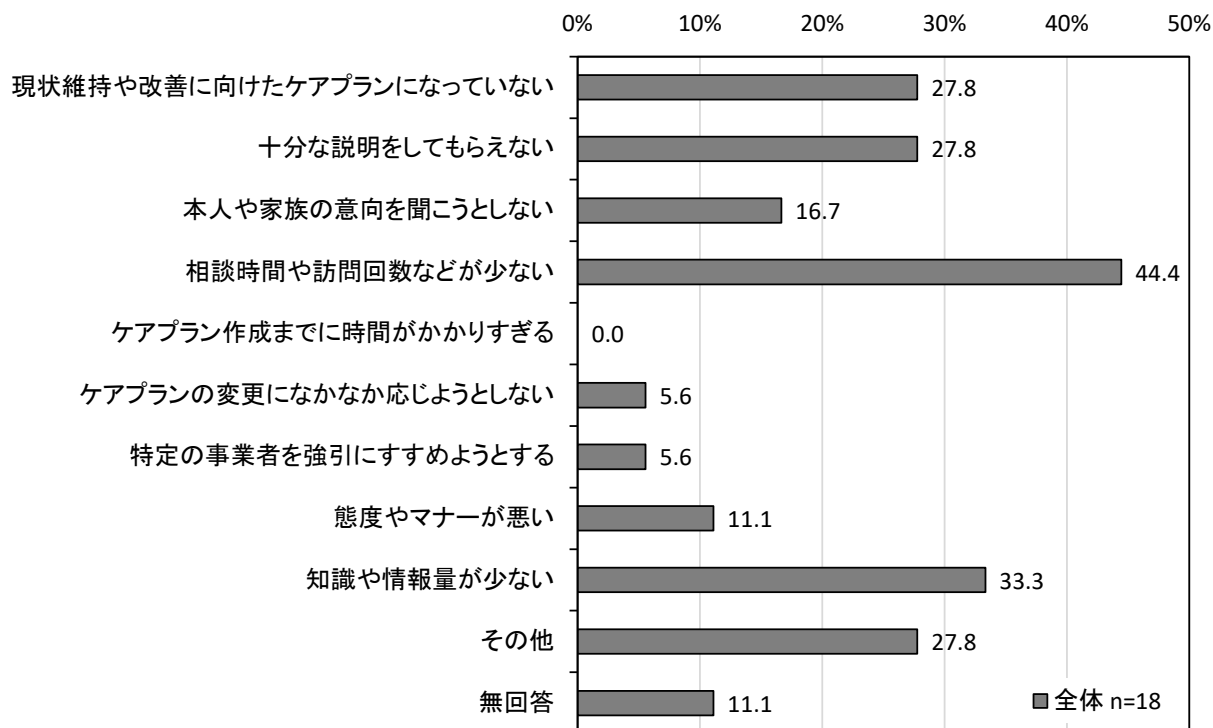


□ 満足している ▨ 満足していない ■ どちらともいえない ▩ 介護支援専門員等を決めていない □ 無回答

【問8で「満足していない」の人のみ】

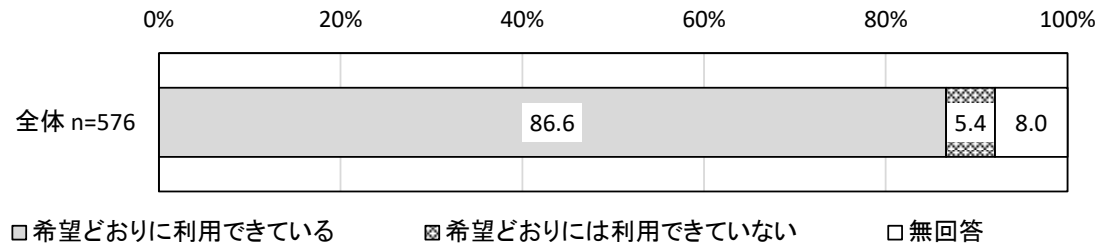
問8-1 あなたが不満に思われている点は、どのようなことですか（あてはまるものすべてに回答）

「相談時間や訪問回数などが少ない」の割合が44.4%と最も高く、次いで「知識や情報量が少ない」の割合が33.3%、「現状維持や改善に向けたケアプランになっていない」「十分な説明をしてもらえない」の割合が27.8%となっています。



問9 あなたは、希望どおりのサービスを利用できていますか（回答は1つ）

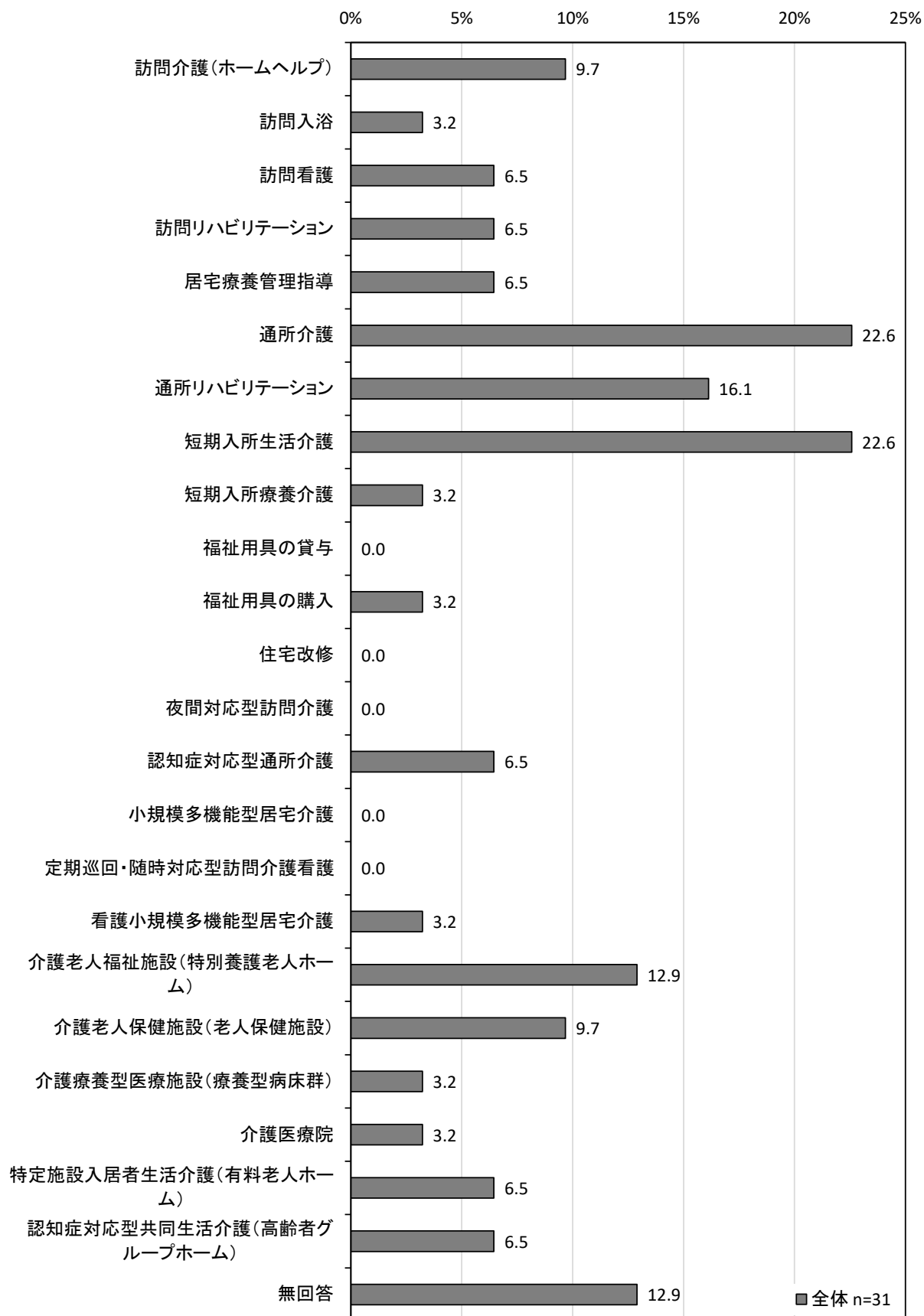
「希望どおりに利用できている」の割合が 86.6%、「希望どおりには利用できていない」の割合が 5.4%となっています。



【問9で「希望どおりには利用できていない」の人のみ】

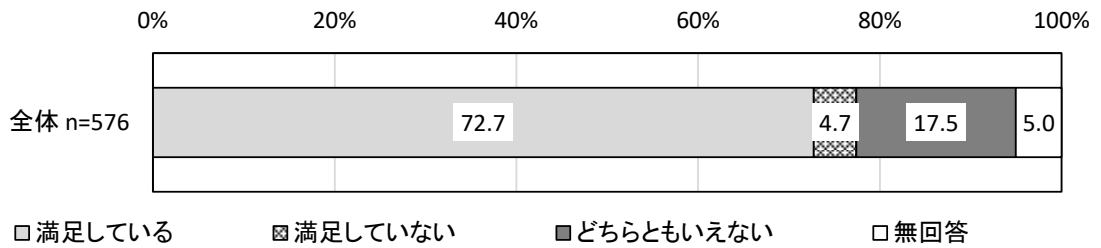
問9-1 希望したけれど利用できなかったサービスは何ですか（あてはまるものすべてに回答）

「通所介護」「短期入所生活介護」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション」の割合が 16.1%、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が 12.9%となっています。



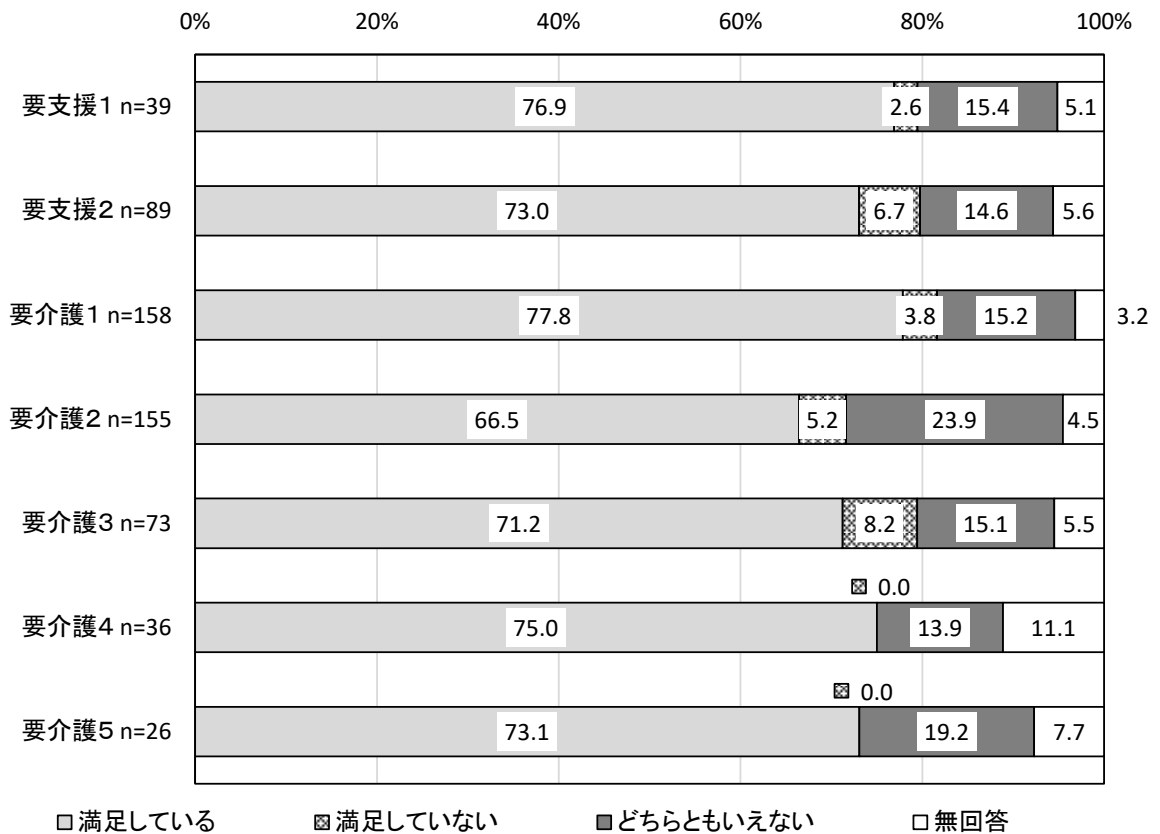
問 10 あなたは、提供を受けているサービスに満足していますか（回答は1つ）

「満足している」の割合が72.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が17.5%となっています。



■要介護度別

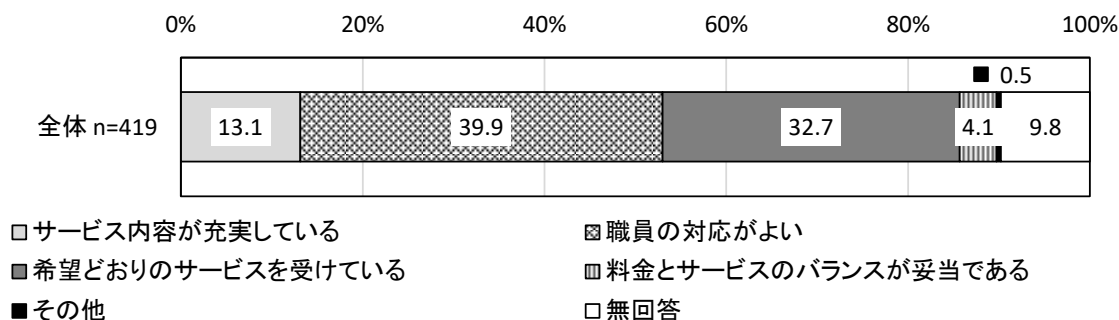
要介護度別でみると、他と比べ、要介護3で「満足していない」の割合が高くなっています。



【問 10で「満足している」の人のみ】

問 10-1 あなたが満足に思われる点は、どのようなことですか（回答は1つ）

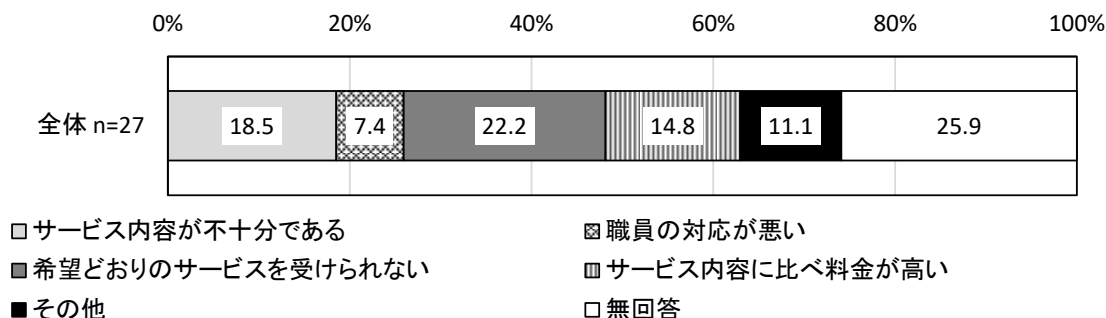
「職員の対応がよい」の割合が39.9%と最も高く、次いで「希望どおりのサービスを受けている」の割合が32.7%、「サービス内容が充実している」の割合が13.1%となっています。



【問 10で「満足していない」の人のみ】

問 10-2 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか（回答は1つ）

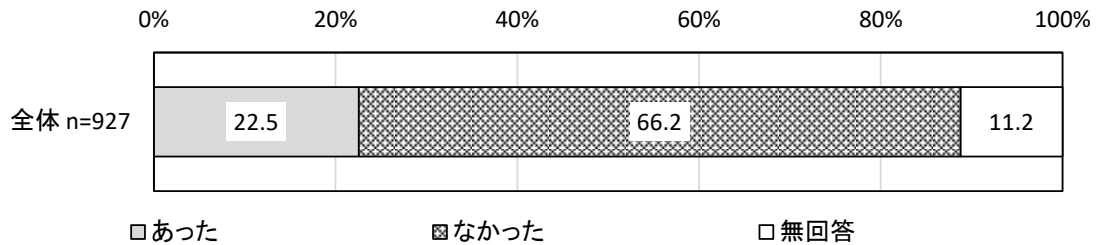
「希望どおりのサービスを受けられない」の割合が22.2%と最も高く、次いで「サービス内容が不十分である」の割合が18.5%となっています。



（４）新型コロナウイルスの感染拡大について

問 11 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの変化はありましたか
（回答は1つ）

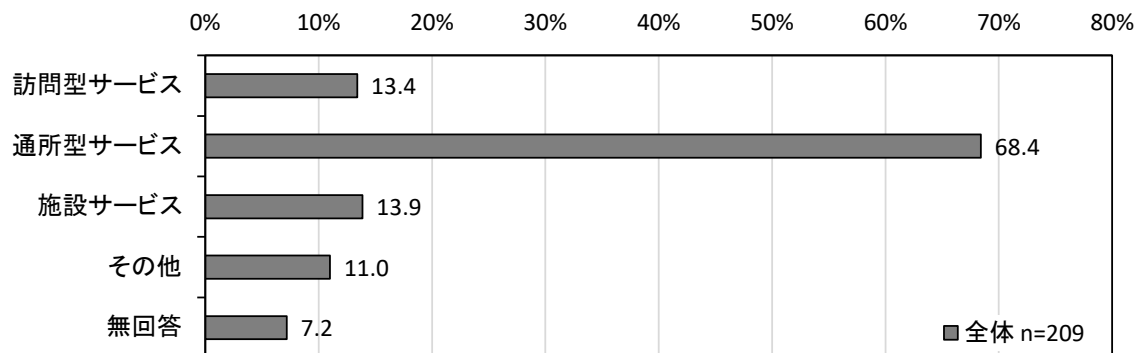
「あった」の割合が22.5%、「なかった」の割合が66.2%となっています。



【問 11 で「あった」の方のみ】

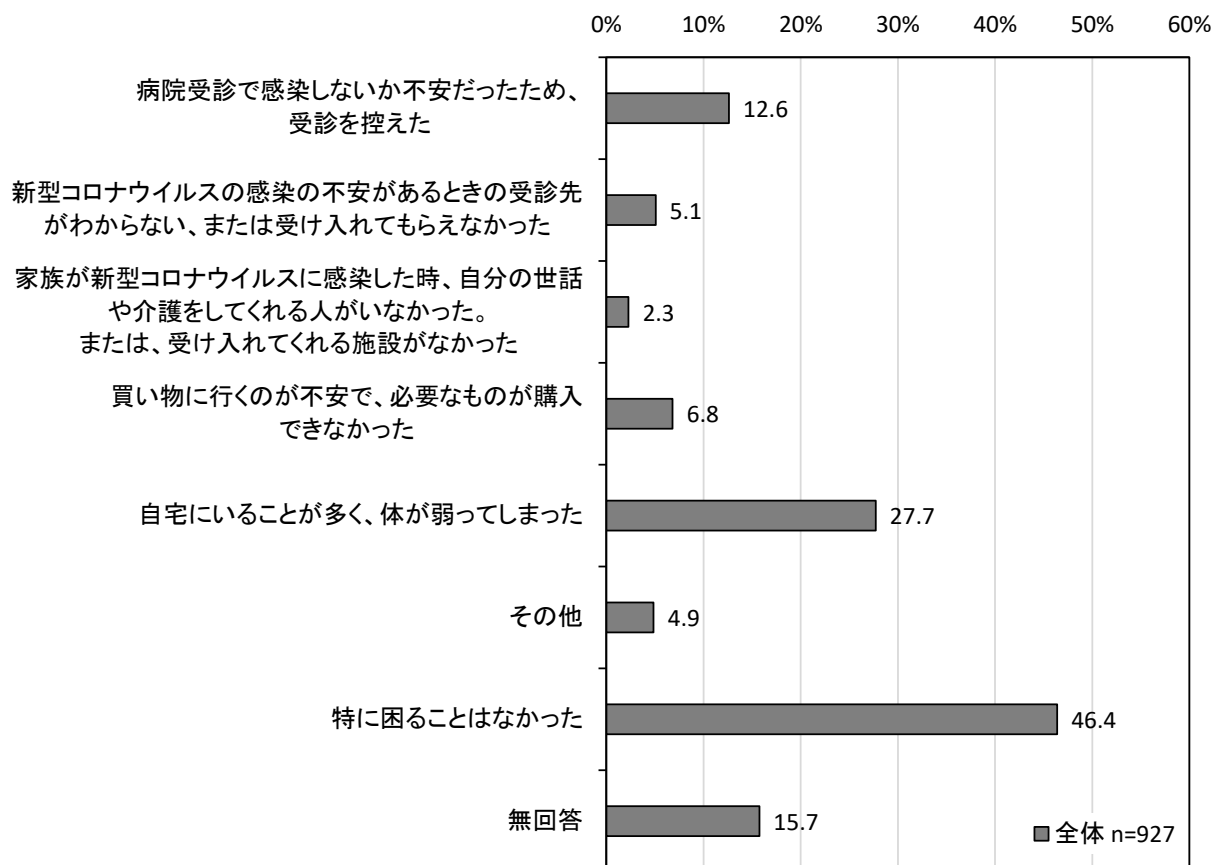
問 11-1 利用を控えたサービスは具体的にどんなものですか（あてはまるものすべてに回答）

「通所型サービス」の割合が68.4%と最も高く、次いで「施設サービス」の割合が13.9%、「訪問型サービス」の割合が13.4%となっています。



問 12 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で何か困ったことはありましたか（あてはまるものすべてに回答）

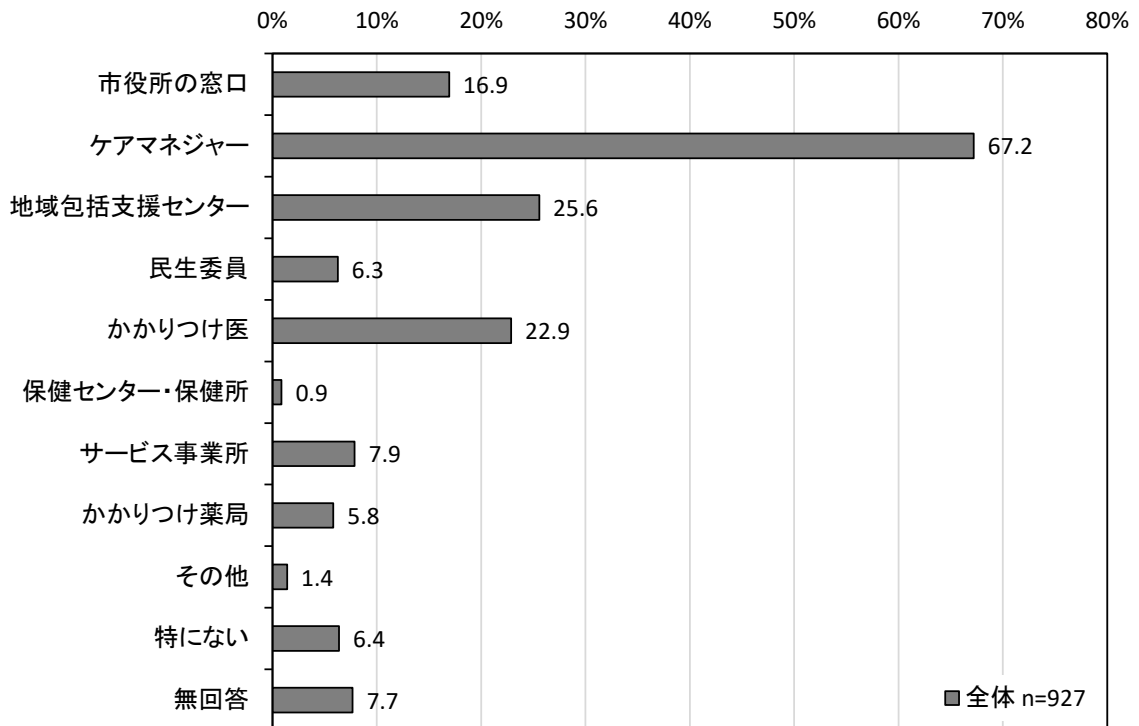
「特に困ることはなかった」の割合が46.4%と最も高く、次いで「自宅にいることが多く、体が弱ってしまった」の割合が27.7%、「病院受診で感染しないか不安だったため、受診を控えた」の割合が12.6%となっています。



(5) サービス全般について

問 13 介護保険制度をはじめとする、各種高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところを教えてください（あてはまるものすべてに回答）

「ケアマネジャー」の割合が67.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が25.6%、「かかりつけ医」の割合が22.9%となっています。



問 14 あなたは、次の制度やサービスを利用したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

①緊急通報システムでは、「知らない」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 35.8%となっています。

②日常生活用具の給付では、「知らない」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 22.1%となっています。

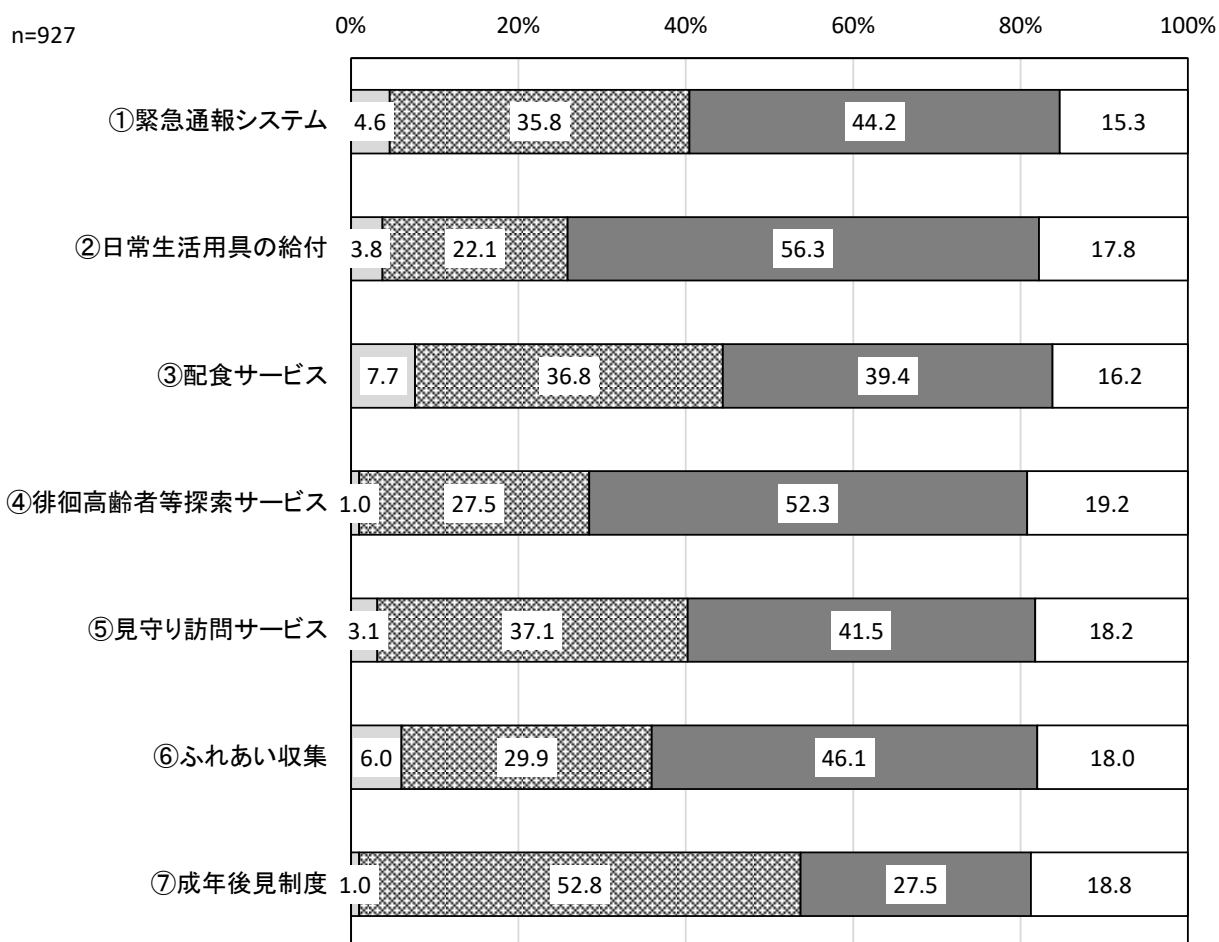
③配食サービスでは、「知らない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 36.8%となっています。

④徘徊高齢者等探索サービスでは、「知らない」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 27.5%となっています。

⑤見守り訪問サービスでは、「知らない」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 37.1%となっています。

⑥ふれあい収集では、「知らない」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「知っているが利用したことはない」の割合が 29.9%となっています。

⑦成年後見制度では、「知っているが利用したことはない」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 27.5%となっています。



□現在利用している、利用したことがある ▨知っているが利用したことはない ■知らない □無回答

問 15 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思いますか（それぞれ回答は1つ）

①緊急通報システムでは、「利用したい」の割合が35.2%、「利用する予定はない」の割合が42.8%となっています。

②日常生活用具の給付では、「利用したい」の割合が24.9%、「利用する予定はない」の割合が47.8%となっています。

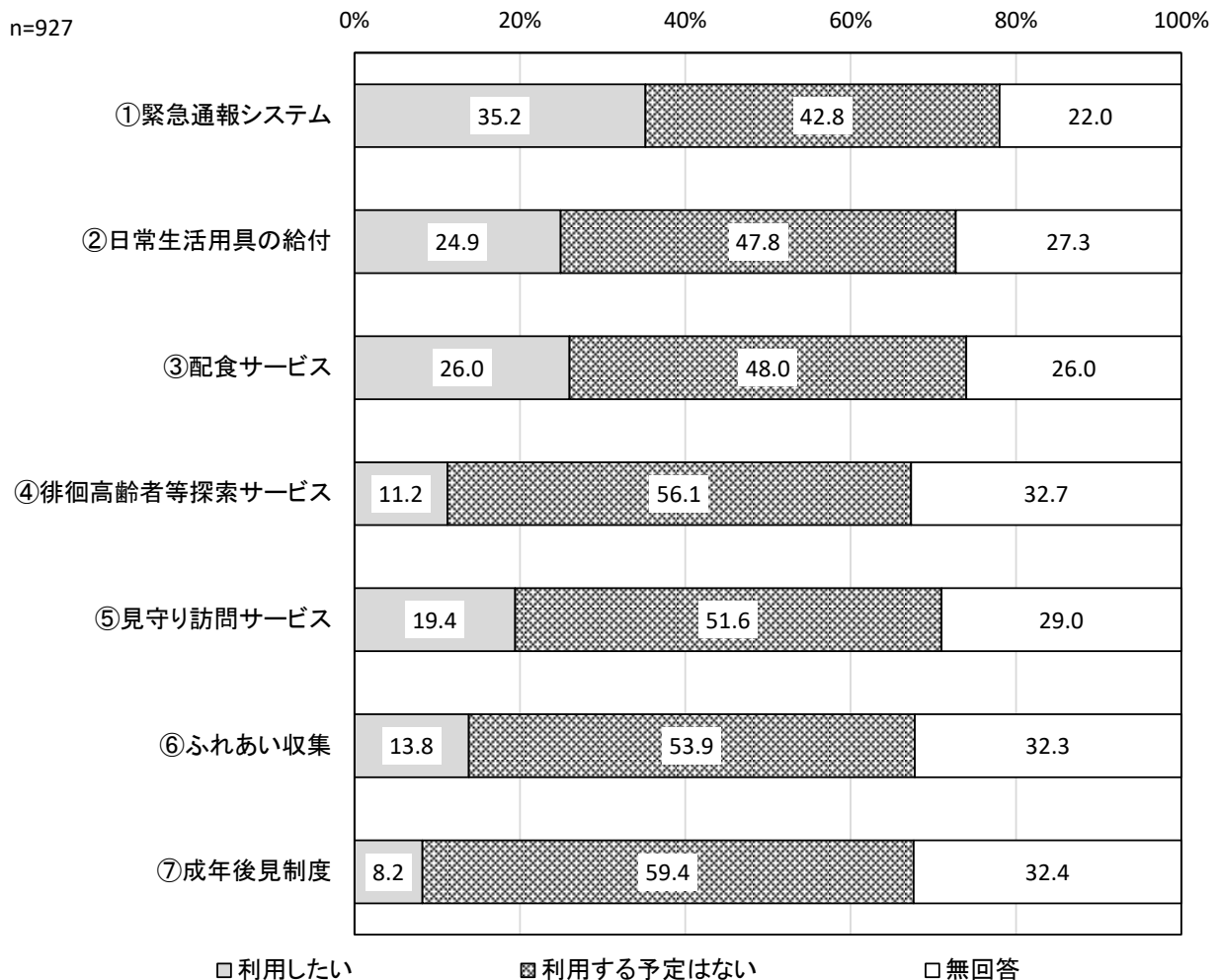
③配食サービスでは、「利用したい」の割合が26.0%、「利用する予定はない」の割合が48.0%となっています。

④徘徊高齢者等探索サービスでは、「利用したい」の割合が11.2%、「利用する予定はない」の割合が56.1%となっています。

⑤見守り訪問サービスでは、「利用したい」の割合が19.4%、「利用する予定はない」の割合が51.6%となっています。

⑥ふれあい収集では、「利用したい」の割合が13.8%、「利用する予定はない」の割合が53.9%となっています。

⑦成年後見制度では、「利用したい」の割合が8.2%、「利用する予定はない」の割合が59.4%となっています。



V 調査結果（事業所調査）

V 調査結果（事業所調査）

1. 調査結果の概要

（1）介護サービスの利用状況について

- 事業所としての需要（利用希望者）と供給（提供できるサービス量）のバランスについて、居宅介護支援事業所、施設・居住系サービスでは「需要が供給をやや上回る」と回答している割合が最も高く、在宅サービスでは「需要と供給が均衡」「需要が供給をやや下回る」と回答している割合が最も高くなっています。昨年1年間にサービスの利用希望者を断った経験についても、在宅サービスでは「お断りしたことはない」と回答している割合が高くなっているのに対し、居宅介護支援事業所では「定員がいっぱいだったのでお断りした」と回答している割合が76.5%となっています。（P219、241）

（2）介護人材について

- 事業所における介護人材について、在宅サービス、施設・居住系サービスでは「介護職員」「看護職員」が特に不足している状況がうかがえます。不足している理由としては「採用が困難」と回答している割合が80%以上となっており、その理由としては「他業種に比べて賃金水準が低い」と回答している割合が高くなっています。また、離職率が高い理由としても「他業種に比べて賃金水準が低い」と回答している割合が高くなっており、賃金の一つの課題になっていることがうかがえます。（P222、224～226）
- 介護人材として外国人材の活用を前向きに検討している事業所は市全体で38.8%、元気高齢者（アクティブシニア）の雇用については、「すでに取り組んでいる」と「取組を検討している」を合わせた割合は市全体で49.0%となっています。（P235、239）

（3）新型コロナウイルスの感染拡大がサービス利用に与える影響について

- 事業所における新型コロナウイルスの感染拡大の影響について、利用するサービスの変化や利用に関する相談の有無については、市全体で69.7%が「あった」と回答しています。また、感染対策について現在困っていることについては、「サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい」「感染対策にかかる費用が増加している」「職員によって危機意識に差があり、感染対策の質にばらつきがある」が挙げられています。（P255、256）

2. 在宅生活改善調査（国が示した調査項目）

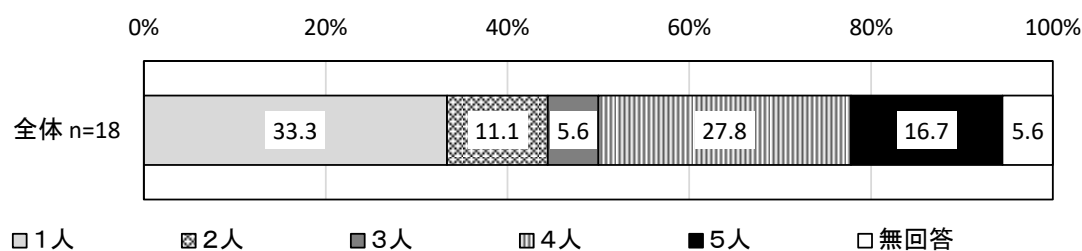
※市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所を対象に調査

（1）事業所について

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

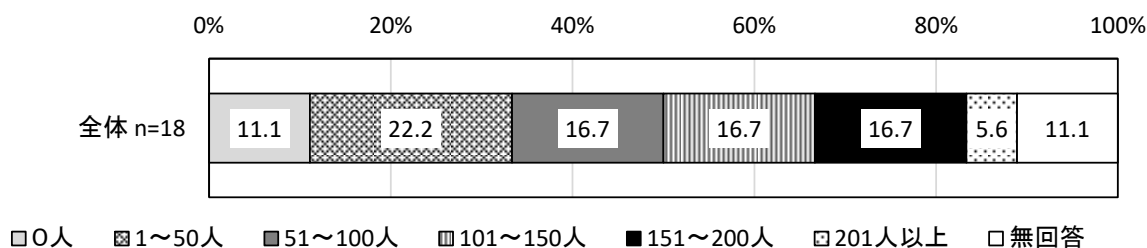
①所属するケアマネジャーの人数

「1人」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4人」の割合が27.8%となっています。



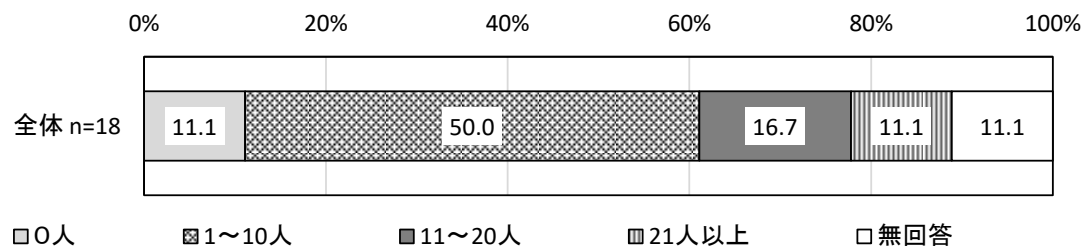
②「自宅等（③を除く）」にお住まいの利用者数

「1～50人」の割合が22.2%と最も高く、次いで「51～100人」「101～150人」「151～200人」の割合がそれぞれ16.7%となっています。



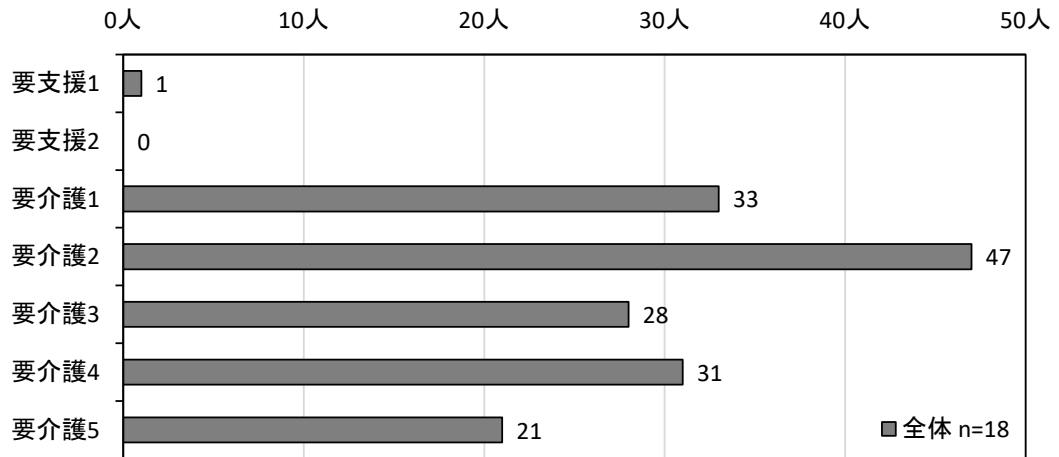
③「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数

「1～10人」の割合が50.0%と最も高く、次いで「11～20人」の割合が16.7%となっています。



問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

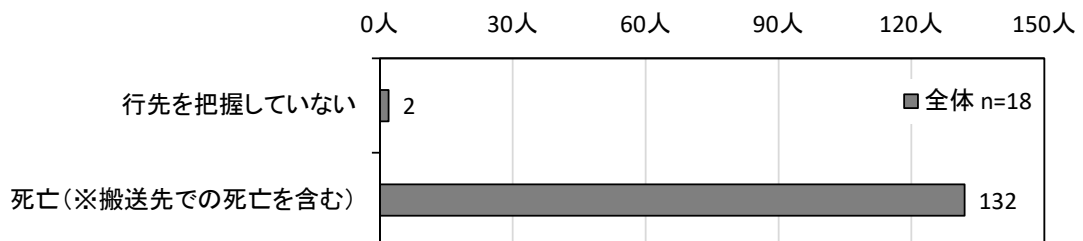
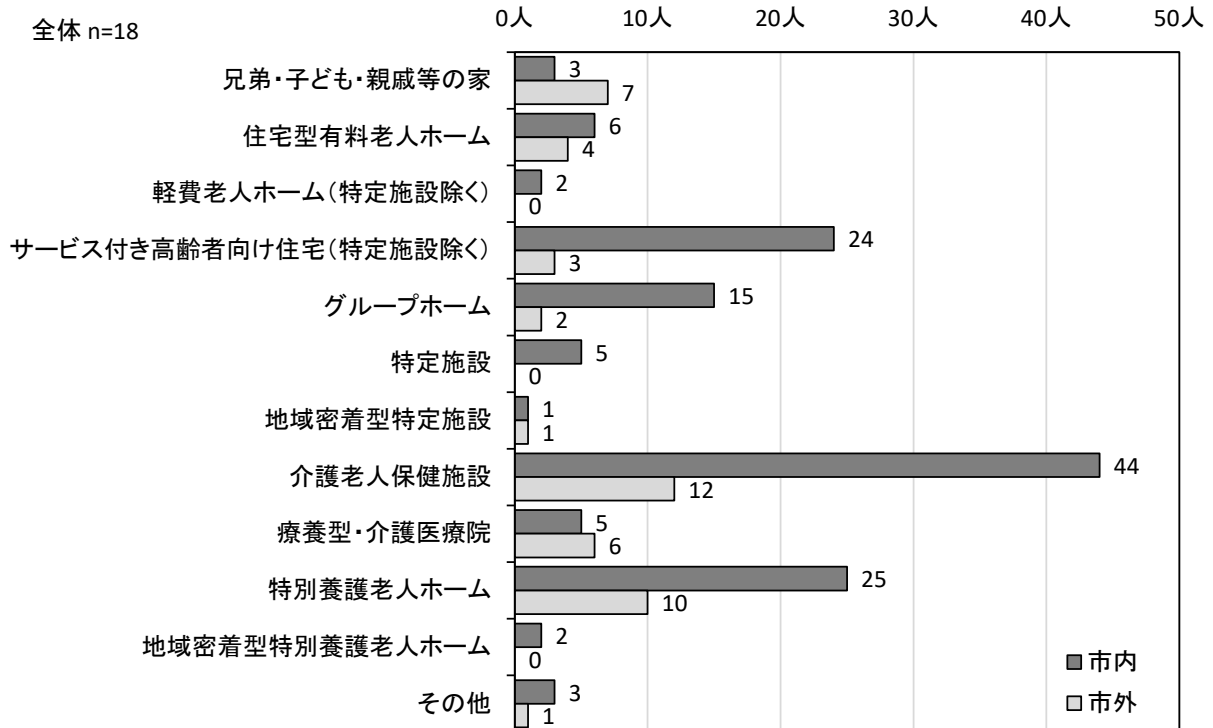
「要介護2」が47人と最も多く、次いで「要介護1」が33人となっています。



問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を行き先別に記入ください。

市内では、「介護老人保健施設」が44人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が25人となっています。また、市外でも、「介護老人保健施設」が12人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が10人となっています。

なお、「行先を把握していない」が2人、「死亡（※搬送先での死亡を含む）」が132人となっています。



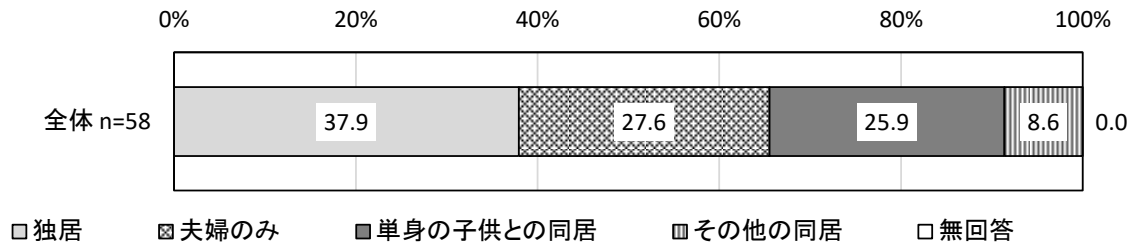
（２）利用者について（利用者票）

※「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」を対象に調査

【１．対象となる利用者の状況等について】

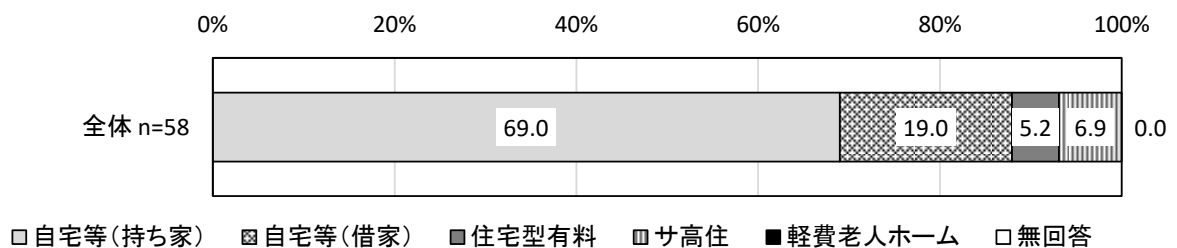
問１-１ 世帯類型（番号１つ選択記入）

「独居」の割合が37.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が27.6%となっています。



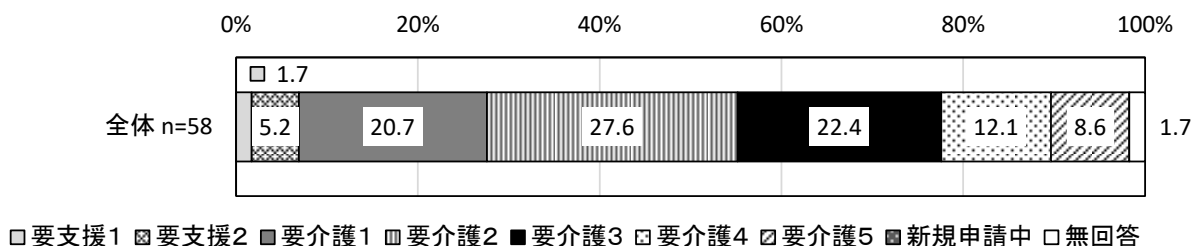
問１-２ 現在の居所（番号１つ選択記入）

「自宅等（持ち家）」の割合が69.0%と最も高く、次いで「自宅等（借家）」の割合が19.0%となっています。



問１-３ 要支援・要介護度（番号１つ選択記入）

「要介護2」の割合が27.6%と最も高く、次いで「要介護3」の割合が22.4%となっています。

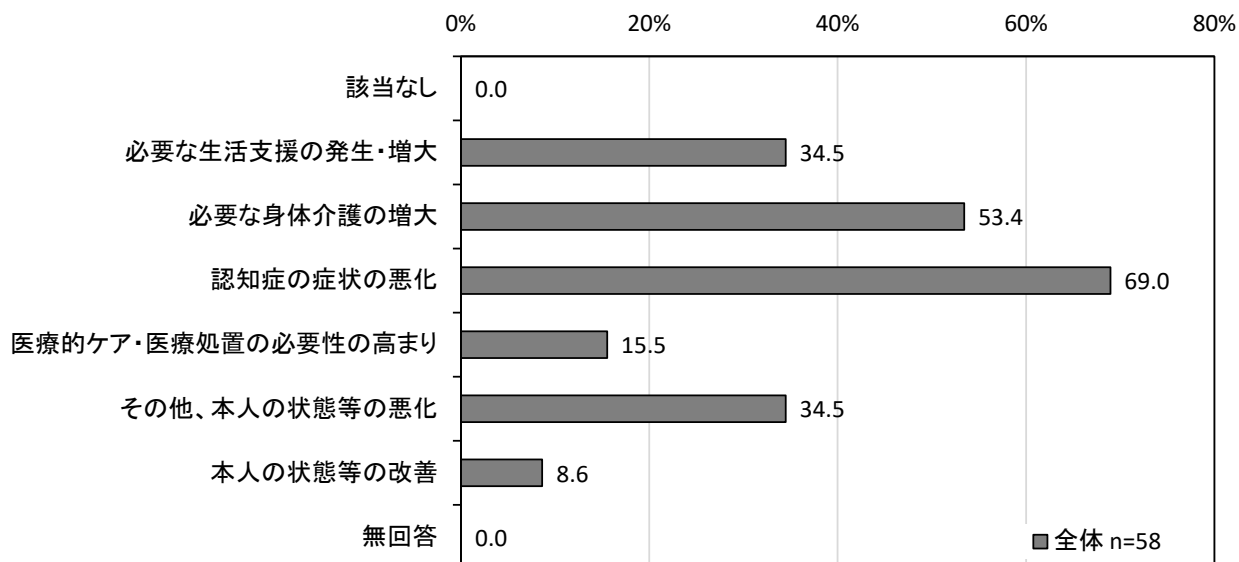


【2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について】

現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください

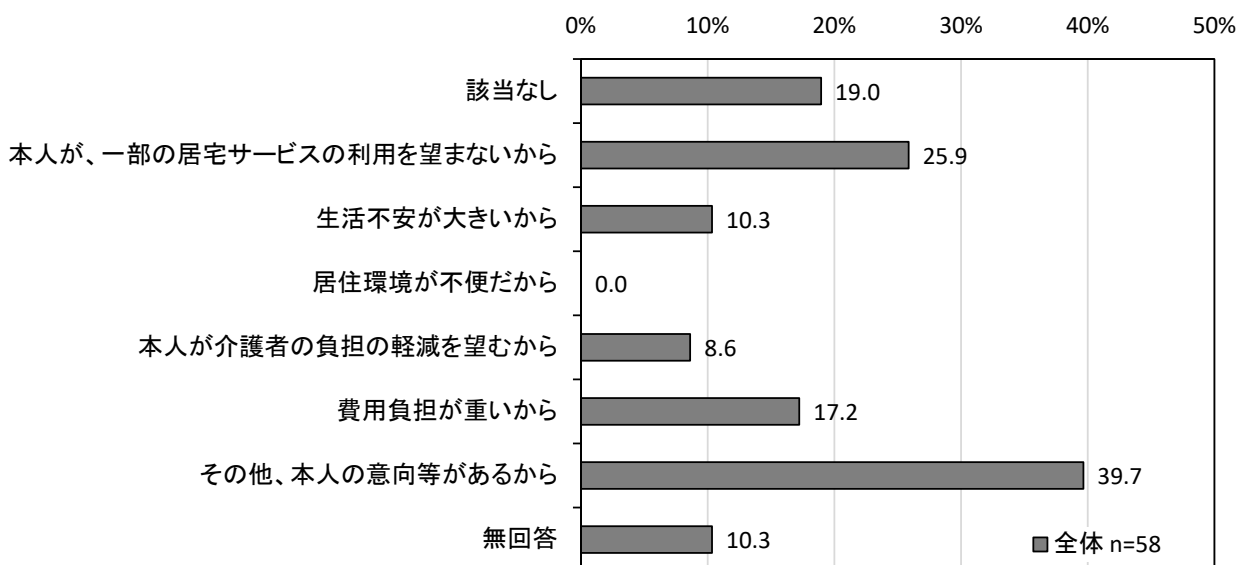
問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

「認知症の症状の悪化」の割合が69.0%と最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」の割合が53.4%となっています。



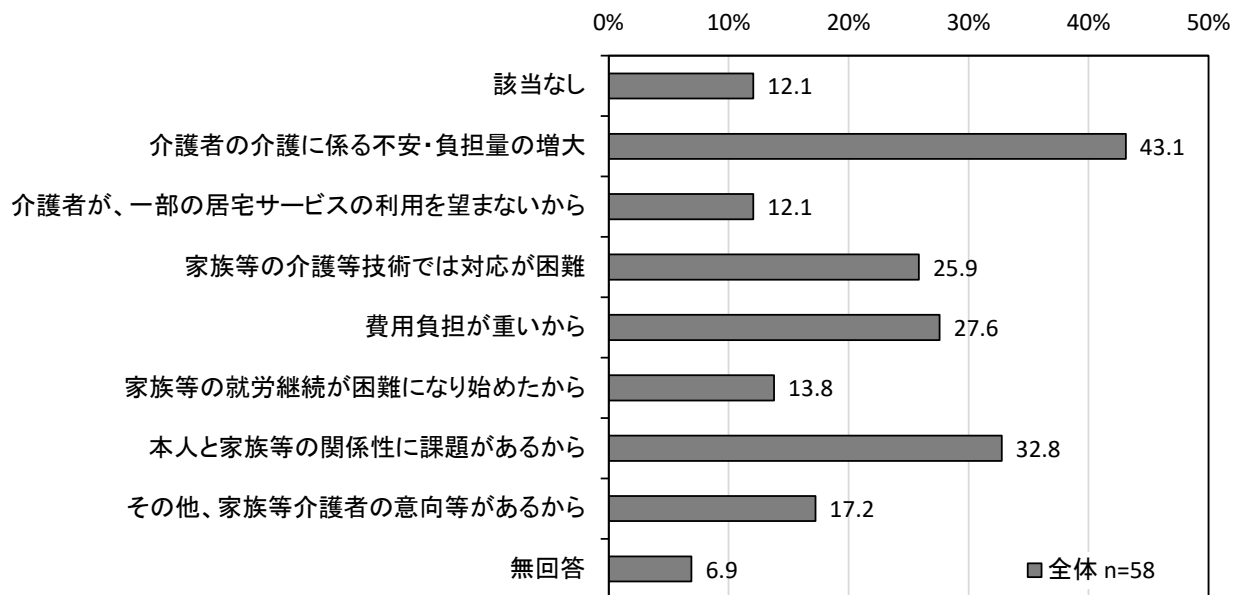
問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

「その他、本人の意向等があるから」の割合が39.7%と最も高く、次いで「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」の割合が25.9%となっています。



**問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください
（あてはまる番号すべて選択記入）**

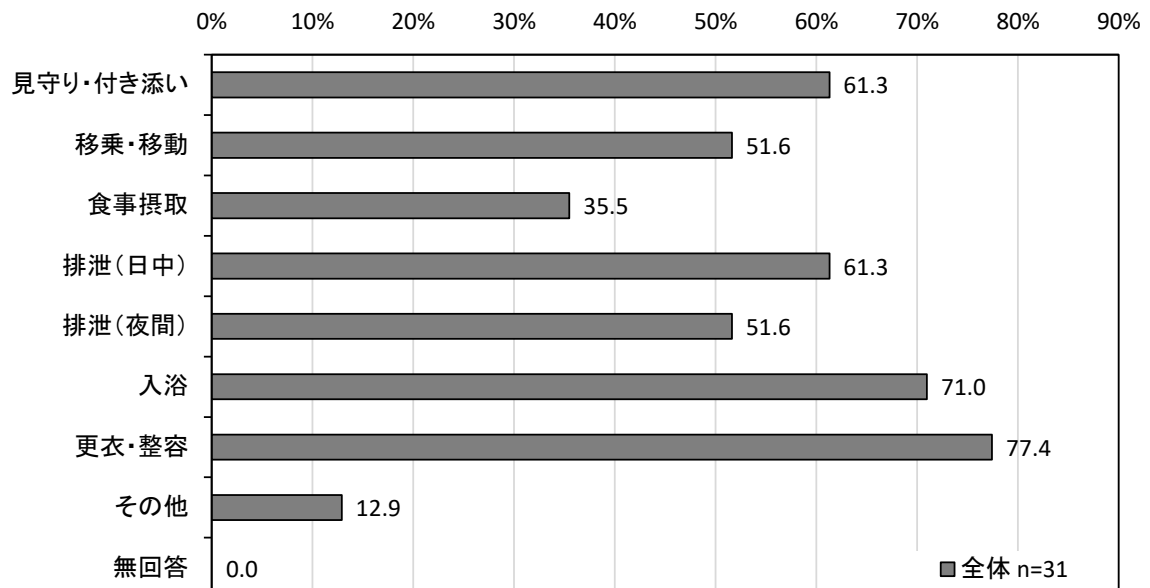
「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」の割合が43.1%と最も高く、次いで「本人と家族等の関係性に課題があるから」の割合が32.8%となっています。



【問2-1で「必要な身体介護の増大」の人のみ】

問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

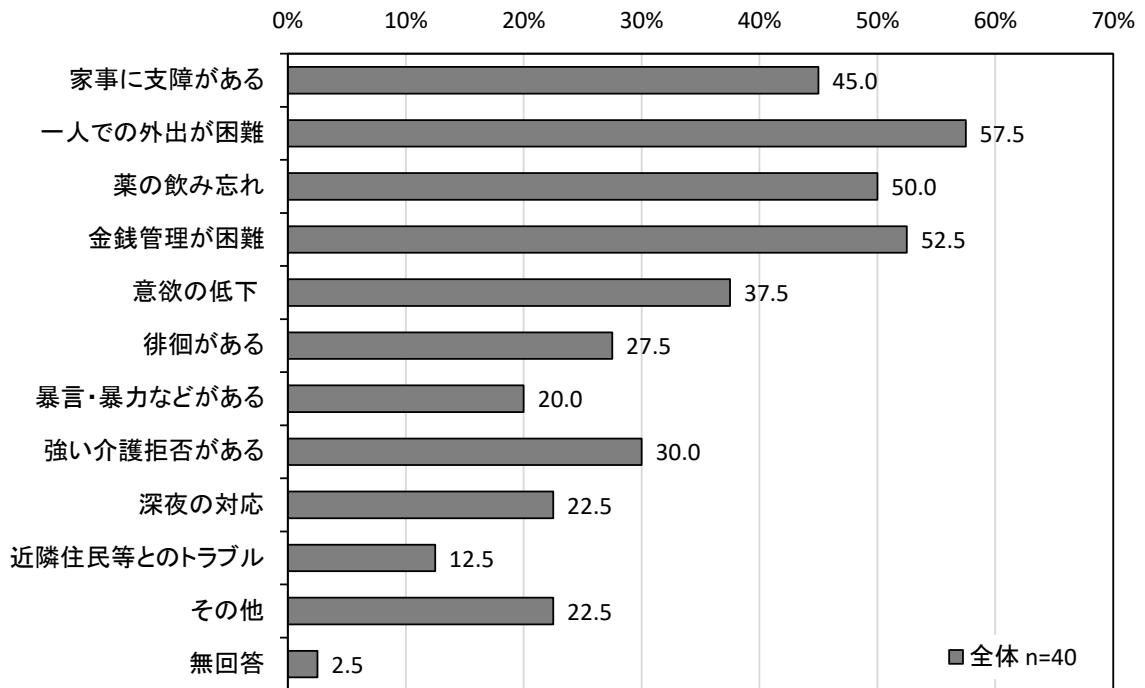
「更衣・整容」の割合が77.4%と最も高く、次いで「入浴」の割合が71.0%となっています。



【問2-1で「認知症の症状の悪化」の人のみ】

問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

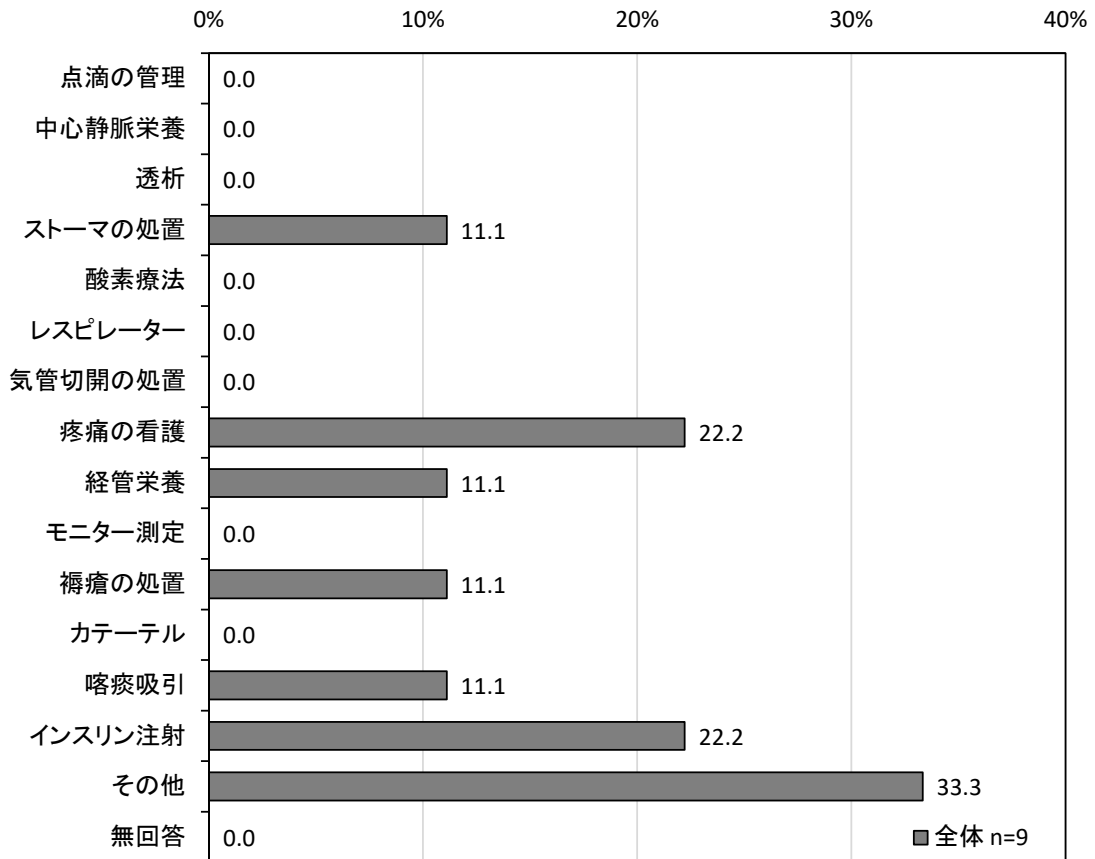
「一人での外出が困難」の割合が57.5%と最も高く、次いで「金銭管理が困難」の割合が52.5%となっています。



【問2-1で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」のみ】

問2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください
（あてはまる番号すべて選択記入）

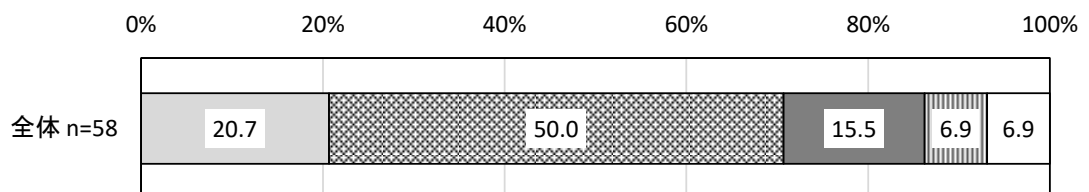
「疼痛の看護」「インスリン注射」の割合がそれぞれ22.2%と最も高くなっています。



【3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について】

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか（番号1つ選択記入）

「より適切な「住まい・施設等」に変更する」の割合が50.0%と最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」に変更する」の割合が20.7%となっています。

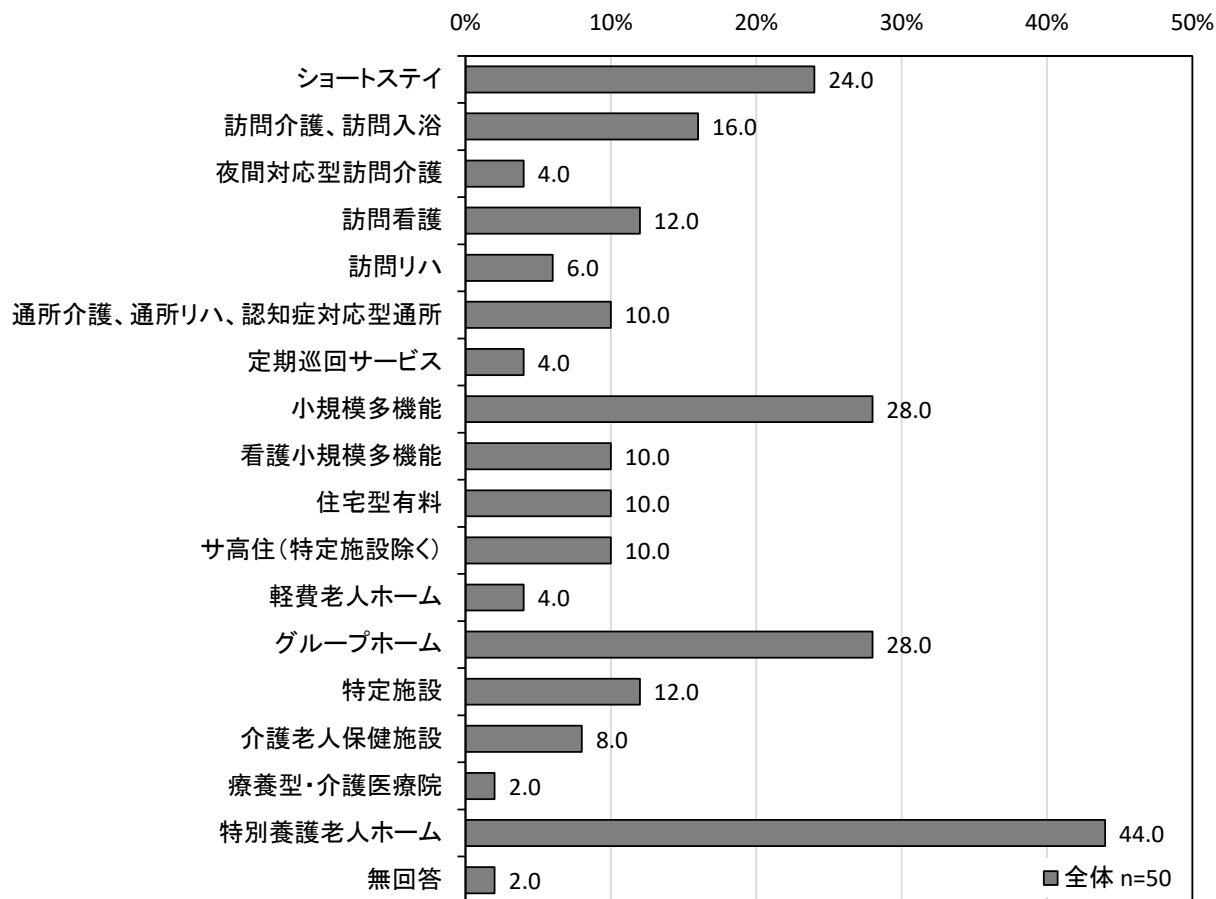


- より適切な「在宅サービス」に変更する
- より適切な「住まい・施設等」に変更する
- より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する
- 上記の内容では、改善は難しいと思う
- 無回答

【問3-1で『より適切な「在宅サービス」に変更する』『より適切な「住まい・施設等」に変更する』『より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する』の人のみ】

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

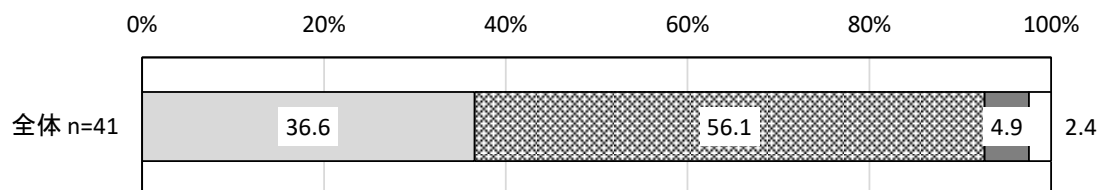
「特別養護老人ホーム」の割合が44.0%と最も高く、次いで「小規模多機能」「グループホーム」の割合が28.0%となっています。



【問3-2で「住宅型有料」～「特別養護老人ホーム」の人のみ】

問3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください（番号1つ選択記入）

「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」の割合が56.1%と最も高く、次いで「緊急性が高い」の割合が36.6%となっています。

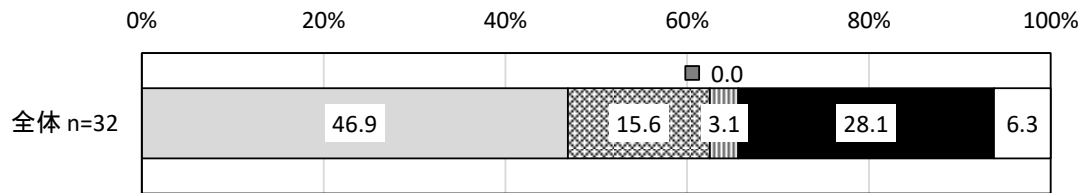


□ 緊急性が高い ▨ 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫 ■ その他 □ 無回答

【問3-2で「住宅型有料」～「療養型・介護医療院」の人のみ】

問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

「まだ、申込をしていない」の割合が46.9%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」の割合が15.6%となっています。

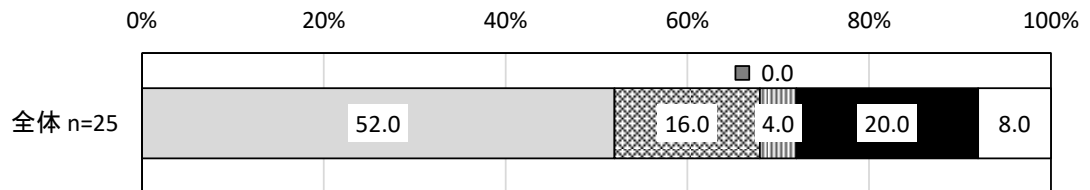


- まだ、申込をしていない
- 申込済みだが、空きがない
- 申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない
- 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- その他
- 無回答

【問3-2で「特別養護老人ホーム」の人のみ】

問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

「まだ、申込をしていない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」の割合が16.0%となっています。



- まだ、申込をしていない
- 申込済みだが、空きがない
- 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない
- 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- その他
- 無回答

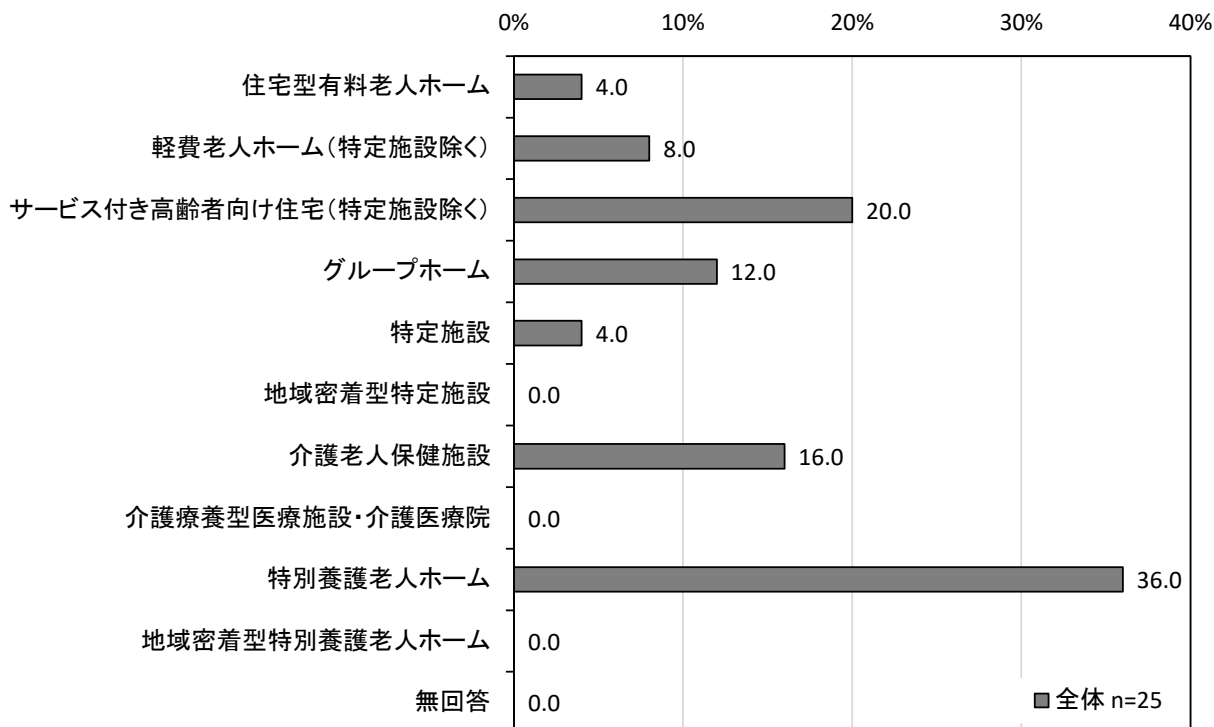
3. 居所変更実態調査（国が示した調査項目）

※市内の全ての施設・居住系サービスの事業所を対象に調査

（1）事業所について

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。（〇は1つ）

「特別養護老人ホーム」の割合が36.0%と最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」の割合が20.0%となっています。



問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

■定員数など

定員数は以下のとおりとなっています。

		回答者数	合計値	平均値	中央値
定員数	単位:人	12	1,197	99.8	133
	単位:室	3	78	26.0	18
	単位:戸	5	136	27.2	25

■入所・入居者数

入所・入居者数の合計は 1,398 人、1 事業所あたりの平均は 55.9 人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
入所・入居者数	25	1,398	55.9	37

■（貴施設等の）待機者数

待機者数の合計は 355 人、1 事業所あたりの平均は 14.8 人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
待機者数	24	355	14.8	1

■特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）

特別養護老人ホームの待機者数の合計は 5 人、1 事業所あたりの平均は 0.5 人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
特別養護老人ホームの待機者数 （申込者数）	11	5	0.5	0

（2）入所・入居者について

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）

現在の入所・入居者を要支援・要介護度別にみると、合計、平均ともに「要介護4」が最も高く、次いで「要介護3」が高くなっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
自立	19	35	1.8	0
要支援1	19	33	1.7	0
要支援2	19	17	0.9	0
要介護1	23	160	7.0	6
要介護2	23	181	7.9	4
要介護3	24	355	14.8	7
要介護4	23	368	16.0	7
要介護5	22	254	11.5	5
申請中・不明	18	6	0.3	0

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。（数値を記入）

医療処置を受けている人は、合計、平均ともに「経管栄養」が最も高く、次いで「喀痰吸引」が高くなっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
点滴の管理	19	5	0.3	0
中心静脈栄養	19	1	0.1	0
透析	20	13	0.7	0
ストーマの処置	22	10	0.5	0
酸素療法	20	16	0.8	0
レスピレーター	18	0	0.0	0
気管切開の処置	18	0	0.0	0
疼痛の看護	19	38	2.0	0
経管栄養	22	57	2.6	0
モニター測定	18	0	0.0	0
褥瘡の処置	22	18	0.8	0
カテーテル	22	29	1.3	0
喀痰吸引	21	49	2.3	0
インスリン注射	20	25	1.3	0

問5 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。
--

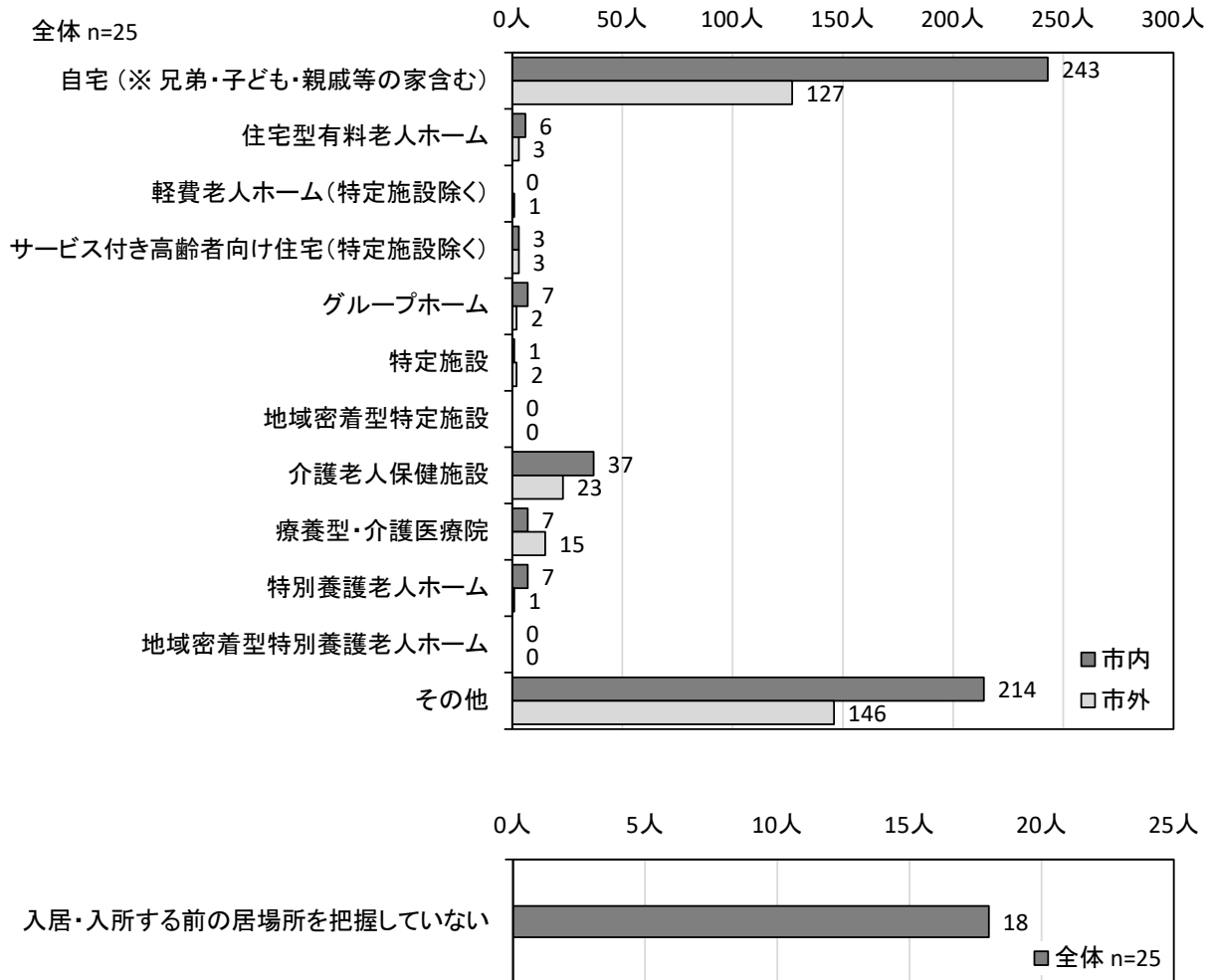
新規の入所・入居者数の合計は848人、1事業所あたりの平均は35.3人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
新規の入所・入居者数	24	848	35.3	12

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

市内では、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が243人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が37人となっています。また、市外でも、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が127人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が23人となっています。

なお、「入居・入所する前の居場所を把握していない」が18人となっています。



(3) 退去者について

問7 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

退去者数の合計は790人、1事業所あたりの平均は34.3人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
退去者数	23	790	34.3	11

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

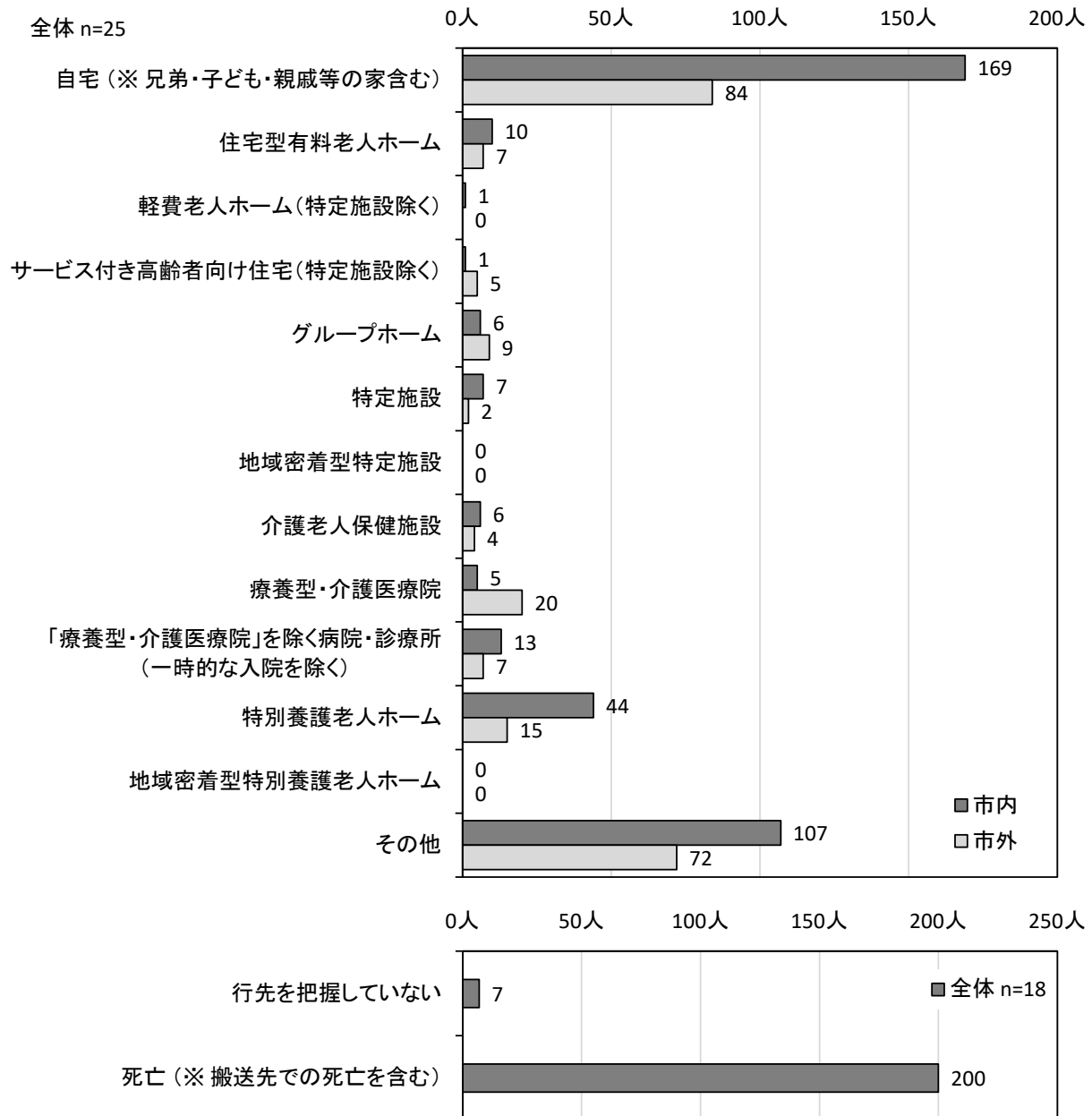
過去1年間の退去者を要介護度別にみると、合計、平均ともに「要介護4」が最も高く、次いで「要介護3」が高くなっています。なお、「死亡」は合計が199人、平均が11.1人となっています。

単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
自立	14	5	0.4	0
要支援1	13	3	0.2	0
要支援2	15	3	0.2	0
要介護1	19	50	2.6	1
要介護2	21	127	6.0	1
要介護3	21	139	6.6	2
要介護4	16	190	11.9	3
要介護5	15	94	6.3	2
新規申請中	11	1	0.1	0
死亡	18	199	11.1	8

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

市内では、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が169人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が44人となっています。また、市外では、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が84人と最も多く、次いで「療養型・介護医療院」が20人となっています。

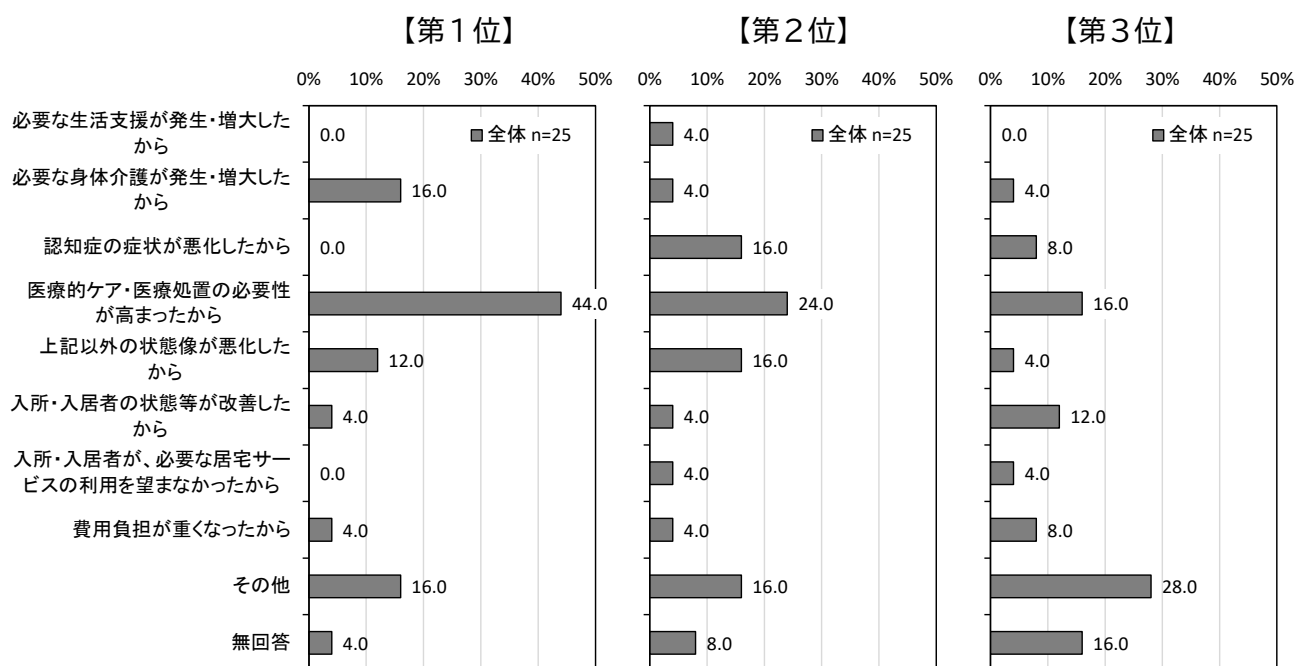
なお、「行先を把握していない」が7人、「死亡（※搬送先での死亡を含む）」が200人となっています。



問 10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する箇所に○を付けてください。（第1位～第3位のそれぞれで○は1つ）

第1位の理由として選ばれている項目をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が44.0%と最も高く、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」の割合が16.0%となっています。なお、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」は、第2位、第3位の理由としても割合が高くなっています。

また、第2位の理由として選ばれている項目では、「認知症の症状が悪化したから」「上記以外の状態像が悪化したから」の割合が、第3位の理由として選ばれている項目では、「入所・入居者の状態等が改善したから」の割合がそれぞれ1割以上となっています。



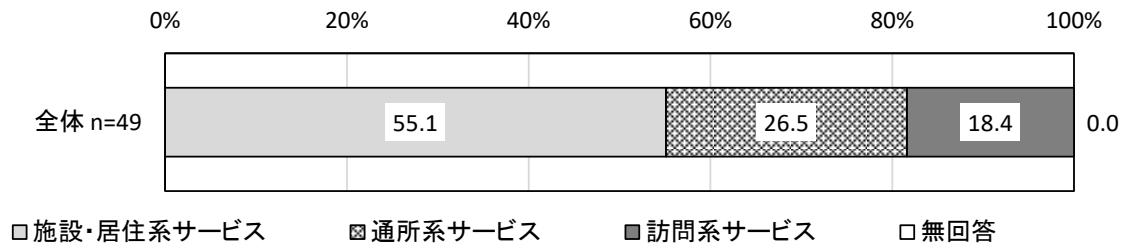
4. 介護人材実態調査（国が示した調査項目）

※市内の全ての施設・居住系サービス、通所・短期入所系サービス、訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所を対象に調査

（1）事業所について

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（〇は1つ）

「施設・居住系サービス」の割合が55.1%、「通所系サービス」の割合が26.5%、「訪問系サービス」の割合が18.4%となっています。



【問2 貴施設等（問1で〇をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について】

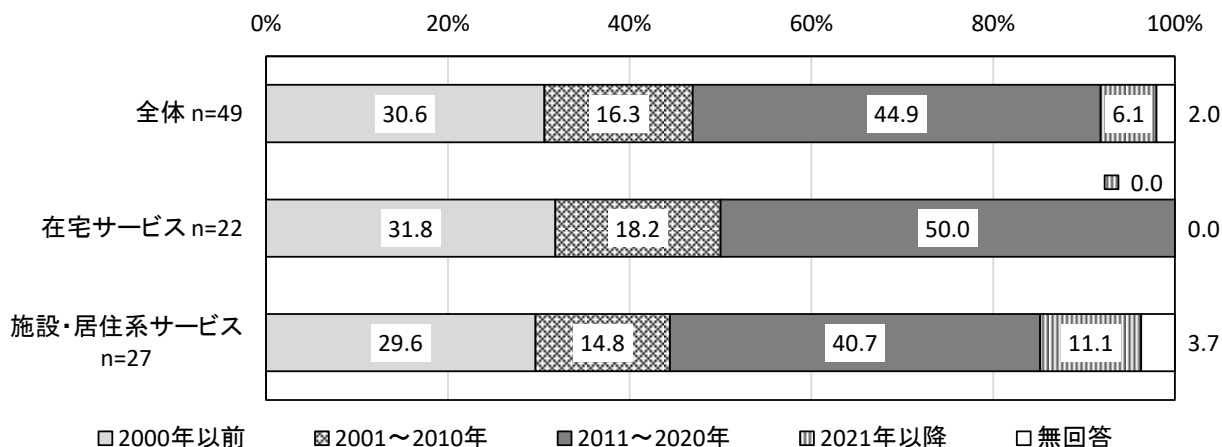
問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

サービス別の正職員数・非正職員数は以下のとおりとなっています。1事業所あたりの平均をみると、正職員数では「施設・居住系サービス」が多く、非正職員数では「在宅サービス」が多くなっています。

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正職員数	全体		49	637	13.0	7
	在宅サービス		22	137	6.2	5
	施設・居住系サービス		27	500	18.5	9
非正職員数	全体		45	398	8.8	5
	在宅サービス		20	190	9.5	6
	施設・居住系サービス		25	208	8.3	4

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

在宅サービス、施設・居住系サービスともに「2011～2020年」の割合が最も高く、次いで「2000年以前」の割合が高くなっています。



問2-3 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

サービス別の採用者数・離職者数は以下のとおりとなっています。1事業所あたりの平均をみると、採用者数では「在宅サービス」が多く、離職者数では「施設・居住系サービス」が多くなっています。

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
採用者数	全体		46	272	5.9	2
	在宅サービス		21	121	5.8	2
	施設・居住系サービス		21	52	2.5	1
離職者数	全体		46	213	4.6	2
	在宅サービス		25	151	6.0	3
	施設・居住系サービス		25	161	6.4	3

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。
（数値を記入）

全体の1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「20～29歳」が最も高く、非正規職員では「50～59歳」が最も高くなっており、離職者についても同様の傾向がみられます。

■採用者数－全体

単位:人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	9	4	0.4	0
	20～29歳	13	29	2.2	2
	30～39歳	11	15	1.4	1
	40～49歳	20	28	1.4	1
	50～59歳	15	28	1.9	1
	60～69歳	8	7	0.9	1
	70～79歳	5	0	0.0	0
	年齢不明	4	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	6	4	0.7	0
	20～29歳	14	15	1.1	1
	30～39歳	8	11	1.4	1
	40～49歳	15	26	1.7	1
	50～59歳	16	29	1.8	1
	60～69歳	12	13	1.1	1
	70～79歳	5	1	0.2	0
	年齢不明	6	4	0.7	0

■離職者数－全体

単位:人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	8	4	0.5	1
	20～29歳	15	28	1.9	2
	30～39歳	16	27	1.7	1
	40～49歳	19	18	0.9	1
	50～59歳	12	22	1.8	2
	60～69歳	4	2	0.5	1
	70～79歳	4	0	0.0	0
	年齢不明	4	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	6	4	0.7	0
	20～29歳	9	12	1.3	1
	30～39歳	11	21	1.9	1
	40～49歳	16	29	1.8	1
	50～59歳	14	30	2.1	1
	60～69歳	10	11	1.1	1
	70～79歳	6	3	0.5	1
	年齢不明	5	2	0.4	0

在宅サービスの1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「40～49歳」が最も高くなっています。また、離職した正規職員では「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「60～69歳」が最も高くなっています。

■採用者数－在宅サービス

単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	3	0	0.0	0
	20～29歳	4	2	0.5	1
	30～39歳	3	0	0.0	0
	40～49歳	10	10	1.0	1
	50～59歳	4	8	2.0	2
	60～69歳	3	4	1.3	0
	70～79歳	3	0	0.0	0
	年齢不明	2	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	2	0	0.0	0
	20～29歳	4	2	0.5	1
	30～39歳	4	2	0.5	1
	40～49歳	8	15	1.9	2
	50～59歳	6	9	1.5	1
	60～69歳	6	9	1.5	1
	70～79歳	3	1	0.3	0
	年齢不明	2	0	0.0	0

■離職者数－在宅サービス

単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	2	0	0.0	0
	20～29歳	2	2	1.0	1
	30～39歳	7	8	1.1	1
	40～49歳	5	4	0.8	1
	50～59歳	4	5	1.3	2
	60～69歳	2	1	0.5	1
	70～79歳	2	0	0.0	0
	年齢不明	2	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	2	0	0.0	0
	20～29歳	3	2	0.7	1
	30～39歳	5	4	0.8	1
	40～49歳	8	10	1.3	1
	50～59歳	7	9	1.3	1
	60～69歳	3	6	2.0	2
	70～79歳	2	1	0.5	1
	年齢不明	2	0	0.0	0

施設・居住系サービスの1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「20～29歳」が最も高く、非正規職員では「30～39歳」が最も高くなっています。また、離職した正規職員では「30～39歳」「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「50～59歳」が最も高くなっています。

■採用者数－施設・居住系サービス

単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	6	4	0.7	1
	20～29歳	9	27	3.0	4
	30～39歳	8	15	1.9	2
	40～49歳	10	18	1.8	1
	50～59歳	11	20	1.8	1
	60～69歳	5	3	0.6	1
	70～79歳	2	0	0.0	0
	年齢不明	2	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	4	4	1.0	1
	20～29歳	10	13	1.3	1
	30～39歳	4	9	2.3	3
	40～49歳	7	11	1.6	1
	50～59歳	10	20	2.0	1
	60～69歳	6	4	0.7	1
	70～79歳	2	0	0.0	0
	年齢不明	4	4	1.0	1

■離職者数－施設・居住系サービス

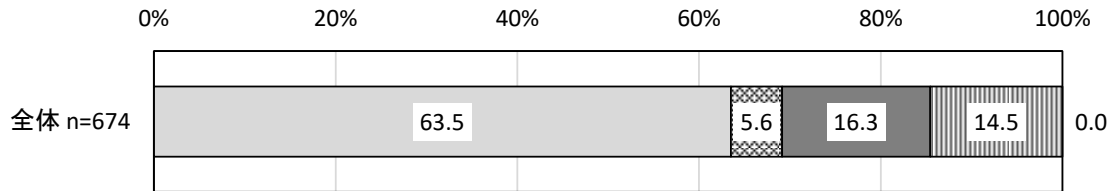
単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	20歳未満	6	4	0.7	1
	20～29歳	13	26	2.0	3
	30～39歳	9	19	2.1	2
	40～49歳	14	14	1.0	1
	50～59歳	8	17	2.1	2
	60～69歳	2	1	0.5	1
	70～79歳	2	0	0.0	0
	年齢不明	2	0	0.0	0
非正規職員数	20歳未満	4	4	1.0	1
	20～29歳	6	10	1.7	2
	30～39歳	6	17	2.8	1
	40～49歳	8	19	2.4	1
	50～59歳	7	21	3.0	1
	60～69歳	7	5	0.7	1
	70～79歳	4	2	0.5	1
	年齢不明	3	2	0.7	0

【施設・居住系サービス、通所系サービスのみ】

問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

①資格の取得、研修の修了の状況（番号1つ記載）

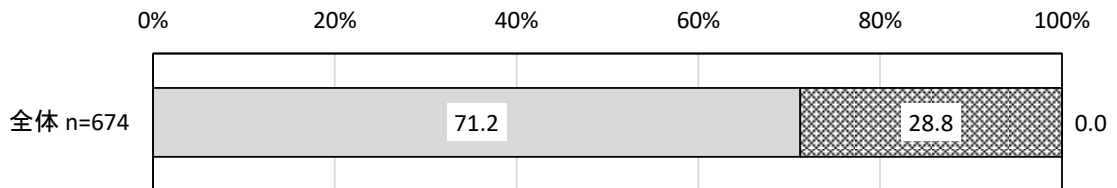
「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が63.5%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了または（旧）ヘルパー2級」の割合が16.3%となっています。



- 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
- 介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級
- 介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級
- 上記のいずれも該当しない
- 無回答

②雇用形態（番号1つ記載）

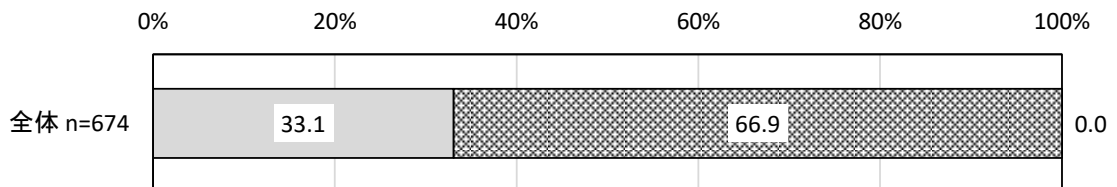
「正規職員（※期限の定めのない契約）」の割合が71.2%、「非正規職員（※期限の定めのある契約）」の割合が28.8%となっています。



- 正規職員（※期限の定めのない契約）
- 非正規職員（※期限の定めのある契約）
- 無回答

③性別（番号1つ記載）

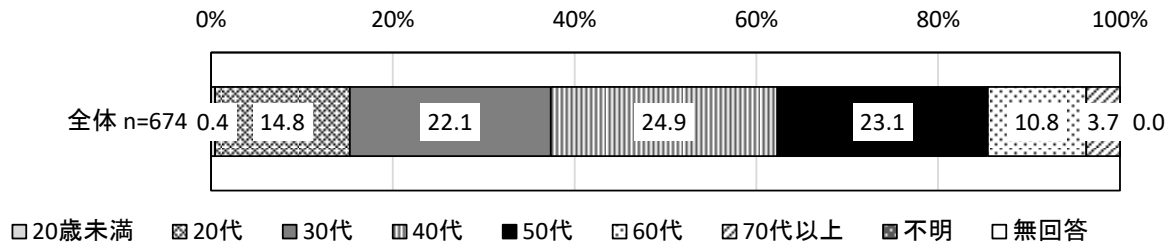
「男性」の割合が33.1%、「女性」の割合が66.9%となっています。



- 男性
- 女性
- 無回答

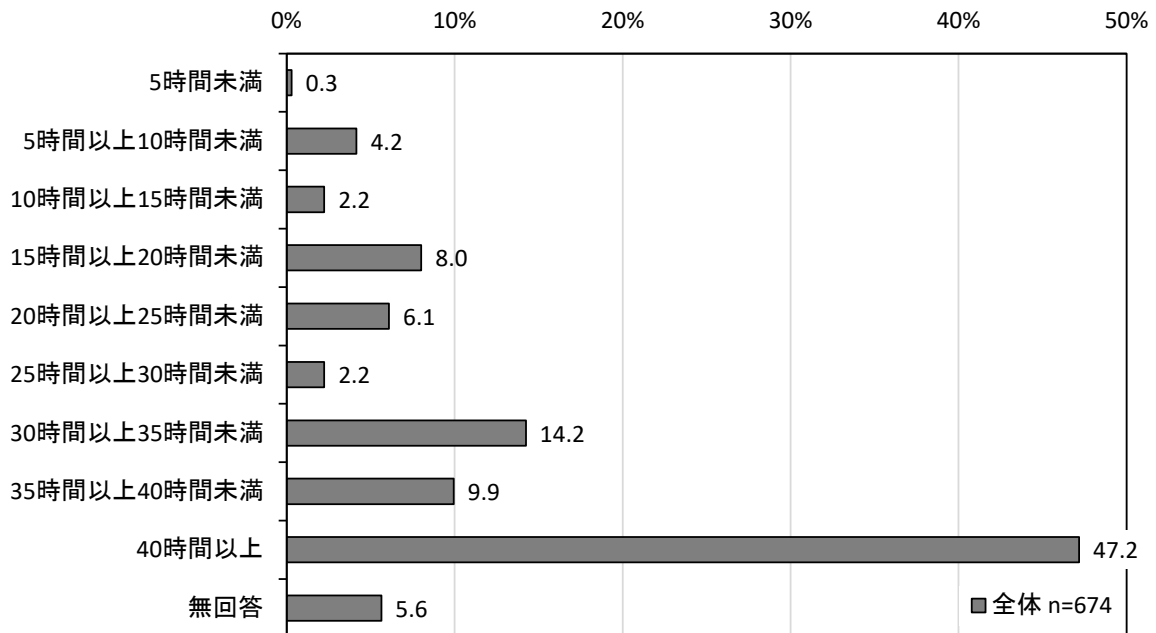
④年齢（番号1つ記載）

「40代」の割合が24.9%と最も高く、次いで「50代」の割合が23.1%となっています。



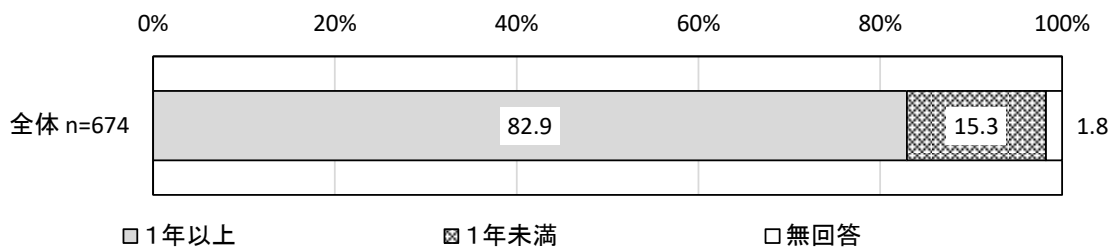
⑤過去1週間の勤務時間（番号1つ記載）

「40時間以上」の割合が47.2%と最も高く、次いで「30時間以上35時間未満」の割合が14.2%となっています。



⑥現在の施設等での勤務年数（番号1つ記載）

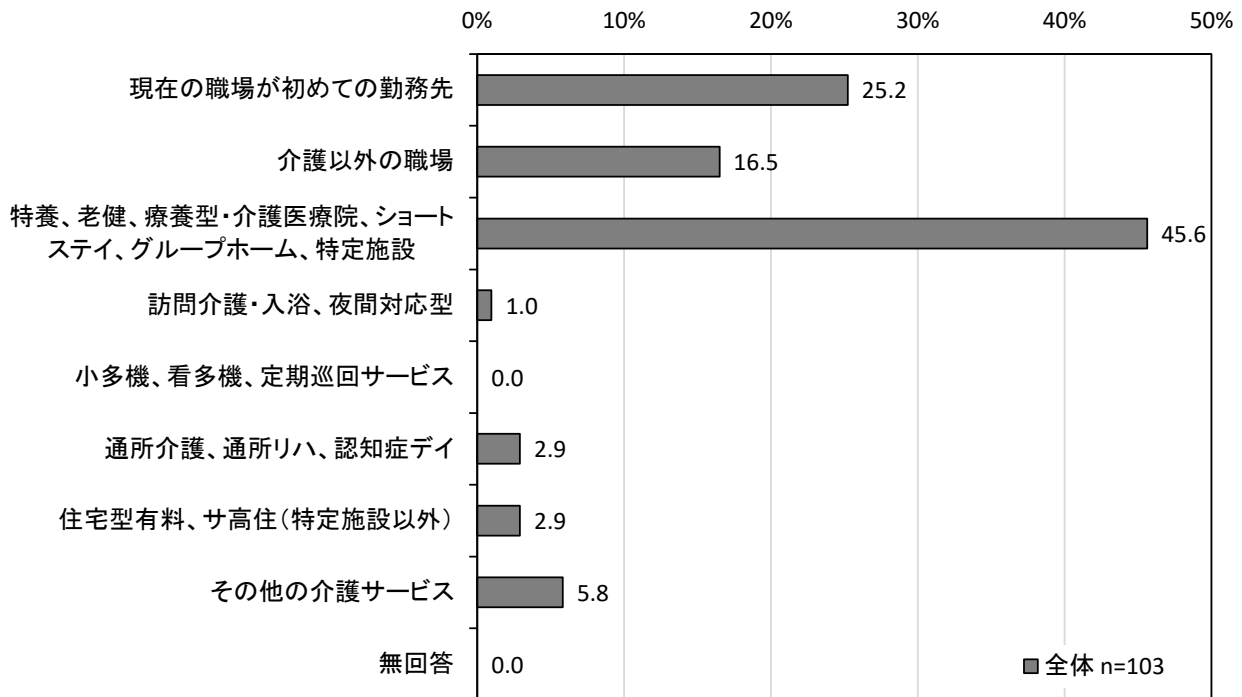
「1年以上」の割合が82.9%、「1年未満」の割合が15.3%となっています。



【⑥で「1年未満」の事業所のみ】

⑦現在の施設等に勤務する直前の職場（番号1つ記載）

「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が45.6%と最も高く、次いで「現在の職場が初めての勤務先」の割合が25.2%となっています。

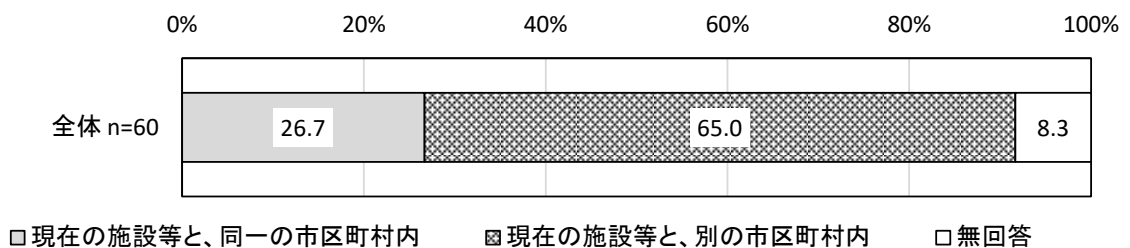


【⑦で「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」～「その他の介護サービス」の事業所のみ】

⑧直前の職場について（番号1つ記載）

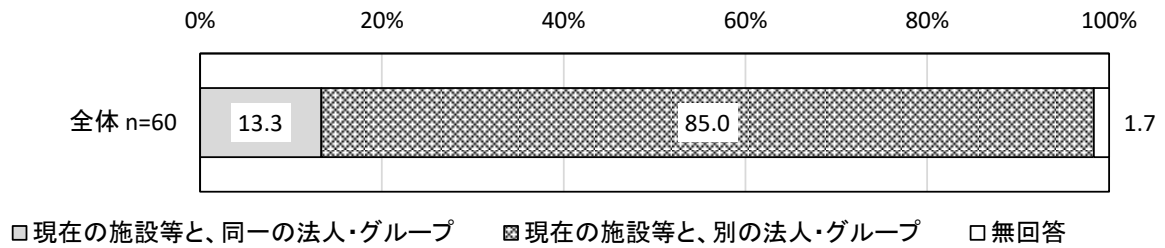
【場所】

「現在の施設等と、同一の市区町村内」の割合が26.7%、「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が65.0%となっています。



【法人】

「現在の施設等と、同一の法人・グループ」の割合が 13.3%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」の割合が 85.0%となっています。

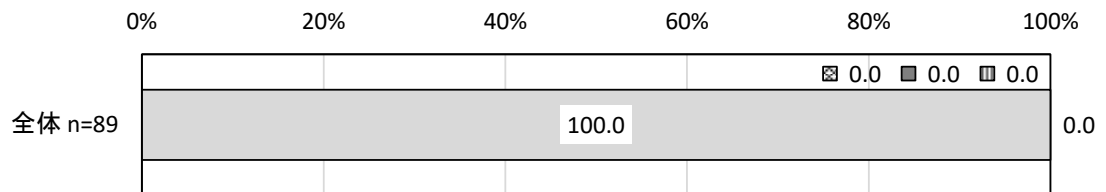


(2) 職員について（職員票（訪問介護員向け））

※訪問サービス・訪問介護を行う介護職員（非常勤含む。ボランティア除く）を対象に調査

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（〇は1つ）

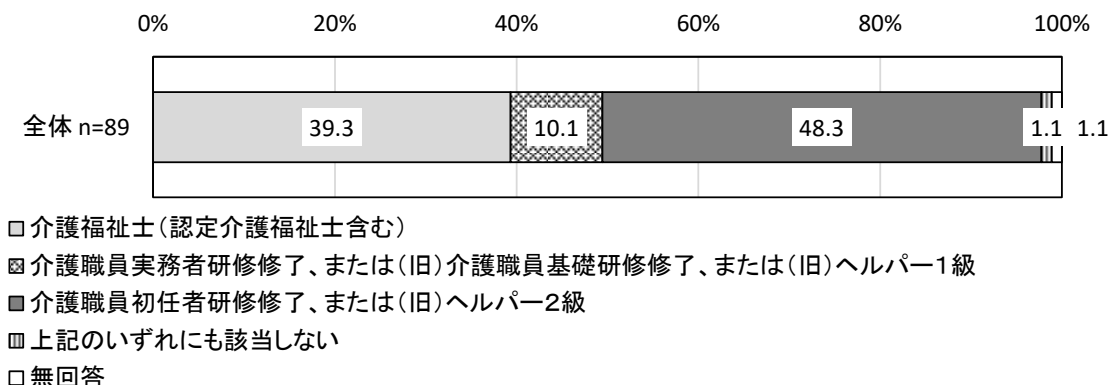
「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、訪問型サービス（総合事業）」の割合が 100.0%となっています。



- 訪問系サービス(訪問介護、訪問入浴、訪問型サービス(総合事業))
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 無回答

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（〇は1つ）

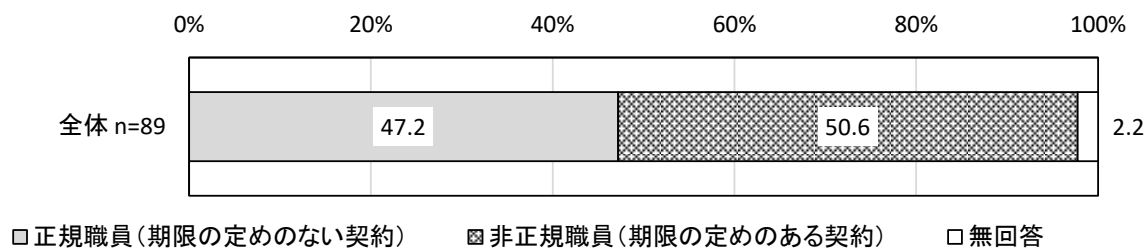
「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」の割合が48.3%と最も高く、次いで「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が39.3%となっています。



問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

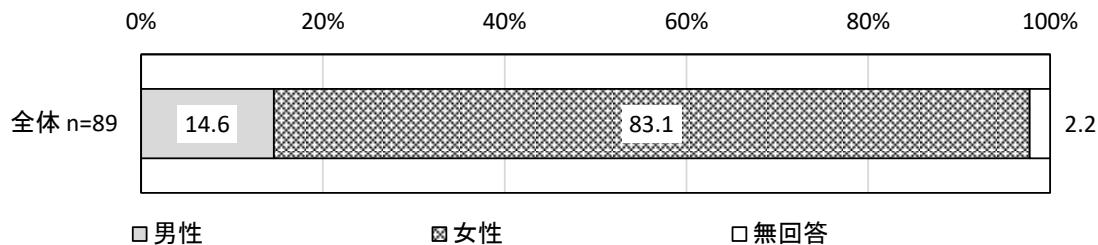
①雇用形態（〇は1つ）

「正規職員（期限の定めのない契約）」の割合が47.2%、「非正規職員（期限の定めのある契約）」の割合が50.6%となっています。



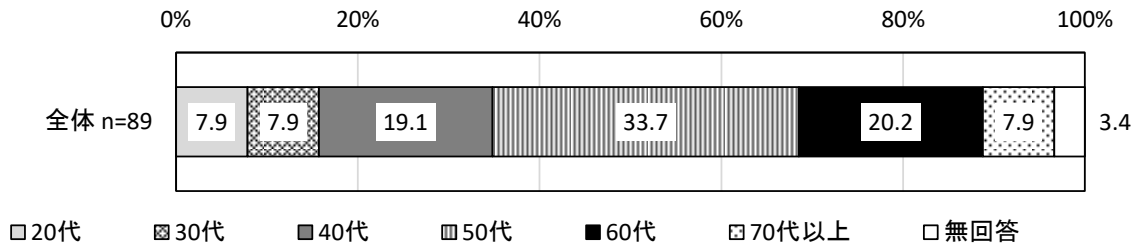
②性別（〇は1つ）

「男性」の割合が14.6%、「女性」の割合が83.1%となっています。



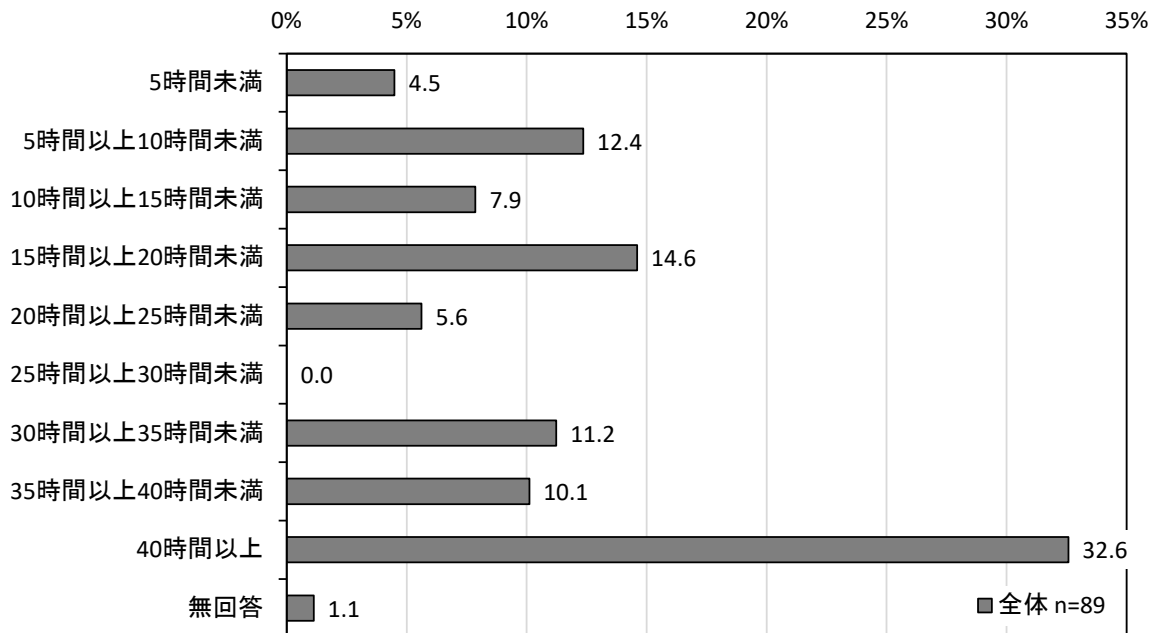
③年齢（数値を記入）

「50代」の割合が33.7%と最も高く、次いで「60代」の割合が20.2%となっています。



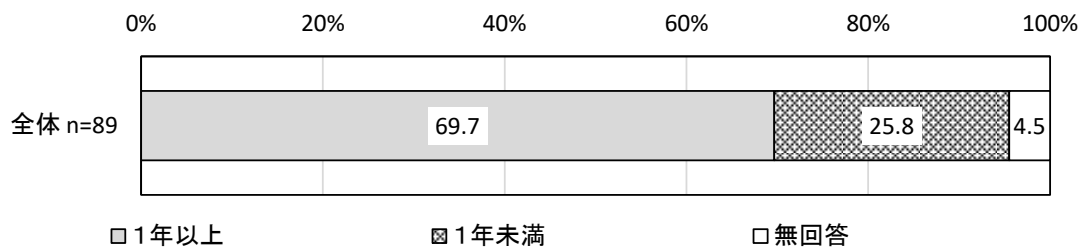
④過去1週間の勤務時間（数値を記入）

「40時間以上」の割合が32.6%と最も高く、次いで「15時間以上20時間未満」の割合が14.6%となっています。



⑤現在の施設等での勤務年数（数値を記入）

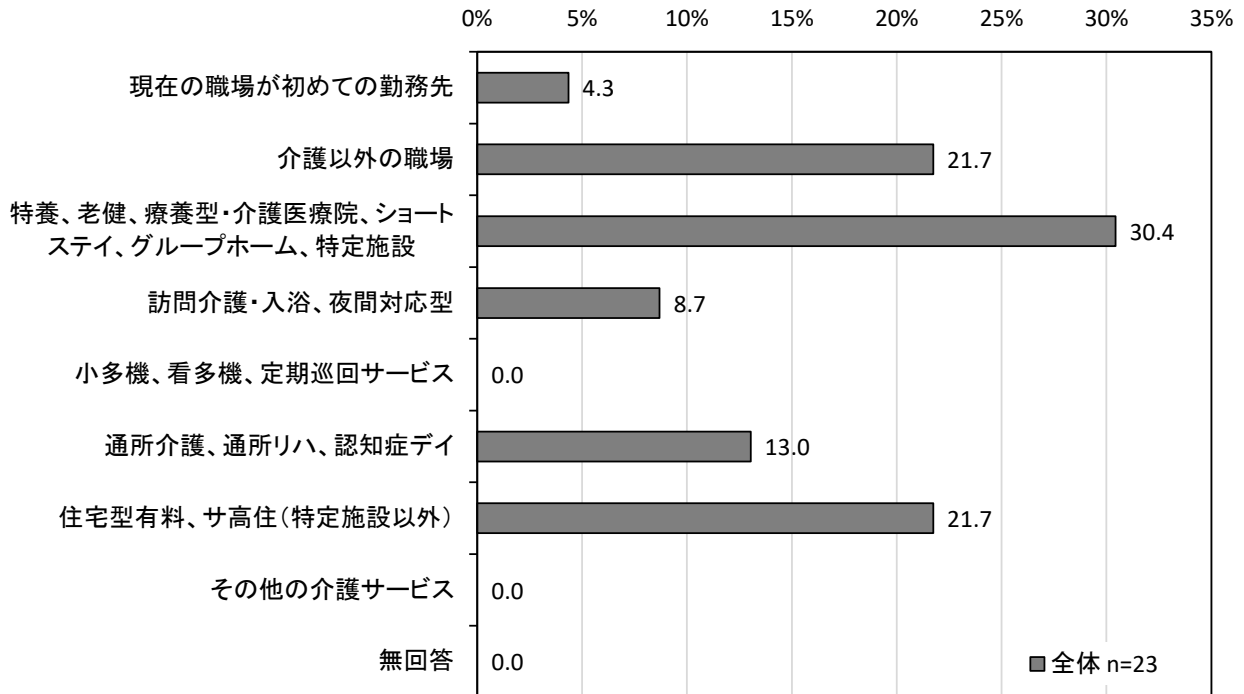
「1年以上」の割合が69.7%、「1年未満」の割合が25.8%となっています。



【問3⑤で「1年未満」の人のみ】

問4 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。（〇は1つ）

「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が30.4%と最も高く、次いで「介護以外の職場」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」の割合が21.7%となっています。

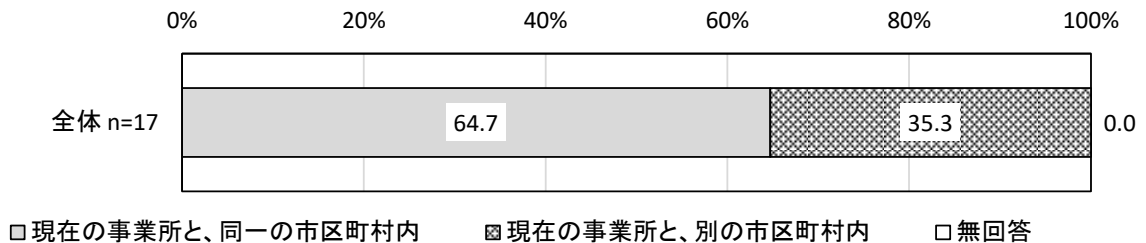


【問4で「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」～「その他の介護サービス」の事業所のみ】

問5 ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。（〇は1つ）

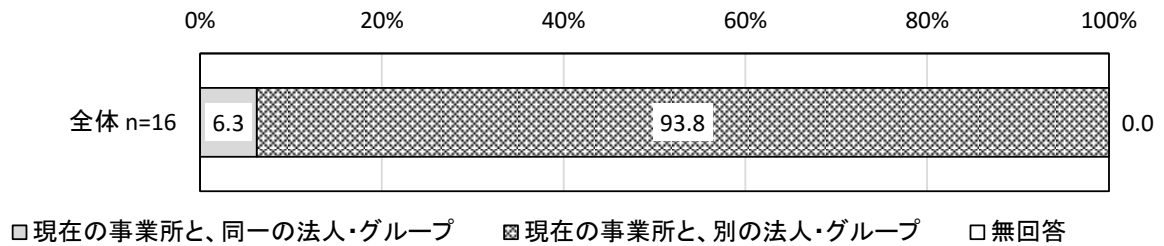
【場所】

「現在の事業所と、同一の市区町村内」の割合が64.7%、「現在の事業所と、別の市区町村内」の割合が35.3%となっています。



【法人】

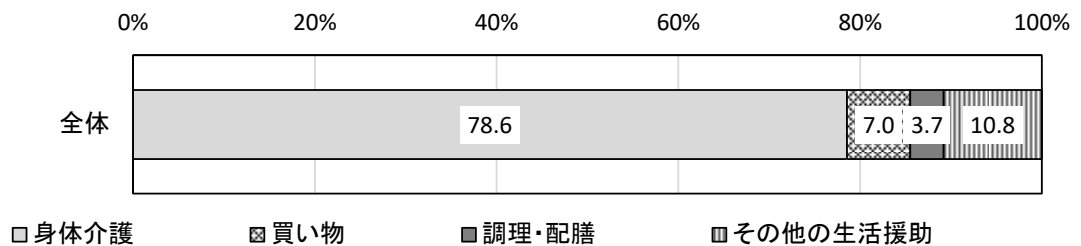
「現在の事業所と、同一の法人・グループ」の割合が6.3%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」の割合が93.8%となっています。



問6 介護給付による訪問について記入してください。（職員票の問3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。）

全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合は、「身体介護」の割合が78.6%と最も高く、次いで「その他の生活援助」の割合が10.8%となっています。

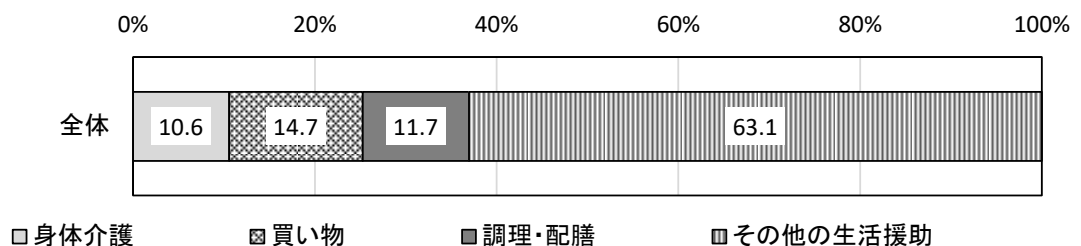
■全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合



問7 介護予防給付・総合事業による訪問について記入してください。（職員票の問3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。）

全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合は、「その他の生活援助」の割合が63.1%と最も高く、次いで「買い物」の割合が14.7%となっています。

■全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合

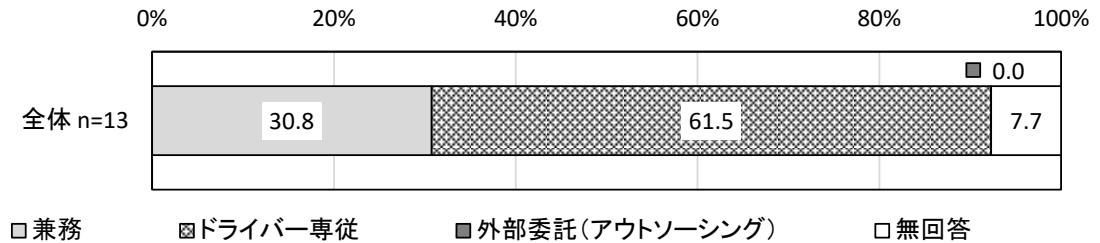


（3）送迎について（通所介護事業所票）

※通所系サービスの事業所を対象に調査

問1 貴施設で雇用している送迎のドライバーは他の業務との兼務ですか。（〇は1つ）

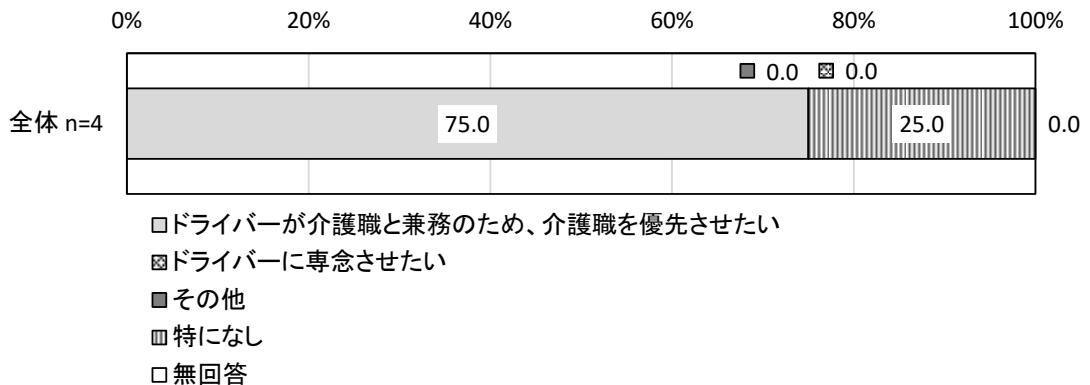
「兼務」の割合が30.8%、「ドライバー専従」の割合が61.5%となっています。



【問1で「兼務」の事業所のみ】

問2 貴施設での送迎サービスに関する課題があれば選択してください。（〇は1つ）

「ドライバーが介護職と兼務のため、介護職を優先させたい」の割合が75.0%と最も高く、次いで「特になし」の割合が25.0%となっています。



【問1で「兼務」「ドライバー専従」の事業所のみ】

問3 ドライバーに空き時間があれば、下記に記載してください。（数値を入力）

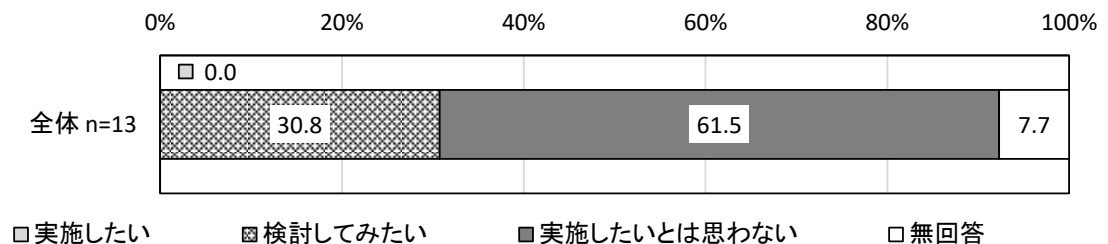
ドライバーの空き時間についての回答結果は以下のとおりとなっています。

■全回答一覧

	空き時間1		空き時間2		空き時間3	
	時から	時まで	時から	時まで	時から	時まで
ドライバー1	9時00分	12時00分	13時00分	16時00分		
ドライバー2	8時00分	10時00分	12時00分	13時00分	15時00分	17時00分
ドライバー3	12時30分	13時30分				
ドライバー4	8時00分	9時00分	11時00分	13時00分	17時00分	18時00分
ドライバー5	10時00分	16時00分				
ドライバー6	10時15分	16時00分				
ドライバー7	9時45分	15時45分				
ドライバー8	8時00分	17時30分				
ドライバー9	10時30分	15時30分				
ドライバー10	8時30分	9時00分	17時00分	17時30分		
ドライバー11	12時30分	13時30分				
ドライバー12	8時00分	9時00分	11時00分	13時00分	17時00分	18時00分
ドライバー13	10時00分	16時00分				
ドライバー14	10時15分	15時30分				
ドライバー15	10時15分	15時30分				
ドライバー16	10時30分	15時30分				
ドライバー17	12時30分	13時30分				
ドライバー18	10時15分	15時30分				
ドライバー19	10時30分	15時30分				
ドライバー20	10時30分	15時30分				

問4 ドライバーの空き時間帯を利用した福祉有償運送サービス等の提供に興味がありますか。
(〇は1つ)

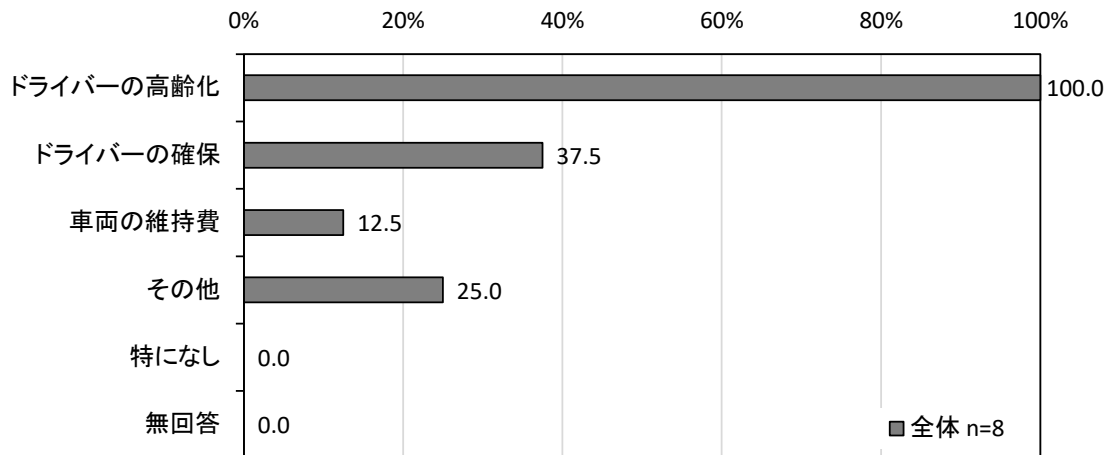
「検討してみたい」の割合が30.8%、「実施したいとは思わない」の割合が61.5%となっています。



【問1で「ドライバー専従」の事業所のみ】

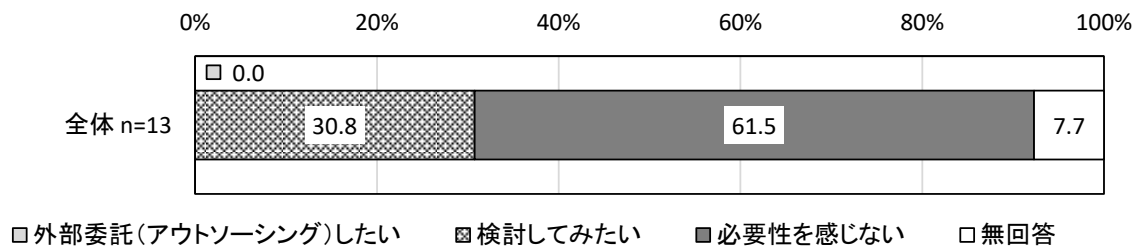
問5 貴施設では送迎サービスに関する課題があれば選択してください。（複数回答可）

「ドライバーの高齢化」の割合が100.0%と最も高く、次いで「ドライバーの確保」の割合が37.5%となっています。



問6 現在、送迎業務の外部委託（アウトソーシング）に興味はありますか。（〇は1つ）

「検討してみたい」の割合が30.8%と最も高く、次いで「必要性を感じない」の割合が61.5%となっています。



■ 必要性を感じない理由

- ・コストが高い。現在は充足している。
- ・人員確保できているため。
- ・一社員として雇用し、長期就労してほしい。
- ・委託するほど利用者が多くない。
- ・送迎業務の必要な利用者が現在いないため。
- ・高齢者雇用でも危険が高くなる。

5. 各調査共通項目（市の独自調査項目）

※市内の全ての居宅介護支援事業所、施設・居住系サービス、通所・短期入所系サービス、訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所を対象に調査（在宅生活改善調査票および介護人材実態調査票に掲載）

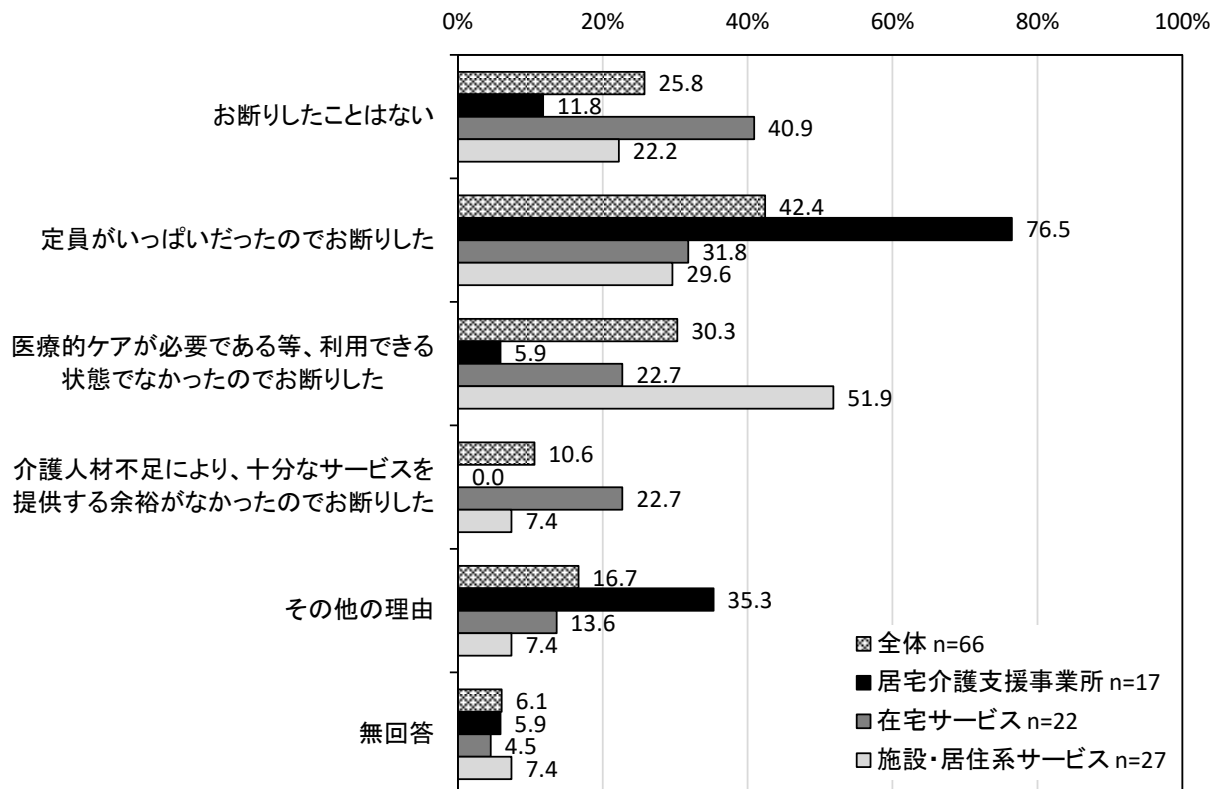
（1）事業所について

問1 昨年1年間に、サービスの利用希望者をお断りしたことがありましたか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「定員がいっぱいだったのでお断りした」の割合が76.5%と最も高く、次いで「お断りしたことはない」の割合が11.8%となっています。

在宅サービスでは、「お断りしたことはない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「定員がいっぱいだったのでお断りした」の割合が31.8%となっています。

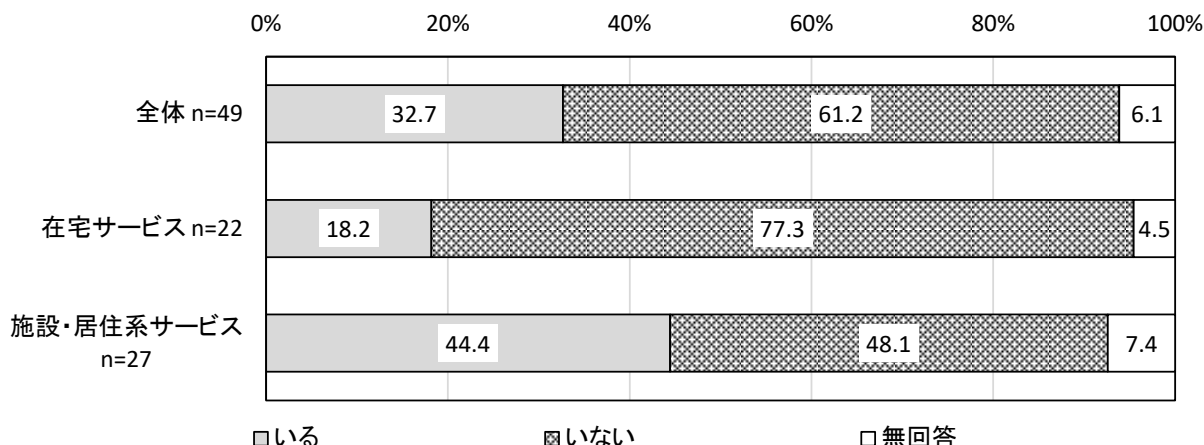
施設・居住系サービスでは、「医療的ケアが必要である等、利用できる状態ではなかったのでお断りした」の割合が51.9%と最も高く、次いで「定員がいっぱいだったのでお断りした」の割合が29.6%となっています。



【施設・居住系サービス、通所系サービス、訪問系サービスのみ】

問2 回答日現在、入所（利用）待機者はいますか。（〇は1つ）

「いる」の割合は、在宅サービスで18.2%、施設・居住系サービスで44.4%となっています。



問3 上尾市は、一人あたりの施設サービスの給付費が埼玉県内市町村の平均額より高く、在宅サービスの給付費が平均額よりも低い状況です。在宅サービスの給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。

■主な意見

- ・市内や近郊に施設が多いから。
- ・周辺市町村と比べて入所・入居できる施設が多いから。
- ・事業所不足で必要な在宅サービスが受けられていない。
- ・介護が必要となった場合、在宅サービスを利用し自宅で介護しようとする割合より、施設入所を検討し、施設で生活をしてもらう方が良いと考える割合が多いため。

問4 上尾市は、在宅サービスのうち、訪問介護の給付費が全国平均より低い状況です。訪問介護の給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。

■主な意見

- ・訪問介護の人手不足から、訪問介護事業所に依頼しても断られてしまうケースが多い。供給力の大幅な不足を感じる。
- ・ヘルパー不足のため。
- ・訪問介護事業所が少ないため。
- ・独居で在宅生活が困難になると施設等の選択肢を選びがちのため。

（2）現在の介護人材の状況について

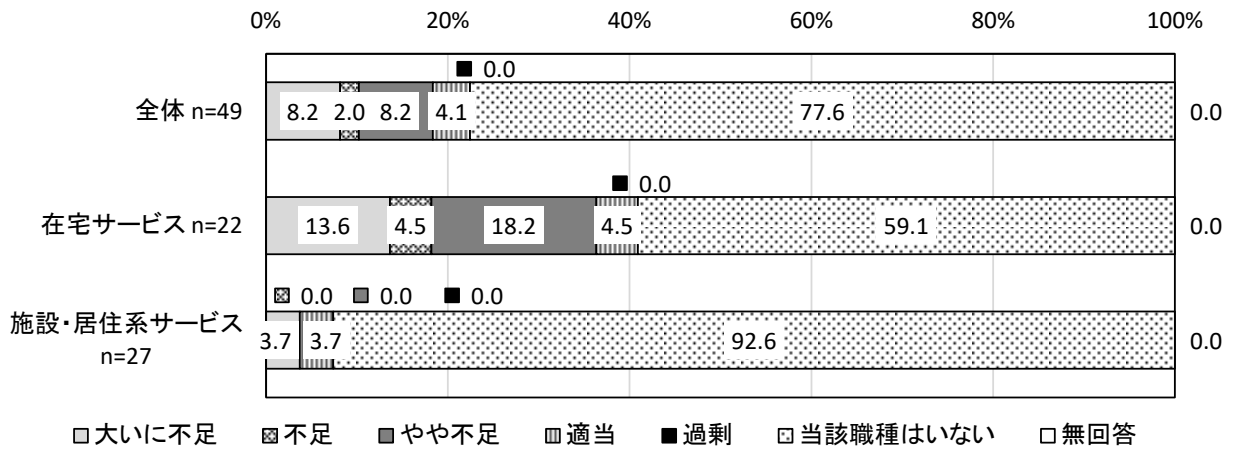
※市内の全ての施設・居住系サービス、通所・短期入所系サービス、訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所を対象に調査

問5 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。（〇は1つ）

①訪問介護員

在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が59.1%と最も高く、次いで「やや不足」の割合が18.2%となっています。

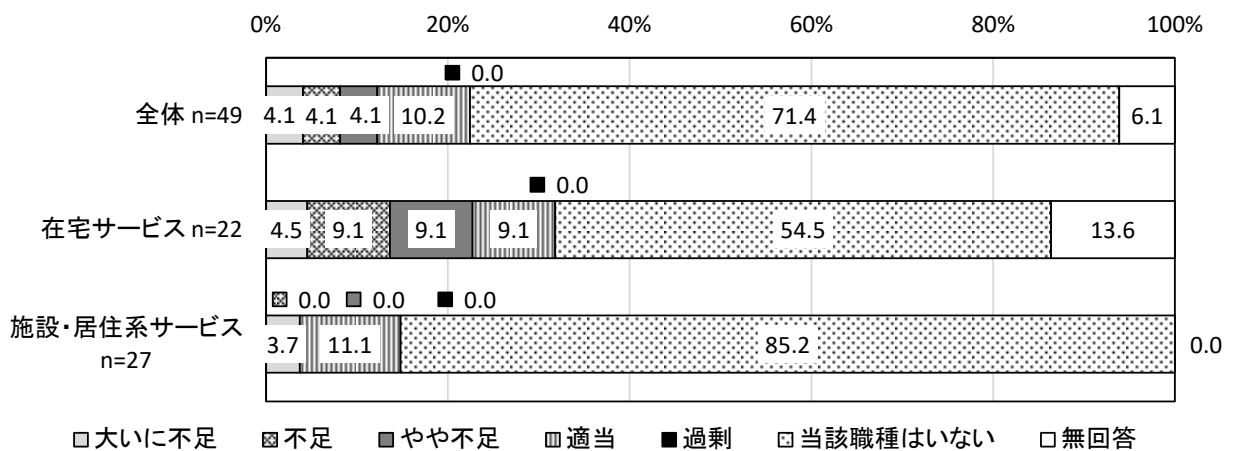
施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が92.6%と最も高く、次いで「大いに不足」「適当」の割合が3.7%となっています。



②サービス提供責任者

在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「不足」「やや不足」「適当」の割合がそれぞれ9.1%となっています。

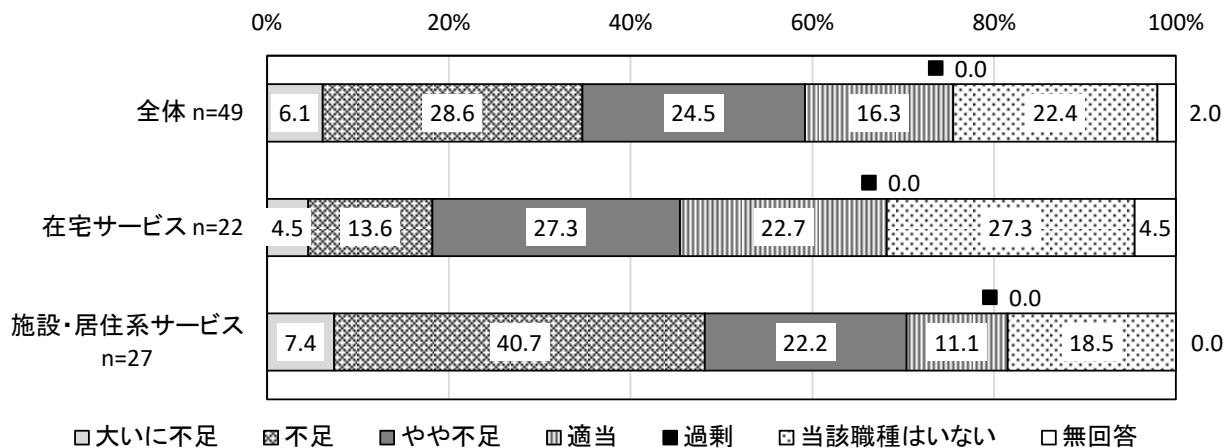
施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が85.2%と最も高く、次いで「適当」の割合が11.1%となっています。



③介護職員

在宅サービスでは、「やや不足」「当該職種はいない」の割合がそれぞれ27.3%と最も高く、次いで「適当」の割合が22.7%となっています。

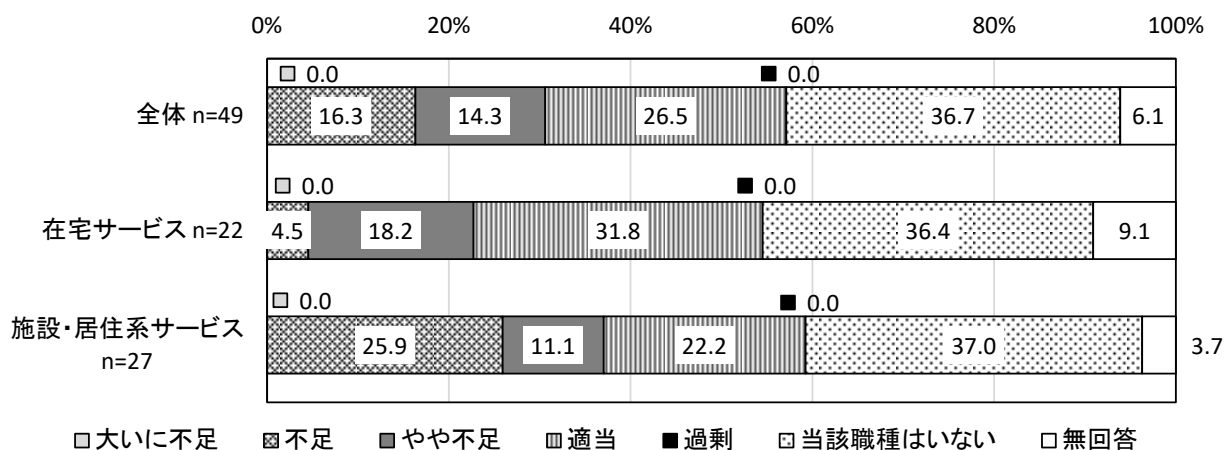
施設・居住系サービスでは、「不足」の割合が40.7%と最も高く、次いで「やや不足」の割合が22.2%となっています。



④看護職員

在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「適当」の割合が31.8%となっています。

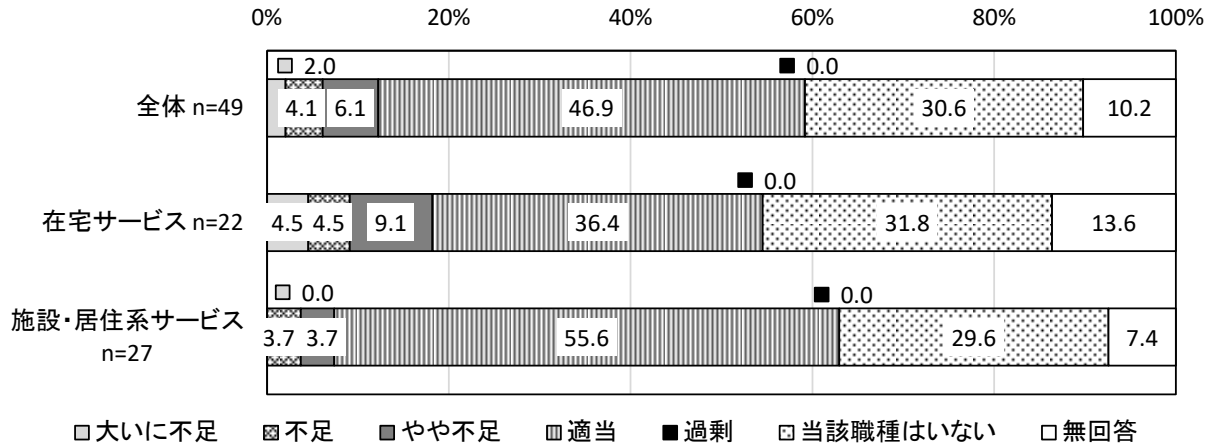
施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「不足」の割合が25.9%となっています。



⑤生活相談員

在宅サービスでは、「適当」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が 31.8%となっています。

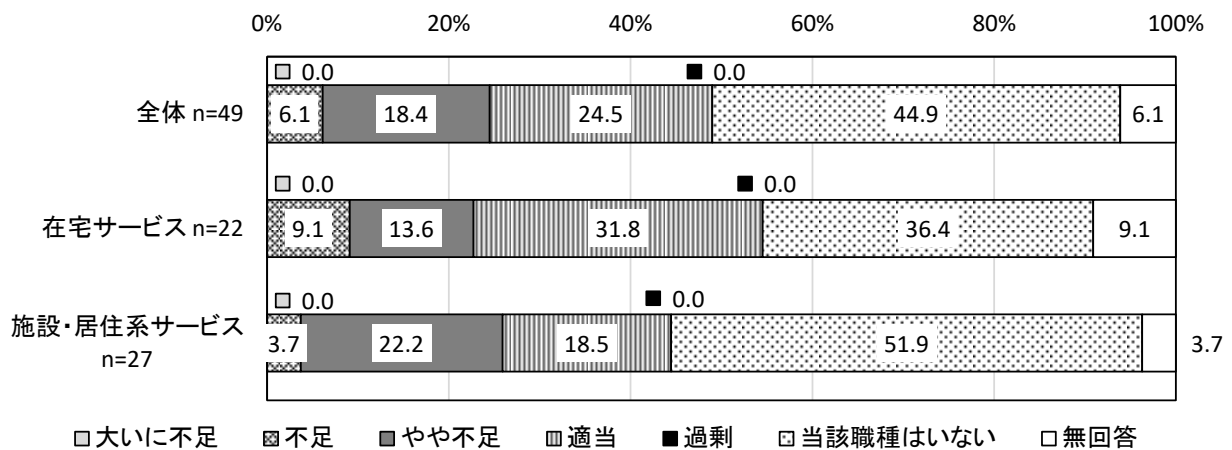
施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が 29.6%となっています。



⑥機能訓練指導員

在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「適当」の割合が 31.8%となっています。

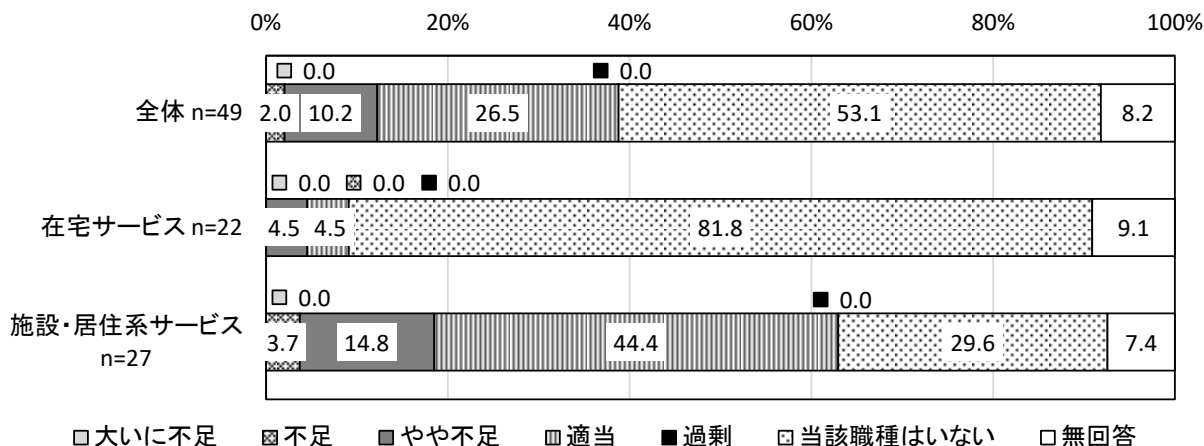
施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「やや不足」の割合が 22.2%となっています。



⑦ケアマネジャー

在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が81.8%と最も高く、次いで「やや不足」「適当」の割合がそれぞれ4.5%となっています。

施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が44.4%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が29.6%となっています。

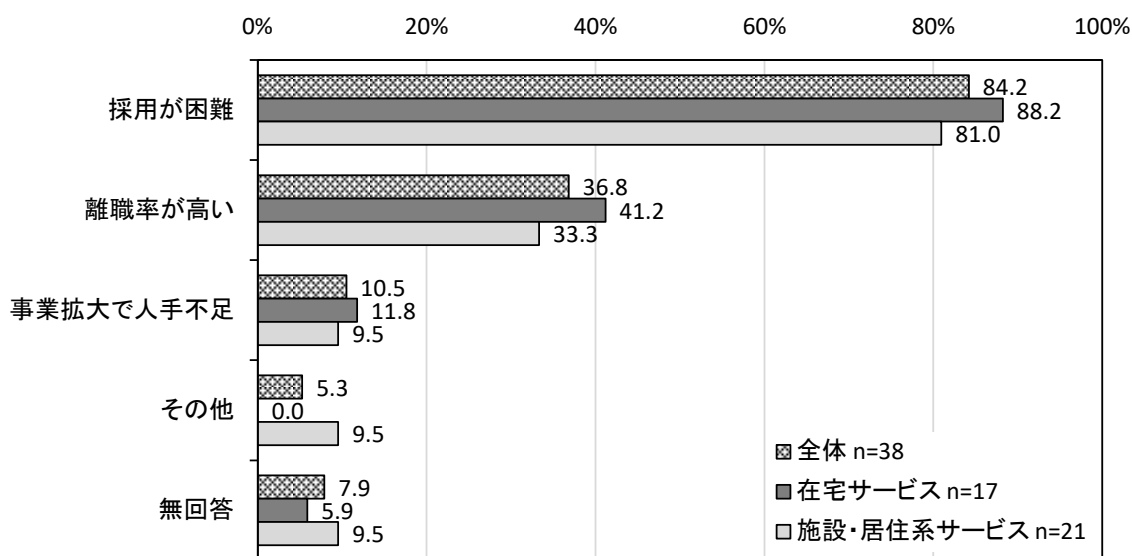


【問5で「大いに不足」「不足」「やや不足」の事業所のみ】

問6 不足している理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「採用が困難」の割合が88.2%と最も高く、次いで「離職率が高い」の割合が41.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「採用が困難」の割合が81.0%と最も高く、次いで「離職率が高い」の割合が33.3%となっています。

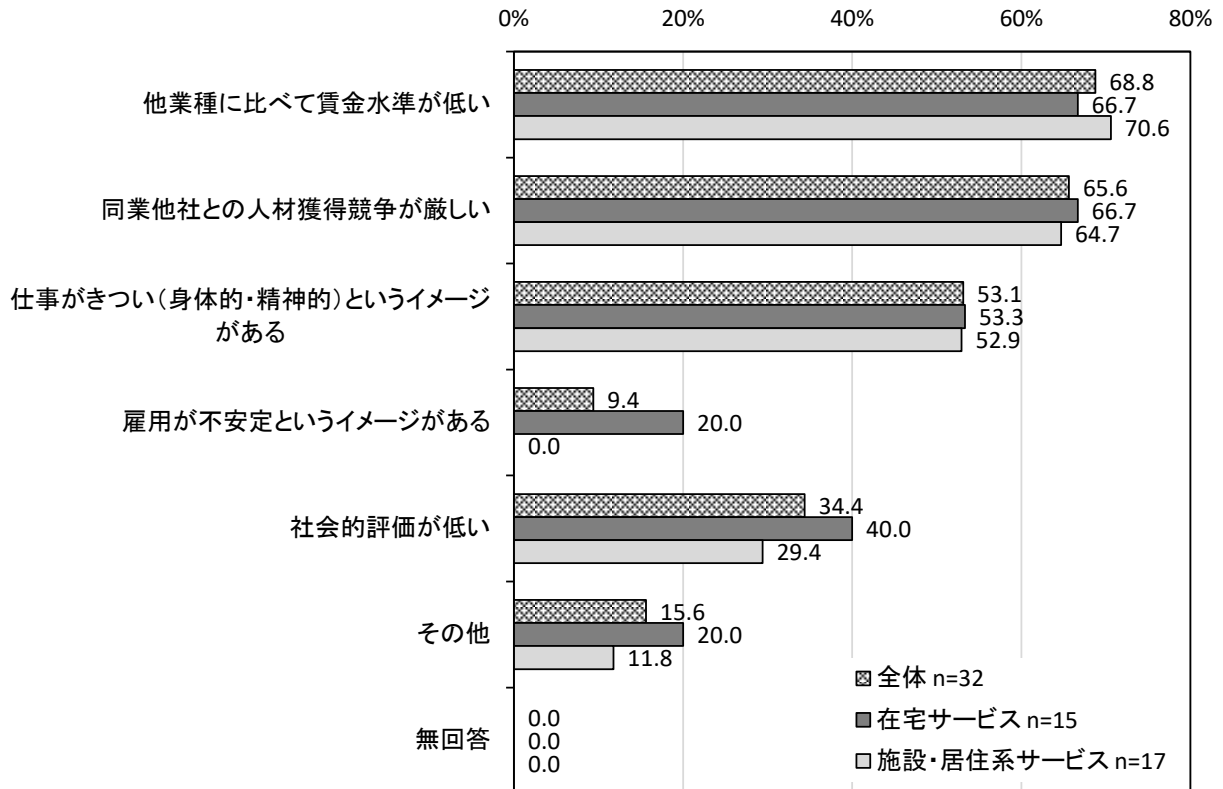


【問6で「採用が困難」の事業所のみ】

問7 採用が困難な理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「他業種に比べて賃金水準が低い」「同業他社との人材獲得競争が厳しい」の割合がそれぞれ66.7%と最も高く、次いで「仕事がきつい（身体的・精神的）というイメージがある」の割合が53.3%となっています。

施設・居住系サービスでは、「他業種に比べて賃金水準が低い」の割合が70.6%と最も高く、次いで「同業他社との人材獲得競争が厳しい」の割合が64.7%となっています。

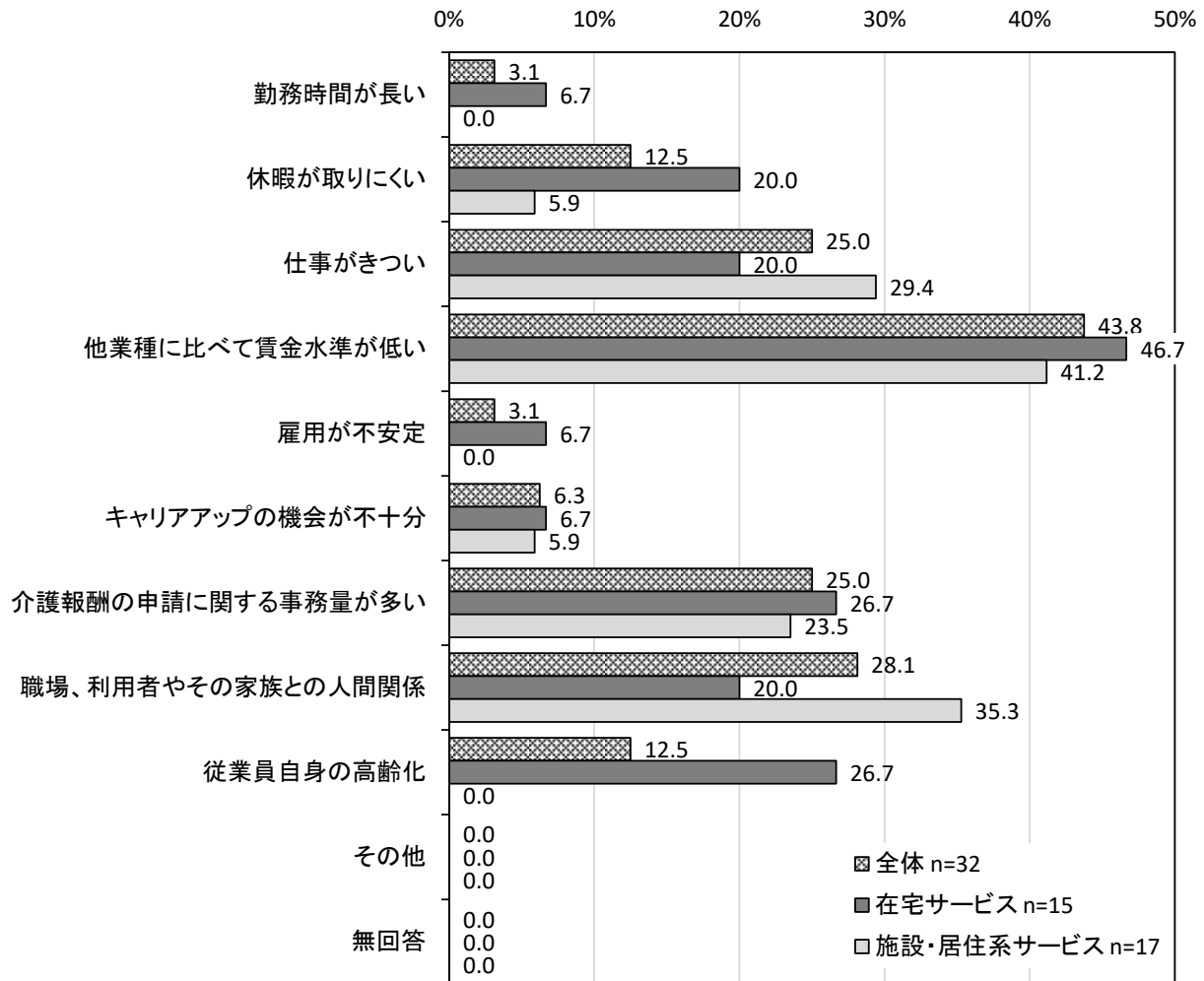


【問6で「採用が困難」の事業所のみ】

問8 離職率が高い理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「他業種に比べて賃金水準が低い」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「介護報酬の申請に関する事務量が多い」「従業員自身の高齢化」の割合がそれぞれ 26.7%となっています。

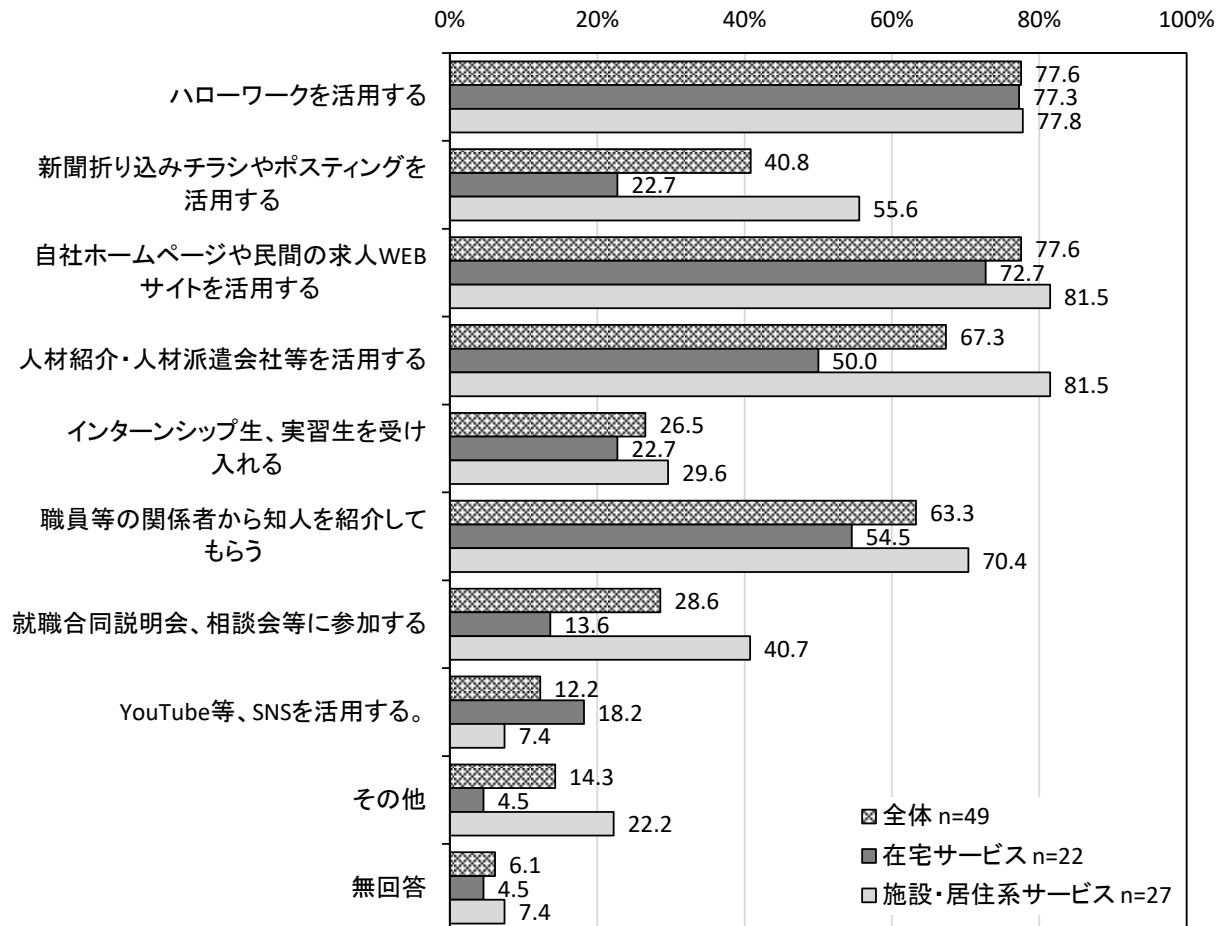
施設・居住系サービスでは、「他業種に比べて賃金水準が低い」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「職場、利用者やその家族との人間関係」の割合が 35.3%となっています。



問9 従業員の採用に関して、どのような取組をしていますか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「ハローワークを活用する」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「自社ホームページや民間の求人WEBサイトを活用する」の割合が72.7%となっています。

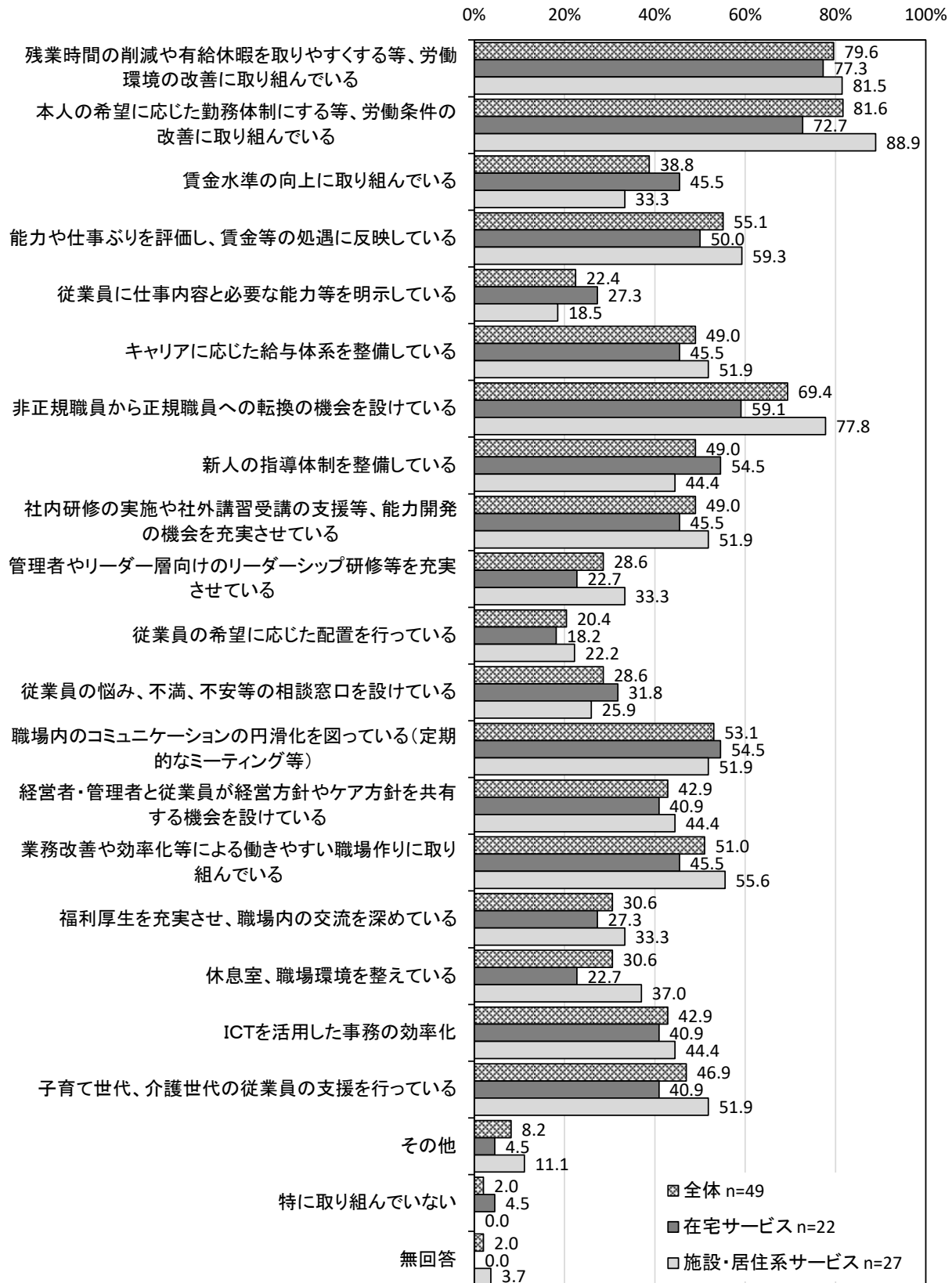
施設・居住系サービスでは、「自社ホームページや民間の求人WEBサイトを活用する」「人材紹介・人材派遣会社等を活用する」の割合がそれぞれ81.5%と最も高く、次いで「ハローワークを活用する」の割合が77.8%となっています。



問 10 従業員の離職防止や定着促進を図るためにどのような取組をしていますか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「残業時間の削減や有給休暇を取りやすくする等、労働環境の改善に取り組んでいる」の割合が77.3%と最も高く、次いで「本人の希望に応じた勤務体制にする等、労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が72.7%となっています。

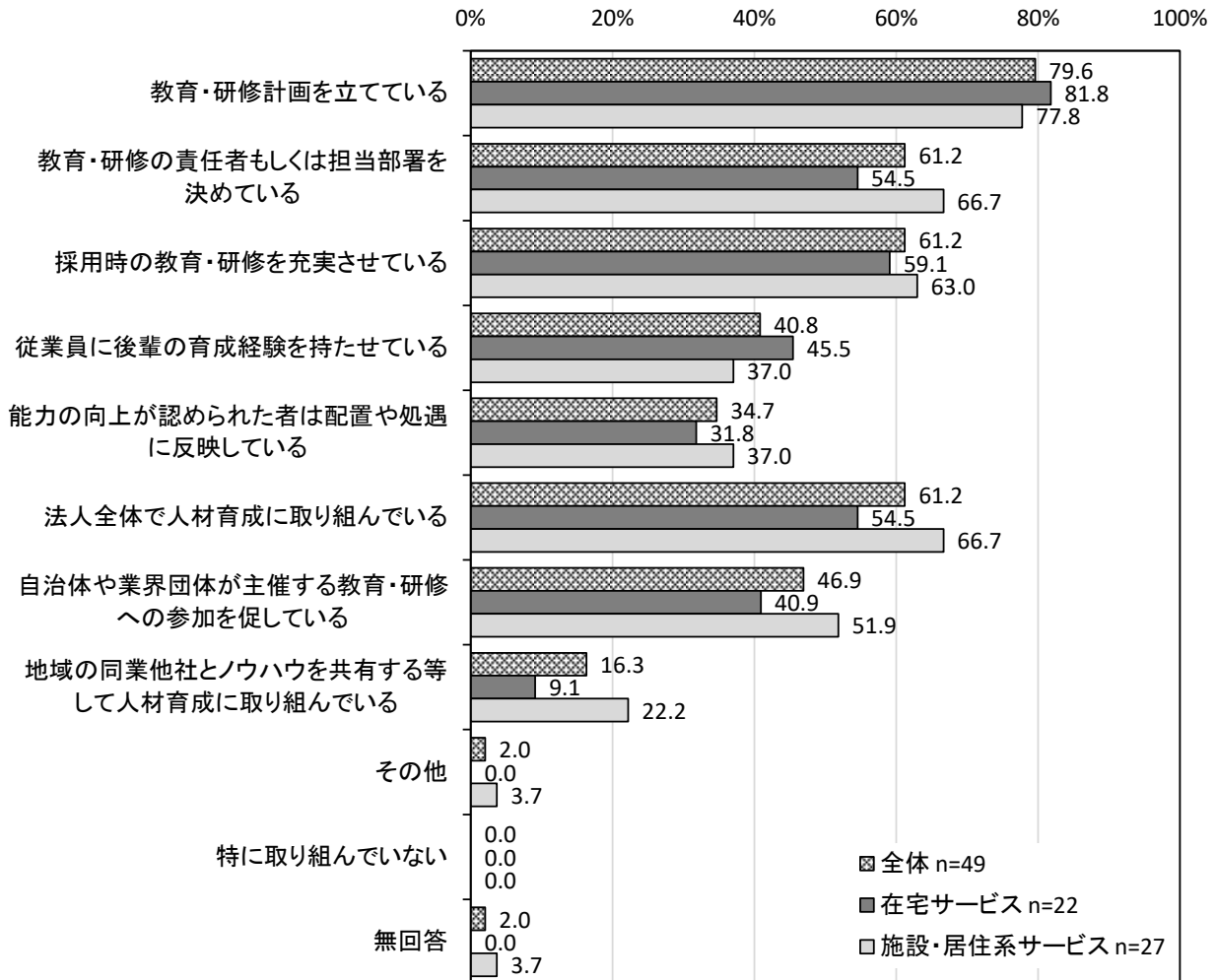
施設・居住系サービスでは、「本人の希望に応じた勤務体制にする等、労働条件の改善に取り組んでいる」の割合が88.9%と最も高く、次いで「残業時間の削減や有給休暇を取りやすくする等、労働環境の改善に取り組んでいる」の割合が81.5%となっています。



問 11 従業員の人材育成について、どのような取組をしていますか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「教育・研修計画を立てている」の割合が81.8%と最も高く、次いで「採用時の教育・研修を充実させている」の割合が59.1%となっています。

施設・居住系サービスでは、「教育・研修計画を立てている」の割合が77.8%と最も高く、次いで「教育・研修の責任者もしくは担当部署を決めている」「法人全体で人材育成に取り組んでいる」「法人全体で人材育成に取り組んでいる」の割合がそれぞれ66.7%となっています。



（3）今後の介護人材の確保について

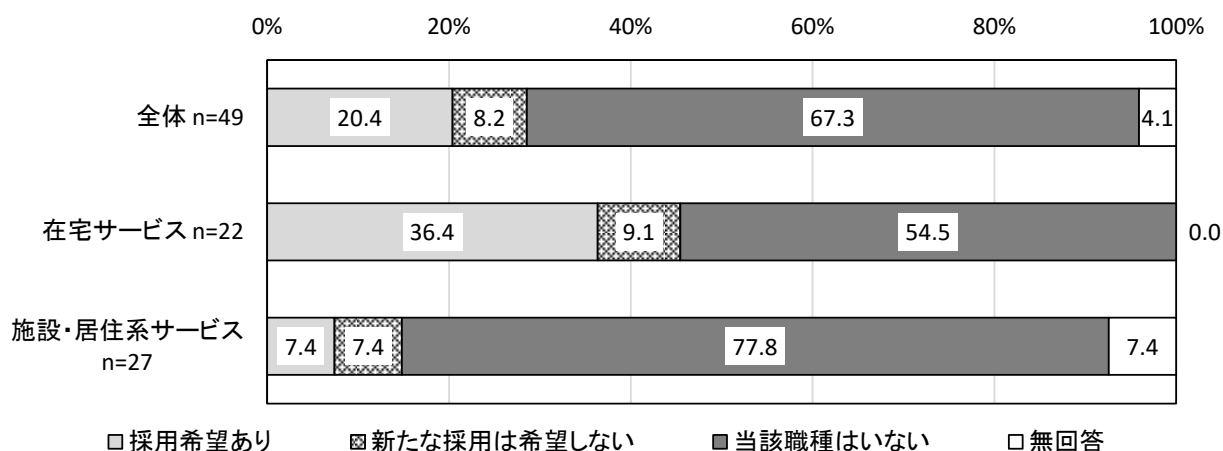
※市内の全ての施設・居住系サービス、通所・短期入所系サービス、訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所を対象に調査

問 12 職種ごとの従業員の採用について、今後の希望をお答えください。
（人数を記入またはあてはまるものに○）

①訪問介護員

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が36.4%、「新たな採用は希望しない」の割合が9.1%となっています。

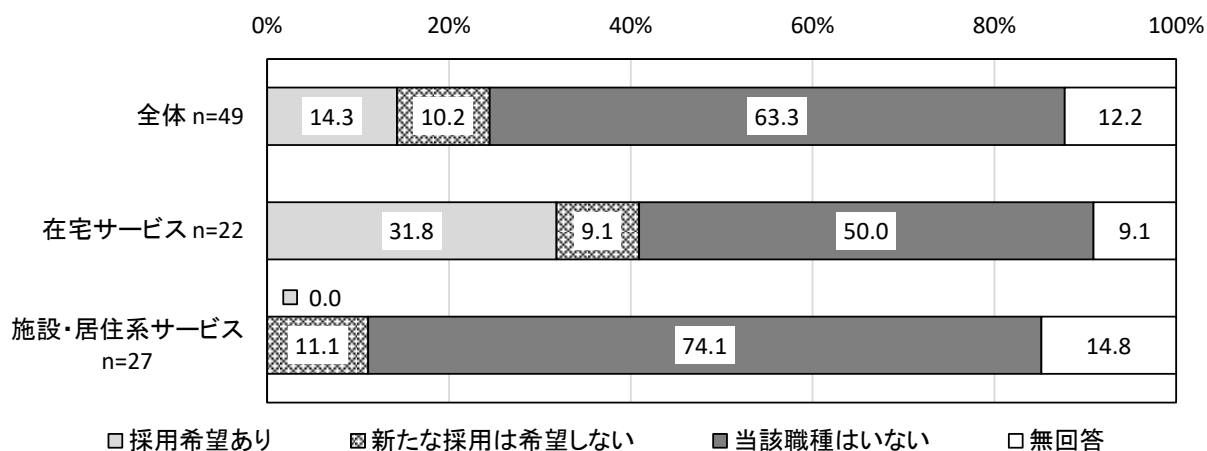
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」「新たな採用は希望しない」の割合がそれぞれ7.4%となっています。



②サービス提供責任者

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が31.8%、「新たな採用は希望しない」の割合が9.1%となっています。

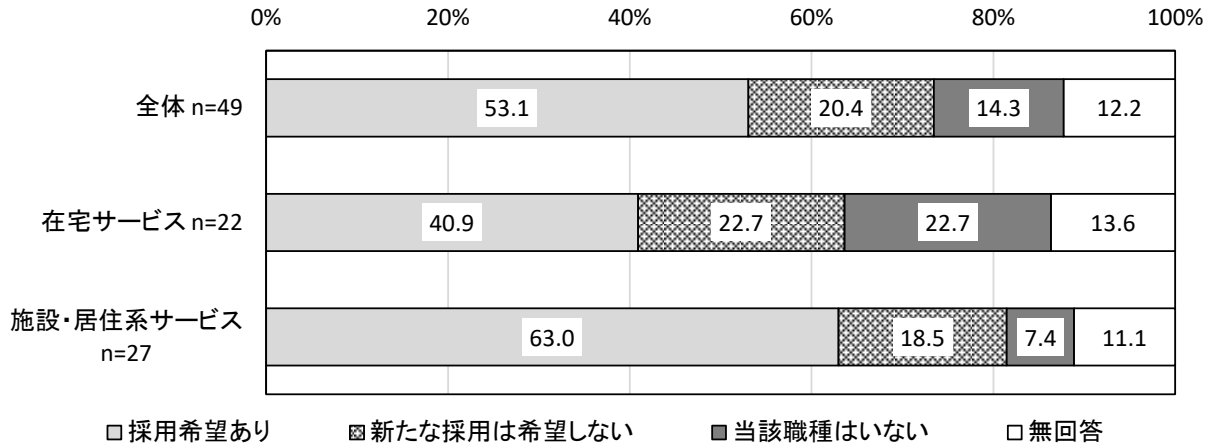
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が0.0%、「新たな採用は希望しない」の割合が11.1%となっています。



③介護職員

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が40.9%、「新たな採用は希望しない」の割合が22.7%となっています。

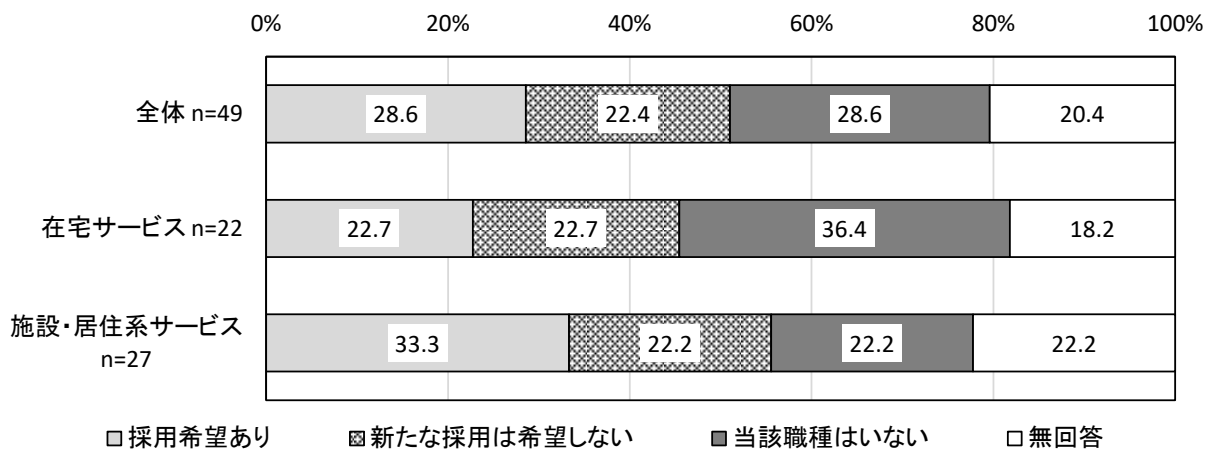
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が63.0%、「新たな採用は希望しない」の割合が18.5%となっています。



④看護職員

在宅サービスでは、「採用希望あり」「新たな採用は希望しない」の割合がそれぞれ22.7%となっています。

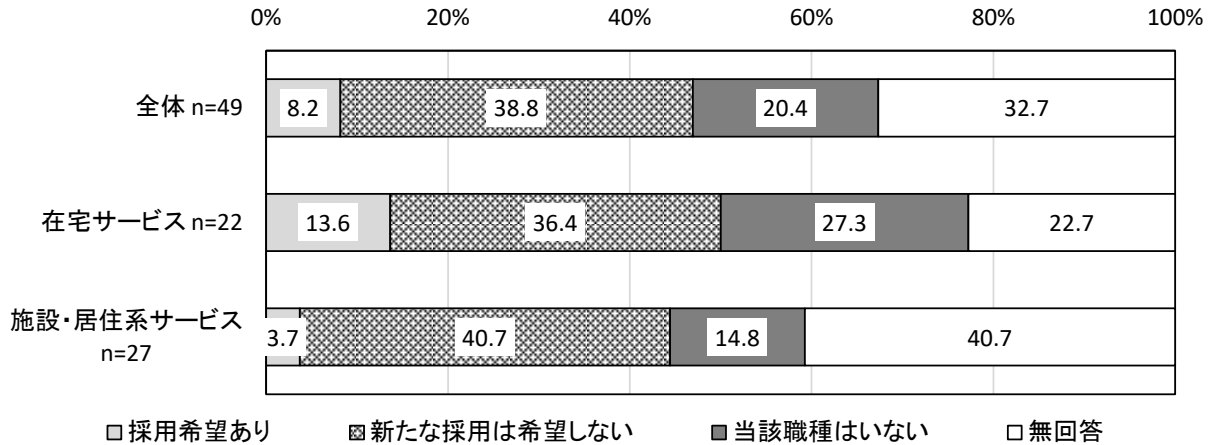
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が33.3%、「新たな採用は希望しない」の割合が22.2%となっています。



⑤生活相談員

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が13.6%、「新たな採用は希望しない」の割合が36.4%となっています。

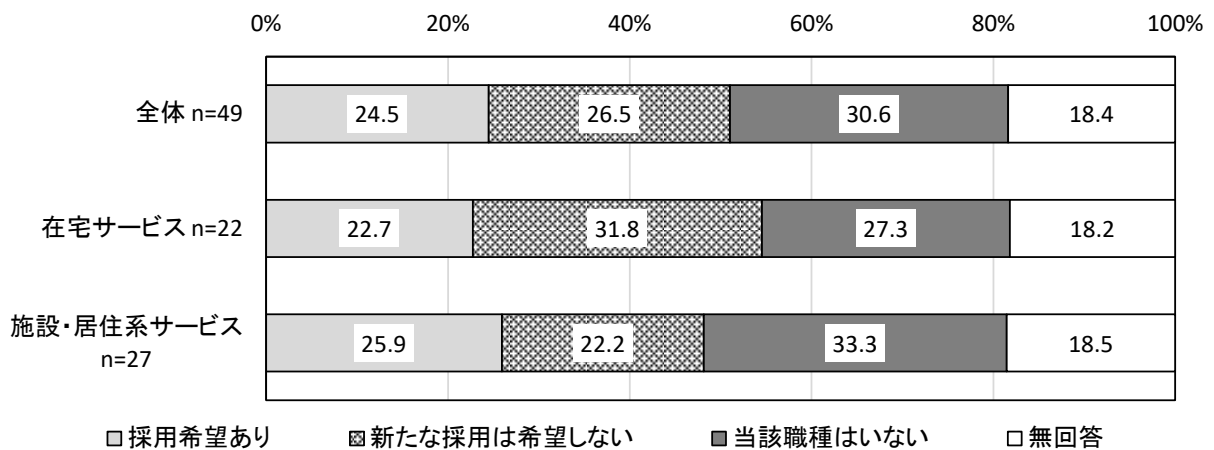
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が3.7%、「新たな採用は希望しない」の割合が40.7%となっています。



⑥機能訓練指導員

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が22.7%、「新たな採用は希望しない」の割合が31.8%となっています。

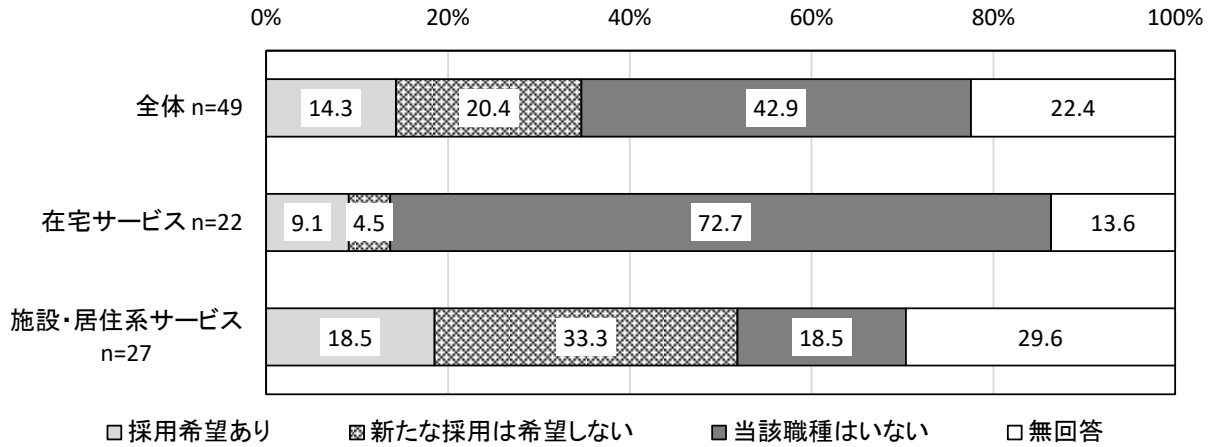
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が25.9%、「新たな採用は希望しない」の割合が22.2%となっています。



⑦ケアマネジャー

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が9.1%、「新たな採用は希望しない」の割合が4.5%となっています。

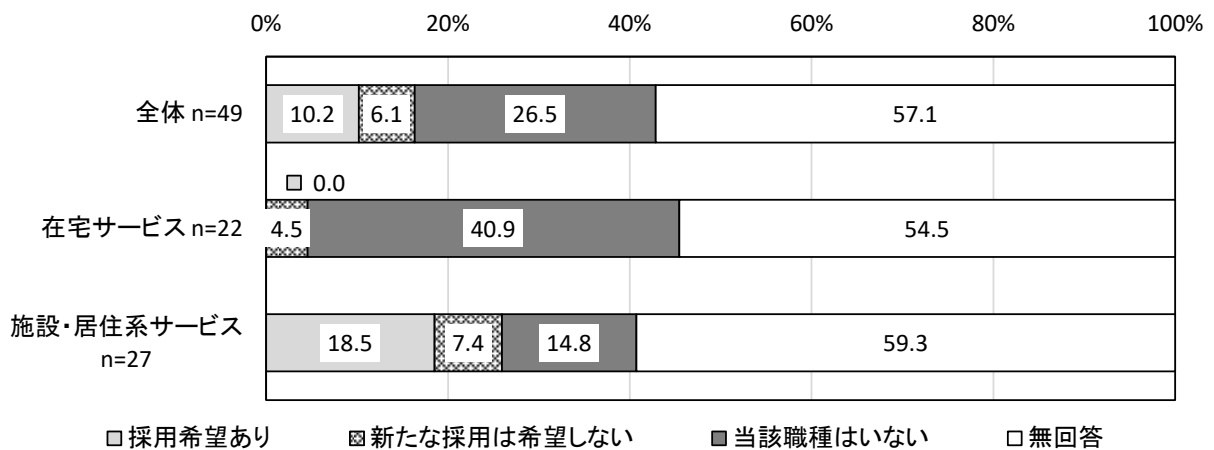
施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が18.5%、「新たな採用は希望しない」の割合が33.3%となっています。



⑧その他

在宅サービスでは、「採用希望あり」の割合が0.0%、「新たな採用は希望しない」の割合が4.5%となっています。

施設・居住系サービスでは、「採用希望あり」の割合が18.5%、「新たな採用は希望しない」の割合が7.4%となっています。

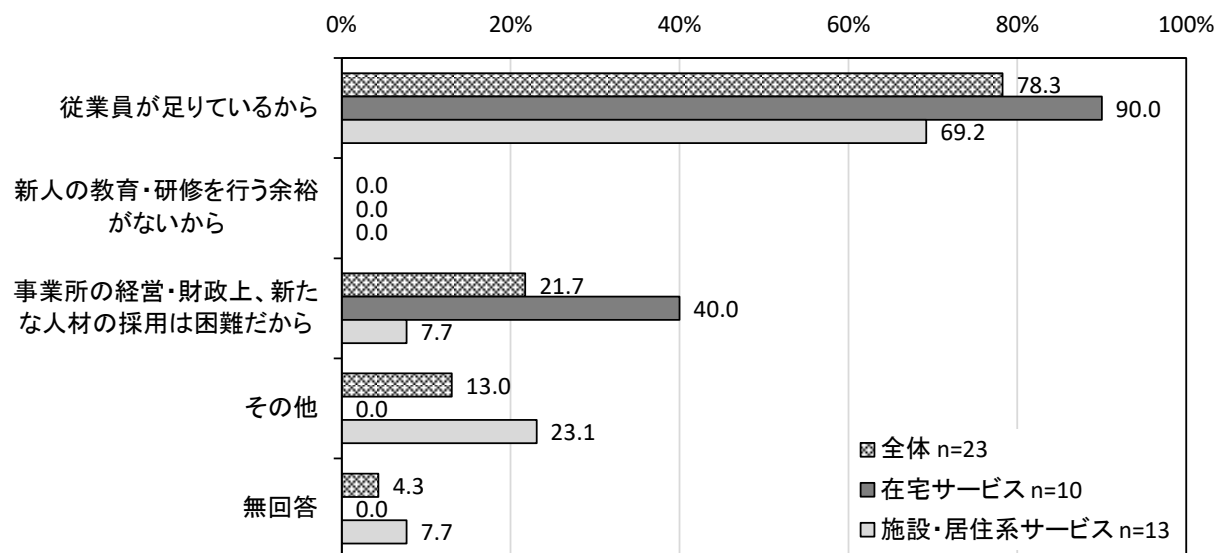


【問 12 で「新たな採用は希望しない」の事業所のみ】

問 13 希望しない理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「従業員が足りているから」の割合が 90.0%と最も高く、次いで「事業所の経営・財政上、新たな人材の採用は困難だから」の割合が 40.0%となっています。

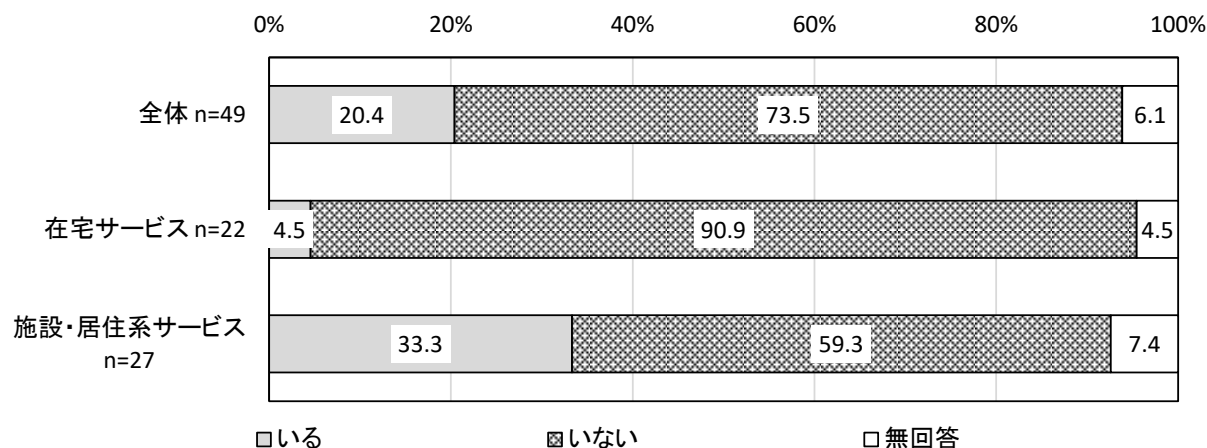
施設・居住系サービスでは、「従業員が足りているから」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「事業所の経営・財政上、新たな人材の採用は困難だから」の割合が 7.7%となっています。



問 14 現在、外国人人材を採用していますか。（〇は1つ）

在宅サービスでは、「いる」の割合が 4.5%、「いない」の割合が 90.9%となっています。

施設・居住系サービスでは、「いる」の割合が 33.3%、「いない」の割合が 59.3%となっています。



【問 14 で「いる」の事業所のみ】

問 15 外国人人材の受入れ形態はどれですか。（複数回答可）

受入れ形態別の合計人数をみると、「外国人技能実習制度による受入れ」が 18 人と最も多く、次いで「特定技能1号」の在留資格取得者が 13 人となっています。なお、国別の内訳は以下のとおりとなっています。

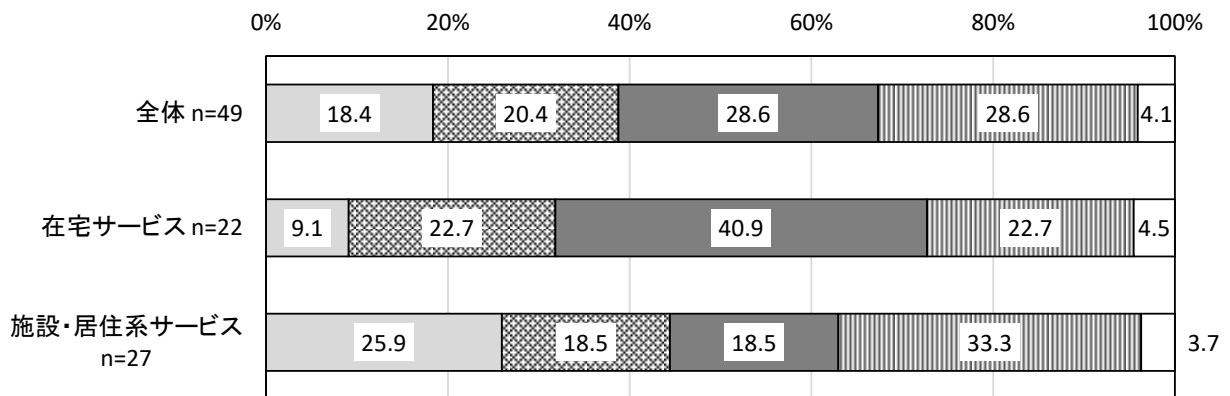
■全回答合計人数

単位：人	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ネパール	中国	韓国	その他	合計
EPA(経済連携協定)による受入れ	0	0	0	/	/	/	/	0
外国人技能実習制度による受入れ	6	0	12	0	0	0	0	18
「介護」の在留資格取得者	0	0	1	0	0	0	0	1
「特定技能1号」の在留資格取得者	2	0	2	0	0	0	9	13
留学生	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(永住者、定住者等)	0	2	0	0	1	1	3	7

問 16 今後、外国人人材の活用についてどのようにお考えですか。（〇は1つ）

在宅サービスでは、「関心はあるが検討はしていない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「活用を検討している」「活用する予定はない」の割合がそれぞれ 22.7%となっています。

施設・居住系サービスでは、「活用する予定はない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「活用予定」の割合が 25.9%となっています。



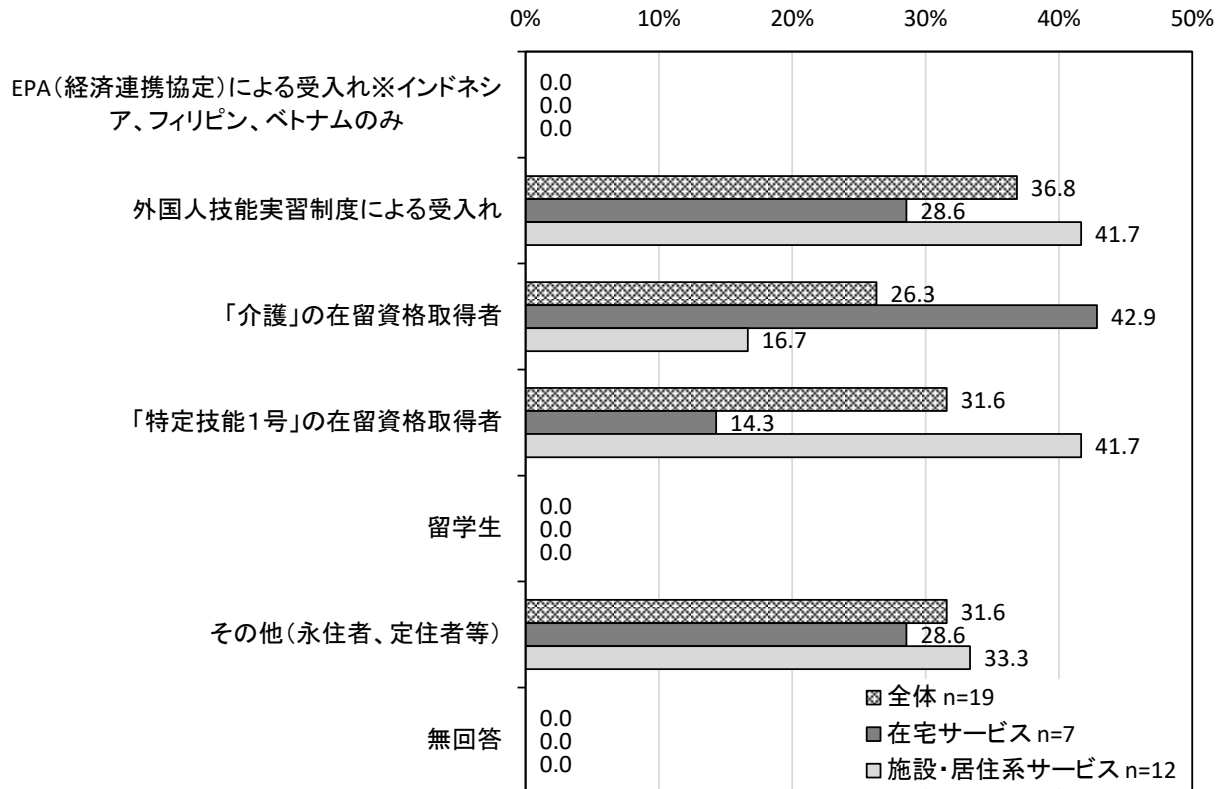
□ 活用予定 ▨ 活用を検討している ■ 関心はあるが検討はしていない ▩ 活用する予定はない □ 無回答

【問 16 で「活用予定」「活用を検討」の事業所のみ】

問 17 受入れ形態をお答えください。（複数回答可）

在宅サービスでは、「介護」の在留資格取得者の割合が 42.9%と最も高く、次いで「外国人技能実習制度による受入れ」の割合が 28.6%となっています。

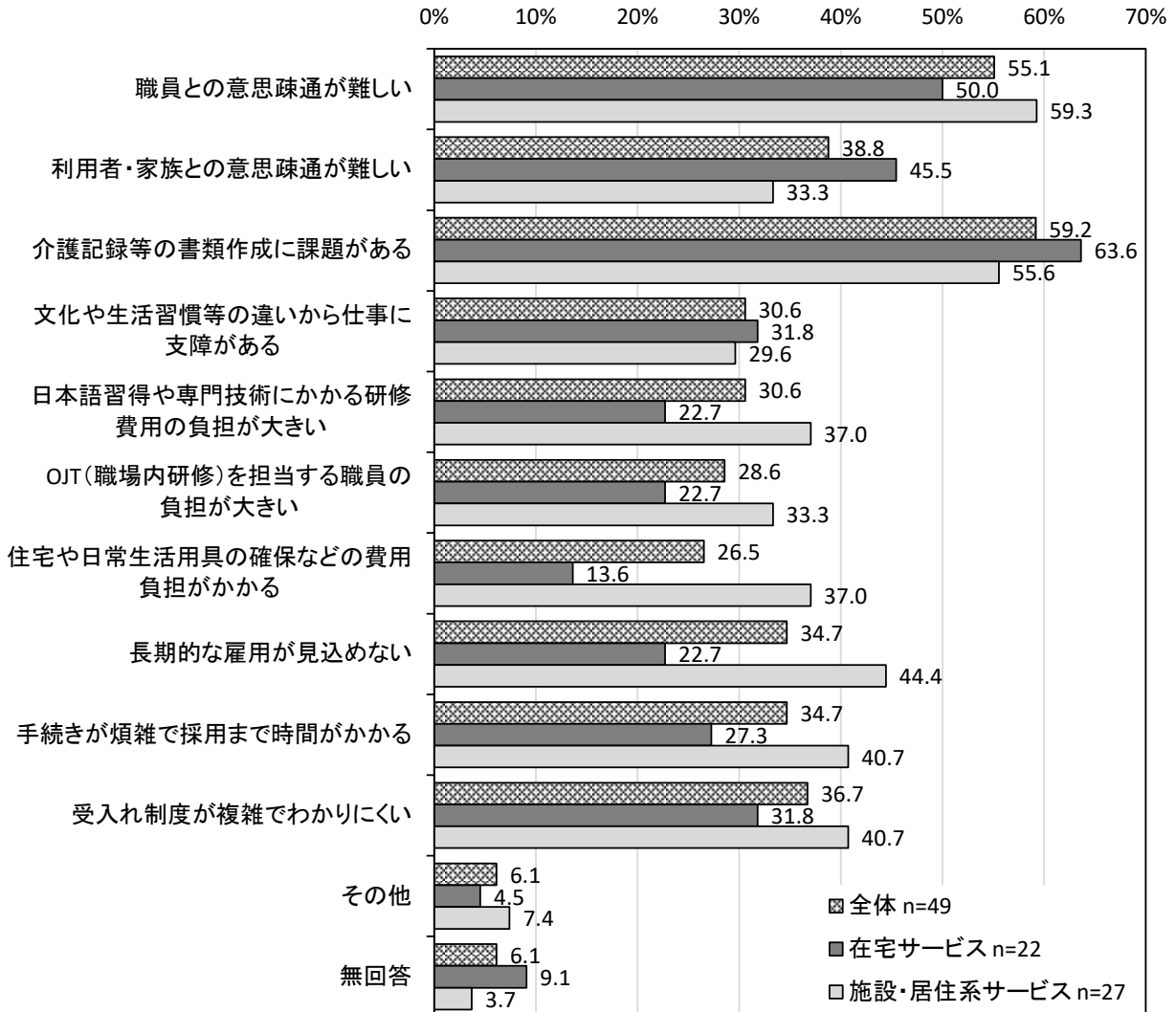
施設・居住系サービスでは、「外国人技能実習制度による受入れ」「特定技能 1 号」の在留資格取得者の割合がそれぞれ 41.7%と最も高く、次いで「介護」の在留資格取得者の割合が 16.7%となっています。



問 18 外国人材の活用について、どのような課題があると思いますか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「介護記録等の書類作成に課題がある」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「職員との意思疎通が難しい」の割合が 50.0%となっています。

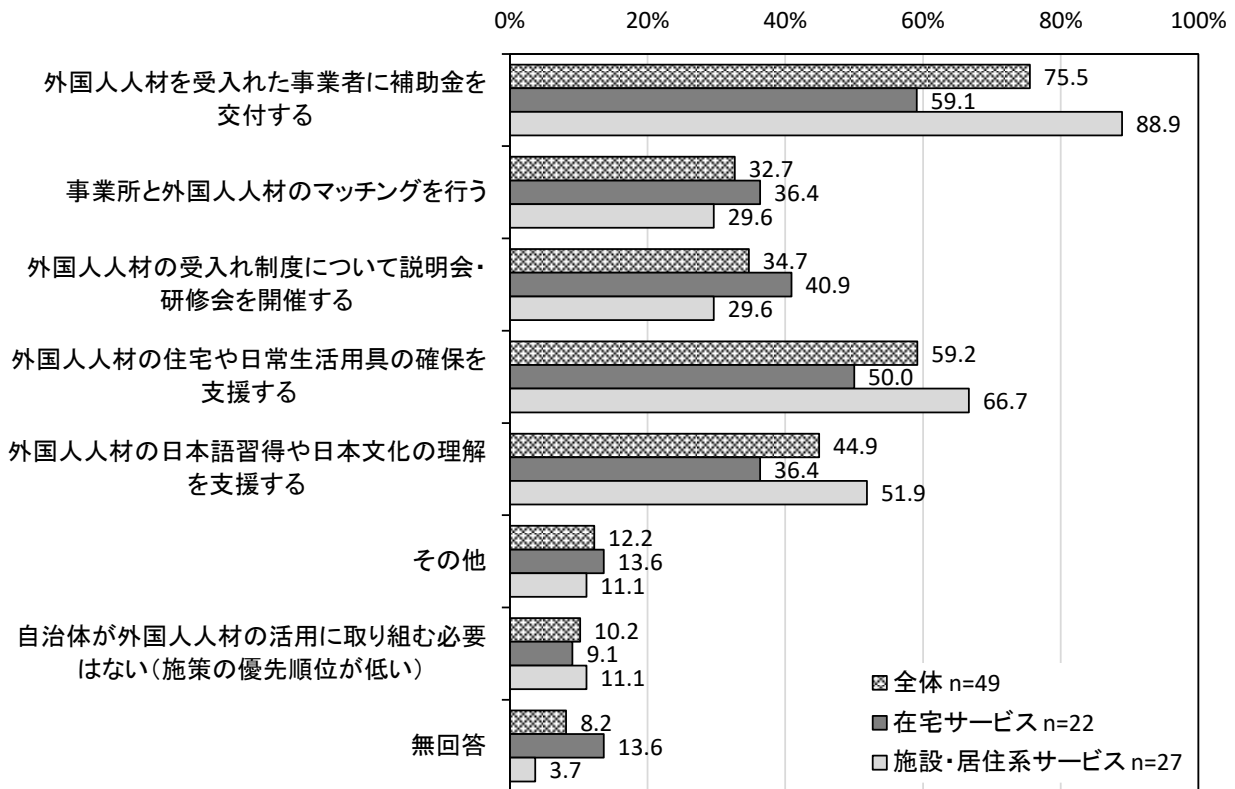
施設・居住系サービスでは、「職員との意思疎通が難しい」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「介護記録等の書類作成に課題がある」の割合が 55.6%となっています。



問 19 外国人人材の活用について、自治体に取り組むべき施策は何だと思えますか。（複数回答可）
※回答が複数の場合、特に重要だと思うものに◎をつけてください。

在宅サービスでは、「外国人人材を受入れた事業者に補助金を交付する」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する」の割合が 50.0%となっています。

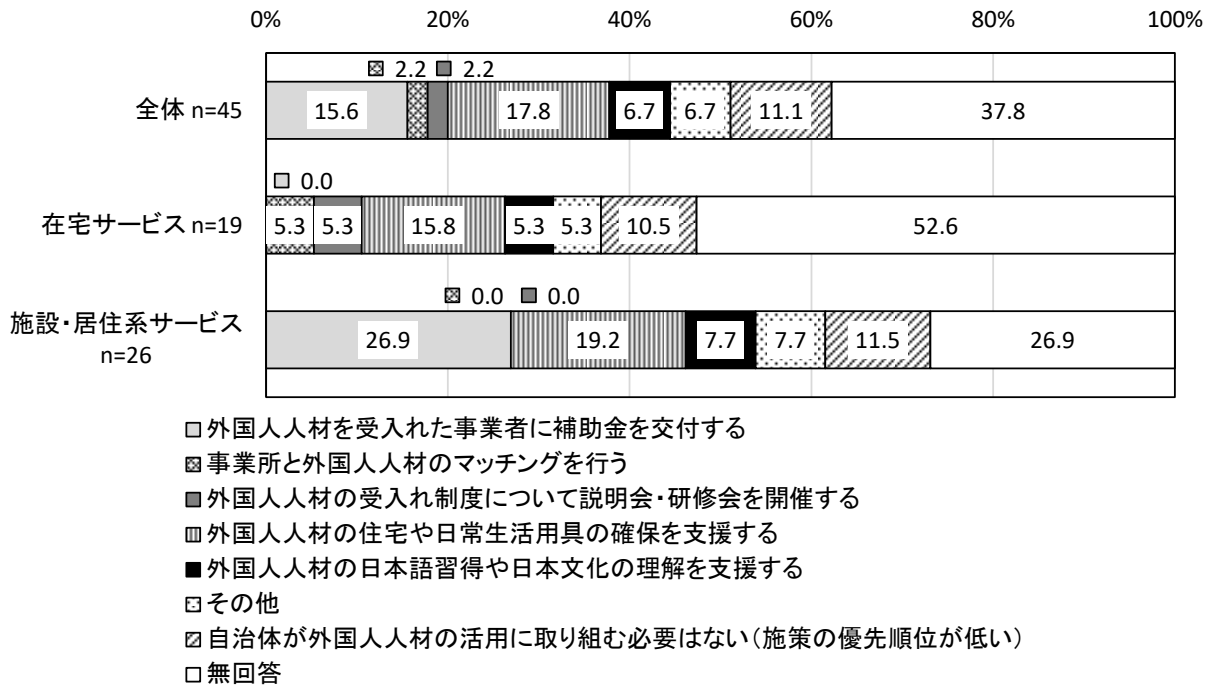
施設・居住系サービスでは、「外国人人材を受入れた事業者に補助金を交付する」の割合が 88.9%と最も高く、次いで「外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する」の割合が 66.7%となっています。



■特に重要だと思うもの

在宅サービスでは、「外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する」の割合が 15.8%と最も高く、次いで「自治体が外国人人材の活用に取り組む必要はない（施策の優先順位が低い）」の割合が 10.5%となっています。

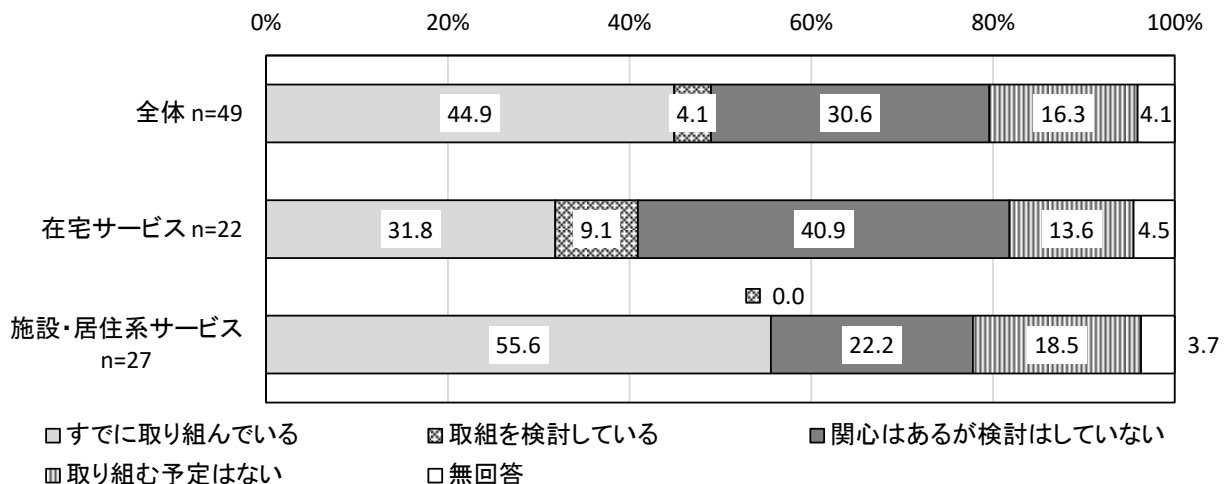
施設・居住系サービスでは、「外国人人材を受入れた事業者に補助金を交付する」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する」の割合が 19.2%となっています。



問 20 現在、介護人材不足の中で元気高齢者（アクティブシニア）の就労支援が注目されています。貴事業所の取組状況について教えてください。（〇は1つ）

在宅サービスでは、「関心はあるが検討はしていない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「すでに取り組んでいる」の割合が 31.8%となっています。

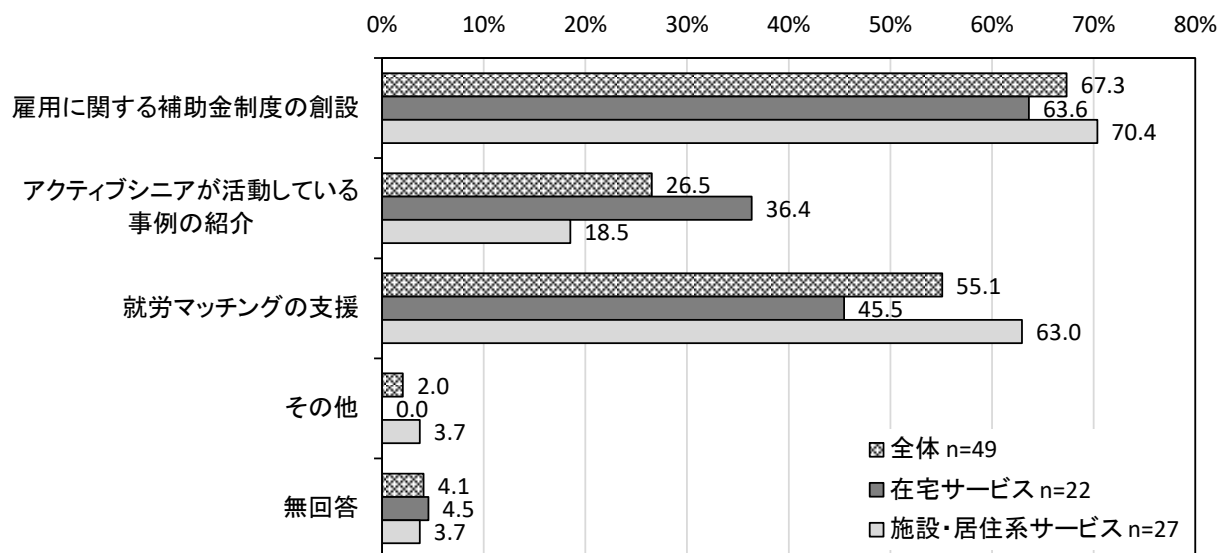
施設・居住系サービスでは、「すでに取り組んでいる」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「関心はあるが検討はしていない」の割合が 22.2%となっています。



問 21 アクティブシニアの雇用支援について、自治体に取り組むべき施策はなんだと思いますか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「雇用に関する補助金制度の創設」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「就労マッチングの支援」の割合が 45.5%となっています。

施設・居住系サービスでは、「雇用に関する補助金制度の創設」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「就労マッチングの支援」の割合が 63.0%となっています。



問 22 上尾市では、現在介護人材確保策として、入門的研修、喀痰吸引等研修、外国人技能実習生雇用支援を行っています。これらの取組の評価及びこれから市が行う事業として、介護人材確保につながる取組として挙げられるものをお書きください。

■取組の評価に関する主な意見

- 入門的研修は新たな介護人材を確保する意味で有効だと考えます。
- 入門的研修、外国人技能実習生雇用支援は人材確保につながる。喀痰吸引等研修は事業所として助かる。
- 取組としては、人材確保にある程度繋がっていると思う。しかし、直接的な影響を受けたというイメージはない。

■これから市が行う事業に関する主な意見

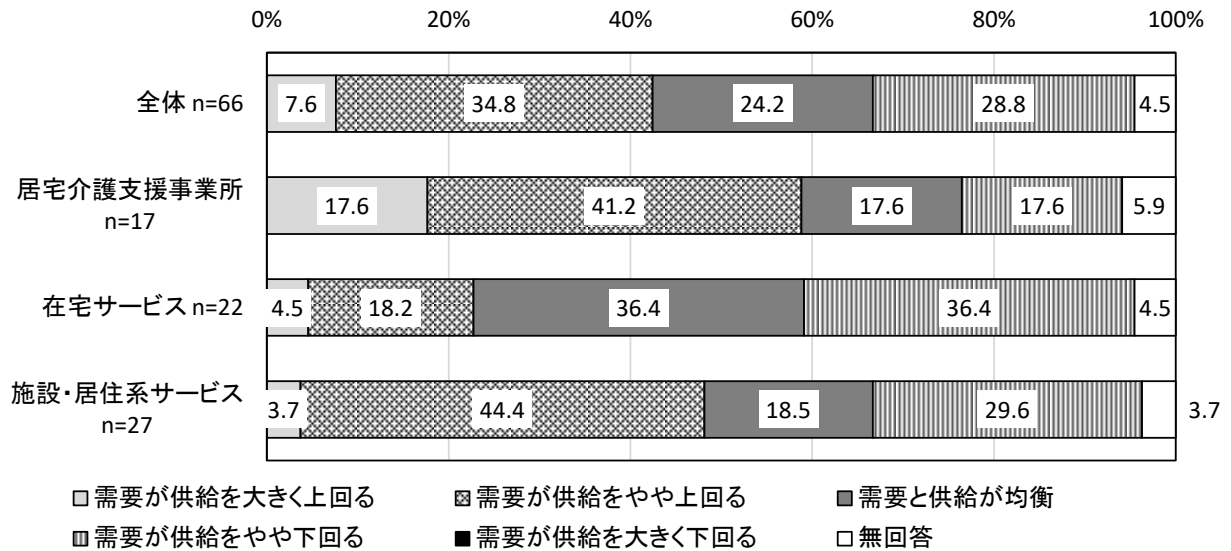
- 入門的研修を行い、就労マッチングの支援を行うのが良いと思う。
- 人材確保のためのPR活動。
- 子育て世代の潜在介護士などにも積極的にアピールしてほしい。
- 小中高向けに介護福祉の仕事をパンフレットで配布。
- 多様な働き方モデル事業。
- 外国人人材向けの初任者研修の支援を行ってほしい。
- 各事業所の特色を説明し、理解して施設を選べるようにする研修。
- 定期的な人材紹介をしてくれる仕組みがあるとありがたいと思う。

（４）事業所の運営について

問 23 事業所の需要（利用希望者）と供給（提供できるサービス量）をどのように認識していますか。
（〇は1つ）

居宅介護支援事業所では、「需要が供給をやや上回る」の割合が41.2%と最も高くなっています。
在宅サービスでは、「需要と供給が均衡」「需要が供給をやや下回る」の割合がそれぞれ36.4%と
なっています。

施設・居住系サービスでは、「需要が供給をやや上回る」の割合が44.4%と最も高く、次いで「需
要が供給をやや下回る」の割合が29.6%となっています。

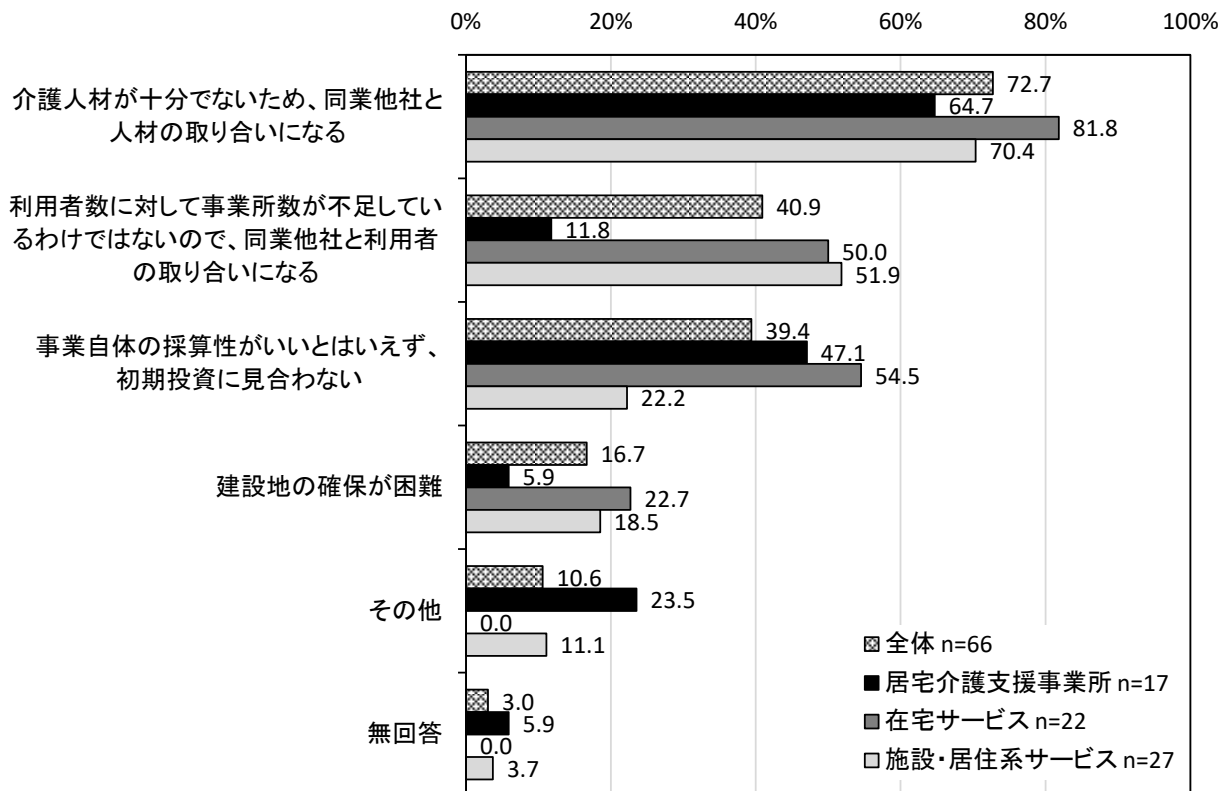


**問 24 今後、市内に新規事業所を開設すると仮定したら、何が課題だと思いますか。（複数回答可）
※回答が複数の場合、特に重要だと思ふものに◎をつけてください。**

居宅介護支援事業所では、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が64.7%と最も高く、次いで「事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない」の割合が47.1%となっています。

在宅サービスでは、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が81.8%と最も高く、次いで「事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない」の割合が54.5%となっています。

施設・居住系サービスでは、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が70.4%と最も高く、次いで「利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる」の割合が51.9%となっています。

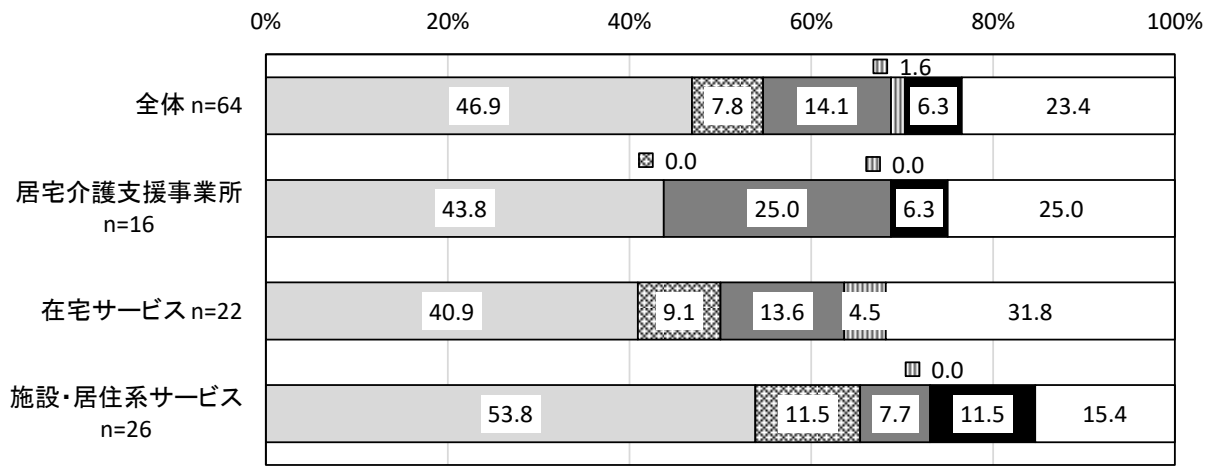


■特に重要だと思うもの

居宅介護支援事業所では、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が43.8%と最も高く、次いで「事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない」の割合が25.0%となっています。

在宅サービスでは、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が40.9%と最も高く、次いで「事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない」の割合が13.6%となっています。

施設・居住系サービスでは、「介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる」の割合が53.8%と最も高く、次いで「利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる」の割合が11.5%となっています。



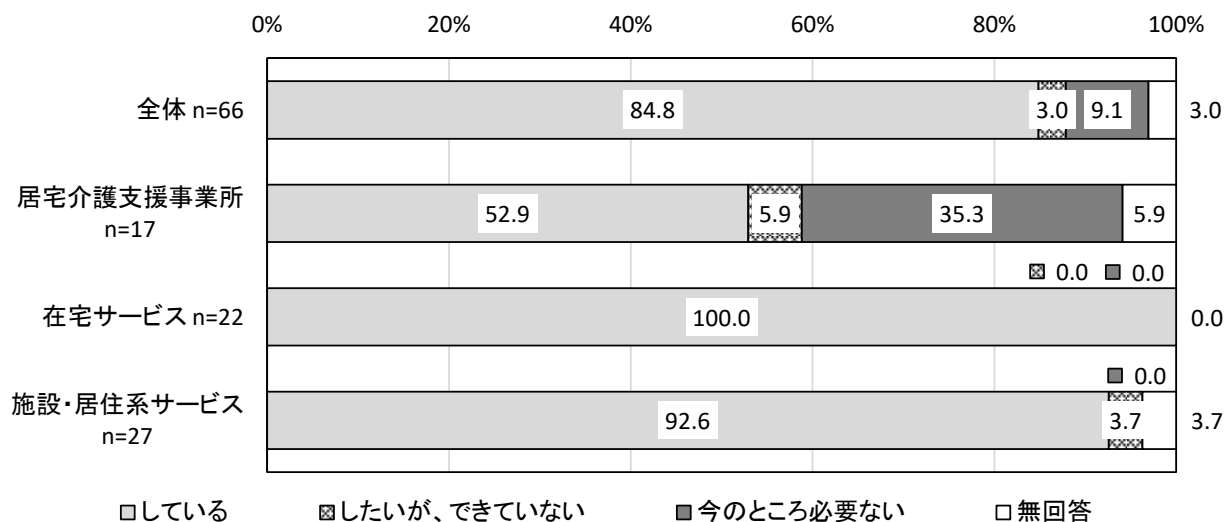
- 介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる
- ▣ 利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる
- 事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない
- ▤ 建設地の確保が困難
- その他
- 無回答

問 25 苦情に対応するため、苦情窓口への相談員の配置といった取組は行っていますか。（〇は1つ）

居宅介護支援事業所では、「している」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「今のところ必要ない」の割合が 35.3%となっています。

在宅サービスでは、「している」の割合が 100.0%となっています。

施設・居住系サービスでは、「している」の割合が 92.6%と最も高く、次いで「したいが、できていない」の割合が 3.7%となっています。



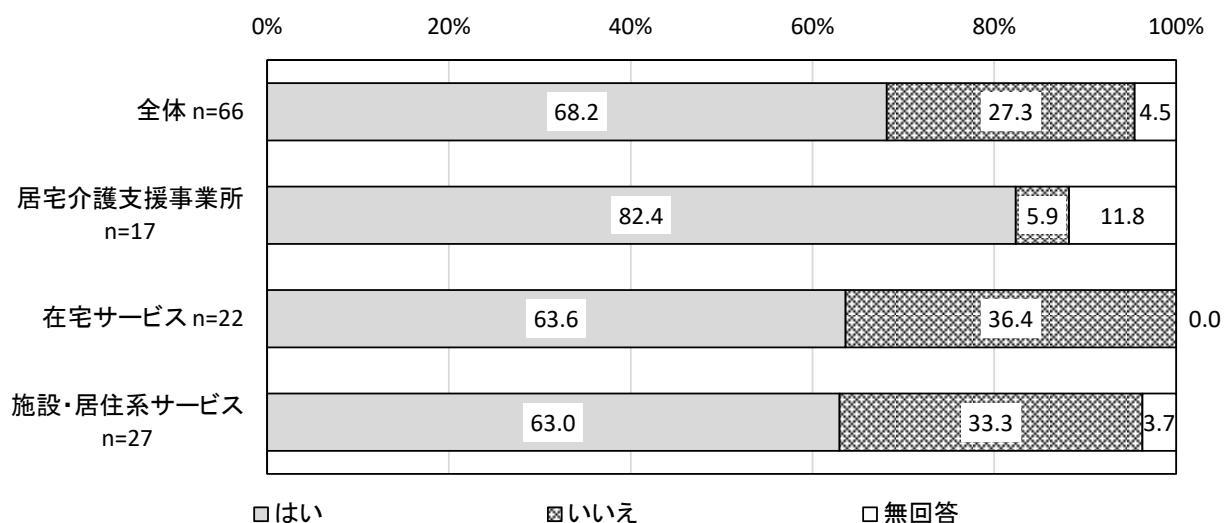
（5）認知症施策について

問 26 認知症の支援で困っていることはありますか。（〇は1つ）

居宅介護支援事業所では、「はい」の割合が 82.4%、「いいえ」の割合が 5.9%となっています。

在宅サービスでは、「はい」の割合が 63.6%、「いいえ」の割合が 36.4%となっています。

施設・居住系サービスでは、「はい」の割合が 63.0%、「いいえ」の割合が 33.3%となっています。



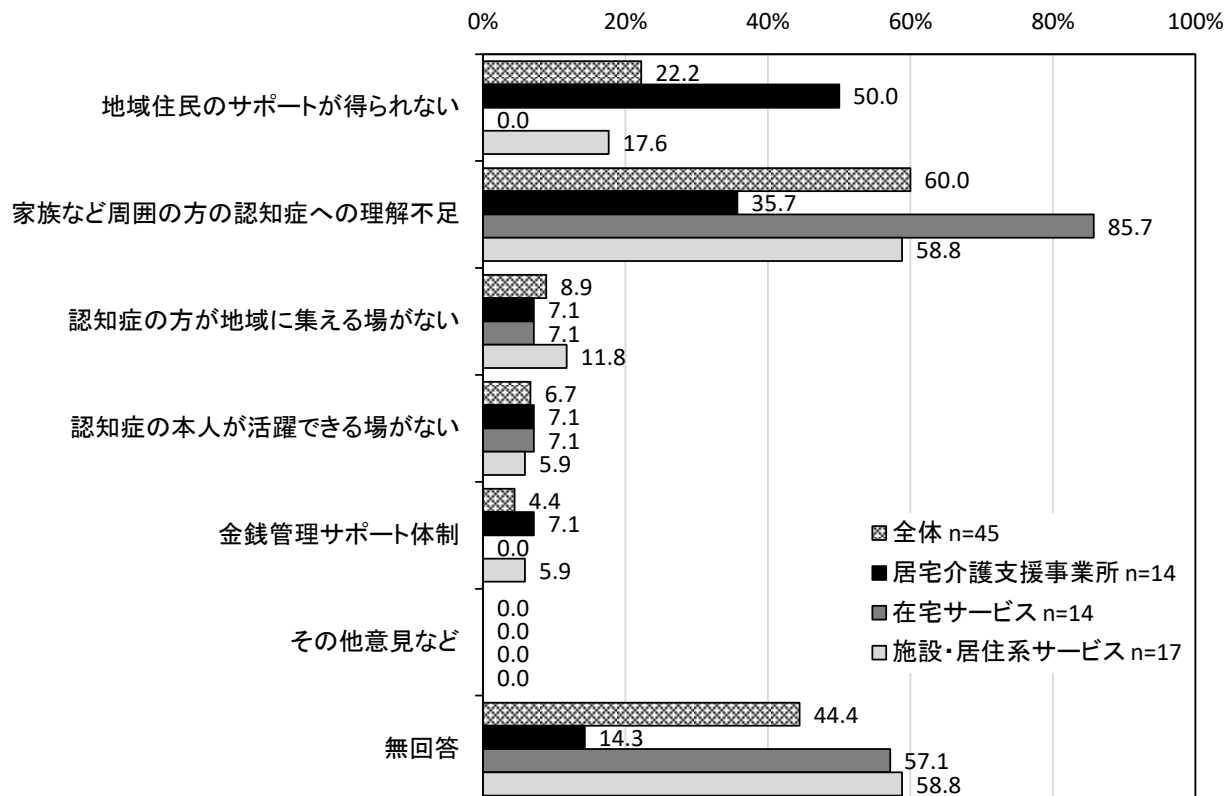
【問26で「はい」の事業所のみ】

問27 どのようなことに困っていますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「地域住民のサポートが得られない」の割合が50.0%と最も高く、次いで「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が35.7%となっています。

在宅サービスでは、「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が85.7%と最も高く、次いで「認知症の方が地域に集える場がない」「認知症の本人が活躍できる場がない」の割合がそれぞれ7.1%となっています。

施設・居住系サービスでは、「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が58.8%と最も高く、次いで「地域住民のサポートが得られない」の割合が17.6%となっています。

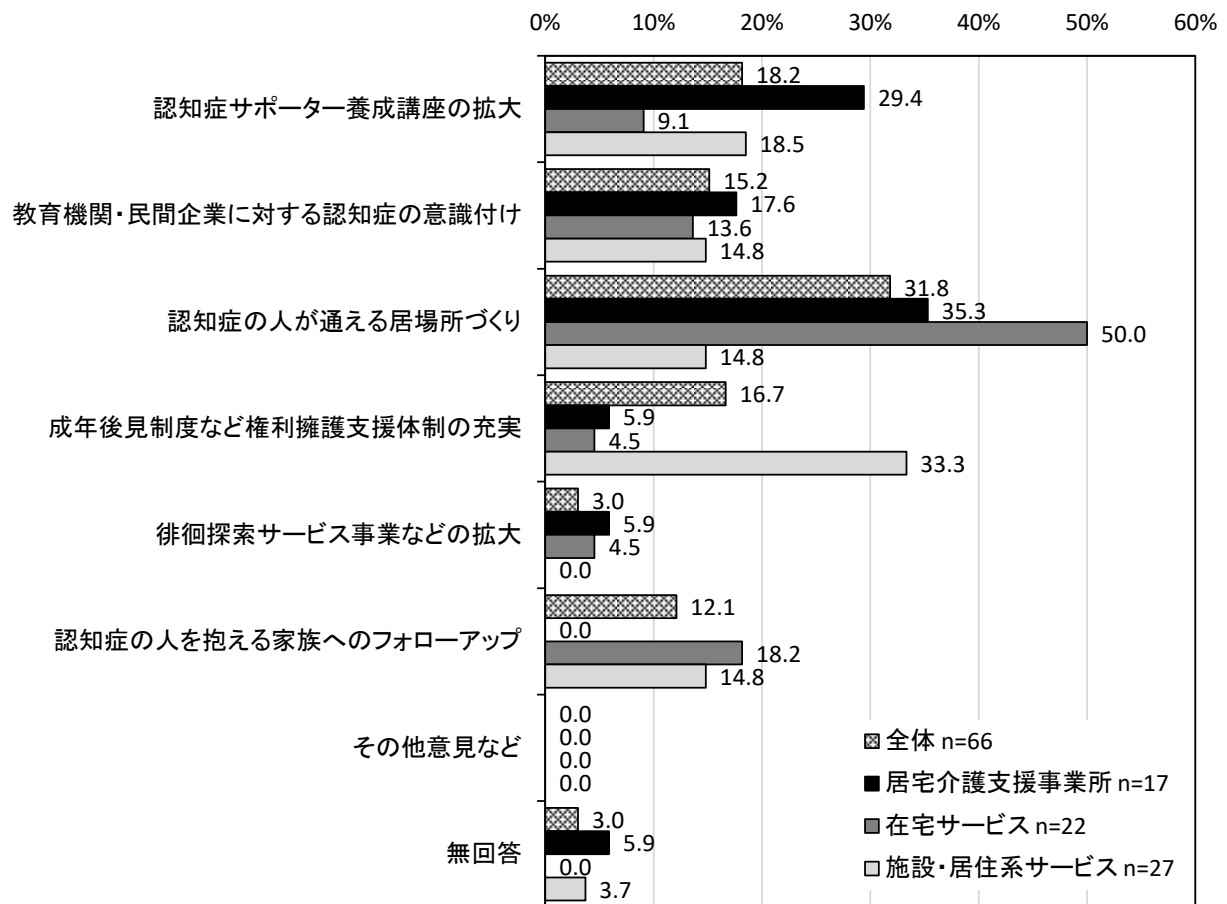


問 28 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「認知症の人が通える居場所づくり」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座の拡大」の割合が 29.4%となっています。

在宅サービスでは、「認知症の人が通える居場所づくり」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「認知症の人を抱える家族へのフォローアップ」の割合が 18.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度など権利擁護支援体制の充実」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座の拡大」の割合が 18.5%となっています。



（6）成年後見制度について

問 29 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。
（数値を入力）

成年後見制度の利用者について、合計、1事業所あたりの平均ともに、施設・居住系サービスの「後見」利用者が最も高くなっています。

■後見

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			46	42	0.9	0
区分	居宅介護支援事業所		11	9	0.8	1
	在宅サービス		15	7	0.5	0
	施設・居住系サービス		20	26	1.3	1

■保佐

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			38	8	0.2	0
区分	居宅介護支援事業所		8	3	0.4	0
	在宅サービス		14	3	0.2	0
	施設・居住系サービス		16	2	0.1	0

■補助

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			33	1	0.0	0
区分	居宅介護支援事業所		7	0	0.0	0
	在宅サービス		11	0	0.0	0
	施設・居住系サービス		15	1	0.1	0

■任意後見・後見信託

		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			35	3	0.1	0
区分	居宅介護支援事業所		9	2	0.2	0
	在宅サービス		12	1	0.1	0
	施設・居住系サービス		14	0	0.0	0

■成年後見制度を利用しているが、類型は分からない

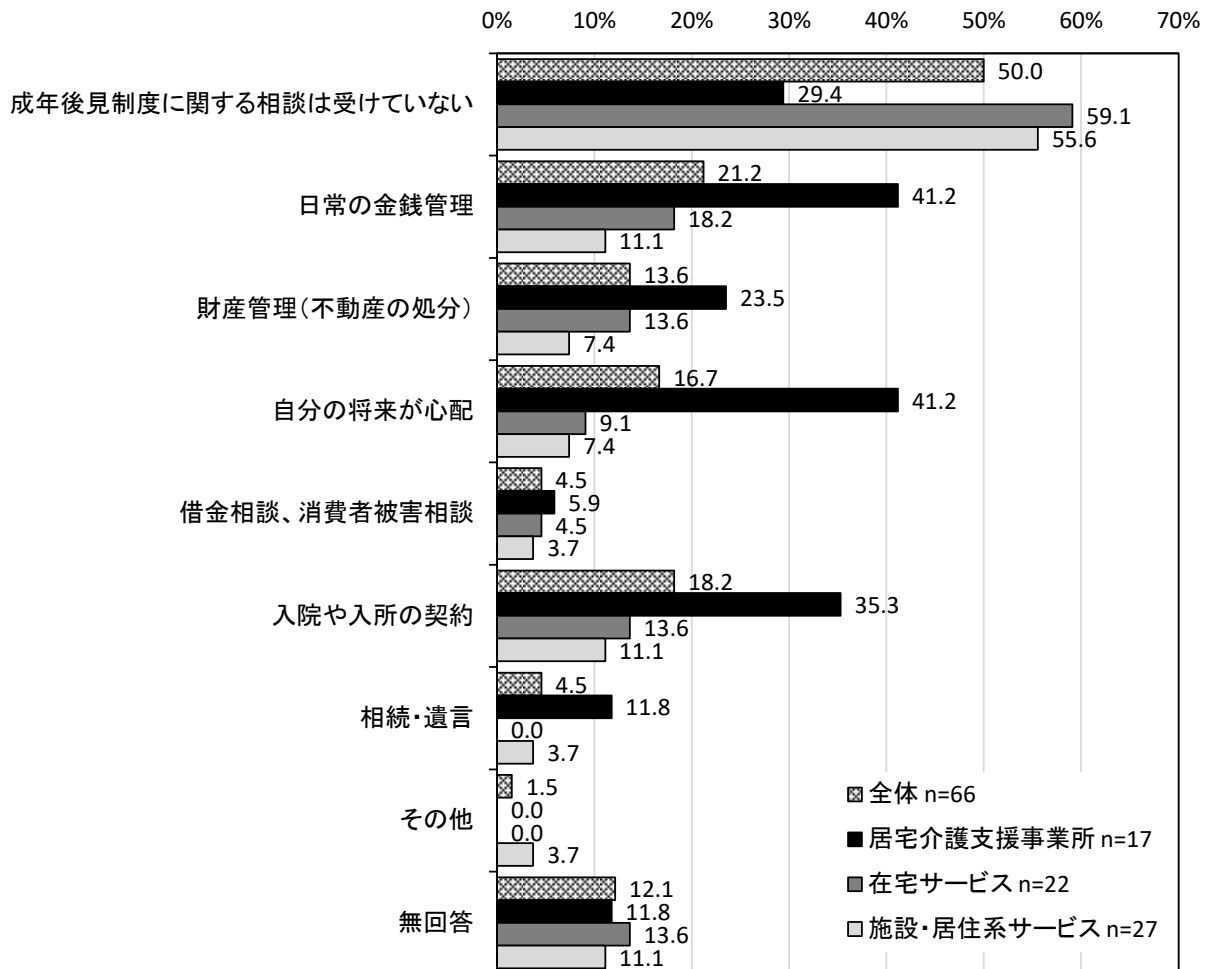
		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			30	3	0.1	0
区分	居宅介護支援事業所		7	0	0.0	0
	在宅サービス		9	0	0.0	0
	施設・居住系サービス		14	3	0.2	0

問 30 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「日常の金銭管理」「自分の将来が心配」の割合がそれぞれ41.2%と最も高く、次いで「入院や入所の契約」の割合が35.3%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度に関する相談は受けていない」の割合が59.1%と最も高く、次いで「日常の金銭管理」の割合が18.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度に関する相談は受けていない」の割合が55.6%と最も高く、次いで「日常の金銭管理」「入院や入所の契約」の割合がそれぞれ11.1%となっています。

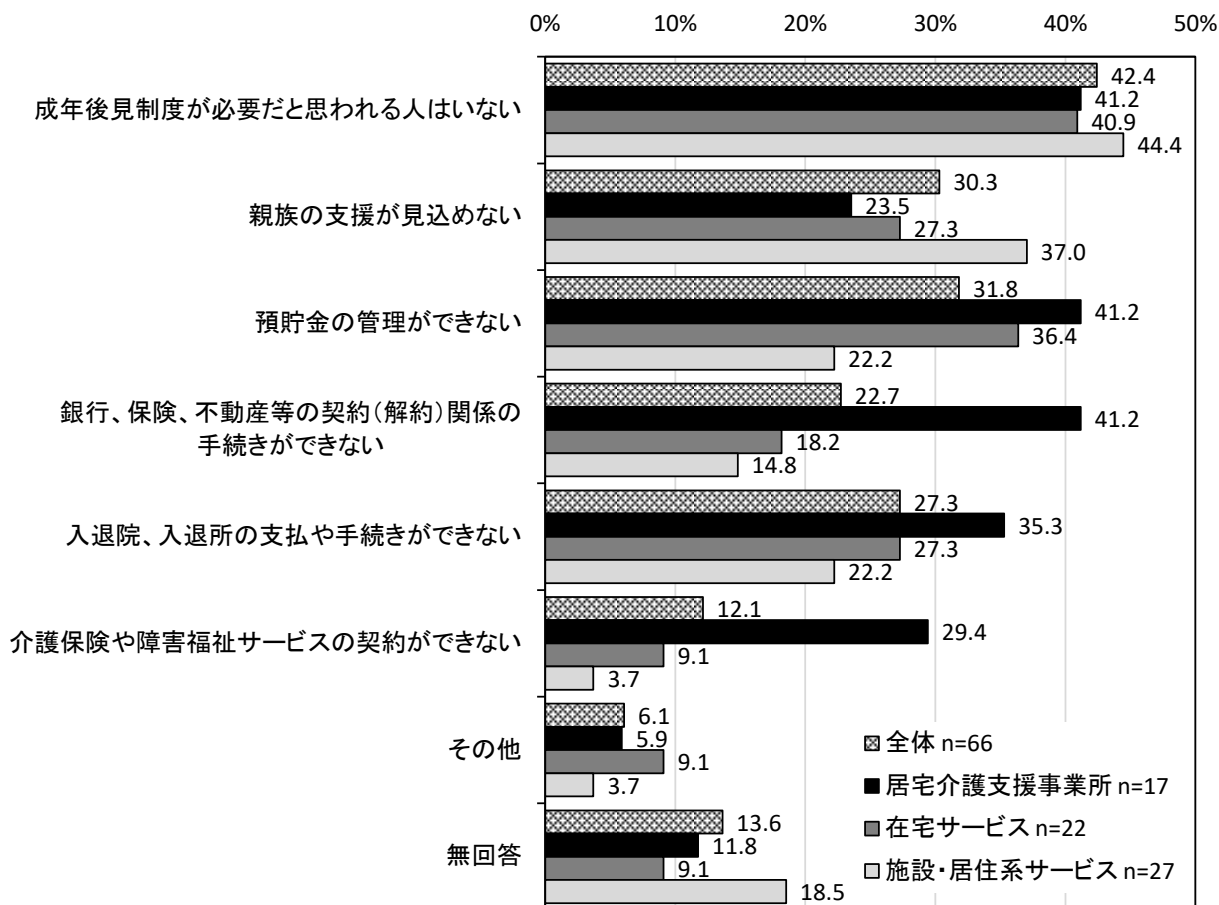


問 31 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数もお答えください。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」「預貯金の管理ができない」「銀行、保険、不動産等の契約（解約）関係の手続きができない」の割合がそれぞれ 41.2%と最も高くなっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「預貯金の管理ができない」の割合が 36.4%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「親族の支援が見込めない」の割合が 37.0%となっています。



必要と思われる人の実人数

1事業所あたりの平均をみると、在宅サービスが最も高くなっています。

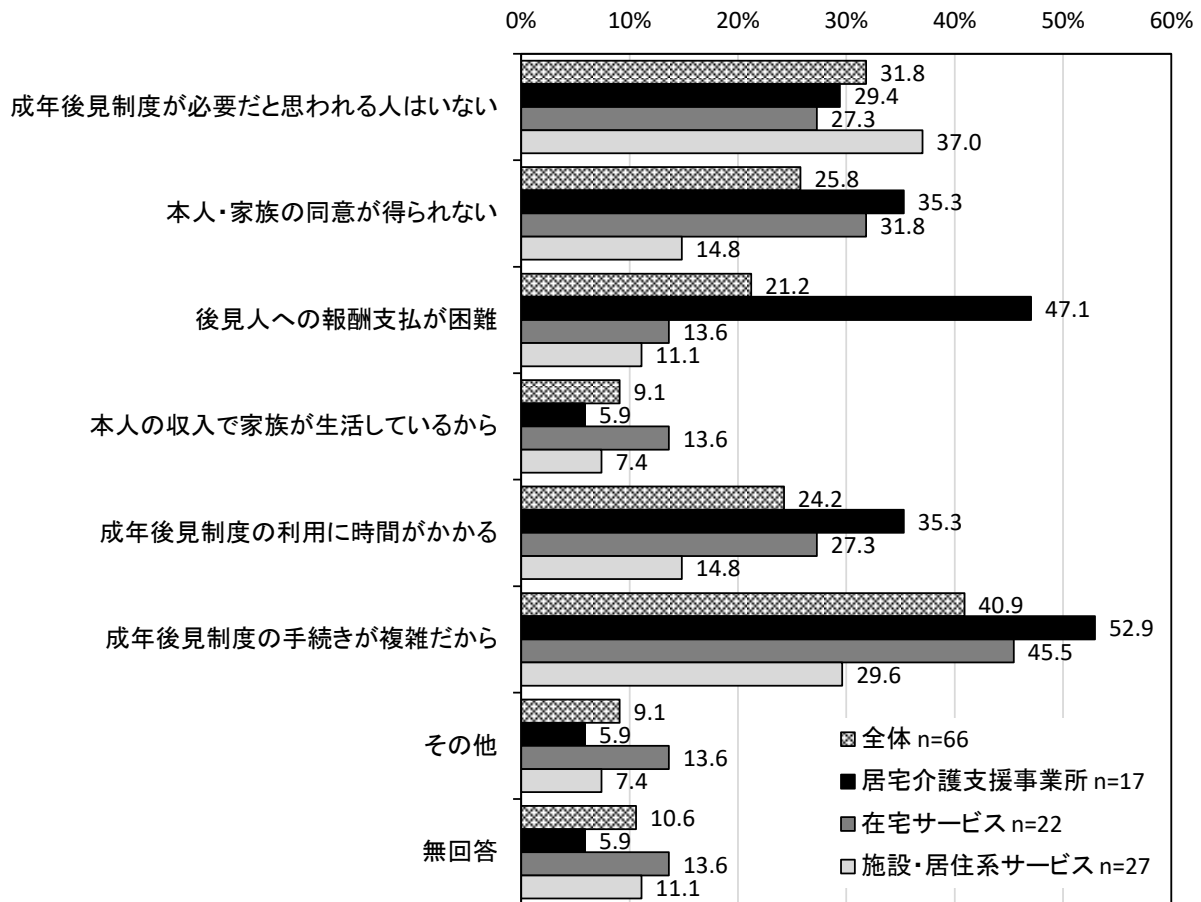
		単位:人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体			28	104	3.7	1
区分	居宅介護支援事業所		10	32	3.2	2
	在宅サービス		7	32	4.6	5
	施設・居住系サービス		11	40	3.6	1

問 32 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はなんですか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「後見人への報酬支払が困難」の割合が 47.1%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「本人・家族の同意が得られない」の割合が 31.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 29.6%となっています。

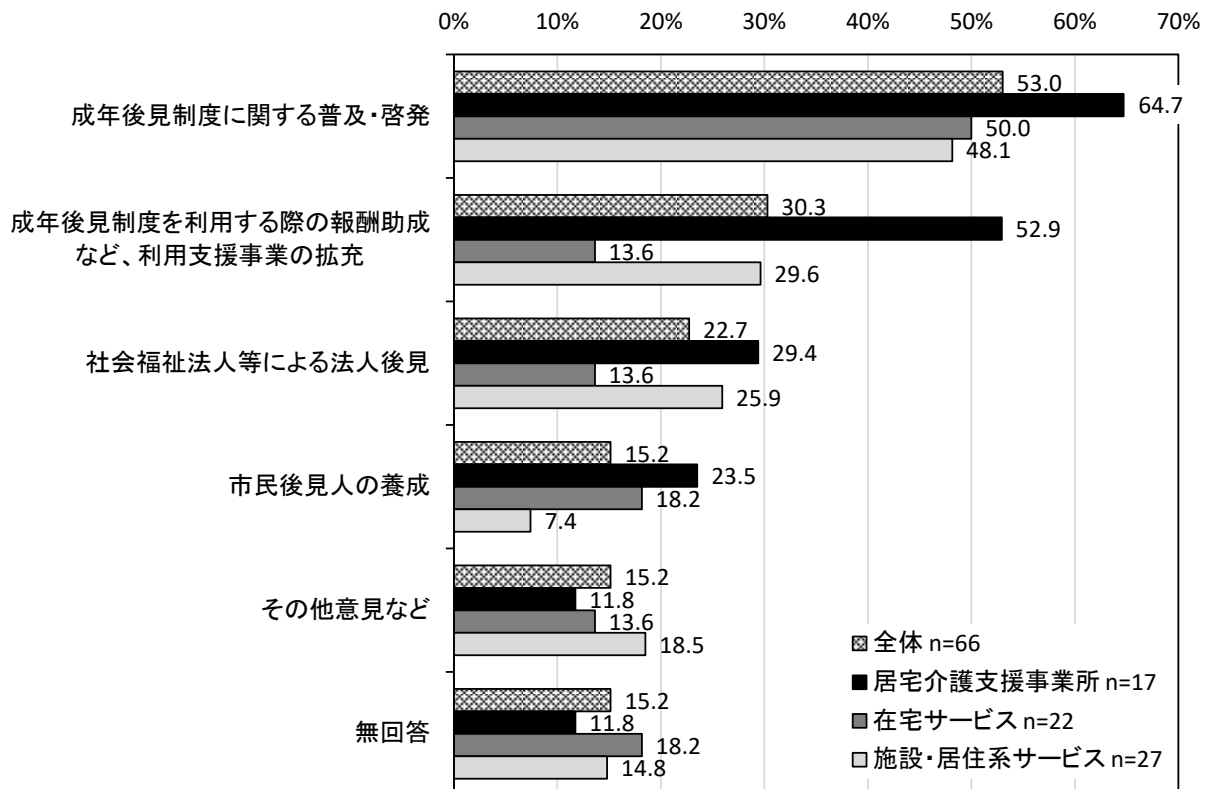


問 33 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 52.9%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「市民後見人の養成」の割合が 18.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 29.6%となっています。

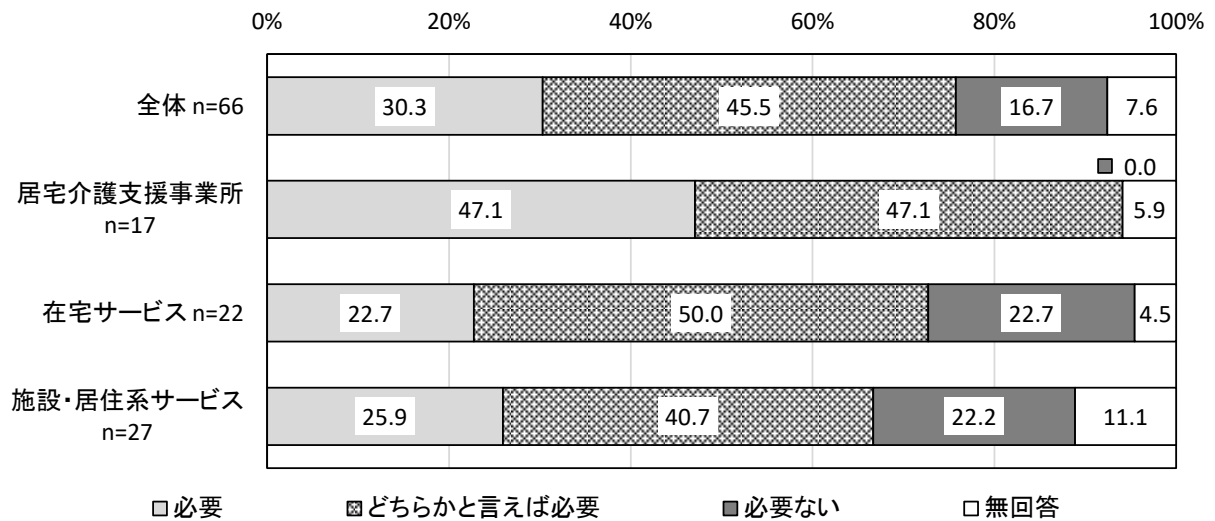


問 34 職場で成年後見制度に関する研修は必要だと思いますか。（〇は1つ）

居宅介護支援事業所では、「必要」「どちらかと言えば必要」の割合がそれぞれ47.1%と最も高くなっています。

在宅サービスでは、「どちらかと言えば必要」の割合が50.0%と最も高く、次いで「必要」「必要ない」の割合がそれぞれ22.7%となっています。

施設・居住系サービスでは、「どちらかと言えば必要」の割合が40.7%と最も高く、次いで「必要」の割合が25.9%となっています。

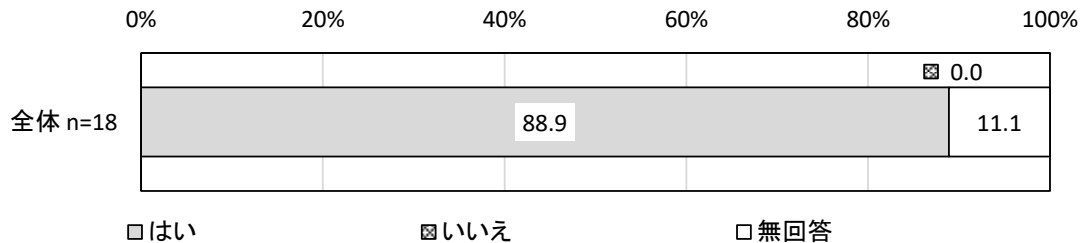


（7）在宅医療・介護連携推進事業について

※市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所を対象に調査

問 35 上尾市が作成している「わたしノート」を知っていますか。（〇は1つ）

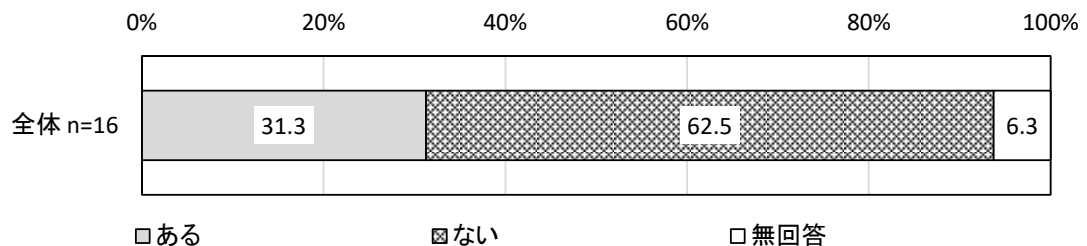
居宅介護支援事業所では、「はい」の割合が88.9%となっています。



【問 35で「はい」の事業所のみ】

問 36 対象者に配布又は活用をしたことはありますか。（〇は1つ）また、「ない」の場合には、その理由を教えてください。

居宅介護支援事業所では、「ある」の割合が31.3%、「ない」の割合が62.5%となっています。



■ 「ない」の場合の理由

- ・利用者に配布するノートがないから。どこで入手できるのか情報が無い。
- ・コロナ関連の対応でそれどころではなかった。
- ・とても便利なノートと把握しているが、ノートの使用がなくても問題を感じるケースが少ないため。
- ・既に訪問診療、訪問看護等の緊急体制が整っているため。今後、活用したい。

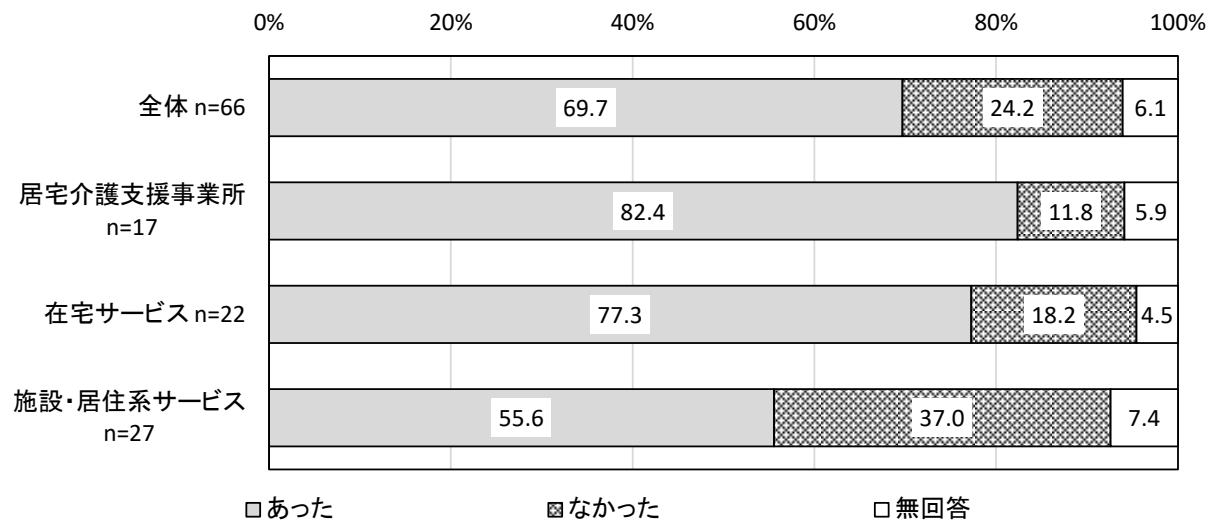
（8）新型コロナウイルスの感染拡大について

問 37 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの変化や利用に関する相談はありましたか。（〇は1つ）「あった」の場合には、その内容についてもお書きください。

居宅介護支援事業所では、「あった」の割合が82.4%、「なかった」の割合が11.8%となっています。

在宅サービスでは、「あった」の割合が77.3%、「なかった」の割合が18.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「あった」の割合が55.6%、「なかった」の割合が37.0%となっています。



■「あった」の場合、利用するサービスの変化の内容

- ・通所の利用控え。
- ・サービス利用やケアマネの訪問を控えるケースがあった。
- ・2か所のサービス事業所を併用していたが、1か所のみ利用に変更。

■「あった」の場合、相談内容

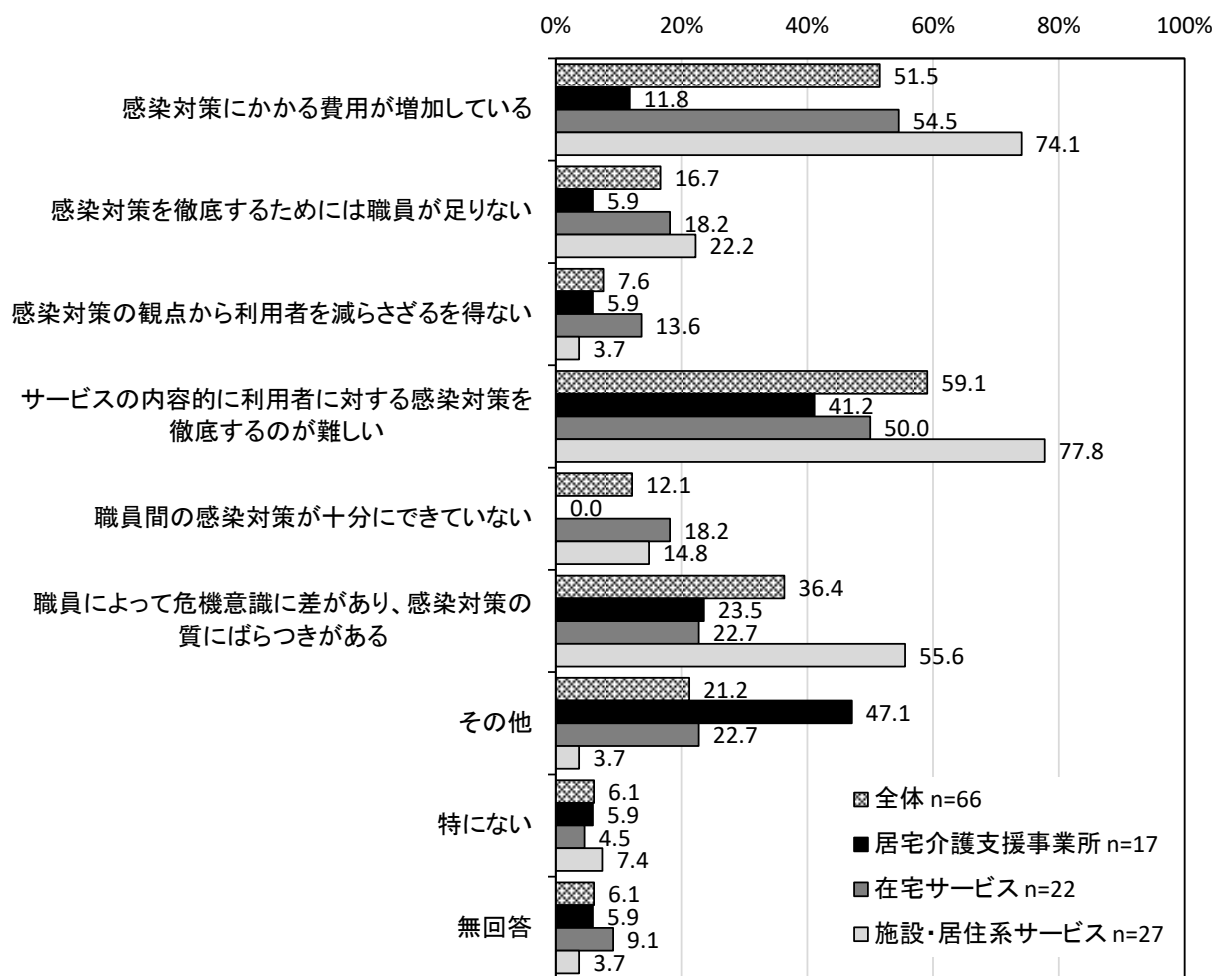
- ・デイサービス利用に際して、感染するのではないかと本人、家族から不安の相談があった。
- ・サービスの休止や利用回数を減らす等の相談を受けた。
- ・家族からの感染対策への取組状況の問い合わせ。
- ・本人ではなく家庭内等に感染者が出た時の、事業所の受入れ方針について確認があった。
- ・家族が感染した時に、本人を預かってくれるところを探してほしいという相談があった。
- ・感染により通所・短期入所サービス休止中の代替サービスについて。

問 38 新型コロナウイルスの感染対策で、現在困っていることはありますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい」の割合が41.2%と最も高く、次いで「職員によって危機意識に差があり、感染対策の質にばらつきがある」の割合が23.5%となっています。

在宅サービスでは、「感染対策にかかる費用が増加している」の割合が54.5%と最も高く、次いで「サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい」の割合が50.0%となっています。

施設・居住系サービスでは、「サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい」の割合が77.8%と最も高く、次いで「感染対策にかかる費用が増加している」の割合が74.1%となっています。



（9）上尾市の施策について

問 39 この3年間（令和3年度～令和5年度）の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取組が不足していたと思うことや、効果的でない取組だと思うことなど、どのようなことでも構いません。

■支援・サービスについて

- ・気軽に生活、介護について相談できる機関の増設。
- ・定期巡回等の24時間サービスの充足が課題。
- ・ショートステイを単独で行う施設はほとんどないが、在宅で見ながら、最後まで介護したいという家族のためにも必要な事業。特養と合わせて、ショートステイの現状を視察してほしい。
- ・インフォーマルサービスが不足している。
- ・移動スーパーのような移動販売が増えるような取組が必要だと思う。
- ・通院介助について、訪問介護の自費でも利用しづらい。ケアマネが通院に同行することもあるが、半日以上時間を要してしまい困難。
- ・上尾市の課題という訳ではないが、三割負担のため、独居で不安が大きい状況だが、施設入所を躊躇してしまっている。

■介護人材について

- ・ケアマネ・ヘルパーを含めた介護職員全般の人材不足が課題。
- ・課題としては施設や在宅サービスはあるものの、ケアマネ・介護スタッフ・看護師・リハビリスタッフのスペシャリストが少ないように感じます。介護現場の育成・介護の質がとても重要になってくる。現場任せにせず行政と一体になって支援できる環境整備と人材の確保が課題であると感じます。

■地域での生活について

- ・高齢者が住み慣れた地域で過ごし、最期を迎えられるように、在宅医療や介護の充実を図り、そこに住む誰もが利用しやすい環境や仕組みを整えて頂くことを望みます。
- ・近所に日常の買い物ができる店舗が少なく困っている高齢者が多い。昨今、大型の店舗が増え商店街がなくなっているため、歩いて買い物に行くことが出来ないとの声が聞こえる。
- ・高齢者が気軽に外出して交流する場が少ない。商業施設と協同して取り組む等の検討を願いたい。
- ・見守り体制の不足。

■移動手段について

- ・外出支援としてのぐるっとくんバスのバス停を当施設にも置いてほしい。軽費老人ホームは基本自立生活可能な65歳以上の利用者が入居しているので、精神活動の賦活の意味でも介護予防に大きな役割をはたします。
- ・罹患者の移動手段の充実、また、公費で賄うことができないか。

- ・予防の対策（オレンジカフェ等）や地域での集まり等、開催場所に近い高齢者は行くことができるが、足が不自由な方や金銭的にタクシーを使えない方も多くいる。参加の意思がある方が、実際参加できるような対策を講じてほしい。

■認知症施策について

- ・今後認知症を含め、介護が必要な高齢者が増えると思います。介護に関係する職種だけが関わるのでは限界があります。地域の方々が見守り、温かい声掛けや気遣いが出来るまちづくりが必要。一般の市民の理解と協力を得るための活動が大事だと思います。

■医療について

- ・医療依存度の高い利用者、看取り対応者などに対する施策はほとんど手をつけられておらず、業者、現場任せになってると感じます。行き場の無い利用者は少なくない状態。

■新型コロナウイルス感染症について

- ・利用者自身に向けての感染対策が出来ていないのではないか（マスクや消毒の徹底をお願いするなど）。
- ・高齢者施設でコロナ感染の制限、援助をどこまでやるのか。
- ・施設内で感染拡大が起きた時の物品不足や、専門家の紹介等の施設側のSOSに対する対応が不十分であった。

■その他について

- ・高齢者の引きこもり、コロナ不安などの取り除く対策をしてほしい。高齢者対策を推進している事業者の経営が安定しないと、質も上げにくくなる。特に開業して、経営安定が出来てない、5年未満の会社の援助が何もなく、経営困難になっています。細かいところまでの確認をお願いしたい。
- ・外国人技能実習生の家具家電貸与援助は、公募件数が少なく選んでもらえなくて残念だったけれど、URを紹介してもらって大変助かりました。援助は1点集中の丸抱えではなく、少額援助でも多くの施設が利用できるようなになればよいと思います。
- ・居宅向けの研修等が減少した。配信型の研修等に早くから従事してほしかったし、今後も継続してほしい。
- ・施策として改善・改革に始終するのではなく、介護業界ならびに介護施設に従事する職員に対してのイメージアップを図ることが重要と思われます。
- ・認定ヘルパーの活用がなされていない。されていてどのように活用しているのか情報がない。
- ・認定調査、結果が遅いと思います。
- ・「価格高騰支援給付金」等の価格高騰やコロナ関係の給付金を、施設入居者も対象とするのは効果的ではない。実際、施設入居の場合は預貯金に回るだけです。

問 40 今後3年間（令和6年度～令和8年度）で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継続的に実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。（そもそも取組を知らない。でも構いません。）

■支援・サービスについて

- 24 時間在宅介護事業所の充実
- ふれあい収集事業と緊急通報システムを待たずに利用したい。
- インフォーマルサービスの充実を望む。
- ゴミ屋敷、ペット問題等介護保険で対応できないサポート作り。一番必要なのは、通院サポートのシステム作り。通院同行が安価で利用したいときに（緊急時等）すぐに対応してもらえる制度作りを、本当に希望します。
- 上尾市の郊外、例えば平方地区は交通の便も悪く、車を持たない高齢者には色々と不便があります。買物に行けない、行っても荷物を持って帰れないこともあります。「移動スーパー」をもっと増やしてほしいです。移動スーパーを行う事業所に助成金を出してもらって、安価に品物を提供できるようにして下さい。
- 上尾社協では、移動支援の事業所として登録しているが、移動支援は数年単位数が変わらず、なんの加算もない状況です。ヘルパーに対して障害や介護保険と同じ時給を支払っています。移動支援も単位数を上げる、加算をつける等してもらいたい。
- 総合事業の充実（通所で買い物ができる等）。
- 地域密着型サービス（定期巡回、訪問介護・看護等）の拡大・拡充。

■介護人材について

- 介護保険を利用する際に必ず相談しなければいけないケアマネが不足しており、今後病院からの在宅退院が、ケアマネが決まらないことで施設利用となることが考えられます。また一定の能力のあるケアマネが定年を迎え、まだまだ経験の浅いケアマネが困難ケースに対応することはトラブルになる可能性が高くなります。ケアマネの人材確保と経験・質の向上を進めないと、事件や事故、苦情トラブルが増えることは明らかだと思いますので、その対策・取組を行政とともに考えていかなければなりません。
- 有償ボランティアの導入。今後の介護人材の不足や地域共生を考えるとボランティアだけでは継続しにくいのでタスクとして少し責任を持たせてもらう。

■移動支援について

- 「ぐるっとくん」について、乗った停留所から1時間も乗らないと行きたい停留所につかないという事もあるようで、利用されていない方が多い。もう少し狭い範囲で小回りしてくれるルートがあると良いと思う。
- ぐるっとくんは便利ですが、本数も少なく利用しにくいです。市で「乗り合いタクシー」を運営する等、高齢者が高い料金を出してタクシーを利用して病院に行かなくて済むように手段を考えてほしいです。

■認知症施策について

- ・認知症に対する一般的な理解がまだまだ広まっていないため、近所トラブルなどが続いています。地域で認知症の方を見守っていただける環境作りがとても大切です。
- ・認知症利用者・家族の支援サービスの充実。
- ・高齢者の金銭管理に関して社協の安心サポートの充実、認知症があっても利用できる制度にしてほしい。
- ・老老介護、地域共生、助け合いのために、高齢者に対しても認知症教育を行ったらどうか。

■地域での生活について

- ・自宅・在宅にて、元気でいて、自宅で最期を迎えられる様な体制が出来れば良いのではないのでしょうか。在宅支援・入居施設任せにならない、啓蒙・啓発活動、通所・訪問事業者への支援をしてほしい。

■医療について

- ・医療補助の充実
- ・在宅医療と介護の連携の推進。

■情報発信について

- ・広報等の文字自体小さく、目を通していない利用者が多い。高齢者にかかわることはもう少し配慮してほしい。
- ・市内の福祉施設での状況等を共有したい。

■新型コロナウイルス感染症について

- ・施設巡回等、施設の声を聴きに行く姿勢が必要です。コロナ禍の中、施設がどのような状況下に置かれているのか把握して欲しかった。ボランティアの受け入れや、地域性がなくなり、孤立する立場になった特養は多くあったはずです。

■その他について

- ・ボランティアの養成
- ・行政からの返信を求めるような各種書類郵送の回答や申請のサポート。
- ・介護業界や従事する職員に対するマイナスのイメージを払拭するために各方面に働きかけてもらいたい。
- ・介護事業所ですべき研修（身体拘束・コンプライアンス・感染症・接遇等）の研修をオンラインで定期的に行って欲しい。
- ・高齢者がペットを飼育しているケースも多く、入院となってしまうと、ペット問題が生じてしまう。費用も高額なので、何か対策を検討してほしい。
- ・今のうちに元気な老人に毎日クレームの出ない時間にラジオ体操をして動ける元気な体を維持する。
- ・個別のSOSへの対応だけでなく、施設や事業所等の大きな所が困った時の対応をスムーズにして頂けるようなリーダーシップに期待します。

VI 資料編（使用した調査票）

VI 資料編（使用した調査票）

個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なします。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第9期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。
- ◆ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- ◆本調査では、より詳細な集計・分析のため、調査結果と回答者の属性データ（年齢、介護認定の有無や日常生活圏域等）を事後的に関連付け、集計・分析を行います。
- ◆調査結果を公表する際は、個々の回答者が特定されない形で統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いいたします。

宛名ラベル

本アンケート調査の標準所要時間：約30分

介護予防・日常生活圏域
ニーズ調査
ご協力をお願い

はじめに

日頃から上尾市の介護保険・高齢者福祉行政に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、上尾市では、第9期（令和6～8年度）高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を行うにあたり、アンケート調査を実施いたします。

この調査は、高齢者の生活実態などについて、無作為に抽出した65歳以上の方に実施するものです。収集した個人情報は、計画策定及び効果評価の基礎資料とさせていただきます。本調査目的以外に使用することはございませんので、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年11月
上尾市長 畠山 稔

記入に際してのお願い

1. 令和4年10月31日の状況で、調査票にご回答ください。
2. 調査票は、できるだけあて名ご本人様にご回答ください。ご記入が難しい場合はご家族の方等がご記入ください。
3. 該当する回答に☑（し点チェック）をつけてください。その他（ ）には、具体的にご記入ください。
4. 数字を記入する欄は右詰め（例 0 6 2 kg）でご記入ください。
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、令和4年12月5日（月）までに投函（切手不要）してください。

【問い合わせ先】上尾市 健康福祉部 高齢介護課 管理担当
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話：048-775-4954
FAX：048-776-8872

【問2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (あてはまるものすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	<input type="checkbox"/> 心臓病
<input type="checkbox"/> がん (悪性新生物)	<input type="checkbox"/> 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)
<input type="checkbox"/> 関節の病気 (リウマチ等)	<input type="checkbox"/> 認知症 (アルツハイマー病等)
<input type="checkbox"/> パーキンソン病	<input type="checkbox"/> 糖尿病
<input type="checkbox"/> 腎疾患 (透析)	<input type="checkbox"/> 視覚・聴覚障害
<input type="checkbox"/> 骨折・転倒	<input type="checkbox"/> 脊椎損傷
<input type="checkbox"/> 高齢による衰弱	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 不明	

【問2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか (あてはまるものすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 配偶者 (夫・妻)	<input type="checkbox"/> 息子	<input type="checkbox"/> 娘
<input type="checkbox"/> 子の配偶者	<input type="checkbox"/> 孫	<input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹
<input type="checkbox"/> 介護サービスヘルパー	<input type="checkbox"/> その他 ()	

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 大変苦しい	<input type="checkbox"/> やや苦しい	<input type="checkbox"/> ふつう
<input type="checkbox"/> ややゆとりがある	<input type="checkbox"/> 大変ゆとりがある	

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 持家 (一戸建て)	<input type="checkbox"/> 持家 (集合住宅)
<input type="checkbox"/> 公営賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (一戸建て)
<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (集合住宅)	<input type="checkbox"/> 借家
<input type="checkbox"/> その他	

2 からだを動かすことについておうかがいします

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

質問の該当する答えに丸(レ点チェック)をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

①. 調査票を記入されたのはどなたですか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> あて名のご本人が記入
<input type="checkbox"/> ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄 _____)
<input type="checkbox"/> その他 _____

②. ご本人の性別について、ご回答ください (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
-----------------------------	-----------------------------

③. ご本人の年齢について、ご回答ください (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 64歳以下	<input type="checkbox"/> 65~69歳	<input type="checkbox"/> 70~74歳	<input type="checkbox"/> 75~79歳
<input type="checkbox"/> 80~84歳	<input type="checkbox"/> 85~89歳	<input type="checkbox"/> 90歳以上	

④. 要介護認定等の状況について、ご回答ください (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 総合事業対象者	<input type="checkbox"/> 要支援1
<input type="checkbox"/> 要支援2	<input type="checkbox"/> 受けていない

1 あなたのご家族や生活状況についておうかがいします

問1 家族構成をお教えください (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 1人暮らし	<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	<input type="checkbox"/> 息子・娘との2世帯
<input type="checkbox"/> その他 _____	

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 介護・介助は必要ない
<input type="checkbox"/> 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
<input type="checkbox"/> 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない	
問7	15分位続けて歩いていますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない	
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> 何度もある	<input type="checkbox"/> 1度ある	<input type="checkbox"/> ない	
問9	転倒に対する不安は大きいですか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> とても不安である	<input type="checkbox"/> やや不安である	<input type="checkbox"/> あまり不安でない	<input type="checkbox"/> 不安でない
問10	週に1回以上は外出していますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> ほとんど外出しない	<input type="checkbox"/> 週1回	<input type="checkbox"/> 週2～4回	<input type="checkbox"/> 週5回以上
問11	昨年と比べて外出の回数が減っていますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> とても減っている	<input type="checkbox"/> 減っている	<input type="checkbox"/> あまり減っていない	<input type="checkbox"/> 減っていない
問12	外出を控えていますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ		
【問12で「はい」(外出を控えている)の方のみ】					
問12-1	外出を控えている理由は、次のどれですか（あてはまるものすべてに回答）	<input type="checkbox"/> 病気	<input type="checkbox"/> 障害（脳卒中の後遺症など）		
		<input type="checkbox"/> 足腰などの痛み	<input type="checkbox"/> トイレの心配（失禁など）		
		<input type="checkbox"/> 耳の障害（聞こえの問題など）	<input type="checkbox"/> 目の障害		
		<input type="checkbox"/> 外での楽しみがない	<input type="checkbox"/> 経済的に出られない		
		<input type="checkbox"/> 交通手段がない	<input type="checkbox"/> その他（ ）		
問13	外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに回答）	<input type="checkbox"/> 徒歩	<input type="checkbox"/> 自転車	<input type="checkbox"/> バイク	
		<input type="checkbox"/> 自動車（自分で運転）	<input type="checkbox"/> 自動車（人に乗せてもらう）	<input type="checkbox"/> 電車	
		<input type="checkbox"/> 路線バス	<input type="checkbox"/> 病院や施設のバス	<input type="checkbox"/> 車いす	
		<input type="checkbox"/> 電動車いす（カート）	<input type="checkbox"/> 歩行器・シルバーカー	<input type="checkbox"/> タクシー	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）			

3	食べることにしておうかがいします			
問14	身長・体重をご記入ください			
	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
問15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問16	お茶や汁物等でむせることがありますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問17	口の渇きが気になりますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問18	歯磨き（人にやってもらってもう場合も含む）を毎日していますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問19	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（回答は1つ）			
	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 <input type="checkbox"/> 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし			
	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 <input type="checkbox"/> 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし			
問19-1	噛み合わせは良いですか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
【問19で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】				
問19-2	毎日入れ歯の手入れをしていますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問20	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
問21	どなたかと食事をとにもする機会がありますか（回答は1つ）	<input type="checkbox"/> 毎日ある	<input type="checkbox"/> 週に何度かある	<input type="checkbox"/> 月に何度かある
		<input type="checkbox"/> 年に何度かある	<input type="checkbox"/> ほとんどない	

問 34	友人の家を訪ねていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 35	家族や友人の相談にのっていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 36	病人を見舞うことができますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 37	若い人に自分から話しかけることがありますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 38	趣味はありますか。ある場合は () 内にご記入ください (回答は1つ)	趣味あり → () 思いつかない	
問 39	生きがいがありますか。ある場合は () 内にご記入ください (回答は1つ)	生きがいあり → () 思いつかない	

5	地域での活動についておうかがいします																																																															
問 40	以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか ※①-⑧それぞれに回答してください (それぞれ回答は1つ)																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>週4回以上</th> <th>週2回~3回</th> <th>週1回</th> <th>月1回~3回</th> <th>年に数回</th> <th>参加していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ボランティアのグループ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>② スポーツ関係のグループやクラブ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>③ 趣味関係のグループ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>④ 学習・教養サークル</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>⑤ 介護予防のための通いの場</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>⑥ 老人クラブ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>⑦ 町内会・自治会</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>⑧ 収入のある仕事</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>		週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に数回	参加していない	① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	② スポーツ関係のグループやクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑤ 介護予防のための通いの場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥ 老人クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に数回	参加していない																																																										
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
② スポーツ関係のグループやクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
⑤ 介護予防のための通いの場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
⑥ 老人クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																										

4	毎日の生活についておうかがいします		
問 22	物忘れが多と感じますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 23	自分で電話番号を調べて、電話をかけられていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 24	今日が何月何日かわからないときがありますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 25	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない
問 26	自分で食品・日用品の買物をしていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない
問 27	自分で食事の用意をしていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない
問 28	自分で請求書の支払いをしていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない
問 29	自分で預貯金の出し入れをしていますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない
問 30	年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 31	新聞を読んでいますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 32	本や雑誌を読んでいますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
問 33	健康についての記事や番組に関心がありますか (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

ぜひ参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

6 たすけあいについておうかがいします
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 43 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに回答）

配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 44 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに回答）

配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 45 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに回答）

配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 46 反対に、看病や世話をしてあげる人（あてはまるものすべてに回答）

配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

問 47 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（あてはまるものすべてに回答）

自治会・町内会・老人クラブ 社会福祉協議会・民生委員
 ケアマネジャー 医師・歯科医師・看護師
 地域包括支援センター・役所 その他
 そのような人はいない

問 48 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（回答は1つ）

毎日ある 週に何度かある 月に何度かある
 年に何度かある ほとんどない

問 49 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（回答は1つ）

0人（いない） 1～2人 3～5人
 6～9人 10人以上

問 50 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに回答）

近所・同じ地域の人 幼なじみ
 学生時代の友人 仕事での同僚・元同僚
 趣味や関心が同じ友人 ボランティア等の活動での友人
 その他 いない

7 健康についておうかがいします

問 51 現在のあなたの健康状態はいかがですか（回答は1つ）

とてもよい まあよい あまりよくない よくない

問 52 あなたは、現在のどの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

とても不幸
 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 53 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（回答は1つ）

はい いいえ

一般高齢者個別調査
【調査票】

1 お住まいについて

問1 あなたは、介護や医療が必要になった場合、どこで過ごしたいですか (回答は1つ)

家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい ⇒ 問1-1へ

介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい ⇒ 問1-1へ

施設に入所したい ⇒ 問1-2へ

病院に入院したい ⇒ 問1-2へ

【問1で「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の方のみ】

問1-1 自宅に住み続けたい理由は何ですか (回答は1つ)

住み慣れた場所が良いから 家族がいるから

他人に気を遣わなくて良いから 近くに友人・知り合いがいるから

施設・病院での生活に不安があるから 施設・病院での生活はお金がかかると感じるから

その他 ()

【問1で「施設に入所したい」「病院に入院したい」の方のみ】

問1-2 施設・病院に入所・入院したい理由は何ですか (回答は1つ)

家族に迷惑をかけたくないから 専門職による対応の方が安心だから

環境が良いから 緊急時にも安心だから

自宅で見てくれる人がいないから その他 ()

問2 あなたが、介護や医療が必要になった場合、特に心配に思うことは何ですか (主なもの2つまでに回答)

介護してくれる家族の精神的・身体的負担 夜間の対応

急に状態や病状が変わった時の対応 食事全般

排泄時の対応 介護や医療にかかる経済的なこと

財産の管理 相談窓口の有無

介護や医療を受けるための手続き その他 ()

問54 この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (回答は1つ)

はい いいえ

問55 お酒は飲みますか (回答は1つ)

ほぼ毎日飲む 時々飲む ほとんど飲まない

もともと飲まない

問56 タバコは吸っていますか (回答は1つ)

ほぼ毎日吸っている 時々吸っている 吸っていたがやめた

もともと吸っていない

問57 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに回答)

ない 高血圧

脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 心臓病

糖尿病 高脂血症 (脂質異常)

呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 胃腸・肝臓・胆のうの病気

腎臓・前立腺の病気 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)

外傷 (転倒・骨折等) がん (悪性新生物)

血液・免疫の病気 うつ病

認知症 (アルツハイマー病等) パーキンソン病

目の病気 耳の病気

その他 ()

8 認知症にかかる相談窓口の把握についておうかがいします

問58 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか (回答は1つ)

はい いいえ

問59 認知症に関する相談窓口を知っていますか (回答は1つ)

はい いいえ

次は一般高齢者個別調査票にお進みください。

2	生きがいに
問3 あなたは、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか （あてはまるものすべてに回答）	
<input type="checkbox"/> 働くこと（就労） <input type="checkbox"/> 学習や教養を高めるための活動 <input type="checkbox"/> 園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動 <input type="checkbox"/> ボランティア活動 <input type="checkbox"/> 町内会、自治会の活動 <input type="checkbox"/> 友だちとのつきあい <input type="checkbox"/> 本・音楽 <input type="checkbox"/> 旅行やレジャー <input type="checkbox"/> ショッピング <input type="checkbox"/> 子や孫の成長を見守ること <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 家事 <input type="checkbox"/> スポーツ・レクリエーション <input type="checkbox"/> 農作業 <input type="checkbox"/> 老人クラブ（いきいきクラブ）活動 <input type="checkbox"/> 特技や技術を生かした創作・伝承活動 <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・新聞 <input type="checkbox"/> 映画館での映画鑑賞 <input type="checkbox"/> 家族との団らん <input type="checkbox"/> パソコン、インターネット <input type="checkbox"/> ペットの世話 <input type="checkbox"/> 特にならない
問4 今後の就業意向についておうかがいします。あなたは、今後も働きたいと思いますか か（回答は1つ）	
<input type="checkbox"/> 生活のために働きたい ⇒ 問4-1・2・3・4へ <input type="checkbox"/> 生きがいのために働きたい ⇒ 問4-1・2・3・4へ <input type="checkbox"/> 働きたいが、体力的に無理 <input type="checkbox"/> 働きたいとは思わない	
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】	
問4-1 どのような分野で働きたいと思いますか（回答は1つ）	
<input type="checkbox"/> これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい <input type="checkbox"/> 新たな分野で働きたい <input type="checkbox"/> その他（ ）	
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】	
問4-2 どのような働き方を希望しますか（回答は1つ）	
<input type="checkbox"/> おおむね週 20 時間以内で月 10 日以内 <input type="checkbox"/> おおむね週 20 時間以内で月 20 日以内 <input type="checkbox"/> おおむね週 40 時間以内で月 10 日以内 <input type="checkbox"/> おおむね週 40 時間以内で月 20 日以内 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】	
問4-3 あなたは何歳まで働きたいと思いますか（回答は1つ）	
<input type="checkbox"/> 70 歳くらいまで <input type="checkbox"/> 75 歳くらいまで <input type="checkbox"/> 年齢に関係なく体力が続く限り <input type="checkbox"/> その他（ ）	

【問4で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】			
問4-4 働く上で自治体が行うべき施策は何だと思いますか （あてはまるものすべてに回答）			
<input type="checkbox"/> 元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介 <input type="checkbox"/> 雇用主との仲介支援 <input type="checkbox"/> 起業の支援 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
問5 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか（回答は1つ）			
<input type="checkbox"/> すでに参加している <input type="checkbox"/> 今後参加してみたい <input type="checkbox"/> 参加したくない <input type="checkbox"/> その他（ ）			
問6 あなたは、ボランティア活動について、どのような方法が良いと思いますか （回答は1つ）			
<input type="checkbox"/> 参加費用はすべて自己負担で活動すべきである <input type="checkbox"/> 交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う <input type="checkbox"/> 少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う <input type="checkbox"/> その他（ ）			
3	主な福祉サービス・介護サービスについて		
問7 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか（それぞれ回答は1つ）			
サービスの内容	現在利用している、利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
①緊急通報システム 緊急時にボタンを押すだけで緊急通報センターにつながる端末機をお貸しします	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②日常生活用具の給付 電磁調理器など日常生活に必要な用具を給付します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③配食サービス 上尾市が指定した「あけお配食サービス協力店」の中から希望に合ったサービスを提供する店を選択して利用できます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④徘徊高齢者等探索サービス お貸しした端末機により高齢者の位置を探索し、ご家族にお知らせします	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※問7の続き (回答は1つ)

サービスの名称	現在利用している、利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
⑤見守り訪問サービス 地域のボランティアが高齢者が高齢者のお宅へ安否確認にうかがいます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ふれあい収集 1人暮らしの高齢者または障害者の世帯を個別に訪問してごみを収集し、併せて安否確認を行います	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問8 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思いませんか (それぞれ回答は1つ)

サービスの名称	利用したい	利用する予定はない
①緊急通報システム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②日常生活用具の給付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③配食サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④徘徊高齢者等探索サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤見守り訪問サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ふれあい収集	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問9 あなたは、自主的に介護予防 (運動や講座の受講等) をしていますか (回答は1つ)

はい ⇒ 問9-1へ いいえ ⇒ 問10へ

【問9で「はい」の方のみ】

問9-1 あなたは、どのような介護予防をしていますか (あてはまるものすべてに回答)

市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業

デイサービス等の介護事業所での運動・講座

スポーツジム等の民間施設での運動・講座

いきいきクラブや通いの場 (カフェ・サロンやアッピー元気体操) など、身近な地域での自主的な活動

その他 ()

問10 あなたは、次の活動に参加したことがありますか (それぞれ回答は1つ)

活動の名称	現在参加している、参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らない
①老人だんらの家 自治会等が主体となって、地区集会所などを高齢者のだんらの場として開放し、交流します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②いきいきクラブ スポーツ・レクリエーション、趣味活動、ボランティアや地域活動を通して、仲間づくり、生きがいづくりを推進しています	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③オレンジカフェ (認知症カフェ) 認知症の人やその家族が、地域住民や医療・介護の専門家と交流したり情報交換、相談ができるカフェです	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④通いの場 (カフェ・サロンやアッピー元気体操など) 孤立しがちな人をつなぎ、顔の見える関係を築くことを目的とした、誰もが気軽に参加できる場です	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問11 あなたは、次の活動に今後参加したいと思いませんか (それぞれ回答は1つ)

活動の名称	参加したい	参加する予定はない
①老人だんらの家	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②いきいきクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③オレンジカフェ (認知症カフェ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④通いの場 (カフェ・サロンやアッピー元気体操など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問12 あなたは、健康や福祉・介護のことで困ったとき、誰に相談しますか (あてはまるものすべてに回答)

市役所の窓口 地域包括支援センター 民生委員

かかりつけ医 保健センター・保健所 かかりつけ薬局

近所の人や知人 家族・親族 その他 ()

特にない

5	その他
<p>問 16 あなたの家は、インターネットに接続できる環境にありますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 接続できる <input type="checkbox"/> 接続できない <input type="checkbox"/> わからない</p>	
<p>問 17 あなたはスマートフォンを持っていますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 持っている <input type="checkbox"/> 持っていない ⇒ 問 17-1へ <input type="checkbox"/> 今後持つ予定</p>	
<p>【問 17 で「持っていない」の方のみ】</p> <p>問 17-1 スマートフォンを持っていない理由は何ですか (回答は3つまで)</p> <p><input type="checkbox"/> 値段が高い <input type="checkbox"/> 使い方が難しそう</p> <p><input type="checkbox"/> 周りに教えてくれる人がいない <input type="checkbox"/> どこで買うかが分からない</p> <p><input type="checkbox"/> 販売店まで行けない <input type="checkbox"/> 新しいことを学ぶのが面倒</p> <p><input type="checkbox"/> 固定電話で十分 <input type="checkbox"/> 必要性を感じない</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	
<p>問 18 あなたは、市が行うサービスや取り組みなどについて、どこから情報を得ていますか (主なもの3つまでに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 市が発行する広報紙・パンフレット <input type="checkbox"/> 市役所のホームページ</p> <p><input type="checkbox"/> 市役所や市の機関 <input type="checkbox"/> 医療機関や福祉・介護施設</p> <p><input type="checkbox"/> 町内会 (回覧板を含む) <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ</p> <p><input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> スマートフォン <input type="checkbox"/> 家族・親戚</p> <p><input type="checkbox"/> 知人・友人</p>	

4	新型コロナウイルスの感染拡大について
<p>問 13 あなたは、介護が必要になったとき、どのような情報を知りたいですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 介護の方法</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉・介護サービスなどの利用方法</p> <p><input type="checkbox"/> どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス</p> <p><input type="checkbox"/> ヘルパー派遣業者などの介護サービス事業者の情報</p> <p><input type="checkbox"/> 地域やボランティア活動の情報</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p><input type="checkbox"/> 特にない</p>	
<p>問 14 新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活において、活動を控えた、または見合わせたものはありましたか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 通院</p> <p><input type="checkbox"/> 買い物</p> <p><input type="checkbox"/> 会食</p> <p><input type="checkbox"/> 趣味活動などの通いの場 (カフェ・サロンやアツッピー元気体操など)</p> <p><input type="checkbox"/> 旅行</p> <p><input type="checkbox"/> 離れて暮らしている家族との交流</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p><input type="checkbox"/> 特に活動は控えなかった</p>	
<p>問 15 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で何か困ったことはありましたか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスの感染の不安があるときの受診先がわからない、または受け入れてもらえなかった</p> <p><input type="checkbox"/> 家族が新型コロナウイルスに感染した時、濃厚接触者になつたなどにより外出が制限された</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅に多くの人が多く、体が弱ってしまった</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p><input type="checkbox"/> 特に困ることはなかった</p>	

<p>問 19 2025 年に向けて高齢化が急速に進展しています。高齢化に対応した取り組みとして何が必要だと思いますか (主なもの3つまでに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者の見守りや生活支援の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 地域コミュニティの活性化</p> <p><input type="checkbox"/> 地域などで活動するボランティアの育成</p> <p><input type="checkbox"/> 通いの場 (カフェ・サロンやアツビー元気体操など) の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 通院や外出時の移動手段の確保</p> <p><input type="checkbox"/> 建物や道路などのバリアフリー・ユニバーサルデザイン化</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅で利用できる在宅サービスの充実</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者向け住宅や介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などの施設の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 成年後見制度の支援充実</p> <p><input type="checkbox"/> 在宅医療・介護のスムーズな連携</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (具体的に:)</p>
<p>問 20 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために、何が必要だと思いますか (主なもの3つまでに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症への理解を深めるための普及啓発の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症の早期診断・早期対応のための体制整備</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症の人のための介護サービスの充実</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症 (若年性認知症) の人の就労・居場所の支援</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (具体的に:)</p>
<p>問 21 認知症の人を地域で支える「認知症サポーター」を知っていますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 知っている ⇒ <input type="checkbox"/> 聞いたことがあるが詳しい内容は知らない</p> <p><input type="checkbox"/> 知らない</p>

<p>【問 21 で「知っている」の方のみ】</p> <p>問 21-1 「認知症サポーター」をどこで知りましたか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座を受けた</p> <p><input type="checkbox"/> サポーターに支援してもらった</p> <p><input type="checkbox"/> 家族・知人から聞いた</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>問 22 認知症などにより、判断能力が不十分になった場合、本人に代わって財産の管理や契約などを行う人を選任してもらう制度である「成年後見制度」について知っていますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 知っている ⇒ <input type="checkbox"/> 聞いたことがあるが詳しい内容は知らない</p> <p><input type="checkbox"/> 知らない</p>
<p>【問 22 で「知っている」の方のみ】</p> <p>問 22-1 あなたは「成年後見制度」を利用したいと思うことはありますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 利用したいと思う ⇒ <input type="checkbox"/> 問 22-2・3・4へ</p> <p><input type="checkbox"/> 将来的には利用したいと思う ⇒ <input type="checkbox"/> 問 22-2・3・4へ</p> <p><input type="checkbox"/> 利用したいとは思わない ⇒ <input type="checkbox"/> 問 23へ</p>
<p>【問 22-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】</p> <p>問 22-2 成年後見制度はどのようなことで必要だと思いますか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 預貯金などの管理や口座解約</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉サービスの契約</p> <p><input type="checkbox"/> 買い物等</p> <p><input type="checkbox"/> 不動産の処分</p> <p><input type="checkbox"/> 相続手続き</p> <p><input type="checkbox"/> 保険金の受取</p> <p><input type="checkbox"/> 訴訟手続き等</p> <p><input type="checkbox"/> 死後事務</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>【問 22-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】</p> <p>問 22-3 成年後見人にはどのような人になってもらいたいですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 親族 (親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族)</p> <p><input type="checkbox"/> 専門職 (弁護士、司法書士、社会福祉士等)</p> <p><input type="checkbox"/> 法律または福祉に関する法人</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア (市民後見人)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>

<p>【問22-1で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】</p> <p>問22-4 市の成年後見制度施策に望むものは何ですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 成年後見制度に関する普及・啓発</p> <p><input type="checkbox"/> 成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉法人等による法人後見</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア（市民後見人）の養成</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>	
<p>問23 現在運転免許証をお持ちですか（回答は1つ）</p> <p><input type="checkbox"/> はい ⇒ 問23-1・2へ</p> <p><input type="checkbox"/> すでに返納した（ 歳の時） <input type="checkbox"/> もともと持っていない ⇒ 問24へ</p>	
<p>【問23で「はい」の方のみ】</p> <p>問23-1 今後運転免許証を自主返納するお考えはありますか（回答は1つ） また、お考えがある方は、何歳までに自主返納をしようと思えますか (回答は1つ)</p> <p><input type="checkbox"/> ある → 自主返納をしようと思う年齢</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p><input type="checkbox"/> 70歳までに <input type="checkbox"/> 75歳までに</p> <p><input type="checkbox"/> 80歳までに <input type="checkbox"/> 81歳以降</p>	
<p>【問23で「はい」の方のみ】</p> <p>問23-2 運転免許証を返納するにあたり不安に思うことはありますか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> 仕事</p> <p><input type="checkbox"/> 家での閉じこもり <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特になし</p>	
<p>問24 運転免許証の返納後に必要だと感じる支援は何ですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 電車、路線バスなど民間事業者が実施する交通機関の充実</p> <p><input type="checkbox"/> コミュニティバスなど市が実施する交通機関の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 食料品などの移動販売・宅配サービス等買物支援の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 商品・サービス（交通手段に関する支援・買物支援以外のサービス）などの特典</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 必要だと思わない</p>	

<p>問25 耳が聞こえづらくなかったと感じますか（回答は1つ）</p> <p><input type="checkbox"/> はい ⇒ 問25-1へ <input type="checkbox"/> いいえ</p>	
<p>【問25で「はい」の方のみ】</p> <p>問25-1 現在、補聴器を利用していますか（回答は1つ）</p> <p><input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ⇒ 問25-2へ</p>	
<p>【問25-1で「はい」の方のみ】</p> <p>問25-2 利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに回答）</p> <p><input type="checkbox"/> 面倒 <input type="checkbox"/> 金額が高い</p> <p><input type="checkbox"/> 無くても十分意思疎通ができる <input type="checkbox"/> 購入できるお店が近くにない、知らない</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>	
<p>問26 市の高齢者福祉サービスや介護保険サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
 令和4年12月5日（月）までに投函（切手不要）してください。

本アンケート調査の標準所要時間：約20分

**在宅介護実態調査
ご協力をお願い**

宛名ラベル

はじめに

日頃から上尾市の介護保険・高齢者福祉行政に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、上尾市では、第9期（令和6～8年度）高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を行うにあたり、アンケート調査を実施いたします。

この調査は、要介護認定者（在宅）の生活実態などについて、無作為に抽出した方に実施するものです。収集した個人情報、計画策定及び効果評価の基礎資料とさせていただきます。本調査目的以外に使用することはございませんので、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年11月

上尾市長 富山 稔

記入に際してのお願い

1. 令和4年10月31日の状況で、調査票にご回答ください。
2. 調査票は、できるだけあて名ご本人様にご回答ください。ご記入が難しい場合はご家族の方等にご記入ください。
3. 該当する回答に☑（シ点チェック）をつけてください。その他（ ）には、具体的に記入ください。
4. 介護保険サービスに関する質問では、別紙の「介護保険サービスの内容」をご参照のうえ、ご回答ください。
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

**調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和4年12月5日（月）までに投函（切手不要）してください。**

【問い合わせ先】上尾市 健康福祉部 高齢介護課 管理担当
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話：048-775-4954
FAX：048-776-8872

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なします。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第9期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。
- ◆ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- ◆本調査では、客観的なデータに基づく集計・分析のため、調査結果と回答者の要介護認定データ（介護度や日常生活自立度等）を事後的に関連付け、集計・分析を行います。
- ◆調査結果を公表する際は、個々の回答者が特定されない形で統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いいたします。

質問の該当する答えに丸(レ点チェック)をつけてください。

A票	調査対象者様ご本人について、おうかがいします	
問1	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (あてはまるものすべてに回答)	
<input type="checkbox"/>	調査対象者本人	<input type="checkbox"/> 主な介護者となっている家族・親族
<input type="checkbox"/>	主な介護者以外の家族・親族	<input type="checkbox"/> その他()
問2	世帯類型(家族構成)について、ご回答ください(回答は1つ)	
<input type="checkbox"/>	単身世帯	<input type="checkbox"/> 夫婦のみ世帯 <input type="checkbox"/> その他()
問3	ご本人の性別について、ご回答ください(回答は1つ)	
<input type="checkbox"/>	男性	<input type="checkbox"/> 女性
問4	ご本人の年齢について、ご回答ください(回答は1つ)	
<input type="checkbox"/>	64歳以下	<input type="checkbox"/> 65～69歳 <input type="checkbox"/> 70～74歳 <input type="checkbox"/> 75～79歳
<input type="checkbox"/>	80～84歳	<input type="checkbox"/> 85～89歳 <input type="checkbox"/> 90歳以上
問5	ご本人の要介護度について、ご回答ください(回答は1つ)	
<input type="checkbox"/>	要支援1	<input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2
<input type="checkbox"/>	要介護3	<input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> わからない
問6	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(回答は1つ)	
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。		
<input type="checkbox"/>	入所・入居は検討していない	<input type="checkbox"/> 入所・入居を検討している
<input type="checkbox"/>	すでに入所・入居申し込みをしている	

問7 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(あてはまるものすべてに回答)

- 脳血管疾患(脳卒中) 心疾患(心臓病)
- 悪性新生物(がん) 呼吸器疾患
- 腎疾患(透析) 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 膠原病(関節リウマチ含む) 変形性関節疾患
- 認知症 パーキンソン病
- 難病(パーキンソン病を除く) 糖尿病
- 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) その他()
- なし わからない

問8 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(回答は1つ)

- 利用した ⇒ 問9へ 利用していない ⇒ 問10へ

【問8で「利用した」の方のみ】

問9 * 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない・0回」を選択してください(それぞれ回答は1つ)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ回答は1つ)				
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度 以上
A. 訪問介護(ホームヘルプ)	<input type="checkbox"/> 0回	<input type="checkbox"/> 1回	<input type="checkbox"/> 2回	<input type="checkbox"/> 3回	<input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 5回以上
B. 訪問入浴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C. 訪問看護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D. 訪問リハビリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E. 通所介護(デイサービス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G. 夜間対応型訪問介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

* 各介護保険サービスの内容については別紙資料をご参照ください。

問 11	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (あてはまるものすべてに回答)	<input type="checkbox"/> 配食 <input type="checkbox"/> 調理 <input type="checkbox"/> 掃除・洗濯 <input type="checkbox"/> 買い物 (宅配は含まない) <input type="checkbox"/> 外出同行 (通院、買い物など) <input type="checkbox"/> ゴミ出し <input type="checkbox"/> 移送サービス (介護・福祉タクシー等) <input type="checkbox"/> 見守り、声かけ <input type="checkbox"/> サロンなどの定期的な通いの場 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 利用していない
問 12	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (あてはまるものすべてに回答)	※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。 <input type="checkbox"/> 配食 <input type="checkbox"/> 調理 <input type="checkbox"/> 掃除・洗濯 <input type="checkbox"/> 買い物 (宅配は含まない) <input type="checkbox"/> ゴミ出し <input type="checkbox"/> 外出同行 (通院、買い物など) <input type="checkbox"/> 移送サービス (介護・福祉タクシー等) <input type="checkbox"/> 見守り、声かけ <input type="checkbox"/> サロンなどの定期的な通いの場 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 特になし
問 13	ご本人 (調査対象者) は、現在、訪問診療を利用していますか (回答は1つ)	※訪問科診療や居宅療養管理指導等は含みません。 <input type="checkbox"/> 利用している <input type="checkbox"/> 利用していない
問 14	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (回答は1つ)	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない <input type="checkbox"/> 週に1～2日ある <input type="checkbox"/> 週に3～4日ある <input type="checkbox"/> ほば毎日ある

	利用の有無 (それぞれ回答は1つ)	利用していない	利用した
	H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	I. 小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	J. 看護小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
K. ショートステイ	1か月あたりの利用日数 (回答は1つ)	月1～7 日程度	月8～14 日程度
	利用していない	<input type="checkbox"/>	月15～21 日程度
L. 居宅療養管理指導	1か月あたりの利用日数 (回答は1つ)	月1～7 日程度	月8～14 日程度
	利用していない	<input type="checkbox"/>	月15～21 日程度
	以上	<input type="checkbox"/>	月22日 以上
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【問 8 で「利用していない」の方のみ】			
問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか			
(あてはまるものすべてに回答)			
<input type="checkbox"/> 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない <input type="checkbox"/> 本人にサービス利用の希望がない <input type="checkbox"/> 家族が介護をするため必要ない <input type="checkbox"/> 以前、利用していたサービスに不満があった <input type="checkbox"/> 利用料を支払うのが難しい <input type="checkbox"/> 利用したいサービスが利用できない、身近にない <input type="checkbox"/> 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため <input type="checkbox"/> サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない <input type="checkbox"/> その他 ()			

●A票の間14で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」、「週に1~2日ある」、「週に3~4日ある」、「ほぼ毎日ある」と回答された場合、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

●「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします。
 ※ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。

B票 主な介護者について、おうかがいします	
問1	ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに回答） <small>※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。</small>
<input type="checkbox"/>	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
<input type="checkbox"/>	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
<input type="checkbox"/>	主な介護者が転職した
<input type="checkbox"/>	主な介護者以外の家族・親族が転職した
<input type="checkbox"/>	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
<input type="checkbox"/>	わからない
問2	主な介護者は、どなたですか（回答は1つ）
<input type="checkbox"/>	配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 子の配偶者
<input type="checkbox"/>	孫 <input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹 <input type="checkbox"/> その他（ ）
問3	主な介護者の性別について、ご回答ください（回答は1つ）
<input type="checkbox"/>	男性 <input type="checkbox"/> 女性
問4	主な介護者の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）
<input type="checkbox"/>	19歳以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代
<input type="checkbox"/>	40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代
<input type="checkbox"/>	70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上 <input type="checkbox"/> わからない

問5	現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるものすべてに回答）
〔身体介護〕	<input type="checkbox"/> 日中の排泄 <input type="checkbox"/> 夜間の排泄 <input type="checkbox"/> 食事の介助（食べる時） <input type="checkbox"/> 入浴・洗身 <input type="checkbox"/> 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 屋内の移乗・移動 <input type="checkbox"/> 外出の付き添い、送迎等 <input type="checkbox"/> 服薬 <input type="checkbox"/> 認知症状への対応 <input type="checkbox"/> 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）
〔生活援助〕	<input type="checkbox"/> 食事の準備（調理等） <input type="checkbox"/> その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） <input type="checkbox"/> 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	<input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> わからない
問6	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（回答は3つまで）
〔身体介護〕	<input type="checkbox"/> 日中の排泄 <input type="checkbox"/> 夜間の排泄 <input type="checkbox"/> 食事の介助（食べる時） <input type="checkbox"/> 入浴・洗身 <input type="checkbox"/> 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 屋内の移乗・移動 <input type="checkbox"/> 外出の付き添い、送迎等 <input type="checkbox"/> 服薬 <input type="checkbox"/> 認知症状への対応 <input type="checkbox"/> 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）
〔生活援助〕	<input type="checkbox"/> 食事の準備（調理等） <input type="checkbox"/> その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） <input type="checkbox"/> 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	<input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 不安に感じていることは、特にない
<input type="checkbox"/>	主な介護者に確認しないと、わからない
問7	主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください（回答は1つ） <small>※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者よりも短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。</small>
<input type="checkbox"/>	フルタイムで働いている
<input type="checkbox"/>	パートタイムで働いている
<input type="checkbox"/>	働いていない
<input type="checkbox"/>	主な介護者に確認しないと、わからない

要介護認定者個別調査票 (在宅)
【調査票】

1 あなた (要介護認定者ご本人) ご自身のことについて
おもうかがいします

問1 主な介護者の状況についてお答えください (あてはまるものすべてに回答)

- とくに問題はない
- 高齢・病弱である
- ほかに介護しなくてはならない要介護認定者がいる
- 仕事のために十分な介護ができない
- 子育てのために十分な介護ができない
- その他の問題がある ()

問2 あなたは、介護者などから、次のような行為を受けたことがありますか (あてはまるものすべてに回答)

- 言うことを聞かなかったら、しばらく話をしてくれなかった
- どなられたり、悪口などを言われた
- 介護や世話をしてくれないことがあった
- 叩かれたり、縛られたりしたことがあった
- 外出しないように閉じ込められた
- 病院へ連れて行ってくれなかった
- 年金、預金通帳などを介護者などが管理し、本人に無断で使われた
- その他 ()
- そのようなことはない

2 サービスの有無についておもうかがいします

問3 あなたは、介護サービスを利用していますか (回答は1つ)

- 利用していない ⇒ 問4へ
- 利用している ⇒ 問6 (10ページ)へ

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問8 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (あてはまるものすべてに回答)

- 特に行っていない
- 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
- 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている
- 主な介護者に確認しないと、わからない

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問9 主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があ
ると思いますか (回答は3つまで)

- 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 制度を利用しやすい職場づくり
- 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
- 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)
- 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 介護をしている従業員への経済的な支援
- その他 ()
- 特にない
- 主な介護者に確認しないと、わからない

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問10 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか (回答は1つ)

- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない

次は、要介護認定者個別調査票 (在宅) へお進みください。

3	サービスの満足度についてお聞きします ※問3で「利用している」と回答した方にお聞きします
問6	あなたは、介護サービス計画(ケアプラン)に満足していますか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> 満足していない ⇒ 問6-1へ <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 介護サービス計画を知らない
【問6で「満足していない」の方のみ】	
問6-1	あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか(あてはまるものすべてに回答) <input type="checkbox"/> 現状維持や改善に向けたケアプランになっていない <input type="checkbox"/> 希望したサービスが含まれなかった <input type="checkbox"/> 希望しないサービスを入れられた <input type="checkbox"/> 全体的にサービス量が少なすぎる <input type="checkbox"/> 全体的にサービス量が多すぎる <input type="checkbox"/> 希望した事業者を入れてもらえなかった <input type="checkbox"/> 希望しない事業者を入れられた <input type="checkbox"/> 曜日や時間が希望と異なる <input type="checkbox"/> その他()
問7	あなたの介護サービス計画(ケアプラン)を作成したのは、だれですか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センターの職員 <input type="checkbox"/> 介護サービス事業者のケアマネジャー <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> わからない
問8	あなたは、担当している介護支援専門員(ケアマネジャー)や地域包括支援センターの職員に満足していますか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> 満足していない ⇒ 問8-1へ <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 介護支援専門員等を決めていない
【問8で「満足していない」の方のみ】	
問8-1	あなたが不満に思われている点は、どのようなことですか(あてはまるものすべてに回答) <input type="checkbox"/> 現状維持や改善に向けたケアプランになっていない <input type="checkbox"/> 十分な説明をしてもらえない <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を聞こうとしない <input type="checkbox"/> 相談時間や訪問回数などが少ない <input type="checkbox"/> ケアプラン作成までに時間がかかりすぎる <input type="checkbox"/> ケアプランの変更になかなか応じようとしていない <input type="checkbox"/> 特定の事業者を強引にすすめようとする <input type="checkbox"/> 態度やマナーが悪い <input type="checkbox"/> 知識や情報量が少ない <input type="checkbox"/> その他()

【問3で「利用していない」の方のみ】	
問4	介護サービスを利用していない理由をお聞かせください(あてはまるものすべてに回答) <input type="checkbox"/> 家族に介護してもらいたくない <input type="checkbox"/> 他人に家の中に入らなくてほしくない <input type="checkbox"/> 病院に入院した <input type="checkbox"/> 利用料の負担がある <input type="checkbox"/> 現在の介護度だけ確認したかった <input type="checkbox"/> 自分で生活できる <input type="checkbox"/> 利用の手続きがわからない <input type="checkbox"/> その他()
【問3で「利用していない」の方のみ】	
問5	介護保険サービスを利用すると、利用料の1割から3割は自己負担となります。あなたは、近い将来、介護サービスを利用する予定はありますか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> ある ⇒ 問5-1へ <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> どちらともいえない ⇒ 問11(12ページ)へ
【問5で「ある」の方のみ】	
問5-1	どのようなサービスを利用する予定ですか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> 居宅サービス ⇒ 問5-2へ <input type="checkbox"/> 施設サービス ⇒ 問5-3へ
【問5-1で「居宅サービス」の方のみ】	
問5-2	* どのようなサービスを利用する予定ですか(あてはまるものすべてに回答) <input type="checkbox"/> 訪問介護(ホームヘルプ) <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 居宅療養管理指導 <input type="checkbox"/> 通所介護(デイサービス) <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション(デイケア) <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護(ショートステイ) <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護(ショートステイ) <input type="checkbox"/> 福祉用具の貸与 <input type="checkbox"/> 福祉用具の購入 <input type="checkbox"/> 住宅改修 <input type="checkbox"/> 夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護 <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護
【問5-1で「施設サービス」の方のみ】	
問5-3	* どのようなサービスを利用する予定ですか(回答は1つ) <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設(老人保健施設) <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設(療養型病床群) <input type="checkbox"/> 介護医療院 <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護(高齢者グループホーム)
* 各介護保険サービスの内容については別紙資料をご参照ください。	
問3で「利用していない」と回答した方は、問11(12ページ)にお進みください。	

※ここから再び、全員におうかがいします。

4	新型コロナウイルスの感染拡大についておうかがいします
問 11	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの变化はありましたか (回答は1つ)
<input type="checkbox"/>	あった <input type="checkbox"/> なかった
	【問11で「あった」の方のみ】
問 11-1	利用を控えたサービスは具体的にどんなものですか (あてはまるものすべてに回答)
<input type="checkbox"/>	訪問サービス ホームヘルプ、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導など
<input type="checkbox"/>	通所型サービス デイサービス、デイケアなど
<input type="checkbox"/>	施設サービス ショートステイなど
<input type="checkbox"/>	その他 ()
問 12	新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で何か困ったことはありましたか (あてはまるものすべてに回答)
<input type="checkbox"/>	病院受診で感染しないか不安だったため、受診を控えた
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルスの感染の不安があるときの受診先がわからない、または受け入れてもらえなかった
<input type="checkbox"/>	家族が新型コロナウイルスに感染した時、自分の世話や介護をしてくれる人がいなくなった または、受け入れてくれる施設がなかった
<input type="checkbox"/>	買い物に行くのが不安で、必要なものが購入できなかった
<input type="checkbox"/>	自宅にすることが多く、体が弱ってしまった
<input type="checkbox"/>	その他 ()
<input type="checkbox"/>	特に困ることはなかった

問 9 あなたは、希望どおりのサービスを利用できていますか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/>	希望どおりに利用できている
<input type="checkbox"/>	希望どおりに利用できていない ⇒ 問 9-1へ
	【問9で「希望どおりに利用できていない」の方のみ】
問 9-1 *	希望したけれど利用できなかったサービスは何ですか (あてはまるものすべてに回答)
<input type="checkbox"/>	訪問介護 (ホームヘルプ) <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護
<input type="checkbox"/>	訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 居宅療養管理指導 <input type="checkbox"/> 通所介護 (デイサービス)
<input type="checkbox"/>	通所リハビリテーション (デイケア) <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護 (ショートステイ)
<input type="checkbox"/>	短期入所療養介護 (ショートステイ) <input type="checkbox"/> 福祉用具の貸与
<input type="checkbox"/>	福祉用具の購入 <input type="checkbox"/> 住宅改修
<input type="checkbox"/>	夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護
<input type="checkbox"/>	小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
<input type="checkbox"/>	看護小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
<input type="checkbox"/>	介護老人保健施設 (老人保健施設) <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設 (療養型病床群)
<input type="checkbox"/>	介護医療院 <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)
<input type="checkbox"/>	認知症対応型共同生活介護 (高齢者グループホーム)

*各介護保険サービスの内容については別紙資料をご参照ください。

問 10 あなたは、提供を受けているサービスに満足していますか (回答は1つ)

<input type="checkbox"/>	満足している ⇒ 問 10-1へ	<input type="checkbox"/>	満足していない ⇒ 問 10-2へ
<input type="checkbox"/>	どちらともいえない		
	【問 10 で「満足している」の方のみ】		
問 10-1	あなたが満足に思われる点は、どのようなことですか (回答は1つ)		
<input type="checkbox"/>	サービス内容が充実している	<input type="checkbox"/>	職員の対応がよい
<input type="checkbox"/>	希望どおりのサービスを受けている	<input type="checkbox"/>	料金とサービスのバランスが妥当である
<input type="checkbox"/>	その他 ()		
	【問 10 で「満足していない」の方のみ】		
問 10-2	あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか (回答は1つ)		
<input type="checkbox"/>	サービス内容が不十分である	<input type="checkbox"/>	職員の対応が悪い
<input type="checkbox"/>	希望どおりのサービスを受けられない	<input type="checkbox"/>	サービス内容に比べ料金が高い
<input type="checkbox"/>	その他 ()		

5 サービス全般についておうかがいします

問 13 介護保険制度をはじめとする、各種高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところを教えてください (あてはまるものすべてに回答)

市役所の窓口 ケアマネジャー

地域包括支援センター 民生委員

かかりつけ医 保健センター・保健所

サービス事業所 かかりつけ薬局

その他 () 特になし

問 14 あなたは、次の制度やサービスを利用したことがありますか (それぞれ回答は1つ)

サービス等の名称	現在利用している、利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
①緊急通報システム 緊急時にボタンを押すだけで緊急通報センターにつながる端末機をお貸しします	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②日常生活用具の給付 電磁調理器など日常生活に必要な用具を給付します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③配食サービス 上尾市が指定した「あけお配食サービス協力店」の中から希望に合ったサービスを提供する店を選択して利用できます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④徘徊高齢者等探索サービス お貸した端末機により高齢者の位置を探し、ご家族にお教えします	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤見守り訪問サービス 地域のボランティアが高齢者のお宅へ安否確認にうかがいます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ふれあい収養 一人暮らしの高齢者または障害者の世帯を個別に訪問してごみを収集し、併せて安否確認を行います	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦成年後見制度 認知症などにより、判断能力が不十分になった場合、本人に代わって財産の管理や契約などを行う人を選任してもらいます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 15 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思えますか (それぞれ回答は1つ)

サービス等の名称	利用したい	利用する予定はない
①緊急通報システム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②日常生活用具の給付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③配食サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④徘徊高齢者等探索サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤見守り訪問サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ふれあい収養	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦成年後見制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 16 市の高齢者福祉サービスや介護保険サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください

.....

.....

.....

.....

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和4年12月5日(月)までに投函(切手不要)してください。

別紙「介護保険サービスの内容」

サービスの種類	サービスの内容
訪問介護 (ホームヘルプ)	ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴や食事などの介護、その他日常生活上の援助をします。
訪問入浴	家庭を訪問して、浴槽を提供し、入浴サービスをします。
訪問看護	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助をします。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復訓練をします。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問し、療養上の管理・指導をします。
通所介護 (デイサービス)	デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。
通所リハビリテーション (デイケア)	介護老人保健施設や医療機関などにおいて、日帰りで理学療法、作業療法などの心身の維持回復訓練を行います。
短期入所生活介護 (ショートステイ)	家庭などの都合で介護を受けることが一時的に困難な場合に、特別養護老人ホームなどに短期間入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練を行います。
短期入所療養介護 (ショートステイ)	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとで、介護や機能訓練などを行います。
福祉用具の貸与	車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具 (エアーマットなど) など貸し出します。
福祉用具の購入	貸し出しにない腰掛便座、入浴用いすなどの購入費の一部を支給します。
住宅改修	手すりの取付け、段差解消など小規模な住宅改修費の一部を支給します。
夜間対応型訪問介護	自宅にいる場合でも、24 時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回や緊急時における訪問介護を行います。※要支援の人は利用できません。

サービスの種類	サービスの内容
認知症対応型通所介護	認知症と診断された高齢者が、可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう、デイサービスセンターにおいて、日帰りで食事、入浴などの介護や支援、機能訓練などを行います。
小規模多機能型居宅介護	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通い」のサービスを中心にしながら、随時「訪問」や短期間の「泊まり」を組み合わせて、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	自宅で自立した生活が送れるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要に応じて柔軟に提供します。※要支援の人は利用できません。
看護小規模多機能型居宅介護	小規模な住宅型の施設への「通い」を中心に、自宅に來てもらう「訪問」、施設に泊まる「宿泊」のサービスに看護を加えたサービスを受けられます。※要支援の人は利用できません。
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常時介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。※原則として要介護 3 以上の人の利用に限ります。
介護老人保健施設 (老人保健施設)	病状が安定し、在宅復帰を目的している要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、医学管理下での介護や機能訓練が受けられます。※要支援の人は利用できません。
介護療養型医療施設 (療養型病床群)	病状が安定期にある要介護者に対し、医学的管理のもとに介護その他の世話や必要な医療を行う施設です。※要支援の人は利用できません。
介護医療院	主に長期間にわたり療養が必要な要介護者が入所して、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療などが受けられます。※要支援の人は利用できません。
特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。
認知症対応型共同生活介護 (高齢者グループホーム)	認知症と診断された高齢者が、共同生活を行うグループホームで、食事、入浴などの介護や日常生活上の世話、機能訓練が受けられます。※要支援 1 の人は利用できません。

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート【A在宅生活改善調査】

（調査の趣旨とご協力をお願い）
 日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 本市では、令和6年度から8年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握し、アンケートを実施することいたしました。
 つま先では、業務が多忙なところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。
 ※介護事業所の職員の皆様が、日頃感じていることをご書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合には、結果を会議資料等で使用する場合があります。事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。
 ※特に指示がない場合は、令和4年4月1日現在でお答えください。

事業所名

■ 事業所票 <管理者記入>

※「利用者票」は別シートでご用意しており、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております（非常勤の方も含まれます）。

I 事業所について

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

番号	項目	人数
1	所属するケアマネジャーの人数	人
2	「自宅等（「3」を除く）」にお住まいの利用者数	人
3	「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

※一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めなくてください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
人	人	人	人
要介護3	要介護4	要介護5	合計
人	人	人	0人

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を、行き先別に記入ください。

※一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。
 ※ここで記入いただいた合計人数（「死亡」を除く）と、問2でご記入いただいた利用者数の合計が一致することを確認ください。

番号	項目	市内	市外
1	兄弟・子ども、親戚等の家	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	特別養護老人ホーム	人	人
11	地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12	その他	人	人
13	行先を把握していない	人	人
14	合計人数	0	人
15	死亡（※搬送先での死亡を含む）	人	人

■ 事業所票（市） <管理者記入>

※「事業所票（市）」において、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の方は問16、問17のみ（★印付きの設問）をご回答ください。
 （「C 介護人材実態調査」の設問と重複する内容のため。）

※別シートの「利用者票」は、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の方もご回答ください。

I 利用者について

問1 昨年1年間に、サービスの利用希望をお断りしたことがありましたか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	お断りしたことはない	
2	定員がいっぱいだったためお断りした	
3	医療的ケアが必要である等、利用できる状態ではなかったためお断りした	
4	介護人材不足により、十分なサービスを提供する余裕がなかったためお断りした	
5	その他の理由（ ）	

III 認知症施策について

問7 認知症の支援で困っていることはありますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問8 問7で「はい」を選んだ方のお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族など周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集まる場がない	
4	認知症の本人が活躍できる場がない	
5	金銭管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問9 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教育機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊探索サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

IV 成年後見制度について

問10 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。(数値を入力)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	保佐	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用していない	人

問2 上尾市は、一人あたりの施設サービスの給付費が埼玉県内市町村の平均額より高く、在宅サービスの給付費が平均額よりも低い状況です。在宅サービスの給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。(「分からない」でも可)

--

問3 上尾市は、在宅サービスのうち、訪問介護の給付費が全国平均より低い状況です。訪問介護の給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。(「分からない」でも可)

--

II 事業所の運営について

問4 事業所の需要(利用希望者)と供給(提供できるサービス量)をどのように認識していますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	需要が供給を大きく上回る	
2	需要が供給をやや上回る	
3	需要と供給が均衡	
4	需要が供給をやや下回る	
5	需要が供給を大きく下回る	

問5 今後、市内に新規事業所を開設すると仮定したら、何か課題だと思いますか。(複数回答可)

※ 回答が複数の場合、特に重要と思われるものに◎をつけてください。

番号	選択肢	回答
1	介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる	
2	利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる	
3	事業自体の採算性がいいとはいえ、初期投資に見合わない	
4	建設地の確保が困難	
5	その他 ()	

問6 苦情に対応するため、苦情窓口への相談員の配置といった取り組みは行っていますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	している	
2	したいが、できていない	
3	今のところ必要ない	

問11 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	日常の金銭管理	
3	財産管理（不動産の処分）	
4	自分の将来が心配	
5	借入相談、消費被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他（ ）	

問12 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数もお答えください。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	親族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約（解約）関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の支払や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他（ ）	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数⇒ 人

問13 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はなんですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	本人・家族の同意が得られない	
3	後见人への報酬支払いが困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他（ ）	

問14 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市民後見人の養成	
5	その他意見など（ ）	

問15 職場で成年後見制度に関する研修は必要があると思いますか。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

V 在宅医療・介護連携推進事業について

★問16 上尾市が作成している「わたしのノート」を知っていますか。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

★問17 問16で「はい」を選んだ方のお答えください。対象者に配布又は活用をしたことはありますか。（○は1つ） また、「ない」の場合には、その理由を教えてください。

番号	選択肢	回答
1	ある	
2	ない	
「ない」場合の理由		

VI 新型コロナウイルスの感染拡大について

問18 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの変化や利用に関する相談はありましたか。（○は1つ） 「あった」の場合には、その内容についてもお書きください。

番号	選択肢	回答
1	あった	
2	なかった	
「あった」場合、利用するサービスの変化の内容や相談内容		

問19 新型コロナウイルスの感染対策で、現在困っていることはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	感染対策にかかる費用が増加している	
2	感染対策を徹底するためには職員が足りない	
3	感染対策の観点から利用者減らざるを得ない	
4	サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい	
5	職員間の感染対策が十分にできていない	
6	職員によって危機意識に差があり、感染対策の質にばらつきがある	
7	その他（ ）	
8	特になし	

Ⅶ 上尾市の施策について

問20 この3年間(令和3年度～令和5年度)の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みだと思ふことなど、どのようなことでも構いません。

問21 今後3年間(令和6年度～令和8年度)で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継続実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。(そもそも取り組みを知らない、でも構いません。)

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■利用者票 <ケアマネジャー記入> ※貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております (非常勤の方も含まれます)

「自宅」、「中高住」、「在宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。
 例えば、「訪問介護のサービス利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と願う利用着」、「認知症に伴う周辺状況の悪化により、介護者の負担が重くなくなったため、グループホームへの入居がより適切と願う方」が対象です。

問-1	問-2	問-3	問-4	問-5	問-6	問-7	問-8	問-9	問-10	問-11	問-12	問-13	問-14	問-15
1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。	2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。	3. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。	4. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	5. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	6. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	7. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	8. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	9. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	10. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	11. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	12. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	13. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	14. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」	15. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。」
番号12 選択記入 1. 同居 2. 夫婦のみ 3. 単身の同居 4. その他 の同居	番号12 選択記入 1. 自宅等(特大家庭) 2. 自宅等(借家) 3. 自身の住宅型有料 4. サ高住 5. 軽費老人ホーム	番号12 選択記入 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中	問-1-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-2-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-3-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-4-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-5-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-6-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-7-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-8-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-9-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-10-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-11-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。	問-12-1 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。 (1) 本人の状況等に関する理由について、お答えください。 (2) 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まぬから。 (3) 生活不安が大いから。 (4) 居住環境が不便だから。 (5) 本人が介護者の負担の軽減を望むから。 (6) 費用負担が重いから。 (7) その他、本人の意向等があるから。

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート【B 居所変更実態調査】

(調査の趣旨とご協力をお願い)

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解と協力を厚く御礼申し上げます。
本市では、令和6年度から8年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握し、アンケートを実施することになりました。

つま先では、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※介護事業所の職員の皆様が、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合にはのみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。

※特に指示がない場合は、令和4年4月1日現在でお答えください。

■ 事業所票 <管理者記入>

I 事業所について

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(○は1つ)

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

番号	選択肢	回答	選択肢	回答
1	住宅型有料老人ホーム		6	地域密着型特定施設
2	軽費老人ホーム (特定施設除く)		7	介護老人保健施設
3	サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)		8	介護療養型医療施設・介護医療院
4	グループホーム		9	特別養護老人ホーム
5	特定施設		10	地域密着型特別養護老人ホーム

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

番号	項目	回答
1	施設等の名称	
2	定員数など	←該当する単位を入力(人・戸・室)
3	入所・入居者数	人
4	(貴施設等の) 待機者数	人
5	特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※「2 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※「4」「5」は、該当がない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

II 入所・入居者について

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここで記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
人	人	人	人	人

要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計人数
人	人	人	人	0人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

番号	項目	回答	番号	項目	回答
1	点滴の管理	人	8	疼痛の看護	人
2	中心静脈栄養	人	9	経管栄養	人
3	透析	人	10	モニター測定	人
4	ストーマの処置	人	11	褥瘡の処置	人
5	酸素療法	人	12	カテーテル	人
6	レスピレーター	人	13	喀痰吸引	人
7	気管切開の処置	人	14	インスリン注射	人

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問5 過去1年間 (令和3年11月1日～令和4年11月1日) に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

項目	回答
新規の入所・入居者数 (合計)	人

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数（合計）」が一致することを確認ください。

番号	項目	市内	市外
1	自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	特別養護老人ホーム	人	人
11	地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12	その他	人	人
13	入居・入所する前の居場所を把握していない	人	人
14	合計人数	0	人

Ⅲ 退去者について

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めなくてください。

項目	回答
退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）	人

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
人	人	人	人	人	人

要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計
人	人	人	人	0人

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」が一致することを確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

番号	項目	市内	市外
1	自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	〔9〕を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	人	人
11	特別養護老人ホーム	人	人
12	地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
13	その他	人	人
14	行先を把握していない	人	人
15	死亡（※搬送先での死亡を含む）	人	人
16	合計人数	0	人

問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する箇所に○を付けてください。（第1位～第3位のそれぞれ○は1つ）

番号	選択肢	第1位	第2位	第3位
1	必要な生活支援が発生・増大したから			
2	必要な身体介護が発生・増大したから			
3	認知症の症状が悪化したから			
4	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから			
5	〔1〕～〔4〕以外の状態等が改善したから			
6	入所・入居者の状態等が改善したから			
7	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから			
8	費用負担が重くなったから			
9	その他			

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート [C1 介護人材実態調査]

(施設系・通所系)

(調査の趣旨とご協力をお願いします)

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和6年度から8年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握したく、アンケートを実施することといたしました。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※介護事業所の職員の皆様は、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合にはのみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。

※特に指示がない場合は、令和4年4月1日現在でお答えください。

事業所名

■ 事業所票 <管理者記入>

I 事業所について

問1 該当するサービス種別 (介護予防を含む) を、ご回答ください。(○は1つ)

※ 本調査票の送付先 (メール宛名と becoming している施設等) で行うサービスについて、ご回答ください。

番号	選択肢	回答
1	施設・居住系サービス (特別養護老人ホーム (地域密着型含む)、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 (地域密着型含む)、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム)	
2	通所系サービス (通所介護 (地域密着型含む)、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス (総合事業))	

※ 通所介護事業所の方は別シート「通所介護事業所票」の回答にもご協力ください。

問2 貴施設等 (問1で○をつけたサービス種別の施設等) に所属する介護職員について、お伺いします。
※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※ また、「正規職員」は、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」は期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答	項目	回答
正規職員	人	非正規職員	人

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答
開設時期	西暦 年 月 日

問2-3 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間 (令和3年11月1日～令和4年11月1日) の介護職員の採用者数と離職者数を記入ください。

項目	回答	項目	回答
採用者数	人	離職者数	人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

番号	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

問3 貴施設等に所属している介護職員全員 (非常勤含む、ボランティアの方を除く) について、お答えください。

※ 回答は別シート「問3回答シート」にご記入ください。

■ 事業所票 (市) <管理者記入>

I 利用者について

問1 昨年1年間に、サービスの利用希望者をお断りしたことがありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	お断りしたことはない	
2	定員がいっぱいだったのでお断りした	
3	医療的ケアが必要である等、利用できる状態でなかったためお断りした	
4	介護人材不足により、十分なサービスを提供する余裕がなかったためお断りした	
5	その他の理由 ()	

問2 回答日現在、入所 (利用) 待機者はいますか。(○は1つ)
「いる」の場合には待機人数を記入してください。(数値を入力)

番号	選択肢	回答	待機人数
1	いる		人
2	いない		

問3 上尾市は、一人あたりの施設サービス給付費が埼玉県内市町村の平均額より高く、在宅サービスの給付費が平均額より低い状況です。在宅サービスの給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。(「分からない」でも可)

問4 上尾市は、在宅サービスのうち、訪問介護の給付費が全国平均より低い状況です。訪問介護の給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。（「分からない」でも可）

--

II 現在の介護人材の状況について

問5 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。（○は1つ）

番号	職種	過不足の状況（いづれか1つに○）				当該職種 はいない
		大いに不足	不足	やや不足	適当	
1	訪問介護員					
2	サービス提供責任者					
3	介護職員					
4	看護職員					
5	生活相談員					
6	機能訓練指導員					
7	ケアマネジャー					

問6 問5で「大いに不足」「不足」「やや不足」を選んだ方のお答えください。不足している理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	採用が困難	
2	離職率が高い	
3	事業拡大で人手不足	
4	その他（ ）	

問7 問6で「採用が困難」を選んだ方のお答えください。採用が困難な理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	他業種に比べて賃金水準が低い	
2	同業他社との人材獲得競争が激しい	
3	仕事がつらい（身体的・精神的）というイメージがある	
4	雇用が不安定というイメージがある	
5	社会的評価が低い	
6	その他（ ）	

問8 問6で「離職率が高い」を選んだ方のお答えください。離職率が高い理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	勤務時間が長い	
2	休暇が取りにくい	
3	仕事がつらい	
4	他業種に比べて賃金水準が低い	
5	雇用が不安定	
6	キャリアアップの機会が不十分	
7	介護報酬の申請に関する事務量が多い	
8	職場、利用者やその家族との人間関係	
9	従業員自身の高齢化	
10	その他（ ）	

問9 従業員の採用に関して、どのような取り組みをしていますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	ハローワークを活用する	
2	新聞折り込みチラシやポスターを活用する	
3	自社ホームページや民間の求人WEBサイトを活用する	
4	人材紹介・人材派遣会社等を活用する	
5	インターンシップ生、実習生を受け入れる	
6	職員等の関係者から知人を紹介してもらう	
7	就職合同説明会、相談会等に参加する	
8	YouTube等、SNSを活用する。	
9	その他（ ）	

問10 従業員の離職防止や定着促進を図るためにどのような取り組みをしていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	残業時間の削減や有給休暇を取りやすくなる等、労働環境の改善に取り組んでいる	
2	本人の希望に応じた勤務体制にする等、労働条件の改善に取り組んでいる	
3	賃金水準の向上に取り組んでいる	
4	能力や仕事ぶりを評価し、賃金等の処遇に反映している	
5	従業員に仕事内容と必要な能力等を明示している	
6	キャリアに応じた給与体系を整備している	
7	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	
8	新人の指導体制を整備している	
9	社内研修の実施や社外講習受講の支援等、能力開発の機会を充実させている	
10	管理者やリーダー層向けのリーダーシップ研修等を充実させている	
11	従業員の希望に応じた配置を行っている	
12	従業員の悩み、不満、不安等の相談窓口を設けている	
13	職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング等)	
14	経営者・管理者と従業員が経営方針やケア方針を共有する機会を設けている	
15	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに取り組んでいる	
16	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている	
17	休憩室、職場環境を整えている	
18	ICTを活用した事務の効率化	
19	子育て世代、介護世代の従業員の支援を行っている	
20	その他 ()	
21	特に取り組んでいない	

問11 従業員の人材育成について、どのような取り組みをしていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	教育・研修計画を立てている	
2	教育・研修の責任者もしくは担当部署を決めている	
3	採用時の教育・研修を充実させている	
4	従業員に後輩の育成経験を持たせている	
5	能力の向上が認められた者は配属や処遇に反映している	
6	法人全体で人材育成に取り組んでいる	
7	自治体や業界団体が主催する教育・研修への参加を促している	
8	地域の同業他社とノウハウを共有する等して人材育成に取り組んでいる	
9	その他 ()	
10	特に取り組んでいない	

Ⅲ 今後の介護人材の確保について

問12 職種ごとの従業員の採用について、今後の希望をお答えください。(人数を記入またはあてはまるものに○)

番号	職種	採用希望人数(人)	新たな採用は希望しない	当該職種はいいない
1	訪問介護員	人		
2	サービス提供責任者	人		
3	介護職員	人		
4	看護職員	人		
5	生活相談員	人		
6	機能訓練指導員	人		
7	ケアマネジャー	人		
8	その他 ()	人		

問13 問12で「新たな採用は希望しない」を選んだ方のお答えください。
希望しない理由は何ですか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	従業員が足りているから	
2	新人の教育・研修を行う余裕がないから	
3	事業所の経営・財政上、新たな人材の採用は困難だから	
4	その他 ()	

問14 現在、外国人人材を採用していますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	いる	
2	いない	

問15 問14で「いる」を選んだ方のお答えください。外国人人材の受入れ形態はどれですか。(複数回答可)

番号	受入れ形態	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ネパール	中国	韓国	その他※
1	EPA(経済連携協定)による受入れ	人	人	人	人	人	人	人
2	外国人技能実習制度による受入れ	人	人	人	人	人	人	人
3	「介護」の在留資格取得者	人	人	人	人	人	人	人
4	「特定技能1号」の在留資格取得者	人	人	人	人	人	人	人
5	留学生	人	人	人	人	人	人	人
6	その他(永住者、走住者等)	人	人	人	人	人	人	人

(※その他の国の名称を記入してください)

国名	回答

問16 今後、外国人人材の活用についてどのようにお考えですか。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	活用予定	
2	活用を検討している	
3	関心はあるが検討はしていない	
4	活用する予定はない	

問17 問16で「活用予定」「活用を検討している」を選んだ方のみお答えください。

受入れ形態をお答えください。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	EPA（経済連携協定）による受入れ※インドネシア、フィリピン、ベトナムのみ	
2	外国人技能実習制度による受入れ	
3	「介護」の在留資格取得者	
4	「特定技能1号」の在留資格取得者	
5	留学生	
6	その他（永住者、定住者等）	

問18 外国人人材の活用について、どのような課題があると思いますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	職員との意思疎通が難しい	
2	利用者・家族との意思疎通が難しい	
3	介護記録等の書類作成に課題がある	
4	文化や生活習慣等の違いから仕事に支障がある	
5	日本語習得や専門技術にかかる研修費用の負担が大きい	
6	OJT（職場内研修）を担当する職員の負担が大きい	
7	住宅や日常生活用具の確保などの費用負担がかかる	
8	長期的な雇用が見込めない	
9	手続きが煩雑で採用まで時間がかかる	
10	受入れ制度が複雑でわかりにくい	
11	その他（ ）	

問19 外国人人材の活用について、自治体が取り組むべき施策は何だと思いますか。（複数回答可）

※ 回答が複数の場合、特に重要だと思うものに◎をつけてください。

番号	選択肢	回答
1	外国人人材を受入れた事業者に補助金を交付する	
2	事業所と外国人人材のマッチングを行う	
3	外国人人材の受入れ制度について説明会・研修会を開催する	
4	外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する	
5	外国人人材の日本語習得や日本文化の理解を支援する	
6	その他（ ）	
7	自治体が外国人人材の活用に取り組む必要はない（施策の優先順位が低い）	

問20 現在、介護人材不足の中で元気高齢者（アクティブシニア）の就労支援が注目されています。

貴事業所の取り組み状況について教えてください。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	すでに取り組んでいる。	
2	取り組みを検討している	
3	関心はあるが検討はしていない	
4	取り組み予定はない	

問21 アクティブシニアの雇用支援について、自治体に取り組むべき施策はなんだと思いますか。

（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	雇用に関する補助金制度の創設	
2	アクティブシニアが活動している事例の紹介	
3	就労マッチングの支援	
4	その他（ ）	

問22 上尾市では、現在介護人材確保として、入時的研修、喀痰吸引等研修、外国人技能実習生雇用支援を行っています。これらの取組の評価及びこれらから市が行う事業として、介護人材確保につながる取組として挙げられるものをお書きください。（わかる範囲でお答えください）

IV 事業所の運営について

問23 事業所の需要(利用希望者)と供給(提供できるサービス量)をどのように認識していますか。(複数回答可)
(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	需要が供給を大きく上回る	
2	需要が供給をやや上回る	
3	需要と供給が均衡	
4	需要が供給をやや下回る	
5	需要が供給を大きく下回る	

問24 今後、市内に新規事業所を開設すると仮定したら、何が課題だと思いますか。(複数回答可)
※ 回答が複数の場合、特に重要だと思うものに○をつけてください。

番号	選択肢	回答
1	介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる	
2	利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる	
3	事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない	
4	建設地の確保が困難	
5	その他 ()	

問25 苦情に対処するため、苦情窓口への相談員の配置といった取り組みは行っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	している	
2	したいが、できていない	
3	今のところ必要ない	

V 認知症施策について

問26 認知症の支援で困っていることはありますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問27 問26で「はい」を選んだ方のみお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族と周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集える場がない	
4	認知症の本人が活躍できる場がない	
5	金銭管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問28 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教育機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊探索サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

VI 成年後見制度について

問29 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。
(数値を入力)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	保佐	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用しているが、類型は分からない	人

問30 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	日常の金銭管理	
3	財産管理(不動産の処分)	
4	自分の将来から心配	
5	借金相談、消費者被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他 ()	

問31 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数もお答えください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要と思われる人はいない	
2	親族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約(解約)関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の支払や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他 ()	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数⇒ 人

問32 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はなんですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思う人が少ない	
2	本人・家族の同意が得られない	
3	後見人への報酬支払が困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他（ ）	

問33 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市民後見人の養成	
5	その他意見など（ ）	

問34 職場で成年後見制度に関する研修は必要があると思いますか。（〇は1つ）

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

VII 新型コロナウイルスの感染拡大について

問35 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの変化や利用に関する相談はありましたか。（〇は1つ）「あった」の場合には、その内容についても書きください。

番号	選択肢	回答
1	あった	
2	なかった	
「あった」の場合、利用するサービスの変化の内容や相談内容		

問36 新型コロナウイルスの感染対策で、現在困っていることはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	感染対策にかかる費用が増加している	
2	感染対策を徹底するためには職員が足りない	
3	感染対策の観点から利用者減らざるを得ない	
4	サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい	
5	職員間の感染対策が十分にできていない	
6	職員によって危機意識に差があり、感染対策の質にばらつきがある	
7	その他（ ）	
8	特になし	

VIII 上尾市の施策について

問37 この3年間（令和3年度～令和5年度）の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みだと思ふことなど、どのようなことでも構いません。

問38 今後3年間（令和6年度～令和8年度）で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。（そもそも取り組みを知らない、でも構いません。）

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■問3 回答シート <管理者記入>

問3 貴施設等に所属している介護職員全員(非常勤含む。ボランティアの方を除く)について、お答えください。

回答方法		※ 番号1つ記載			※ 数値を記入			※ 番号1つ記載		
設問番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
設問	資格の取得、研修の修了の状況 1.介護福祉士(認定介護福祉士含む) 2.介護職員実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	雇用形態 1.正規職員 (※期限の定めのない契約) 2.非正規職員 (※期限の定めのある契約)	性別 1.男性 2.女性	年齢 1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	過去1週間の勤務時間 ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	現在の施設等で の勤務年数 1.1年以上 ⇒【回答終了】 2.1年未満 ⇒【(7)へ】	現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む 1.現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住宅型有料、中高住(特定施設以外) 8.その他の介護サービス ⇒【(3.)~(8.)の場合は(8)へ】	直前の職場について 1.現在の施設等と、同一の市区町村 内 2.現在の施設等と、別の市区町村内		
記入例	1	1	1	3	40	2	2	1	1	2
01										
02										
03										
04										
05										
06										
07										
08										
09										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										

■ 通所介護事業所票 <管理者記入>

問1 貴施設で雇用している送迎のドライバーは他の業務との兼務ですか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	兼務	
2	ドライバー専従	
3	外部委託(アウトソーシング)	

問2 問1で「兼務」を選んだ方のみお答えください。

貴施設での送迎サービスに関する課題があれば選択してください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	ドライバーが介護職と兼務のため、介護職を優先させたい	
2	ドライバーに専念させたい	
3	その他 ()	
4	特になし	

問3 問1で「兼務」「ドライバー専従」を選んだ方のみお答えください。

ドライバーに空き時間があれば、下記に記載してください。(数値を入力)

ドライバー	回答 (記入例 11時 から 13時 まで)
ドライバー 1	時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで
ドライバー 2	時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで
ドライバー 3	時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで 時から 時まで
ドライバー 4	時から 時まで 時から 時まで

問4 ドライバーの空き時間帯を利用した福祉有償送サービス等の提供に興味がありますか。(○は1つ)

※ 福祉有償送とは、NPOや社会福祉法人などの非営利法人が、高齢者や障害者などの公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通所、通所、レジャーなどを目的に有償で行う車による送迎サービスのことをいいます。

番号	選択肢	回答
1	実施したい	
2	検討してみたい	
3	実施したとは思わない	

問5 問1で「ドライバー専従」を選んだ方のみお答えください。
貴施設では送迎サービスに関する課題があれば選択してください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	ドライバーの高齢化	
2	ドライバーの確保	
3	車両の維持費	
4	その他 ()	
5	特になし	

問6 現在、送迎業務の外部委託(アウトソーシング)に興味がありますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	外部委託(アウトソーシング)したい	
2	検討してみたい	
3	必要性を感じない(理由:)	

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート [C2 介護人材実態調査]
(訪問系)

(調査の趣旨とご協力をお願いします)
日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和6年度から8年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握したく、アンケートを実施することになりました。
つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。
※介護事業所の職員の皆様は、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合にはのみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。
※特に指示がない場合は、令和4年4月1日現在でお答えください。

事業所名

■ 事業所票 <管理者記入>

※ 訪問サービス、訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む、ボランティア除く）を対象とした「職員票」を、別シートでご用意しております。

I 事業所について

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（○は1つ）
※ 本調査票の送付先（メール宛名とご同様の事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

番号	選択肢	回答
1	訪問系サービス (訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))	
2	小規模多機能型居宅介護	
3	看護小規模多機能型居宅介護	
4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。
※ この「介護職員」は、資金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）
※ また、「正規職員」は、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」は期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

項目	回答	項目	回答
正規職員	人	非正規職員	人

問2-2 貴事業所等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

項目	回答
開設時期	西暦 年 月

問2-3 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（令和3年11月1日～令和4年11月1日）の介護職員の採用者数と離職者数を記入ください。

項目	回答	項目	回答
採用者数	人	離職者数	人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

番号 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

■ 事業所票 (市) <管理者記入>

I 利用者について

問1 昨年1年間に、サービスの利用希望者をお断りしたことがありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	お断りしたことはない	
2	定員がいっぱいだったのでお断りした	
3	医療的ケアが必要である等、利用できる状態ではなかったのでお断りした	
4	介護人材不足により、十分なサービスを提供する余裕がなかったのでお断りした	
5	その他の理由 ()	

問2 回答日現在、入所（利用）待機者はいますか。（○は1つ）
いる/いないの場合は待機人数を記入してください。（数値を入力）

番号	選択肢	回答	待機人数
1	いる		人
2	いない		

問3 上尾市は、一人あたりの施設サービスの給付費が埼玉県内市町村の平均額より高く、在宅サービスの給付費が平均額よりも低い状況です。在宅サービスの給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。（「分からない」でも可）

--

問4 上尾市は、在宅サービスのうち、訪問介護の給付費が全国平均より低い状況です。訪問介護の給付費が低いのはどのような理由によると思われますか。（「分からない」でも可）

--

II 現在の介護人材の状況について

問5 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。（○は1つ）

番号	職種	過不足の状況（いずれか1つに○）			当該職種 はいない	
		大いに不足	不足	やや不足		適当
1	訪問介護員					
2	サービス提供責任者					
3	介護職員					
4	看護職員					
5	生活相談員					
6	機能訓練指導員					
7	ケアマネジャー					

問6 問5で「大いに不足」「不足」「やや不足」を選んだ方のお答えください。不足している理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	採用が困難	
2	離職率が高い	
3	事業拡大で人手不足	
4	その他（ ）	

問7 問6で「採用が困難」を選んだ方のお答えください。採用が困難な理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	他業種に比べて賃金水準が低い	
2	同業他社との人材獲得競争が激しい	
3	仕事がつい（身体的・精神的）というイメージがある	
4	雇用が不安定というイメージがある	
5	社会的評価が低い	
6	その他（ ）	

問8 問6で「離職率が高い」を選んだ方のお答えください。離職率が高い理由は何ですか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	勤務時間が長い	
2	休暇が取りにくい	
3	仕事がつい	
4	他業種に比べて賃金水準が低い	
5	雇用が不安定	
6	キャリアアップの機会が不十分	
7	介護報酬の申請に関する事務量が多い	
8	職場、利用者やその家族との人間関係	
9	従業員自身の高齢化	
10	その他（ ）	

問9 従業員の採用に関して、どのような取り組みをしていますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	ハローワークを活用する	
2	新聞折込みチラシやポスターを活用する	
3	自社ホームページや民間の求人WEBサイトを活用する	
4	人材紹介・人材派遣会社等を活用する	
5	インターンシップ生、実習生を受け入れる	
6	職員等の関係者から知人を紹介してもらう	
7	就職合同説明会、相談会等に参加する	
8	YouTube等、SNSを活用する。	
9	その他（ ）	

Ⅲ 今後の介護人材の確保について

問12 職種ごとの従業員の採用について、今後の希望をお答えください。(人数を記入またはあてはまるものに○)

番号	職種	採用希望人数(人)	新たな採用は希望しない	当該職種はいいない
1	訪問介護員	人		
2	サービス提供責任者	人		
3	介護職員	人		
4	看護職員	人		
5	生活相談員	人		
6	機能訓練指導員	人		
7	ケアマネジャー	人		
8	その他()	人		

問13 問12で「新たな採用は希望しない」を選んだ方のお答えください。
希望しない理由は何ですか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	従業員が足りているから	
2	新人の教育・研修を行う余裕がないから	
3	事業所の経営・財政上、新たな人材の採用は困難だから	
4	その他()	

問14 現在、外国人人材を採用していますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	いる	
2	いない	

問15 問14で「いる」を選んだ方のお答えください。外国人人材の受入れ形態はどれですか。(複数回答可)

番号	受入れ形態	インドネシア	フィリピン	ベトナム	ネパール	中国	韓国	その他※
1	EPA(経済連携協定)による受入れ	人	人	人	人	人	人	人
2	外国人技能実習制度による受入れ	人	人	人	人	人	人	人
3	「介護」の在留資格取得者	人	人	人	人	人	人	人
4	「特定技能1号」の在留資格取得者	人	人	人	人	人	人	人
5	留学生	人	人	人	人	人	人	人
6	その他(永住者、走住者等)	人	人	人	人	人	人	人

(※その他の国の名称を記入してください)

国名	回答

問10 従業員の離職防止や定着促進を図るためにどのような取り組みをしていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	残業時間の削減や有給休暇を取りやすくなる等、労働環境の改善に取り組んでいる	
2	本人の希望に応じた勤務体制にする等、労働条件の改善に取り組んでいる	
3	賃金水準の向上に取り組んでいる	
4	能力や仕事ぶりを評価し、賞金等の処遇に反映している	
5	従業員に仕事内容と必要な能力等を明示している	
6	キャリアに応じた給与体系を整備している	
7	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	
8	新人の指導体制を整備している	
9	社内研修の実施や社外講習受講の支援等、能力開発の機会を充実させている	
10	管理者やリーダー層向けのリーダーシップ研修等を充実させている	
11	従業員の希望に応じた配置を行っている	
12	従業員の悩み、不満、不安等の相談窓口を設けている	
13	職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング等)	
14	経営者・管理者と従業員が経営方針やケア方針を共有する機会を設けている	
15	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに取り組んでいる	
16	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている	
17	休憩室、職場環境を整えている	
18	ICTを活用した事務の効率化	
19	子育て世代、介護世代の従業員の支援を行っている	
20	その他()	
21	特に取り組んでいない	

問11 従業員の人材育成について、どのような取り組みをしていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	教育・研修計画を立てている	
2	教育・研修の責任者もしくは担当部署を決めている	
3	採用時の教育・研修を充実させている	
4	従業員に後輩の育成経験を持たせている	
5	能力の向上が認められた者は配属や処遇に反映している	
6	法人全体で人材育成に取り組んでいる	
7	自治体や業界団体が主催する教育・研修への参加を促している	
8	地域の同業他社とノウハウを共有する等して人材育成に取り組んでいる	
9	その他()	
10	特に取り組んでいない	

問16 今後、外国人人材の活用についてどのようにお考えですか。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	活用予定	
2	活用を検討している	
3	関心はあるが検討はしていない	
4	活用する予定はない	

問17 問16で「活用予定」「活用を検討している」を選んだ方のみお答えください。

受入れ形態をお答えください。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	EPA（経済連携協定）による受入れ※インドネシア、フィリピン、ベトナムのみ	
2	外国人技能実習制度による受入れ	
3	「介護」の在留資格取得者	
4	「特定技能1号」の在留資格取得者	
5	留学生	
6	その他（永住者、定住者等）	

問18 外国人人材の活用について、どのような課題があると思いますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	職員との意思疎通が難しい	
2	利用者・家族との意思疎通が難しい	
3	介護記録等の書類作成に課題がある	
4	文化や生活習慣等の違いから仕事に支障がある	
5	日本語習得や専門技術にかかる研修費用の負担が大きい	
6	OJT（職場内研修）を担当する職員の負担が大きい	
7	住宅や日常生活用具の確保などの費用負担がかかる	
8	長期的な雇用が見込めない	
9	手続きが煩雑で採用まで時間がかかる	
10	受入れ制度が複雑でわかりにくい	
11	その他（ ）	

問19 外国人人材の活用について、自治体が取り組むべき施策は何だと思いますか。（複数回答可）

※ 回答が複数の場合、特に重要だと思うものに◎をつけてください。

番号	選択肢	回答
1	外国人人材を受入れた事業者に補助金を交付する	
2	事業所と外国人人材のマッチングを行う	
3	外国人人材の受入れ制度について説明会・研修会を開催する	
4	外国人人材の住宅や日常生活用具の確保を支援する	
5	外国人人材の日本語習得や日本文化の理解を支援する	
6	その他（ ）	
7	自治体が外国人人材の活用に取り組む必要はない（施策の優先順位が低い）	

問20 現在、介護人材不足の中で元気高齢者（アクティブシニア）の就労支援が注目されています。

貴事業所の取り組み状況について教えてください。（○は1つ）

番号	選択肢	回答
1	すでに取り組んでいる。	
2	取り組みを検討している	
3	関心はあるが検討はしていない	
4	取り組み予定はない	

問21 アクティブシニアの雇用支援について、自治体に取り組むべき施策はなんだと思いますか。

（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	雇用に関する補助金制度の創設	
2	アクティブシニアが活動している事例の紹介	
3	就労マッチングの支援	
4	その他（ ）	

問22 上尾市では、現在介護人材確保として、入門的研修、喀痰吸引等研修、外国人技能実習生雇用支援を行っています。これらの取組の評価及びこれから市が行う事業として、介護人材確保につながる取組として挙げられるものをお書きください。（わかる範囲でお答えください）

IV 事業所の運営について

問23 事業所の需要(利用希望者)と供給(提供できるサービス量)をどのように認識していますか。(複数回答可)
(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	需要が供給を大きく上回る	
2	需要が供給をやや上回る	
3	需要と供給が均衡	
4	需要が供給をやや下回る	
5	需要が供給を大きく下回る	

問24 今後、市内に新規事業所を開設すると仮定したら、何が課題だと思いますか。(複数回答可)
※回答が複数の場合、特に重要だと思ふものに○をつけてください。

番号	選択肢	回答
1	介護人材が十分でないため、同業他社と人材の取り合いになる	
2	利用者数に対して事業所数が不足しているわけではないので、同業他社と利用者の取り合いになる	
3	事業自体の採算性がいいとはいえず、初期投資に見合わない	
4	建設地の確保が困難	
5	その他 ()	

問25 苦情に対処するため、苦情窓口への相談員の配置といった取り組みは行っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	している	
2	したいが、できていない	
3	今のところ必要ない	

V 認知症施策について

問26 認知症の支援で困っていることはありますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問27 問26で「はい」を選んだ方のみお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族と周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集える場がない	
4	認知症の本人が活躍できる場がない	
5	金銭管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問28 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教育機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊探索サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

VI 成年後見制度について

問29 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。
(数値を入力)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	保佐	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用しているが、類型は分からない	人

問30 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	日常の金銭管理	
3	財産管理(不動産の処分)	
4	自分の将来から心配	
5	借金相談、消費者被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他 ()	

問31 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数もお答えください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	親族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約(解約)関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の支払や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他 ()	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数⇒ 人

問32 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要と思われる人はいない	
2	本人・家族の同意が得られない	
3	後見人への報酬支払が困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他（ ）	

問33 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市民後見人の養成	
5	その他意見など（ ）	

問34 職場で成年後見制度に関する研修は必要があると思いますか。（〇は1つ）

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

Ⅶ 新型コロナウイルスの感染拡大について

問35 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用するサービスの変化や利用に関する相談はありましたか。（〇は1つ）「あった」の場合には、その内容についても書きください。

番号	選択肢	回答
1	あった	
2	なかった	
「あった」の場合、利用するサービスの変化の内容や相談内容		

問36 新型コロナウイルスの感染対策で、現在困っていることはありますか。（複数回答可）

番号	選択肢	回答
1	感染対策にかかる費用が増加している	
2	感染対策を徹底するためには職員が足りない	
3	感染対策の観点から利用者減らざるを得ない	
4	サービスの内容的に利用者に対する感染対策を徹底するのが難しい	
5	職員間の感染対策が十分にできていない	
6	職員によって危機意識に差があり、感染対策の質にばらつきがある	
7	その他（ ）	
8	特にない	

Ⅷ 上尾市の施策について

問37 この3年間（令和3年度～令和5年度）の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みだと思ふことなど、どのようなことでも構いません。

問38 今後3年間（令和6年度～令和8年度）で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。（そもそも取り組みを知らない、でも構いません。）

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■ 職員票 <訪問介護員記入>

※ この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方(非常勤含む。ボランティア除く)が対象です。
 ※ 令和4年11月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	訪問サービス	選択肢	回答
1	訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業)		
2	小規模多機能型居宅介護		
3	看護小規模多機能型居宅介護		
4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	介護福祉士(認定介護福祉士含む)	
2	介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級	
3	介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	
4	「1」～「3」のいずれにも該当しない	

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

番号	項目	選択肢	回答
1	雇用形態 (○は1つ)	1. 正規職員(※期限の定めのない契約) 2. 非正規職員(※期限の定めのある契約)	
2	性別 (○は1つ)	1. 男性 2. 女性	
3	年齢 (数値を記入)	歳	回答
4	過去1週間の勤務時間 ※(数値を記入)	時間	回答 ※残業時間を含む。休憩時間は除く。
5	現在の事業所での勤務年数 (数値を入力)	選択肢	回答 1. 1年以上 → 問6・問7を回答 2. 1年未満 → 問4～問7を回答

※ 問1で回答した勤務先における時間を記入。なお、記入いただいた内容の詳細を問6・問7にご記入ください。

問4 問3の「5」で「2. 1年未満」を選んだ方のみお答えください。
 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。(○は1つ)

番号	現在の職場が初めての勤務先	選択肢	回答
1	現在の職場が初めての勤務先	⇒ 問6・問7を回答	
2	介護以外の職場	⇒ 問6・問7を回答	
3	特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設		
4	訪問介護・入浴、夜間対応型		
5	小多機、看多機、定期巡回サービス		
6	通所介護、通所リハ、認知症デイ		
7	住宅型有料、サ高住(特定施設以外)		
8	その他の介護サービス		

⇒「3」～「8」の場合は問5～問7を回答

問5 問4で「3」～「8」を選んだ方のみお答えください。
 ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

番号	項目	選択肢	回答
1	場所 (○は1つ)	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内 2. 現在の事業所と、別の市区町村内	
2	法人 (○は1つ)	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ	

■ 職員票 <訪問介護員記入>

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問サービス（総合事業）」、「小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

- ※ 職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。
（例：水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）
- ※ 移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります
- ※ 降サービス提供は除いてください。
- ※ 介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。
- ※ 記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

問6 介護給付による訪問について記入してください。
※ 「週の合計」を足し合わせた時間が、職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した時間より小さくなるようにしてください。

曜日	身体介護※	生活援助		
		買い物 (移動時間含まない)	調理・配膳	その他の生活援助
記入例	30分	20分	45分	20分
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	0分	0分	0分	0分

⇒ 身体介護・生活援助の「週の合計」を足し合わせた時間

問7 介護予防給付・総合事業による訪問について記入してください。
※ 「週の合計」を足し合わせた時間が、職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した時間より小さくなるようにしてください。

曜日	身体介護※	生活援助		
		買い物 (移動時間含まない)	調理・配膳	その他の生活援助
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	0分	0分	0分	0分

⇒ 身体介護・生活援助の「週の合計」を足し合わせた時間

※ 自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。15/15

**令和4年度
上尾市高齢者実態把握アンケート調査
【調査結果報告書】**

令和5年3月発行

発行 上尾市

編集 上尾市 健康福祉部 高齢介護課